



MICROFILMED BY

BYU

AT:

CAIRO EGYPT

OPERATOR

REDUCTION X

THOTMOSS RAMZY

42

DATE FILMED

LIGHT METER SETTING

6 NOV 1984

25

FILM EMULSION NUMBER

FILM UNIT SER. NO.

A0 39 4837 09 16 HRP 51568

PROJECT NUMBER

ROLL NUMBER

EGYPT 001A

21

LOCALITY OF RECORD

**ST. MARK'S CATHEDRAL,
CAIRO**

TITLE OF RECORD

THELOGY MS 37

ITEM

1

MANUSCRIPT MICROFILMING PROJECT

COPTIC ORTHODOX CHURCH

Project No. 254Manuscript No. Thology 37Library St Mark's Cathedral, CairoPrincipal Work Gospel of Matthew with comments of the FathersAuthor Simon Ibn KalilLanguage(s) ArabicDate 10 October 1548 AD
1 Rabi'ah 1545 AHMaterial PaperFolia 414 (Western)
~~414~~ ~~415~~ ~~416~~ ~~417~~ ~~418~~ ~~419~~ ~~420~~ ~~421~~ ~~422~~ ~~423~~ ~~424~~ ~~425~~ ~~426~~ ~~427~~ ~~428~~ ~~429~~ ~~430~~ ~~431~~ ~~432~~ ~~433~~ ~~434~~ ~~435~~ ~~436~~ ~~437~~ ~~438~~ ~~439~~ ~~440~~ ~~441~~ ~~442~~ ~~443~~ ~~444~~ ~~445~~ ~~446~~ ~~447~~ ~~448~~ ~~449~~ ~~450~~ ~~451~~ ~~452~~ ~~453~~ ~~454~~ ~~455~~ ~~456~~ ~~457~~ ~~458~~ ~~459~~ ~~460~~ ~~461~~ ~~462~~ ~~463~~ ~~464~~ ~~465~~ ~~466~~ ~~467~~ ~~468~~ ~~469~~ ~~470~~ ~~471~~ ~~472~~ ~~473~~ ~~474~~ ~~475~~ ~~476~~ ~~477~~ ~~478~~ ~~479~~ ~~480~~ ~~481~~ ~~482~~ ~~483~~ ~~484~~ ~~485~~ ~~486~~ ~~487~~ ~~488~~ ~~489~~ ~~490~~ ~~491~~ ~~492~~ ~~493~~ ~~494~~ ~~495~~ ~~496~~ ~~497~~ ~~498~~ ~~499~~ ~~500~~ ~~501~~ ~~502~~ ~~503~~ ~~504~~ ~~505~~ ~~506~~ ~~507~~ ~~508~~ ~~509~~ ~~510~~ ~~511~~ ~~512~~ ~~513~~ ~~514~~ ~~515~~ ~~516~~ ~~517~~ ~~518~~ ~~519~~ ~~520~~ ~~521~~ ~~522~~ ~~523~~ ~~524~~ ~~525~~ ~~526~~ ~~527~~ ~~528~~ ~~529~~ ~~530~~ ~~531~~ ~~532~~ ~~533~~ ~~534~~ ~~535~~ ~~536~~ ~~537~~ ~~538~~ ~~539~~ ~~540~~ ~~541~~ ~~542~~ ~~543~~ ~~544~~ ~~545~~ ~~546~~ ~~547~~ ~~548~~ ~~549~~ ~~550~~ ~~551~~ ~~552~~ ~~553~~ ~~554~~ ~~555~~ ~~556~~ ~~557~~ ~~558~~ ~~559~~ ~~560~~ ~~561~~ ~~562~~ ~~563~~ ~~564~~ ~~565~~ ~~566~~ ~~567~~ ~~568~~ ~~569~~ ~~570~~ ~~571~~ ~~572~~ ~~573~~ ~~574~~ ~~575~~ ~~576~~ ~~577~~ ~~578~~ ~~579~~ ~~580~~ ~~581~~ ~~582~~ ~~583~~ ~~584~~ ~~585~~ ~~586~~ ~~587~~ ~~588~~ ~~589~~ ~~590~~ ~~591~~ ~~592~~ ~~593~~ ~~594~~ ~~595~~ ~~596~~ ~~597~~ ~~598~~ ~~599~~ ~~600~~ ~~601~~ ~~602~~ ~~603~~ ~~604~~ ~~605~~ ~~606~~ ~~607~~ ~~608~~ ~~609~~ ~~610~~ ~~611~~ ~~612~~ ~~613~~ ~~614~~ ~~615~~ ~~616~~ ~~617~~ ~~618~~ ~~619~~ ~~620~~ ~~621~~ ~~622~~ ~~623~~ ~~624~~ ~~625~~ ~~626~~ ~~627~~ ~~628~~ ~~629~~ ~~630~~ ~~631~~ ~~632~~ ~~633~~ ~~634~~ ~~635~~ ~~636~~ ~~637~~ ~~638~~ ~~639~~ ~~640~~ ~~641~~ ~~642~~ ~~643~~ ~~644~~ ~~645~~ ~~646~~ ~~647~~ ~~648~~ ~~649~~ ~~650~~ ~~651~~ ~~652~~ ~~653~~ ~~654~~ ~~655~~ ~~656~~ ~~657~~ ~~658~~ ~~659~~ ~~660~~ ~~661~~ ~~662~~ ~~663~~ ~~664~~ ~~665~~ ~~666~~ ~~667~~ ~~668~~ ~~669~~ ~~670~~ ~~671~~ ~~672~~ ~~673~~ ~~674~~ ~~675~~ ~~676~~ ~~677~~ ~~678~~ ~~679~~ ~~680~~ ~~681~~ ~~682~~ ~~683~~ ~~684~~ ~~685~~ ~~686~~ ~~687~~ ~~688~~ ~~689~~ ~~690~~ ~~691~~ ~~692~~ ~~693~~ ~~694~~ ~~695~~ ~~696~~ ~~697~~ ~~698~~ ~~699~~ ~~700~~ ~~701~~ ~~702~~ ~~703~~ ~~704~~ ~~705~~ ~~706~~ ~~707~~ ~~708~~ ~~709~~ ~~710~~ ~~711~~ ~~712~~ ~~713~~ ~~714~~ ~~715~~ ~~716~~ ~~717~~ ~~718~~ ~~719~~ ~~720~~ ~~721~~ ~~722~~ ~~723~~ ~~724~~ ~~725~~ ~~726~~ ~~727~~ ~~728~~ ~~729~~ ~~730~~ ~~731~~ ~~732~~ ~~733~~ ~~734~~ ~~735~~ ~~736~~ ~~737~~ ~~738~~ ~~739~~ ~~740~~ ~~741~~ ~~742~~ ~~743~~ ~~744~~ ~~745~~ ~~746~~ ~~747~~ ~~748~~ ~~749~~ ~~750~~ ~~751~~ ~~752~~ ~~753~~ ~~754~~ ~~755~~ ~~756~~ ~~757~~ ~~758~~ ~~759~~ ~~760~~ ~~761~~ ~~762~~ ~~763~~ ~~764~~ ~~765~~ ~~766~~ ~~767~~ ~~768~~ ~~769~~ ~~770~~ ~~771~~ ~~772~~ ~~773~~ ~~774~~ ~~775~~ ~~776~~ ~~777~~ ~~778~~ ~~779~~ ~~780~~ ~~781~~ ~~782~~ ~~783~~ ~~784~~ ~~785~~ ~~786~~ ~~787~~ ~~788~~ ~~789~~ ~~790~~ ~~791~~ ~~792~~ ~~793~~ ~~794~~ ~~795~~ ~~796~~ ~~797~~ ~~798~~ ~~799~~ ~~800~~ ~~801~~ ~~802~~ ~~803~~ ~~804~~ ~~805~~ ~~806~~ ~~807~~ ~~808~~ ~~809~~ ~~810~~ ~~811~~ ~~812~~ ~~813~~ ~~814~~ ~~815~~ ~~816~~ ~~817~~ ~~818~~ ~~819~~ ~~820~~ ~~821~~ ~~822~~ ~~823~~ ~~824~~ ~~825~~ ~~826~~ ~~827~~ ~~828~~ ~~829~~ ~~830~~ ~~831~~ ~~832~~ ~~833~~ ~~834~~ ~~835~~ ~~836~~ ~~837~~ ~~838~~ ~~839~~ ~~840~~ ~~841~~ ~~842~~ ~~843~~ ~~844~~ ~~845~~ ~~846~~ ~~847~~ ~~848~~ ~~849~~ ~~850~~ ~~851~~ ~~852~~ ~~853~~ ~~854~~ ~~855~~ ~~856~~ ~~857~~ ~~858~~ ~~859~~ ~~860~~ ~~861~~ ~~862~~ ~~863~~ ~~864~~ ~~865~~ ~~866~~ ~~867~~ ~~868~~ ~~869~~ ~~870~~ ~~871~~ ~~872~~ ~~873~~ ~~874~~ ~~875~~ ~~876~~ ~~877~~ ~~878~~ ~~879~~ ~~880~~ ~~881~~ ~~882~~ ~~883~~ ~~884~~ ~~885~~ ~~886~~ ~~887~~ ~~888~~ ~~889~~ ~~890~~ ~~891~~ ~~892~~ ~~893~~ ~~894~~ ~~895~~ ~~896~~ ~~897~~ ~~898~~ ~~899~~ ~~900~~ ~~901~~ ~~902~~ ~~903~~ ~~904~~ ~~905~~ ~~906~~ ~~907~~ ~~908~~ ~~909~~ ~~910~~ ~~911~~ ~~912~~ ~~913~~ ~~914~~ ~~915~~ ~~916~~ ~~917~~ ~~918~~ ~~919~~ ~~920~~ ~~921~~ ~~922~~ ~~923~~ ~~924~~ ~~925~~ ~~926~~ ~~927~~ ~~928~~ ~~929~~ ~~930~~ ~~931~~ ~~932~~ ~~933~~ ~~934~~ ~~935~~ ~~936~~ ~~937~~ ~~938~~ ~~939~~ ~~940~~ ~~941~~ ~~942~~ ~~943~~ ~~944~~ ~~945~~ ~~946~~ ~~947~~ ~~948~~ ~~949~~ ~~950~~ ~~951~~ ~~952~~ ~~953~~ ~~954~~ ~~955~~ ~~956~~ ~~957~~ ~~958~~ ~~959~~ ~~960~~ ~~961~~ ~~962~~ ~~963~~ ~~964~~ ~~965~~ ~~966~~ ~~967~~ ~~968~~ ~~969~~ ~~970~~ ~~971~~ ~~972~~ ~~973~~ ~~974~~ ~~975~~ ~~976~~ ~~977~~ ~~978~~ ~~979~~ ~~980~~ ~~981~~ ~~982~~ ~~983~~ ~~984~~ ~~985~~ ~~986~~ ~~987~~ ~~988~~ ~~989~~ ~~990~~ ~~991~~ ~~992~~ ~~993~~ ~~994~~ ~~995~~ ~~996~~ ~~997~~ ~~998~~ ~~999~~ ~~1000~~ ~~1001~~ ~~1002~~ ~~1003~~ ~~1004~~ ~~1005~~ ~~1006~~ ~~1007~~ ~~1008~~ ~~1009~~ ~~1010~~ ~~1011~~ ~~1012~~ ~~1013~~ ~~1014~~ ~~1015~~ ~~1016~~ ~~1017~~ ~~1018~~ ~~1019~~ ~~1020~~ ~~1021~~ ~~1022~~ ~~1023~~ ~~1024~~ ~~1025~~ ~~1026~~ ~~1027~~ ~~1028~~ ~~1029~~ ~~1030~~ ~~1031~~ ~~1032~~ ~~1033~~ ~~1034~~ ~~1035~~ ~~1036~~ ~~1037~~ ~~1038~~ ~~1039~~ ~~1040~~ ~~1041~~ ~~1042~~ ~~1043~~ ~~1044~~ ~~1045~~ ~~1046~~ ~~1047~~ ~~1048~~ ~~1049~~ ~~1050~~ ~~1051~~ ~~1052~~ ~~1053~~ ~~1054~~ ~~1055~~ ~~1056~~ ~~1057~~ ~~1058~~ ~~1059~~ ~~1060~~ ~~1061~~ ~~1062~~ ~~1063~~ ~~1064~~ ~~1065~~ ~~1066~~ ~~1067~~ ~~1068~~ ~~1069~~ ~~1070~~ ~~1071~~ ~~1072~~ ~~1073~~ ~~1074~~ ~~1075~~ ~~1076~~ ~~1077~~ ~~1078~~ ~~1079~~ ~~1080~~ ~~1081~~ ~~1082~~ ~~1083~~ ~~1084~~ ~~1085~~ ~~1086~~ ~~1087~~ ~~1088~~ ~~1089~~ ~~1090~~ ~~1091~~ ~~1092~~ ~~1093~~ ~~1094~~ ~~1095~~ ~~1096~~ ~~1097~~ ~~1098~~ ~~1099~~ ~~1100~~ ~~1101~~ ~~1102~~ ~~1103~~ ~~1104~~ ~~1105~~ ~~1106~~ ~~1107~~ ~~1108~~ ~~1109~~ ~~1110~~ ~~1111~~ ~~1112~~ ~~1113~~ ~~1114~~ ~~1115~~ ~~1116~~ ~~1117~~ ~~1118~~ ~~1119~~ ~~1120~~ ~~1121~~ ~~1122~~ ~~1123~~ ~~1124~~ ~~1125~~ ~~1126~~ ~~1127~~ ~~1128~~ ~~1129~~ ~~1130~~ ~~1131~~ ~~1132~~ ~~1133~~ ~~1134~~ ~~1135~~ ~~1136~~ ~~1137~~ ~~1138~~ ~~1139~~ ~~1140~~ ~~1141~~ ~~1142~~ ~~1143~~ ~~1144~~ ~~1145~~ ~~1146~~ ~~1147~~ ~~1148~~ ~~1149~~ ~~1150~~ ~~1151~~ ~~1152~~ ~~1153~~ ~~1154~~ ~~1155~~ ~~1156~~ ~~1157~~ ~~1158~~ ~~1159~~ ~~1160~~ ~~1161~~ ~~1162~~ ~~1163~~ ~~1164~~ ~~1165~~ ~~1166~~ ~~1167~~ ~~1168~~ ~~1169~~ ~~1170~~ ~~1171~~ ~~1172~~ ~~1173~~ ~~1174~~ ~~1175~~ ~~1176~~ ~~1177~~ ~~1178~~ ~~1179~~ ~~1180~~ ~~1181~~ ~~1182~~ ~~1183~~ ~~1184~~ ~~1185~~ ~~1186~~ ~~1187~~ ~~1188~~ ~~1189~~ ~~1190~~ ~~1191~~ ~~1192~~ ~~1193~~ ~~1194~~ ~~1195~~ ~~1196~~ ~~1197~~ ~~1198~~ ~~1199~~ ~~1200~~ ~~1201~~ ~~1202~~ ~~1203~~ ~~1204~~ ~~1205~~ ~~1206~~ ~~1207~~ ~~1208~~ ~~1209~~ ~~1210~~ ~~1211~~ ~~1212~~ ~~1213~~ ~~1214~~ ~~1215~~ ~~1216~~ ~~1217~~ ~~1218~~ ~~1219~~ ~~1220~~ ~~1221~~ ~~1222~~ ~~1223~~ ~~1224~~ ~~1225~~ ~~1226~~ ~~1227~~ ~~1228~~ ~~1229~~ ~~1230~~ ~~1231~~ ~~1232~~ ~~1233~~ ~~1234~~ ~~1235~~ ~~1236~~ ~~1237~~ ~~1238~~ ~~1239~~ ~~1240~~ ~~1241~~ ~~1242~~ ~~1243~~ ~~1244~~ ~~1245~~ ~~1246~~ ~~1247~~ ~~1248~~ ~~1249~~ ~~1250~~ ~~1251~~ ~~1252~~ ~~1253~~ ~~1254~~ ~~1255~~ ~~1256~~ ~~1257~~ ~~1258~~ ~~1259~~ ~~1260~~ ~~1261~~ ~~1262~~ ~~1263~~ ~~1264~~ ~~1265~~ ~~1266~~ ~~1267~~ ~~1268~~ ~~1269~~ ~~1270~~ ~~1271~~ ~~1272~~ ~~1273~~ ~~1274~~ ~~1275~~ ~~1276~~ ~~1277~~ ~~1278~~ ~~1279~~ ~~1280~~ ~~1281~~ ~~1282~~ ~~1283~~ ~~1284~~ ~~1285~~ ~~1286~~ ~~1287~~ ~~1288~~ ~~1289~~ ~~1290~~ ~~1291~~ ~~1292~~ ~~1293~~ ~~1294~~ ~~1295~~ ~~1296~~ ~~1297~~ ~~1298~~ ~~1299~~ ~~1300~~ ~~1301~~ ~~1302~~ ~~1303~~ ~~1304~~ ~~1305~~ ~~1306~~ ~~1307~~ ~~1308~~ ~~1309~~ ~~1310~~ ~~1311~~ ~~1312~~ ~~1313~~ ~~1314~~ ~~1315~~ ~~1316~~ ~~1317~~ ~~1318~~ ~~1319~~ ~~1320~~ ~~1321~~ ~~1322~~ ~~1323~~ ~~1324~~ ~~1325~~ ~~1326~~ ~~1327~~ ~~1328~~ ~~1329~~ ~~1330~~ ~~1331~~ ~~1332~~ ~~1333~~ ~~1334~~ ~~1335~~ ~~1336~~ ~~1337~~ ~~1338~~ ~~1339~~ ~~1340~~ ~~1341~~ ~~1342~~ ~~1343~~ ~~1344~~ ~~1345~~ ~~1346~~ ~~1347~~ ~~1348~~ ~~1349~~ ~~1350~~ ~~1351~~ ~~1352~~ ~~1353~~ ~~1354~~ ~~1355~~ ~~1356~~ ~~1357~~ ~~1358~~ ~~1359~~ ~~1360~~ ~~1361~~ ~~1362~~ ~~1363~~ ~~1364~~ ~~1365~~ ~~1366~~ ~~1367~~ ~~1368~~ ~~1369~~ ~~1370~~ ~~1371~~ ~~1372~~ ~~1373~~ ~~1374~~ ~~1375~~ ~~1376~~ ~~1377~~ ~~1378~~ ~~1379~~ ~~1380~~ ~~1381~~ ~~1382~~ ~~1383~~ ~~1384~~ ~~1385~~ ~~1386~~ ~~1387~~ ~~1388~~ ~~1389~~ ~~1390~~ ~~1391~~ ~~1392~~ ~~1393~~ ~~1394~~ ~~1395~~ ~~1396~~ ~~1397~~ ~~1398~~ ~~1399~~ ~~1400~~ ~~1401~~ ~~1402~~ ~~1403~~ ~~1404~~ ~~1405~~ ~~1406~~ ~~1407~~ ~~1408~~ ~~1409~~ ~~1410~~ ~~1411~~ ~~1412~~ ~~1413~~ ~~1414~~ ~~1415~~ ~~1416~~ ~~1417~~ ~~1418~~ ~~1419~~ ~~1420~~ ~~1421~~ ~~1422~~ ~~1423~~ ~~1424~~ ~~1425~~ ~~1426~~ ~~1427~~ ~~1428~~ ~~1429~~ ~~1430~~ ~~1431~~ ~~1432~~ ~~1433~~ ~~1434~~ ~~1435~~ ~~1436~~ ~~1437~~ ~~1438~~ ~~1439~~ ~~1440~~ ~~1441~~ ~~1442~~ ~~1443~~ ~~1444~~ ~~1445~~ ~~1446~~ ~~1447~~ ~~1448~~ ~~1449~~ ~~1450~~ ~~1451~~ ~~1452~~ ~~1453~~ ~~1454~~ ~~1455~~ ~~1456~~ ~~1457~~ ~~1458~~ ~~1459~~ ~~1460~~ ~~1461~~ ~~1462~~ ~~1463~~ ~~1464~~ ~~1465~~ ~~1466~~ ~~1467~~ ~~1468~~ ~~1469~~ ~~1470~~ ~~1471~~ ~~1472~~ ~~1473~~ ~~1474~~ ~~1475~~ ~~1476~~ ~~1477~~ ~~1478~~ ~~1479~~ ~~1480~~ ~~1481~~ ~~1482~~ ~~1483~~ ~~1484~~ ~~1485~~ ~~1486~~ ~~1487~~ ~~1488~~ ~~1489~~ ~~1490~~ ~~1491~~ ~~1492~~ ~~1493~~ ~~1494~~ ~~1495~~ ~~1496~~ ~~1497~~ ~~1498~~ ~~1499~~ ~~1500~~ ~~1501~~ ~~1502~~ ~~1503~~ ~~1504~~ ~~1505~~ ~~1506~~ ~~1507~~ ~~1508~~ ~~1509~~ ~~1510~~ ~~1511~~ ~~1512~~ ~~1513~~ ~~1514~~ ~~1515~~ ~~1516~~ ~~1517~~ ~~1518~~ ~~1519~~ ~~1520~~ ~~1521~~ ~~1522~~ ~~1523~~ ~~1524~~ ~~1525~~ ~~1526~~ ~~1527~~ ~~1528~~ ~~1529~~ ~~1530~~ ~~1531~~ ~~1532~~ ~~1533~~ ~~1534~~ ~~1535~~ ~~1536~~ ~~1537~~ ~~1538~~ ~~1539~~ ~~1540~~ ~~1541~~ ~~1542~~ ~~1543~~ ~~1544~~ ~~1545~~ ~~1546~~ ~~1547~~ ~~1548~~ ~~1549~~ ~~1550~~ ~~1551~~ ~~1552~~ ~~1553~~ ~~1554~~ ~~1555~~ ~~1556~~ ~~1557~~ ~~1558~~ ~~1559~~ ~~1560~~ ~~1561~~ ~~1562~~ ~~1563~~ ~~1564~~ ~~1565~~ ~~1566~~ ~~1567~~ ~~1568~~ ~~1569~~ ~~1570~~ ~~1571~~ ~~1572~~ ~~1573~~ ~~1574~~ ~~1575~~ ~~1576~~ ~~1577~~ ~~1578~~ ~~1579~~ ~~1580~~ ~~1581~~ ~~1582~~ ~~1583~~ ~~1584~~ ~~1585~~ ~~1586~~ ~~1587~~ ~~1588~~ ~~1589~~ ~~1590~~ ~~1591~~ ~~1592~~ ~~1593~~ ~~1594~~ ~~1595~~ ~~1596~~ ~~1597~~ ~~1598~~ ~~1599~~ ~~1600~~ ~~1601~~ ~~1602~~ ~~1603~~ ~~1604~~ ~~1605~~ ~~1606~~ ~~1607~~ ~~1608~~ ~~1609~~ ~~1610~~ ~~1611~~ ~~1612~~ ~~1613~~ ~~1614~~ ~~1615~~ ~~1616~~ ~~1617~~ ~~1618~~ ~~1619~~ ~~1620~~ ~~1621~~ ~~1622~~ ~~1623~~ ~~1624~~ ~~1625~~ ~~1626~~ ~~1627~~ ~~1628~~ ~~1629~~ ~~1630~~ ~~1631~~ ~~1632~~ ~~1633~~ ~~1634~~ ~~1635~~ ~~1636~~ ~~1637~~ ~~1638~~ ~~1639~~ ~~1640~~ ~~1641~~ ~~1642~~ ~~1643~~ ~~1644~~ ~~1645~~ ~~1646~~ ~~1647~~ ~~1648~~ ~~1649~~ ~~1650~~ ~~1651~~ ~~1652~~ ~~1653~~ ~~1654~~ ~~1655~~ ~~1656~~ ~~1657~~ ~~1658~~ ~~1659~~ ~~1660~~ ~~1661~~ ~~1662~~ ~~1663~~ ~~1664</~~

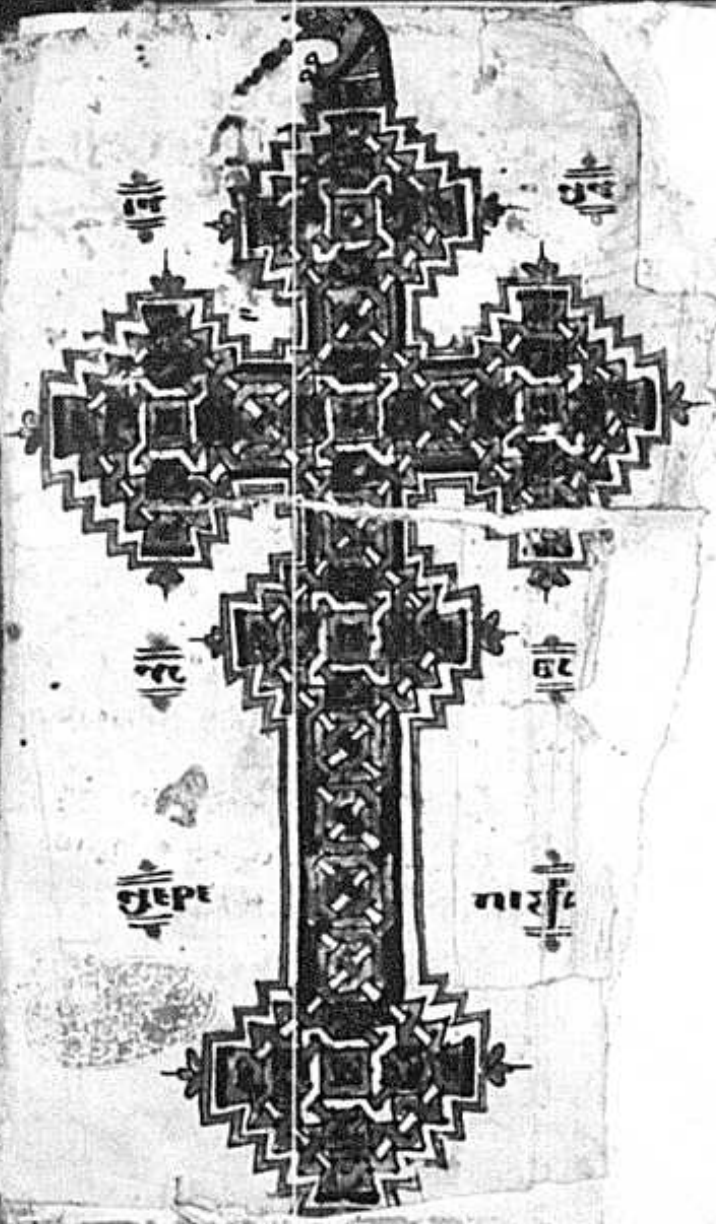


بِسْمِ الْإِبْرَاهِيمَ وَالْجَبْرِ وَالْوَجْدِ الْمَقْدِسِ إِلَهَ الْوَحْدِ وَاللَّاهُوتِ
الْمُبَرَّعَيْنِ أَنْجَمَهُ وَرَحْمَتَهُ وَبَرَكَتَهُ إِلَى أَبَدِ الْأَبَدِينَ آمِينَ

٣٧ لاهوت

CCV عر





بسم الاب والابن والروح القدس الاله الواحد له المجد
نبتدي بمون الله جل لاله وتعالى ذكره وكلمه الذي له رياسة
كل جبروت ودين وملكوت امينة واليه منتقم كل طلبة وصوت
بكتب نصك ادم انجيل متى النبي وياي تفسيره تامة فصوله ثمانين
بتخرجه ونظمه المشكين الفقير لنا قصير كغير سمان ابن كليل
ابن مقار القبطي يمدحه وابتداء وتنقيح وبحثها وادوارها
جزيلة وملائمة غير قليلة في تلاوت لتفاشير المدونة الموجودة
عن الابا احكام والمعلمين اقدام وتبصيح مقالاتهم وابتدائهم
معانيهم وادواتهم مستقيما يا الله ومتوكلا عليه اما بعد فقد
يجري الرسم لمولفي الكتب ان يكون لهم مذهب يدهون ليس بها حب
اختيارهم ومقاصد يقصدونها لانهم وانكرهم بصناعات
متلغات ولها درجات متفاوتات فمنهم من اذ قد وقع اختياره
على القول يكون غيره سبق الحق ولا يتقوى من مقصوده ولا ينبغي

من جموده غير انه اولاً يمد له بدوام تقدمه التخصيص والافتران
والقوانع والاعتدال لمن قد سبقه في المجال وتقدمه بالمقام ولو كان
حظه جزئياً وعلمه وافر انبيلاً ثم يلزم ما بينا الفرق بين مقالهم
وبين ما الن في معناه بالفاظ يبره لاجلهم ومما بينه واضحه
يقصد لتبنيه في ذلك من يتبع رب عنقصر بما يجب عرض واذا
كل نص كتابه وبلغ فيه الى حد فخر خطابه اضطر الى ان يثبت
بالحسن بصفاته بتزيب في اماكن قرأتها كي يكثر الخطا لكون له
والمتفقون منه ففهم من دفع عن الاقرار وبما نفذت
ذلك كخروج والاعتدال ثم يتخيل طعن المستعجبين وضرب المنصفين
الذين لا يشغلهم شاغل عن شرعة التعقيب ولا يورد غير عادل عن بقا
التفريع والتوبيخ فيجهد على تاليف ما يحتاج تاليفه وتحريره
وتدوين ما ينتفع بتدوينه وتسطيره فمن جعل نفسه منهم على ذلك
احتاج الى المقاومة والتجرد والمصارمة والتكليف بتقديم ما
يجترن به من شوا التناول فينبه على النكت المقتودة والمرامي المعجزة
بشواهد صارقة ودلائل باطنة فلعله ان يخلص من متصفح تاليفه
طالبين تعينه وتلبه وتوقيفه فاما المذهب الذي سلكته اسأ
الحقير في اهل زمانه العاجرين اخوانه الناقص عن اشكاله واقرانه
بعد تحقيق ان امر الحكم مخافة الله وراش النضال حسب العاقل
في

في العقيدة واثير الزكي من الاعمال المرضية الشديدة هو اني قد رأيت
العاده قد ثبتت للاصغر الاقدا باتار الاكبر والانتما اليهم
والتعويل في الاسناد عليهم والاختيار في جملتهم والاستعانة
بعضهم وان هذه المحجة قد فحجت وتلك العاده قد سكت ودرسته
فقطرت نفسي بالعدا الواضح في الامتشاط في وضع الفاظ المعشرين
من الابا الاطهار والمعلمين الابرار المشهورين بالتعاليم البيعية
والمقولات الشرعية الذين وصلوا الي علم الحقايق باطراحهم العالم
ولدانة ومقتبانية وشهوادة واقنعوا نفوسهم بالخير وانكسروا
اجسامهم بحسن التدبير وبلغوا كمال الطاقه في جهادهم حتى قد ظهر
العنايه الالهيه والمعوذه الربانيه باسراق روح القدس فيهم
وحصر جميع العلوم الشريفه بالهدايه العاليه لديهم فاصلوها
وفصلوها وفرغوها ونوعوها فصاروا اركانها ونظامها ورعا
وقوامها ثم ادعوها لاتباعهم وشروعها لاشياعهم حتى انها عرفت
بهم ونقلت عنهم واخصرت بما التبت من ذلك على تغيير معاني
لتجليل بني البشر حباً وصل اليه ضعف قدرتي وتضمنه وسخ
قوتي وطاقتي مقتضيا بالله ومتشكلاً بمعونه ليكون ذلك رياضه
لي وتذكره لي من غير تغيير معني جودته ولا نقله جليله شوي
انتتاح كلام مستغرق مشكل او تبين معني ملتزم معضل لمعونه

القاري المتبدي وبلغه للشامح المحتدي لان الذي قد تشعة
حكمته وتوفرت علومه وطنته قد استغفر باداب نفسه عن رباضته
درسه وقد عني هذا المعنا منطبقه الرهول الكبير انش التلاميذ
بطرس في رسالته الثانية حيث يقول فجيدهم الان ان تقروا
وتدأموا كتب الانبياء كالذي يستقي في الظلام بضو الشراج
حتى ياتي النهار فالرهول المفبوط بالنعمة قال هذا من اجل
المومنين المشتملين بنعمة روح القدس ولم يلقوا بعد الى جدا لكان
فهم محتاجين الى القراء في الكتب الالهية الى ان يشرق عليهم الروح
القدس كما اشرق على التلاميذ يوم العنصرة والذي يشرق فيه
هكدي تصيرا لعلوم النافعة جميعها تنبع من قلبه فيكون غير
محتاج الى القراء في الكتب كما انه لا يحتاج مع النهار الى ضوء الشراج
ومعلوم ان الجوامع الذي يحتاج اليها في كل كتاب تبعه
وقد عني الحاجة الى ايراد ذكرها وشرحها في هذا الكتاب
المطهر لتكون وسيلة للمستفيد وهداية للطالب المريد وهي
غرض هذا الكتاب غرضه ومرتبه وجميعه نسبت
واسناده وقبوله الاول الغرض من هذا الكتاب
المحتمل ان يكتبه احياء الدايه ابنا البشر واتصل لهم بباريهم
قولا وفعلا فاما بالقول فانه يدعو ويحدث الى معرفت الله
تبارك

تبارك وتعالى وتوحيد جوهده وداته وتبليغ اقايمه وبعثاته
وانحاده بالتحديه وشرح ما اختصره من امر قلبه في العالم من
وقت ولاده من العذري اظاهرة الى حين قيامته وصعوده الى السماء
واما بالفعل فانه بادابه العاليه يودي الى اخصال الجمله الكاملة
والشيرة الحسنة الفاضلة وبواعيده الذي صرح بها وقال من يحفظ
وصاياي يعمل الاعمال التي اعمل وافضل منها يعمل وايضا يكون له
حياه ابدية ومشهور ان الذين عملوا الوصايا ظهر على ايديهم
الغرائب من الايات والبراهين والمجرات حتى اتم كسوا العمى
وظهروا البرص وقهروا الموت فشرقت نفوسهم في الدارين العاجله
والعاجله وبوعيد انتقامه ابتعد عن الابرا فتنال الردايل
والشبهات العالميه غاية البعد واجتنبوا النظر اليها
والذكر لها فصفت عقولهم وذلت قلوبهم حتى وصلوا الى الرتبة
الملائكيه فبادابه ووليده ووعدده ووعده امكن ابنا البشر
الاتصال بباريهم وانفعوا افعاله ويرثون ملكوته الثاني
المنفعة والمنفعة هذا الكتاب المطهر ايضا فانه ما يتلى ويقوم
حصول الخلاص لادم وذريته من بشي الشيطان وهو ضوا عن
الظلاله بالهدايه وصعدوا من الظلمه القصور الى النور الاعلا
وتلاوا بحلاوت الحريه بعد الغفص عمرات العبوديه وذلك

ان البشير كان ربياً كبيراً في ملائكة السماء ولما تعدى بطوره بظلاله الكبرى
والتعاطف وخرج عن كبد المرسوم له من بارية سقط من رتبته وسقط معه
جميع الطغمة التي واقفة هواه فصار الى الارض يتصرف فيها على حسب
اختياره بتيجه وصلفه كيف شاؤ حيث شاء لادب لسلطته التي خلقها
في ذاته لم تنزع منه فحينئذ الشغل فيما بعد جلال المرتبة التي كان
فيها وشرفها وتذكر الفرح والتنهيل الذي كان يخص به مع الملائكة
والرؤساء والملائكين السماوية باختلاف احوالهم وانفاق الحاجم فضلاً
عن المشرو والاشتهاج العالي الفايق الذي هو لتقرب من الله عز وجل
تعالى ذكره علواً كبيراً وما صار اليه بعد ذلك من الانحفاظ والظلمة
المحذرة به بل واستتم له عليه وتعلوه عن انوار الملائكية البهجة
بالاشكال النجدة فافكر بفضمته وكبرياه وقال ان الله مضطرا لي
اعادني لعمارت المرتبة التي خليت مني فكر العواني فعلم الله جل ذكره
المحيط بكل شيء علماً فكرته الشؤ وعظمته وتوكله افكار الصلح
التي هي النواضع والتوصل اجزومه فكلته بخلق الانسان
تبليتها ظاهراً عما احسنه في خلقه ادم لانه راى من العناصر الاربعه
وهي النار والهوا والارض والماء جثمه منتصب القامة مالك القوتين
النباتية والحيوانية فالقوة النباتية هي حركته تقبل النمو والاضمحلال
علي

3
علي التناوب في جميع الاقطار والقوة الحيوانية هي حركته الارادية
وضرب من الادراك الحي في هذه القوة اعني لحيوانية يوجده البصر
والسمع والذوق والشم واللمس ثم القيام والقعود والحركة والسكون
والشهوة والتوليد والفضة والنجس والاشغال والاشقام والفرح والحزن
والنوم واليقظة والحياة والموت ونظاير ذلك كالحج في بقية لحيوان
ثم شرفه بعد ذلك بالنفخة التي هي شئمة لحياء الروحانية التي فضلها
علي لغير المخلوقات التي تحت السماء وقاراً ونوعاً بالقوة النطقية
التي هي صورته لله وشبهه كما قال الكتاب وهي محسوسة لا منفعة
ولاماتية ماله لجثمه وقواه من اجل اتحادها به اتحاداً اجتماعياً في
كل الاعمالها يوجد الادراك العقلي الذي هو التمييز والتمييز ومعرفة
الزمان والمكان وجميع الامور المملنة كما هي عليه باستطلاع ذاتية
متصوره بغير انفعال وجعل لها السلطنة في ذاتها والتصرف في
ارادتها لاجباره ولما تقتضيه ليكون فضيلتها وادبها باختيار
عرفها نظير الملائكة فكلت خلقت ادم علي هذه السياقة وفيه هذه
القوى الثلاثه القوة النباتية والقوة لحيوانية والقوة النطقية
ولما شاء نورانياً وجعل له سلطاناً ذاتياً ولعمدة الموت وصار علي
جميع المخلوقات التي تحت السماء ملكاً وخلق من جثمه معينه له وانما ها
حوي في اسكنها في دوشرع ان النعيم الشرقي وفوز لها ان يتمتعاً

بجميع الخيرات الالهية بلا مانع وحدها وصية في شجرة واحدة فقط
وهي شجرة معرفة الخير والشر قال لها لا تاكل منها وانه متى اكلت
منها موتان وانه بقبول الوصية يكون لك حياة وبخلافها يكون الموت
وان للشيطان لما راي عظمهايه وكرامته والنور المشتمل عليه وعين
ذاته انه بعد الجلاله والرتبه الشريفه صار صغر وحقا وانقطع رجاءه
من الفكر الذي كان يراه اذ كان يظن ان الله مضطرا اليه فيعيد
الي مرتبته ولم يبق له ما يتمسك به سوى خديعة الانسان لكي
يجرجه من طاعة باريه فاتخذ له الحيلة بالشر ونجس شاكله واقبل
حول الانسان وهو ضيق لحياله من شرب يتوجه به من تلك الشجرة الخسنة
فوصله واذا هو ومغيبته قد استولى على جميع اشجار الفردوس خلا
الشجرة المنهي عنها فعظم فرجه ووثق بانه قد ظفروا لقلبه في
خروج ادم وحوي من نعيمهما فاختفى في جسر حمية وجعلها له
للخداع ونظاها لنصيحته الملوغ غشا حوي وقال لها لما اقال
الله لكما لا تاكل من كل شجرة الفردوس فقلت له نحن من الكل اكلون
فامثرت الشجرة التي في وسط الفردوس قال الله لا تاكل منها
كيلا تموتان قال لها ليس موتان بل ان الله يعلم انكما يومان تاكلان
منها تنفتح عيونكما وتصيران لهمة مثله تعرفان الخير والشر
واقنعن ان اكل من الشجرة وتطعم ادم فيصيران يعرفان الخير
والشر

والشر فلما نجحت الي كلامه قوية عليها شهوت الدوق مع طمع الكبرياء
فاثرة واكلت من الشجرة ولطخه ادم وخوجا عن امرانها وخالفا
الوصية وصارا قاتلين لانفسهما فنفيا عن الفردوس الي الارض الذي
للاام والرويات الخسيسة والشقوة والقيش الذي وحكم عليهما في
الاستنها بالموت بعد ان غرا من النور المشتمل عليهما وبخ ادم من الله
علي معصيته وقد سبق الايضاح ان النفوس الناطقة غير مجبرة ولا
مقتسرة وانها لو امت علي الطاعة لكانت مهيبة بنور الطاعة
ولما نجحت الي المعصية اظلمت بظلمت المعصية لاختلا حجبها
في اراقتها ولذا ليس مستوجب الايمان النعيم اذ اجمع الي الخير وعمله
ويستحق العذاب اذ اجمع الي الشر وعمله فجنح ادم الي طاعة
الشيطان ومخالفة باريه صار عبدا للشيطان ونجس ملكة
وصار في الارض حزنيا كيبا علي ما قدم عليه من المعصية ومخالفة
لوصية باريه ورفط ما اصابه من الحزن والعويل وشك الدرع الحان
نسي النعيم الذي كان فيه ولم يكن له مع بكايه علي خطيته فكرا اخر
فعل الله تعالى ذكوه ندامته وحرقته وشدت ما اصابه تراا عليه
وهه وشا خلاصه من ورطته لنوعين الواحد لاجل توبته وشدت
بكايه في طلب الغفران ونسيانه الفردوس ولدت نعيمه والتاني
لاجل انه اختنع اختدعا ثم ان الشيطان ملك القوه والقلب

علي ادم واستعبده وصار في شره وجميع نسله معه واستولى عليهم
الشيطان بخلافه بانواع مختلفة ومخبر متابعه فمنهم من اوجبه ان
لخليقه منفعة من انما تغير مدبره كالتأثير من شره اوجبه ان الشمس
والقمر مدبرات العالم ومنهم من اوجبه ان عبادت الالهات والبهائم هي
طريق الحكمة وبها تدرك الحجابات وتنبح الطلبات وانما هم الله
بغير وجلو في النفاق والودايل وتعبه المخطايا المختلفة من القتل
والزنا والكذب النجاسة والظلم والخيانة وعبادت الاوثان المصنوعة
والكفر بالله ونظام ذلك وصار الشياطين متوكلين بادم ودرسته
في الطغيان مثل الاشاري من انقضت حياته منهم اذ قتلوا نفسه
في الجحيم وانتهت بهم الحال على هذه النظام التي تمام خمسة الاف
وخمماية سنة من خلقه ادم وان الله شأب رحمة خلاص العالم
وراي صنعة يده التي اخرجها من العدم الى الوجود وشرفها علي
شايو المخلوقة التي تحت السما قد كثرت وتزايدت في الشر والطغيا
من ابشر الشيطان وعبادته الموت فرحمهم بفضله واحسن التدبير
في افتكاكهم من الشره وسببه المهلك بما يليق بعذابه وانصافه
ولا يتركهم في الهلاك الى الغاية بيد الشيطان بحيث انه لا يعهره
بقوته الغالبة ولا باغتصاب قدارته ولا بالجماع عظيمة بل بالتواضع
والانصاف والتدبير السري المستغرب الذي يفوق كل حليم
وفهم

وفهم كل عليم فالانبياء الذين انزلوا على غير ابتداء كلمة الله الذي كان
كل شيء وبغيره لم يكن شيء لما كان لان كل شيء كل طبيعته تشبه طبيعته
والقياس يدلنا ان كل شيء لا تتأثر بضعفه مضجعه وحياتها مخطوفة
كأنها من تركيب المنقصر المتلاشي المتخيل الى العدم فاما كلمة الله
الغالبية هي صورت ان لم يتخالق حية جوهرية دائمة البقاء ثابتة
غير فاسدة واذا كانت هذه الكلمة مخالقة حية جوهرية دائمة البقاء
فقد وجب بهذه الصفات الجوهرية ان تسمى اقنوم لان لفظة الاقنوم
عند المنكمين بالعلو هي ما كان له صفات جوهرية وانه اربعة اشية
ابية ومشرت الروح القدس ان يهدي جميع النفوس المحصورة في
ظلمت الموت وقهر الجحيم بقنومه المقدس فحجب نور الالهوتة الذي لا
يتأخر ان يرى يتجسد من روح القدس ومن مريم العذراء لكي يتقرب
منه العلو ويدنو الاله ويحبه بكيفية البشر الذي تحت ملكه وفي
سبية وكبريه مجراهم ولا ينفذ من عظمتهم اذ اراهوا ومعجزاته اذ اهو
شاهدنا ان الشيطان بخلافته استأثر بالحية حتى استولى
وتغلب على جنسنا من العدم ولذلك كان خلاصنا من الشر يا حجاب كلمة
الله بخنثنا واتحاد به حتى فدانا منه وخلصنا بحكم عدله وانصافه
وصار الى كل ما هو مشوب للبشرية ملخلا لخطيئة وبعد هذا وقبله
لم يبق ارق كرمي مجده ولا يتعجب احد من هذا القول وذلك ان جنسنا

عن المخلوقين لا يحوي طبيعة انفسنا النطقية من اهل جلد الجسد
لجل انها تنشط الى علو السما وتزلي القوات السماوية والمخلوقات
العاوية التي اهاضنا في البئر ويوحنا ابن زبدي وغيرهم ولا تنضب
هذه النفوس شي من كثرة الجسد فلا يقال اليها انها اقنوم الكلمة
بالانسان ولم يفارق كرتي فاذا كان ذلك كذلك فلم يكره ان يزل المخلوقات
وباربعها ثم اظهر قوته وعظمته بعد ذلك بالجاسبات التي صنعها ثم كشف
الحق في طهير الابصار والخاص المؤمنين ولخراج الجان من المعتريين
والشفا من الامراض المختلفة وزجر الرياح والشمس على الماء واشباع الوف
من الخبز اليسير واقامة الموتى من القبور وغيرها وهذه الايات علمها
بعدي انواع احدها ان يشاهد الشيطان عظمته وقدرته حتي تكون
حجته واضحة فيما هو مزعج ان يجعله معه كساير الالهة ولخدا الطائفة
وتأنيبها ان يكون انتقامه من الذين شاهدوا هذه الايات ولم يتبعوه
ثم ابتعد وامنه وظاهره بالنفاق والعدوان يحكم على الحق والثالث
ان يكون للذين امنوا به تقوية لعقيدتهم وتبائنا لغزيمهم والرابع فانها
رشد الذين يرجعون عن الضلالة ويتبعون الحق فاما ما كان يظهره
من الاعمال التي تليق بالبشرية من الحزن والوجع والجوع والغم واحتمال
الآذي والمكروه ونظاير ذلك فانه اراد بذلك نقض حيل الشيطان
لانه اذا كان يشاهد معجزاته واياته يتعجب ويتعبد من عن التوكيل

به والهزوع عليه وتي شاهد شيا من النقاير والبحر يشمخ ويطلع ويؤد
الي التوكل به مثل السير في يديه فجعله ونقض حكمته بهذه الاحوال
المتناقضة المتخالفة المتباينة فانتكس له عجزه وتقوى حكمته وضاق به
اجيله ولخدا ليعلم من تضاد الايات الباهرة والنقاير الظاهرة وكانت
الهادجانية كهنات اليهود ان يحكموا على المجرمين وارباب التبعات
والبدع بالصلب فوسوس فيهم الضد الكاذب بان هذا يسوع قد حل
الناوس وصنع الايات والمعجزات في يوم السبت وقد صار له تلاميذ
كثير من اليهود وان غارت الحما على ما هي عليه تبعه اليهود باسهم
لاجل ما يشاهدونه من عظم اياته ومعجزاته وما يجدون عليه جلاله
اعظم من ان يقولوا بل لا طس الى ان هذا قد ثبت لنا عليه التجديف
على الله وعلى الملك لانه تارك يقول انه ابن الله وتارك يقول انه ملك
اليهود وتكر من الناملك غير قيصر وقد حكمنا عليه بموت الصليب فانتبت
الحال الى ان بيلاطس امكنهم ملحكموا عليه ولجأهم به اليه كرها
فاسلم ذاته للموت بارادته الاختيارية ليفدي ادم من الموت لان ادم
قد كان يحب عليه ان يموت مصلوبا مهنوكا لاجل تجاوز امرخالقه
وصارقاتوله لانه منيته اعد الموت لنفسه والمعموم ان سيدنا
المسيح انما كان مجيئه واتحاده بالبشرية لا ليقضي ما وجب على ادم فبعده
اوجب على نفسه الموت الذي وجب على ادم وقبله في الجسد الذي هو

عنصره حتى فداه من الموت وليظهر لنا بذلك طريق الفضيلة بأنه
 اسلم ذاته للموت بالصلب بعد تمكانه في مجلس الحكم ولم يجعل له جبر
 يدانه ولا عيب وذلك ببلطس شهيد وقال اليهود ان هذا
 الانسان زكي بار ولا يجب عليه خطأ ولخدماء وغسل يديه وقالوا
 يري من دم هذا الزكي البار كما شهد الكتاب فاذا كان القادر على كل
 شيء اجل ابتكاره بحسنه في الضعف عن قوته ولا تضاع عن رفعة
 والموت عن قوة قناعه ان نأخذ به نحن انفسنا الدليله الحقيقه ولو كان
 سيدنا فخر الشيطان بقوته الغالبه فما كان ذلك عجباً وكان
 الفضيله فيه غير محوره ولا معدومه وانما الفضيله الممدوحه هي
 هذه الغلبه على هذا الوجه العجيب المستغرب التي تصعب جداً
 الذي صار لنا امور دجاً وفتناً مغشواً حتى طوبنا بالسلوك في
 هذا الباب الضيق وما اقل من يسلك فيه ولما اراد ان يسلم الروح
 بارادته الاختيارية قصد الشيطان ان يترها بغيره وابتسم ان
 فخره الرب وكشف عنه الغطاء قراي جميع قوات السمايين
 من تحت حول الصليب المقدس فوخر بالصعب الشديد واخوف المزيه
 وتحقق انه ابن الله على يقين هذه المشاهده من المشاهده التي
 سمعها من السما باعلان عند الاعتماد في نهر الاردن وعلى طور ابور
 ايضا ثم انه التهب التها بامنه وبه وبقي متوقفاً في جوار الهيولي لا يقدر
 ان

ان يزول وصارت اعماله جميعها واعتماده مع السيد متصوره قدامه
 مثل مقاومته التي قاومها والمناصبه التي باصبها متوقفاً ما يأتي عليه
 من الشحط والجلاء ثم تذكر الكرامه التي كانت له اولاً مع الملايكه
 وانه ما ارادته حتى تسقط وان الله ابني عليه سلطته الدائيه
 ينصرف بها وهو قادر على ان يراعها منه والاهوال الذي قدمه عليها مع
 البهور وانما الله له عليها ما تستعظم قدريه ابن الله وان السماء
 وما فيها والارض وما عليها لا تنقوم بقدر وقوفه بين يدي سيدنا بطس
 طوفه عين لا سيما ما كان قبله وبعده فلما علم الله بفكرته خفق عنه
 الضيق والهيبت ليكون قيامه بالديه عن رضا اختياره فلما انحل من
 يابطه وخدمه الهيبة وقفا امام السيد خاضعاً ليدلاً رغباً في رفع الثقله
 عنه واستمراره على قلعه في الارض ويرفع يده عن ادم ودريته الدين
 حصوا في اشره وبرضا غير قليل فاجيب شواله واضعه سيدنا
 ادم ودريته جميعاً من بحيمه واعاده الي تبت الاول في
 فردوس النعيم ولبانز البراز من المدييه معه على حكم الانصاف
 والعدك والاشترار تركهم في التوكيل مع جنوده الي يوم الدينونة
 وبعد هذا قام من الاموات ليعلمنا بقيامتنا جثادنا بعد الموت
 للرضا والديونه والقضاء وصعد الي السموات ليحقق لنا صعود
 الصديقين والابرار بعد القيامه الي الملكوت المعده لهم

وارسل روح قدسه ليعتدي بها الي سلاو الطريق التي تؤدي للخلاص
فقد بنيت منفعة هذا الكتاب المظهر وكثرت رعا الحاجة الي
تلاوته لرب كان مننا صامدا وقال الثالث الرتبة وثبت هذا الكتاب
الشراف مع امة قرائه وصرفهم في حفظه ما بينه واياته
والتمثل به علما وعملا والقيام بفرائضه قولوا فضلا والرجوع في ابود
ولغوره وامثاله المضروبة الي تنافس المردونه المستوية فعلى ذلك
يتبين لغازي تفصيل حمل معانيه بافصح البيان ونغور بتفصيل
كلما فيه على غاية البرهان فقد تحققت رتبته وثبت مرتبته
والدابع السمه ودرهم هذا الكتاب مشرفا بحيل والانجيل
لغظيم وناحية وتغييرها البشري وامان بشره انه بشر بالسب
في اتحاد كملت لله بخسنا وحلول روح القدس علينا وفينا فمسا
اعظم هذه البشارة التي بها اهلوا ابنا البشران بصيروا هياكلا
لله ومثالا مقدسه وصار لهم افضل لشرق مجلات هذا الوقار
فيما لهذا الشرف العظيم والوقار الجسيم وبشرنا ايضا برضا الله
الله تعالى على ابنا البشر وغفرانه الزلات وابطاله العقوبات
وقمع شوكت الطاغى المارد ودلت برباه وايضا بانعم به علينا
من دعوتنا بالابنا وبالنعم المعد لنا في الملكوت السماوية وحياته
الترمديه فقد تبين اسمه وعلة رسمه اخامس السب

وثبت

31
وثبت هذا الكتاب الحكيم الي الله عز وجل وكان هذا الكتاب له
البيعة وبشرون اثنا عشر منهم من رسل الاشع شرحو الي الذين قد
لخناهم شيدنا ثم جعلت للتلاميذ وانما هم رسلنا وهما متى ويوحنا
ومنهم اثنا عشر تلاميذ الرسل لخدمهم مرقس وهو كان تلميذا لبولص
لبطرس والخر لوقا وهو كان تلميذا لبولص وكتبوا ذلك في اقاليم
متابعه وانهم منه متغيره بالشر مختلفه وانفقت معاني الماظمهم
على نظام واحد فكان ذلك افضل البرهان لحقيعتهم واجل من
ان يكون الكتاب واحدا وانتشرت هذا البشري في اقطار المسكونه
وردت ورثت بغير تغيير ولا تبديل فقد ثبتت نسبتته الي صاحبه
وكانتبه وان كان له اشاعه وهي لا يبيعها ولا يجهل انواع
حكمه يقعد فان اسناد هذا الكتاب الحكيم وقصده الاجلاب
الي تهذيب العقول واستقرارها على مرتبته العاليه وتحصيل ذلك
بالمواظبه الخالصه التي بها يبلغ المصالح كحق ويقصدها على ما فيه
التمام والكمال وذلك ان الكلام الالهى عند الخلق والتشابه باليقين
الصالح ينتقل في النفوس الزكيه من المعقول الي القبول ويشرق
فيها اشراقا حتى يقوم ما فيها من صورت الله تقويا صادقا
بالادراك العقلي الذي هو ريش كل فضيله واذا كان ذلك كذلك
صرا مستعدين لقبول روح القدس بالعباده الالهيه وبهذا

ولجب علينا الدوام على غاية الطهارة والنقاوة التي بها صرنا
اهلاً لقبول هذا الناموس الالهي الروحاني الذي ينطق به بكل لسان
ولغة في جميع الأقطار على غاية الفصاحة بتأيد روح القدس وايضا
يمتظنا على معرفة انزلية الباركي وابتدائه تبارك وتعالى ان يبتدع
خلقته العجيبة الباهرة وتدير سياسته البديعة الظاهرة
فقد تبين اسناد هذا الكتاب ولاي امر يصلح والسابع فمحمولة
وفتحو هذا الكتاب مكرمة فانها مبينة فيه بياناً ظاهراً قوياً
وقوياً مايا لقول في تبيين علي ميلاد سيده وتغلبنا من سيده
النور قدير الطاهرة وتصرفاته في العالم وتحت على الافعال
الزلية والاعمال المرضية ويدل ايضاً على صحة الموعد عوذية الحياه
الدنيه والمعدن الخيرات العتيده ويذكر بوعيد الدينونة وايضا
الانتقام بالعدل على حسب الاعمال في السعي في هذه الدار الزائلة
والفحص عن الضمير الخبيث والافكار الذميه والالفاظ الفاسده
عند تمام ذلك نهاية غايته واماً بالقول فان كل واحد من المبشرين
الاربعة فصل في كتابه خلاص فصول غير من طريقه لطويل
والاختصار غير ان المعاني والآيات والامثال والشواهد
والوصايا قصد جميع فيها واخذ من عدد الحكايات المتآلات
الاربعة مما يتي في تفصيل معاني كل مقال منهن في اولها
وهي

القانون الاول
متي ومقرض ولوقا ويوحنا
ثلاثة وسبعون جرد
القانون الثالث

وهي علي ما يتي بيانه رومياً ما يتان وتسعة عشر فصلاً منها
متي ثمانية وستون فصلاً ومقرض ثمانية واربعين فصلاً ولوقا ثلاثة وستون
وصحافون فصلاً ويوحنا عشرون فصلاً ونعت الفصول
الصغار التي رتب القوانين بحسبها علي ما وضعه الابواب
الفاضلان القديسان اونيوس واوشا نيوس صلواتهما تكون
معنا فمحي الوفاية خمسة وستون فصلاً منها متي ثمانية عشر
وصحافون فصلاً ومقرض ما يتان ستة وثلاثون فصلاً ولوقا
ثلاثة اثنان واربعون فصلاً فاد اقد ذكرنا ما وصلت القدره
اليه من الاختصار في شرح اجوامع السبعه الذي قدمناها
بدياه وتتلوا ذلك عار تبه الابواب الروحانيان القديسان الفاضلان
اونيوس واوشا نيوس من القوانين علي معنى الاختصار والاختصار
من اجل الاربعة اناجيل المقدسه للاتفاق معانيها وجعلناها
مقتضي ما ينساق وفرقاً لها عشرت قواني تحقيقه جلالها
ستماية وستين جرد

القانون الثاني
متي ومقرض ولوقا
ماية واحد عشر جرد
القانون الرابع

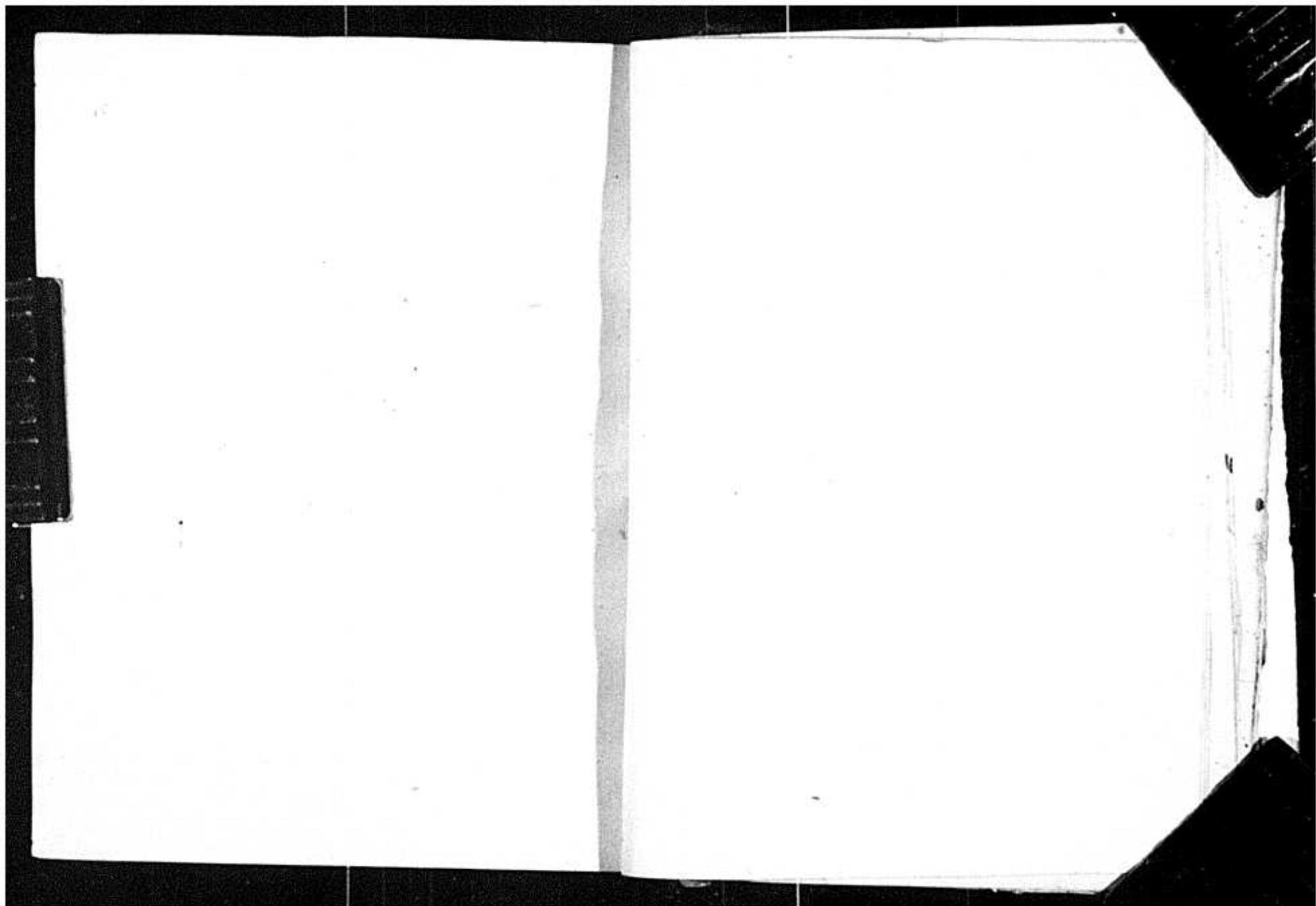
متي و لوقا و يوحنا
ولقد وعشرين جداول
القانون الخامس
متي و لوقا
ثلاثة وعشرين جداول
القانون السابع
متي و يوحنا
سبعة جداول

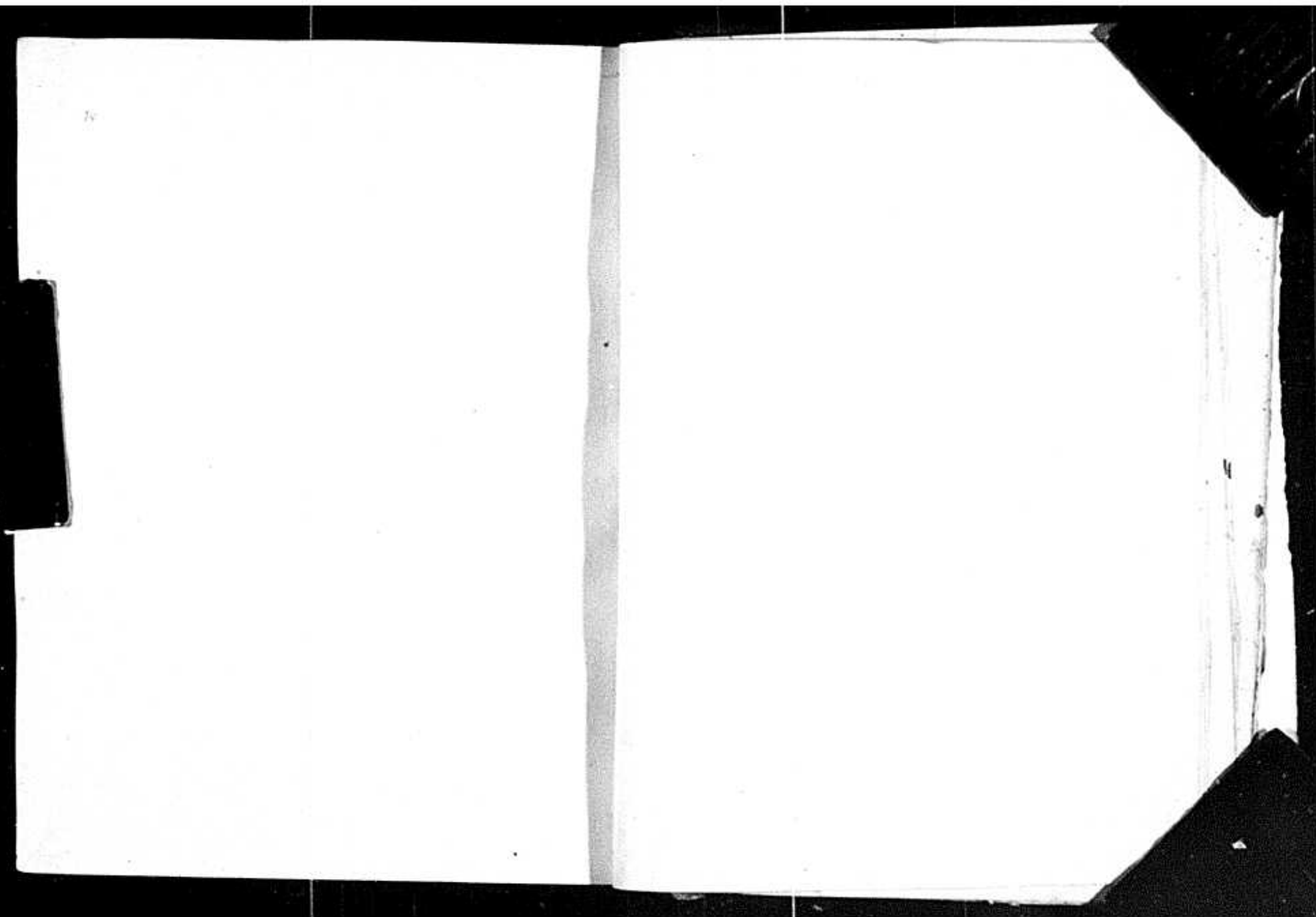
متي ومقر وبيع حيا
ثبته وعشرين جلد
القانون السادس
متي ومقر
ثبته وعشرين جلد
القانون الثامن
مقر وبيع
ثلاثة عشر جلد

القانون التاسع لوقت يومئذ عشرون جـ
القانون العاشر ما اقرب به كل واحد منهم ما يتان ولا جدولا

القانون الاول ثلاثون بقية جلد

[illegible][illegible]





سيد الله القوي

وَهَذَا قَصُّ فَاتِحَةِ الْإِنْجِيلِ

بَشَارَاتِ مَنِ الرِّسُولِ الْمَصْطَفِ

الفتح الموكب

کتاب میلاد یسوع المسیح ابن داود ابن ابراهیم

فابراهيم ولد اسحاق واسحاق ولد يعقوب ويعقوب

ولديهوداواخوته ويهودا ولد فارس ونزارح من

تمام و فارسی از احمد بن محمد بن حسن بن علی بن
ابن ابی عمیر و ابن ابی عمیر و ابن ابی عمیر

وَنَسُوهُمُ وَلَدَيْنَا مَنَاسِكِينَ وَلَدَيْنَا مَنَاسِكِينَ

بَاعَانِ وَلِدَعُو بَيْدٌ وَعَوْلُبِيدٌ وَلِدَايْتِيَا اَيْتَا وَلِدَاوُودُ

الملک و داور الملک و الدعیمان من امرات اوریا

يَتِيمَانِ وَلَدَا رَجَبًا وَرَجَبًا وَلَدَا يَتِيمًا وَيَتِيمًا

انما وانشأ ولد يوشافاط ويوشافاط ولد يورام ويورام

ولادعوزيا وعوزيا وليوثام وليوثام ولدلخاز ولدلخاز ولدحزقيا
وحزقيا ولدمنشي ومنشي ولداسون واسون ولدبوشيا وبوشيا
ولدبوشيا ولدخوتفي بشي بابل ومن بعد بشي بابل وبوخانيا ولد
شالاناييل وشالاناييل ولدزوربابل وزوربابل ولدابود وابود
ولدالياقيم والياقيم ولدعازور وعازور ولدزادوق وزادوق
ولدالخيز والخيز ولداليود واليود ولداليعازر واليعازر ولد
مانتان ومنتان ولديعقوب ويعقوب ولدبوشف خطيب
مريم التي ولدنها يسوع الذي يدعي المسيح فكل الاجيال من
ابراهيم التي داود اربع عشر جيلا ومن داود الي بشي بابل اربعة
عشر جيلا ومن بشي بابل الي المسيح اربعة عشر جيلا والمجد لله
ومولديسوع المسيح كان هلكا لما كانت مراه خطيبه ليوسف
قبل ان يتعارفا وجدت حبل من روح القدس وكان يوسف
خطيبها بارا فلم يرد ان يشهرها وفكر في ان يتركها سرا وفيما
هو مفكر في هذا اظهر له ملاك الرب في حلم قائلا يا يوسف
ابن داود لا تخاف ان تقبل مريم امراتك سفان الذي تلده هو
من روح القدس وتولد ابنا وتدعوا اسمه بشوع لانه يخلص
شعبه من خطاياهم وهذا كله كان لكي يتم ما قاله الرب من
قبل النبي القايل ها هي العذري تحبل وتلد ابنا ويدعوا اسمه
عماويل

ث
ا
ث
ث

اشقيا

عماويل الذي تجتهد الله معناه فقام يوسف من النوم وصنع كما امره
ملاك الرب وقبل مريم امراته ولم يعرفها حتي ولدت ابنها البكر
فدعا الله يسوع والمجد لله دائما التغشتر معا وان السب الذي
من اجله قال البشير كتاب ميلاد يسوع المسيح ولم يقل كتاب تصرفات
يسوع علي انه تضرع عماده وصلبه وقيامته وغير ذلك كما يجري
جواه يحتمل ثلاثة معاني الاول منهما ان هذا المولود الذي ابتدي
بذره البشير هو ميلاده من العذري الطاهرة فجمعه بدوا لا يحيل
لجل انه ابتد كل الخيرات وعمله لكل الممدوحات وبه حصل
التدبير الخالص انما البشر لان ذلك ان اعلا واشرف من كل
امور جاء بان يكون المولود بالانثى علي غير ابتداء من الاب وخارجا
عن الزمان ولد من امراته ميلاد انانيا ويكون ميلاده ابتدي
تجديد العهد الجديد بكمياه فينا والتماني لاجل انه بدايه للتصرفات
فوسمه الكتاب ولهذا اسمي السفر الاول من التوراه وسعده
لخليقة الاله اول بدايته في امر لخليقه وان كان قد تضمن
امور غيرها والسفر الثاني منها سفر الخروج وقد تضمن غير الخروج
والثالث ان الولاده تقال علي حقيقته والاستعارة اسما
بالحقيقه فتنقسم الي ثلاثة اضراب الاول الولاده الطبيعية
كولدت امها بميل وشيت والثاني الولاده المعجزة لقول

السيد لم يولد من الماء والروح لا يعاين ملكوت الله والثالث الي
 الولادة من القبر لقول الشعياء النبي ان الارض تطلق في يوم
 ولحده وتلد شعبا في ساعه ولحده واما بالاستقاره فتقسم الي
 اقسام كثيره اولها لقول الرسول يا ابني انا ولدتك بالبشاره بيسوع
 المسيح وفي القتاليتون ايضا هولب فولدنا بكلمه لكف واما
 الولادة هاهنا اراد بها الولادة الزمنية الذي ظهر بها الكلمه
 متجسدا من روح القدس ومن غير العدي لان ميلاده الاول هو
 من الاب قبل الدهور ميلادا ازليا وميلاده الثالث هو من المعجزة
 والرابع مولده من القبر لقيامته من الاموات وتفسير يسوع باللغة
 العبرانية والسريانية والمخاص والمسيح الشريش من المشحه
 اي الدهن لان روح القدس قام للجسد مقام الدهن الذي كان بنوا
 اسرائيل يتوارثون به الملك والكهنوت والسبب في قول الانجيل
 ابرداو ابن ابراهيم وانه قدم داوود علي ابراهيم ثم عاد نسب
 النسبه الي اسفل حتي وصل الي داوود وانتهى الي يوسف
 خطيب مريم وهو ان ابراهيم سبق له الوعد وذلك الله قال
 له ان بك يتبارك جميع الامم وبنتك وداوود لم يجهل انه من
 الدايه لانه نسل ابراهيم ولم يكن فيهم من اصطفى مثل داوود لانه
 اعطى النبوه والملك فوث الموعد الذي لابراهيم فصار له
 بحق

وبساده الثاني هومن روح القدس
 ومن مريم العذراء

بحق ثم وعده ايضا زياده علي ذلك قوله اني اقسمه لداوود وعبدتي
 اني اقترن زرعك ابرداو ابني كرشيك الي ابد لا يباد وايضا اني اشرت
 زرعك الي ابد لا يباد وكرسيه كايام السما ثم قال بعد ذلك اني اقسمه
 بعدتي ولحده اني لا اغدريد اوود عبدتي وزرعك يثبت ابرداو وكرسيه
 كالشمس اري وكالتعمر الكامل ابرداو فقصد الانجيلي يذكر داوود
 متقدما لاجل ان موليد الله صارت اليه ولن يجوز ان يقال ان
 هذا الموليد حكمت في غير المسيح فان ذلك يضر ظاهر وان دام
 لحدان عاري بان هذا صارت الي كحدن نسل داوود فلم يثبت له
 ذلك البته فان قال ان ذلك الموعد لجميع بني داوود وان اياهم
 جائز بسلطان الملك من غير تغيير كايام السما والشمس والقمر
 لم يكن لقوله ايضا معناه ولا ثبات لانه في زمان لجميعهم بن سليمان
 بن داوود ملك كشرت اشباط ونفرو اشبطيين من الكون مع جنس
 داوود وهذا في اويل الامر واقاموا لهم تياسسا منعده لهم خاصه
 الي اخر الامر ثم انقضي ملك الشطيين ايضا في سبي بابل فكيف
 تننا الماري ان يتاوا وعد الله بكل جهة من لجهات المخافه
 لما ذكرنا ولم يوجد كاديا بل ثبت قويا صادقا من غير ان يدع
 لهوي اليهود حجه ولا لهوي الوثنيين ايضا الذين يريدون
 ان يثبتوا ان موعد الله قد خلف اذ انقضى في الامور التي

سلم

فعلت علي يدي يسوع المسيح الذي هو حق ابدًا تاينز الملك الذي لا يزول
ودلك ان المؤمنين به المقربين بربوبيته ملكهم داير علي سياقته
وبعد منتهاه يشرق جلاله عظيمًا ظاهرًا فيوميد ليس تقربه الذين
اموا به فقط بل جميع الناس كافة من كل مكان يهدونه ربًا ويعبرون
له السجدة الواجبة التي وجبت له من اجل اتحاده باللاهوت الذي لا
انفصال لها فكان قصد الانجيلي ابيان للشهود ان المسيح قد ظهر
من جنس الذين اتوا الموعد كما قاويل الانبيا لانهم ياتون اشراق
المسيح من بيت داوود كما هو مكتوب فحق لمحمد الحق الموعد الذي
عهده الله به الاباء حتي لا يكون للذين لم يؤمنوا بجنسهم سبب
اعتذار ولا حجة يحاجون بها فاذا قال قايل انهم خص ابراهيم وداوود
باسوع بان المسيح منهما يشرق فهو ان ابراهيم كان اول من اسر الله
في ايام الكفرة لانه استند علي معرفة الله والايان به بما راي من
التخليف ومن تغيير الموجودات فدلته البراهين الصادقة انه
لا بد لذلك من صانع فامن بغير شك ولما داوود فانه كان اول
من ملك علي بني اسرائيل ولم يستكبر ولا يحجب نفسه فوعدها
الله بهذا الخير مجازاه علي حسن نيتهما ايوتنا فخر الذهب
يعسرفان قال قايل ان شاوول قدم علي بني اسرائيل قبل داوود
فيقال الا انه لم يعد في حملت الملوك الاحياء لاجل انه كذب الله

واعصا

نار

واعصا وصيته وجعل شواله للمرافين لالله واخر امره انه
انتضا شيعه وقتل به نفسه قال لما اذكر الانجيلي داوود بديا
لان داوود كان مذكور من كل احد من اجل كرامته ومن اجل قرب زيارته
لان موته لم يكن بعيدا مثل ابراهيم واذا كان الله جل اسمه وعدا لانيين
لكن الانجيليين اخروا ذكر ابراهيم بعد ايامه وطولها وداوود في كل
وقت كانوا يدعونه بالملك ابوه واليهود كانوا يقولون ليس المسيح
يظهر من نسل داوود ومن بيت لحم الضيعة التي كان داوود هو
يسكنها وليس احد دعاه منهم انه ابن ابراهيم وكانوا اكتم يدعونه
ابن داوود من اجل قرب الزمان كما ابتدأت وقلت من اجل الملك كان
هذا ذكره في كل وقت وكان مذكورا معصروفا عند كل احد لانه كان
له الملك ابوة ومن زعمه ظهر المسيح بالجسد فاما ذكر الانجيلي
من اخرج ادا كان ليس له فيها علقه لانه عند ميلاده اخرج بيده
اليهم فعملتها القابلة بخيط الحمر لتعلم انه البكر وبعد ذلك
قبضتها وخرج فلا من ثم خرج بعد كان زارخ فصا ابدلك
ما بين الملتين لان السنة المسيحية ظهرت لها مثال بشير في
ايام نوح وملشني صدقوا ابراهيم ويعقوب وبعد ذلك ظهرت
السنة المسيحية وانتشرة في اقطار الارض وهذا سبب ذكر
زارخ ويسئل ايضا الشايلها هنا ويقولون ما بال البشير

ترك ان يقول ان اشحاق ولد من شان ويعقوب ولد من رفقا وقد كانتا
مشهورتين بالتقا والبر ومروفتين بالصلاح. وذكرنا ما رآه هذه التي كانت
كنت يهودا ولم يكن عنده ان يحل ان ينكح الكوكبة وانما باضعها
يهودا بالحدايه منها له. وكذلك راحب هي التي كانت تسكن على الصور
وهي التي اوت لجاشوسيين الذين وجعهم اشوش ابن نون ليستخبروا
خبر اريحا. ثم ذكر ليعوز ايضا الذي هو ابويه ولم يكن في السنة
ان يحل ذكها. وتعد جنس اشراييل لاجل انه قبل لا يدخل الموالي
والعالي في بيت الله الي ثلاثة قرون واربعه. ثم ايضا ذكر امراة اوريا
لاجل ان داود اخذها علي غير السنة. الجواب في ذلك ان الانجيلي
لما اراد اخاض حجة اليهود الذين كانوا يعيروا الكواريون بادخالهم
الامم في الايمان بالمسيح. ذكر هو لاي التي هي افعال قبيحة ومن الاسم
الغريبه وذلك ان اليهود كانوا معتزلين من الامم لاجل انهم
مخالطتهم وهذا الامر كما اخبرنا كانوا اليهود يهون الرسل كما فهم
بضادون لتوراة التي ابراعت الخلق. وهم كانوا يقبلون من كان
من الامم من حيث ما اتوا وبما نوههم علي حقيقة الشرائع من
امن من اهل التوراة هذا ان اقترابوا من الايمان بصير صادق كامل
فلحب لبشير المغبوط اظهار هذا اي ان قرأبت السنة ليست تغني
في عبادت الله اذ لم يكن معها ايمان ولا قدس ايضا من كان له
في

في خشية الله هوي صالح. وداود فقد ذكرنا بديا انه قبل الموعد في زرع
بعد ابراهيم بميلاد المسيح. ولم يعوقه ولوده مثل هولاي عن الفضيلة
ولا منعه ذلك من انتفادات هذا الداله عند الله ويومي ايضا عليه
بعد الشهاد له هكدي من اجل برة انه انما اختاره الله سليمان دون
جميع ولده بادن الله لكي يقبل منه سلطان الملك ان الذي لم يولد
في عدل الترفيح كما يجب به ومع ذلك لم يعوقه ولوده من امر غير شية
من الفضيلة ولم يحرم ان يحيا ويختار بالكرامة من دون اخوة لفضله
وعاوه عليهم رايه. ولما انتسب الانجيلي الي سليمان صغ جميع
من كان يتلوه الي ان شغل حتي انتهى الي المسيح. ولم يذكر امراة لانه
ما كان قصده الا ذكر سليمان وداود ابوة الذين هما فخر اليهود وان
ولودهما من هولاي المذكورات لم تمنعه عند الله ولم يعيقهما
من الفضيلة حتي جعل ذلك مقاومه للاعداء من اليهود في المسيح.
وتوبخهم لاجل افتخارهم بالنسب الطيب في الانتماء الي ابراهيم
بعدهم من النسب الي فعله الصالح. ولعلمهم ان النسب الاختياري
بالفضيلة افضل من النسب الطيب. وينبى ايضا علي حمت
الرب المخطاه وصرة عنايته اليهم حتي لا يطرح الانسان
الفضيلة لاجل ان اياه كانوا خطاه. ثم قصد ايضا بما معني اخو
وهو انه لكي تري اليهود انه غير مرابي ولا حابي وانه يقول الحق

وان صعد علي السامع لانه ذكر خطيت داوود وتوبته لينبه الخطاه
علي التوبة حتي لا ينقطع يوم خاتم الذهب ^{فقد} قال ان الانجيلي
ذكر سيرت يهودا وتبتهها وذكر ناما وراعوت فاما الولد فانها
من قبيله غريبه والاخرى فهي زانية كما نعلم ان مجي عاويل حل الشور
كلها من اجل حبت البشركا لطبيب يعالج كل العلل وخلصنا من امنا
وليس كلنا كما القاشي مثل الناس الاولين الذين اتخذوا النساء الزواني
فاما هو تبارك اسمه فلتخرب طبيعتنا التي نتجت قديما فطهرها
بلكن هذا الذي انشدوا الانبياء بذكره وذكره انه كان من البدي
معتني بشيخوخة فاما تاما فانها اختالت علي حاجيها وهكاي
الكنيه هي تباعدت من اقم ابائها وقامت لمحت سيدها وننظر
الان ايضا الي ولده راعوت كيف تب في النسب لان راعوت هذه
كانت من قبيله غريبه وقد نزلت الي فقر عظيم ولما اختارها
باعاز لم يزد ربحا لفقرها ولا دلها الغرب نسبها هكاي ايضا
سيدا المسيح لما اختار الكنيه التي هي كالقبيله الغريبه
وقد كانت في فقر عظيم فجعلها مشاركه للخيرات العلويه
مثل راعوت هذه التي لما فارقت ابائها الاولين ونسبها وولدها
التي لم يكن يستحق الشركه بباعاز هكاي هو ايضا مثل الكنيه
التي تباعدت من عاداتها الاولى وصارت محبوبه من سيدها فلما

١٠

لما تكلم النبي علي الكنيه قال يا ابنه اسمي وانصت وافهمي وانتي شعبك
وكل بيت ابيك فان الملك قد استنهي حشك ولما اكمل الانجيلي ذكر
الولادات فلان ولد فلان بعد ذلك لهم اثنين واربعين جيل لانه
جعل كل عدو ولدهم جيل فلهذا المجد فان ولادتين في جيل
منهم وينبغي لنا ان نعلم هاهنا ان البشير ترك ثلاث رجال من
اصحاب هذا القبائل لان يورام ولد اخاز ولخاز ولد يواش
ولداوصيا فالحجه في ترك ذكرهم ان اخاز ولد يورام ويورام هذا
كان من غتليا بنت ايريل وكانت كافره بنت كافره فلاجل ان
جنتهم يوول اليهما ولحقهم بها في الشر التي الانجيلي ذكرهم
والقبائل ان يقول لهم ذكر البشير اخاز ومنسي ويوخانيا وغيرهم
الذي علمنا الكتاب بانهم كانوا اشرا لجداء فيقال ان هؤلاء
المذكورين وغيرهم لم يذكروا البشير يوول امهم مع شرهم ان يكونوا كفرة
ولا قيمهم من هذا صورته وايضا ان البشير ما كان قصده عدد
التوليد لان غرضه انما كان غير هذا وهو ان يقسم القبائل ثلاث
اجزاء مما نذكره في موضعه مستانفا وتجب علينا ايضا ان نجث
هاهنا عن قول الانجيلي ان يوشيا ولد يوخانيا واخوته في بني يان
ويوخانيا ليس ولد يوشيا وانما هو ولد له لان يوشيا انما ولد
ثلاثة اولاد وهم ياهو ولخاز والياقيم الذي لقب بيواقيم ومتشيا

١١

فلحدهم وهو ياهو ملك علي الشعب مكان ابيه ثم ان تزج فرعون ملك
مصر منه الملك وصيره الي اياقيم اخيه وبعد وفات اخيه اياقيم
ملك يوحنا ياولده ثم لجله ملك ايل الي ايل وولي مكانه متياعه وشمه
صديقاً وان الانجيلي غني لخواه اعلمه لان الكتاب قد ثبت ان بشي
اولاد الاولاد اولاداً كما قال الابان ليعقوب ان البنين بني البنات
بناتي واما قول الانجيلي ان يوحنا ياولد في بشي ايل فيو خانيا صار
ملكاً قبل الشبي البابي والشبي كان في زمان ملكه وهو بشي الي
ايل والعلة في ذلك ان الشبي البابي كان ابتداءه الوقت التي تنبأ
فيه ارميا النبي عليه في زمان ملك يوشيا والسبب في ان في قال
زوربا بل ولدا يبور ولوقا قال زوربا بل ولدا يوشيا فكل واحد من التلميذ
ذكر اولاداً منهم او جعل النسب له كما قال في ثبت ولدا داود
لخدهم اذكر سليمان والاخر ذكرنا انان ولاجل ذلك وجد المعاندون
الطعن عليهم في انهم اكتبوا خلف الحق اوجدوا متي تنبأ سليمان
وابعد داود وابيه وانتها الي يوسف ثم نسب لوقا نانا بعد
داود ابيه مكان سليمان وخرج الي شاير الاحقاب حتي انتهت الي
يوسف ايضا ولجواب في ذلك اننا القبايل كانت تهددين
بني اسرائيل اما طبيعيه واما نسيه فالما الطبيعيه فهي تناسل
الديه الحكيم واما النسيه فان الناموس لم ير الانسان اذ تزوج

امراه

امراه ومات عنها ولم يخلو ولداً في تزوج اخوه امراه حتي يقيم
نزعاً لاختيه فكان قوم منهم نسبوا من اياهم بالحكه وقوم نسبوا
لاخزين علي السنه لان عشرين في سليمان وانا ان لخلط بعضهم
ببعض من قبل الذي ثبوت بغير نزع فيما عهد اخزين من ام واحد
واب واحد غير ايل الاخر لان الناموس لا يمنع اولاده ولا مطلقه من
الهنوت لرجل اخر وافيح ذلك ان يوشيا خليفه يريم اذ انتسبه
من بشارت متي في فوق كان الثالث متسان بن البعاز واد انتسبه
من بشارت لوقا ايضاً في فوق كان الثالث مطات ابن لوكي وذلك
ان متسان ومطات المقدم ذكرهما تزوجا بامراه الواحد هذا الآخر
لان متسان تزوج بها في الادوك فولاد منها يعقوب ومات ف تزوج
بها بعده مطات فولاد منها هالي فكان يعقوب وهالي امها
ولحد فانتينهما من جنسين مختلفين وذلك ان متي قال في بشارته
انه بن هالي والعلة في ذلك ان هالي تزوج امراه ومات عنها
ولم يخلو ولداً ف تزوج بها يعقوب الذي هو اخوه لامه فولاد منها
يوشيا ونسبه متي بنسبه طبيعيه ونسبه لوقا بنسبه نسيه لان
يعقوب اقام اللديه لاختيه هالي يوشيا ومتي لما نسب الاحقاب
في بشارته طبيعيه وجد المصادرا الذي كان يقصد لبطا لنسبه
المسيح الي داود وحججه بالنسبه علي السنه لان ثبت الي يهود

قل

كافه الي ابراهيم ليحتاج الي برهان فاعلمس لوقا الامر في النسبه
ونسب علي السنته حتي قطع الحجة وصارت نسبه المسيح الي داود
من احماسين وابطل قول من طعن علي المبشرين وادعا تضادهما
ولختلافهما اموثا يوش القيسراني يفسر قال لم قال متي نسبت
يوشوا انه ولد ليعقوب ولوقا قال انه ولدها الي هل تري الانجيلي
تضاد اني قولها معاد الله ولكن من اجل ان هالي تروج بامراه ومات
عنها ولم يخلف ولدا فزوجها يعقوب اخوه علي حدم التوراه ليعقيم
زريعا لحيه واولدها يوشف فيوشف اذن هو ولد ليعقوب بالطبيعه
وهو ولدها الي الناموس ولما قول الانجيلي يوشو رجل مريم المولود منها
يوشوع الذي يدعي المسيح ولم يقطع كلامه عند انتهاء الي ذكر
يوشو فيجب ان تعلم اوله ان الهاده لم تجري عند ايه ثود بالنسبه
الي النسا البتة ولما كانت دعوت البشير اليهم اذ صطرا الي ان
يجعل النسبه ليوشو لا لمريم لانه لو كان جعل النسبه لمريم صار
عند اليهود منكرات من قد خرج عن الحق وكتب في اول الكتاب
ما لا يجوز عندهم لان يوشو ومريم ابنا عم فحقق لم نسبت المسيح
الي داود بنوشط يوشو والمسيح ليس بنائب يوشو في امر
الولاه بوجه من الوجوه لصله لان ذلك لمريم التي ولد منها والليل
علي ان يوشو قريب مريم ونسبهما ظاهر لان التوراه تامر ان
بني

الانجيلي

بني اسرائيل الاثر وجوامر غير انسابهم كي نسب نسبت الانساب الي
تناسلم غير انتقا او لا تنسويش تزوج انسان من غير شبطه
ليجري الانساب علي راسها وهذا يبين انه من حيث ما وجد جنس
يوشف مسئلا وجدت مريم من هناك لاحتماله يوحنا فم الرب يفسر
قال من اين تعلم ان الهادي من نسل داود واثمعي الي قول لوقا في بشارته
ان الله ارسل جبرائيل الملاك الي عذري ليخطوبه لرجل يشمي
يوشف من بيت داود فلهذا المعنى ظهر ان مريم من نسل داود وكان
الناموس يامر لا يخذل امرأه من غير شبطه بعينه ويفضلنا
الامر ان تعلم هذا المعنى المخز لم يذكر الانجيلي نسبت الهادي وذكر
نسبت يوشو وحده لانه ليس يخلق اليهود انبات نسبه النسا فاراد
ان يحفظ الهاده ولا يظنوا به انه ابطل في ابتدائه قوله الواجب
من هاهنا ترك ذكر نسبتها وذكر نسبتها وما معن قوله رجل مريم
فان الهاده جرت ان الخطيب يشمي بهلا والمخطوبه له زوجته
كما هو مكتوب في الناموس ان كانت صبيته ملكه لرجل فلحقها
رجل فضا جعما يخرجان جميعا الي باب المدينة ويرحمان اما الصبي
فلاجل شكوتها واما الرجل لانه صاحب امرات خيه فليلا يظن
السامع ان يوشو كان له مع مريم عرس لاجل هذا القول معاد الله
من ذلك باسيليوس يفسر لنا وما يشرحه ويقال لم تلمت مريم ليوشو

وعلي وجهه كان فيقال ان اسمها كانت ندرتها ان تكون خادسة
لهيكل الله الي حيث تبلغ مدارك النساء فصيرتها في الهيكل تخادم
مع الكهنة ثم ماتت وبقيت اسمها مريم علي جاتها في الهيكل فلما ادركت
مدارك النساء ولما نزلت عن الهيكل لم يخف امرها عن الكهنة
فراوان لا يستقيم لها بعد هذا مقام في الهيكل معهم وانهم اتفق
رايهم لكون امرها مردود الفهم ان لا يسلموها الا لمرسوس في بني عمها
صلحا ليتزوج بها فاستخبروا عن بشيرت اهلها فاعلموا ان
جنسها ليس فيه احد مثل يوسف بن يعقوب لانه كان صديقا
بارا فاسلت نفسها اليه والدليل علي انه ما تشابهها الا ليتزوج
بها قول الكتاب قبل ان يجتمعا وجدت حبلا من ریح القدس
وتقال ايضا ان علم الله تعالى ذكره قد سبق بان مريم تمنح مثل
هذا الكرامة المشرفة فادعا الحاجة الي تعلقها بخطيب وقد
كان يمكن ان تمنح مثل هذه الكرامة وتصير الي ما تدصارت اليه
من الشرف من غير تعلقها يوسف فيقال ان الامر كان يضطر
الي يوسف لهدت وجوه الاول انها وجدت حبلا ولم يكن لها
تعلق بيوسف وجب عليها الزوج واما الاجل انها كانت في
كنفه امتنع اليهود من الحديث فيها وصدوا عنها واما الثاني انها
تكون في حوطة رجل يحلمها مع ابنها وقت هروب الي مصر

من

مريه رودس الملك كما امر جبرائيل الملاك ليوسف والثالث
لتكون النسبه واقعه عنده لان المسيح بالجسد نسل داود ووالدا
ان لا يحقها عارض من اليهود فيكونها قد بلغت وليس لها خطيب
ودليل ذلك قول اشعيا النبي يدعي الله فقط علينا وبنو عاريا
وما يحتاج الي البحث عنه ايضا هل مريم كانت شاكه مع
يوسف في ذر ولحده الا انها كانت مستتره منه والدليل علي
انها كانت شاكه معه في مكان واحد صدق اليهم وصدقها الما
وجدت حبلتي وقول الكتاب ان يوسف لم يريد ان يشهرها وفكر
في ان يتركها سرا والدليل ايضا علي انها كانت مستتره منه
لأجل انها لو كانت تظهر له لعرفته خبرها مع الملك في يوم
البشرى او فيما بعد لان عاريت الابرا في القديم جرت ان
يقيم الصديق مع خطيبته ثلاثين سنين قبل الا نصال ليعلموا
بذلك انه ليس من اجل الشهوه يتزوجون لكن لأقامة النسل
ويوسف من كان مشهورا بالبر والصلاح ومعني قوله المولود
منها يسوع الذي يدعي المسيح فالولاده هاهنا هي الولاده
الثانية لان الميلاد الاول هو من الاب ميلاد الانبيا والميلاد
الثاني كان بعد اتحاد اللاهوت بالانسانوت فهو ادا ابن
الله بالميلاد الثاني وهو هو ابن مريم بالميلاد الثاني

وتفسير يسوع المخلص والمسيح هو أشهر مستند من المشككة
وهذا الاسم الذي كان بنو اسرائيل يتوارثون به الملك
والدهنوت لأن روح القدس قام للجسد مقام الدهن الذي هو
المشككة وهذا الاسم لم يكن للابن الحكيم قبل تجسده
وانما وقع عنها على الجوهري المتخذ من جوهر اللاهوت والانسوت
كما قالوا الابا في الامانة المستقيمة نؤمن برب واحد يسوع
المسيح ابن الله الوحيد المولود من الاب قبل كل الدهور ثم قالوا
بعد ذلك الذي من اجلنا نحن البشر وازجل خلاصنا نزل من السماء
وتجسد من روح القدس ومن مريم العذراء فنانس واما قول
الانجيلي في كل الاجيال من ابراهيم الى داود وفي اربعة عشر
جيلا وازن داود الى يسى بايل اربعة عشر جيلا ومن يسى بايل
الى المسيح اربعة عشر جيلا فينبغي لنا اولا ان نعلم ان
قصر البشير القبايل ثلاث اجزاء ولقد كان ضبطها بالحصا
العدد اجلا من تقسيمها واية حاجه دعتنا ايضا الى ان تكون
ثلاثة اجزاء ولم تقسمها نصفين او جعلها ستة اجزى
وقد يلزمنا ضرورة ان نقول ان فعل هذا الجواب عن ذلك
ان اليهود كانوا يعادون الحواريون بمنزلت قوه ويريدون ان
يدخلوا على الخليفة بسبب المسيح شرابا جديدا فاراد
ان

ان يونسهم بهذا ليعرفوا منه ان تدبير الله لم يثبت لهم منذ قط
على حال واحد بل كان تدبيره لهم بلحاظ اختلافه مطابقيه
لزمانه على قدر ما كان ينفعهم على حسب اختلاف احوالهم لكي
تظهر تجزئتها تغييرا لاهور وتفاوتها وذلك ان بني اسرائيل
مكثوا يتدبرون من عهد موسى الى عهد داود بتدبير اسحاب
الحيوس الذين كانوا يتولون قتال الامم الغريبة ويسمونهم
القضاة فكانوا يتقادون في ايامهم مثل يوشع ابن نون
وجدهون وباراق ومن داود الى النبي البابلي دبرهم الملوك
ملك بعد اخر يصنف اخر من التدبير ولم يزلوا ثابتين تحت
اوامرهم الى جلا بابل ايضا من بعد ما بطل ابراهيم كانوا
يملكون عليهم من لدن داود فصار لاختلاف في الاهور فكان
الذين يقبلون رياسة الدهنوت يتوارثون رياسة الشعب
ويقولون تدبيره يصنف اخر من التدبير فعلى قدر اختلاف
الاهور والاحوا ان ذكر تعريف الاجيال ليبين الذي ينظر
في كتابه من اليهود على قلب الحوالم وانه ليس من العجب ان
يتدبروا بالتدبير الذي اشرف به المسيح الاله المخلص
البشر الذي هو قاضي وهو ملك وهو عظيم كهنة فاراد البشير
بتجزئتها على اختلاف احوال التي ذكرناها واما

قوله ان كل واحد من الاجزاء الثلاثة الربعة عشر جيلا فعلي
هذا الوضع تصير الجملة على هذه الشافقة اثنين واربعين جيلا
فيميز لنا فاد الحصى الالما وجدناها اربعين جيلا فتميز لنا
عجز الجملة جيلين وبيان ذلك ان الياقيم بن يوشيا الذي كان في
زمانه اندار اميا والسبي لم يذكره البشير وجعل مكان السبي
وزمانه بجيل وزمان اشراق المسيح بجيل ايضا وهذا لجيلان
هما اللذان يتوهم من لشرله معرفة ان الانجيلي قد اخل بهما
ساويرس فسر قال من اجل ان كثير من الناس غاروا من اجل
الكلام المكتوب في نبت متي الذي قال ان من سبي بابل الي
المسيح اربعة عشر جيلا وتوجد المسميين اثني عشر جيلا
وعدد الانجيلي اربعة عشر جيلا ومعنى الكلام ههنا ان زمان
السبي حسب الانجيلي جيل وحسب زمان المسيح جيل لاجل
انه تشبه بنا في كل شي من الاحوال السوي لخطية واما السبي
نبت متي في فوق الي اسفل ونبت لوقا من اسفل الي فوق
فان متي كان علامة لاختطاط كلمة الله وايته كاده بنا لخالصنا
ولما لوقا فانه كان علامة لارتقاء حسنات من اجل ايته كاده بالكلم
الانزلي وارتقاعه على القوة السماوية والامجاد العلوية واما
قول الانجيلي وميلاد يسوع المسيح كان هكذا لما كانت مريم

امه خطيبه ليوسف قبل ان يتعارفا وجدت حبلا من روح القدس
السب في اخبار البشير عن جهة مولده وتجدد كالميلاد لاجل
انه فيما تقدم قال في النسب يوشو رجل مقيم في بيت السامع
ان يسوع ابوه يوشو لاحتاج الي ان يخبرنا فاجلت من روح القد
وان ولدته كانت بغير اب لان مولده لو كان كسيرا للبشر لكان
ذلك ظاهرا وكان مستغنيا عن ذكره وتجدد من اجل ان جهة مولده
ليست لبشيعه مولد سيرا للناس علي مقتضى المشهور المعروف
اضطر الانجيلي الي اعلا كمن انهما من روح القدس لاجل ان الشا
من طبعين انما تختار وتلد من مياضة الرجال من وجعل
قوله ههنا لما كتبته بديا لانه قال في وصف الاجيال
ان فلانا ولد فلان حتي انتهت الي يعقوب فقال يعقوب
ولدي يسو رجل مريم المولود منها يسوع الذي يدعي المسيح
فلم القاري والسائل والسامع من الشك بقوله من الروح
القدس كان حبلا وبيان ايضا بهذا القول ان مريم قدسست
بجلوله عليها واشراقه فيها وانه كان السب في تباشل
تناسل تالي اعضا الناسوت فيها ومنها واما
الولادة علي الوضع الطبيعي فهما زجلا لله جهر اياته
لحد الاقاييم الثلاثة وان التجسد كان منه ومن مريم

بلا ذوقه ولا انفصال من كين الذي بشرها جبرائيل الملاك فيه
وليظهر ايضا جنس البشر المفعلة التي جعلت من اجل حوري وليكون
الشرف لمريم علي جميع البشر اهرأكون اولا من اجل عليه الروح
القدس في لحديثه وكما كان السبب في البشر من امراه كذلك كان السبب
في ظهور النجم والكبير من امراه فموضع الداء ينبغي ان يتناغل الطبيب
الماهر والبالا والوا واما قول الانجيلي ان ملاك الرب يظهر ليوسف في
لحلم فاما يا يوسف ابن داود لا تخاف ان تقبل مريم امراتك فان الذي
هو روح القدس وتسلل انبا وتدعوا اسمه يسوع لانه يخلص شعبه
من خطاياهم فيجب علينا ان نعلم اولاً ان الاحلام علي راي اهل
الشريعة ضرب شتا اما من الله واما من الشيطان واما من
المزاج لانه يمتلي علي المزاج الانسان لحد الخاطا الاربعه راي
في منامه مناظر يحب كل واحد منها واما من الافكار التي
تجول في القلب فيرى الانسان في منامه ما يلائمها فكان روي
يوسف من الله جل الشمة علي ما اقتضته قرائن الحمار لان
مخاطبته كانت من ملاك لا يمان ان تيمميا صورته لغيره
واما ظهور الملاك وكلامه له فانه لم يتوجب العجب العظيم
من كل جهة لانه اقنعه بخصال كثير لا يمكن دفعها وجعل
قلبه لا تشاك فيه وثبت له القول بدلا من توازنه واخبره بالامر
الذي يقو الطبيعه فاورد لك قوله له يا يوسف ابن داود
ليثبت

ليثبت عنده ان الوعد الذي كان يجابه هو اشراق المسيح من
زرع داود وكل غفران بنت داود قريبتك اي ان الذي تنبأ
اشعيا عليه ما قال اها هو ذا الهادي تجبل وتلد والثاني بقوله
لا تخف ان تقبل مريم امراتك فامنه مما كان يخشاه من امر حبلا
لانه كان يخاف ان يعصي امر التوراة ان هو ما كان امره متهمه ففضل
ضميره من صده وحله من جميع الشكوك بقوله لا تخف واما قوله له
ان تلخدي مريم امراتك فان ليس لك معاوضة تفرج بل ليتمكها
تحت كنفه ولا يفرقها لانه كان قد فكر في انه يتركها واما تسميتها
امرأته ليقوي عمره بحقيقة الامر فانه لو كانت غير ذي عصمة
لما امكن للملاك ان يبعثها بهذا النعت الذي لا يمكن ان تنعت به
مربيه والثالث قوله ان الذي تله هو روح القدس اقام له
بذلك البرهان علي قول اشعيا النبي ان اسمه يدعانا نويل الذي
تفسيره الله معنا وقوله يخلص شعبه من خطاياهم اي ليس
تخليصه لهم كاقول موسى ويشوع ابن نون ونجري عجزاها في
تخليص شعب اسرائيل من اعدائهم لكن اشار لهم ان يخلصهم من
الخطايا المهلكه لجنس البشر وبما اذا خلص لانه يخرج طريقا
تبهر العقول حتي علم لجنس البشري كيف يسلك وكيف يميت
شهوته ويتصل بباريه ومعنا قوله شعبه اي المؤمنين بكن

اليهود وسائر الشعوب الذين أعطاهم الحياة الأبدية. وحقق
الأنجي به أيضاً باظهار سرائر النور. فنداه ليوسقيا بن داود
ليذكره بان الله وعد داود ان المسيح يظهر من نسله. فان الموعد
كان مشوباً باليعزت اقنوم الاب وبشارة بان ابولود من مريم يخلص
شعبه من خطاياهم. انشاه عن اقنوم مجلات الابن. واهبط عظمة
الروح وانه اقنوم ثالث بقوله ان الذي تله مريم هو روح القدس
ولم يدع للشك بعد مقاله موضعه لان يوسقيا كان صديقاً وزين
الفعل وعالم بالناموس والانبياء فقنعت نفسه ومالت الي الحق
ودلك انه لما راي الملاك اشع كلمة فبطل جميع ما كان فيه من
الارتجاج وتكن جزعه وقلقه وصار له قلباً ربيعاً من جميع الشك
والهلع وذلك ان الذي كمل على القنوع تلتحالات الواحد
ان الملاك كشف له ما فكر فيه في ضميره ولم يطلع عليه احداً. ولا
تفوه به. والثانية من دلالات كتاب النبوة ان العذري تجبل وتلد
والثالثة التصديق بقوت روح القدس واما قول الانجيل ولم
يعرفها حتي ولدت ابنها المبكر ودعي اسمه يسوع. فوجب علينا ايضاً
ان نعلم اولاً ان نعلم لفظة حتي تقال علي ضربين احدهما انها
تقال علي ما يكون له حد محدود فاما الجهة التي يجدها لحد كقولك
ليبراصلي العجزي حتي يقف الكاهن امام المذبح. وكقولك ايضاً اني
لا اشافر

لَا اسَافِرُ حَتَّى يَأْذَنَ لِي فِلَانُ بِالْشَفْعَةِ وَلَقَوْلِكَ لَا افْطُرُ حَتَّى يَغِيبَ
قَرْنُ الشَّمْسِ وَأَمَّا لِحْجَتُهُ الَّتِي لَيْسَ لَهَا حَدٌّ مَحْدُودٌ هِيَ الَّتِي تَسْلُكُهَا
الْبَشِيرُ وَلَقَوْلُ الْكِتَابِ أَيْضًا أَنَّ مَلَكًا بَنَتْ شَاوُولُ لِرَاتِ دَاوُدَ لَهُمْ
نَمْلًا وَلِذَلِكَ حَتَّى مَاتَ وَهَذَا دَلِيلٌ عَلَى أَنَّهَا لَمْ تَلِدْ ابْنَهُ أَنْتَرِي أَنَّهَا بَعْدَ الْمَوْتِ
وَلَدَتْ وَكَأَنَّ الْقَالَ الْكِتَابِ فِي الْغُرَابِ الَّذِي يُعْتَبَرُ نَوْحٌ أَنَّهُ لَمْ يَرْجِعْ إِلَى
السَّعِينَةِ حَتَّى جَفَّ الْمَاءُ وَالظَّاهِرُ أَنَّهُ لَمْ يَرْجِعْ إِلَى السَّعِينَةِ أَنْتَرِي
أَنَّهُ بَعْدَ جَفَاكِ الْمَاعَادِ إِلَى السَّعِينَةِ وَكَأَنَّ الْقَالَ السَّيِّدُ تَلَامِيذُهُ هَآ أَنَا
مَعَكُمْ حَتَّى يَنْقُضِيَ الْعَالَمُ أَنْتَرِي أَنَّهُ بَعْدَ انْقِضَاءِ الْعَالَمِ لَا يَكُونُ مَعَهُمْ
مُعَيَّنٌ حَتَّى يَأْتِيَ نَارُهُمْ عَلَى أَنْ يَوْشَعَ لَمْ يَكُنْ مِنْ مِيرَايَةِ ابْنِهِ وَأَنْ
نَظَرُهُ كَانَ لَيْسَ بِأَلْعَيْنِ لِحَبِيلِهِ لَمَّا تَحَقَّقَ عِنْدَهُ أَنَّهَا أَهْلَةٌ لِحَاجَرِ
مَوْلَعِيدِ اللَّهِ عَلَى يَدَيْهَا وَكَوْنَهَا صَارَتْ مَحَلًّا لِرُوحِ الْقُدُسِ وَلَقَوْلُ
حَزَقِيَالِ النَّبِيِّ أَنَّ هَذَا الْبَابَ يَكُونُ مَغْلَقًا لَا يَدْخُلُهُ إِنْسَانٌ لِأَنَّ
الْإِلَهَ أَسْرَبِيلَ يَدْخُلُهُ وَأَمَّا قَوْلُ الْإِنْجِيلِيِّ ابْنَتُهَا الْبِكْرُ فَلَيْسَ ذَلِكَ
عَلَى أَنَّ لَهَا وَلَدًا آخَرَ لَكِنْ لِعَادَةِ قَدْ جَرَتْ أَنْ يَدْعَا الْمَوْلُودَ الْأَوَّلَ بِكْرًا
وَأَنْ لَمْ يَكُنْ لَهُ إِخْوَةٌ وَلَا إِخْوَاتٌ وَأَوْلَادُ يَوْشَعَ دَعَا أَوْخَتَهُ عَلَى سَبِيلِ
التَّدْبِيرِ كَمَا دَعَى يَوْشَعَ أَبُوهُ لِتَعْلُقَتِهِ بِبَرِيْمٍ فَهُوَ دَابْكْرُ بْنُ ثَلَاثِ
وَجْوهِ الْأَوَّلِ أَمَهُ لَمْ تَلِدْ سِوَاهُ وَالثَّانِي أَنْ رُوحَ الْقُدُسِ لَمْ يَجْعَلْ
فِي الْمَاعَادِ عَلَى قَبْلِهِ وَلِهَذَا قَالَ الرَّسُولُ أَنَّهُ بَكْرُ الْإِخْوَةِ الْكَثِيرِ وَالثَّالِثُ

انه بكر القيامة من بين الاموات وما قيل ان مريم كيف بقيت بتول
بعد الولادة مع خروج جسمه كيف منها اجواب في ذلك ان يقال
انه كان علي طويق خرق العادة وخرق العادة علي راي اهل السنة غير
ممنوع وذلك العويجة التي لا تستح النار علي جبل شيئا ولم
تحترق وخروج الماء من حجر الطران ومن فكه الحمار الميت ايضا
وخرج حوي من جناب ادم ودخول السيد علي السلاميد والابواب
مغلقة ويسئل ايضا ويقال له ولما المسيح من عذري ولم لا يولد من
بنت اجواب ان ولادته من بتون ليل علي ابيه والا عجوبة حتي
لا يشاوي الانبياء في واليهم فيظن انه نبي مثلهم ولنكمل نبوت
حزقيال ليعاين اني رايت في المشرق بابا مغلقة تحتوما بجانب
عجيب لم يدخله احد غير رب القوات فانه دخل وخروج ولم يفتح
الباب ولم يتغير الخاتم ولان الخطية الاولى دخلت علي يدي بتول
ولم يجل ان يكون انقضاها علي يدي بتول يوحنا السان الذهب
يعتبر قال اذا سمعت انه لم يعرفها حتي ولدت ابنها البكر لا يظن
انه بعد ذلك لدت غيرها انهاها وانما انكار معرفتها الذي ذكره
الاخيلي حتي ولدت هكذا هو لانه ما كان يستطيع ان يعرفها
وهو يري الشمس كحقيقي يضي فيها وان كان هذا الشمس المنظور
ما نعد ان تنامله بالكلية فمن الذي يستطيع ان يتامل العذري
ويعرفها

ول
ويعرفها وهي حامله شعاع النور بمجد كرم عا لي لا يستطيع احد
ان يصغه ولا يقدح احد ان يري وجهها ايضا وان كان مومي قد
تلا لوجهه حتي لا يستطيع احد ان يري اسرائيل ان ينظر اليه
فكم بالحري العذري حل فيها الله الكلمة المتحدة المشاوية في
اجور لاد في يستطيع ان يراها ويعرفها فلهذا بالحقيقة قال
الاخيلي انه لم يعرفها حتي ولدت ابنها البكر الذي هو الشمس
الحقيقي ورشد الكتاب في كثير من المواضع ان يقول هكذا يقول
داود النبي قائل الزبور بالحقيقة يشرق في ايامه العدل
وتكثر السلامة حتي يورث القدر القول حتي يورث القواي ان
بعد ميراثه القبرتين لبيد وبغني جرمه وهكذا اذا سمعة التوراة
تقول ان المغارب لم يعودوا الي السفينة مرة اخري حتي جف الماء
والبين المفهوم انه لم يعودا ابداه هكذا يسيلك ان تظن في هذا
الموضع ان بعد ولادت الشمس كقانية لم يعرفها معرفة مشاركة
بشرية او ثابوت القيراني يفسر بالحقيقة ما عرفها انها
العذري الذي تكلم عنها اشعيا النبي وقالها هيدا العذري
تجل وتلد ابنا ويدا النعمة انويل حتي ولدت الفلاح فعرف انها هي
تلك بعينها وذلك لما ولدت العذري ونظر الي الرعاة وهم يشرون
بالذي ولدته العذري انه المسيح الرب وافضل من ذلك لما سمع

تبيح الملائكة ومشاهدت الجوش وقد اتوا بالقرابين مثل الاله وملك
ومعطي احياء الذي لم يزل جلنا كما قال له الملاك لا تجزع يا يوسف
ان تلخذ مريم حليلتك فان المولود منها قدوس وهو من الروح
القدس ومن هذا وغيره عرفها بالحقيقة انها العذراء الذي تنبأ
عليها اشعيا النبي وقالها العذراء تحبل وتلد ابنا ويدعا اسمه
عائويل وايضا لا تجزع ان تلخذ مريم حليلتك وان المولود منها
قدوس وهو من روح القدس

✿ فصل الاسحاح الثاني ✿

فدأول يسوع في بيت لحم يهودا في ايام هيرودس الملك الذي جوس
واقوام المشرق الى اورشليم قائلين ان هو المولود ملك اليهود
لاننا راينا نجمه في المشرق ووافينا لتسجد له فلما سمع هيرودس
الملك اضطرب وجميع يروشليم معه وجمع كل رؤوسا الكهنة
وكبة الشعب واستخبر منهم ان يولد المسيح فقالوا له في
بيت لحم يهودا لانه مكتوب في النبي هكدي وانت يا بيت لحم
يهودا لنت بصغيره في ولايات يهودا منكم يخرج مديبر
الذي يرعا شعب اسرائيل حينئذ ادعاه هيرودس والجوش سرا
واثتوخ منهم زمان النجم الذي ظهر وانكلمهم الى بيت لحم
قايلا

قايلا امضوا فاستخبروا عن الصبي بلجتهما فاذا وجدوه تعالوا
فانعموني لاني انا فاسجد له وهم لما سمعوا من الملك مضوا فاذا الكوكب
الذي راوه في المشرق يقدمهم الى ان جاؤ فقف فوق الموضع الذي
كان فيه الصبي ولما راوا الكوكب فرحوا فرحا عظيما جدا ولما اتوا
الى بيت راوا الصبي مع مريم لمة فخرها وتسجدوا له وقبضوا وعنتهم
وقد رآه القرايين ذهبوا ولبنا ووراوا وحج البيت في الحكم ان لا
يرجعوا الى هيرودس فذهبوا من طريق اخر الى اورشليم والمجدل
التفسير معا ومن المنيب في معنى قول الانجيلي فلما ولد يسوع
في بيت لحم يهودا في ايام هيرودس الملك اراد بهذا الاجل انه لخبر
وصفك باجته مولده العجيب لعالي عن عادات الطبيعة البشرية
اخذ يد لنا على العيان والمشاهدة بعد ذلك في ان يخبرنا بالمكان
والزمان الذي كانت لولاده فيها بقوله في بيت لحم يهودا في
ايام هيرودس الملك لان ذكره المكان والزمان لم يكن منه عبثا
ولا على شيل المجاز بل ليدبر لنا ان المعاند من اليهود لئلا تسجد
للهجه يبطلها امر ظهور المسيح اما المكان في بيت لحم
الذي ولد فيه كما تنبأ ميخا النبي واما الزمان في ايام هيرودس
الملك كما قال يعقوب ولا يفقد القضا من يهودا والمديبر من نسله

حتى يأتي الذي له الملك وهو جحاً الأم ودلك ان أئمة بني إسرائيل
كانوا أولا القضاء ثم بعد ذلك الملوك من بني إسرائيل واولدهم ثم بعدهم
الكهنة من بني إسرائيل لأجل ان الاختلاف كان بينه وبين بني سبط
يهودا ولما انتشأ الأمر إلى أو سبطا فلو شروها وقنوس ولدي
الاكتسبوا وتزوجوا بآثار الكهنة فتشبهوا بشعوبهم
واتفقوا على ما يمشون القايدين قبل او غسطيني يصرو ملك الروم
فحاصروا بيت المقدس ونقب ثورها ودخل اليها وانشأوا سوطا فلو
ولخده معه إلى الروم مكتوبا وجعل الياشع لاجنه هاورقنوس
وأمر معه رجلا يقال له انطغياطوس الفلستيني من اهل
عسقلان ولما ان مات افضى الأمر إلى ولده هيرودس من بعده
وقوي امره ولما علم من قصد خروج الحكم عن يدها ورفقوس ولسر
بجباب إلى ذلك فاستد غصبه وكهر يزل إلى حيث تمل هاورقنوس
هو لخر من كان نسله أمراه من بني إسرائيل وقرقوا يعقوب لأنه
جنى اشق المسيح تبطل المديرون من جنس اشراييل فصار
الملك على الشعب والمديران من الامم القريبة الذي في زمانه
ظهر المسيح جاي الملك الذي لا يزول والكهنة الذي لا يعرض
بعدها زبيح واما قوله ادمجوت واما من المشرق إلى يروشليم
قايدين ابن هو المولد ملك اليهود لا ننار ابينا بجمه في المشرق
ووافينا

ووافينا لتجده: ينبغي لنا ههنا أن نقول له ظهر امر ميلاد المسيح
اولا للمجوس الذين هم غرابين دين الله ولم يظهر هذا لأحد من بني
اسرائيل الذين كانوا اوليا الله فان قالوا ان عظم معرفتهم بصناعة
النجمه دله على ذلك لأجل انهم هم من في هذا الارب فيقال انه لو كان
الامر على ما ذكرت ان علم النجوم محقق وعلى مجرهم عرف المجوس ميلاد المسيح
لم يثبت ذلك ان المجوس ما كانوا يستطيعون بعلمهم في النجمه ان
يستدلوا على ذلك بكونهم ولحد من الكواكب يقول احدهم من المنجمين ان
يستدل على امور الكواكب ولحد من علم النجمه وانما هذا الكواكب الذي
ظهر في هذا الوقت لم يكن كوكبا في طبعه بل كان ملاكا ظهر لهم على تلك
الروية ويستدل على ذلك انه كان يودهم من المشرق إلى اليمن وفي هذا
الطريق كان شيرة وليس هذا الشير فطبع النجوم لان النجوم والكواكب
اذا كانت مستقيمة يكون شيرها من المشرق إلى المشرق فاذا كانت
راجعة كان شيرها من المشرق إلى المغرب ثم انه لم يزل يقدمهم إلى حيث
اوصلهم إلى الموضع الذي كان المسيح فيه مع مريم امه وهذا امر يخالف
الكواكب الطبيعية ومن البين ايضا ان نحن نرى الكواكب المنظورة
جميعها في افاق السما فوقنا مرتفعة ولا يمكنها ان تقضي ضوءها إلا في الليل
خاصة واما هذا الكواكب يخالف ذلك لأنه كان يشير امام المجوس
قريباً من الارض وكان انشأه عليهم في النهار والليل ولحد كما كان

العود يفي بني يدي بني اسرائيل في البرية نهار اولياده وهذا الكوكب
 كان المجوس رؤسهم ويتتبعون به دون غيرهم فقد تبين من جميع
 ما ذكرناه ان علم المجوس ميلاد المسيح ليس على مجري التحير وقد يجب
 علينا ضرورة ان نقول في ذلك اوضح به السبب الذي لاجله ظهر
 ميلاد المسيح اولاً للمجوس وذلك على ثلاثة اقسام فالتقسيم الاول
 ذراشت رئيسهم وهو باروخ تلميذ ارميا النبي لما امنح موهبت
 النبوة انصرف الي الشعوب وكتب لهم كتابه وصار معلماً كبيراً للشعوب
 كثيرة وكانوا ابتداء وكون كتابه وما تقمته وصيته لتلاميذه قال
 انكم صبرية تجل وتلد غلاماً بغير مياضعة وملك على جميع الملوك
 وملكه لا يزول وله السلطان الذي يتعالي على كل عاوى وحياته
 بعد موته يحييها كل مقصور وهذا علامة مولده حدوث كوكب يظهر
 من المشرق ويكون بشيره الي اليمين ولا يدركه الا من تشمله العناية
 الالهية فمن اراد ان يتبعه ويستضي به وبشيره بشيره حتى
 يصل الي المطلوب فيقدمه هدية ليكن لها التقرب منه عند
 لحاجه اليه ولم يزل الانتظار واقفاً لظهور ذلك الكوكب الي
 حيث ظهر وتحققته علامته ولما شهدت هولا المجوس لهم
 يستطيعوا الاقرار والتبشروا بالغبية والظن وازداد كتاب
 ذراشة عندهم رفعة وميزوا ما ورد في الوصية بفتحهم من امر
 المولود

المولود فبين لهم ان شرا الالهية فيه وله رتبة الملوك وعليه حتم الموت
 فتواهم واعلم ان يستحبوا به من الهية فاقصرت اراهم على ان تكون
 ذهباً ولباناً ومراً اما الذهب لاجل الملك واما اللبان لاجل الاله والمر
 لاجل الماية المحيي واما التقسيم الثاني فانه حتى يكونوا مع بعدهم
 من معرفة الله مبشرين بميلاد المسيح في جميع الامم التي كانت في
 طريقهم كافر اقاموا من الطرق الاقصى في المشرق وهم كل منزل
 من المدن والقري يعرضون في وصف جلالته الامر الذي يعجبوا ان
 لاجله وعظم قدره وذلك ان الصلح كان قد اتفق في ذلك الوقت بين
 الفرس والروم واخذوا معهم كتاب من ملوكهم الي جميع الملوك والروم
 الذين في طريقهم على حكم العناية بهم حيث كانوا يصلون يقدمون
 لكل واحد منهم كتابه يتضمن الامر الذين هم شاوين بسببه حتى يصلوا
 الي البيت المقدس وبشروا في اليهودية به بمثل ذلك فقبله شهادتهم
 قبولاً صحيحاً ولم يرتاب فيه احد لاجل انهم باس معرفة الله ومن
 جنس اسرائيل ومعلوم ان شجارات الهدى قدوة تترك الكثر من
 شجارات القريب لقرينه وايضاً من اجل بعد مسافة طريقهم مشقة
 وتركهم الاهل والاطوان لم يشك في ان تعيهم وعناهم ليس هو
 عبثاً ولا باطلاً لشهادتهم بل كانت حق ومقبولة عند جميع الامم
 من اجل عظم منزلتهم وتاديبتهم بالحكمة وما كانوا يدعون به من

المخبر بالغيب فلو كان الامر ظهور من اليهود اولاً لما تعدوا خبره
انهم فاشطين وكان اذا تلفظ به ولحدسهم قهر عليه انه انما فعل
ذلك لاجل قرابة لجنت ومن اجل انتظاره الذي ينبغي ظروطن
فالذي شهد به هو الذي لم يكن بالحققة مقنعاً المشاهدين واما
القسم الثالث فانه لكي يتم قول الكتاب ان المجوس تاتي من المشرق
وايضاً ماوك تزيتر وكجزاير يقبلون اليه بالهدايا ومولوك العرب
الانبياء وشا يا قون اليه بالهدايا ويعربون له وتسجد له كل ماوك الارض
وتعبد جميع الشعوب لانه ينبغي الضعيف من القوي وايضاً من
مشارق الشمس الى مغاربها يعظم اسم الرب ويهاب وايضاً يظهر
كوكب من يعقوب والمشيروا لكوكب كوكب والعاذه لله جلالة اسمه
جارية ان يستعمل الغرباء فيما يصلح تدبير عبادته وذلك ان يعلم ان كان
يدعوا ويصلي للاله الذي يعبد وكان الله ينييه بما ينبغي ان يعمل
فكان هو كظنه يقبل الوحي ويجيب على حسبه وكما الشعر شاوول
موته على يدي العرافة مثل هذا يعينه كان ظهور ميلا المسيح للمجوس
اولاً واما قول الانجيلي ان هيرودس الملك اضطرب وجميع يروشليم
معه وجمع كل رؤساء الكهنة وكتبه الشعب واستنخبوا منهم ابن
يولد للمسيح فقالوا له في بيت لحم يهودا كما هو مكتوب في النبي
فما هو ان هيرودس لو كان دخيلاً في الملك يقنع في حاله الخوف
والاضطراب

طس
والاضطراب لاجل ان المسيح الاله وان سلطاناً في السما وعلى الارض
بل الله كان يسمع من اليهود ان المسيح ابن داود يظهر ويملك فلما
سمع الذي لا لغة المجوس به اضطرب لاجل ان المسيح من جنس
الملوك وانه متى ظهر وطلب الملك كان له باستحقاق الارث عن داود
ابيه فهدأ عهده هيرودس في اضطرابه وقلقه قد اوضحنا اولاً ويلزم
ايضاً ان يتبين السبب الذي من اجله اضطرب وجميع يروشليم معه
وقد كانت اولي ولجدياً الفرح والسرور حتي سمعت بان المسيح ملك
اشراييل قد ولد وقد اقبلت اليه الامم القريبة مع جلالة قدسهم
وحكمتهم من طرف الارض حتي تسجدوا له ويعترفوا له بملكه الذي يدل
الاعداء ويعبر جنسه ويرفع ايمته والعهده في ذلك ان المعاده لليهود
متقادمة في العبادهم لخير واقترابهم من الشر والمعاده لله جل اسمه
وترك الهدا وانتباع الضلالة وانهم لما سمعوا قول المجوس ان زوايه
ولم يتبعوا بما جاءهم في كتب الانبياء من امر ظهور المسيح وانه هذا الذي
بشروه المجوس وقادتهم ضايرهم لخبثته الي ان هيرودس رجا هيرودس
بالعداوه فانه سيكون هلاكهم على يديه لاجل حسرات المجوس
وندامهم وقولهم جهر يروشليم ملك اليهود ونشيووا فعل الله لهم بفرعون
ولجناده وذلك كما كان مع جبرووته وعظم ملكه فهدأ كان سبب
قلقه واما هيرودس فكان قد دب في نفسه عن الموضع الذي

ولاديه المسيح حتي يقتله فيكون قد آمن ممن يترفع ملكه وتزول
رياسته وكان ظنه انه ملك في السب في ان كهنة اليمسود
ورؤسهم اخبروا في جوابهم لهيرودس انه يولد في بيت لحم علي سا
اقتضته النبوة كي يولدوا صديقهم عنده لانه كانوا يلجئون بظهور
المسيح ابن داود عنده في كثير من اوقاتهم ودليل ذلك انه لما استخبرهم
قال لهم ابن يولد المسيح وكان هذا تدبير من الله حتي يكونوا قد افقشهم
فيما بعد لانهم هاهنا قالوا ان المسيح يكون ميلاده في بيت لحم ثم انكروا
فيما بعد فننظر ايضا الي تصديقهم لهيرودس وخبرتهم انهم اخبروه من
مقالة النبوة عن السبط والمكان الذي اشرق منه المسيح وانه الملك
والراعي امشوا عن تمام النبوة وهو ان خروجه من البرية فليزل الاجد
وهذه الاية الدالة علي انه الاله ولعل من يقول انهم لم يفعلوا ذلك
الا لاجل انه لا يتعلق بسؤال هيرودس فقد حقت هذه النبوة
ان الذي يخرج من بيت لحم هو الاله وملك وراعي ولهذا كان المبشرون
به ثلاثة الكلب والمجوس والرعاه فالكلب علامة انه ثماني
والمجوس علامة انه ملك والرعاه علامة انه راعي ليس لاشراييل
لجسداني بل لاشراييل الروحاني فان ثمانيا وقال ان كان
النبوة قد جعلت اسم المسيح ثلاثة اقسام الاله وملك وراعي وقديس
ايضا هذا المجوس له بحكمته قبل خروجه من بلادهم فاباهم عند
سؤالهم

سؤالهم عنه نعتوه بالملك ولم نعتوه بالاله وقد كان الاجدر ان
نعتوه به لجواب في ذلك ان هذه الاقسام الثلاثة قسم عال
وقسم متوسط وقسم منوط فالعالي اسم الاله والمتوسط اسم
الملك والمنوط اسم الراعي ثم حكمة المجوس وتحويل نعتوه بالاسم
الاولي لاجل ان مبادي الامور ينبغي ان يسلك فيها البيل او سبط
ولما قول البشير ان هيرودس دعا المجوس سرا وتحقق منهما الزمان
الذي ظهر لهم فيه النجم وان السليم الي بيت لحم قايلا امضوا واجتسوا
عن الضبي اجتماعا فاذا وجدته نعالوا فاعلموا في كني انما شجلا
السب في ذلك لما قلنا هيرودس حتي سمع بولد الملك الذي لي يمسود
اقبل فيحص عن الزمان الذي ظهر فيه النجم لما ثبت في نفسه من
قبل المولد وكان سؤاله سرا لاجل انه لم يريد ان يشهر ما هو
منع ان يفعله وذلك ان قدوم المجوس واضطراب يرونيهم ونض
كلام النبوة قد كان ظهور لكل احد واما الفحص عن الوقت الذي
ولاديه فجعله في السر لانه كان يظن ان مولد المسيح جارا علي
حدود الطبيعة الانسية علي ان الايات التي ظهرت قد فاقه
مولد البشرية وتلك المجوس مع غررتهم من معرفة الله اتوا باهدايا
من البلاد البعيدة وقاسوا نصب الطريق الشاق قاصدين
السجود والكلب ايضا الذي كان دليلهم وضوء في النهار مثل ضوء في

الليل وبثيرة ايضا ليسهم وكلام النبوة الدالة على موضع ميلاده
الا انه لم يكن يطيق امتحان هذه الايات لما غلب عليه من الهلع
واما فكره الشوق انه كان قد اضمر القتل في رأيته واظهاره للمجوس
بشاشة من يريد الشكر معهم في الشجور له حتى يعلموا اين وجدوه
فيبلغ مطلوبه فوثقوا بكلامه ولم يشكوا فيه وضمروا في نفوسهم
العودة اليه واستعاره بما يشيكون منهم ولم يتوهموا انه انما اراد هو
مخايلتهم وانه يروم قتله واما قول البشير ان المجوس لما ذهبوا من عند
هيرودس واذا النجم الذي راوه في المشرق يقدمهم حتى جاؤ وقف
حيث كان الصبي فلما راوا النجم فرحوا فرحا عظيما جدا والسبب في
ذلك فرح المجوس بالنجم العجيب العظيم لاجل انه كان يوشعهم
ويرشددهم ويهديهم من الدارين الذي ظهر لهم نفاذ حتى انتهوا اليهم
الهي المقدس غاب عنهم ففرحوا وصاروا مع تعبهم وغرتهم مثل
المؤمنين من ادراك يقينهم فعند ظهوره لهم وقد كان انقطع
رجاهم فرحوا وكانوا بالحقيقة معذورين في غنم فرحهم ومما
يشل عنه لم كان المرشد للمجوس وكبنا فيقال ان الله اراد بتدبيره
لهم لولا ايناسهم ما جرت به عادتهم في امور الكواكب ثم حقق لهم
اظهره للعيان فيما بعد من الايات ان الكواكب جميع حركاتها مجبورة
وذلك انه عند بولاه اضا كوكبا في النشأ وهذا خبره عادة ثم عند
صلبه

صلبه اظلم الشمس على كل من تجرى به العادة وهذا ايضا من اخلاق
العوايد كان هذا لعنايه بهم اولاد اخرها كما كانت العنايه بسبي اسرائيل
واجتذبتهم الى الحق باستعمال القرايين والبايع التي تعادها بمصر
وكما اجذب الرسل لصيد السمك الى صيد الناس واما قول الانجيلي
ان المجوس لما اتوا الى البيت وراوا الصبي مع مريم فخرروا وسجدوا لله
وقتكوا او غيبهم وقد رواه القرايين ذهبوا ولبنان ومرا واوحى لهم
في الحكم ان لا يرجعوا الى هيرودس فذهبوا من كل ريف اخر الى كل ريف
ينبغي لنا ان نعلم ان الشجور له وهو مع موسى وايليا على طور سايور عند
التجلا فقام التلاميذ ليس ايضا ناقص عن الشجور له في مجيئه على
الشحاب وهو مع القوات الملائكية والمجد العظيم واذا اردنا ان
نحقق ذلك يقينا نظرا الى الكرامة التي اعطاها له ولاي المساجد
له الذين هم من الامم الغريبة وجعلهم من خاصته لانه عند سجودهم
منهم مشحة الكهوت والدليل على ذلك قول الانجيلي انهم بعد
سجودهم قد رواه القرايين ولم يقل الهدايا ومعلوم ان القرايين
لا يقدمه الله عز ذكره غير كاهن ولما تعديهم القرايين من اصناف
مختلفة فقد سبق القول بذلك ان الببان اشار للاله
والذهب اشار للملك والمر اشار للامام فاما ما اوحى به اليهم
ان لا يرجعوا الى هيرودس لانهم بعد سجودهم وقد استمروا القرايين

اضروا العود الى هيرودس ليعرفه بوضع الصبي وذلك لما كان مخفي
 عليهم من نيته لخبثته فكان هذا الوجه لهم نذيراً بانهم لا يعودوا اليه
 وينتظرون ايضا ما استدباين هذه الامور وذلك ان هيرودس حرضوا
 من المشرق باعلان وادخلوا خبر شعرة في العالم مع انه كانوا منكسرين
 القلوب لاجل ادراك المطلوب ولما اكملوا كما يحب وقضوا اراهم
 وفرحت قلوبهم بادراكهم البت الذي قد تواتر بسببه انصرفوا هاديين
 كاتين ابرهم وعائيل عنه ويقال هل عرفت عدت المجوس اواصلين
 بالهدايا ام كانت مجحولة فيقال ان الانجيلي لم يعبدها بجد لتتمسك
 به ولهذا لثرت فيها الرويات فقوم قالوا ان عدت المقدمين
 الذين كانوا فيهم ثلاثة ومعهم من الخدام والاعوان خلق كثير
 ويستدلون على ذلك بعدت اصناف الهدايا فيقولون ان كل واحد
 منهم قدم صنفاً وقوم قالوا ان عدت المقدمين كاذبة ثمانية
 وصحبتهم خلق كثير من الاعوان والخدام ويستدلون على ذلك بقول
 اشعيا النبي بخدومته سبعة رعاة وثمانية من عظماء الناس وقوم
 قالوا ان عدتهم اثني عشر ملوك العرب وذلك ان قوماً من فصحاء
 العرب اتوا الى ارض فارس في ايام بختنصر الملك لتعلموا لغة
 الكلدانيين فانتقي ابرهم الي ان عرفوا لغتهم وادبروا على علم
 التنجيم لان علم الكلدانيين ودينهم كان يجري بالجوم وشيرها
 وكانوا

وكانوا يعتقدون انهم بها يعرفون جميع الامور على حقيقتها وان
 هو لا ياتوا باغراض ومكواتها ووضع ذراشت ريش المجوس
 كتابه لهم ولجأه عليهم من وصيته علموا باسراق المسيح وان الذين
 قدوا الهدايا من بنيهم ويستدلون المغشرين على ذلك بقول الله لابرهم
 قد تمتك في الحقل وقد ياركته واكثره جداً ويولد منه اثني عشر
 عظيماً ويقول الكتاب ايضا ملوك العرب ياتون اليه بالهدايا ويعربون
 ابيغايونوس يفسر قال ان ذلك في ظهور الخلاص الذي يولد يسوع
 جاء المجوس من المشرق وبلغوا ارض حثي بلغوا اورشليم اتوا بالهدايا
 ذهب ولبان ومزقاً اتوا كاتوا بيتاً لون ويقولون اين هو المولود
 ملك اليهود لاننا رأينا نجمه في المشرق وافينا السجدة وان هيرودس
 دعاهم شراف فخص منهم عن الزمان الذي ظهر لهم فيه النجم
 وعن شعرة ونقصهم الذي صبروا عليه وعن مشقة الطريق
 ونصبها فوجههم الى بيت لحم بعد ان عرف من رؤس الكهنة
 والمعلمين ذلك وقال لهم اجتثوا عن هذا المولود ولعلوني لاني انا
 ايضا فاتجده وبعد نصيبهم ووجودهم الصبي مع مريم امه
 خروا وسجدوا له فكانت مشاهدته له خلافاً لما هدت الرعاة
 له لان البشير لوقا شهد في بشارته ان الرعاة لما اتوا اليه وجدوا
 ملفوفاً موضوعاً في مذود وهو لا يمجوس وجدوه مع أمه في بيت

خمر وبعد شجودهم قدروا اليه الهدايا الذهب لانه ملك واللبان
لانه الاله والمرانه مجي ومخلص الكل الذي مات من اجلنا واوتي
اليهم ان يمشوا الى كورنثم في طريق اخري فلما نظروا هيرودس ان
المجوس قد هربوا به غضب جدا وارسل فقتل كل صبيان بيت لحم
وتحتهم من اربع سنين وما دون لانه قد علم الزمان الذي ظهر فيه
النجم علي حكم ما اخبرته المجوس الذي لم يكن تعبهم باطلا ولكن علي
ما شاهدوه من امر النجم الذي اشار بي ايديهم في النهار والليل كما كان
المجوس يضي لبي ابراهيم بالنهار والليل في البرية فكم احري هو لاي
المجوس الحبار الذين بشروا بالمسيح الشمس الحقيقي الذي ظهر
لاسرائيل العقلي للذهب الان واللبان والمرن نواحي المغرب
وتوسيس وادي ثابا يحفظ ذلك بتدبير الله الي الزمان الذي
ولديه سيدنا المسيح يوحنا من الذهب يعسوقا هكلايين
اجل النجم والمجوس ان ذلك النجم ليس هو كمثل النجوم التي تتبين
في السماء لكنه قوة من الله تكونه بهذا الشبه لانه قد كان يتنير بالنهار
والليل بغير تغيير ويشير امام المجوس الي ان اتي بهم واوقعهم علي
الموضع الذي كان الصبي فيه وبقدر ذلك الزمان قد كان ذلك
النجم يبين ويدل ان المولود هو ملك الملوك ورب الارباب لان
النجوم كلها التي في السماء تطلع من المشرق وتسير الي المغرب
وكان

وكان هذا النجم ينير من الشمال ويسير الي اليمين حتي بلغ الي يروشلیم
وهكذي بلد فارس شام بلاد فلسطين وهكذي كان النجم يشرق شام
مدين الغزن ويسير الي اليمين حتي بلغ الي يروشلیم فغاب عنهم
فاما هيرودس فدعا الكهنة والمعلمين وشالهم اين يولد المسيح
قالوا له في بيت لحم يهودا هكذي هو مكتوب في النبي وانشئت
يا بيت لحم ارض يهودا البت بصغيره في ملوك يهودا لانه منك
يخرج مقدر الذي يرعى شعبي اسرائيل فهذه النبوة هي في ميخا
النبي ودعا هيرودس المجوس سرا وحصر منهم عن الزمان الذي
ظهر فيه النجم وبعثهم الي بيت لحم قايلا امضوا وافحصوا عن
الصبي بلجتم اواذا انتم وجدتموه اخبروني لاني انا والشيوخ
له فلما مضوا ظهر لهم النجم بعد غيابه عنهم ولم يزل يري ايديهم
يذهب من يروشلیم الي بيت لحم حتي وقفوا علي الموضع الذي فيه
الصبي ولم يكن مشيرهم من تلقا نفوسهم لانهم كانوا اذا سار
النجم اشاروا واذا وقفوا وقفوا من اجل هذا تبين ان ذلك النجم
ليس هو مثل سائر النجوم التي تشرق لكنه ملك الله فاما يسيوع
لماولد في بيت لحم مكتوب به فيها اربعين يوما ثم انزلوه الي
يروشلیم ليهتموا هو مكتوب في النابوتس من يروشلیم مضوا
الي الناصرة الموضع الذي تدافيه كبر لعل المقدسي يهتري بهم

حينئذ اتم المقول من ارميا النبي اذ يقول صوت سمع في الداهية بكاء
وبوح ونويل كثير لجيل تنكح علي بنيتها ولا تشاء ان تنتعزي
لانهم مفقودون فلما مات هيرودس واداملاك الرب قد ظهر
ليوسف في حلم مصر قايلاً قوم فخذ الصبي وامه واهب الى ارض
اسرائيل فقامات الدين يطلبون نفس الصبي فقام ولخدا الصبي
وامه وجاء الى ارض اسرائيل ولما سمع ان ارشلاويش قد ملك علي
اليهودية غور هيرودس ابيه خاف ان يذهب اليه هناك فلخبر في
لكم وذهب الى جوزناحيتا بجليل فانا وشكن في مدينه تدعى
ناصره لكي يتم المقول من الانبيا انه يدعى ناصراً ^{التفسي}
يجب علينا ان نعلم ان الملاك لما تراء ليوسف في حلم وقال له قم فخذ
الصبي وامه واهرب الى مصر لم يكن من اجل الخوف علي الصبي من القتل
فقط بل ان ذلك كان ايضاً لنوعين اخرين اما الاول ليعلم قول الكتا
ها هوذا الرب راجعاً علي سحابات مسوعات ولخدا الى مصر
ينقيم من دنس الكفر ويكب صنماها ويجلد داوت عادات
القبط الي الفضيله وقال ايضاً من مصر دعوت ابني وايضاً
لما قاله موسى ان الله يقيم لكم نبياً من اخوتكم مثلي اسمعوا له معنا
قوله نبياً لان النبوه اتممت في الاخبار بالغيب واما ايماننا فاعلمنا علي
هذه الصفة لان موسى لما كان صبياً قصد فرعون قتله والمسيح
لما

لما كان صبياً قصد هيرودس قتله وفرعون شحرت به القوايل واما
هيرودس شحرت به المجوس من مدي مصر الى مدين والمسيح
هرب من فلسطين الى مصر صبيان مصر قتلوا وتخلص موسى وصبيان
فلسطين قتلوا وتخلص المسيح موسى كان راعياً والمسيح راعي بقوله
انا الراعي الصالح موسى صعد الى الجبل واستنار وجهه كالشمس
والمسيح صعد الى جبل الطور واستنار وجهه كالشمس موسى صام
الربعين يوم والمسيح صام الربعين يوماً موسى اتى بنا موسى القتيق
والمسيح اتى بنا موسى الجديده واما الثاني فليظهر لنا ان محبة
الله لخلاص البشر عظيم جداً وعنايته مصروفه الى الخطاه منهم
اذا رجعوا عن خطاياهم بالتوبه وليعجب كل العجب ما نطق به
انبياءه في حق المجوس والقبط لئلا نعلم بما سيكون منهم من
الفضيله وما ينالها من الكرامه مع كونهم كانوا في زمان ميلاد المسيح
من القبط انهم الناس الكفار والبعدهم من معرفه الله وطاعته واشد
عداوه لأمته اما المجوس فافهم كانوا يشهدون بالخليقه ويدعون
للشياطين ويتزوجون امهاتهم ولخواتهم ولجل انهم توارثوا
الاجتهاد بنبات خالصه من راقبه النجم وظهوره حتي يوفوا
عهد الوصيه حقها بالشجور والولود فتمتوا بدرجة الكهنوت
لان هداياهم عند تقدمتها صارت قرايين ولما عادوا الى فارس

صاروا معلمين لشعب عظيم وأما القبط فافهم كانوا شعباً غاصياً
لله ومباعدين منه نهاية البعد وقد ملك عليهم التماظر حتى بلغ بهم
في عبادات لمصنوعات وغيرها إلى أقصى غاية الكفر وشاققوا الله
جل ذكره فيما مضي من زمانهم كله ثم افهم استعبدوا بني إسرائيل الذين
هم كانوا شعبه وخاصته وعاملوهم بالحيف والظلم وعدوهم بأشباب
شتاء ولم يرتدعوا عنهم بشيء من الآيات التي أظهرها الله تعالى علي
يد بنيهم موسى لمصر ولا نزلت بهم عن الدين كانوا آفية من الظلاله
والطغيان إلا أنهم من كثرت التعاظم والكبرياء كانوا مختلفين الأرا
في عباداتهم وكانوا جميعهم يفتقدون بذلك الدرجة العاليه
بنيته صادقه خالصه من الرياء والفرض والهوى فمن أجل صدق
نياتهم وحرصهم في عبادتهم بلا امتري خضوا بطواع السيداتي
مصر وتنقذ من دنس الخطية وانقلبت أصنامها واستحال
عادات أهلها من الرذيله إلى الفضيله وتم فيهم قول ابوه لأن
المجوس اتوا إلى السيد وحلوا عنده والسيداتي إلى القبط وحل
عندهم وكانوا قبل حلوله عندهم جبابره متعظمين لم يدخلوا في
طاعة الله جل جلاله ولا ادعوا العبادة مع الضربات
المختلفه التي ضرهم بها على يدي موسى وكانوا يريدون على ما هم
فيه ولما حل السيد عندهم ترفقت قلوبهم واستنارت عقولهم
وانضمت

٣٤
وانضمت نفوسهم من غير نذير أندهم ولا آية أبهرهم حتى ان مرقس
الذي كان تلميذاً لبطرس أحد الاثني عشر حواري لما أتاهم للبشارة
وهو على حال الفقر والوحده وقلت الناصر وحقات اللباس
لجاءوا إلى ما بشرهم به بسرعه ودخلوا جميعهم في الايمان ولم يخرجوا
عن الذي فوضه عليهم من وصايا الانجيل المجيد الشاقه وجازوا في
الباب الضيق واحتملوا كرب الطريق كما قال الانجيل ان
الطريق التي تؤدي إلى الخلاص كربه والباب ضيق حتى ان قوماً
منهم لما حلوا هذا كله تركوه خان ظهورهم وتوجهوا إلى ما هو اشرف
منه حتى تعالوا على جميع الوصايا بتواضع وانخفاض ومن جملة
ان الانجيل لم يامر بتكثير الزوجه والاخر من نساء من طيبات الماكل
والمشارب ولا من طيبات الملائش والمساكن وهو لا القوم رفضوا
هذا جميعه وعندهما يجري مجراه من ظاهر البدي صار عندهم كلاً
ثني واقنعوا نفوسهم عن نشر الزوجه الطاهره وطيبها
بالغفر عن العالم في طلب العفه حتى افهم قطعوا شهوت بص
العين ايضاً واقنعوا عن الاطعمه اللذيذه والكليه بحشائش
البريه واقنعوا عن الاشر به الشهية المختلفه اللون الطعم
بالماء المالح العطش ثم اقنعوا عن الملابس الناعمة البهيمة
بالليف الخشن وسقوا النخل ثم اقنعوا عن المساكن المفرجه

النيرة بكونها جبال واجتوت لغفر الظلمة فوصوا درجة الكمال
وعملوا الآيات والمعجزات مثل التلاميذ غير نقص من اقامت
الموت واشفا المرضى وخراج الشياطين وصار لهم بما اقتدوه وبنوا
لنفوسهم هذه الفضيلة العالية وازدادوا عليها بشركتهم في
فضائل الدين شكوا بحلادهم وتبعوا سنتهم من جميع الامم الي
الانقضاء ومما ينسب عنه ويقال قد كان يمكن ان ينجموا المسيح من
هيرودس وهو مقيم في موضعه ولا يهرب به الي مصر اجواب
في ذلك هذا القول يمكن ولا يشك فيه لانه قد كان يمكن ايضا
انه اذا وقع في يد هيرودس ان لا يقتل الا ان امر المسيح ما كان
يقتضي ان يفعل ما يقتدر عليه لانه انما رضي الانحفاظ والتشبه
بنا لا ليفيدنا الرجاء لا يقطع منا الرجاء وذلك لانه كان يحقق لنا
ثابته وبروصنا بهذه الاعمال التي يليق بنا حتى اذا وقعنا في
الشدايد نقبلها بالصبر والاحتمال ولا نقبض ولا نصجر ونقبل
كلنا زلة تاتي بنا بشكر وعقل ثابت وان كان الذي ينزل به المنزلة
قويا او برأيا لا يجاهد المصابيب لقوته ولا يتدبر علي الله عز ذكره
لبرائه بل يرجو الطول لله ورحمته ويحتسب ان احكام الله
جميعا له فيها شر خفي وانها حق وعدل وخياره فلو كان عند
ما قصده هيرودس ظهر قوته وقدرته حتي انه لو وجد كان له منه
مانع

مانع صار للناس شك في ثابته ولم يستغفروا الرجاء الله
لكنه لا تقدرته بهذا المعنا واطرها ليوتس في كلامه ويخص ايضا
ويقال ان المجوس لما اتوا الي بيت لحم هل كان وقت ميلاد المسيح من
العدري كان ولوده قبل ذلك اجواب ان وصول المجوس الي
بيت لحم كان في ثاني ثمنه من ميلاده من العدري لان ظهور النجم لهم
كان في الوقت الذي ولد فيه ورسدت البرد والشتا في بلادهم
لم يستطيعوا ان يسيروا ولا يخرجوا عن بلادهم ولما اتوا سطر من
الربيع تجوزوا للمفر وشاروا وكان مشيرهم يكون بطوالع
مختاره فتعوقوا في الطريق لهذا السبب حتي شتوا في بعض البلاد
التي في طريقهم وبعد انقضاء شتاهم شاروا حتي وصلوا الي
البيت المقدس وكان وصولهم في اول شهر برودة الذي هو نيسان وفي
هذا الشهر كان قتل الاطغان فان كان احد من المغتربين قد قال
ان المجوس كان وصولهم في وقت ولوده من العدري ومن بعد ميلاده
بثلاثة ايام امر هيرودس يقتل الاطغان كما نحن نعيد لهم الان فيه
فلا يقبل ذلك منه ويرد عليه وذلك لان انجيل المجيد يشهد ان في
اليوم التاسع من مولده دخلوا به الي بيت الختان ودعوا اسمه يسوع
كالذي دعا به الملاك قبل ان تجبل به في البطن وايضا شهدا من
الانجيل انه بعد اربعين يوم من مولده وفي كل ايام التطهير

علي ما في نأوش الرب صعدوا به الي يروشلیم ليعقموه للرب كما هو
مكتوب في النأوش وفي ذلك اليوم حمله شمعان علي رجليه وايضا
شهادة ان المجوس لما ذهبوا ترا الملاك يوشق في الحكم
وامره بالهروب الي مصر وان يوشق قام في الليل واخذ الصبي وامه
وهرب وهذا جميعه دليل علي ان المجوس لم يكره صولهم الا في ثاني
سنة ومن البير ايضا لتحقيق ذلك ان هيرودس لما استخبر من
المجوس وتحقق منهم الزمان امر بقتل الاطغان بن ابن تسنتين فما
دون وذلك ان وصول المجوس الي هيرودس كان بعد ظهور النجم
لهم خمسة عشر شهرا ومن جوص هيرودس علي قتل هيرودس المسيح
وكرت حوطته قتل من ابن تسنتين وما دوسها وما يشل عنته
وتيقان ان المجوس لما اتوا وجدوا المجوس السيد في بيت لحم هل كان
مقيم بها منذ ميلاده الي حين الذي وصلوا فيه ام كان الامر بخلاف
ذلك **الجواب** ان الانجيل المظهر شهدانه لما اصعدوه
الي يروشلیم ليعقموه للرب واكلوا كل شي كناوش الرب مضوا به
الي اجليل الي مدينتهم الناصرة وكانت العاده جاريه ليوشق ان
يعفي كل سنة الي يروشلیم بعيد الفصح علي ما شهد به الانجيل وفي
ثاني سنة من ميلاد المسيح اخذه يوشق مع مريم امه واتي بها
الي بيت لحم يعقموه بها حتي بعيد الفصح بيروشلیم وكان
وصول

30
وصول المجوس في ذلك الوقت الي يروشلیم وجاءوا الي بيت لحم ومنها
هرب يوشق والصبي وامه وكان يسير مسترا ووصلا الي مصر
في شهر نيسن الذي هو اذان واما عيد الاطغان فتناه ياتي في
يوم من الاربعة المقدسة وتناه في ايام جمعة الالام وتناه في ايام
لحدود التي تكون بعد الفصح وتناه يتفق ان يكون في يوم الفصح
بعينه لاجل التغييرات التي تلحق من الصيام من تعديه وتاخير
فاجل ان هذا الايام الشرف من هذا العيد وما يمكن عمله فيها تقاوه
الا الي اليوم الذي يكون بعدنا لتعيد الميلاد لاجل ان قتلهم كان
ببب ميلاد المسيح وما يخص ايضا عنه وتيقان هل كان هيرودس
العلة في قتل الاطغان ام كان المسيح سببا لذلك فيقال ان
هيرودس هو كان السبب لقتلهم علي الحقيقة بقساوته وظلمه
لانه لو شا ان لا يقتلهم لما كان الله جبره علي قتلهم وانما علم الله
سبق ما سيكون منه بقساوته وظلمه فنطق ارميا بالنبوة في
هذا المعنا واما المسيح فهو السبب في خيرتهم وتعلم الي يحل
الابرار كما فهمنا من ابر الشهدا والملوك الذين يقتلهم فالملوك
بقساوتهم يابرون بالقتل والله هو سبب الخير للمقتول شهيدا وما
يشل عنه وتيقان ايشان الله كان قادر علي ان يصده هيرودس عنهم
وان لا يمكنه من قتلهم ظلما فيقال انه قد كان يمكن ذلك وانما تدبير الله

في خلقه تدبير يفوق العقول وذلك انه لما منع الانسان بالنفس
العاقلة الناطقة التي هي نظير الملائكة وأمره بالسلوك في طريق
الخير ونهاه عن السلوك في طريق الشر وفوض له الاختيار فيهما لتكون
فضيلته وإدليلته بلختيار عزمه حتى يكون نعيمه باستحقاق وعقابه
لذلك أيضاً وهذا هو من جملة عدل الله في خلقه وأما موت الأطفال
فقد كانت أخيراً فلم فيه بهذا الوجه لأنواع علة أما الأول فان موت
الأطفال على كل حال من لطف الله بهم وذلك أنهم لم يعرفوا حالات الدنيا
من مرارتها لأنه قد زلزل العاقل من الناس متى حصل له ان يفوز في
هذه الدنيا بشي من جلواتها يكون له من مرارتها اضعاقة ونهاية امره
الى الموت وأما الثاني فأنهم لو دأبوا في حيات هذه الدنيا الزائلة
لكانوا يشاركون اباهم في دم المسيح وصلبه وصاروا ممن يلزمه العذاب
الشرطي في الظلمة القصوي وأما الثالث فأنهم ماتوا
الشهداء من اجل ان دهم مهراق من اجل المسيح وقام لهم الدم مقام
العاد لأن العاد له معاني كثيرة لحد هادم القتل في طاعت
الله وأما الرابع فان قتلهم نشر الخبر ببلاد المسيح في اليهود
وغيرهم فصاروا أيضاً بذلك مما تله بالمبشرين ودعوا أبناء المملوك
من اجل أنهم اقوا صريحة الموت بالقتل من اجل المسيح وما يسل
عنه ويقال ما بال ارحيل تبكي وتندب ولدان بيت لحم وراحيل
فهي

فهي امريوس وبنيامين وبيت لحم فليس في شبط بنيامين ولدها
بل هي من شبط يهودا فيقال ان ذكر راحيل هاهنا لاجل ان شبط
بنيامين كان مختلطاً بشبط يهودا ودا ان لرحيل الذي خرج
فيه ملك عشرة الاشباط من يد الجبعام بن شيلمان ثبت شبط
بنيامين مع شبط يهودا لأن قطايعة كانت متاخمة لقطايعة
وايضاً من اجل ان قبر راحيل كان في افراता التي هي بيت لحم وقرب
مدفن الأطفال من قبرها ومخلطة شبط ولدها بشبط يهودا
ومتاخمة قطايعة لجات لبوة هكذا وما يلزم ان نبينه ان
كيف كانت وفات هيرودس وشبطها وذلك ان يوسفوس العبري
كتب في قصصه انه هيرودس عجل عليه النكال لما جه عليه من
قتل الأطفال وذلك انه ابني مرضه لأكلة والدود البهيمجي
فمري مقدمه من المغونة ولشدت ما دخل عليه من الملوك الضجر
بالمرض قتل امرأته وابغض اولاده وعلم له الاطباء ما يشاقب
بروارضه فلم ينتفع ونهاية حاله انه جعل في ما حار قد صب
فيه دهن فانقلبت عيناه فجاء اوبه الي اريحا فمارق هناك
الدنيا بشقوه شديده ويحصر ايضا ويقال ان اعقب من البنين
الذين ولوا بعده فيقال انه اعقب اربعة وهم ارشلاووس وهيرودس
انطيفوس وفيلبس واغرياس فالذي ملك بعده منهم هو

ارثلا ووس الذي ذكره متى في بشارته واستمرت حاله تسع
سنين ثم ادب رثباً اوجب صرصه وقلداً لأمه هيرودس انطيفور
لحيه الذي ذكره لوقا في الانجيل ثم عزرا وقلداً لأمه ليلس اخيها
الذي ذكره لوقا في الانجيل ايضاً وانه شفي به عند وغسطن قيصر
فعرله واعاد هيرودس انطيفور أخاه مكانه واستمرت الحال
علي هذا الى وفات وغسطن قيصر ثم ملك بعده طيباريوس
قيصر فالتقى علي هيرودس حاله وهو الذي بنا طبرية واسماها
باسم مشتق من اسم الملك وفي السنة الرابع عشر من ملك
طيباريوس شفي هيرودس عنده فوجه بيلاطس النحوي الي علي
اليهودية وجعل هيرودس انطيفور ريساً علي ربيع اجليل
وفي ولاية هذا قتل يوحنا بن زكريا وفيلس أخاه علي ربيع انطوريا
عنان وكورت انطرخون كما هو مكتوب في الانجيل لوقا وارثلا ووس
أخوها الرابع علي ما ذكره يوسفوس المعبري ولما كان في سنت
اشني وعشرين من ملك طيباريوس قيصر قصد اغتراباً لأخوها
الشعايه باخيه هيرودس انطيفور فمضي الي روميه وعند
وصوله اليه ما وجد لوفاه قد ادركت طيباريوس وقد ملك اغا
بيوس قيصر علي الروم ونهاية الحال ان اغا بيوس قد اغتراباً الملك
علي اليهودية ونعت بهيرودس قد ذكره لوقا في كتاب الابركسيس
وفي

وفي تلك السنة قتل بيلاطس النحوي نفسه فاما خوف يوسفوس من
ارثلا ووس فانه كان علي حذر لحدوده من اجل حدث ثيبته ولحيه
من اعتقاره برأي ابيه فمضي الي الناصرة كما اوجي اليه فوجد ايضاً
ان نبين الرب الذي من اجله احتمل السيد لقب المشقة من اول
الأم وهو بحال الرضاع وكونه ابدل مكاناً مكاناً وصار لأمه
وليوسف ثقب الجسد والقلب فيقال ان ذلك كان حتي يعلمنا
بشأن ان كيف ينبغي لنا في كل نازلة تاتي لنا ان نستعمل استعانتنا
من غير قلق ولا ضجر فيما تقتضي به الفضيله وان قال قائل في اي
كتاب من كتب الانبياء وجد تراه يدعي ناصرياً كما شهد الانجيل فانه
قد كشفه كتب الانبياء الموجوده في ايدي الناس الاذعن لخرها فلم يلق
هذا القول في شيء منها فيقال ان من المعلوم ان طاهران مي كاتب
هذه البشارة انما كتبها من اجل اليهود الذين امنوا والذين دعاهم
بعد انصرهم اليه ان يكتب لهم نصراً بشهرهم ودعاهم اليه في كتاب
بلغة العبرانية فلو لم يكن لهذا القول عندهم اصل ثابت لما كانوا
قبولوه ولا ادفعوه ولا شك في ان هذا مكتوب في كتب الانبياء من قبل
ان تحرق وتبتل وتتغير وذلك ان العوارض دخلت علي كتب
العتيقة من جهتين مختلفتين اما الاول فانها من جهة ما عرض
لبت المقدس في أيام النبي وبحال من جريق النار والنهب

والذين بعد الخري واما الثانية فانها من جملة كهنة اليهود
ومعلميهم وكتباهم الذين علموا بقيامته المسيح علما يقينيا فانهم لما
وقفوا على الحق وبان لهم جحلم عدوا الي الكتب الموجودة وغيروا
الشواهد التي توضح انما لهم الشوا التي اعتمدوا عليها في امر المسيح
نصره لهوام وخشيته من تاييتور فيبلغ الخبر للروم فيؤخذون
بجورهم مقتضي كتب شريعتهم والدليل في تحقيقها نيز
لبحقثين ان نانا ولخانز وهو لخبيا وايليا والشح الذين هم من
كبار الاربعة وعشرين نبيا ما وجدوا لحد منهم كتاب ودون
عرف من اخبارهم وفضايلهم وقال بعض المفكرين ان هذه النبوة
نابته في الرثا له الخامسة عشر من رشايل باروخ حكايه عن ارميا
الكبير في الانبياء المذكورين في اشعار الملوك حفظا لذكرهم لاغير
والبيان ايضا ان الناموس الثاني من العتيقة وهو السفر الخامس
من التوراة عدم وانقطع الرجاس وجوده الي ايام رثيا الملك
علي هودا الوجود مدفونا وقد فسد لفضه واما الانبياء الذين
يخرجون عن الاربعة وعشرين فمنهم من وجد له كتاب مثل عكره
ومنهم من لا وجد له كتاب مثل اصاف الذي ينج داود الملك بسبب
امرات اوريا ويونام الذي ينج يوربعام ابن ناباطا على عبادت حله
للاوتان وهو الذي ملك على العشرة اسباط من بني اسرائيل
حين

حين فصول علي لبعام ابن سليمان وهذا جميعه من البرهان الذي
يدل علي ان العتيقة قد عدم بعض كتبها عن تحقيق
بني اسرائيل يغفر قال انه لما واما الملك قال اليوشوخذ الصبي
وامه والتي هم ارض مصر فاقا مواجها سنين الي وفات هيرودس
ليتم ما قال الرب علي شان بنيده وهو هو شح اني من مصر دعوت
ابني وذلك ان كتب العتيقة فشرت الاربعة دفعات الدفعه الاولى
من اثنتين وسبعين شيخا المبشرين والثانية من تاداش الثالث
من شراخس الرابع من ارشلاووس اما الاثنان وسبعون
فقالوا ان فتا ابني اسرائيل انا احبته ودعوته ابني من مصر
وشراخس يقول ان كتاب اسرائيل انا احبته ومن مصر دعوته
ابني وتاداش يقول شابي احبته ودعوته ابنا من مصر وارشلاووس
من اجل انه كان يهوديا وتندصر وكان يعرف العلم جيلا وتفسيرات
الكتب قال ان فتى بني اسرائيل انا احبته ودعوت ابني من مصر
يوحنا من الذهب يغفر نبوت ارميا النبي هكذا قال ان
هيرودس اعقب ثلاث بنين الذين هم هولاي هيرودس ارشلاووس
فيلبس فاما ارشلاووس والي علي فلسطين وهيرودس علي الجليل
وفيلبس علي عمان وكورثما فاما ارشلاووس قد ذكره تي وهيرودس
وفيلبس ذكرها لوقا والامه هي بقيلة بنيامين وراحيل في امر

وش

بنيامين وهي من بيت لحم ورحيل التي تنكح علي بنيتها يعني به بيت
 لحم لانها منها مضافه الي قبيلة بنيامين ورحيل من حاكم قلدت
 فلها دعي بيت لحم في هذه النبوه ورحيل لبوخا من الذهب
 ايضا تفسير اخر وحاني قال ان لرامه هو موضع عال والبكا
 والنوح العظيم كان يسمع من هناك والمعني في بكاء رحيل لان
 رحيل هي يروشليم السماويه كما هو مكتوب في بولس الرسول ان
 يروشليم العلوته هي حرة وهي امناء كلنا وبكاهاهو علي البشر الذين هم
 اولادها وضلوا عن هذا الله واستقاموا في عبارات الاوثان
 قبل مجي المسيح وذلك انه يكون في السماء فرح عظيم بخاطي واحد
 يتوب فاذا كان للبشر كلهم قد ضلوا فلا شك انه يكون في السماء
 حزن عظيم من اجلهم وهو لتفسير وحانيا وايوحنا من الذهب
 ايضا تفسير اخر وحانيا وهو هكذا قال ان المكتوب في
 ميخا النبي وهو ان يخرج مدبر من وسط بيت شعبي اسرائيل قال
 شعبه بالحقيقه هم جنس المؤمنين واسرائيل علي الحقيقه هم
 الكنيه التي تجمع المؤمنين الذين ارضوا الله من كل الامم
 ومن كل جنس واما قول الكتاب انه يدعنا ناصرياً بمعناه الصديق
 ولكن تعلم ان اليهود قد افسدوا مواضع كثيره يحلمهم وراؤهم
 ومحبتهم لعبادات الاوثان وذلك لان الناموس الثاني وهو السفر

الخامس

الخامس من التوراه وجلاه بعد زمان هادفون في موضع قد تلف
 وذلك في ايام النيا ملك هودا ابيها نبوت
 كثير ونحكون هذا الكلام ويقولون في اي موضع هذا
 مكتوب ومن هو الذي قاله فالذي يصعب عند غير المؤمنين
 معناه فان وجوده تسجل عند المؤمنين فتفسير الناصريه
 قدس وتفسير الناصري المقدس وبيت لحم تفسيرها بيت الحبر
 لانها بيت الحبر الذي نزل من السماء وذلك معناه الناصري القدس
 كما هو ظاهر من تفسير الاسم وبيان ذلك ان موسى قال ان كل
 ذكر فأتخ رحل يدعا قدس الرب وهكدي هذا كان في النيا منس
 بالامثال واما بالحرف فانه علي المسيح وحده لاجل انه لم
 يستطيع احدا من البشر ان يتم هذا الا الوحيد ابن الله يسوع
 المسيح لانه المبكر ولم يغير وبعثت العدي كهيته ولم
 يكن ذلك في امره لها زوج ولا باضعه رجل فلماذا بالحقيقه
 دعي قدوس لان الناصري قدس والناصري القدس وهذا معناه
 ماري افرام السرياني يفسر قال ان تفسير الناصري باللغة
 العبرانيه لجديده والناصري المجدد لان اشعيا يقول يخرج
 عصا من الرامه ارمه ايشي ونصورا من اصله فهذا هو النبي
 الذي تنبأ انه يدعنا نصورا في المجد لان المسيح هو الذي

مديون

اجل الحقيقة واتى بالجديده وايضا لاجل انه قديم واتحد بالجديد

من العدي الطاهر فهو الجدد

قصر الأصحاح الرابع

وفي تلك الايام جاي يوحنا المعمدان في بيه يهودا قايلا اتوبوا
فقد اقربت ملكوت السموات لكن هذا هو المقول من الشعب
النيران يقول صوت صاخر في البريه اعدوا طريق الرب
وسموا سبيله وكان لباس يوحنا من وبر الابل ومنطقه
جلد علي حقويه وكان طعامه لجراد وغسل البر يخرجوا اليه
حينئذ امن ابروثليم وجميع اليهوديه وجميع كور الاردن
فاصطبعوا منه في نهر الاردن معترفين بخطاياهم فلما راي
كثيرين من الفرثيين والزنادقه مقبلين الي متودبته
قال لهم يا اولاد الافاعي من لكم علي الرب من الغضب الذي
فانتموا الان ثمه يلقوا للتوبه ولا تفكروا وتقولوا في نفوسكم ان
ابراهيم ابونا فاني اقول لكم ان الله لقاد ان يقيم من هذه الحجاره
بنين ابراهيم وها هو ذا الفاس موضوع علي اصول الشجر فكل
شجره لا تثمر صالحا تستقطع وتلقى في النار فانا انما
انعمكم بالما للتوبه والذين ياتي بعدي وهو اقوي بي ولا استحق

ان

ان اجل حده فهو يصنعكم بروح القدس وبنا لنا وهو الذي
بيده الرشف ينبغي به بيدر فيجمع نخمه في الاهرا ويحرق البن
بنار لا تطفا حينئذ جاي يسوع من كليل الي الاردن الي يوحنا
ليصطبع منه فصد يوحنا قايلا انا المحتاج ان اصطبع
منك وانت ات الي فاجاب يسوع وقال له دع الان فهدي
يجب لنا ان نعمل كل البر حينئذ اتركة فلما اصرطبع الرب
يسوع صعد للوقت من الماء واد السموات قد انفتحت له وراي
روح الله نازلا مثل حمامه وانبا اليه واذا صوت من السما قايلا
هذا هو ابني الحبيب الذي به سررت حينئذ اخرج الروح
يسوع الي البريه ليجربه ابليس فصام اربعين نهارا واربعين ليله
وجاع اخيرا فجاء المجرب وقال له ان كنت انت ابن الله فقل لكي
تصير هذه الحجاره خبزا فاما هو فلجاب وقال له مكتوب انه ليس
بالخبز وحده يحيا الانسان بل بكل كلمه تاتي من فم الله حينئذ
لخذه ابليس الي المدينه المقدسه واقامه علي جناح الهيكل وقال له
ان كنت انت ابن الله فانطرح من هاهنا الي اسفل لانه مكتوب
انه يوصي ملايكته من اجلك فيحاطونك علي الايدي لئلا تقهر حجر
لجلك اجاب يسوع ايضا لا تجرب الرب الهك فاصعده ابليس
ايضا علي جبل عال جدا وراه جميع ممالك العالم ومجدها وقال له

سلا
١٣
٤

١٣

١٤

١٥

١٦

هذه جميعها انطيمها لك ان حزت وتجدت لي حينئذ قال له يسوع
 اذهب وراي يا شيطان لانه مكتوب لربك تسجد واباه وحده تعبد
 حينئذ تركه ابليس واذا ملايكه قد جا اوحيه بونه ولما سمع يسوع ان
 ان يوحنا قد اسلم مضى الى الجليل وترك الناصره وجاء وشكل كفرناحوم
 التي على شاطئ البحر في تخوم زابلون ويقنايم ليكمل المقول من اشعيا
 النبي ليقبل ارض زابلون وارض يقنايم طريق البحر وعبر الاردن جليل
 الامم الشعب الجالس في الظلمه راي نور عظيما ولجاوس في الكور
 وظلال الموت اشرق لهم نور منذ ذلك الزمان بدأ يسوع يبشر ويقول
 توبوا فان ملكوت السموات قد قربت تفسير بعض الانجيل المظهر
 ان البشير لما انتسب الى الغاية وصف ميلاد المسيح من العذراء الطاهرة
 ونسخ اللوازم واللاحقه به صار الى وصف ميلاده من المهدية المقدسة
 وذلك ان سيدنا الماصار في ثلث سنه وهي سنه خمسة عشر لطيارا
 ملك الروم وتاني سنه من ولاية بيلاطس النبطي على اليهوديه حلت
 كلمت الله على يوحنا ابن زكريا في البريه فجا الى الميلاذ المييطه
 بالاردن كبرنعموديه التوبه لقرا لخطايا كما شهد الانجيل
 الجميع فوجب علينا ان نجت عن الزمان الذي انطلق فيه يوحنا
 الى القفر واعلمه الموجه لذلك ونقول ان هيرودس لما امر بقتل
 الاطفال من ابن سنين فما دون قال له ولحكاه الشرط ان لو كريا
 الكاهن

13
14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

الله حسداً له فاما الرسل فانهم انتظروا زكريا يخرج من الهيكل فلم
يخرج وانقصر بالمذبح ولما لم يعلنهم الهجر عليه الى المذبح دون
المتدين هيرودس ففني منهم من اخبره بما علموه من حاله فاشتد عدا
هنة اليهود وعرفهم بحاله فوافقوه على قتله فامران يقتل في
موضع فقتل بني الهيكل والمذبح وتوفي معه يعلي في الموضع بانيف
عن خمسون سنة حتى ملك انابا يوسقي صول على الروم وشير ريشولا
ومعه صورت رادوس الصنم الذي كانت الروم تعبد له لينصبها
في البيت المقدس وياهر بحمل الجور لها فيه ولما وصل الخبر بقتله
دمر زكريا وشاهده وهو يعلي فقتل عليه جماعة من الهنة فكل
لوقته فهدما اختصر من حال زكريا واما حال يوحنا فان
اليسع امه لخدمة وهرية الى الفجر وهو قفر الذريغنا فمكتا
هناك وكان ثمن يوحنا يومئذ ثنتين وهو يتراباً بالرضاع
وكانت ملائكة الله يحفظونها من كل شعة واده وكان
غداً اليسع من النبات وتتناوله بشكر وفرح عظيم
وكانت مع كبر سنهما تاتي الى مراعي الابل في البرية
وتجمع الوبر فتغزله وتعمل منه ازرات مشبكة يشتتران بها
ويعيشان من عقاير البرية وكانا يسبحان الله ويقدمان
اسمه على الدوام وكان روح القدس مدبراً ومرشداً للصبي ومعلماً

وله من اجل اختصاصه بخدمة الملك العظيم وبعد وفات اليسع لما صار
سنة في ثلاثين سنة ازججه الله ليدخل المشكونه ليعود يبشروا بيتك
وما يخص عنه ويقال لمرقام وحناني البرية هذه المدة الطويلة دون
المشكونه والسيد المسيح وهو الذي كان المطلوب عليه وقد كان
مقيماً في المشكونه ومتردداً الى البيت المقدس وكان يجالس العلماء في
الهيكل ونبياهم عن امور كثيرة ويوحنا فخرج الى البرية الا لاجل
الطلب الذي كان على المسيح فيقال ان ذلك كان حتى لا يجد
المعانججه ولا مطعناً في شهادته على المسيح بان يقول لما فعل
هذا من اجل القرني والصدقة لجامعه لها وايضا الشعر بان
التدبير في السنة لجدده تعان به اطراخ العالم والزهد فيه وما
السبب في ازججه حتى عاد من القفر الى المشكونه فان ذلك لا يهاب
كثوه فالاول منها انه اشعر بورود المسيح الملك العظيم والثاني
لكي اذا سمع الناس به يجتمعوا اليه من كل موضع فيبشروا به
بحيث لا يضطر الى طوف البلدان للنداء بورود المسيح والثالث
لينبه اليهود المنتمكين في الخطايا للتوبه والانتباه من سنة
الخطية هو اصلاح الطرق امام الملك المسيح والرابع ليظهر
نرا العمودية حتى اذا جات سنة العماد على يدي الرسل لا ينكر
عليهم من اليهود وما يسئل عنه ويقال هل عمودية يوحنا كانت

تغفر الخطايا. فيقال ان معمودية يوحنا كانت تغفر الخطايا. وان
الدليل على انها لم تغفر الخطايا. لان المسيح لم يسلطه وقبل موته
المسيح لم تمت خطيته. والعايل ان يقول اذا كانت معمودية يوحنا
لم تكن تغفر الخطايا. فكيف يقول برقص في الانجيل كان يوحنا يعد
في القفر ويكرز بمعمودية التوبة لغفران الخطايا. ولو قال ايضا هكذا
يقول فيقال في جواب ذلك الجواب ان يوحنا فر الذهب ان مثال فعل
يوحنا اذ اقيم مثال فعل المسيح. كان مثل الشفق الذي يظهر
وجه الفجر قبل ضوء الشمس قبل طلوعها. فكأنوا يعتمدون منه على
رجاء الغفران اي انهم الان مفارقون العالم السيئ والسيئون
مستعدين لقبول النعمة المسيحية بالغفران ووهبة البهوه. فاما
معنى كلام يوحنا. اني اعلمكم عماد التوبة اي ان تظهر قلوبكم مستعدين
لقبول روح القدس التي هي معمودية المسيح الذي انا رسوله. وكانت
معموديته للتوبة وطريق الغفران الخطايا. والمعمودية تعال على
خمسة معاني فالاول معمودية موسى النبي وكانت نافعه في ظهور
الاجسام من الجبابه او عند تقدمها الى عظام ميت او ما اكل محرمة.
والثاني معمودية يوحنا. وكانت نافعه في تطهير الانفس بالتوبة
وهي تنشط بين معمودية موسى ومعمودية التلاميذ والثالث
معمودية الرسل وسرجا حلاوه وانها انفلت في ظهور الاجسام

وتغلب

وتغلب الانفس وغفران الخطايا. وتبول ووهبة البهوه. واما الرابع
ولخامس فهما معمودية دم الشهاده ومعمودية دموع التوبه كدعوى داود
البنين ما غفرت خطاياهم. وهما مثل معمودية الرسل بغير نقص. ومما
يفحص عنه ويقال ما السبب الذي اوجب للسيد الاعتماد من يد يوحنا.
وعلى اي وجه كان. فيقال ان السيد كان غير محتاج الى معمودية لان
البنين يقولون لجله الذي لم يصنع خطيه. ولم يولد في فيه غش
وهو العايل عن نفسه من منكر يوحنا على خطيه. ويوحنا شهد وقال
انا المحتاج ان اعتمد منك وانما كان الاعتماد له ذات وجوه الاول فانه
اراد ان يظهر ثلثا لوث المقدس ولعماد الارواح وحلول روح القدس
عليه ونصوية الاله. والثاني فانه كوله هكذا نجعلنا ان نكمل
كل البر وذلك انه نسلخ معمودية الفتيقة بمعمودية الحديثه كما فعل في
الفصح العظيم ونسلخه بالجديد والثالث ان تكون شهادت يوحنا
للذين ياتون الى معموديته شايعه ما عاينته وشمعه والرابع لتكون
ثا لثا لكن الطريق التي تسلكها كما قدمنا الطريق في غير ذلك
ولخامس انه جعل ذلك مقالا لشرفه وقيامته وموتنا وقيامتنا.
والسادس انه اراد برحمته ان يمنحنا ووهبة البهوه. وتقديس
اجسامنا ونفوسنا بوساطة تاسسه ونصوية الاله وحلول
روح القدس عليه. ومما يسل عنه ويقال لم كانت المعمودية بالماء.

لأبغايه مثل الذهب والنهر وما يجري مجراها. اجواب في ذلك
ان الطبيعة الاولى تركبت من الاربعة عناصر وهي التراب والماء والنار
والهوى ولاجل ان هذه العناصر لم يكن فيها شيء من شرب الماء ولا
فيها ايضاً شرف منه فجعلته المعبودية التي هي الميلاد الثاني لنا من ماء
لعدت سباب الاول ان طبع الماء طبع الحياة وهو المني لكل ما هو علي
وجه الارض من الحيوان والنبات والثاني ان من شأنه اطعام النار
واروي العطش فجعلته المعبودية به لتعلم ان لها عكناً ان نطغي
نار الشهوات والظلمة اليها والثالث ان للتطهير والنظافة
لا تتم الا بحماة للنسقين انا اذا اعتمدنا نطهرت اجسامنا مع
نفوسنا من الخطية وانه متى عدنا الى الجحاشه لم يبق لنا تطهير الا
بدمع التوبة ولما بدم القتل في طاعة الله كما قال الدين اجزئتنا
في الفرق ولكرق ثم اخرجتنا الى الراحة والرابع لكي نتقدس
العناصر الاربعة نجسم شيدنا المقدس وذلك الماء تقدس بالمعبودية
والهوى تقدس بالصاوات والارض تقدسة بالدفن فيها والنار
تقدسة باختياره فيما عند صعوده الى السموات والخامس ان جميع
ما هو علي وجه الارض صلح وبه ايضاً فسد في ايام نوح والسادس
ان عبادات العبرانيين جرت ان يعبدوا بالماء ومن اجل ان ذلك هو من
العوايد الجميلة وانه ليس يوجد في المحسوسات لهذا المعنا اشرف
واجل

ولجل امنه ولذلك البقي علي حاله ولم ينسخ كما نسخته القوانين وغيرها
بالاصناف العوايد وما يشل عنه ويقال ان مكان العباد في نهر الاردن من
دون الانهار فيقال ان هذا النهر تقدمه فيه اشراك يوه منها ان
يشوع ابن نون لما اطلقوا الشعب ليريم الارض التي وعدها الله بها بني
اسرائيل ان يورثها لهم عبرهم في هذه النهر ليكون علامة ان العباد
الروحاني يورث ابناً البشر ملكوت السموات ومنها ان ايليا النبي
عبره قبل صعوده الى السموات ليكون ذلك علامة ان العباد الروحاني
يصعد ابناً البشر الى السماء ومنها ان لهذا النهر عياناً لخدمته
تسمى نون ومنها كانت تشرب ارضي الشعب فاعتمد السيد فيه طهره
والاخرى تسمى امان ومنها كانت تشرب ارضي الشعوب فاعتمد
السيد فيه علامة ان السنة الجديد تجمع الشعب والشعوب معاً في
الملوك السماوية ومنها ان هذا النهر انصبابه في بحيرت سلام
وغامور ولا يجتلط ماءه بما يهاه ليكون ذلك علامة ان من اعتمد
الاعتماد الروحاني وتقي علي طهارته في العالم لم يجا طه شيء من
دنس العالم ولا من شهواته وما يخص عنه ويقال هل جعل روحياً
يده علي رأس السيد عند اعتماده منه كما كان يفعل يساير المتعدين وانه
رفع يده عنه من اجل انه اعتمد منه من غير حلاجه له اليه واقراره له
ايضاً بانه المحتاج الي الاعتماده فيقال ان السيد المسيح تبارك

الله انما تأسس من اجل خلاصنا وخلصنا كافة البرية من الناس ولما في ذلك
 ولخدمته العبد الذي نفعته التشبه بنا في كل شيء لخلنا الخطية ولهم يكن
 خلاصنا الابعد وفا الدين الذي كان واجب علينا من قبل الطبع لخدمته
 والنا موثوق فأخفا السيد مجد لاهوته بنا سنة وعمل اعمال العبد وهو
 رب وخضع تحت وصايا التوراة وهو واضعها فسترا الربوبية
 بخدمته مثل العبد ونسأ غناه بالملكوت ونسأ اللاهوت بالاناسوت
 ولما اعتمد من يوحنا اعتمد كثير المتعدين منه ولان المنقري استندوا
 على ذلك من سنن البقية ولخدمته اما سنن البقية فان الله قال
 لمويسي قرب هرون وبنيه الى قبت الزمان ليغتسلوا بالماء وخذ الكسوة
 وابشعاهم وون قميص وثياب وعمامة ولبية والرداء واصلحهم من منطقة
 لية وعممة بالعمامة وضع الكليل القدير على العمامة وخلصنا من المشحة
 وصبع على راسه وقال الله لمويسي ايضا قم على الصخرة فاذا ما ابريك
 مجدك في اصبك في مفارط الطران وانت يدي عليك واظلل لك
 سبحاني فتري عظمتي ولما سنن كدثيه فانه لا يصلح للانسان
 كهوت ولا محورية دون ان يضع الكاهن يده على راسه ولكم ان السيد
 اتضع حتي اعتمد من يوحنا مثل شاير المتعدين منه فبالضرورة
 قد جعل يده على راسه وذلك ان اغريغوريوس التاولوغري يقول ان
 الذي

الذي نفعني اثاروسيم وجوههم من نوره اهل يوحنا ان يضع يده
 على راسه لانه الشحق هذه الكلمة من اجل لخمته في البوتة صعايب
 الامور وشلت البرود وشلت حرمند ثلاثين سنة ببسبه ورتاجله
 وقال جماعة من المنقري ايضا ان الكهوت التي لخدمته هرون من موثي
 بلغت الي يوحنا ولخدمته السيد المسيح منه ليتم قول الكتاب انت
 الكاهن الي الابد على طقس ملشيا ذاق والسيد المسيح اعطاه
 للتلاميذ ولم يقبل السيد الكهوت من يوحنا لخدمته منه الي ذلك بل
 لكي حتي لا تتبطل الموهبة الاولى بل انها تتناق من واحد الي اخر
 مادام العالم باقيا ويقولون ايضا ان هذا كان لكي يعلمنا طريق
 التواضع لان السيد لخدمته ان يجعل العبد يد على راسه لخدمته منه
 اليه حتي ان تكون نعمة وتنال العز من اي كاهن كان ولا تخفوه اذ
 ليس هو سلطان ولا اسقف وعما يخص عنه ان المسيح لما اعتمد من يوحنا
 لم كانت سنة فبقال انها كانت ثلثين سنة كما تشهد لوقا واصحاب
 التواريخ يذكرون ان في سنت اثنين واربعين من ملك اغسطرس قيصر
 وللمسيح من العدي الطاهرة وهي خمسة الاف وخمسة مائة سنة
 للعالم وكان ملك اغسطرس سنة وخمسون سنة فكانت سنة
 عند وفات اغسطرس خمسة عشر سنة وفي سنة عشر من ملك طيباريوس

اصطبغ كما نشد لوقا وما يثل عنه ويقال ان كانت المعمودية في
ثلثين سنة الا زايده ولا ناقصه فيقال ان ذلك لحدث اشياء وذلك ان
ادم الاول الذي هو ابو البشر خلق في هبة ابن ثلثين سنة وهكذا ادم
الثاني الذي هو رب ومبدأ العالم الجديد لعمدة وهو في ثلثين سنة ليتم
الناموس الاول للناموس الثاني لانه لو نسخ الناموس الاول من البداية
لكان يقال انه لم يقعد على حفظه فحفظه ثلثين سنة وهي السنوات
التي يستولي على الانسان فيها ثأير الخطايا اما في زمن الصبا
نعتان الراي وزمن المراهقة بالالتهاب بالشهوات وزمن الشبيبة
مجت جمع المان هذا كلها تكون في هذه المدة فتبت فيها تحت
الناموس الاول واستعمله على غاية الواجب حتي لا ينافيه انه ترك
استعماله عجزاً عن ثبوت حقه ولما اكمل حفظه لعمدة من يوحنا وابتدأ
بنسخه وتماه وايضا انه وابتدأ بنسخه وهو في حين الصبا لكان قد
لغرض نفسه لها لفتها لانه ما جرة العاده بالاضغاث الي الصبيان
ولنعلم ايضاً ان السن الذي يقوم به الناس يوم القيامة هو هذا السن
وان اليهودية هي سر موتنا وقيامتنا ويشل ايضاً ويقال ان كان السيد
اعتمد وسنوه ثلثين سنة لم قال لا يجلي انه لما وصل من مصر وسكن
في مدينة الناصرة في تلك الايام جأ يوحنا المعمدان فيكون المعمودية

ط ٥٥
واذا كان الامر على هذه الشياكة يكون المسيح يوسيد في خمس سنين فقط
بحسب في ذلك الكلام منه ما هو مطلق وهو الذي لا حله محاد
له ومنه ما هو محاد بحد فاما قول مني فانه مطلق لانه ذكر يحيى المسيح
من مصر وشكته في الناصرة وقال في تلك الايام جأ يوحنا المعمدان فيكون
معمد قوله في تلك الايام يعني ان المسيح عندما عاد من مصر تاو شك
الناصرة ليوطن فيها الي الحين الذي اعتمد فيه من يوحنا وهو خمسة
وعشرين سنة تمت الثلاثين سنة اشار ان يوحنا المعمدان جأ كمر في
الايام الذي كان المسيح موطن بالناصرة لانه صار بعد المعمودية يطوف
المدن القرى ويعلم واما قول لوقا فانه محاد لانه عرف تلك الايام بالملك
والولاية والهنوت وما يثل عنه ويقال هل كان يوحنا وقت
المعمودية يوضع يده على اس كل انسان يقول شيئاً ام كان يكون ساكناً
فيقال انه اذا عمد ووضع يده على اس المتعمد يقول فلان تعمد بمعمودية
التوبة لقمر الخطايا ولما اعتمد سيدنا منه ابهرته الايات التي
راها وذلك انه راغامت بيض اظلمة والملائكة وقوف والاردن
جمع الخلق كما قال الكتاب مال اليها الجحور ت وابت ايها
الاردن رجعة الخلق فكان يشبع حب ويقول شبحان من حط
نفسه حتى يقدس يد عبده والنسب الذي من اجله تقدم يحيى

يوحنا امام المسيح وندأوه وأندأوه فإنه لعدت أنواع الوجه الأول
فأنه حتى يكون البشر به كاهناً ونبياً وتيم قول زكريا وأنت ايها الصبي
نبي العلي تدعاه وتنطق بوقدام وجه الرب لتعطفه وتعطي عليه
لخلاص لشعبه والثاني ليكون شاهداً له مقبول للقول ولا يشهد هو
لنفسه والثالث حتى لا يبق لليهود عدل في تأخيرهم عن الإيمان به لأن
يوحنا كان عندهم بصورت قد يسرطاهر غير رأي واعله التي من
أجلها ابتدأ يوحنا يدعو للتوبة فانها أشارت عن ورود الملك المسيح
الذي في لغز الخطايا ورفع ناموس القصاص والله لا يجب أن
يلقاه الا من قد ظهر نفسه من الاوساخ الشهوانية كما قال الله
لوشي قبل التجلي أمضي وظهر الشعب مناً وعدو تقدم اليهم تبيض
تياهم وأما قوله قد اقتربت ملكوت السموات فان ملكوت السموات
تقال علي ضربين كثيرين الأول منها ان ملكوت السموات هي في ههنا الكلمه
متانثاً والإيمان به هو الطريق إلى الملكوت وحيات الأبد كما قال
سيدنا لتوما هات اصبعك أنا هو الطريق والحق والحياه وقوله أيضاً
من يعيل إلى لا يجوع ومن يؤمن في لا يعطش إلى الأبد وذلك ان ملكوت
السموات ليس فيها جوع ولا عطش والثاني منها حجه علي حجاب
السماء في حجه عند انقضاء الدهر وقيامه السموات فيضعد الأبرار
إلى

إلى السماء ليتمتعوا بخيرات ويشتركوا في نعمه الروح الذي منه يحون
إلى الأبد ويتبرون من الغشاد والغيار وينجون من العقاب
والغمر والجبر كما قال الرب في الإنجيل حينئذ يقول الملك للذين عن يمينه
تعالوا إلي يا مباركي ابني انا الملك المعطى لكم من قبل انشا العالم وقوله
ايضاً حينئذ تستغي الصديقون كالشمس في ملكوت أبيهم والثالث
منها ان ملكوت السماء هي السماء مبثارت الإنجيل وقد شبهها
ربنا في الإنجيل بحبه الخردل الذي زرعا انسان في حقله وبالحجر
الذي اخذته أمراه وخبأته في الدقيق وبالكنز المخفي في الحقل
وان الانسان الذي وجد باع كل شيء واشترى ذلك الحقل وبالحجر
الكثير الثمن الذي باع التاجر كل شيء واشترىها والرابع منها
ان ملكوت السموات تجليه علي طور نابور كما قال في الإنجيل ان
ها هنا أنا أنا لا يدورقون موت حتى يشهدوا ملكوت الله والخامس
منها ان ملكوت السموات هي صورته ومثاله التي أعطاهم لا ببيت
أدم كما شهد الكتاب وهي تميز العقل والاستصاعه كما قال ان
ملكوت السماء فيكم هي والثاشر منها ان ملكوت السماء هي قيامت
سيدنا من بين الأموات كقوله لتلاميذه من الآن لا تشرب من هذه العصير
حتى تشربوا جديداً معكم في ملكوت السموات لأنه بعد قيامته اني إلى التلاميذ

واكل معهم وشرب ومعاني كثير في هذا تشهد بها الكتب المقدسة
واملكوت التي قصد بها يوحنّا هي ظهور المسيح متأنساً بالآله الطريف
الي النعيم الذي يكون لنا في مجيئه الثاني كما قال الرسول لتنادفنا
مع المسيح بالمعمودية للموت ليكون كما قام يسوع من الاموات بمجد
ابيه كذلك نشير نحن ايضاً في كياه الجديده وقد قال بعض المفسرين
ان ملكوت الله غير ملكوت السماء ونعموا ان ملكوت الله هي العلم
به وملكوت السماء هي العلم بمخلوقاته ومعلموا ان لفظة ملكوت السماء
مأخوذة في البدايه الآمن يوحنّا لأن الذي تقدمه لم يذكر غير
الملكوت الارضية والخيرات العالمية ويصل الشايل ويقول اذا
كان يوحنّا الذي سبق بذكر ملكوت السماء وكوفا غير ظاهره
ولامعروفه عند اليهود فما فائده في ذكرها لهم الجواب
في ذلك ان يوحنّا قبل الوحي بالسنة الجديده في التابته ففتح الله
العتيقة بما ان ملكوت السماء افضل من الملك الارضية فابتدا
بلفظ ملكوت السماء حتي اذا سمع اليهود بشارات الانجيل وانام
ذكر ملكوت السموات يسبحون عن معرفتها وعن الطريف التي
توصلهم اليها لاجل ان دعوت النبي قد سبقه لهم بذكرها وحرصهم
علي التوبة التي بها ياتون مغفرة لخطاياهم ويتناقبون الفضيلة

لأن

الفضيلة لان التوراه توجب العقوبة مع الذنب والانجيل يوجب
الفران مع التوبة وملكوت السموات زياده علي ذلك وما يخص عنه
ويقال لهم سمعي يوحنّا صوت صاخر فيقال ان الصوت من شان
الاشعار بالكلية والمسيح هو الكلمة ويوحنا صوت اشعر الكلمة
معني اخر ان الصوة به يتيقظ الانسان من الاضطجاع وهكذا
يوحنا نبيه الناس من شنة الغفلة والانهماك في الخطية ايضاً
ان البشير لاسم بشارته بغير صوت فيوحنا هكذا كان يبشر في
امر التوبة وغفران الخطايا وتسهيل طريق الرب وللتايل ان
يقولوا هو تسهيل طريق الرب فيقال ان ذلك هو الاستماع
لوصايا الله والعمل بها وامساك الشريعة اي العمل بها والاستعداد
بالتوبة والاعمال الصالحة لان ملكوت الله قريبه التي هي محي
المسيح في مجيئه واما لباس يوحنّا كونه من وبر الاكل فان ذلك
لعدت معاني الاول تشبه بايلياء لانه كان لباسه الشعر الذي
كان يعمل به الطبع استعمله يوحنّا اختيارياً والثاني انه كان
ينادي بالتوبة فلبس اللباس الملائم لها كما فعل اهل نينوى عند
توبتهم وكيترياً بزي غير بسمن الناموس العتيق وملائم للناموس
الجديد والثالث ليحنا علي ترك الاختيار باللباس وطلب الامور

الانجيل

الأمور السماوية والرابع من أجل أنه زاهد وعابد فالزهد هو ترك
مخارقه هذه الدنيا ومخزها والباش المخفر هو مجلب للأنتان لعظمه
فلا بد للباش الشعر هو للتوبة لأنه علامت الحزن والكآبة وما لبأته
كونه من روبرا بل وليس من غيره وذلك ان يوحنا كان متوسطا بين
العتيقة والحديثة وليس شعرا وان أخر متوسطا بين الجحش والطاهر
نوي كجل ولأجل أنه نجح فهو من كجوان الطاهر ولأجل ان طلفه
غير مشقوق فهو من كجوان الجحش ولأجل ان يوحنا كان مرشدا
للشعب الطاهر والشعب الجحش أيضا فلبأته ذلك بمرزبه
علي ان قصده أرشادهم باشعره وكما كانت معبوديته متوسطه
بي العتيقة والحديثة هكذا كانت دعوته متوسطه أيضا
وأما كون منطقتة كانت من جلد فهي لهدت معاني الأول
فاتها كانت من جسم كان حيا ياكل ويشرب ويعطي ويروح فدل
بمعاني ما تجميع السموات الجسدانية وتذكر الموت والثاني
فانه تشبه بالكنه والابرار الأولين وهكذا أيضا فمل بطرس
وبولص والثالث ليكون في خدمة باربه مشدود الوسطا ويكون
متشجها بالعبد الذي ينتظر سيده وان زهد يوحنا في طعامه
ومشربه وملبسه وموطنه فإنه كان بالهام روح القدس الذي تولى
تدبيره

تدبيره في ابريه مندصاه وليكون مستعدا للرثاله أمام الملك الذي
علمه لايمده الزهد وصارنا لأحسننا لمن اتى بعده وأما طعامه
لجرا وعسل البر فلكوا هو عقار يطلع في ابريه يعرف بالنفس وهو
يشبه لجزر وليس هو بل يد وعسل البر فهو الملح وأما خروج من
خرج من ابروشليم وغيرها اليه فمنهم من ظن أنه المسيح ومنهم من
ظن أنه نبي لأنه من زمان طويل انقطع النبوة ولما سمعوا بذكر
معداني بعد للتوبة ومغفرة لخطايا بادروا اليه لانهم كانوا غافقين
في الخطايا منهم كبري عليها وذلك ان تتيب لهنوت ثلاثة انواع
هنوت الناموس العتيق وكانت تعاقب علي الخطايا اذ اجاها
الانسان بعلمه ويستغفر له عن الخطايا اذ اجاها بغير علم وهنوت
يوحنا وهي متوسطه وكانت توبه وطريق الي مغفرة لخطايا
اذ اجاها الانسان ببصيره وعلمه وهنوت الحديثة هي تستغفر
لخطايا اذ اجاها الانسان ببصيره وعلمه واذا اجاها ايضا بغير علم
وصارت انواعها ناقصة ومتوسطه وكامله وكان خروجهم من
اعظم الحب لان موسى لم يعد هرب ذلك ولا ايليا ولا غيرهم ان الانبياء
مع كونه قال لهم خلافا في التوراة مع عصيانهم لحقت في كل حين وهم
يتسارعون اليه مع جهلهم به كما يتسارع الي الانبياء والكنه المنجورين

ولا يشك في ان نجاح امره كان بعنايه اليه لان المقدس كانت تشير علي
يديهم لخدمة الكاهن وكذلك طاعوه وصدقوا قوله ولتتبعوا ان موعوديه
تغفر الخطايا وهم غير ثاكين في نداءه ومما يبسل عنه ويقا ان اذا كانت
موعوديه يوحنا بعنايه الله وهي المستمده لخدمة الخلاص فالذين كانوا
ياثون اليها غير ثاكين فيها في رجا الفجران وهم مضمرون مغارقت
الاممال البشريه الردييه فادافه غفرت لهم خطاياهم فيقال ان هذا
الامور جميعها كانت طريقا مهاديا الي الموعوديه التي اعطت مرتبت
البنوه وغفران الخطايا لان الموت لم يكن للشيخ ولخطيه ايضا لم
تموت لان المسيح الذي كان به الخلاص لم يكن تدبيره فهدا دليل علي
انها لم تغفر الخطايا ولا حصل الغفران بالموعوديه المبعده كالالتدبير
الالهي واما قوله ان يوحنا لما راى كثيرا ياتون الي موعوديه قال
من الزنازقه والفريسيون ولم يطق القول علي اليهود كافة وجميعهم
كانوا ياتون اليه فيبغ لنا ان نعلم ان اليهوديه ابتدت من ابراهيم
وكان تمامها في ايام موسي بالسنه التي جعلها الله علي يديه وانقسمه
في ايام داود الي سبع فرق ولما ولد منصر الكتاب وكانت تحفظ
العادات والقوانين التي اجتمع عليها منهم جماعه مناسيخ ونسيت
تلك الجماعه المتسخه بما انها ليست تلك العادات منسكوره في الناموس
والثانيه

والثانيه المعتبره وهم الفريسيون وكانت تظهر الزهد والصيام
ويمين ويمين في كل اسبوع وتخرج المشرق فالحا وكانت تجعل
خيوط القرمز في رؤوس ثيابها وتغسل الماواني والقضاي والطباق
وتظهر النظافه والثالثه فرقه الزنازقه وهذا كانت من جنس
الشاريين وتنسب الي زادوق فكانت تكفر با لقيامه والملايكه
وروح القدس والرابعه المظهرون وهي التي كانت تظهر كل يوم
وكانت غفيتها ان بالظهير في كل يوم تستحق حيات الابن والخامسه
الانثايتون ومعناها القليظه الطباع وكانت تفعل جميع
اوامر الناموس وتطرح جميع الانبياسوي موسي وكان لها كتب غير
كتب الناموس والسادسه المعشغون وهذا كانت تمتنع من اكثر
الماكل وبخاصه اللحم ولا تزي بالزواج ايضا المعلي حسب
الطاقه وكانت تقول ان لتوراها كلها ليست كلها لموسي وتمسك
بصحف منسوبه الي ابراهيم ولخنوخ وكان لغمارها علي القوم والثا
الفاشون وهذا كانت تستعمل الناموس علي السنه ولجل ماجري
بين اليهود من المشاجره باليت المقدس في ايام هيرودس الثاني
ابن هيرودس لما ولد انتم هذه الفرقة اليه واشتقه لنفسها
اشمار البهه ربا متحال ففرقه بالهيرودسيه ولما كانت هاتان

الفرقتان اللتان هما الزنادقة والفرسيون اشد بسبيلهم غيرهما
لأنهم كانتا الغالبتين فذكرهما متي حجب وأما تسمية يوحنا لهم
أولاد الافاعي فإنه من أجل قضايتهم واديتهم لكل أحد وقتلهم
الانبياء من غير جرم جازمه أحد منهم لأن الافاعى بناتها قد تلد
من لم يود بها وكذلك كانوا يفعلون وأما معنى قوله من لكم على الحرب
من الرجز الاكى فإنه كان على سبيل التعجب لأنهم كانوا على حجب
اختيارهم منكم في الشرور فلما راهم قد قدروا على الرجوع الى الخير
تعب من ابراهيم ومن بعد تعبته طفق يندبهم ويكرهم من الرجس
الاكى اي عقاب جهنم ليحسبهم على دواء التوبة وان يظهروا
برهان ذلك بالفعل وأما قوله اعملوا الآن ثمرة تليق بالتوبة ولا
تتجدوا وتقولوا ان ابنا ابراهيم فإنه قصد ان يشب لهم الرجعة
من جهنم وهما ان يؤمنوا وان ياكلوا الثمرة بالذم على ما سلف
من معاصيهم لأبنا لقول فقط بل وبالعقل وما احسرتما تقدم فرج
افتخارهم لباطل القربى من ابراهيم وانراهم بسيرت الفضيلة
اي انه اذا كان الفخر بالنسب الطبيعي فيه كفايه في رضا الله فما
كان له لجله الى ان ينزل الله كتبها وصايا وتحذيرات ولا ان
يبدعه ايضا انبياء ينددون في الاشرا بسبل ولقد كان انشاؤه لهم
من

من البت على هذا الرأي وما اجدي نفعاً ولقد كان ايضا دخول
الانبياء والصدقيين في القعب والتصب والامور الشاقة جهلاً
منهم لان نسبتهم من ابراهيم موجوده فيهم تغنيهم ولا يشك في انهم
انما كانوا يقصدون بغناهم وشقوتهم ان يعدون نسبتهم من ابراهيم
بالنيه والفضيلة فقط ومعلوم ان اولاد ابراهيم علي ضربين اما
بالفضيلة فانهم الذين تشبهوا به في الايمان والعمل من دينه او من غيرهم
وهم المعدودون عند الله تعالى اولاد ابراهيم وامابا الطبيعيين
غير ايمان ولا اعمال فانهم لا يعدون عند الله من اولاد ابراهيم وامامنا
قوله ان الله قادر ان يقيم من هذا الحجر بنين لابراهيم اي ان تسلك
ابراهيم قد اقامه الله من حثمين قد انحطبا لدبول ووقفا من
التوليد وصاروا في هذا المعنا نظير الحجر ولهذا يقول الكتاب
انظروا الى الجبل الذي تقطع منه ولجب الذي انتم فيه ومعنى
الحجاره ايضا هم الذين يؤمنون من الان بعد ان كانوا المعاصي في انهم
في الخطايا وقد انعدت منهم حركت الفضيلة فصاروا كالحجاره
ولما امنوا صاروا من ابنا الملكوت وأما معنى قوله هاهو الفاس
موضع علي اصول الشجر فاي شجره لا تثمر صالحا تقطع وتلقا
في النار يجب ان تتغير في نظام الكلام الذي اتي به هذا الرجل

الذي ياتي في القفر والغريب في اديا البشر وليف انجل على اسرائيل
الذين يفتهمونا موثر الله وسننه وارتاضوا بالانوار وكنكم
امرهم اولاً بالتوبة ثم قطع سباجهم من الافتخار بالقرابة الجسدية
ثم اندفع بيكر التحويل والتحويل انهم تماردوا على المعصية ثم بين لهم
نقل العقاب على ذلك وانه بلغ من تشديده انه قال ليس يفسخ الاغصان
بل يقطع الاصول البتة ويتجه هذا القول ان الارض هي ام لجميع
ايام جميع الاستجار لاجاله وليس من اجل ان الام ولحده يتراكم الكرام
لختارات الشجر وامتحاها جميعها المتافع اثمارها فالتى تثمره صلح
استوجب العناية الجريئة والتي يكون فعله خلاد لك تقطع
وسلج في النار اي كونا متحزين على انفسكم لانه سوف يصل اليكم
مثل هذا فانه وان كان ابراهيم اباكم اجمعين فانه ما يزداد من كل واحد
منكم غير مشيته ونيته وهذا الزمان على هذه الصفة لان مجي المسيح
قد دنا والامتحان لكل احد فان انتم قرتم انفسكم له مثل النار الصالحة
اهتمت للعناية والشفقة وان ملتم الى الثروة وقطعتم بفكركم
لأجل ان من ينسب ابراهيم ودفعتم للعقاب المزمع ثم بدامن بعد امره ونهيه
في اليهود وقهويله عليهم يعرف ويقول انه لا يستحق ان يكون خادماً
لذي ياتي بعده وان معمودية لا تعاقب معمودية السيد لانه قال اننا اعلمكم

بالماء

بالماء للتوبة والذي ياتي بعدي هو اقوي مني ولا استحق ان احمل حذاه
هو يمدكم بروح القدس والنار اي التي لنا اعلمكم بالماء الذي هو جيم سادج
بالتوبة فاما هو يمدكم بروح القدس والنار فهو ابرفع الخطايا ويوتي
موهبة البوة التي لا اقدرا لنا على اعطائها اما روح القدس فعلمة الميلاد
الثاني من ري قبل والنار فانها علامة الموهبة التي لا قياس لها وذلك ان
النار يعطي نهاراً وهي لا تفتأ وهي كلها عند المعطي ولا ينقصها ما يؤخذ
منها والنار السمر مشترك يقال في كتب الشريعة على ضرب كثير الاول
النار الهيولية هي احداً لا تنقصت الا لغيره التي خلق منها كل
الموجودات والثاني نار جهنم المعلقة للبليز وجنوده والثالث نار
روح القدس كقول الكتاب كونا ملتجئين بالروح والرابع البشارة
الانجيلية كقول الكتاب حيث لا طرح النار في الارض ولخامس النار
التي لها موسى في العليقة والكادس التي ظهرت لبني اسرائيل على
جبل سيناء والسادس النار التي ظهرت لخرقيا على الكاروني والثامن
النار التي انقمت على التلاميذ في العلية لانها المعمودية التي
اعطيت لهم ومن بعدهم اوتوا جيم الدم وهذا هي النار التي ذكرها وحناء
وفيها اعلمكم جميع الذين جاءوا بعد الخرابون فاخذوها عنهم وما تفحص

عنه ويقال ان الانجيل يقول ان من لم يولد من الماء والروح لا يرث ملكوت
السموات فبالروحنا التي ذكر الما وذكر النار فيقال ان روحنا قال هذا
القول لان التلاميذ قبلوا المعمودية التي ارسلت اليهم بالنار ولجل انه كان
يعبد الما التي ذكره لئلا يكون فيه علي سبيل الافتخار واما معنا قوله وبسببه
الرفش ينبغي به ان ذلك يجمع الفخر في الاخرى فاما التبر فيجوز به بالنار التي
لا تضطفاً فانه انباها هنا بالتصريح عن جلاله المسيح ورجوه وانظر
انه رب وديان ايضاً واراد بالاندر العالم والحظه المومنين والتبر الائمة
والعجاء والرفش هو سلطان المسيح عند المداينه لانه يسير الصالحين
من الفاجرين كما هو واختلاطين في العالم فيورث المومنين الصالحين
المتمكنين بوصاياه النعم الذي لا يزول والفاجرين الحجير المنصل ليجزوا
لحراق التبر فان شال الثايل وقال ان المومنين لم يكونوا مختلاطين في
العالم وقد ميزوا بسلكهم طريق الحق وايضاً ان الفاجرين قد غرقوا هم
بظلال التهم واتباعهم شعواهم فيقال له انما التمييز في هذا العالم
ان يكون الواحد عذري والآخر منخان والواحد فقير والآخر غني والواحد
متنعم والآخر شقي والواحد حزين والآخر فرح فلو كان الله تعالى
ذكره ميز الصالحين والكاملين في هذه الدنيا علي هذا النظم
لنعمت

٤٤
لنعمت خليقته ان هذه الدار المجازاة ولا شيء غيرها وقوله ينبغي ان ذلك
ليل علي ان العالم كله له وهو الفاعل فيهم ما يشاء فاما محي السيد المسيح
من الجليل الي الاردن ليقيم من روحنا فانه لما اكل الشئ الذي ياكل به
الانسان عقله علي حكم الطبيعة وهو في ثلثون سنة جايافيه علي سنة
الناوثر بالتصرف الحسن جايافيه من روحنا ليمر قوله فيه وشهادته له
وليفعل له ايضاً شرا لثاوث وببين من هو وانه الاله متاثر ليلايظن
روحنا انه بني كساير الانبياء السالفين وليعد لنا الطريق الي حيات
الابد ومن بعد هذا ايضاً تفتنه جديده ويعلمنا ايضاً ان شلل طريق
النواضع لانه لم يكن محتاجاً الي معبودية الله لانه معبودية التطهير ولا
معبودية التوبة ولا معبودية الفقران وموهبة البهوه وذلك انه مظهر
الانجاس وقابل التوبات وغافر الخطايا وهو الذي يرزق ابن الله علي
الحقيقة فانتفع حتي اعتمد من عبده لاجلنا لاسر لجل نفسه ليؤكد
الرجاء لجميع الناس بالمعبودية وهو ان نترج عنا البشر العتيق فلبس
الجديا الذي لا يبلاء ونحزبه امور السماء وننظر الي ما هو فوق لا الي ما
اسفل كما كان البشر العتيق فاما امتناع روحنا منه وقوله انما المحتاج
ان اعتمد منك وانت ات الي وهو لا يعرف فهو من الوحي الذي يعلم انه

سوف يجد بدم الشهادة وهي موديه النار التي ذكرها فمن اجل هذا قال
اني انا المحتاج واما قوله وانت ات الي فانه من طريق التجلي لانه العبد
والمسيح السيد وهو المحدث الناقص والمسيح الابرار الكامل واما قول
سيدنا له دع الان فهدني بجبلنا ان نكمل كل البر فان هذا القول كان مسته
لضروب عدة الاول منها برهان على استعجاله شاير السنة القديمه وانه لم
يكرم شيئا منها حتي لم يستوي المعوديه التي هي اخيرا استست
بنوا اسرائيل والتاني منها انه تواضع وجعل نفسه كالمتحتاج حتي نهب
لنا طريق الاتضاع التي هي كالعدالة والثالث منها انه اخذ
الكهنوت التي وصلت الي يوحنا عن يدي بحلول روح القدس عليه
ظاهرا ان هي كالبرحي لا ينكر لحدس اليهود علي التلاميذ فيكونوا
التي اخذوها من المسيح ولغطوها للناس وبها ينجون ويخلصون من
الخطية فلما افاضها الرسل علي جميع الامم في العالم باسره واستمر
فيهم بالولام والرابع ان الناموس والانبياء لم يفتوا شيئا في استبعاد
طبيعتنا من الموت الذي دخل عليها فجعل المعوديه سببا
لبطالان الموت ورجا البعث الذي يورث حيات الابد وهذا هو
البر الكامل واما قوله فلما اعتمد يسوع بالموت اي انه غامر في الماء
لثأته

لثأته وانذر فيه وذلك علامه علي ان المؤمنين به يولدوا ثانيا بروح
القدس واثاره ايضا عن دفر خطايا العالم الذي مات بسبب المعصيه
واما قوله وصعد من الماء اي انه يصعد من الحبحر الي النعيم واما قوله
انفتحة له السموات فهو اثاره عن عدت معاني الاول منها انه
عني بذلك ثما الملكوت التي كانت انطبقت بخطية ادم وغلقة
عنه وعن الذي بعده كما غلق باب الفردوس فكان الجحش البشري عنوعا
عن الدخول فيها فانفتحة لنعلم ان موديته يخلص الكل من نعمت
الخطية وبطل لسلطانها وعاد بها الجحش البشري الي عاده الاولي
والثاني منها لتعلم ان المعتمد سماوي وانه بعد كل تدبيره يصعد الي
السماء والثالث منها ان المعتمدين يستبشرون ويتيقنون بارقا يخدم
الي الملكوت السماويه بعد القيامه ادا هم يملوا الاعمال الصالحه
الملايمه لتست لحت والمعوديه والرابع منها لتتحقق المواهب
والعطايا لا تؤخذ الا من السماء وانه لا يتقدس شي من الاشياء
مردون السماء وهذا ما اتني في سنت كحديثه وليس ما جرت به عاده في
سنت القيقه فان اسرائيل قديما كانوا يستمدون النعمه والموهبه
من هيكل المقدس ومدبحه لامن السماء واما القول انه رأي روح

القدس نازلاً مثل حمامة أتيا إليه فاعلم ان روح القدس لم يفارق
وعند تجسده كان الجسد منه ومن ميراث العذري الطاهره من بذي
البشره وانما كان ظهوره كي يظهر بشر الثالوث المقدس كما تقدم
القول بدياً لأن الابن اعتمد والاب صوت وروح القدس نزل من
السماء وللشاي ان يشاء يقول اذا كان روح القدس لم يراه الا السيد
كما شهد الانجيلي فايه الحاحه التي دعتة الي نزوله في ذلك الوقت
والسيد عارفه ومتحقيقه من البديهي وبناسوته مرجير البشاره وان
كان لاظهار بشر الثالوث كما تقدم القول فشر الثالوث ايضا غير
مقطا عن السيد فيقال لا يشك في ان هذا التمجيد الذي تجده السيد
من تصوية الاب ونزول روح القدس كان لازماً لزوماً بكماله . او لا
لاظهار بشر الثالوث كما بينا بالقوله وتانياً فانه حقق لنا اتحاد لاهوت
المسيح بناسوته وبالتالي تعلم ان روح القدس الذي فاض علي هو وفارق
من اجل المعصيه عمارا الي جنسه بتوسط تانس الكلمه فاما مشاهد
نظر العين فان يوحنا غابر وشهد وذلك ان الكتاب يقول ان يوحنا
قال اني رايت الروح اذنزل من السماء مثل حمامه وحل عليه وللشاي
ان

33
ان يقول المزمري روح القدس مثل حمامه لاني شبه غيرها فيقال ان
شبهه بالحمامه فيه عدت معاني وذلك ان الاول منها مشهور بان
الاجسام المحموسه ثلاثه اقسام جامد ونبات وحيوان وليس لها
رابع ولا يشك في ان الحيوان افضلها وكان تشبهه بالحيوان وهو
لعل حتي يدرك بحاشية البصر واما تشبهه بالحمامه خصوصاً عن
بقيت الحيوان فذلك ان كلمه متواضعه ورفيعه كما شهد الانجيلي وقال
كونوا ودعوا مثل الحمام ودليل ذلك ان فرخها اتخذ من جرسنها وتدبح
قدامها فلا تتعد ولا تفارق مكانها والثاني ان عادت للحمامه ان
تكون بشيره بالسلامه ونزال السخط كما كان منها في ايام نوح
وبشارتها بجفا وما الطوفان والثالثه ان نزول الروح القدس
بهذا الشبه علي عناية الله بنا ونزال السخط وطوفان الخطايا عنا
ولخذه بنا في طريق الانباء لاني طريق العبيد والرابع ان نوع الحمام
مختار طاهر من الدبايح الطاهره ولم يكن يحرم في شئت التوراه
فلجل انه مختار وطاهر كان التشبه به خصوصاً عن بقيت الحيوان
وهاهنا يجب لنا ان نعلم ان الحمام الذي تشبه به الروح ليس بجسداً

حقيقيا. لكنه مثال جسم حمامه. لئلا يظن ظان انه جسم حقيقي
كالجسم البشري الذي تجسده سيدنا علي الحقيقة من الطاهر البول
وما يفحص عنه ويقال له كان روح القدس على التلاميذ في العلية
مثل السنت نار ولم يكن كمثال الحمامة. فيقال ان ذلك نوعين احدهما
ان يتم قول يوحنا. لانه قال ان الذي ياتي بعدي يعمد بروح القدس والنار
وهذه النار في كانت معمودة التلاميذ والثاني ان اللسان هو
عضو من اعضا الحيوان فنزل الروح على الرسل بشكاه لانه اعضا
المسيح. وليكن ايضا ايستهم في المنسهم لانهم تكلموا بجميع اللغات
واما ظهوره في وقت اعتماد السيد جسده كامل فانه افرق بين كال
الامر الاول والمحطاط الامر الثاني عنه واما قوله واذا صوت من
السماوات قابلا لاهدا هو ابني الحبيب الذي يشررت نجب ان تعلم ان
الصوت انما اتي حتي يسمع يوحنا والشعب الذي انا اليه قاصدين
لما اعتماد منه لانهم كانوا يظنون ان يوحنا اجل منه لانه كان ابن
كاهن وانه زني في الغفر وزهدا لدنيا. وكان عندهم مثل نبي فلما
سمعوا الصوت عرفوا جميعهم من هو. وانه ابن الله علي تقين لانه

او قبل ذلك كان مستورا. ولهذا قال يوحنا انا عايت وشهدت ان هذا
هو ابن الله وايضا حتي لا يوجد سبب فوق الايمان والتسبة في
المسيح بنحور الايمان. وذلك ان فوقه فحصة وقالت ان المسيح لم
يكن كاملا الابد المعمودية حتي حل عليه روح القدس هل كان المسيح
ناقضا. وهل كان الروح بعيدا منه حتي حل عليه وكله في ذلك الوقت
اما سمعنا الكاتب يقول ان الملاك قال للمير روح القدس يحل عليك
وقوت العلي تظلمك لان المولود منك قدوس وابن الله يدعاه فقد برهن
هذا القول ان الايمان واجب في ذلك الوقت ولم يستحيل بعده ثم
انتقل الانجيلي بعد ذكر المعمودية الي وصف خروج السيد الي البرية
ومجاهدت الشيطان فقال حينئذ اخرج الروح يسوع الي البرية
ليجرب من ابليس معلوم ان السيد لما صار في ثلثين سنة وهي ابنتها
كال الصبوة وابتدا كمال الراي وكل البركة المعمودية من يوحنا فجعل
يظهر التدبير الذي تأمر لجله. فمعني قوله ان الروح الذي اخرجته
الي البرية ليعلمنا ان روح القدس هو المحرك لكل عمل صالح وانه لا يتم

عَلَى الصَّالِحِينَ الْآوَهُوا الْعَمَلُ فِيهِ . وَقَوْلُهُ لِيَجْرِبَنَّ إِلَيْسَ فِدَاكَ إِنْ أَدْرَكَكَ فِي
الْفِرْدَوْسِ فِي النَّعِيمِ وَاللَّعْنَةُ الْعَظِيمَةُ وَلَمَّا مَالَ إِلَى الشَّرِّ مَكْرِبُهُ الشَّيْطَانُ
حَتَّى أَخْرَجَهُ وَأَسْتَعْبَدَهُ . وَبَخْطِيَّتِهِ اسْتَعْبَدَ الَّذِي آتَى مِنْ سُلْطَانِهِ بَعْدَهُ مِنْ
بَحْلِ هَذَا تَجَدَّدَ كَلِمَةُ اللَّهِ مِنْ لَحْشِ الْبَشَرِيِّ وَظَهَرَ مَنَاسِكُهُ وَعَمَلُ كُلِّ أَعْمَالِ
الْبَشَرِ مُخْلَا لَلْخَطِيئَةِ كَمَا شَاءَ . حَتَّى يَجْرِبَنَّ مِنْ أَيْلَسَ كُلِّ التَّجَارِبِ وَلَا تَجِدُ
عَلَيْهِ بَسِيلَ خِيْنَةٍ يَقْهَرُ بِذَلِكَ الْجَسَدَ الْبَشَرِيَّ لَا يَقْوَى . هَوْتَهُ وَيُخْلَصُ
لِلْجَنَّةِ جَمِيعُهُ مِنْ أَسْرِهِ وَعِبَادَتِهِ . ثُمَّ أَفَادَنَا الظُّفْرُ أَيْضًا أَنْ يَجَاهِدَ نَحْنُ
الشَّيَاطِينَ وَنَقْمُهُمْ وَهُوَ مَا يَفْخَرُ عَنْهُ وَيَقَالُ هَلْ السَّيِّدُ عِنْدَ صَعُودِهِ مِنْ
الْأَعْنَاقِ خَرَجَ إِلَى الْبَرِّيَّةِ لَوْ قَتَلَهُ أَمْ خَرَجَ بَعْدَ مَوْتِهِ . فَيَقَالُ إِنْ الْكِتَابُ
يَشْهَدَانِ تَانِي يَوْمَ الْعَمَادَةِ يُوْحِنَّا الْمَهْدِيُّ وَأَتْنَانُ مِنْ تِلْكَ السَّيِّدَةِ . وَهُوَ
مَا شَاءَ . فَقَالَ يُوْحِنَّا لَهَا هَذَا هُوَ حَمْلُ اللَّهِ وَإِنْ التَّمْلِيدُ أَنْ تَبْعَاهُ . وَكَانَ
لَحْدَهُمَا أَنْدَرُوسُ أَخَا سَمْعَانَ ثُمَّ رَأَى سَمْعَانَ أَحْيَاهُ فِي الْيَوْمِ السَّيِّدِ فَقَالَ
لَهُ السَّيِّدُ أَنْتَ سَمْعَانُ بْنُ تَوْنَا . أَنْتَ تَدْعُنِي الصَّفَا . وَفِي غَدِ ذَلِكَ الْيَوْمِ
وَجَدَ سَيِّدَنَا فَيَنْبَلِسُ فَقَالَ لَهُ أَتَبْعُنِي وَتَبْعُهُ . ثُمَّ وَجَدَ فَيَلْبِسُ تَانَا يَسِيلُ
فَاتِي بِهِ إِلَيْهِ . وَقَالَ تَانَا يَسِيلُ يَا مَعْلَمُ أَنْتَ هُوَ ابْنُ اللَّهِ أَنْتَ هُوَ الْمَلِكُ
الرَّائِسُ

الرَّائِسُ . وَفِي غَدِ ذَلِكَ الْيَوْمِ وَهُوَ الثَّلَاثُ بَعْدَ الْمَعْمُودِيَّةِ . وَكَانَ الْعَرْشُ
بِفَانَا لَجَلِيلٍ وَقَلْبًا لِمَا خَرُفًا وَظَهَرَ مَجْدُهُ وَأَمِنْ بَنِي تِلْكَ السَّيِّدَةِ . وَهَذَا دَلِيلٌ عَلَى
أَنَّهُ لَمْ يَخْرُجْ الْبَرِّيَّةَ عِنْدَ صَعُودِهِ مِنَ الْمَعْمُودِيَّةِ لَوْ قَتَلَهُ . وَلِلْمُسَائِلِ أَنْ يَقُولَ
لِمَجَاهِدَةِ السَّيِّدِ الشَّيْطَانُ بَعْدَ الْمَعْمُودِيَّةِ . فَيَقَالُ إِنْ ذَلِكَ لَعَدَتْ وَجْهَهُ
الْأَوَّلُ لَسَيِّدُ جَعَلَ الْعَمَادَةَ بِأَعْنَتِهِ لِمَجَاهِدَةِ الشَّيْطَانِ لِأَنَّهُ لَمَّا رَأَى
الْمَجْدَ الَّذِي كَانَ ظَهَرَ عَلَى خُرُوجِهِ مِنْ حُلُولِ رُوحِ الْعَدَسِ عَلَيْهِ . وَتَصَوَّبَتْ
الْأَبْلَهَةُ هَذَا هُوَ ابْنِي لِحَبِيبٍ الَّذِي بَعْدَ سُرُورَتِهِ . فَأَشْتَدَّ حَسَدُهُ لَهُ . وَقَرَّبَ
لِمَجَاهِدَةِ ظَنَامَتِهِ أَنَّهُ يَسْقُطُهُ كَوَاحِدٍ مِنَ الْبَشَرِ . وَأَمَّا الثَّانِي لِيَقْبِظْنَا
أَنْ تَكُونَ حِثَارَتَنَا قُوَّةً بَعْدَ الْمَعْمُودِيَّةِ لِمَجَاهِدَةِ الشَّيَاطِينِ بِغَيْرِ خَوْفٍ
وَلَا دُوبِيَّةٍ . وَأَمَّا الثَّلَاثُ فَإِنْ أَدْرَكَ الْوَلَدُ الْمَخْلُوقَ بِتَنْشِيمِ رُوحِ الْحَيَاةِ
فِي الْفِرْدَوْسِ فَجَاهِدَهُ الشَّيْطَانُ وَقَهْرَهُ . وَأَخْرَجَهُ مِنْ نَعِيمِهِ . هَكَذَا
سَيِّدُ الْكُلِّ أَدْرَكَ الثَّانِي لِمَا وَلَدَ مِنَ الْمَعْمُودِيَّةِ وَمَجْدُ جَاهِدَةِ الشَّيْطَانِ
وَقَهْرُهُ . وَخَلَصَ أَدَمُ الْأَوَّلِيَّةَ . وَلِلْمُسَائِلِ أَنْ يَقُولَ إِذَا كَانَ السَّيِّدُ
قَدَارًا يَجَاهِدُ الشَّيْطَانُ بِجَسَدِهِ لَمْ يَكُنْ مِنْ الْجَنَّةِ عَلَيْهِ . فَيَقَالُ
إِنْ أَعْلَمَهُ فِي ذَلِكَ حَتَّى يَكْسُو عَادِيَّتَهُ وَقُوَّتَهُ الَّتِي اسْتَعَادَهَا مِنْ قَهْرِهِ

لأدم الأول وأنه بقهره لأدم الأول من أتي بعده ظن بسوا الرأي إن
لجنس البشري قدرة له على مقاومتها ومثله فمكته سيدنا من الجوار عليه وقوامه
بجده وقهره وإفادنا طريق الظفر التي يقهره بها عند الجهاد ويمكن
للثاني أن يقول فالسيد كان قادراً على قهر الشيطان بقوت لاهوته
القادرة على كل شيء وهو مقيم في موضعه فما كان الفأيد في عناده وخرجه
إلى الجبل فيقال إن هذا الفعل فيه معاني كثيرة الأول منها أن لو شأ
أن يقهر الشيطان بقوت لاهوته فما كان في ذلك شك أو لا شك شراً
لأنه خالف البرايا وأمره نافذ فيها كيف يشاء ولو كان الأمر كذلك لقلد
كان أيضاً فيه عنا عن نزول كلمته الله وتجسده من جنس البشر من
الجبل أو آدم وأما كانت العلّة في تأسر ابن الله من جنس البشر من أجل
أن آدم أطعم من الشيطان بالجيله الحبيثة التي حيث قهره وأستعبده
فاظهر الله قدرة في الجنس البشري المقهور وأولاد ليقهر الشيطان
به لأبغيه والثاني أن الشيطان لو قهر بقوت اللاهوت لكان
افتكاك الجنس البشري منه ومن أشده ظمناً له وعدواناً عليه وإنما
العدل هو هذا أن تكون مجاهدة بما يليق بالجنس البشري حتى يقهره
وتتخلص

وتتخلص الإنسان على حكم العدل والثالث ليكون الشيطان عارفاً
بأنه مقهور من شخص واحد من النوع البشري وإن البشر استطاعه
على مقاومتها وقهره وما يفحص عنه ويقال إن السيد يوصي في الأجيل
بأن نصلي حتى لا ندخل التجارب فكيف مضي هو بآتيه إلى الشيطان
حتى يتحرر ويكرب فيقال إن المختص إنما تأسر حتى تجاهد الشيطان
ويقهره ويخلص الجنس البشري من أسرهم فأملاً خروجه بآتيه حتى
يتحرر ويكرب فان كان ذلك على بسبيل القوة لأن الغالب لكل شيء لا يخشأ
عليه من شيء البتة ولأجل ضعف البشرية وكثرت شهوات العالم واختلاف
أنواعها أو صاناً بأن نصلي ونطلب حتى لا ندخل التجارب وأما السيد
فليس هو من العالم كما قال فيكون له شهوات العالم فيخشا من التجربه
والامتحان وما يبتلي عنه ويقال إذا كان روح القدس هو المحرك
على كل عمل صالح فما هي الفأيد في خروج السيد إلى البرية ليتحرر ويكرب
وما هي لخصته في الامتحان والتجربه لو كان في المدينة فيقال إن الفأيد
في خروجه إلى البرية من عدت وجه الأول أن السيد قد عزم على الصيام

من أجل التجربه ولا يتكفي ان الصيام هو من شروط الطاعة والعباده
وذلك ان حال العباده هو رفض العالم والحزج منه فجعل الشديده في
هذا الامر كامل حتى لا يكون فيه نقص والثاني انه يخرج طرعا وشبها
وهي التي تملكها الابرار القديسون الذين سكنوا في القفر من اجل العباده
واكملوا الوصايا وافاقوها مثل انطونيوس ومقاريون وحدهودعيا
فاوصلتهم تلك المطرق الى النوح الذي قصدوه والثالث ان
الشيطان لا يتكفه ويجربه في المساكنه خاصه بل يكون امتحانه وتجربته
له في المساكنه والفرجه وهذا سهل السيل على الجنس البشري الساكن في
المساكنه والفرج ان يجاهدوا الشيطان في الموضعين وما يخص
عنه ويقال هل كانت البريه التي خرج اليها مسلوكة ام غير مسلوكة
فيقال ان الكتاب قد شهد بان اقامه البريه اربعين يوم واربعين ليلة
وهو مع الوحوش والملائكة تخدعه وهذا دليل على ان الموضع الذي كان
فيه غير مسلوكة واما قوله وصام اربعين يوم واربعين ليلة فمن اجل
هذا القول معاني عدة الاول منها ان ادم الاول لما فوض اليه الامر
في جميع اشجار القرون ونعيمه وقدر التصرف في اثماره ولم يمنع

في

في شي منها سوى شجرة واحدة فخدعه الشيطان واقهره بشهوت
تلك الشجرة حتى انه لا يمكنه الصبر عنها يوما ولحدا مع كثرة اشار
القرون وطبعا وهكذا ادم الثاني لما اراد مجاهدته الشيطان
على صداما فعل ادم الاول لان ادم في شهوت الاكل وهذا جعل ظفوه
بعلت الصيام والثاني انه افادنا ان نتجنب الشر وان يكون
الصيام لنا في جملة الملاحم الذي يجاهد به اذ وقعنا في الشدايد
وقال الشيطان القاهر اول الجحشنا بحبت الكل والثالث انه
اراد ان فضيلة الاولين الذين وصلوا الى القور بصيامهم لان موسى لما
دام استنار وجهه وايليا بالصيام صعد الى السماء وضايان بالصيام
سدا فواه الاسد والثلاثة فتيه طغوابه تابحج النار المهلكة
والرابع حتى ان الشيطان يظن ان السيد بصيامه نجح ويعطش
ويضيع خلقه فيفجر فيمكنه منه الغرضه وللتايل ان يقول له
كان صيامه اربعين يوما لا زايده ولا ناقصه فيقال ان ذلك لهدت
معاني الاول منها ان الذين صاموا هذه الهة انما كان مثال
لصومه فلو صام اقل منها لم يمكنه ذلك لانه كل البر والفضيلة

ولو صام اكثر منها لكان الشيطان يشك في ثابته وكان قد فعل
شيئاً يفوق طباع البشر في هرب منه ولا يقترب اليه لانه علم بان ايليا
قد صام هذا العدة وموتى قد لحتم نوع هذه الصوم مضاعفاً فما كان
يمكن ان يربى زادا عليها شيئاً آخر والثاني ان عدد الاربعين بمقدار
شريف عظيم ما اتانا في الكتب المقدسة لان الارض تطهرت من
الطوفان بعد اربعين يوماً ونوح اقام اربعين يوماً بعد انحدار الطوفان
وفتح باب المغنة وبعد اربعين يوماً عاد ابراهيم من ارض الموعد
الي موثي وايليا استحق ان يركب راكب النار ويختلط بالروحانيين
بعد اربعين يوماً وموتى اقام اربعين شهنة بمصر واربعين شهنة بمدين
واربعين شهنة بجورليب والثالث ان الطبيعة البشرية انما تكمل
خلقتهما في اربعين يوماً ولجل هذا ان ناموس المغنة يامر ان يكون
التطهير بعد الولادة في اربعين يوماً ولما اراد سيدنا تجديد الدين
مزقتهم الشياطين بخطية ادم جعل هذا الصيام تطهيراً
وتجديداً لهم من زيف الشياطين وما يسل عنه ويقاوه هل
للمشيطان استطاعة بان تعهر البشرعي افتعال الخطايا او
يضعفون

الشيخ

او يضعفون عن ذلك فيقال ان الشياطين ليس من قدرتهم ان يتهروا
لحد اعلى فعل الخطية بل ثابته ان تنصب شباكاً تصيدهم بها عند
خلافهم لامر الله وهيبه ولا يمحصر عنه ويقال له لا استنار وجه
السيد عند صيامه كما استنار وجه موتى وجه ايليا عند صيامهم
فيقال ان السيد ما كان يستعمل الاشياء في غير موضعها لان ذلك
الوقت ما كان له فيه دلغياً الى استنارت وجهه ولما شاء ان يستنير
وجهه على طوبى اور عند القلي على لا اميد احضر لهم موتى وايليا
واستنار وجهه ولباسه واتاه التجديد من الحب وللشاييل ان
يقولوا هو هذا الصيام المرفي المقبول فيقال ان اسرار الصوم يدل
على منع الجسم من المأكول والنفس من التقلب في الشهوات ونشر
هذه الدنيا الدنية والجحوخ عن الافعال المنتهى عنها وذلك
ان المعاني المتعلقة بالنفس بها تتم حقيقة الصيام ودليل
ذلك ان سيدنا لم يقهر الشيطان بامتناعه من الاكل لكن كان قهره
له من اجل انه لم يبلغه مراده وما يفسر عنه ويقال هل كان صوم

موتى و ايليا و دانيال و الثلاثة فتيه في وقت واحد في اوقات
مختلفه فيقال ان موتى كان صيامه في شمس و صيام دانيال
و الثلاثة فتيه في يومه فاما ايليا فان المفسرين اختلفوا فيه
فمنهم من قال ان صيامه كان في طوبه ومنهم من قال انه كان في يومه
وصيام سيدنا كان في طوبه و صيام التلحين كان في شمس
وللشايك ان شيل ويقول ما هي العلة التي اوجبت ان يبتلي سيدنا عند
مجاهدته للشيطان بالصيام لا بالصلاه والعلماء يفترون ان
الصلاه اكثر فضيله من الصوم فيقال قد سبق الايضاح ان الشيطان
اتماقهم خسر البشر نجبة الاكل من شجرة واحدة فجي عنها ادم الاول
فكان قهر الشيطان من ادم الثاني بضد القضية وهو الامساك
عن جميع المأكول لانه لم يسم عن حله منه الى الصيام لانه
يفعل على قابل الصوم ان يحتاج الى صيام وانا فعل ذلك كما ذكرنا
بديا ليعيدنا استعماله وان تتبع طوقه المستقره وانا قول
وجاع اخيرا فيدعي ان جوعه لم يكن على تقضية الطبيعه
البشرية لان الطبيعه من شأنها ان تصطو الى الخلاف
يتخلل

لسته
يتخلل من البدان اول قول فيكون الجوع على حسب ذلك كما نراه نحن
انفسنا وهذا لما اراد الامثال المتك ولما اراد الاكل جاع وللشايك ان
يقول ان كان جوعه بكونهنا ام كان خلا جوعنا فيقال ان الامر في
ذلك ينقسم الى قسمين احدهما ان جوعه كان اختياريا وليس في قدر
البشر ان يطلقوا الجوع لنفوسهم في وقت ويشكوه في اخر الامر وجه
الطبيعه والامر وجه العاده فجوعه من هذا الوجه كان خلاف
جوعنا واما الثاني فانه كان ملائما لجوعنا لان حرارت الجوع
التي تدرك اجسامنا ادركت اجسام جسده حتى شاكشا واما
قوله فجا المجرب قايلا له ان كنت انت ابن الله فقل ان تصير هذا
لحجاره خبرا لجابه وقال مكتوب انه ليس بالخبر وحده يحيا الانسان
بل بكل كلمة تخرج من فم الله ^ب ان نعلم ان السيد لما اظهر الجوع
ليونس الشيطان بذلك قدم الشيطان اليه وهو يظن انه قد ظفر
بالغلبه والوقت الملائم لفرصته فحينئذ ادنا من تجربته والمفر
يقيدون ويقولون ان مجبه اليه كان في صورت غريب فقير حتى
يوجه انه يطلب شيئا ياكل وينبغي لنا ايضا ان نحوطا علمنا

بان ابلين قد فعلوا ان ليس له قدره علي حبر الناس حتي يفعلوا الخطايا بل ان
 يقر تجاربه الي الحركات الطبيعية ويستعين بتلك الحركات علي اطعام
 بفعل الخطية لانه كما دنا من ادم واستعمل الشهوة الطبيعية وهيجهما
 ادله علي الشجرة المنهي عنها وحمل حوي علي الاكل منها ومن ثمها
 واطعامه منها هكذا فعل هاهنا لما اظهر اليه الجوع دنا منه وقد اعتد
 بالسلاح لاختلاعه بآلم الجوع الطبيعي هذا بعد علمه بالذامه الجزيلة
 التي مجد بها في المعجزة من شجاعة الابل وحاول روح القدس عليه
 فقال له ان كنت ابن الله فقل ان تصير هذه الحجارة خبزاً سبحان
 نكون متيقظين لمجاهدة الشيطان والاحتراس من افخاخه بكل الجهد
 والطاقة لان تصرفاته بالحيلة والخديعة واسعه جداً وذلك لما علم
 بان البرية قفرة وليس علي فيها ان يجديا بولكل قال هذه التولية لانه
 يقصد ان يفتح جميع البشر ان الله جل ذكوه ليس لهم عناية وانه متى ما
 عرفوا عناية الله بنا علمنا وصاياه واجنباه من كل القلب والنية فصد
 وحوصه واجتهاده ان يسلبنا هذه الشهادة الفاضلة ودليل ذلك انه
 اومر ادم وحوي وقال لهما ان الله نخل عليهما بالنعيم لانه لو كان يريد
 نفعاً

٥٦
 نفعاً لما منعكم من اكل ثمره تفتح اعينكم وتصيرون كالآلهة تفرون
 الخيرو الشر حتي يجهلوا الي المعصية وهكذا ايضاً فعل هاهنا مع اليداي
 لا يوهن لك الصوت الذي سمعته وان كنت ابن الله علي حقيقته وذلك
 الصوت جاصداً فقام. فقد حضر الوقت الذي تبارك لك فيه الذامه لانك في
 برية وانت تستنهي الطعام وليس يقر لك شيء ياكل فقل ان تصير هذه الحجارة
 خبزاً فان كانت عناية الله صرفة اليك كدعم الصوت فتفعل هذه
 شراً لئلا يصير لك الجوع فمن اجل ان ادم مال لوقته الي بلوغ ارادت
 ابلين فعل السيد فعله وقال توبخا له وخزيا لجرته ان الكتاب
 يقول ليس يا حبر وحده كحياً الانسان بل وبكل كلمة تخرج من فم الله
 يعني هذا القول اي اني تبارك لما اقمعتني به وامرتني بفعله لان الله وشأ
 ان يعسر كافر البشر غير خبزاً فقل ذلك لهما فقدمه كما يقول الكتاب القلب
 حك الي الله فهو يقولك لان عناية الله بالغة والكتاب ايضاً يقول احفظ
 سننك وامري فان الانسان الذي يعمل بالحيا والكتاب يشهد ان شتاتيه
 الفجل من بني اسرائيل عاشوا بغير خبز اربعين سنة كما يشهد الشعر

الثاني من الثوراء عندما أمرهم الله بالخروج من مصر وأنزل لهم المن في
 البريه والكلوه وقد يمكن ان يفسر الانسان بالقدرة الالهية بغير خبر ولا
 غيره كما بقي بوتي اربعين يوماً وليلا هلكي بقي وكما كان يجوز ان يبقى آدم
 لو لم يخالف الامر وارتكب الخطأ فقدرت الله ليست تحذره وهو قد جعل
 الجوز لنا غداً وهو قادر ان يجعل غيره بهذا الصفة وإذا اعتبرنا المتماثل
 حال آدم الاول وادم الثاني وجد بينهما مقايضة ماء فيري ان ادم الاول
 قهره الشيطان الثاني قهر الشيطان وادله الاول انطاع لشهوة
 الاكل والثاني رفض الاكل الاول يصير يوماً واحداً عن ثوب الشجرة
 الوحده وهذا صبر عن كل شيء اربعين يوماً الاول يقهر في الفردوس
 والثاني قاهر في القفر الاول يقهر بتوسط الحية والثاني يقهر بغير
 واسطة وينبغي لنا ان نعلم ان الشيطان إنما يطغى الناس بثلاث
 أصناف من الدلائل وتوابعها فالاول شهوات الجسد وتوابعها وهي لذت
 المطاع والمشارب ومجوز ذلك والثاني حب الاكراه والمديح والغلبه
 فظاير ذلك والثالث حب الامر والنهي والمال والفوائد ما يشاكل ذلك
 فالجسد الاول الذي استعمله الشيطان عند الشيد ولم يجد له عنده موضعاً
 ولجسنان

٨٤
 والجسنان الاخران سوف نذكرهما بعد هذا وأما قوله في بي الميسر الى المدينه
 المقدسه واقامه على جناح الهيكل من اجل هذا القول فادنا المفترسون أيضاً
 انه اتى اليه في صورت كاهن حتى تخدعه بطريق الدجيه الذي هو عليها
 فلم يسد باباً هو مع ان يكون منه ففي المدينه المقدسه وقام على جناح
 الهيكل فيجب لنا ان نعلم ان الشيد لم يفي الى المدينه المقدسه ولم يرق على جناح
 الهيكل من اجل خديعة ولم كان مجبوراً على ذلك وانما لما سبق علمه بان
 الشيطان يتمناه جحاده في المدينه لاجل ان جميع الدلائل التي هي سلاحيه
 في اطفال الناس لا يمكن ان تجتمع وتوجد لا في مدينه وان قتاله الاول كان
 بشهوات الطعام التي اطفالها ادم وقهره قد انقضا ولم يجد له موضعاً
 ولا نفعاً وانته سوف يكون قتاله الثاني بوشوش الكبرياء التي احادها ادم
 وحوي عن طريق وصيته بارها وان الموضع الملاي هذا القتال هو هيكل
 الله لانه يجمع الكهنه والعلماء والابرار فقصداً ليد ابطال حجته
 بالمضي اليه فكان اي الى المدينه وقيامه على جناح الهيكل فنسب البشير
 ذلك للشيطان من اجل انه كان شهوته ودليل هذا القول انه مكتوب في

كتاب ايووب الصديق ان الشيطان قال للرب وكله وما نظر ان لحد من الناس
يبلغ من الجلال ان يقول ان الله وهل الشيطان لمخاطبته لكن المعنى ان
كان يشتهي شهوة في حق ايووب فعني فكان معنى قول الشيطان للرب
في حق ايووب هي شهوته وجواب الرب له هو نفاد المشية في ايووب وعلى هذه
النظام كان رضي السيد الى المدينة وقيامه على جناح الهيكل وما قوله ان
كنت انت ابن الله فأنطرح من هاهنا الى اسفل فانه مكتوب انه يوصي
ملائكته من اجلك لتحمك على شوكها لئلا تقع بحجر ذلك معلوم ان هذا
القول يحتمل نوعين احدهما انه لما سمع السيد جوابه في ايلوره بحجة
من الكتاب اراد هو ايضا ان يعاظمه بقول من الكتاب والثاني انه اراد
هو ايضا ان يعوي غر الشيطان ان يطرح نفسه من على جناح الهيكل
فيوت أي ان الله كثير الشفقة على الابواب وذلك لانهم عليه متوكلون حتى
انه يوصي ملائكته بحفظهم من اجل برهم يستوجبون عنده العنايا الجريئة
ويقبلون خيرات كثيرة واما جواب السيد في ثاني جهاده فانه قال من
الكتاب ايضا مكتوب ايضا لا تجرب الرب الهك فيجب علينا ان نمسك
بيقين صالح ان الله افاض لنا طريق الحق حتى لا نوهق أنفسنا في
التدليل

١٥
التدليل بآياتنا ثم نسل الله على سبيل التجربة في الخلافة ما اجترأنا على
نفوسنا بل ان تراضطرتنا الشدايد من حيث لا تحسب وجب علينا ضرورة
ان نستعد لقبولها والرجعة الى الله تعالى ذكره في ادراكنا بمعونته وكمايته
في ذلك الوقت حتى نخلص منها واذا لم يكن شيء من الاضطراب فتجربة الرب
توجب العقاب وتبعد النجوى وما قوله فلخذه الميسر الى جبل عال جدا وانه
جميع ممالك العالم ومجدهم وقال له اعطيك هذا كله ان خرت لي لاجلها
تجب علينا ان نعلم ان الشيطان لما خاب في كسب الاول والحرب الثاني لم
يبق له شئ من هذه الحرب فمضى قوله ان الميسر لخدم علي جبل عال ليبرهن
ان السيد لما علم ان شتوت الشيطان هذه الشهوة مغني الى جبل عال
ليتم شهوته حتى يبين له هو برغمه وان هذه الاماكن التي قصد ان
يكون حربه فيها وجهاده قد بلغ مقصوده وجاهد فيها ولم يجد ذلك
نشأ فاما ممالك العالم ومجدها الذي اراد فان المعروف من الشياطين
ان لها قدوة على تصوير الاشياء على حكم الخيال لاعلى حكم التحقيق وذلك
ان الشجرة معتادون ان تتجمل اشياء كثيرة على هذه الجهة من جملة ما الذي
فعلوه بمصر ولا يفرقوا بالصالحية مملكة الشكل والحقيقة متحركة

كثير لحيات ولم يصعب ذلك عليهم وقد ليل ذلك لهم يقربون البعيد حتى
 كأنه قريب وذلك ان المفترسون يعيدون ويقولون ان الشيطان لما
 ظهر في هذه الدفعة الثالثة كان بصورت انسان ملك وحوله جسد
 يخلو بونه ليظهر أنه اله فاما السيد فكان يظهره بصورة المعروفة
 ثم يظن ايضا هبة ما قد خيله امامه وكما ان موسى كان يبصر العصا
 التي قلبها السمحة تعباناً وهي عصا لا غير والناس فلا يبصروها
 الا تعباناً وللتسايل ان يقول هل يمكن ان تحيل الشيطان مال العالم
 جميعاً فيقال ان الدليل على ذلك ان كان خيالاً لانه غير ممكن
 ان يوجد في الدنيا جبل على هذا الارتفاع الشاخص الذي يتمكن من اراد
 النظر منه الى الدنيا كلها فيظروها فاما قوله وقال له اعطيك هذا
 كله ان خررت لي ساجداً لانه كان على حسب قوله يقول ان السيد
 من جملة الذين يزعمون زخارف الدنيا فيجمعوا ذلك قصد لم ولم يفكروا في
 شيء آخر ويفقدون الامور والسمي والاموال والاباح والفرايد واما قوله
 حينئذ قال له يسوع اذهب وراي ابي الشيطان لانه مكتوب للرب
 الهك تسجد وياه وحده تعبد فيجب علينا ان نفكر ان سيدنا لم ينتهر الشيطان
 في

في الدفتين المتابقتين لان قتاله كان مع قنومه الكبر فلما تجاوز الحد
 وكان في كلامه افترى على الثالوث المقدس وكان معنى هذا القول اشار
 انه يتبرع الشيطان والروبيته من الله تعالى في كونه علواً كبيراً ثم التمس
 السجود له ايضا كما يسجد للباري جل ذكره استهزئاً بهذا الوجه واتجاه
 بانه ولهذا امرنا ان نعبد الله وحده غائبة القدوة وان لا نستعين في امورنا
 بغيره وما يسئل عنه ويقال له شياً الشيطان بهذا الامر فيقال ان
 للشيطان اشياء كثيرة يسمي بكل واحد منها على مقتضى المعنى المختص به
 وانه يشي شيطان ومفتاب ومغوي وساقط وشرير وعذو ومحال
 اما الشيطان فلاجل خرافته وميله بهواه عن رتب الملائكة التي هي هذا
 الاسم واما مفتاب فانه من اجل قوله لمخوي ان الله لم يمنعكم من الشجرة
 الاخذاً لكا واما مغوي فانه يملأ القلوب من الافكار الرديئة واما
 ساقط فلاجل انه مال ارادته فسقط عن مرتبته واما شرير فلاجل
 انه عدو للخير ومن يعادي الخير فهو بلا محاله شرير واما عذو فانه
 بجأه عبيد الله باجتهاده واما محال فلاجل الخيالات التي يريها
 للناس حتى يطغى بهم ان قدروا الفاعل عليه من هذا الاسماء شيطان لكونه

الاسم الاول وما يخص عنه ويقال هل كان للشيطان باقية مع سيدنا
قبل هذا ام كانت هذا باقية فيقال ان المبشرين لم يذكروا شيئا من تصرفات
السيد قبل المودية سوى ميلاده ودخوله الى الهيكل وطاعته الى مصر
وعودته الى الناصرة وحضوه الى البيت المقدس في العيد مع امه يوسف
وما يلزم ذلك ولا يشك في انه كان يقرب منه ويروى انه من الصواب
ولم يقدروا دليل ذلك قول سيدنا لتلاميذه اني قد ابيت الشيطان تسقط
من السماء مثل البوق والدليل الثاني ان الشياطين من اجل عداوتهم للبشر
لا يتركون مولودا منهم من غير وكيل لا سيما من قد صار سنة ثمانين سنة وهو
سلك الواجب في البرهان يدل على ان الشيطان كان يجاهدنا العامر
حيث انه شيطان وجاهد من حيث انه مقتاب بقوله ان كنت انت ابن
الله قل ان تصير هذه الحجار خبزاً فاما قوله وقال له اعطيك هذا كله
ان خرت لي سجداً لانه كان على حجب قوله وجاهد من حيث انه بشير
منعوى بقوله ان كنت انت ابن الله فاطرح من هاهنا الى اسفل لانه
مكتوب انه يوحى ملائكته بك وجاهد من حيث انه محال وعرف المحال من
ما لك العالم وبقوله اعطيك هذا كله ان خرت لي سجداً واما قول
حينئذ

حينئذ تركه ابليس وجاءت ملائكة تخدمه معلوم ان الشيطان لما فرغ
من الثلاثة اجناس الحاوية لجميع انواع الخطايا المقدرة ذكرها الاولى
شعوات الجسد وهي لنت المطامير والمشارب وتوابع ذلك والثاني حجب
الاركام والمليح وطلب الغلبه وتوابع ذلك والثالث حجب الامر والنهي
والاوامر والفوايد وتوابع ذلك ولم يقدروا طرط في احد منهم تركه
وذهب خائبا لانه راي العجز من نفسه وان خصه لا يتغير شي من هذا
الاجناس البتة ولما تركه وجع خائبا خائرا جاءات الملائكة تخدمه
ذلك ان الملائكة مندولة في بيت علم ومجد وقائمين المجلد في العالم والي
الارض السلام وفي الناس المنة لربنا فواخذته وتجيده واما كان بعد
عنه في ذلك الوقت لان السيد قصد بعدهم لثلاثة انواع الاول العلم
محبهم للناس ورفضهم الشياطين وانه مني غلب احد من الناس الشياطين
يكون فرح عظيم عندهم اعني الملائكة لانهم كانوا من اجل الشر الشياطين
لنفوس البشر محزونين فاراد ان يريهم ان جاهد مع الشيطان ببشرية
لا بقوت لاهوته وعظمته ليحبهم بالفرح والثاني ليعطى حجة اليقين
وقوله انه لا اعلمكم ملائكة الله كان يحيط بحفظه لقد كنت اقهرته

والثالث لئلا يقول المعتز أنه أنشأه وليس باله لأن الكتاب يقول إن
عسكر ما ليكت الرب محيطة بأصفياءه ويجلصهم فذلالم يدع السيد للآله
تخدمه فحي انصرف الشيطان لأن السيد كان يعطى عداية العلم من كل
موضع لمعرفة ما سيأتي وما يفحص عنه ويقال هل كان أحد من التلاميذ
الذين دعاهم عالماً بصغوره إلى الجبل وصياً معه بحجة الشيطان له فيقال
إن المعتزون يفتيدون أنه لم يعلم أحد هذه السر في ذلك الوقت لأجل أنه
لم يفسر لأحد هذه الحكمة البتة والتلاميذ أيضاً لم تكن دعوتهم لعم الأبعد
البحرية وإنما كانوا اصحابه قبل الدعوة مثل الطلبة وإنما رجع القديس
لما اشرق في التلاميذ اطلعهم على جميع مكتوبات الانسار وهذا من
جملة ما كان مكتوباً فاطلعهم عليه وروى هاتنا اخذ البشير في ثلاث
ما فعله سيدنا بعد المعمودية فاما الذي ذكره من افعاله التي ذكرها يوحنا
في انجيله إنما كان قصده في نظام هذه القصة هكدي ان يعلمنا باننا يجب
علينا المسارعة إلى المعمودية فاذا انلنا عطية روح القدس نبدأ بحارة
الشيطان ونصبر على كل اضرار في احرار الطاعة لوصايا الله
نمكون بسير سيرة من نجاشير ايع الثوراه وصارت سيرته في السماء
واما

واما قوله فلما سمع يسوع أن يوحنا قد أسلم مضى إلى الجليل وترك الناصري
وجاء وسكن كفرناحوم التي على شاطئ البحر في تخوم زابلون وفتحنا لم ليكمل
ما قيل من اشعياء النبي القائل ارض زابلون وارض نفتاليه طريق البحر
عبر الاردن جليل الامم الشعب كجالس في الظلمه او ظلال الموت
اشرق لهم نور وينبغي لنا ان نعلم ان يوحنا المهداني على عظمتة شهد شهاد
ات كافيته على المسيح لما سمع الله في المعجزة جأ إلى الجليل من أجل البشارة
والتعليم حتى لا ينقطع ذكر التوبة واما ذكر البشير لكفرناحوم
فذلك من أجل انها مدينة كان يسكنها كثير من الناس الامم وكده ان تنكر
اليهود على السيد بجأورته ^{لهم} وخلطته لهم ويضن به أنه قد فعل ما
يضاد شرعية التوراه فجاء بشهادت اشعياء النبي الذي كان يقول
علانية ان جليل الامم ايضا سينعم بالنور العظيم وللسايل ان يقول
ما هي الظلمه وما هو النور للذان ذكرها النبي فيقال ان الظلمه
تعال على صوب كثيره وهي انحالت على العما وعلى الشيطان وعلى
لخطية كقول الكتاب ان الذي يعمل الخطية فهو ساج في الظلمه

وتقال ايضا على الجبل لقول الكتاب اظلمة معرفة عقولهم فارادبعن الظلمه
في هذا الموضع من وقتها اجعل واما النور فيقال ايضا على عدت معاني
وهو انه تعالى على الله جل الشئ وعلى القوة الباصرة وعلى العلم وعلى الامانة
الصحيحة وعلى الشئ وعلى الملائكة وعلى المسيح لقوله انا نور العالم
فارادبعني النور هاهنا من وقتها السيد المسيح لانه دعاه نور اعظيما
لتخليصه للخس البشريين المثلث ظلمات وهي الشيطان والجحش
والخطية واراد بالشعب في هذا الموضع جميع الشعوب من ال اثر ايسل
وغيرهم واما بشارت السيد وقوله توبوا فقد اقتربه منكم ملكوت السموات
اراد بهذا القول نوعين الاول انه قصد المنفعة للناس بالتوبة والثاني
انه انشق قلوبهم بما كان يوحننا يكرز به قبل المعمودية ومعنى ملكوت السموات
قديمنا انعامنا هاهنا ووقتها هاهنا واراد بها هاهنا من وقتها انما النعيم
الذي يكون بعد القيامة فيجب ان ننظر في شياقة هذا البشير لانه
بدا اول اعميلا لدا السيد من العدي الطاهر وذكر نسبته ثم تلا ذلك عيلاده
من المعمودية وحلول الروح عليه وتبع ذلك بسيرته الفاضلة اعني السليخة
والصيام وتوابعها ثم ذكر بعده لك مجاهدته وغلبته للشيطان ثم لحقت
بعد

بما هذا جميعه ذكر الانذار والتبشير ليكون في الايضه للمؤمن وطريق الحق
يملكون فيها وليعلموا ان قبل المعمودية وحلول روح القدس وعلى الفضائل
وغلبة التجارب جميعها لا يجوز ان يقدم الانسان على رتب التعليم
يوحننا من الذهب فيقول لبشير وفي تلك الايام ما يوحننا المهدائي
يكرز في رية يهودا ويقول توبوا فقد اقتربت ملكوت السموات واما بعد هذا
الكلام قال اما تلك الايام فاما ليئت الايام التي كان يسيدنا فيها طفلا
ولكن عني بذلك لما بلغ ثلث سنه في تلك الايام اتي يوحننا المهدائي لان
عادت الكتاب بجعل هذا المعنا ليس فيما كان يظن انه كان في تلك الايام
ولكن الذي يكون بعد زمان يعزى ويقول في تلك الايام شلما يقول الجحش
على ما يحل سير وشليم في اخر الزمان يقول هكذا في هذا المعنى ما يكون في
آخر الزمان ان قال لكم احدا ان المسيح هاهنا هاهنا فلا تصدقوا وما
يأتي بعده والامراطا ههنا يكون بعد زمان طويل واما خراب بيت المقدس
فانه يكون بعد انقضاء هذا العالم حينئذ الذي اعناه لم يقل انه بعد
خراب البيت المقدس يكون هذا او في اخر الدهور ولكن بيا هذا انه بعد
خراب ايروشليم شياتي زمان ولم يكن اتي انقضاء الدهور وبيرو شليم لخرية

كما قال الانجيلي بعد صعود السيد الى السما يا بغير شبهه ومن في ذلك الزمان
 الى الان قد كانت ازمته كبيرة وكرامات الآخرة في هذا الاضطراب قول الانجيل
 في تلك الايام جا يوحنا المهداني ولم يعني آيا بصوت المسيح لكن لكي الزمان
 الذي يلحق فيه ثلثين سنة لان الرب لم يعمل شيئا في صباه من العجايب كالقول
 الفاسد الذي تقوله الهرطقة لكنه لما بلغ ثلثين سنة واعتمد حينئذ هو
 ابتدأ يعمل العجايب التي تنبغي للاهوتة ومعمودية يوحنا لم تكن بغفر الذنوب
 ولا تعطي روح البتة وكذلك معمودية الرسل الذي كانت قبل القيامة كانت
 ايضا مثلها كما هو مكتوب ان الرب عند تسليم يوحنا لم يكن يسوع الذي بعد
 بل تلاميذه لان من قبل صلب يحيى المخلص لم تكن مغفرة لخطايا ولا ايضا
 عطيت روح القدس لان الرب لم يكن صلب وانبعث من الموت لان الصليب
 دعي هاهنا مجدا لان من اجل صلب يسوع او موت تجددت طبيعة البشرية
 اخري ومعمودية الرسل قبل القيامة كما ابتدأنا وقتنا هلكي كانت اعظم
 من معمودية يوحنا بفضل كثير من اجل انه قد كانوا يبشرون ويؤمنون
 بتعليم الانجيل المعذب ويقولون ابوا فقد اوتية ملكوت السماء معي
 تساويس يفسر قال ان ملكوت السما هي روح البتة التي ياخذونها الدين
 يا منوا

يا منوا بر بناتيسوع المسيح ويعقدون بوته وقيامته وافضل ذلك الكرامات
 والخيرات التي للعالم الذي لا تقضاه الذين يستحقونها المتقدمين الذين
 يحاؤون الفضائل فهذا هي ملكوت السموات وهكذا قيل في اشعيا النبي ان
 الصوت الصاخ في البرية اعدوا طريق الرب وشهوا سبيله انبا يوحنا
 يفسر قال من اجل ان كل طبيعة انسانية كانت مغفرة من الله لاجل عبارات
 الاوتان فلهذا كان يبشر ويقول اعدوا طريق الرب وشهوا سبيله طريق
 الرب هي الفضائل التي تورد الانسان الى الله وبسبيله فهي الوصايا الحميمة
 الكليجية من النص وكان لباس يوحنا من وبر الابل ومنطقة جلد علي
 حقويه وكان طعامه لجراد وعسل البر يوحنا في الذهب يفسر قال ان
 كان عادات المتقدمين ان يشدوا المناطق علي اوتسا طمتم مثل ايلياس
 وبطرس وبولس واعلمونا ان نسير بتواضع اتنا تيسوس البكريرك يفسر
 قال لجراد هو عسل غش البرية والعسل هو الملح من النهر ولما راى
 كثير من الفريسيين والزادقة ياتون الي المعمودية قال لهم يا اولاد الافا
 من لكم علي الجرب من القصب الاتي يوحنا في الذهب يفسر قال دعاهم
 اولاد الافاعي لانهم قتلوا اباهم الراسخين اعي الانبياء والصديقين

كلهم هابيل الى كرايا. كمل فعل الاغاي انها تشق اجوا انما انما فتقلمها
وتخرج من اجل هذا شره لا يتغير قال عليهم وحناء هذا غمر من اقدس اعلوا
الان ثمة ليقبالتوبة وما يتلوه قير لحر البكريرك يفسر قال النار هي تدبير
الفضائل اي لا تطوا انكر تتعدوا ميني فتفتخر وابدأ الفعل فالي انشطأ
ان اعطيكم غفران ذوبلكم لا تقولوا في قلوبكم ان نحن من دية ابراهيم فليس
كل من كان من دية ابراهيم هو ابن ابراهيم ولكن من كان من الموعد هو من ريع
ابراهيم لما تسمعون قول الكتاب الذي يقول لابراهيم ابي جعلتك بالام
كثير الذين هم بنو الميعاد المعني علي الذين هم من استحق الموعد الذين هم
المؤمنين والذين امنوا من الام هو لاي هم الذين يمتون سجارة لان قلوبهم
كانت كالسجارة وقد كانوا يعبدونها ويسجدون لها كالاله فلمأ
تعدوا دعوا اولاد ابراهيم كما هو مكتوب من النسخ هوذا الناس موضوع
علي اصول الشجر وما يتلوه طيطس يفسر قال ان الناس هو الكلام
الايجلي واصول الشجر الالبا الاولين والشجر هم اليهود لجهال
من النسخ اننا نذكر بالما للتوبة وما يتلوه بايتيلوون يفسر قال
ذلك الذي يمدد بروح القدس والنار يعني المعتمدين موت المسيح
وقيامته

س
وقيامته والذين بلشوا المسيح باعمال الخير الذين ينجون راحة الروح
القدس التي هي ملكوت السماء فاما الذين يعمدون وليكفوا انما الاصلحة
لكنهم يدومون في خطاياهم يفسطوا بالحقيقة في النار التي هي
جحيم الابد من النسخ وبهذه الرفش نقي به اندر فجمع القمح في الاهري
فاما التبر فيجرقه بنار لا تطفأ او ثابا يوس فيفسر قال اذا ما هبت
الارياح بقوة عملت الفعل بالرفش فاما الرياح الهاب جدا فهي التجارب
التي اتي علي النفس فاذا ما هي وجدت نفسا خفيفة كخفة التبر ولم
تكن تنطف من التجارب بالصبر والهدو طوحة في النار التي لا تطفأ
الي الابد فاما الذي اخذ قلبه علي الارواح الهابة التي هي التجارب
فهي تنطف بالحقيقة مثل القمح المخزون في الاهري التي هي ملكوت
السماء من النسخ حينئذ اتي يسوع من اجليل الي الاردن ليعقد
من يحنوا ما يتلوه يوحنا ثم الدب يفسر قال انما فعل العبد هذا
فعلا بتدبير ليمر الناموس اذ لم يقيد لحد علي عامر الناموس الا اليد
المسيح فلما قال تجبلنا ان نكمل كل البر لان كمال الناموس هو دية
يوحنا لانه قال لم ات لانقص الناموس بل اكملها فلما اعتمد حينئذ

ويرث معه في ملكوته الدايمة نعم الانجيل فلما سمع يسوع ان يوحنا قد اُتُلم
مضي الى الجليل وترك الناس يوحنا ثم القى يسوع وقال ليمنها ههنا ان
تغرب من الشدايد والمحن التي تكفنا من موامرت الناس السوء ومجيء الي كفر
ناحور لانه في ذلك الموضع ابتداء لبشاره والكلام الانجيلي ليس للنوه التي
قالها اشعيا النبي ارض زابلون وارض نفتالي وبقيت النوه لله علي جماعة
الامم ومن ذلك الزمان ابتداء يسوع بالبشارة والقول قوبوا فقد اقتربت
ملكوت السموات فيقول يسوع ليمنها ههنا ان قبل المعويده واخذ روح
والغلبه للتجارب لا يجوز للانسان ان يحدد بتب التعليم اويروش
يفسر قال ان ملكوت السموات هي الحياه في رضا الله بغير خطيه والمجد لله

✠ قصص الاصحاح الخامس ✠

واذ هو ماش على شاطئ بحر الجليل فابصر اخوين سمعان الذي يدعى
بطرس واندراوس اخوه يلقيان شباك في البحر لانهما كانا صيادي فقال
لهما تعاليا فاتباني فاجعلكم صيادي الناس وهما للوقت تركا شباكهما
وتبعاه ولما جازا من هناك راى اخوين اخرين يقيوب ابن زبدي
ويوحنا اخاه في المركب مع زبدي ابائهما يصلحان شباكهما فدعاهما وهما
لوقت

القدس

دع

سليم

لوقت تركا المركب وزبدي ابائهما وتبعاه وكان يسوع يطوف في كل
الجليل ويعلم في مجافلم وينادي بشري الملكوت ويشفي كل مرض وكل
وجع في الشعب فداع خبره في جميع الشام فقدموا اليه كل
المستعومين بالامراض والوجاع المختلفه والمعمدين والمجايز والذين
يصرون في رؤس الاهله والمخلفين فشفاهم وتبعه جمع كثير من
الجليل وعشر المذن وبيروثليم واليهوديه وعبر الاردن للتفسير
معاوم ان المعوضيه لا بد من ان يقولوا اليه ان تاتي قد شهد
بان المسيح اشدعنا سمعان واندراوس اخاه في وقت معا ويوحنا يشهد
في بشارته مخلو ذلك لانه يقول ان اندراوس اتي الي السيد قبل سمعان
وهو الذي كان احضر سمعان اليه فاما ان يكونا قدقا الاخلالو الحق
واما ان يكون احدهما قدقا والحق والآخر قال ما يصادره الجواب
عن ذلك ان نشق الكلام يقتضي ان القول الذي قاله يوحنا هو كان
قبل سجن يوحنا المعمدان وذلك لانه يقول ان يوحنا المعمدان
كان واقفا هو واثنان من تلاميذه فنظر السيد ما شيا فقال هذا

سليم

حَلَّ اللَّهُ الَّذِي يَرْفَعُ خَطَايَا الْعَالَمِ فَمُنَحَ تَلِيدَهُ هَذَا الْقَوْلُ فَبَعَا الشَّيْطَانُ
 لِحَدِّثِهَا أَنْدَرُوسَ لَحْشَمَانَ وَكَوْنَهُمَا لَمْ يَتَبَعَاهُ الْأَمْرُ شَجَاعَاتٍ بَوَحًا الْمَدَى
 لَهُ نَقَطَةٌ ثُمَّ أَنْدَرُوسَ رَجَاهُ شَمْعَانَ لُحْيَةً وَتَلْمِذَهُ لَهُ وَصَارَ يَلْزِمُهُ فِي كُلِّ
 وَقْتٍ لِسَمَاعِ التَّعْلِيمِ وَمَشَاهِدِ الْآيَاتِ وَيُفَارِقُهُ فِي وَقْتٍ آخَرَ وَيَنْصَرِفَانِ
 إِلَى تَبْسِيرِ مَعِيشَتِهِمَا وَأَمَّا الْقَوْلُ الَّذِي قَالَ لَمْ يَتَّبِعْنِي إِلَّا السَّيِّدُ أَبْصَرَهُمَا فِي الشَّغْفَةِ
 يَلْقِيَانِ الشَّالَ فِي الْبَحْرِ لِلصَّيْدِ وَقَالَ لَهَا اتَّبِعَانِي أَجْعَلْكُمْ تَكُونَا صَيَادِي
 النَّاسِ فَمَا كَانَ بَعْدَ شَجْنِ بَوَحًا وَمِنْ ذَلِكَ لَوْ قَدْ لَزِمَاهُ وَزَكَ كُلُّ شَيْءٍ
 فَلَمْ يَكُنْ لَهَا مَعَهُ شَأْنٌ مِنَ الْمَعْرِفَةِ وَالتَّعْلِيمِ وَمَشَاهِدِ الْآيَاتِ الَّتِي كَانَ هُوَ
 يَصْنَعُهَا لَمَّْا سَمِعَ عَلَيْهِمَا أَجَابَةً دَعْوَتِهِ وَمَعَارَفَةً كُلِّ شَيْءٍ تَعْلُقُ بِهِمَا
 أَجَلَ الْكَلَامِ الصَّادِقِ وَالْمَقْرُضِ أَيْضًا أَنْ يَقُولَ الْيَسَّانِ الصَّيَادِينَ مَعَهُمَا
 أَصَادُوهُ كَانَ عَابَرًا لِلْهَلَاكِ وَالْفَسَادِ وَذَلِكَ أَنَّهُ إِنْ كَانَ مِنْ صَيْدِ الْبَرِّ فَيُؤَيِّدُ
 وَإِنْ كَانَ مِنْ صَيْدِ الْبَحْرِ فَهُوَ مَيِّتٌ لَوْ قَدْ فَالْصَّيْدُ أَهْوَاؤُهُ عَامَّةٌ تَجْعَلُ
 الْفَسَادَ وَالْهَلَاكَ فَيَكُونُ الْمَسِيحُ إِنَّمَا اخْتَارَ التَّلَامِيذَ لِفَسَادِ الْبَشَرِ لِأَنَّهُ
 مِنْ أَصْلَاحِهِمْ فَيَقَالُ أَنْ ظَاهِرَ الْحَالِ تَقْتَضِيهِ أَنْ يَهُودُوا وَرَبُّهُمْ قَبْلَ مَجِي
 الْمَسِيحِ لَيْسَ كَانَ لَمْ قَصْدُ شَوِي الْأَنْهَالِ عَلَى حَصِيلِ الْبَشَرِ فِي هَذِهِ
 الدُّنْيَا الزَّائِلَةِ وَعَيْشَ هَذِهِ الدُّنْيَا الْمَطْلُوبُ فَهُوَ مَعْنُومٌ لِأَنَّهُ تَنْتَعِمُ

خمس

خَمْسَ لَحْشَمَانَ الظَّاهِرَةِ وَهُوَ شَهَوَاتُ نَظَرِ الْعَيْنِ وَطِيبِ السَّمْعِ لِلْأَذْنِ
 وَلَذِيذِ الْأَطْعَمَةِ وَالْأَشْرَبِ لِلْفَمِ وَاسْتِشْقَاقِ الرِّيحِ الذَّكِيَّةِ لِلْأَنْفِ وَمَلَابِشَةِ
 الْبَدَنِ الْبَاسِ الْبَاسِ الْبَاسِ وَمَأْسُوَاهُ ثَمَرَاتُ الْبَاطِنِ وَالْغَلْبَةِ وَالَّذِي يَتَّبِعُهُ
 التَّلَامِيذُ فَهُوَ يَصَادُ هَذَا جَمِيعُهُ لِأَنَّهُ وَالَّذِينَ صَادُوهُمْ يَنْفَضُوا
 الدُّنْيَا وَجَمِيعَ شَهَوَاتِهَا وَسَأَوْقُمُ إِلَى الشَّغْفِ فِي طَلَبِ الْخُزَى وَأَغْتَصِبُوهُمْ
 إِلَى أَنْ دَحَضُوا الْغَلْبَةَ وَالتَّعَاطُفَ وَصَارَ التَّوَاضُّعُ عِنْدَهُمْ وَالْمُسْكَنَةُ
 أَسْجُلًا مَا كَانَ فَيُولِي الَّذِينَ صَادُوهُمْ التَّلَامِيذُ مِنَ الْيَهُودِ وَالْوَتَنِيِّينَ
 لَوْ لَمْ يَكُنْ لَهَا مَعَهُ شَأْنٌ مِنَ الْمَعْرِفَةِ وَالتَّعْلِيمِ وَمَشَاهِدِ الْآيَاتِ الَّتِي كَانَ هُوَ
 يَصْنَعُهَا لَمَّْا سَمِعَ عَلَيْهِمَا أَجَابَةً دَعْوَتِهِ وَمَعَارَفَةً كُلِّ شَيْءٍ تَعْلُقُ بِهِمَا
 أَجَلَ الْكَلَامِ الصَّادِقِ وَالْمَقْرُضِ أَيْضًا أَنْ يَقُولَ الْيَسَّانِ الصَّيَادِينَ مَعَهُمَا
 أَصَادُوهُ كَانَ عَابَرًا لِلْهَلَاكِ وَالْفَسَادِ وَذَلِكَ أَنَّهُ إِنْ كَانَ مِنْ صَيْدِ الْبَرِّ فَيُؤَيِّدُ
 وَإِنْ كَانَ مِنْ صَيْدِ الْبَحْرِ فَهُوَ مَيِّتٌ لَوْ قَدْ فَالْصَّيْدُ أَهْوَاؤُهُ عَامَّةٌ تَجْعَلُ
 الْفَسَادَ وَالْهَلَاكَ فَيَكُونُ الْمَسِيحُ إِنَّمَا اخْتَارَ التَّلَامِيذَ لِفَسَادِ الْبَشَرِ لِأَنَّهُ
 مِنْ أَصْلَاحِهِمْ فَيَقَالُ أَنْ ظَاهِرَ الْحَالِ تَقْتَضِيهِ أَنْ يَهُودُوا وَرَبُّهُمْ قَبْلَ مَجِي
 الْمَسِيحِ لَيْسَ كَانَ لَمْ قَصْدُ شَوِي الْأَنْهَالِ عَلَى حَصِيلِ الْبَشَرِ فِي هَذِهِ
 الدُّنْيَا الزَّائِلَةِ وَعَيْشَ هَذِهِ الدُّنْيَا الْمَطْلُوبُ فَهُوَ مَعْنُومٌ لِأَنَّهُ تَنْتَعِمُ

نبيه

١
 ٢
 ٣
 ٤
 ٥
 ٦
 ٧
 ٨
 ٩
 ١٠
 ١١
 ١٢
 ١٣
 ١٤
 ١٥
 ١٦
 ١٧
 ١٨
 ١٩
 ٢٠
 ٢١
 ٢٢
 ٢٣
 ٢٤
 ٢٥
 ٢٦
 ٢٧
 ٢٨
 ٢٩
 ٣٠
 ٣١
 ٣٢
 ٣٣
 ٣٤
 ٣٥
 ٣٦
 ٣٧
 ٣٨
 ٣٩
 ٤٠
 ٤١
 ٤٢
 ٤٣
 ٤٤
 ٤٥
 ٤٦
 ٤٧
 ٤٨
 ٤٩
 ٥٠
 ٥١
 ٥٢
 ٥٣
 ٥٤
 ٥٥
 ٥٦
 ٥٧
 ٥٨
 ٥٩
 ٦٠
 ٦١
 ٦٢
 ٦٣
 ٦٤
 ٦٥
 ٦٦
 ٦٧
 ٦٨
 ٦٩
 ٧٠
 ٧١
 ٧٢
 ٧٣
 ٧٤
 ٧٥
 ٧٦
 ٧٧
 ٧٨
 ٧٩
 ٨٠
 ٨١
 ٨٢
 ٨٣
 ٨٤
 ٨٥
 ٨٦
 ٨٧
 ٨٨
 ٨٩
 ٩٠
 ٩١
 ٩٢
 ٩٣
 ٩٤
 ٩٥
 ٩٦
 ٩٧
 ٩٨
 ٩٩
 ١٠٠

١
 ٢
 ٣
 ٤
 ٥
 ٦
 ٧
 ٨
 ٩
 ١٠
 ١١
 ١٢
 ١٣
 ١٤
 ١٥
 ١٦
 ١٧
 ١٨
 ١٩
 ٢٠
 ٢١
 ٢٢
 ٢٣
 ٢٤
 ٢٥
 ٢٦
 ٢٧
 ٢٨
 ٢٩
 ٣٠
 ٣١
 ٣٢
 ٣٣
 ٣٤
 ٣٥
 ٣٦
 ٣٧
 ٣٨
 ٣٩
 ٤٠
 ٤١
 ٤٢
 ٤٣
 ٤٤
 ٤٥
 ٤٦
 ٤٧
 ٤٨
 ٤٩
 ٥٠
 ٥١
 ٥٢
 ٥٣
 ٥٤
 ٥٥
 ٥٦
 ٥٧
 ٥٨
 ٥٩
 ٦٠
 ٦١
 ٦٢
 ٦٣
 ٦٤
 ٦٥
 ٦٦
 ٦٧
 ٦٨
 ٦٩
 ٧٠
 ٧١
 ٧٢
 ٧٣
 ٧٤
 ٧٥
 ٧٦
 ٧٧
 ٧٨
 ٧٩
 ٨٠
 ٨١
 ٨٢
 ٨٣
 ٨٤
 ٨٥
 ٨٦
 ٨٧
 ٨٨
 ٨٩
 ٩٠
 ٩١
 ٩٢
 ٩٣
 ٩٤
 ٩٥
 ٩٦
 ٩٧
 ٩٨
 ٩٩
 ١٠٠

ان من ترك امراته فليعطها كتاباً طلاقاً. وانا اقول لكم ان من
يطلق امراته من غير كلمات زناً فقد جعلها تجزء. ومن تزوج
مطلقه فقد تجزء. وقد سمعتم ايضاً انه قيل للاولين لا تخلف
كاداً وتوفي لرب يا قدامك. وانا اقول لكم لا تخلفوا البتة لا بالهنا
تخلفوا بالسماء فاما الذي الله ولا بالارض فاما موطن قديمه ولا يابروا
لأخامدينه الملك العظيم ولا تقسم براسك لانك لا تعلم ان تصنع
شعراً واحداً بيضاء او سوداء. ولكن كل ما لكم لتغيرتم وللألاء فأزاد
علي هذين فممن الشرير قد سمعتم انه قيل العين بدل العين والسن
عوض السن. وانا اقول لكم لا تقوموا قبالة الشرير لكن من لطمك
على خدك الايمن فحول له الاخر ومن اراد ان يجارك لاخذ ثوبك فدع
له رداك ايضاً ومن سخر منك لاولاً فامض معه اثنين وثلاثين
فاعطيه. ومن اراد ان يفترض منك فلا تزدده. قد سمعتم انه قيل
تحب قريبك وتبغض عدوك. وانا اقول لكم احبوا العداءكم وباركوا
على لاعينكم واحسنوا الى من يبغضكم وصلوا على من يضطهدكم
ويشوقكم قسراً. ليكما تكونوا ابني ابيكم الذي في السموات لانه يطلع
شمسه

طس

هس

سج

شمسه على الاشرار والاكيار ويرسل غيثه على البرار والظالمين
لانكم ان احببتم محبيكم فاني اقول لكم اليس العشارون يفعلون كذلك
وان كنتم انما تسلمون على اخوتكم فقط فاني فضل فعلتوه اوليس الوثنيون
يفعلون كذلك كونوا انتم كامليين كما ان اباكم الذي في السموات كامل.
تأملوا ان لا تصنعوا صدقاتكم قدام الناس لكي تزدوهم ولا تفتسروا لكم
اجراً عند ابيكم الذي في السموات واذا صنعت رحمة فلا تهتف
بالهوق قدامك. كما تصنع المراءون في المحافل وفي الاسواق
لكي يمجدهم الناس الحق اقول لكم لقد اخذوا اجرهم ولا تفتنوا بشراك
عاصنته يمانا لكي يكون صدقتك في خفيه وابوك الذي يرى في
الخفاء يجزيك في الجهر. واذا اصليتم فلا تصنعوا كالمرايين فأنتم
يجبون القيام في المحافل وفي زوايا الشوارع يصلون لكي
يظهروا للناس الحق اقول لكم انهم قد اخذوا اجرهم وانتم
اذا اصليت فادخل مخدعك واغلق بابك عليك وصلي لا يراك في الخفية
وابوك الذي يرى في الخفاء يجزيك في العلانية واذا اصليتم

طس

دس

سج

طس

سج

شمسه

فَلَا تَكْثُرُوا الْكَلَامَ كَالْوَثِينِ فَاَنْتُمْ يَظُنُّونَ اِنَّهُ سَيَسْمَعُ لَهُمْ كَثْرَتَ
 كَلَامِهِمْ فَلَا تَسْتَبْهُوا بِهِمْ لِانْ اِيَاكُمْ عَالَمٌ مَا تَخْتَلِجُونَ اِلَيْهِ قَبْلَ اَنْ
 تَقَالَ لَهُ اَيَّاهُ وَصَلَاوَا أَنْتُمْ هَلْ كُنْتُمْ اِيَاَنَا الَّذِي فِي السَّمَوَاتِ لِيَقْدِرَ اَنْ يَكُنْ
 وَلَتَأْتِ مَلَكُوتُكَ وَلَتَكُنْ مَشِيَّتُكَ كَمَا فِي السَّمَاءِ وَعَلَى الْأَرْضِ خَيْرٌ نَأْعْدُ
 اَعْطَيْنَاهُ الْيَوْمَ وَانْفَعْنَا مَا نَحْبِبُ عَلَيْنَا كَمَا غَفَرْنَا لَكُمْ لِمَنْ لَنَا عَلَيْهِ
 وَلَا تَدْخُلُوا الْبُقَارِبَ بِلِجْنِيَا مِنَ الشَّرِّ لِأَنَّ لَكَ الْمُلْكَ وَالْقُدْرَةَ
 وَالْمَجْدَ إِلَى الْأَبَدِينَ فَاَنْ تَغْفِرُوا لِلنَّاسِ لَا تَقْمُ بِغْفَرِكُمْ اَبُوكُمْ
 السَّمَاءِ لَا تَكْمُرُوا اِنْ لَمْ تَغْفِرُوا لِلنَّاسِ خَطَايَاهُمْ لَمْ يَغْفِرْ لَكُمْ اَبُوكُمْ
 خَطَايَاكُمْ وَاِذَا صُمْتُمْ فَلَا تَكُونُوا عَابَثِينَ كَالْمُرَائِينَ فَاَنْتُمْ يَغْفِرُونَ
 وَجُوهَكُمْ لِيُظْهِرُوا لِلنَّاسِ اَنْتُمْ صِيَامٌ وَلَكِنْ اَقُولُ لَكُمْ اَنْتُمْ قَدْ اخَذُوا
 أَجْرَكُمْ وَاَنْتُمْ اِذَا صُمْتُمْ فَادْهَرُوا رُءُوسَكُمْ وَاغْسَلُوا وُجُوهَكُمْ لِكَيْ لَا يَظْهَرَ
 لِلنَّاسِ صِيَامُكُمْ بَلْ لَا يَكُنْ لَكُمْ فِي الْخَفَاءِ وَاَبُوكَ الَّذِي فِي الْخَفَاءِ
 يَجَازِيكُمْ بِعَلَانِيَةٍ لَا تَكْثُرُوا لَكُمْ كُنُوزٌ عَلَى الْأَرْضِ حَتَّى يَفْسُدَ هَبَاءُ
 السُّورِ وَالْأَرْضِ وَحَيْثُ يَنْقَبُ السَّارِقُونَ وَيَسْرِقُونَ وَلَكِنْ اجْعَلُوا
 كُنُوزَكُمْ فِي السَّمَاءِ حَيْثُ لَا سُورٌ وَلَا أَرْضٌ يَفْسُدُ هَبَاءُهَا وَلَيَنْقَبَنَّ السَّارِقُونَ
 فَيَسْرِقُونَ

و ٤

٤٤

٤٤

فَيَسْرِقُونَ لِأَنَّهُ هَيْثُ كُنُوزُهَا فَهَيْثُ تَكُونُ قُلُوبُكُمْ سَرَّاجُ الْجَنَّةِ
 الْعَيْنِ فَإِنْ كُنْتُمْ عَيْنَكُمْ بِشَيْطَانِهِ فَجَسَدُكُمْ كُلُّهُ يَكُونُ مَيِّتًا وَإِنْ كُنْتُمْ
 عَيْنَكُمْ شَرِيرَةً فَجَسَدُكُمْ جَمِيعُهُ يَكُونُ مُظْلَمًا وَأَذَا كَانَ النُّورُ الَّذِي فِيكُمْ
 ظَالِمًا مَا ظَلَامٌ مَا هُوَ لَنْ يَقْدِرَ لِحَدِّانٍ يَعْبُدِينَ لِأَنَّهُ أَمَا أَنْ
 يَسْبِغُ الْوَلَدُ وَيَجِبُ الْاُخْرُ وَأَمَا أَنْ يَمُوتَ بِالْوَلَدِ وَيَرْضَى الْاُخْرُ
 فَلَنْ يَمُوتَ أَنْ تَعْبُدُوا اللَّهَ وَالْمَالَ وَلِهَذَا اَقُولُ لَكُمْ لَا تَهْتَمُّوا أَلْفُوكُمْ
 بَعَاثَ اَكُونَهُ أَوْ بَعَاثَ تَشْرَبُونَهُ وَلَا جَسَادَكُمْ بَعَاثَ تَلْبَسُونَ أَلَيْسَتْ النَّفْسُ
 أَفْضَلُ مِنَ الطَّعَامِ وَالْجَسَدِ مِنَ اللَّبَاسِ تَامَلُوا طُيُورَ السَّمَاءِ فَإِنَّهَا لَا
 تَزْرَعُ وَلَا تَخْصَدُ وَلَا تَحْنُ فِي مَخَارِنَ وَأَبُوكُمْ السَّمَاءِ يَقُولُهَا أَفَلَيْسَ أَنْتُمْ
 أَفْضَلُ مِنْهَا جَدًّا ثُمَّ مَنْ مَنَعَ إِذَا أَهْتَمَّ امْكُنْهُ أَنْ يَزِيدَ عَلَى قَامَتِهِ دِرَاعًا
 وَلَحْدَةً فَلَمَّا دَهِتُمْ بِاللَّبَاسِ تَامَلُوا زَهْرَ الْحَقْلِ كَيْفَ تَنْبُتُ وَلَا
 يَتَعَبُ وَلَا يَحْتَسِبُ فَاقُولُ لَكُمْ إِنَّهُ وَلَا أَنْ يَسْلِمَنَّ فِي جَمِيعِ مَجْدِهِ السَّيِّئُ كَوَلَدَهُ
 مِنْهَا فَاِذَا كَانَ عَشَاءُ الْحَقْلِ الَّذِي يَكُونُ الْيَوْمَ وَيَلْقَى غَدًا فِي النَّوْرِ يَلْبَسُهُ
 اللَّهُ هَلْ كُنْتُمْ تَعْلَمُونَ أَنْتُمْ أَفْضَلُ يَأْقِلُ لِي الْإِيمَانُ فَلَا تَهْتَمُّوا إِذَا قَالُوا مَاذَا

٤٤

٤٤

٤٤

ماد أناكل وماذا أشرب أو ماذا ألبس فان هذا كلها أنا تطلبها الأمر
 وإن ياكم السماي لعالم باحتياجكم الى هذه جميعها فاطلبوا أو لا
 ملكوت الله وبره وهذا كله تزدادونه لا تهتموا بفدافان غدا تهتم بشأنه
 حسب يوم فيوم وشوق لا تدينوا لكي لا تدانوا لانكم بالدين الذي تدينون به
 تدانون وبالكيل الذي تكيلون به يكال لكم لماذا ترى القدي في عين
 اخيك ولا تتأمل الخشب الذي في عينك وكيف تقول ل اخيك دعني اخرج
 القد من عينك وهاهنا الخشب في عينك ايها المرأي اخرج الخشب من
 عينك أولا وحينئذ تنظر فتخرج القذرات من عين اخيك اعطوا القدي
 للكلاب ولا تلتفوا لاجواهم قد ام الخنازير ليلا تدوسها بأرجلها وتجمع
 قمر قمر سلوا فتعطوا اطلبوا فتجدوا افزعوا افتح لكم فان كل من
 يسأل ليخذ ومن يطلب يجد ومن تفرع يفتح له اي انسان منكم يسأله
 ابنه خبزا فيعطيه خبزا أو يسأله سمكة فيعطيه سمكة فإذا كنتم
 وأنتم أشرا تعرفون اعطوا الكرامات الصالحة لابنائكم فبكم أبوكم
 السماي جدير بان يعطي الخيرات للذين يسألونه فكل من يريد ان يرضى
 الناس بكم فاصنعوه انتم هم فان هذا هو الناموس والانبيا

ادخلوا

ادخلوا في الباب الضيق فواسع هو الباب ورجه في الطريق المؤدية
 الى الهلاك وكثير هم السالكون فيها أما الضيق الباب والرب الطريق
 المؤدية الى الحياة وقليل ما هم الذين يجدونها فاحذروا من الانبياء
 الكذبة الذين يأتونكم في لباس الخرافان وباطنهم دياب خاطفة ومن ثمارهم
 تعرفونهم هل يحيي عين من شوك أو يجني ثمر من اقليق كذا كل شجرة
 صالحة تخرج ثمرة صالحة والشجرة الرديئة تخرج ثمرة رديئة ان كان
 شجرة طيبة ان تصنع ثمرة خبيثة ولا شجرة خبيثة ان تصنع ثمرة
 طيبة وكل شجرة لا تصنع ثمرة جيدة ستقطع وتلقى في النار فمن
 ثمارهم ان تعرفونهم ليس كل قايلا يا رب يا رب يدخل ملكوت السموات
 بل من يصنع مشي ابني الذي في السموات ان كثيرين لقايلون لي
 في ذلك اليوم يا رب يا رب ليس اياك تبنانا ويا اياك اخرجنا الشياطين
 ويا اياك صنعنا قوي كثير وحينئذ اظهر لهم اني ما عرفتمكم قط اذهبوا
 عني يا فاعلي الاثم فكل من سمع كلامي هذا ويعمل به أشبهه بجعل
 حليم بن يسيه على الصخرة فاحدثت الاطوار ومدت الاغصان

وَصَفَتِ الرِّيحَ وَصَدْرَ ذَلِكَ لَيْتَ فَلَمْ يَسْقُطْ لِأَنَّهُ اشْتَدَّ كَأَن
تَابَتْ عَلَى الصَّخْرَةِ وَكُلُّ مَنْ سَمِعَ أَقْوَامًا يَجْعَلُهَا أَنْبَهُهُ بِرَجُلٍ
جَاهِلٍ بِنَيْبَتِهِ عَلَى الرَّمْلِ فَهَطَّتْ لَمْ تَطَارْ وَأَبَتْ الْأَنْفَارُ وَهَبَتْ
الرِّيحُ وَصَدْرَ ذَلِكَ لَيْتَ فَسَقَطَ وَكَانَ سَقُوطُهُ عَظِيمًا ۖ وَلَمَّا
أَكْمَلَ يَسُوعُ هَذَا الْكَلَامَ كَانَتْ لِحْجُوعٌ شَجِيحِينَ مِنْ تَعْلِيمِهِ لِأَنَّهُ كَانَ يَعْلَمُهُمْ
كَمَنْ لَهُ سُلْطَانٌ وَلَيْسَ مِثْلَ كُتَّابٍ وَاحِبَارِهِ ۖ وَالسُّبْحُ لِلَّهِ دَائِمًا أَبَدًا ۖ
الْقَائِمِينَ ۖ جَبَّ عَلَيْنَا أَنْ نَنْظُرَ فِي سَيَاقَةِ هَذَا الْبَشِيرِ لِأَنَّهُ وَصَفَ
تَصَرُّفَاتِ السَّيِّدِ وَصَفًا وَجِيزًا بِجَمَلَةٍ لِأَنَّهُ ذَكَرَ مِيلَادَهُ مِنْ لَعْدِي وَمَوْتِهِ
مِنْ بَوْصَنَاءَ وَأَنَّهُ بَعْدَ الْمَعْوِدَةِ سَلَّمَ عَلَى مَلِيْقَتِهَا وَيَلَايِمُهَا مِنَ الْفَضَائِلِ لِأَنَّهُ
ذَكَرَ انْفِرَادَهُ وَصِيَامَهُ وَلَمَّا وَصَفَتْ لَوْكُ فِي طَرِيقِ الْفَضِيلَةِ وَمَبَالَغَتَهُ
وَصُنَّ بَعْدَ ذَلِكَ بِمَجَاهِدَتِهِ لِلشَّيْطَانِ وَقَهْوِهِ وَلَمَّا انْتَهَى إِلَى قَهْرِ الشَّيْطَانِ
وَصُنَّ ابْتِدَاءَهُ فِي التَّعْلِيمِ وَأَشَدَّ عَمَلَهُ لِلتَّلَامِيذِ لِيَلْبِسُوهُ لِرُومًا وَلَمَّا كَانَ
أَنَّ التَّلَامِيذَ الَّذِينَ دَعَاهُمْ تَزَكَّوْا كُلُّ شَيْءٍ وَتَبَعُوهُ وَأَوْدَعُوهُ أَنْفُسَهُمْ بِالْكَانِ
وَأَنَّهُ لَمْ يَبْقَ لَهُمْ لَخَرٌ يَسْتَوِي تَعْلِيمُهُمْ مِنْهُ بِشَيْرِ الْفَضِيلَةِ لِأَنَّهُ خَيْرٌ حِينِيذًا
وَصَفَّ اجْتِدَادَهُ لَهُمْ أَظْهَرَ مِنَ الْآيَاتِ وَالْمُعْجَزَاتِ وَلِجَوَابِ الْفِتْنَةِ
الَّتِي قُضِيَ

ص ٤

اِسْتِدَامَةٌ يَكُونُ تَشْمِيرُ لَدِيهِ وَأَشْتَقَقُ إِلَى مَا لَا يَدْرِي مِنْ شَيْرِ الْفَضِيلَةِ
ثَمَرُ وَدَلِجُوعٍ الْكَثِيرَةِ أَيْضًا لِاتِّبَاعِهِ أَنْ أَوَّلَ السَّنَةِ تَحْتَاجُ إِلَى
تَنْشِيطِهَا بِشَيْءٍ مِنَ الْبِرِّ وَالْمُعْجَزَاتِ فَقَوْلُهُ أَنَّ السَّيِّدَ إِذَا أَبْصَرَ لِحْجُوعَ
صَعْدًا إِلَى الْجِبَلِ وَجَلَسَ وَجَاءَ إِلَيْهِ تَلَامِيذُهُ وَفَتَحَ فَاوَهُ وَبَدَأَ يَعْلَمُهُمْ قَائِلًا
طُوبَى لِلْمَسَاكِينِ بِالرُّوحِ فَإِنَّ لَهُمْ مَلَكُوتَ السَّمَوَاتِ طُوبَى لِلْحُرِّ أَنَا فَإِنَّهُمْ
يَمْرُقُونَ طُوبَى لِلدُّوْعَا فَإِنَّهُمْ الَّذِينَ يَرْتُونَ الْأَرْضَ مَفْهُومٌ أَنْ صَعِدُوا
إِلَى الْجِبَلِ فَهُوَ التَّمَأُّسُ الرَّاحِدُ مِنْ زِحَامِ النَّاسِ وَكَانَ أَشَارُهُ إِلَى أَنَّ
الَّذِينَ يَعْمَلُونَ بِتَعْلِيمِهِ يَرْتَقُونَ إِلَى السَّمَاءِ وَأَمَّا دُنُو التَّلَامِيذِ مِنْهُ فَإِنَّهُ
كَانَ سُبَّابًا لِلْكَلامِ وَتَعْلِيمِهِ وَالتَّعْلِيمُ هَذَا الَّذِي عَمِلَهُ كَانَ يَقْصِدُ بِهِ
التَّلَامِيذَ مِنْ أَجْلِ اخْتِصَاصِهِمْ بِهِ وَهُوَ يَرْسُلُهُ إِلَى جَمِيعِ الْعَامَّةِ
فَمَعْنَى لَفْظَةِ الطُّوبَى أَشَارُهُ إِلَى السَّرُورِ وَالْفَرَحِ وَالنِّعَمِ وَالِابْتِهَاجِ
وَمَعْنَى قَوْلِهِ الْمَسَاكِينُ بِالرُّوحِ لَيْسَ بِمَعْنَى الْمَسَاكِينِ مِنْ غِنَاهُ هَذَا الْعَالَمِ
بَلْ هُمُ الْمَسَاكِينُ الَّذِينَ لَيْسُوا عِنْدَ نَفْسِهِمْ شَيْئًا وَلَا يَكُونُوا فِي أَرَاهُكُمْ
مُسْتَكْبِرِينَ وَلَا يَتَشَاخَعُونَ بِسَبَبِ الْغِنَى أَوِ الْعِلْمِ وَذَلِكَ لِأَنَّ عُلَّتْ جَمِيعُ
الْخِيَرَاتِ هُوَ التَّوَّاضِعُ وَمَعْلُومٌ أَنَّ إِذَا اسْتَقْلَنَّا التَّوَّاضِعَ

لِحَسَنَةِ أحوالنا عند الناس وتقريننا إلى الله وصراً من أبنائنا الملكوت
ومعنى قوله لكراناً فان هذا القول أيضاً يشبه بالآكون وهو يعني ان
المشاكر هم هولاء الذين لا يشتاقون إلى خيرات هذا الدنيا ولذا كانوا وهم
في جحور وكاتبين لجل تحصيل الفضيلة التي يورث بها ملكوت السموات
ومعنى قوله عن المتواضعين انهم يرثون الأرض فانه بذلك أوضح شهادات
الكتاب بعينها مجردة لانه يقول اهل الدعا يرثون الأرض ومعنى الأرض
في هذا الموضع يعني بها ارض الحياة المعدة للابرار كما قال الكتاب اذ للتي
تمخلصن وعادتن نفسي إلى الرجاء لان الرب قد احسن إلى منقذ
حياتي من الموت ويعني من الدرع وجلي من الزلزال لحسن ايام الرب
في ارض الحياة ومعنى ذلك هو ملكوت السموات وحيات الأبد وقال
طوبى للجياع والعطاش من أجل البر فانهم يشبعون طوبى للرجاء
فانهم يرجون طوبى للأطهار قلوبهم فانهم يعاينون الله يعني بقوله
لجياع والعطاش هم التايقون المشتاقون إلى خيرات السماويات
التي يعمل البر الذي جرواوه هو اقضي غايتهم وقد انكروا اجسادهم بالصيام
والتعب كي يدركوه والشبع هو الثواب والاجر الذي هو النعيم
الدائم

٤٣
الدائم الذي لم يخطرب باليشري في السموات حيث الملكوت الدائم
ويعني بقوله الرجاء فان لفظة الرجاء تقع على معاني كثيرة الأول
منها هم المقعدون الذين يرجون المشاكن والفقراء وبواشعهم من
من أوالهم حسب طاعتهم والثاني هم الذين ليس لهم قدر على المواثاة
وقلوبهم رجيمة ويضمرون الحزن وأتقأله ويعاوه اذ أقدر واعليه
والثالث هم الذين يرون خوفهم في الشدايد أمان أمور الدنيا وأمان
أمور الآخرة فتحزن قلوبهم وتناهم ويطلبون من الله استنقاذهم من
من شدايدهم والرابع هم الذين يرون انساناً مجروحاً قد سمعته سمعته
بكثر الذنوب وقد جعل بافعاله كل الجمل ثم اضطرت المحن التي لا
يرجوا النفع منها خلاصاً فغمر من أجل شوافعاله يقطع رجاءه من
رحمت الإطلاق ولم يبق له ما يتمسك به سوى ليطو الله ورحمته
فيرحمه هولاء فيصبرون بلا شك متشبعين بافعال الله جل ذكره
ومعنى قوله ان النقية قلوبهم يعاينون فهو لاي هم الذين لهم نيات
ورويات نقيه برية من الافاعيل والآمال الرديئة وقد اشرق فيهم
روح القدس والعيان يقال علي بصرا العين الذي به تدرك

المحتويات وعلى نظر العقل الذي به تدرك المعقولات . فأراد
بالبيان هاهنا نظرا للعقل وذلك لان الانسان اذا اخلص عقله
من الشهوات صار عقله مستعد لقبول الوحي الالهي ويشرق فيه الروح
القديس . واد كان ذلك كذلك كان ادراكه لله يتوسط افعاله فاعلم
حسب الاستطاعة البشرية . فالنقية قلوبهم يعاينون الله من هذا
الوجه ومعنى قوله ان فاعلي لشاكله يدعون بنو الله يعني بذلك ان
الذين يصنعون الصالح بين الناس قد تشبهوا بابن الله . لان به
صار جميع الامم بعد العداوة الى اللفه ولحده ونظام ولحد كما قال
الكتاب فاما الذين قبلوه فاعطاهم سلطان ان يصيروا بني الله
وقوله طوبى للمطربين من اجل البر فان لهم ملكوت السموات طوبى لكم
اذ اطرروكم وعيروكم وقالوا فيكم كل كلمة شركا دين من اجلي افرحوا
وتخللوا فان اجرهم عظيم في السموات . لان هكذا طردوا الانبياء
الذين كانوا قبلكم . انتم ملأوا الارض فاذا فسد الملع بما دأبتم ولا
يصالح لشي الا يطرح خارجا وتروسه الناس . معنى قوله ان
المطربين من اجل البر والمضطهدين من اجل البر يكون اجرهم
عظيما .

عظيما في ملكوت السموات . يعلمنا ان نتوق انفسنا الى الجزاء الفضيلة
وانه ايضا لا يمكن ان نحزن الفضيلة قبل مقاسات الشدايد والحران
وكما ان شقة القذوف التغيير وحقق الاعدام تستصعبه جدا . كذلك
ايضا يكون التوب والاجر عليها عظيما جدا . والمغترون يعيدون
ويقولون ان شئنا لم يقول هذا الطوبى الا لنعلم معا بينها ونعمل
بها جميعا . ثم يدلنا ايضا ان منها لاختاره الانسان من الفضائل
يثبت عليه علمي قدر طبقته . لان من الناس من هو رقيم وليس متواضع
ومنهم من هو حزين وليس مجايع ولا عطشان ومنهم من هو مسكين
وليس يصلح بي الناس ومنهم من قلوبهم نقيه وليس يطررون ولا
يقذفون . لان طبقات النعيم تقترنه بدراجات المشقة . فان كل
واحد من الذين يحزنون الفضيلة يرتقي الى الطبقة التي وصلت
درجته اليها . ويعني بقوله ان هكذا اطرروا الانبياء الذين كانوا قبلكم
تحرصا على الاقدام بالتشبه بالانبياء . وان متي عرضوا لحد من الناس
اضطهادا شديدا مستصعب ينظر الى الذي وقع فيه الانبياء فيهنون
أمره عليه ويونس للتلاميذ بان الانبياء اختيروا للدعوة العتيقة وانتم

قد اخترتم لدعوت الحديثه ويعني بقوله انتم ملح الارض وان الملح اذا
فسد يطرح ويدأش فهذا القول كان للتلاميذ خصوصاً اي انتم الان
في الناس بمنزلة الملح في الطعام كما ان الطعام انما يطيب بالملح
وبه يصلح للذين ياكلونه لذلك انسان يجتنبونه الي الايمان شمه
يدوقونه من شرفتي ولو كان كافراً خاطياً يصير ملكاً لملوك السموات
لا محاله فينبغي لكم اولاً قبل كل شيء ان تحرصوا وتجتهدوا في احرار حرس
الفضيله واللبات عليها لانكم بدوا مكر فيها يملكنكم كل شيء ومتي فطمتم
في احرارها لم يملكنكم شيء وكما ان الملح مادام نابه علي خاصيته من
الفساد يصلح اشياء كثيرة واذا تغير وفسد لم يصلح لشي ولا ينفعه
شي فيطرح بمنزلة ما لا خير فيه كذلك انتم ايضاً اذا ادمتم علي
فضيلتكم قد تفرجوا لكم الروحاني وافعالكم الحسنه تجتدوا
الناس من الكفر الي الايمان ومن الافعال المردوله الدنسه الي النقا
والطهاره وكثير كالميلين واذا اهلقتها صرتم ناقصين عند المتعلمين
منكم والمتعلمين بكم واذا كان المعلم الواعظ ناقصاً عن شيعته
فحويطرح لا محاله ويدأش ولا يجد له معين وقوله انتم نور
العالم

العالم لا تشطيع مدينه تخفي وهي موضعه علي جبل عال ولا
يوقد سراج فيترك تحت مكيال لكن يوضع علي المناره ليفي لكل من
في البيت هكذا فينبغي فكم قدام الناس ليروا اعمالكم الحسنه فيجدوا
اباكم الذي في السموات يعني بذلك انكم في الناس بمنزلة النور في
الظلام لانه علي ايديكم تقبل الناس علي معرفه الله وتقواه والشعبي
في طرق الفضيله وكما انه ليس يسطاع ان تخفي مدينه وهي موضعه
علي جبل وما من احد يسرج سراجاً فيضعه تحت مكيال كذلك
ينبغي لكم ان تعلموا ان سريرتكم ان تخفي فمن هاهنا يجب عليكم ان
تعلنوا بالحسنات ولا تقطوا نور الايمان بالسيات كتغطيته
السراج بالمكيال بل اظهروا الايمان بحقيقه الفضيله كي اذا راي
كل انسان مجد سريرتكم وتغشش في حق ايمانكم فهم انكم حقا قد
تقربتم الي الله العظيم والمفسرون ايضاً يعيدون ويقولون
ان قول سيدنا عن المكيال والمدينه والسراج انما قاله ليأمر الرسل
بان لا يكونوا عن تعليم الايمان وان لا يكلفوا المؤمنين علم ايديهم بل اذا
راوا شيئاً من الفاضله تسلكوها معهم بغير تكليف وانما اذا دخلوا

في الفضيله هم لهالة مجدرون الله . وقوله لا تظنوا اني جيت لاجل
 الناموس والانبيا . لمات لاجل بل لاجل . لكن اقول لكم انه الي ان يزول
 السماء والارض لا يزول من الناموس وظه واحده او خطه واحده
 حتي يكون هذا جميعه . جيتنا ان تعلم ان سيدنا من بعد تحريكه
 التلاميذ تحريكاً قوياً علي اقتنا الفضيله . ووعدهم بما يكون لهم من
 الخيرات العتيدة وانهم يستطيعون اذا اكلوا لحسن الشيره ان يربحوا
 نفوساً كثيره . شرع بعد ذلك وقال ما يليق في وضع الشتم واقامة
 الشرع . فمعي قوله لا تظنوا اني جيت لانقض الناموس والانبيا .
 لمات لاجل بل لاجل اي لا تظنوا اني لا اقول ضد ما قاله موسى في
 التوراه والذي قاله الانبيا في كتبهم فالامر الذي عندي كما قال
 ظلمكم . واما الذي اقله هو كما لما في كتبهم من النقص وتركه لصدقاً .
 واما ان الناموس يامر ويقول لا تقتل فان من قتل وجبت عليه
 الدينونه . واليه وانا اقول لكم ان كل من يغضب علي اخيه باطلاً
 فقد وجبت عليه الدينونه . والتوراه ايضاً تامر وتقول لا تزن
 وانا اقول لكم ان كل من ينظر الي امرآه لكي يشتهيها فقد زن

بما قلبه في الحان فهذا القول لا يحل الناموس ولا الانبيا . بل كل
 النقصون من هذا الصدف . ويقضي ايضاً ذلك ان كل السيد للناموس
 والانبيا هو مجيبه . وتامنه ان زور الكتب ونبوات الانبيا عليه
 قد كملت . وظهرت للناس . وايضاً انه استعمل السنه جميعه
 فتوفيت السنه حتماً هو كما لها . وينبغي ان تعلم ان نقص الشيء هو
 ابطال ذاته كمثل من قال لا تقتل فيقول المناقض اقتل . واما من
 قال لا انقض فهو تأكيد الوصيه لانقض لها . لانه اذا كان هذا
 التحرير علي الغضب فاعناه ان يكون علي القتل . واما قوله لمات
 يدل علي عظمه الفرق بينه وبين الانبيا الذين بعثوا ولم ياتوا
 تلقاً نفوسهم . وللسايل ان يقول اذا كان المسيح لم يحل شتم
 الفتنة فالظاهر يدلنا ان سنه الحديثه قد غيرت من شروطها
 اشياء كثيره ظاهرة فاما هو البرهان علي انه لم يغيرها . فيقال ان السيد
 لم يقول اني اتيت لاثبت الناموس علي حاله . بل انه قال اني لمات
 لانقض الناموس بل اتيت لاكمله . ومعلوم ان التغيير يقال علي
 ضربين . اما تغيير الذات التي هو . واما تغيير الحاله . واللاه

أيضا ان كمال الشيء هو تغيير أحواله مرجال النقص المرجال افضل
فقوله لم يزل هو انه لم يغير ذات الناموس بل كده تاكيدا قويا
وقوله اكمل هو تغيير أحوال الناموس من النقص الى الكمال فاصل
الناموس الذي هو ذاته باقيا على حاله لم يغيره واما حاله فانهما
قد تغيرت من اجل انها كانت ناقصة ومحتاجة الى الكمال ولما
اكملها السيد تغيرت مرجال النقص المرجال الكمال فقوله انه لم
ينقصه قد صحح بانه لم يغير اصول الناموس وقوله انه يكمله هو يغير
حاله لانه مرجال النقص الى الكمال واما قوله الحق اقول لكم اي ان
هذا القول قد موكد ويعني بقوله ان السماء والارض يزولان ويوظه
واحدة او خطه واحدة لا تزول حتي يكون هذا جميعه اي ان سني
هي ثابت كمال الناموس اليقيني لان ناموس الحقيقة ما كان رايا
يروض الناس وكان لهم عنوت الدليل الهادي كي يحمل محبتي
عندهم مدخلا من اجل الخلاص المكين لجميع الناس لان الناموس
الاول انما قيل من اجل سني التي لبت في نقصاله بل تبتا وكالا
وانا واضع الحقيقة ياضة الناس وواضع الحديثه لئلا لهم
وذلك

وذلك ان الحقيقة تنفي عن القتل والزنى وما يشبههما والحديثه
تنتعن الفضل الذي هو سب القتل وعن نظر الشهوة الذي هو
سب الزنا وما يشبههما ومن اجل اني واضع تلك وواضع هذه
ومطلع علي السراير وكفائا فاني ادين قبل الاعمال علي هوسي
النفس وقبل القتل والزنا علي الارادة التي توافقهما فاذا كان
ذلك كذلك فالذين قد رفضوا الكمال وعسكوا بالنقص لم يسبق
لهم ناموس من اجل ان المرتاض ليس يكامل هو والكامل من ناض وكامل
والذين قد استشنوا السنة الكاملة هم اصحاب الناموس وهذا
الناموس هو الذي عني به السيد ان السماء والارض يزولان ويوظه
واحدة او خطه واحدة لا تزول منه يوكد انه لا ينبغي اني من
المكتوب في الحقيقة والحديثه بشي حتي تتم وما يخص عنه
وقيان انه هو معني قوله ان السماء والارض يزولان هل قصد بهذا
ان السماء والارض يزولان من الوجود ويبطلان أم قال هذا علي
سبيل المبالغة وتغديرها انه كما ان السماء والارض لا يزولان ولا
يبطلان الوجود كذلك الصغار من هذا الناموس لا ينسقط في هذا

العالم ولا تتغير ولا تنقلب فيقال ان المغشورين يعيدون
 ويقولون ان السماء والارض عند القيامة لا يزولان ولا يبطلان
 بل انهما في ذلك الوقت يطويان وينشران لانها انما كانت في الاول من
 اجل خدمة البشر وترتيب نظامه على قلعة مستقرة فاما عند انقضاء
 الدهر فتغيران عن حالتهما الاولى ثم يجدان عند تجديده ويستبدلون
 علي ذلك من قول الكتاب السما يطوي كالسجل وفيه حتى تتغير السماء
 والارض وفيه اني اخلق سما جديدة وارض جديدة. وبقول الكتاب
 ايضا انت يا رب منذ ابدي وضعت اساس الارض والسماء خلقت
 بيديك. ثم يزولان وانت باق وكلها تبلاك لتوب وتطوئين كطي
 الرداء وهم يستبدلون وانت كما انت وستكون لنفسي وفيه الشمس
 الارض وتبسطها لكيلا تزول الى الابد. كما يقول الكتاب وسياقي يوم
 ربنا كاللص اليوم الذي تتحرك فيه النجوم والسموات بسرته وتتحل
 النجوم بالاحتراق والارض جميع ما فيها من الخلائق تحترق
 فاذا بطلت هذا كلها فاجتهدوا ان تكونوا بقلبهم تترجون حي
 يوم الله الذي فيه تبطل السموات والارض وترجأ سموات مجده
 وارضاً

اشيا
١٤

داود
مزبور
٥٥

مزبور
٥٦

الجزء
١٤
٥٦

وارض جديدة حسبما وعد ليسكن البار فيها. وقوله فمن اجل الحادي هذه
 الوصايا الصغار وعلم الناس هكذا يدعوا صغيرا في ملكوت السموات
 ومن يعلم هكذا يدعوا عظيما في ملكوت السموات اقول لكم ان لكم
 يزاد برهم علي الكعبة والفريسيون ليس يدخلون ملكوت السموات
 فمعنا قوله الوصايا الصغار اشارة الى ما قد وضعه في سنته وكونه
 ايضا دعاها صغائر لان امورها كان خفيا محجوبا عن اهل التوراة ولم يكونوا
 يعدونها في حلة الخطايا لان الخطايا انما كانت عندهم تتعلق
 بالفعل حسب الشهوة والارادة اللتان هما ينبوعان لفعل الخطايا
 ليس بعدوها البتة خطية لانهم لم يكونوا يعدون شعوت الزنا شيئا
 ان لم يزفوا ولا حب القتل شيئا ان لم يكونوا قد قتلوا فقال لهم هذا القول
 يعني به ان سننت في الكمال ولا تظنوا ان خطية الانسان في
 فكرته صغيرة لان الفعل لا يتم حتي تستقدمه مشيت النفس وهواها
 فالذي يهدم هو النفس اوله قد بان انه قد اقتلع اصول الفعال
 واما الذي لا يقطع هواه فهو علي الحقيقة فعال وان لم يفعل فمن
 هذا حدد وعنه نهاء واعلموا يقينا ان من فعل شئ هذا وعلم بانها نعماء

فهو صغير في الملكوت أي أنه يكون مع الأشرار في يوم الدين وأما من
 جاهد وقطع الشهوات التي هي باب فعل السيئات عن هوى النفس
 وعلم آخرين تلك الفضيلة هداية عظيمة في ملكوت السموات أي
 أنه يكون في جملة الأبرار في يوم الدين وملكوت السموات في هذا
 الموضع هي محبة السيد ليدين كل إنسان كمثال أعماله وأما قوله ان لم
 يزداد بركم على الكتب والغريشيون ليس تدخلون ملكوت السموات
 والكتب والغريشيون هم كانوا اشرف فروع اهل الحقيقة بعلمهم وتعليمهم
 والبر الذي كانوا يعملونه ويعلمونه هو ما كان يتعلق بالفعل حسب
 وهوان الانسان منهم يحفظ نفسه في البت من جميع الأعمال
 حتى فعل الخير مخ الناس لا يعمل وان يكن عن الزنا والشرقة وشتمات
 الزور ثم انه يقاصر ويأمر بالقصاص على ما في سنة القتيبة
 ثم يجازي اهل الخير بالخير واهل الشر بالشر لا يبريدهم ايضا من خيره
 ولا من شره فهداهو بالكتب والغريشيون وأما البر الذي في سنة
 الحديث هو فعل الجليل في كل وقت وزمان وان لا يقدح رجاء أحد
 وان يضاف الى اجتناب القتل والزنا والشرقة وشتمات الزور
 وما

وما يشبههم ترك القصاص واحتمال الآدي وهم هوى النفس الذي
 هو السب لهذا الأفعال وان تكون المقابلة على الشر القليل بالخير كقول
 وهذه هي الزيادة التي ذكرها السيد لئلا يجاعلي بالكتب والغريشيين
 وهوان يحصل أفعال الفضيلة في كل وقت وزمان وان يترك امر
 القصاص ومكافات الشرائع ثم احتمال الآدي من كل أحد وأيضا
 المحترات رغبة النفس وهواها من الميلان الى إطلاق الشهوة والآد
 في أفعال الرذائل والسيئات ليكون كحصر على تحصيل الفضيلة
 عشت انفسا والبعد من الأفعال المنهي عنها بنية فكريا فانه
 نحصن عن شيت أنفسنا ونغتنسنا لئلا نتأثر الى الفضيلة
 بلوغا بليغا وهذا هو كمال الناموس ورضا الديان لان السنة
 القديمة ما كانت متعلقة بما يلائم النفس كحيوانية او ما يليق
 بأفعالها حسب كانت غير كاملة فلما حكمت ما عرت به سنت
 الحديثه ونهت عنه صارت متعلقة بما يلائم النفس العاقل
 الناطقة لان سنت الحديثه انما تتعلق بما يلائم العاقله وافعالها
 في الظاهر والباطن أما في الظاهر فهو ابتداء المعروف والفعل
 الجليل والصدق في أفعال الرذائل والمسكرات وأما في الباطن

ففي الأمور التي يبلغ بها إلى ثبات أصول صدق الخبر في الثبات
وقلع أصول الشر والارادات الباطنة وهي النفس وذلك أنها
تأمر بما هو بسبب ثبات أصول الخير وصدقته في النيات كقولها أحبوا
اعدائكم واحسنوا اليهم ومن لم يطمع في هذا فليس له الآخرة
والذي يأخذ ما لا تطلب منه العوض عنه وبقيت الأوامر التي
تشبه هذا فالذي يجب عده ما ينبغي إحداً والذي ينبغي جثمه
للهم أن ما يطالب بقصاص والذي يؤخذ ما له ولا يطلبه ولا العفو
عنه ما يشرق شيئاً ولا يظلم أحداً ثم أيضاً تندم من الذي هو
سبب ثبات أصول الشر كقولها لا تقضب ولا تنظر نظر الشهوة
فالذي لا يقضب لا يقتل والذي لا ينظر بشهوة ما يرى أيضاً فهذا
جميعه وتوابعه هو كمال الناموس وقوله سمعتم ما قيل للأولين
لا تقتل فإن مقتل يجب عليه الديونة وأنا أقول لكم إن كل من
غضب على أخيه باطلاً فقد وجبت عليه الديونة ومن قال لأخيه
يا أحمق يجب راقاً يكون مستحقاً للحكم ومن قيل لأخيه يا أحمق
وجب عليه نار جهنم معلوم أن السبل المودية إلى الخيرات فهي أمّا
لجتناب

لجتناب الشر وأما الانتقال عنها والقتل فهو اتقل الشرور
جميعها وذلك أن الناموس في عنه قبل كل الشرور وقوله إن كل من
يقضب على أخيه باطلاً فقد وجبت عليه الديونة يعني بذلك أن
فعل القتل قد كان الأولون فواعنه في ناموس الحقيقة وكل هذا
النتهي هو رفع السبب الذي يتولد منه حب القتل وهو الغضب
والحقد والاستحقاق الذي يتولد منه الكبر والتعاضد والاستطالة
بالفخر الجسداني لأن الذي يقضب ويحقد وإن كان لم يستل شيئاً
بيده للقتل فهو مشاع إلى القتل بصيره ومشيته وذلك أنه متى رأى
من يغضبه متورطاً في الشرور فيشتمه به ويشتبه بوجهه وهذا إنما
تكون في الغضب الذي يمكن العداوة والحقد في قلبه وفي جميعها
من كواثر القتل والديونة عليها في يوم الدين عدلاً لأنه لم يقل
من غضب على أخيه باطلاً تجازي في هذه الدنيا بأرب وبغائب أو
أو يقتل بل قال أنه يستحق الديونة في يوم الميعاد لأن المكافاة
على البواطن الله يفعلها بعلمه الخفي ويعاقب عليها في الآخرة
وأما الظواهر فمنها ما يستعجله الله بيدا للملوك الحكام في

هَذَا الْعَالَمُ وَهَذَا أَهْوَا الْأَهْوَى وَمَنْعَا مَا يُؤَخِّرُهُ اللَّهُ إِلَى وَقْتِ الْمَبْعَادِ
وَهَذَا أَهْوَا الْأَصْعَبِ مِنْ جَلِّ أَنْ الْعُقَابَ شَرِّ مَرِيٍّ وَقَوْلُهُ لَا يَتَّيْنُ الْجَمَاعَةَ
أَيُّ أَنَّهُ فِي ذَلِكَ الْيَوْمِ الْمَرْهُوبِ الَّذِي يَنْتَقِمُ فِيهِ مِنَ الْمُجْرِمِينَ يَكُونُ التَّوْبِيخُ
فِيهِ مِنَ الْمَلَائِكَةِ مِنَ النَّاسِ الصَّالِحِينَ وَقَوْلُهُ مَنْ قَالَ لِأَخِيهِ يَا أَحْمَقُ فَقَدْ
وَجَبَتْ عَلَيْهِ نَارُ جَهَنَّمَ إِنْ أَنْتَ قَدِمْتَ قَرِيبًا عَلَيَّ الْمَدِيحُ وَذَكَرْتَ
هَذَا أَنَّ إِيَّاكَ لَجَدَّ عَلَيْكَ فَدَعِ هَذَا قَرِيبًا عَلَيْكَ قَدَامَ الْمَدِيحِ وَامْضِ وَلَا
وَصَلِّحْ إِيَّاكَ ثُمَّ تَعَالِ جَنِينًا وَقَدْ قَرِيبًا عَلَيْكَ يَعْنِي بِذَلِكَ أَنْ لَا يَكُونَ
كَلَامُنَا بِشَيْءٍ مِنَ الرَّدِيِّ لِأَنَّ الْكَلَامَ الرَّدِيَّ يَفْسِدُ الْفَخَائِرَ السَّلِيمَةَ
أَيُّ إِيَّاكَ إِذَا جَمَلْتَ إِيَّاكَ الْحَقَّ فَقَدْ اسْتَطَلَّ عَلَيْهِ وَازْدَرِيَّةٌ بَشَرٌ
وَنَفِيتُ عَنْهُ كُلَّ حِكْمَةٍ وَتَلَبَّتْ مِنْهُ الْفَضِيلَةُ وَأَعْرَضَتْهُ بِلَا شَكٍّ لِلْحَمِيَّةِ
الَّتِي تَجَدُّثُ لَهُ الْأَنْقِبَاضُ وَالرِّبَاةُ وَسَوَاحِلُ الْخَلْقِ وَالْإِهْتِمَامُ وَالْمُكَافَاةُ
وَالْعَنَاءُ بِالْإِنْسَانِ فَتَكُونُ قَدْرَ الْحَمِيَّةِ بِالْغَضَبِ بِفِكْرِهِ صَحِيحَةً وَقَدْ
تَقَدَّمَ الْقَوْلُ بِدِيَاةٍ أَنَّ الْغَضَبَ هُوَ سَبَبُ الْقَتْلِ فَتَصِيرُ أَنْتَ لَا حَالَهُ
قَاتِلًا لِنَفْسِكَ مَا أَثْبَتَهُ مِنْ بَفْضِكَ مِنْ تَلْبِخِكَ نَتَحَقَّقُ عَلَيْكَ
الْيَتِيمُونَ فِي جَهَنَّمَ وَمَا أَحْسَنَ مَا أَغْتَبَ قَوْلُهُ بِهَذَا الْوَصِيَّةِ رَأْفَةً بِنَا
وَرَحْمَةً

وَرَحْمَةً عَلَيْنَا لِمَعْرِفَتِهِ بِمَا يَفْرَضُ بَيْنَنَا مِنَ الْأُمُورِ الَّتِي تُلْجِمُنَا أَمْرًا لِمُتَابَقَةِ
لِخُوتِنَا وَأَمْرًا بِمُعَالَجَةِ الشَّرِّ الشَّدِيدِ الْقَادِحِ بِدَوِّ اسْتَعْلَهِمْ جَدًّا
قَالَ إِنَّ غَضَبْتَ أَخَاكَ فَلَا تَقْدَمُ عَلَيْهِ عَلَى صَلَاتِكَ قَبْلَ أَنْ تَصْلَحَهُ وَتَرْضِيهِ
لِيَقْبَلَنَّ أَنْ يَكُونَ إِذَا نُؤْيَا الصَّلَاةَ نَقَشَتْ نَفْسُنَا بِأَفْكَارِنَا فَإِذَا تَحَنَّنَ
ذِكْرُنَا عَادَتِنَا لِأَخَوَتِنَا نَسْتَحْوِزُ مِنْ أَسْتِقَامِ الدِّينِ مَا عَلَيْنَا وَسَعِينَا
إِذَا الصَّلَاحُ مِنْ كُلِّ طَرِيقٍ وَحِينَئِذٍ نَفُودُ وَضَلِّي فَتَحُورُ الْفَضِيلَتَيْنِ
فَضِيلَةُ الصَّلَاةِ وَفَضِيلَةُ الْخُضُوعِ لِلصَّلَاحِ وَقَوْلُهُ لَنْ تَتَغَنَّمَا مِنْ خُصْمِكَ
شَرًّا مَأْمُومَةً مَعَهُ فِي الطَّرِيقِ لِيَلَا يَسْلُمَ الْخُصْمُ إِلَى الْكَاوِلِ وَالْكَامِرِ إِلَى
الْمُسْتَخْرِجِ وَتَلْعَنِي فِي السَّجْنِ فَكُنْ أَقُولُ لَكَ أَنْتَ لَا تَخْرُجُ مِنْ هَذَا
حَتَّى تُوَدِّيَ الْقَلْبُ الْخَيْرَ قَدْ سَمِعْتُمْ أَنَّهُ قِيلَ لِلْأَوَّلِينَ لَا تَرَوْنَ وَأَنَا أَقُولُ لَكُمْ
أَنْ كُلَّ مَنْ يَنْظُرُ إِلَى أَمْرٍ أَوْ لَيْ يَشْتَبِهِيهَا فَقَدْ نَزَّاجًا بَعْلَبِهِ فِي الْحَالِ
فَقَصْدُهُ بِقَوْلِهِ لَنْ جُشْنَ اللَّطْفِ بِخُصْمِكَ إِنْ يَأْمُرُ الْمَسِيَّ بِأَنْ يَتَنَصَّلَ
مِنْ دَنُوبِهِ وَيَعْتَدِلَ إِلَى مَنْ قَدَّاسِي إِلَيْهِ فِي هَذِهِ الدَّارِ الزَّائِلَةِ وَأَنْ يَتَوَيَّ
فِيهِ الْخَيْرَ بِنِيَّةٍ صَادِقَةٍ ثُمَّ يَفْعَلْ كُلَّ مَا يَكُنُهُ فِي رِضَاهُ فَإِذَا آدَبَهُ الْمَضْرُوبُ
وَأَنْتَقَضَتِ الْعَدَاوَةُ فِي هَذِهِ الدُّنْيَا اسْتَحَقَّ أَنْ يَسْبَطَ عَنْهُ الْعُقَابُ

قوله لا تخرج من هذا السجن
قوله لا تخرج من هذا السجن

في الآخرة وان كانت المصرة ثابتة بالعداوة باقية علي حالها الي
 حين الخروج من هذا الدنيا فالضرورة لجل اضراره يستدعي ويستحق
 وبالعدل يسله الي المستخرج اي ان الضرر الذي ظلمت بك بالبحر
 وكيف ترك المجازاة للحاكم العدل ولا ينصرف لنفسه بما حقيقته
 انه قد اشكل المستخرج لحقوقك ويلقيك في الشجر اي في العقاب
 ولا يخرج من هناك حتي تؤدي لفلس الخير اي انه يتقدم منه عن
 جميع ما جاء من دنس كبير او صغير وقصده بقوله ان ينظر الي امره
 لكي يستصحبها فقد زني بها بقلبه في الحال ان يتسائل السب الذي
 يتولد منه اصل الزنا لانه يعني بهذا النظر اما التعرض في جمال
 النساء بشهوه قبيحة واما للذات نظر العين حبس فكل واحد من
 هذين النوعين لا محاله يورط النفس بالحال في وسط الفحشاء
 والذي يكون هذا اعتماده فهو زان لانه يتم ما بشرت الزنا
 بالفعل اذا امكنه وكان لوجوده شيل لان الانسان له شهوة
 وارادة وفعل فالشهوة هي كاهه فيه لانها طبيعية فما تجب عليه
 من لجلها عقاب دون ان يجرها الآراة لان اصل الشهوة ما عليها
 عقاب

عقاب مادامة كأمته بغير حركة الآراة ودان الانسان ما في قدرته
 ان يدفع الامور الطبيعية لان سلطانها هو علي الآراة والفعل
 حبس فهو يقدر علي ابطال الآراة المستغلة في امضا الشهوة ثم
 ان له قدره علي ابطال الفعل الذي به تعمل الآراة ايضا لان الآراة
 لها ان تحرك الشهوة والفعل له ان يجعل الآراة فالآراة هي سبب
 الفعل ولوعا وعما تر عن الفعل وجبت الدينونة من اجل الآراة لكو
 هي السبب فالسنة الاولى كانت تعاقب علي الفعل حب واما السنة
 الثانية التي بها كان الكمال فتعاقب علي الفعل ثم علي السبب الذي
 يورث امره وتقدير الكلام هكذا ان من نظر الي امره وهو موزون
 امضا شهوته فيها فقد استحق العقاب ففعل ولم يفعل فاما الذي
 يورث الفعل ويريد ثم انقطع ارادته عن امضا الشهوة بالفعل بعد
 قصدتها الاو من غير مانع يحدث او تعويق صاير فان له أحد
 التلجات الثلاثة فاما التاج الاشراف فانه للذي يجيد ابتغاء
 الملك السماوي والحياه الابدية واما التاج المتوسط فهو للذي يصيد
 خوف العضا في يوم المداينة واما التاج المنخفض فانه للذي يصيد

ليبتغي مديح الناس ويختشي من توبيخهم وقوله زنا بها بقلبه في الحال
فهذا الوصية وان كانت مختصة بالرجل فانها تترك الرجل والمرأة
جميعاً وقوله ان شكلتك عينك اليمنى فاقطعها واليتيماء عنك
لانه خير لك ان تدخل الحياه يهلك لحد اعضائك ولا يلقي جسدك كله
في جهنم وان شكلتك يدك اليمنى فاقطعها واليتيماء عنك فانه
خير لك ان يهلك لحد اعضائك من ان يدهب جسدك جميعه الي جهنم
يعني ان العين هي ايضا اشرف احوال الجسم واليد اليمنى هي اشرف
الاتا الجسم جميعها اي انه اذا كان انسان فيلزم حجب مثل العين
واليد حتي يكون مشيانه قويه في امضا الشر والشهوات الدنسه
فهو يطغى ويوجدكم طريق الشر قليكن عند جميع العامه ودوا
ولو ان يكون احب اليهم من ان يصار هو وايدهم وان يتبعوا منه كل
البعد في طلب السلاسه من الدوايل وخير لهم ان يكونوا في الحياه
الابديه وليس لهم قريب ولا صديق ولا يكونوا في العذاب الابدك
ولهم كثير من الاصدقاء والاقارب وقوله من طلق امرأته فيدفع لها
كتاب الطلاق وانا اقول لكم ان من طلق امرأته من غير كتاب زنا

فقد

فقد جعلها زانية ومن تزوج مطلقه فقد زني يعلمنا ان اليهود
قبل سنت التوراه لم يكونوا يعطون للنساء كتب الطلاق وكان قتل
النساء الزواني وارياب لعل قد نشي فيهم بغيرنا موثر من اجل شهوتهم
فاباح لهم لنا موثر طلاق النساء اذا احبوا تخليتهن حتى يخلصوا
من تبعات القتل فقال اني عارف بانه قد لكل لكم اعطاء كتاب
الطلاق للنساء اذا اردتم تخليتهن وانا اقول لكم الكمال لهذا
القول ان كل من طلق امرأته قبل ان يظهر عليها علة الزنا التي
ضروه تدفع الاباشين يهود فقد جعلها زانية ولهذا يكون الذي
يتزوج مطلقه زان من اجل انه يعرف رأي وجهه كان البس في
طلاقها وقوله سمعتم ما قيل للاولين لا تحت في نيك واوفي للرب
تتمك وانا اقول لكم لا تخلفوا الابنه لا تخلفوا بالثما فانها كوثي الله
ولا بالارض لانها طوي قديمه ولا سير وشليم فانها مدينة الملك العظيم
ولا تقسم براسك لانك لا تقدر ان تصنع شعره واحده بيضا
او سوده يعني بذلك لنا موثر الذن قد كان ناعن خلف كدبا
وانا اقول لكم لا تخلفوا اصلا بالاثما ولا بالارض فضا لعمري ان

تَحَلُّوْا بِاللَّهِ لِيُجَلِّ الْعَوْلَ بِأَنَّهُ لَيْسَ يَنْبَغِي أَنْ تَحْلُوْا الْبَتَّةَ فَإِنَّ الْقَسْمَ
عَلَى إِي وَجْهٍ كَانَ هُوَ دِيْلَهُ كَامِلَةً وَقَوْلُهُ وَلَيْكِنْ كَلِمَتُكُمْ لَكُمْ لَنْفَرُّوْا لِلَّهِ وَمَا
زَادَ عَلَى هَذَيْنِ فَنُومِنُ الشَّرَّ أَيْ أَعْنُوْا أَنْ يَكُونَ كَلِمَتُكُمْ بِمَا لَيْتُمْ أَنْ تَقُولُوا
الَّتِي الَّتِي هُوَ كَاهُوْا وَمَا لَيْسَ هُوَ كَالَيْسَ هُوَ وَلَا تَقُولُوا أَنْ تَقُولُوا
بِالْكَيْتِ لَا يَدْرِي كَيْفَ عَلَيْهِ عِقَابٌ أَلَمْ يَكُنْ يَنْبَغِي أَنْ تَعْلَمُوا أَوْلَادُكُمْ أَنْ يَلِيْسَ هُوَ مُتَدَعٍ
الْكَيْتِ مُخْتَصَّةٌ فَهُوَ إِذَا أَبَوَا الْكَيْتَ وَذَلِكَ أَنَّهُ لَمْ يَطْغِي أَدَمُ وَحَوِيَّةٌ إِلَّا
بِالْكَيْتِ فَقَدْ وَجِبَ عَلَى كُلِّ مَنٍ بِكَيْتِ الْعِقَابُ لِأَنَّهُ اتَّخَذَ لِنَفْسِهِ الْمِثْلَ لَهُ
وَالْتَشَبُّهُ بِهِ وَقَوْلُهُ ثُمَّ قَرَأَ فِيهِ قِيلَ الْغِيْزُ بَدَلُ الْغِيْزِ وَالشَّرُّ عِزُّ الشَّرِّ وَأَنَا
أَقُولُ لَكُمْ لَا تَقْبَلُوا قِبَالَ الشَّرِّ وَلَكِنْ مَنْ لَطَمَكَ عَلَى خَدِّكَ الْيَمِيْنِ فَجُلْ
لَهُ الْآخَرَ وَمَنْ أَرَادَ أَنْ يَجَاكِمَكَ لَا خَدُّوكَ فَدَعْ لَهُ رِدَاكَ الْيُسْأَلُونَ
سُخْرًا مِثْلًا وَاحِدًا فَأَمَضَ مَعَهُ أَشْنَيْنِ قَدْ شَبَّحَ الْإِيصَاحُ أَنَّ الْيَهُودَ
قَبْلَ أَنْ يَأْتِيَهُمْ شَرُّ الْعَقِيْقَةِ كَانُوا عَلَى غَايَةِ الظُّفْيَانِ مِنْ قِتْلِ
الْأَنْسَرِ وَكَانَتْ الْحَالُ تَجْرِي بَيْنَهُمْ بِمِثْلِ نَامُوسٍ وَذَلِكَ أَنَّ أَحَدَهُمْ كَانَ
إِذَا قَلَعَ شَرَّ صَاحِبَةٍ حَتَّى أَنْ يَكُونَ لِلْمُضْرُوقِ قَدْرٌ عَلَى قِتْلِ الْمُضْرِقَةِ
فَيَصِيْرُ تَارَةً لِنَفْسٍ فَاتَا نَامُوسَ الْعَقِيْقَةِ بِالْقَصَاصِ حَتَّى يَنْتَقِمُوا
عَنْ

عَنْ الْقِتْلِ وَيَكُونُ عَيْنَ بَعِيْنٍ وَمِنْ بَشَرٍ لِأَنَّهُ كَانَ مِثْلَ الرَّابِضِ لَسْتِ
الْحَدِيثُ وَذَلِكَ أَنَّ نَامُوسَ الْعَقِيْقَةِ تَقْلِمُ رَجُلًا الظُّلْمَ إِلَى جِالِ الْعَدْلِ
وَنَامُوسَ الْحَدِيثِ تَقْلِمُ رَجُلًا الْعَدْلَ إِلَى جِالِ الْفَضْلِ لِأَنَّ الَّذِي لَهُ حَقٌّ
وَيَتْرَكُهُ مَعَ قُدْرَتِهِ عَلَى اخْتِارهَ هُوَ لَا مَحَالَهُ أَفْضَلُ مِنَ الَّذِي لَهُ حَقٌّ وَيَتَّقَامُ
مِنْ غَيْرِهِ فَسُئِلَ الْعَقِيْقَةُ أَمَرْتُ أَنْ يَنْتَقِمَ الْمَوْتُ صَاحِبَةَ بِالشُّعْلِ
قَدْ جَنَانِيهِ إِلَيْهِ وَسُئِلَ الْحَدِيثُ أَمَرْتُ أَنْ لَا يَنْتَقِمَ الْبَتَّةَ وَفَعَلَ أَنْفُسَانَا
لِلْحَقِّ مَا الَّذِي فِي الْمَكْرُوهِ كَمَا فَعَلَ التَّلَامِيْدُ غَيْرُهُمْ وَمِنْ جَدِّ حُدُودِهِمْ
وَأَقْتَدِي بِشَيْرِ تَهْمٍ الَّذِينَ يَدْلُوْا أَنْفُسَهُمْ لِمَقَاسَاتِ كُلِّ مَكْرُوهٍ مُسْرِعِينَ
نَبَادِرِينَ بِجَلَدِ بْنِ اللَّهِ أَنْ لَا يَكُونَ فَضِيلَتُهُمْ بِأَقْصَى نَفْعٍ هَذَا أَيْ
أَنَّ أَهْلَ الْعَقِيْقَةِ قَدْ أَعْطَيْتُهُمْ شَيْئًا تَجْلِبُ الْعُقُوبَةُ عَلَى الْمُضْرِبِ مِنْهُمْ
فِي نِيَاهِهِمْ هَذِهِ فَأَمَّا أَنْتُمْ فَأَقْلَمُوا مِنْ نِيَابَتِكُمْ وَخَايَرِكُمْ فَكُلُّكُمْ لَا يَنْتَقِمُ ثُمَّ
أَبْدَلُوا أَنْفُسَكُمْ مَعَ ذَلِكَ لَكِنْ شَدَّ وَضُرُّهُ تَعْرِضُ مِنَ الْأَعْدَاءِ لَكُمْ لَتَكُونُوا
أَهْلًا لِلْفَضِيلَةِ وَالْمَشْهُورِ أَنَّ الْأَنْبِيَاءَ وَالْأَبْرَارَ الَّذِينَ كَانُوا مُتَبَطِّينَ
بِسُنَنِ التَّوْرَةِ قَدْ شَلُّوا طَرِيقَ الْفَضِيلَةِ وَتَرَكُوا الْأَنْتِقَامَ مَعَ
قُدْرَتِهِ عَلَيْهِ وَذَلِكَ أَنَّ دَاوُدَ الْمَبْطُوطَ يَقُولُ مَتَخَرَّكَ عِنْدَ اللَّهِ أَنْ

كنت جازيت الذين صنعواي شرأ اشقط اذ ان اعداي خازيا فلو كانت
هذا الوصايا التي اتت بها انت الحديثه غريبه عند شريفة الثوره
وليس الذي يعمل بها فضيله لما كان يمكن او ورن يفكر بهذا القول
فان انتم ملتزم هذه الوصايا ولجبتكم تقصوا التنازل ولايك الذين
كانوا ايقاصون فقد انتقلتم عن تقوي الله واعجزتموه القدره عن
لخذ حقوقكم وصبرتم قوت ايديكم تاخذون ثاكره فان انتم اترتدين
الله ومجته علي كل شيء فانكم تقبلون وصاياه وتبدلون انفسكم لمقاسات
الاسوايا الصبر والتوذي ثم تقبلون انفسكم فيما ياتي لكم من الامر في حجة
الله رجاء ونفعا فان تقبل ان ينتم الله لكم في العاجله عن صبركم عن غير
ان يكون لكم في الكرضاء فاقبلوا هذه النعمه وادعوا الشكر عليها
المعطيها لكم لانه انتتم لكم في العاجله وزجل نياتكم احسنه
وصبركم علي الاضرار تجرون ايضا نعيم الآخرة فهد الوصايا التي
انت جميعها في هذا الموضع من اجل قوله لا تقوموا قبل ان الشرب
لانه قد امر في غير موضع بالهرب من مشاجرت الاعداء وموامرتهم
ومحاجتهم بدينه صلحه مخلصه فيهم وان نحن اشتدنا ايضا
الي

الي اقبال الفضيله فاراد احدث الناس اضرانا بالوقوع في اعمال
تعبه فتوق عن الفضيله ففد يجب علينا الابتعاد من ذلك لان حقيقة
الفضيله هي ائسا واشرف من جميع ما في هذه الدنيا فقد بان واتضح
انه لا مضارده ببرئنت العتيقه وسنت الحديثه لان العتيقه
كانت تأمر بالقبول علي الاعمال بالمباشرة حبس والحديثه كملت
الامر بقطع اصل السب من اليه والصبر اللذان هما علة ارتكاب
العمل الردي بالمباشرة وقوله من ثا الكفا عطيته ومرا اذ ان يقترن
منك فلا تترده سمعت ما قيل تجب قريبك بتبغض عدوك وانا اقول
لكم احبوا اعداكم وباركوا لاغنيكم واحسنوا الي من يبغضكم وصلوا
علي من يضطهدكم ويسوقكم قسرا ليكما تكونوا بني ابيكم الذي في
السموات لانه يطلع شمس على الاشرار والخيار ويرسل غيثه
علي الارار والظالمين فمضي هذه الوصيه ايضا قصد به ان تكون
نياتنا مستعده لفعل الخير لانه جلت قدرته ما يطا لبناياته
لا بد من اعطاك من ثا لنا ما يريد وقد يكون الانسان لا يملك ما
يطلب منه او يكون الانسان ما لك الشيء فيطلب منه علي وجه سؤ

غير متقيمة والآعراض مردولة. فان هذه العطية غير مرضية لله
فتحقق هذه الوصية ان لا يرد لحداء أي من كان من رباب الصدقة وان يكون
كل انسان يعطي بقدر ما يقتدر عليه ومن لا يمكن له قدره ونيتته مستحبة
برالمساكين فقد أعطاهم ثوابه على قدر ما في نيته وصميره وقد يشبه من
يعطي كثير وليس المراد بالاعطاء الكثير والقليل بل الادارة بما ان يكون
مستعدين للاعطاء لا للحصول في الكنوز والمغناه فيما قد ذكرناه
هاهنا وفي المعاني المتقدمة اولها واحد وهو ان ابراهيم الانسان بمحول
على نيته وصميره. وللسايل ان يقول اذا كان السيد المسيح ابراهيم التركي
المسيح فلماذا يقول الرسول المغبوط بولص عن الاسكندر ومن يسبحوا به
الرب بافعاله يعني انه قد صنع في شر الرب مجازيه شركا فاعاله فابن
التركات هاهنا. فيقال ان المغبوط بولص لما قال هذا القول في
رسالته الى طيماتا ووسن حذره في الاسكندريه لحداد الصايخ
فقال له ان الاسكندريه لحداد قد ابلاي بشروا كثيرة في مجازيه
الرب كافعاله فلحذره انت ايضا. اراد بها المجازاه هاهنا من الرب
اي انك تحذره ولا تبغضه فان الله مجازيه بافعاله لانه شديد
المناصبه لنا والمقاومه لنا. والمعاني كذا مثل ابيكم الذي
في

في السموات اي لا تشبهوا باليهود في البغض للام باطلا ولا تخولوا
وجوهكم عنهم ولو اذوكم وانزلوا بكم كل مكره واصنعوا بحكم مع كل حدا
كما ترون اباكم السماي يشرق شمسه وينزل غيظه على الاخيار والنجار وقوله
اذا اجبت من حبل في اجر لكر اليس العشارون يفعلون مثل ذلك وان
سلمتم على اخوتكم فقط فاي فضل فعلتموه اليس الوثنون يفعلون كذلك
كونوا انتم كاملين كما ان اباكم الذي في السموات كامل انظروا لا تصنعوا
مثل حكم قدام الناس لكي تراوهم والافليس لكر اجر عند ابيكم الذي في
السموات واذا صنعت رحمة فلا تهتف بالبوق قدامك كما تصنع
المراوون في المحافل لكي يمجدهم الناس الحق اقول لكر لقد اخذوا اجرهم
وانت اذا صنعت رحمة لا تفعل بسرا كما صنعت عينا لكي يكون
صدقتك في خفية وابول الذي يري في الخفية يجازي عا لانيه
قصدها القول ايضا ان يتبين على النظام الاول الذي تقدم به
لان الترتيب هو هو بعينه وذلك لانه هاهنا ايضا ترك الوصية على
البر المباشرة وجعل وصيته للنبي والصمير الذين هما ينبغي ان
نعمل الوصية اي انظروا لا تصدقوا بقصد علي من تعرفون انتم

تسألون بعطائكم له المدحة من الناس فتختارون لتفوتكم ذلك المديح
وتكرهون التوب والنفير والخوف والمخافة بالخير الجليل من الله من أجل أنكم لم
تفعلوا الخير لأجله فان كنتم تريدون عناية الله بكم لتقبلوا الخير است
المعده للبراز فاعلموا جميع اعمالكم مخلصه بلدياً تخرجوا عليها اضعاف
قصدكم لانه ليس للبشره استطاعة ان تفهم مقدار ما هي للنعيم البدني
ولا تحطوا به لهم والمرادون هم الذين يأخذون بالوجه الآخر يعلمون
الشيء على حكم التصنيع ليوهوا من برهم انهم يقصدون الله وانما
قصدهم الريا عند الناس ليمدحوا منهم ويجب علينا ان نفهم ما في
هذه الشياقة وذلك انه قال اولاً كيف ينبغي لنا ان نتبعه من خضار
بعضنا بعض حتى لا تقتل ثمره بعد ذلك امرنا ان لا نخطئ بشيئ
لانني ثم يرينا وجه الاحتمال ايضا حتى لا ناتي الى الجحيم ثم بعد
هذا جميعه امرنا ان نضع الحسنة ما استطعنا وقد فهد الامر
كلها بضمير النفس واختيارها وقوله اذ اصلتم لا تكونوا كالمرايين
لاهم يحبون القيام في المجمع وزوايا الارقة يصلون ليظهروا
للناس والحق قولكم انهم قد اخذوا اجرهم وانتم اذ اصلتم
فادخل

١٤٥
فادخل مخدعكم ولغلق بابك عليك وصلي لا يكثر ابوك الذي يرى السر
فيعطيك علانيته وانتم اذ اصلتم فلا تكثروا الكلام مثل الوثنين
فانهم يظنون انه سيستمع لهم يكثر كلامهم فلا تستبهموا بهم لان ابائكم
عالمنا يحتاجون اليه قبل ان تسالوه اياه وصلوا انتم هكذا بحسب
نعم هاهنا ان شياقت الكلام يقتضي ان الانجيل المجيد لما بلغ النهايه
في ذكر الصدقه وبير كين ينبغي ان تكون ولا يكون مرأيه للناس بل
تفعلها لرفي الله بنيت انفسنا الصادقة استقل الى ذكر فضيلت
الصلاه فامر فيها ان لا يكون قصدا بها الريا وان لا يظن لحداسه
منع الاجتماع في الصلاه والسعي الى البيع والوقوف مع الجماعة وايضا
الاستبها الى الله والطلبه منه بقوله ادخل مخدعك ولغلق بابك
وانما اراد ان الانسان متى دخل مخدعه وغلق ابابه لم يبق له من ينلجيه
فاراد بنا انه متى صلينا فطرنا غنا جميع الافكار العالميه قطعاً
وسلطنا باب المنجاء المبطله لها وارسلنا الصلاه من بيت خاصه
لا يشوبها كد وان لا ينبغي طلب المديح من الناس وذلك من نوي ان
يصدق الى الله تعالى فقط لا ليتبني مديح الناس ثم تصدق اسم

الناس لم ترك صدقته مدومه كذا القول في الصلاة انما اراد به ان لا
 يكون قصد خيرا الانسان رايات الناس ثم ايضا لا ينزل لحدانه منع
 من كسرت الصلاة والطلبه بقوله واذا اصلتم فلا تكثروا الكلام. وانما
 هذا القول خيا عما رفضته شريعته وعن الكلام الذي لا منفعة فيه. وعن
 طلب الغايات لانه لا يليق ان يطلب من الله عز وجل ما هو فان بل
 يطلب منه ما يكون نافع لان الوشيتين يتناولون كثر الاموال والسترة
 ويدعون على اعدائهم في صلواتهم واما المومنين فليس هم هلكي لانهم عارفون
 بما ينبغي ان يرغب فيه الى الله الذي خصهم على الفضيلة فيجب ان
 تكون طلبتهم وسؤالهم كالذي لا يرشاه ووصاياه واما قوله وصلوا
 انتم هلكي يا ابا الذي في السموات وليقدس اسمك ولتات ملكوتك
 ولتكن مشيتك كما في السما وعلى الارض خيرا غدا اعطيناه اليوم وانقر
 لنا. يجب علينا ان نتفهم كيف انه لما خانا عن كل مثله قبيحة لا يليق
 بجلاله الله عز ذكره طفق بعلم التعليم بما ينبغي ذكره في الصلاة ثم
 ان امره لنا بالصلاة لالحاجه منه الي صلواتنا بل اراد ان يربط
 نفوسنا بالاهيات فيصير شوقها الى الاتصال ببارها مستمرا
 وتتجذب

وتتجذب فكذلك انما ينبغي الي ما ينبغي فمعنى قوله لنا ان نقول في الصلاة
 يا ابا نا. فلفظة الابوة تعال على الحقيقة والاستعارة اما على الحقيقة
 فمما يوت ادم لهابيل وابوت نوح لنام. واما على الاستعارة فمما يوت
 نوح منها ابوت الموهبة كما بوت الله لنا كما قال الرسول هو الذي يجب
 قاولنا بلكل الحق ومنها ابوت التعليم والتدبير الحسن كما قال الرسول
 عن نفسه يا بني انا ولدتك بالبشارة التي يسمع المسيح وما اشبه ذلك
 فالابوة هاهنا اراد بها ابوت الموهبة وهي اثر واقسام الاستعارة وانما
 انما صرا ابا الله بوهبة الابوة التي حصله لنا بالمجودية وبهنا عانا المسيح
 لخوة وابنا لله ابيه ولهذا قال في انجيل يوحنا اعطاهم سلطانا
 ان يصيروا بني الله الذين يمتنون باسمه ليس هم من دم ولا من هوى لحم
 ولا من مشيت رجل لكن ولدوا من الله وعني بذلك ولود المجودية فامرنا ان
 ندعوا الله لنا ابا ليكما يخلصنا بنفسه ثم يكون لك خلاصا لنا ثم
 وسلاحا لنا يستعين به على دفع الشيطان عنا اذا سمع منا هذه
 الابتداء ثم يشوقنا الى محبة الله والعمل بوصاياه وامره لنا انه ندعوا
 الله يا ابا نا ليعلمنا ان الجماعة البقية كالجسم الواحد وليكما يصلي بعفنا عن بعض

ثم يزيل الافتخار من بيننا من ان الملوكة الاصاغر والحكماء والجهالة
 والحرار والعبيد يتساوون في دعوته ولحمه لله ويرفع الجسد عننا
 من هذا الشكره ثم في هذا معنى اخر يقول من اجل انك قد اعديتم الله لكم
 ابا فخذ لا يمكن الا بالقرني اليه اي هو واحرصوا على فعل ما يشبه
 القرني اليه الذي لكم عنده لانه انما ينبغي لم قد صار ابنا ان يوفي
 اياه حقه في الرخي وقولنا ابانا الذي في السموات لان الله
 عز وجل ذكره محصور في شيء بل ان كل شيء محصور في علمه لانه هو
 المحيط بكل شيء علما وانما اراد اجتذاب افكارنا عما هو في الارض الي
 الذي هو في السماء وقوله ليتقدس اسمك يعني ان نحن الاديئين اذا
 فعلنا فعل القرني في رضى الله كنا مقربين منه كالملايكه بالتقديس
 لاننا صرنا كمسيه شرايفه وقوله ولتاتي ملكوتك معلوم ان لفظت
 الملكوت قد سبقوا الايضاح انها تقع على معاني مختلفة وقد بينت
 في مواضعها والمراد بها في هذا الموضع التي وعد بها الله ابراه
 واصفياء فقال ينبغي لكم ان تسالوه بان يوتىكم نعمت روح القدس
 لتخلصوا بها من فخاخ الشرير ومن البس انه اذا اخلصنا بتأييد

روح

روح القدس جزنا غير فاسدين في اجسامنا ولا مستحيلين في
 انفسنا في ملكوت السموات وصار لنا هاهنا اشتياق الى تلك
 العطيه فيزداد حرصنا على كمال الفضيله وقوله تكون مشيتك
 اي تكونوا مستعدين لفعل ما يوافق ارادتي وقوله كما في السماء وعلى الارض
 اي افرض علينا عنايتك حتي تستطيع ان تتعد من الردايل
 والادوار البدنيه وتكون شيرتنا نحن الارضيين كثيرت السمايين
 فنكون نكلمنا بتنا وضايرنا مخلصين في التقديس والتمجيد وقوله
 خبرنا غدا اعطيناه اليوم اراد بهذا ان يجدنا من طلب الغنا وان
 لا نسله في تزوده ولا نغير ما يتعلق بالغنايات اصلا شوي سا
 نضطر اليه لقوام الجسد لان شركتنا مع بقيت العالم في البشريه
 ما منا في هذا العالم والخبر فلا شك ان الاجسام الناسيه شديد
 لحاجه اليه لخالقنا ما يتخلل منها وفي قوله لخبر ولم يقل شيئا
 غيره ما يحتاجه الجسد اي انكر لا تبسطوا في الشهوات البدنيه
 حتي لا يضطروا ودوا لفاقه التي تكليف لخرم الخبر وان تكون

ت

هذه الدعوة عامه للغنيا والفقرا فتحن اذا شئنا شئنا صالحا
بمقتضى الشريعة او تبنا جميع محتاجه لقوام اجتماعنا ومعنى
قوله غدا اعطيناه اليوم اي لا يكون نسعى في طلب الزايدات
اللا بمقدار الحاجة حثب وما زاد عن الحاجة للخير فيه ويكون
شئنا بالاكتر مما يخص بالنفس وانا نقابضها بالاعمال المرضية
ومعنى قوله اعطيناه اليوم يعلمنا ان لا نشغل افكارنا بما يحتاج
اليه في المستقبل فان اتقوا السعي الكثر مما تدعوا الحاجة اليه فيوجد
منه مقدار الحاجة ويعطي ما يفضل للمساكين وهذا ينزلت لا
تهتموا بما يحتاج اليه للغد وقوله واغفر لنا ما يجب علينا كما نحن
نغفر لمننا عليه ولا ندخلنا التجارب بل نجينا من الشرير لان
لك الملك والقدر والمجد الى الابد امين فمعنى قوله واغفر لنا ما يجب
علينا فهو يعلمنا التواضع بتدكار ذنوبنا ووزالتنا ويكتنا على
ادمان الاستغفار مما قد جنيته لاننا مضطرون الى السؤال
في طلب المغفرة من اجل ان طريق الناس كثرت شهواتهم
ولختلفاها لكثرت الزلزل فحن اذا كنا مجتهدين وعيننا
بالفضيله

بالفضيله واخر زناها قديما ان نشرق من قلبت تحزننا والتواني
والغفلة والالها لما امرنا به ومعنى قوله كما نحن نغفر لمننا عليه ولا
ندخلنا التجارب اراد ايضا ان يبيننا على ترك الحقد
والانتقام وان يكون غفراننا لمن جئنا شيا الى عطيته ما
نلقسه من اجل ان مثلتنا في المغفرة ما هي خاليه من شرط لاننا
شرطنا على انفسنا الغفران بعضنا بعض فالمراد بهذا القول
الصغح من من شئنا لنا فادافعلنا هذا وجبت لنا الداله ان
نناجي الله بوجه مشفوع ونطلب منه المغفرة بالعدل ومعنى
قوله لان دخلنا التجارب يدك على كثرت ما يعرض لنا ما تبلي به
في مشاركتنا للعالم من غواض الزمان ومكايد الشيطان فعلمنا
ان نسل الله في السلاعه والفرج من الامر من اي غواض الزمان ومكايد
الحيث لان ضعف بشرتنا ظاهر ولربما وقعنا في شدايد لا نصبر
عليها فيجب علينا ان نشتد شاهدنا من قد حصل فيها ان نترحم عليه
ونستعين بالله في ان نعوذنا منها ونسأله ان يخلصنا برحمته
من الوقوع فيها فاما اذا حصلنا فيها ينبغي لنا ان نصبر

الصبر الحكيم ونسلك الامور الى الله كي نفوز كما فاز ايوب وغيرهما معني
قوله لكن نجينا من الشرير فلفظة الشرير هي الشر ايها الشيطان وشرنا
في النجاء منه اي لا تقبلنا حتي يطغينا باور الطبيعة او ميلنا الي
شعوات نسلها فننفع في اعمال ديمه واما الي حيث العجز عند الوقوع
في الشدايد فيحسن بنا ان نتأمل حسن هذه النظام الذي نظمت به
وصايا هذه الصلاه وعدد وصاياها عشرة منها ما يتعلق بمنفعة
النفس ورحمة ومنها ما يتعلق بمنفعة الابدان فحسن فالاولي هي
ان تقبل وحيه الله وتدعوه لنا ابا لنرفع بها الامور الشيطانيه
عنا ونزداد محبة الله ونوق أنفسنا الي الانصاف والتأني
هي ان نجذب افكارنا عما علي الارض ويكون قصدنا ما هو في السما فقط
والثانيه فمثل الملايكه في التدبير والتجديد والرابع هي ان تكون
صلواتنا وابتنائها علي رجا صادق كي تدر لنا عنايه روح القدس
فتوصلنا الي ما هو عدل البار والاصفياء والخامس هي ان نكون
مستعدين لابعاد الرذائل عنا ونسير بسيرت الروحانيين
والسادسه ان لا نشرق في طلبتنا ما ينبغي لقوام الاجسام وان
يكون

٢١
١٢٤
تكون طلبتنا علي قدر كفافنا والسابعه هي ان نطلب مغفرت ذنوبنا
وما اجرنا به بشهوتنا لكيوانيه التي نحن مضطرب الي طلبت
تحصيلها عنا والثامنه هي ان نسلك لبيل الذي امرنا به لتكون
دالتنا واجبه في طلب الفقران عدلا والتاسعه هي ان نتعز اعند
وقوعنا في الشدايد الصديقين الذين اصابوا في اجسادهم واجابهم
واموالهم وصبروا شاكرين لله بقلوب نقيه والعاشره هي ان نتضرع
حتي لا نخل تنفع في مصيدت الخبث ومن بعد هذه الوصايا امرنا ان
نقول لك الملك والقوه والمجد الي الابد امين يعني بذلك ان نسأل
من اجل ان لك ملك تعطينا ملكوت السموات ومن اجل ذلك تعطينا
قوت روح القدس التي تود بنا وتعوي املنا ورجاءنا بوال النعيم
الابدي لمعد جميع الخيرات ومن اجل ان لك مجد فخر نجلدك علي
خيراتك التي اشبعتمنا علينا برحمتك لانها عظيمه جدا تتجاوز
قدر طبيعتنا واما قوله فان غفر لنا خطايانا فغفر لكرابوكم
السماي خطاياكم وان لم تغفروا للناس شيئا فغفروا لنا
شيئا تتركه غني هذا القول زياده في التاكيد علي ان لا نلخذ علي المسكين

الياء وان لا يدخلنا الشك في مغفرة الله لنا اذ اخرجنا بعضنا
 لبعض ثم لا شك ايضا في عقاب الله لنا على خطايانا اذ لم نغفر لبعضنا
 بعضا واما قوله اذ اعتمر فلا تكونوا كالمرابين لا غفر يعقبسون وجوههم
 ويغيرونها ليظهروا للناس صيامهم الحق اقول لكم لقد اخذوا اجرهم
 وانت اذ اتعت فادهر رأسك وغسل وجهك ليلا يظهر للناس صيامك
 لكن لا يبيح عالم الشرب والاكل الذي يري الشرف عطيك عالنيه مغفوره انه
 من بعد تكليم اذ ذكره في امر الصلاة وان لا تكون رياء ما وان لا تنال
 ايضا فيما لا ينبغي اعقب ذلك الكلام في الصيام ومنعنا ايضا في هذا
 ان نفعله رياء لانه يحث في كل موضع ان تشارع انفسنا الي الغضبيله
 بالحقيقة وتكون نيتنا بعيدة من جميع الشرور وملائمة الخيرات
 وحفظ الوصايا يتبين ثابت لله وحده واما ذكر الصوم في هذا
 الموضع ليس المراد بصيام الفرض الذي يتساوى فيه كافة المؤمنين
 وذلك لانه مشهور وانما هذه الوصية متعلقة بالصيام الذي يتبرع
 به الانسان بنفسه اما ان يزيد في صيام الفرض بصيام يومين
 يومين واكثر منها واما ان يصوم في زمان غير المأمر وللشاي ان
 يقول ما الغايه بصوم يزيد عن الفريضة فيقال ان نوايد النفس

بالصيام ظاهره فمنها ادلال الجبر حتى يدخل تحت حكم العقل ومنها
 ان حضرت اجمع تشراف تعاد الجوع ومنها التشبه بالاولين الذين
 صاموا برعا من تلقا نفوسهم وكان صيامهم شبا لقرهم من الله ومنها
 ان الموضع الذي اخرج منه ابونا ادم بعلته شهوت الاكل فباطل زاح
 هذه الشهوة ونزوات الصيام تبرعا للدخول في ذلك الموضع وما هو
 اشرف منه وفضيلة الصيام انه يمنع جمته من جميع اللذات البدنية
 وينع النفس ايضا من الضر وفيها رجا لغير الآخرة لان شهوات
 الجبر حافية لجميع الشرور وهي وجوده في جميع الحيوان الارضي فمنها
 طلب لذات الجسد حوائط الظاهر وهي لذت البصر ولذات الودق
 ولذات الثمر ولذات المس ولذات التمتع ومنها طلب المتعاطف وهي
 اتيار الغلبة واتيثار الكبرياء واتيثار الانتقام واتيثار الشره وما اشبه
 ذلك وليس الفرض في هذه الوصية ان يكون صيام الانسان اذا
 صام لا يكون صيامه من اجل هذا ومعني ادهن رأسك يدلنا ان رأس
 النفس هو العقل واما الدهن الذي به تدهن العقل فهو الايمان
 المحبة الواضحة السداجة العفة ونظاير ذلك فاذا تزين العقل
 بهذه الفضائل استقر على مرتبته وبعدت منه الطبايش

التي هي امر الدلائل ومعنى اغسل وجهك يدك علي ان الشيء اذا غسل
تنطق من جميع الاشياء والوجه فهو مجمع الحواس الخمس التي ذكرت
بدياً لانهم موجودات فيه والمراد بهذا اللفظ تنظيم الحواس
من دنس الشهوات بتقوي الله ورجاء القيامة وهيبة يوم الدين والفرق
بين يدك الملك العظيم امام الملائكة والانبياء والشهداء والقديسين
واما قوله لا تكسروا لكم كنوزاً في الارض حيث الاكله والسوء فيفسد
والسارقون يتحايون فيسرقون الكنز والكنز في السماء حيث لا
اكله ولا سوء فيفسد ولا ينقب السارقون فيسرقون لان حيث تكون
كنوزكم هناك تكون قلوبكم المعنا في هذا والمراد به ان تكون مستعدين
لارتقاء درجة الفضائل بغير عائق لان بها كانت محبت المال تفوق
اناساً كثيراً عن عبادات الله وعن الشئ في رضاه لطلب الفضيلة
فاننت لنا هذه الموعظة في وقتها بان لا نغني بأموالنا هذه الدنيا ولا
نحرم علي جمع المال لان الوصية تقدمه بان لا نضر بأحد واذ
نحن نشتي اننا نضر بحتله ونضيره ومع هذا ان يكون من شأنا
عمل الحسنات فهذا الوصايا لا يمكن ان يشغل اقتضاها الا لمن قد
ازدري بحال هذا الدنيا ورفض غناها وجعل اجتماعه فيها فيما

به تعظم الدخاير الثموية وقد تبين هذا القياس الصادق ان دخيرت
الدنيا كثيرت الافات وهي منصوبة مثل الهدف لما يحصها ويفسدها
ويغصبها فاما دخيرت السماء فهي مصونة ماؤنة لا شيء فيها يفسد
ولا لها من هلكاء ولا تكثر الاشرار عليها من شيل ولا غير ذلك من الافات
العارضة في هذه الدنيا ثم ينتظر ايضا كيف لم يقل في غنا هذه الدنيا
انا اذا امتنا لابر من تركه بل ذكر الاشياء التي ملاننا احياء تمسح
أموالنا ونحي ألباننا حتي نعلم ان ملك المال ليس لنا هو بصحة
في حياتنا فاعشاه ان يكون شئ في مائتنا واراد هذا جميعه ان تكون
نياتنا وضمائرنا خالية من الاوكار في غنا هذه الدنيا لان الذي
يقترط بالحوص في سبب من الاسباب يكون عناية قلبه متعلقه
بدلك اضطرابا لكثير الاهتمام قريباً من التلبات فذاك القلب يكون
بالضرورة ارضياً وأنه اذا كانت نياتنا وضمائرنا خالية من التعلق
بأموال الدنيا صارت مستعدة لقبول الفضائل الروحانية التي هانك
الكنز السماوي الذي لا يبسد فقلوبنا علي هذا الحكم تكون ثماوية
لا تحاله فان اتفق ان يكون لنا في هذه الدنيا غنا فلنا ان نضرفه
في وجه الله بالصدقة لاسعاف المساكين واقتقاد الفقري

ونؤمن منه الضعفاء والفرأوا المستجوبين فان هذا جميعه وأصل الى السيد
المسيح ومحرور في السموات كما قد قال وأما قوله شرأج لجسد العين
فان كانت عينك بشيطة فحسدك كله يكون ميتا وان كانت عينك شريرة
فحسدك كله يكون ظلما فاذا كان النور الذي فيك ظلما فالظلمة
ما هو ليس يستطيع الإنسان ان يعبد بيتين الا ان يحب الواحد ويرفض
الأخر ويستعمل الواحد ويحقر الآخر فلن نعلم ان يعبدوا الله والماء
المعني في ذلك انه كما ان العين هي شرأج الجسد كذلك النطق هو
شرأج النفس وهو الذي به نختار ما نشاء من أفعال الفضيلة ومن
أفعال الرذيلة وبشرت حياتنا بآله له اضطرار كما تتباع
الجسد ايضا العين فان اختار لجسد نفسه الفضائل المرضية لله
وتأق وأشتاق الى خيرات السما يجب ان يكون جميع عنايته نفسه
مجتهدة في تحصيلها وألفاظه لأجمل بحال له كرامتها وان يكون
أهتمامه بما اختاره غاية الاهتمام وأن هو اختار لنفسه خلق
ذلك لا بد ان يهتم بما يشاكله ويجد في الحزم على فعله فان ما لت
أنفسنا الى الشرور واختارها كيف يستطيع ان نعمل الحسنات
اذا شئنا خلا ذلك ومعني قوله ليس يستطيع انسان ان يعبد
بيتين

بيتين الا ان يبغض الواحد ويحب الآخر يدل على المنهكين في جمع المال
بأنهم لا يستطيعون ان يوفوا الله حتى خدمته لأخر ما يولون بغايتهم الى
الزيادة في الغنا وللشياطين يقول لهم سبي السيد المال يا فيقال قد
يعرفوا شئنا هذا اللفظ وكيف معناه لأن الامم الناس تشتوي عليهم
كالدياب كما يقال ان فلانا عبد لآخر وفلان متعبد للفضب اوله مان
اول شهوة من الشهوات لأن الانسان الذي يغلب من شهواته
ينقاد لها كأن قيادا العبد للمولي وقد يستطيع ان يبتغ نفسه من
ذلك لأن العدل بينه والتوسيع بينه والودع يشك كما ان المرو
ايضا لا يقدر يعني بالرب لان الأعمال متضادده وأما وضع هذا
الاسم في موضع من قبل الأعمال لان قبل الاستحسان ومعني قوله
الا انه يحب الواحد ويبغض الآخر لكنه لا يحاله لا يقدر ان
يستطيع بكل جهده ان يوزي الى كل واحد منها ودا متفقاً وكرامه
متساوية وذلك ان الذين يؤثرون لقنيتهم يتعبدون انفسهم في
تحصيلها وفي ضيانتها اكثر من تعبد لله الا ان الله عندهم
الله معبود في الحقيقة وتلك معبود جهوي الاثارة وما يلحق عنه
ويقال ان ابراهيم واسحق ويعقوب وايوب ومن جبرأئيل من

الأبرار الذين كانوا لهم غنا في هذه الدنيا وكانوا ذوي أموال كثيرة ولم يقصروا
 خدشهم في محبة الله ولا في رضاه فيقال إن الأمر هكذا كان إلا أن هؤلاء
 لم يتعبدوا في وقت من الأوقات لمقتنياهم بل كانت عندهم في رضا الله كلاً
 شيء وذاك أنهم كانوا يصرفونها في محبة بغير شغفه ولا حرص حتى إن قوماً
 منهم مع ذلك لكثرت أغنياءهم فحبت الله شحوا بأولادهم وأحبوا لهم الموت
 بفرح وابتهاج والسيد فما قال هذا إلا للذين الذين تكون لهم غير خلق
 شيرت ولايك وأما قوله فهذا أقول لكم لا تهتموا بقومكم ما تكونون أوما
 تشربونه ولا لأجسادكم ما تلبس اليك النفس أفضل من الطعام
 والجسد من اللباس انظروا إلى طيور السماء فما تأكل ولا تترع ولا تحصد ولا
 تخزن في الأهوا أو أبوك السماي لقوتها اليس أنتم بالحري أفضل منها
 من ذلك إذا أهملتمكنه ان يريد علي قائمته درعاً واحداً فلماذا تهتمون
 باللباس تأملوا سر الحقل كيف ينمو ولا يتعب ولا يعمل قد يبيغي لنا ان
 نفهم ان السيد من بعد ان يبين ان الشهوات وجميع المقتنيات تمنع
 من عباد الله ولأن تقطع الأسباب التي تمنع بها من يريد
 الفنا وأباحه ولم يدع لمحبها حاجة وذلك ان كثيراً من الناس

إذا عدلوا في الانكماش علي جمع المال احتجوا عن ذلك بقوت البدن ثم
 بكثرت العايلة والأولاد وان شغلهم وسعائهم وشغفهم لا يورثون ضرورة
 فقال لا تهتموا بالطعام والشراب ولا بالكنوز لأنكم تعلمون علماً يقيناً
 انكم إذا ارضيتكم الله لن يوزنكم ثري لا بد منه لأجل عناية الله بكم وللشيايل
 ان يقول لرحمكم لجسدك باللباس والنفس بالطعام والشراب إذا كانت
 النفس لا تقبل طعاماً ولا شراباً فيقال في ذلك ان إضافة اللباس
 للجسد فلاجل ان يكسوه ويستريحون به وليس يصل من ذلك إلى النفس
 شيء من هذا فاما تخصيص النفس بالطعام والشراب فذلك ان
 النفس الإنسانية لها تلك قوتي فالأولي منهن تعرف بالنباتية
 وفي التي بقوتها تنشوا الأبدان وتنمو أو تضعفها أيضاً تنفق الأبدان
 وتنحط وتبدل والثانية منهن تعرف بالحيوانية وهي التي بقوتها
 تتحرك الأجسام كحركة الآرادية مثل القيام والقعود وما أشبههما
 وبها يكون الإدراك الحيواني مثل إدراك البصر والشم والذوق والسمع واللمس
 فهاتان القوتان يشتركان فيهما ما بقيت الحيوان الغيرة ناطقة
 وهو الماشي والطيور والسباع وهما متولدتان عن امتزاج العنا
 التي خلق منها جميع الأجسام ويقبلان التغذية والاستحالة

للجلول لها عن امتزاج العناصر التي خلق منها جميع الاجسام . واما
 الثالثة تعرف بالنطقية العاقله وهي التي بقوتها يدرك الادراك
 العقلي مثل التمييز والتخيل ومعرفت المكان والزمان وكيف كانت
 الامور لما صيبت وكيف هي عليه في الحاضر وما يشبه ذلك وهي خارجة
 عن امتزاج العناصر وهي غير موجوده في شيء من الحيوان الذي تقدم
 ذكره انواعه الا انها موجوده في جميع الناس وذلك لان الحيوان الغير
 ناطق ليس لانفسهم شوي قوتين بنائيه وحيوانيه فاما الانسان فلنفسه
 ثلاثه قوي كما تقدم القول بديا وهي بنائيه وحيوانيه ونطقيه .
 فالنطقية هي ضياء للقوتين وتتحد بهما وهي غير مستحيله ولا منفعله
 ولا ما يتبه فلاجل ان الطعام والشراب هما اللذان يقيمان القوتين الذين
 هم مولدين عن امتزاج العناصر اعني البنائيه والحيوانيه اللتين هما
 تقدر لقوه النطقية تثبت في البدان فلذا السب الطعام
 والشراب للنفس ومعني قوله اليس النفس افضل من الطعام والجسد
 من اللباس ايمان الطيمه والاشربه والكساوي انما خلقوا بالمنفعه
 الانفس والاجساد حب فلا تشكوا في عناية الله بنا من البديق
 ولا في عنايته لان منفعتنا بما خلقه من لجناء ومعني قوله انظروا
 الي

الي طيور السماء يعني انه اذا كانت طيور السماء علي ذات قدرها ليست
 محتاجه الي شيء بل تقدر بلول تدبير المهتم بها . انما انتم مع تفصيلكم
 علي جميع المخلوقات التي تحت السماء يطوحكم الله حتي لا يغيب امركم
 ومعني قوله التي لا تروع ولا تحصد ولا تخزن في الهرا وأبوكم السماي
 يقوتها اليس انتم بالحري افضل منها . اراد بذلك اطراح الدنيا وان
 يكون شعبنا علي مقدار القوت حسب وان يكون استغناءنا بما يجدي
 نفعا لنفوسنا ونصرف اهتمامنا وعنايتنا الي امر الله كما فعل موسى
 في الجبل وابليا ويوحنا في الغفر واذا كان الله لا يجهل عنايتيه
 بالطيور وهي حقيره في جنس الحيوان ويصرف اليها عنايتيه
 فكر بالحري ان يفعل ذلك بالناس وقصد ايضا بذلك ان تسقط
 عنا كلفه الفكر في المقتنيات التي لالحاجه بها في الوقت الحاضر
 وينبغي ان نعلم ان هذه الوصيه لا تقتضي الامساك عن السعي لكن
 تقتضي امتساك عن القنيه والانشغال علي جمعا فاد اشعبنا
 في تحصيل القوت وجب علينا ان يكون تفكرنا بعد ذلك علي اعمال
 الفضيله المرصيه وما يفحص عنه وتيقا ان الطيور انما

خلقت وكيفت أرزاقها اللوا لا فكر لها ولا تميزه ثمران لها تصرف
 واسع فيما يحتاج إليه حسب رزقه وأما الإنسان من أجل الفكرة
 والتمييز فيما يأتي من الأمور التي لا بد منها لا يستقيم له أن يجري أمور
 يجري الطيور مع ضيقة تصرفه وذلك أن الطيور مع فراغ لما يحتاجه
 يقطع قطع مسافة سير الإنسان يومه كله في شلعه ولحده فيقال في
 ذلك ليس تعلم ونفهم أن نحن عند ولدنا لم نكن ذوي قلمه كاملة وكان تصرفنا
 حينئذ بعيداً عنا شئ من عبيد وأما نحن نشتاق نشوا القامة الكاملة
 والتصرف في طول الزمان ومن المكن أن يوجب علينا أن نغار في هذا شهر
 نتحقق أن الذي خلقنا وبرنا فيما نحتاجه حيث لم يبلغ مدي التصرف
 وكانت عنايته بنا تامة إلى أن نشونا وتربينا ثم تصرفنا فهو لا يقل
 عنا أيضاً فيما نحتاجه من الطعام والشراب واللباس إذ نحن
 قبلنا وصيت الله بنيه صادقة بغير شك ومعنى قوله من منكر إذا اهتم
 أمكنه أن ير يدعي قوامته دراعاً ولحده أراد بذلك أن تصرف
 اهتماماً ونفكر في عظمة القدر التي أخرجتنا من العدم إلى الوجود
 وبرنا بالهواء والنور من مقدار يسير إلى مقدار كبير وإن هذا الأمر
 تصف قد تنازع معرفته كيانه ولورنا يجهداً أن نصل إلى كونه
 معرفته

معرفته على حقيقته لجهلنا ذلك وعلى هذا النظام يجري أمره في
 زهر الحقل من أجل اختلاف رزقه وتباين الوانه وذلك أنه لو قيل إنما هو
 الفرق بين خضرت الهندباء وخضرت السلق أو ما هو الفرق بين حمر
 الورد وحمرة لجلنا لما قدرنا أن نوفي كل واحد من شجرته في الوصف
 والمراد بهذا القول أن الله تعالى وضع في خلقه شراً خفياً يغير الناس
 ونفهم عن أدراكه وقوله اقول لكم أن سليمان في جميع مجده لم يكن
 كواحدة منها فإذا كان زهر الحقل الذي يكون اليوم وفي الغد يلقي
 في التنوير يلبسه الله هكذا فيكم أنتم افضل من قليلي الإيمان فلا تهتوا
 وتقولوا ماداً ناكل وماداً نشرب وماداً نلبس وإنما هذا كله إنما تطلبه
 الأسم البرانية وإن أبوكم السماي له المراتب التي لا تحصى إلى هذه جميعها
 فاطلبوا أولاً ملكوت الله وبره وهذا كله تروا وادونه لا تهتوا
 للفردا لغد يهتر بشارته حسب يوم فيوم شره ومعنى هذا القول أن سليمان
 أعطاه ملكاً عظيماً ومعظم ملكه وجلالة قدره وفخر لباسه لم
 يقدر على لباس فيه جلالة جمال الأزهار ولا بهجة الوانها فاعتبروا
 بهذا أن عنايته الله فعلاً له لما يريد وإنما قد شملت الخشيش الذي نحن
 ينوق في التنوير باللباس البشري فكيف لا يشعلكم أنتم لعنايته بما نحتاجه

بما تحتاجونه من الباشرة وانتم قد عطيتم موهبة النبوة ولما اثبت لهم
هذا البرهان وبخبرهم وقال لهم يا قليلي الايمان ومعنى قوله فلا تهتموا وتقولوا
ماذا ناكل وماذا نشرب وماذا نلبس هذا كله نطلبه الاله البرانيه وابوكم
السماءوي يعلم انكم تحتاجون الي هذا باجمعه اطلبوا اولاً ملكوت الله وبره
وهذا كله تزدادونه المراد بهذا القول ان بعضنا قد سبق من تعليمه
اي انه لا يكون اهتمامكم لما يستأنف ولا يميل ايضا انفسكم الي جمع المال
والفناء لان الاله انما يجاهم كل من غناه هذا الدنيا وطيب طعامها ونشرها
وسائر لذاتها لان لا ياملون شيئا غير هذا الحياة ولا يترجون بعدها شيئا
فاما انتم فليس ينبغي لكم ان تفقدوا شيئا مما هو هاهنا الا الذي لا يدوم
للعقوت فقط وعنا كرامنا هو تحصيل الفضيله التي منها يوتي لكم
الحيرات السماويه وانكم متى احرزتم الفضيله انزددت على خيرات السماء
ما تحتاجونه في هذه الدنيا ومعنى قوله لا تهتموا للعقد فان العقد هتم
بثانته حجب يوم فيوم شره اراد بهذا انه ادكنت متيسرا في عقد فقد
استغنيت عن الكد فيه والدخول في المصاعب المشتقات الذي
تورطك في الشدايد من حمة الدنيا والآخرة وان فانك شي من قبل
ونيتك لاجل طاعتك لوصية الله فلا تندم علي فانك وان
وبخت

وان وبخت علي لك فلا ترد علي وبخك جواب التقاض عن عمل الفضيله
بل تعظه بان ارادت الله هي السب فيه فخطا عند الله بثلث كرامات
الاولي من اجل طاعتك لوصيته بوفيتك في طلب الزايد والثانيه
لا طر لحك ندمك علي ما فعله فانك والثالثه من اجل احتمالك للتوبيع
ولجابتك الحشنة عليه واد احققة الامور علمنا ان قدرتنا تضعف عن
تحصيل القوت بغير تعب شديد فاما جمع المال ان حصل لمن يعني
بجمعه فانه لا يجمعه الا بعد بلايا كثيرة واهوال هائلة فيجب
علينا ان نعلم ان التقا بالقلعير وجودة ونسقط بان كل يوم يكفيه
شره فلا نشعي ولا نحصر ولا نخر لما يستأنف في هذه الدنيا ونكتفي
شعينا في كمال الحاضر واما قوله لا ندينوا ليلانا دنوا لانه كما ندينوا
تدانون وبالكيل الذي تكيون يكال لكم لما داننظر القدي في اخيك
ولا تنظر بل خشبه التي في عينك وكيف تقول لا خيلد عني اخرج
القدي من عينك وفي عينك خشبه يا مراي اخرج خشبه من عينك
اولا وحينئذ تنظر فتخرج القدي من غير اخيك تريد نفهم
انه لما انتهي من التزهيد في الاهتمام بالزوه وجمع المال والتركيب
في ايشا حب الفضيله وعلم ان كثير من الناس يريدون المدح
الباطله فيتراوون ويتظاهرون ان لهم بالفضيله عنايه جريه

فيوهون لخرين بكثر الحق والكرد والتوبيخ علي من لم عليه سلطان.
وبما انزلوا بهم العقوبة بلا رحمة ولا شفقه عن ذنوب حقيرة او عن
ثني لا يستوجب الدم ولعل ان يكون لهولاي المراسين علي الحكم سلطان.
بل انهم من قبل انفسهم يفعلون في اقايعهم مثل ذلك اخذوا ان يامرهم
بان لا يسارعوا الي الجحرا العقوبة ليلا يجازون من الديان بمثلما فعلوا
بغيرهم لانهم بما فعلوا فقد حتموا علي انفسهم المجازاة بدينونة العدا
مثلما دانوا وعاقبوا. يعني ان انت عاقبت لمن لم يدين بباطلا كما
يعاقب المدين فان الديان سينزل بك العقاب الذي هو ان تدرك عقابك
فان انت صرمة علي الجحرا صرمة بلا رحمة فسوف تدق وحرارت الانتقام
من عندك لك الحكم العدا قال هذا القول للذين يراوون انهم يعاقبون
من اجل الحق والتوبة علي الخطايا وهم يجرون ويدبون ذنوبا عظيمة
ولم يظهروا في امر نفوسهم وكثرت اتاعتهم التي هي اضعاف ما يدينون
غيرهم عليها. اي انكم انما تفعلون هذا بالمرء وترون انكم تفسدون به
اخوانكم الي الخير والصلاح ولن يجوز ان تقولوا انكم تريدون لنفوسكم
لخير بل اذا كان ذلك كذلك اعنوا اولي الصلاح انفسكم واطهروا لعد
ما انتم عليه حتي يصدقوا انكم اهل الخير وحينئذ تفعلون هذا
واشباهه

واشباهه باخوانكم وذلك ان السيد لم يمنع الابار من دينونة الاشياء ولا
من الحكم عليهم ولا من توبيخهم لانه قال ان الخطا عليك اخوك
فاذهب وعاتبه وحدكما فان سمع منك فقد بحت اخاك وان لم يسمع
منك فخذ معه واحد او اثنين لان من فر شاهدين او ثلاثة تقوم كل كلمة
وان لم يسمع منهم فقل للبيعة وان لم يسمع من البيعة فيكون عندك
كوثي وعشار وبولص الرسول يقول في رسالته الثانية ليظمانا
تم بما انت فيه مجتهد في وقت ذلك وغير وقته ووخ ووب ويوحنا
المديني قد روي اليهود الذين اتوا اليه ليصطيقوا منه بقوله لهم
يا اولاد المكافاة منكم من الحرب وداك انه متى تسقط الحكم والادب
تسقط العدا والتناصف بين الناس لان المعني في ذلك قد تقسم
فانكم لا تدبوا وانتم خطاة لمن هو خا في مثلكم او اقل خطا منكم
حتي لا تقود الناس ان يدينوا بغير عدل لمن اصح منهم واحسن
طريقة وحتي لا يدين انسان احدا وليس له سلطان علي ذلك ومنع
من لا يستحق ان يحكم علي من لا يستحق ان يحكم عليه وقوله لا تقو
القدس لاجلك ولا تقوا جواهركم فدام اخنا نري ليدلا تدوسها
باجلها وترجع فتزمنكم فكم هذا بانه لما فرغ من ذكوا الذين يعاقبون

لنؤمن على الدقائق والحناير وما لربنا من الله بالعظمة والافتخار واقتل
بيد اصحاب الذنوب اي لا تظنوا اي رخصة لاهل الشر الذين علمات
شرهم وخبثهم ظاهر بقولهم لا تدنوا اليلا تدنوا فيحكمكم ولا على ان تظنوا
ان المجرمون يبقون بلا نادم في هذه الدنيا من الحكام الذي سلطانهم
عليهم برتبة الكهوت افعوا اولاً اي قد دعيتكم كل اياً ليحكم عليكم
منع القديس الذي هو الشوط الروحانية والقران المقدس فيكم فيكم في
هذه الدنيا كونهم دعيوا كل اياً ممنوعين من القديس وانهم ان يقبلوا الي
التوبة وما تواتر بخطاياهم فمما ادينا قول اي العقاب الدائم ونا رجمتم
ومعني قوله لا تلقوا اجراهم قدام الحناير اي ان الحناير يريدونه وتطلبه
من بنحو انها بتقليبها في الاوساخ الظمئة فانه ان جعل قدامها اجراهم
حتى تدوسها اكتسبها من اوساخها ضرورة مثل الاراطعة الذين
يضادون الحق بكبرهم والافهم اذا وعظوا بالكلام المقدس وسمعوا معانيه
المستقيمة قلبوه لاقامة هو اثمهم والي ما يوافق اغراضهم واهربتهم الرديـ
ثم يرون على قايها بقتل قلوبهم اقبح الرد قصدا في احادته عن
الطريق المستقيمة فيدشون كلام الحق بمعانيهم الخبيثه ويغفون
المستقيمين في الحق الميلان الي الباطل وقوله شاو اتعظوا اطلبوا
تجدوا افرغوا يفتح لكم لان كل من يطلب يجدون مثال لبطا ومن فرغ
يفتح

يفتح له اي نشان من ريشاله ابنه خيرا فيعطيه حجرا او ريشاله ثمة فيعطيه
حياة فاد اكنتم واتم اشراذ تعرفون اعطى الكلمات الصالحة لانيكم فكر
بحري اكلر الثمار يعطي الخيرات للذين يمشون معني السوا والطلبه
هاهنا ينعتم الي قسيتين فالاول منهما ان يكون اذا استجبت علينا الامور
التي لا يمكن الاستدلال عليها بآثارها فان الله اظهرها في قلوبنا
فانه لا محاله يعطينا الهداية حتي نقول كنه الحق المضي لان مثلنا اياه
عن الذي لا ندركه عقولنا خيرا النام ان نجزم من قبل انفسنا ونقدم
بجعل علي فخاخ مخفية فننفع فيها ونعاقب عليها والثاني منهما ان
تكون مثلنا وطلبنا الله بلا فتور في طلبه قد اعده لبارك فاذا نحن
توسلنا وعصنا شوا لنا باعنا وصيته اعطينا مطلوبنا وافيض علينا النعمه
التي تو هلتنا بان ندعنا بنبينا وقد استعمل البرهان في اقناعنا بانه متي سالناه
اعطينا ومتي طلبنا وجدنا ومعني قوله افرغوا يفتح لكم افرغها هاهنا هو
رحمت الصغار المساكين الموهوبين في الشايد اي انكم اذا اكنتم رجا ورفق
لا تدون من ابواب الخيرات وتجدوها مفتوحه امامكم وقد افنعنا بقوله
من فرغ يفتح له فاذا نحن اذا سالنا ابناونا ان يعطينهم ما نملكه من خيرات
هذه الدنيا فلا يملنا ان نعطيهم شيئا يضره فالله تعالى كريمه وفضله شأ

فخلقنا وقد جعلنا في منزلنا البين فكيف ان شأنا به يوصي بالحق فأصل
وينايت مخلصه صادقة برادتنا او يصرفنا والناومعني قوله انتم
الاشرازي ان من الناس من هو شرير ويفعل الشر ويكثر الى ولده بل ويا مروه
علي نفسه بالخير فاما الله عز ذكره فليس عنده شره لانه ينبوع الخير ولا
يبدل يعطاه علي من يشاء وقوله وكلما تريدون ان تفعله الناس بكم افعلوه
انتم هم هذا هو الناموس والانبيا اراد بهذا القول وصيه بولده بان تكونوا اخركم
واقاربكم كما تحبون ان يكونوا هم لكم لان وصايا موسى ونعاليهم البين محضه
محدده في هذا المعنى وان الذي استكره هو حملت كالناموس وقوله
ادخلوا في الباب الضيق فواسع هو الباب ورجبه في الطريق المودبه الي
الهدا وكثير من الناس يكون فيها ماضيا الضيق الباب واكرب الطريق المودبه الي
الحياه وقيل لاهل الدين يجدونها بحج علينا ان نتبصر ونصرف فله عقولنا
في مشاكت هذا القول بما قبله لان السيد لما سنن تحتاج في حفظها
الى عنا وتكليف وتعب ومشقة ثم غم شديد قال هذا القول ومناه اني
عارف بان الفضيله مملوه تعباً والطريق اليها شاقه وانها ليس تحصل علي
كل احد كما لها فانا نخبركم بافتناع انه خير لكم ان تحموا مثل ذلك لغنا
اللانهم لا كما وصايا علي جبال التواب واجرا العجب وما قد عذمت به
من الحياه الدليه ونعيم الخيرات الخالده من ان تختاروا الراحة والدرعا
هاهنا

هاهنا فتصبرون لا تفكر شياً للشر والخطير والعقوبه الشديده اي ان
ادعوا كل احد الي الفضيله ومع اني عارف بعناها ومشقتها وقبلة من
يقصد تحصيلها واخراجها ولم يفرق بذلك لم الكفر عن الوعد لكل احد ولا
عن الامر المستقيم بالمسير فيها الا ان شفق علي الدين لا يرون بكافي ذلك
ان الباب الضيق هو حفظ الوصايا وقطع الانسان لهواه التي تاتي منه
الخساره والباب الواسع هو التمتع بخيرات هذه الدنيا وشهواتها ولذاتها
والتمادي علي الاهويه التي لا ياتي للنفوس فيها ربح ولا فائده وقوله ادخلوا
من الانبياء الكذبة الذين ياتونكم بلبس الخوفان وباطنهم رباب خاطفه
ومن غارهم تعرفونهم المراد بهذا القول من اجل انه قديين لنا ما فعله يعرف لنا
من المشقات والاعقاب في احوال الفضيله تقدم الوصيه بان يكون علي
حد من الانقياد الي الدين يتضعون ويتشككون بشكل الحق ومثل
اهل العقه والديانه الصحيحه تصد في اطلاق الناس بالمكر والخداع
ليلا ينسقط من حيث لا تعلم لان المجتهدين في احوال الفضيله وقبيلتها
يسوقه اجتهاده الي طلب العلم ومكافئه المبررات وقوله من ثارهم فاعرفوهم
اراد ان تكون مع قناتنا بعل البروان نجو الالهتام بالتعاقد من الذين
يعلمون خلاف الحق وهم يترقبون بردي المحققين وانما لهم اعمال المخالفين
فمن اعلمهم ونعاليهم تعرفونهم وقوله هل يجني عنب من شوكه

او جنتي تين من القيق هلكي كل شجرة صالحة تخرج ثمره صالحة والشجر
 الرديه تخرج ثمره رديه ولا تقدر شجرة صالحة تخرج ثمره رديه ولا شجرة
 رديه تخرج ثمره جيده وكل شجرة لا تصنع ثمره جيده تستقطع وتلقي
 في النار فمن ثمر ثمر فغير المراد بقوله هذا اي اهل بوا من المنافقين والبقع
 من الخاطيه هم ولوا يسموهم بحمل الابار والذين لا يعلمون من كتب الله
 فلا ناسواهم البته فانه لا يجوز ان نسمع الكلام الصالح من الرويا
 السوء كما انه لا يمكن الرويه لخبر ان يورد علم سوء فكان شايئ شال
 ويقول اذا كان الرويا الخير بحمل الابار وهو يعلم من كلام الله وكان
 الرويا السوء ماله في ذلك ايضا فليكن الاستطاعة في الفرق بينهما
 لان الدليل هاهنا معطل والبرهان غير موجود فيقال من ثمارهم
 تعرفونهم اي ان الاشرار يصنعوا شيمه الخير ويعلموا النعالم والآيقه
 بدين الله وتقواه ليظنوا الاخيار بخلافهم ومكرهم فليشككهم البتات
 علي ما هو عليه لئلا يتفطل ما لهم ويحجب رجاهم فهم يحتاجون
 بالضرورة الى الجا قصدهم باظهار ما كتموه من امرهم حتي يجدوا السبل
 الي بوع اغراضهم لان الذين يعلمون دين الله بالتصنع وهم مضرون
 بخلاف تعليمهم فيفتضحون لاحكامه من اجل ان عقايدهم ثابتة في قلوبهم
 فلا

فلا يمكنهم تركها. ويحتاجون الى تعاليم تفضدها وتقويها حينئذ ينتقص
 كلامهم الاول بالآخر لانه غير ممكن ان يستقيم كلام الباطل بكلام الحق
 في حال الوجود واد كان الامر علي مثل هذا لم يعرفون ضرورة من لختيار
 شيرهم وتناقض كلامهم وكما ان الذي يحكم معرفة الاشجار وانواعها
 لا يمكنه ان يعرف طبيعتها من حيثها الا انه يبصر جميعها بمنزله واحد
 فاداما هو اخبر ثمارها بالذوق والشر حينئذ يعرف الطيب فيشتاق
 اليه وحينئذ يشناسا لخبث وهلكي الاخيار والاشرا يخبرون من
 افعالهم وكلامهم وكما ان الشجرة التي لا تثمر ثمره صالحة تستقطع
 وتلقي في النار كذلك الذي لا يكون فيه ثمر التقوي والذي يعلم النعالم
 المستقيمة ولا يمكنه ان يدرك تعاليمه ينزل به الله العقوبات الملايمه
 لصغيره وافعاله وقوله ليس كل من يقول لي يا رب يا رب يدخل ملكوت
 السموات لكن الذي يعمل ارادت ابي الذي في السموات ان كثيرين
 القائلون لي في ذلك اليوم يا رب يا رب ليس يا ربك تبنانا وباتمك اخراجنا
 الشياطين وباتمك صنعنا قوي كثير حينئذ اظهر لهم اي ما عر
 قضا اذهبوا عن يافاعلي الامر اذ بهذا القول تاكيد الوصيه
 السابقه التحذير من الاقتراب من معلمي الشؤ وان لا نضل في

اثرهم من قبل الايات التي يصنعونها بل يختبرهم بالقياس المحقق من كنت
تدبيرهم وحقيقة كلامهم لان اولايك الدين كانوا على خلاف الحق في
الايام التي كان السيد فيها مع التلاميذ يعلمون قد كانوا يصنعون ايات كثيرة
ومجرات وبراهين على نزع تعليم المسيح بملكيت الشيطان لم يعمل البشره
ولذلك الذين اتوا بعدهم لاي في ايام الرسل ايضا مثل يشعون وماييد ووش
وغيرها وصنعوا البجايت ثم امنوا بالمسيح وعادوا اليكم هم اي انكم لا تحبون
ان يخرجتم عن الواجب بخلافه فاقبلت حجتكم لاي قد ميت لكم الذي تحتاجون
اليه وتعلمون يقينا ان اوليك جميعهم مع اقاربهم با نجي بطواثرهم من اصحاب
الغضب لان اصحاب الرضا وقوله كل من يسمع كلامي هذا ويعمل به انبشبه
برجل عاقل بنا بنيه على الصخره فنزل المطر وجرت الانهار وهبت الارياح
وصدمه ذلك البيت فلم يسقط لان اساسه كان اتينا على الصخره وكل من
يسمع اقوال هذه ولا يعمل بها انبشبه برجل جاهل بنا بنيه على الرمل
فغطت الامطار وجرت الانهار وهبت الارياح وصدمه ذلك البيت
ثم تسقط وكان سقوطه عظيما اراد بهذا المثل ان يعقل بين الذي
يثبت على الايمان به وبين الذي يتقل عنه بالاسباب الحادثه مثل هودا
الاشخريوطي وراي بعده من الاطاعه فالذي ثبت على الايمان به
وعمل

وعمل الوصايا ولم يتبعوا عدم علم الحق لان اجل غنا هذه الدنيا ولان اجل مجد
العالم ومدهه الناس ولان اجل رايته يتب فيها او يوصل اليها ولا ايضا
من ضمير الشايدو والبلايا ولان اجل لبس اخر شبه ذلك هو شبه الرجل الكافر
الذي بنا بنيه على الصخره ونزل اعماله الصالحه وصديقينه بغير الحق
لم يتغير ولم يتزعزع بشي من الافات المختلفه انواعها واما الذي يكذب
نفسه بعد علمه بالحق فان اعماله تكون ضعيفه لاحاله ان يكون ملكيت
الشيطان سريع الانتقال لا يابضاد الحق هو ايضا يشبه الرجل
الجاهل الذي يقيم بيت على الرمل ومن اجل تكديسه الحق يسقط في جميع
الردايل من ادني سبب ثمربه ومعني قوله وكان سقوطه عظيما اي ان
ذلك الانسان قد سمع كلماتي وعملها ولم يعملها وترك الفضائل وتبع
الردايل واستمر في هواه الردي ولم يرجع عنه الي اعلمه من الحق ليكون
في يوم الدين بلا حجة ومن اجل هذا يعاقب عقابا شديدا وقوله وكان
لما اكمل يسوع هذا الكلام كله بهت جمع من تعليمه لان كان يعلمهم
كم له سلطان وليس مثل كتابه ولجبارهم المعنا في هذا ان الكتاب
الذين كانوا يعلمون في مجامع بني اسرائيل انما كانوا يفسرون ما لم يصمونه
وكانوا اذا فسروا الكلام الناموس يحتاجون في كل موضع ان يعضدوا

ما يقولونه بشواهد من الانبياء حتى يقبل وكانوا المحصورين مثل العبيد
 المأسورين. واما السيد فكان يعلم بسلطان نفسه ويضع المتن التي
 لا تحتاج شيا من الحقيقة ولا تنقصها بل تعلمها لانه كان يقول قديلا
 كذلك انا اقول لكم ان تصنعوا كذلك فيدلكم بحد انه بسلطان ربوتيه
 واضع الشئ الحقيقي وهو ايضا مكملا بما شئ في الحديث له المجد دائما
 يوحنا فليدع بفسر اول الاصحاح السادس الذي تقدم غيره بديا
 وهو فلما راي الجمع يبعث اليه لاجل ما جئنا اليه تلاميذه
 قال ارادها هنا ان يعلمنا ان نضرب من لميت ليجعل ولا نظهر للناس الذين
 يكرهون لتعليم بسبب الافتخار والحب ففتح فاه وبدا يعلمهم وهو يقول
 طوبى للمساكين بالروح فان لهم ملكوت السموات ان المساكين بالروح هاهنا
 يعني المتواضعين والمتخفيين يعلوهم ان يرفعوا من اسفل ان
 المساكين بالروح هم مساكين من الاموال والشهوات الرديئة التي
 للاولاح النجسة وهم الاعيان في كل زمان بالاعمال الروحانية التي رضي
 الله والمساكين ايضا بالروح الذين هم باعوا قلوبهم ودفعوها في الصدقة
 وحملوا صليبهم وتبعوا السيد يسوع ففسر لبيبا المساكين من
 من الذهب الفضة هم الذين ملأوا لكن المتواضعين يعلوهم لان مياثر كثير

لهم من الذهب الفضة وهم متواضعين يعلوهم وكثيرون فقرا يشتهون
 الاموال فحاصلوا متعويين من الشهوات ممنوعين من المدح فان كان
 فقرا او غنيا ويكون متواضعا في قلبه ولا يجازي الشربا لشر ولا اللعن
 باللعن ذلك هو المستحق للمدح بالحقيقة طوبى للكر انا فاعز يرفعون
 ساويرس يفسر ايضا ان يدعوا الذين يضبطون نفوسهم من الافعال
 العالمية خزانة لان كل خزين من اجل الله وليس يحب القلب ولا من اجل
 تخلاف بالحقة في امر هذا العالم وايضا ليس الذين يحزنون على نوم الذي
 يفعلها فقط ولكن على اعمال الصداق الذي في الخطايا وهم غربا من كل
 افعال هذا العالم وهم خزانة تراهم لا يظهر انهم خزانة ايضا امام
 الناس طوبى للمتواضعين فاعز يرفعون الارض ساويرس يفسر ايضا
 ان المتواضعين الذين خدوا كل مكر وكل زغل دي من اجل ملكوت الله
 وليس هم تجال في طبيعتهم والمتواضعين فهم الذين يصططعون المعروف
 والكبر موضع الشربة مثل يوحنا داود والمتواضعين ايضا هم الذين
 لا يدعون في الفضة في وقت ضيق الصدرة وهم الذين يرفعون
 الارض انا الارض التي اعني كاهي الارض الجديدة والسماء الجديدة اللتين
 ينتظرهما في الاخوة اي ارض الفردوس وجنة النعمة طوبى للجميع

والعطاش الى البر فامر يشبعون فيرفق يفرق قال هو لاي الدين
يشتهون الشئ ويمتنعون منه ويجهدون نفوسهم في عمل الخير ولا
يرجعون الى اوارهم البتة ولا يتعلقون في وقت من الزمان الى الشهوات
لجسدانية بل شهواتهم في كل زمان ذكرهم الفرح الذي لا فناء له ويتبعون
المسيح قلب متواضع وروح منخفظ ها ولاي هم الدين يشبعون من اخيرات
التي لا تراها عيني ولا تسمع بها اذن ولم تحط على قلب بشر طوبى للرجسا
فامر يرحون يوحنا في الذهب يفرق الذين لهم قلب رحوم ولحم متحنه
على كل انسان مضطهد وللمؤمن ايضا وليس يعني الذين يعطون او لهم فقط
للمساكين لا يعني بذلك افعال الرحمة الكثيره ليرفق يفرق ان الرحومين
يكونون متشبهين بالله في يوم الدينونة والذين يشترون على دنوب
لخوفهم ويبالون الله في كل حين من اجلهم ليفرقهم اكيمنذ ان يفرق ان
الرجا يشترى الذين يفعلون اخيرات فقط ولكن يشتهون ايضا فضل
الخير وليس علمهم ان يرحوا بفضيت دهبها ولا فضة لخدمة انسان
عليلا او قيام بشيكن او قيام المضطهدين لان كثيرين من المساكين
ليس علمهم ان يفعلوا شي لان ليس لهم شيء يصنعون به رحمة ظاهرة
ولكنهم يشتهون ان يرحموا اخوتهم وشركاء اعضاءهم فلا يصالحون فان
الله

الله يحب ذلك لرحمة طوبى للنفية قلوبهم فامر يعاينون الله فيرفق
يفرق ان النفية قلوبهم هم الدين اكلوا مشية الله كلها ووصيته بحسن تدبيرهم
وهم مخلصون بالامانه المراتكسية ويحتمدون كل الاجتهاد تحت
يقتر بواين الفضائل والامانه المراتكسية الذي لم يتغير تغييرهم في
شي من الاحوال المتضاده سوي الفضائل هو لاي هم الدين يعاينون الله
بالحقيقة طوبى ايضا في الملامه فامر سيدعون بني الله في وورش
يفرق الذين هم متفقون ومختلفون ومع كل واحد يصالحون بالسلامة
بين الاعلاء وليس هو لافقط المصطلحين ولكن الذين يعملون الخير
ويوحيون للمدنيين حتى يستقيموا ويجعلوا هم مصطلحين مع الله
وهو لاي افضل ان يدعو مصطلحين الدين او كاره طاهره
في كل احد الذين لا يكون الشتم تقيب على غضبهم ها ولاي
بالحقيقة الذين يدعون ابنا الله طوبى للمضطهدين من اجل
الحق لان لهم ملكوت السموات اكيمنذ ان يقول حينئذ تكون
هذه الطوبى اذا احتملوا الذين يضطهدونهم لان محنة تحل
بالانسان يكون ذلك سبب وطريق الى الطوبى وافضل من ذلك اذا
هم صبروا على المحنة بشكر ويتمادوا لرحمة ونقا النفس بالبر طوبى لكم

اذ اطردوا وعبروا وكم وقالوا فيكم كل كلمة شو كاديين من اجلي افرحوا
وتصلوا فان اجركم عظيم في السموات يوحنا ثم ذهب يفسر يدعو
مسيحيين قائلين كل من اكل لحم واكل لعنة وكل من شرب من
الناس من اجل الله فقط ولكن من اجل الاعمال في هذا العالم خبيثا
يصيرون عليها المومنين فانهم ياخذون اجر عظيم وفصل ذلك في
السماء انتم ملح الارض لكن يفسر يدعوهم على الكنيسته ملح لانه
يلحون الكلام الروحاني الذي يعلمون به ويقولونه للناس من اجل
ان العالم كانوا متاثرين دوليين في الشهوات الجسدانيه فذلك سماحوه
القدسيين ومعلمي الكنيسته ملح ليلحقوا الاعضاء التي نتنت وفسدت
بالخطيه ليصلحوها ويردوها بكلامهم وتعاليمهم وليس هو لا دعوا
فقط ملح ولكن سماحوهم نور العالم لان المشاونه كلها كانت ظلمه
من اجل ظلاله عبادات الموتان فلهذا دعاهم نور ليضوا علينا نحن
لجأوس في الظلمه وظلال الموت فادافسدا الملح عماد ايم ملح
كبر لفسر الذي معناه اذا كان المعلم ناقصا في تعاليمه اكثر من
التعليم من هو الذي ينجيه حتى تستقيم افعاله ولكن ما يقدر احد
على هذا دون ان يطرده وتشي عليه الناس ايجمل الذي هذا معناه
ان

ان المعلم منته يدلون الكثر منه ويكون مفضوا مقنونا قدام كل احدا
وتشي عليه كل احدا لانهم قد طرحوه الي الحكم ولا يستطيع مدينه
تخفي وهي موضوعه على جبل عال ولا يوقد شراج فيترك تحت ملكا ولكن
يوضع على المناره ليضي لكل من في البيت شاويرون في الشراج قوام الكلام
المقدس الذي للمعلمين والمكيال فيهم المضادون والمناره في البيعه واما
البيت فهو العالم اراد ان ينظر الي التعاليم المقدسه التي لا يابنا القديسين
معلمي البيعه والي كلام المخالفين والمجدفين وخرجه من الكنيسته
ليتوبوا الناس كلفم الدين في العالم قد ابتدئ الانجيلي وقال يا يستطيع
ان تخفي مدينه وهي على جبل الذي هو هذا غير مستطاع ان تخفي وصايا
المومنين الذين هم على اجمل المقدس وعلا تعاليمهم الروحانيه قريه
يفسر الدين ثم تتوحيق في الامانه الالهيه ما ينبغي لهم ان يخفوا
كلام التعاليم المقدسه خوفا من الناس ولا ايضا من عقوبه الاراطه
المدينه في الامانه المقدسه العاليه في التعاليم الالهيه والشراج هويه
روح القدس التي تنير في كل زمان في البيعه هكذا قال فلست تبرر اعمالكم
قدام الناس ليشاهدوا افعالكم الحسنه المستقيمه وتجدوا بالكر الذي
في السموات يريد ان الله الكلمة ان تنير مصاصيح امانكم التي

بالفضائل قدام الناس كلهم بهذا يجدوا الله فينا اذا نحن اظهرنا الافراد
بالامانة المستقيمة والاعمال المرضية لانظنوا اني جيت لانقص
الناسوس والانياس لمرات لانقصها بل لانكلمها شاو برسر غير ان تمام الناس
هو المسيح كما قال اولس الرسول الحق اقول لكم ان السماء والارض بولان ووظيفه
ولحدته وخطه ولحدته لانزول من الناسوس حتى يكون هذا جميعه
المفسر قوله الحق اقول لكم انه كانه مثل شي وتوبه الكلام اليوظه في مثل
الآن ولخطه يدل على صليب الخالص الذي مناه الله لا يفسح الابدان
الصليب المقدس الذي فينا وسر النصاري حتى تتر هذا كله وايضا ان
السموات والارض بولان فمن اجل هذا الوصايا الصغار وعلم
الناس هكذا يدعوا صغيرا في ملكوت السموات يسمي وصاياه باسم النقص
من اجل انه تواضع بارادته من اجلنا ولان الله يختار ان يوت بالفضائل
في الايمان المستقيم لان المعلم اذا هلك نفسه من ان الله ولم يملكه ان يقوم
بالفضائل ويعلم الناس باعمال الفضائل او بكلام اللاهوتيه فعدا
بالحقيقه يدعوا الناقص المردول في ملكوت السموات ولهذا هلك اوكد
القول اقول لكم ان لم يزد بر بركم اكثر من الكتبه والفرسيون ليس تدخلون
ملكوت السموات ويدعواها هنا كما بالفضيله الصدقه والعلم من
اجل

اجل ان الكتبه والفرسيون يقولون الكلام ولا يفعلوه قال فاذا انتم لم
تزيدوا علي اوليك بالفضائل لم تستطيعوا ان تدخلوا ملكوت السموات
قد سمعتم ما قيل للاولين لا تقتل فان من قتل وجبت عليه الدينونه
وانا اقول لكم ان كل من غضب علي اخيه باطلا فقد وجبت عليه الدينونه
يوحنا في الذهب غير قايلا ليس بهذا القول البطل اقاميل الناسوس
حاشاه لكن قطع الناس السموات كيف يستطيع ان يقتل من لم
يفض بديا اذ كيف يربي من لم يشتقي قد سبق في علمه ان اصل
القتل الفضي باصل الرضا الشوه فلهذا قال الناسوس لا تجعل
للشرط تو اليك ولهذا قال انه من غضب علي اخيه باطلا كان مستحقا
للدنونه وانه اذا ادخلك كما لك وتفض عليه فاما انقص
عليه باطلا فاذا انت رايتيه وهو يريد ان يطغيك عن الامانة
المستقيمة حينئذ يجب ان تفض عليه ومن قيل لاجيه راقا يكن
مستحقا للحكمه ومن قال لاجيه يا الحق وجبت عليه نار جهنم
ومعني راقا اي اقال الانسان لاجيه مالك لانها اجابه سؤ
واسماع ردي فاما الذي يدعوا اخوه الحق اي طرا او الطرار
فهو لجاهل الذي لا عقل له فهو يستحق ان يصرح في نار جهنم فالذي

يقول الاخيه الذي معه في الامانة والمتوجه معه في الارثوذكسية جاهل
او قليل المعرفة فانه قد صيره مثل البهايم التي لا عقل لها ولا فهم هذا
يلخذ عدا بالاعظام لانه مستحق لنا جهنم ان انت قدمت قربانك
علي المذبح وكذرت هناك ان اخاك ولجد عليك فدع قربانك هناك
قدام المذبح وامض الى اوصالح اخاك ثم تعال حينئذ وقدم قربانك
يوحنا ثم لذهب يفسر القرآن فاهنا هو الصلاه اذا استصلية
وعلمت ان بينك وبين اخيك وجد في امر عظيم او صغير انظر لارتفاع
جوانبك ولكن خلاصتك قدام الله الي ان تصالح اخاك بديا ثم
تعود حينئذ افتتح قربانك وقد اخلصت نيتك وحواشك كن متفهما
من خصمك ثوبا ما دمت معه في الطريق اشعيا المذبح يفسر
عدوا الانسان جوائسه فكن متيقظ ببشرته لما تقول حواشك لانك
في عالم معها لئلا تدوسها بجمل فتحرق فيك وايضا في يوم الدينونة
تدفعك الي القافي الحق ويدفعك القافي الي الاعوان الذين هم
يولوجول الي المغلفين فيكبشوك في حبس جهنم والحق اقول لك
انك ليس تخرج من هناك الي اخر الدهر سمعتم ما قيل للاولين لا تزن
وانا اقول لكم ان من نظر الي امراه واستحياها فقد زنا بها بقلبه
اليمين طرس

اكليمندس يفسر من نظر الي امراه وهو يها فانه يذهب الي الحكومه
اد اظهر بشعة الامراه ووجهها او حسنها ونظر اليها يشبه
جسدانية عاوه هوي فانه مستحق لنا جهنم والذي ينظر بطحان
ومحبة فليس ينظر الي حسن الجسد لكنه افضل ينظر الي طهارت
النفس ورعة احوال الفضيله يا سيديون فتر قال انديوني
بقلبه الذي ينظر بعينه ويفحص ويستحي ان ينظر الي حسن الوجه
ومن كثير نظره شق في الشهوة والله في الزمان الذي يوجد فيه شيلا
يتم افعال الخطية والذي ينظر الي امراه عذري شهوة فانه يشق
في حكمه هذا الحكم الواحد ان تشكلت عينك اليمين فقلعها والقيتها
عنك لانه خير لك ان يهلك الجمل اعضائك ولا يلقى جسدك كله في جهنم
وكذلك يدلك اليمين يا ويرس يقول اليمين اليمين واليد اليمين فاما المؤمن
التي يمينها وبين الشحوات الشيطانية وهما ايضا اقاربنا بالجد اذا
شككوا وواصفانا فولا يما يوجدونا البيل الي الشرور فينبغي لنا
ان نقلهم ونستأصلهم ونطرحهم عنا من احب صديقه او جنسه
او ووده الحقيقي مثل عينه اليمين ويعلم امر شكبه ويشير واعليه
يجزوه الي دخول الشر هو لاي ينبغي لنا ان نقطع مودتهم عنا وذلك ان

التعليم الردي هو من نسل اولاد الشرير وليس هو لافقط ولكن من محبت
حديث النسا الذي لا ينبغي ان نذكرهم والذين قد ابتدأوا وكونا هم
وان نطرحهم من اجل نفوسنا فالاحب اليك ان يتناول احد اعضائك
ولا يذهب جسمك كله الى الجحيم الذي معناه هذا والاخير لك ان تدخل
الملكوت وانت بلا صديق والا قريب اخير ان يكون لك اصدقا
واقارب واولاد اشتراؤ وتذهب معهم جميعهم الى الجحيم قيل ان من طلق
امراته فيدفع لها كتاب الطلاق وانا اقول لكم ان من طلق امرأته من غير
كلمت زنا فقد جعلها زانية ومن تزوج مطلقه فقد زنا يوحنا فخر
الذهب يفسر قال من اجل اليهود الجحيم لئلا يقيموا علي تمام الدين
يونان بن فيثقلون من قال لنا موثر ان يعطوا كتاب الطلاق لئلا
تجدون من اجل هذا زوج فيترجون رجل اخر ولكن من اجل الكتاب
يظلمون للناس انهم طلقوا قال لك من تزوج مطلقه
فموزان واما اعني هذا لا ينجس الانسان نفسه مع وقد وصف
بالزنا وايضا سمعتم ما قيل للاولين لا تحنت في بيتك وافي للرب
تمن ان اقول لكم لا تحلفوا البتة لا تحلفوا بالسماء اذ كنتم في القبر ولا
بالارض فاما موثي قديمه ولا يبروشليم فاما مدينت الملك العظيم
وما ياتي بعده يوحنا فخر الذهب يقول ان لكل من ابته والتمس
للان

للان هو من الشيطان لحيث من ضعف الاولين اطلق هذا وجعل
مثل كتاب الطلاق الذي يكتب ومثل دم الترابين ومثل الاحوال التي
تشبه هذا اراد الله الكلمة ان يقطع اليمان الكاذبة ولكن كل منكم
نعم نعم ولا وما زاد علي هذا فهو من الشرير الزيادة علي نزل فكل من
لا يحاله سمعتم ما قيل العين بالعين والسن بالسن وانا اقول لكم لا تقاوبوا
الشر ولكن من اضحك علي خدك الايسر فحول له الاخر وما بعد ذلك يوحنا
فخر الذهب قال يقول الله الكلمة لانك في الشر بالشر ولا اللعن
باللعن لانك في الشر البتة الذي معناه هذا لاناخذ القصاص من
الذي يظلمنا ولو خشي بلخدا واليباب الذي علينا ولا نخافم الانسان
ضيق الصدر فان لم نستطيع ان نحول الخد الاخر لمن يظلمنا فنصبر
علي كل من هو ضيق الصدر ولا نجيب من يشتمنا وهذا في الفضيله
بعينها وقتلها ومن يتخبر كميلا فامضي معه اثنين معني ذلك من كان
موجهته روحانية وكلام موعظه وخدمه جسمانية فليعط من ليس له
وليس عطيا الاجساد فقط ولكن بنشاط النفس فهذا الذي يدل
عليه المتكلمين سمعتم ما قيل للاولين جب قريبك وابفرغ عدوك وانا اقول
اقول لكم احبوا اعداءكم وباركوا علي الذين لا يحسنكم وصلوا علي من يطردكم كيراص

يفسر أعدائهم الأراطفة وما ينبغي لنا أن نجسم بل نجسم البهر بحسب
الطاقة ونذبحوا لهم ليل يودعهم الرب ولكن ردهم إلى معرفتنا الحق بموتهم
الموتية إلى الجحيم وإن كان عدو مضاد للاديان وهو الشب في تلاق نفوس
كثيرة هذا الرب بخازنه على أفعاله الرديئة كونه كالميلين مثل البكر السماوي
فهو كامل التفسير إذا علموا لحد فضيلة ويعلم الناس أن يملوا مثلهما
فهذا هو الكامل مثل الأب الذي في السموات انظروا لا تصنعوا من أجلكم
قدام الناس لكي تراءوهم ولا فيلس لكم أجراً عند أبيكم الذي في السموات
يوحنا في الذهب يفسر جميع هبة الغنيمة لا تظهروا قدام
الناس الفلجيين ومن صدق من أنه يريد أن يعمل لحداً بصدقته فإنه
لوحي يظهره كهم في المشكونة فما يجسر هو شيئاً ولكن الذي يعطي
الصدقة بالرياء والتجسب إلى الناس ولو كان يفعل في السر فإنه لا يبرح
شيئاً وانت إذا صنعت صدقة لا تعلم شئاً لك ما صنعتك يمينك
يوحنا في الذهب يفسر قال الذين يقولون إن الشيطان هو الشيطان
أدعهم من فكر لحد أنه يريد أن يعمل صدقة ولم يصنعها أيضاً جرح من فإن
الشيطان مبطلها من نشاط نفسه وليس هو فقط ولكن اظر إن الأمراء
الرديئة والولدا لسوء والصديق والقريب شيطلا أكثر من النشاط
الذي يشتمهم إن يعمل صدقة إذا قالوا لحد منهم ما تريدان تكسبها
فلما تجتهد

فلما تجتهد كل الاجتهاد لا يعرف لحد ما خواصنا إذا اردنا أن نعمل صدقة
وليس هو إلا فقط ولكن ما يبدي بيننا ويبعد عنا فكر ما نريد أن نعلمه وإذا
صليتم فلا تكونوا كالمرايين لا تخرجون القيام في المجامع وزوايا الأزقة
يصلون ليظهروا للناس الحق أقول لكم انهم قد أخذوا أجرهم وحنأتم
الذهب يفسر الذين يدعون ويظهرون للناس وهم يصليون هو لا يهر
المراؤون المجنون الوقوف وسط الجمع وفي الزوايا المشتهرة فيدعون
ليظهروا للناس انهم يصليون ويصدقون ويصنعون صلوات كثيرة
قدام الناس هو لا يهر المرأون الذين أعني هم قد شبعوا وأخذوا أجرهم
وانت إذا صليت فادخل إلى مخدعك واغلق بابك عليك وصلي لأبيك
سراً التفسير ما هو المخدع الذي يعني أنا عني مخدع قلبك واغلق أبواب
جوارش نفسك لئلا تقبل عليك الأفكار الرديئة المضادة ويدعوا الأب في
السر والأب ينظر إليك في خفيه ويجري بك علانية وإذا صليت فلا
تلا تكثر والكلام مثل الوتينين التفسير كترت الكلام معناه من
لجل الأيسار والغلبة للأعداء أو تعطي كرامة أو شي من أحوال الدنيا
الثانية بل إذا صليت قل هذا أنا الذي في السموات التفسير

القول ان ابائنا الذين في السموات هو ابرطاهر لان لنا مكنا اب واحد
الذي هو الله موهبة الارادة الملهية التي اخذنا هاتر المعوية التي هي
الولادة الجديدة قد وشر اسمك الذي معناه انه اذا شرنا بشيء ليس فيها
دنس عند ذكر اسم الله يقدر فنيا من اجل طوقنا الصالحة تاتي
ملكوتك الذي معناه ان تكون عطية روح القدس علينا كلما تكون
مشيك كما في السما وعلى الارض معناه كما ان شريك ومشارك في الملائكة
الذين لا هم احساد وهم في انما ان يكون لنا نحن الذين في الارض مثلهم
خيرنا غدا اعطيناه اليوم الذي معناه اعطينا في هذا الدهر نعيم الدهر
العتيد لنفعل لنا ما يحب علينا كما نحن نفعل لنا غدا الذي معناه ان
الذي يغير لاجنه من كل قلبه ولو يكن ذلك الذي اخطأ اليه قد اساء
فذلك بالحقيقة مستحق ان يقول هذا القول امام الله ولا ندخلنا
التجارب لكن نجيب من الشر معناه ان الرب يامرنا ان لا نشهد اننا
الجهاد وتجربه شيطانية لئلا نكون من اجمل الباطل بل اذا دعيت
الى جهاد من اجل القول الصالح فلتعق فيه بيقين ولا تخرج اليه
ولكن نجاهد الى الموت من جهة القول الصالح لكن بكل وجع يكون
في الانسان فيه يتعق وهو تجر به لذلك يجب ان يقال ان حين في
الصلاة ولا ندخلنا التجارب الذي معناه لا نستقط في شيء من
التجارب

التجارب الشيطانية ولكن خلاصا من الشر الذي هو قوتهم لئلا يغلبونا
بشره لان لكل الملك العتد والمجد الى الابد امين فان غفرنا للناس
خطاياهم غفر لكم ابوك السماي خطاياكم وان لم تغفروا للناس خطاياهم
لم يغفر لكم ابوك السماي لانكم فهداهو الناموس الذي فرضه السيد
على المؤمنين وهو ثوب غفران الخطايا وهو الطريق المستقيمة التي
بجميعنا لئلا تدنا نحن صلا على عود الصليب الى ابيه نبال في العترة
الذين اهانوه وصلبوه واذا صمت فلا تكونوا كالمرأين لا هم يعقبون
وجوههم ويفيروا ليظروا للناس صيامهم الحق اقول لكم انهم قد
اخذوا الجوهرة وبرزن غسروا يقول تبش الوجه معناه انكم
تتظاهروا للناس انكم صايروا وانت اذا صمت ادهن رأسك وغسل
وجهك لئلا يظهور للناس صيامك لكن ابك السماي الذي
يري السر في عطفك على لانيه التفتير لانه يدعو اسلطان القلب
الذي يسميه راس العقل المميز لان الرب يريد ان يدهنه بفضائل
الروح القدس لا سيما الرحمة للفقراء والمضيق عليهم وايضا
اغسل وجهك لان اكثر الحواس في الوجه البصر والسمع والشم

والنطق لكيما ان نفسهم يربح ومخافه وفطنه جيد لا تكثر
لكن كنوز في الارض حيث الاكله والشوش يفسد والمارقون يحيون
فيشرون كبر انفسهم قال لان قد توجد كنوز المشركين في
الافكار الشوائب التي تشوق القلب بخلافه شقة التي هي مثل الشوش
والدود للنفس المستكنه ومن اجل ذلك امر الرب الانبياء ان لا يجمعوا كنوزا
ههنا بل يجمعوا كنوزا في السموات التي لا تفسد ولا تبلى
لاشوش ولا دود يفسدها ولا تبلى فيها اللصوص فتسرقها التي
هي فضائل الروح القدس ومن اجل ذلك حقا انه قال ان الموضع الذي
يكون فيه كنز هنالك يكون قلبك لانك ان كنت تجمع لك هذا الكنوز
الروحانية التي لا تفسد وانت حريص جمعها لك ويكون ايضا
عقلك متعلق بها مدمر عليها وان جمعة لك بعد لك كنز مظهر ههنا
يكون قلبك في ذلك المكان من اجل ذلك اعاد القول ههنا وقال
شرح الجسد العيون وما يتبع هذا القول تفسير شمان ان العيون
نور الجسد كله كذلك العقل هو مدبر النفس والجسد جميعا فان كان
الدليل الشاكر فيك هو المضي بالفضائل كانا جسدا ونفسا
قويان بالفضائل وان يكن المدبر اعني العقل هو مظهر صارت
نفسك

نفسك وجسدك ظلمين يفتيح الالام من اجل ذلك قال ليس يستطيع
اشارة ان يعبد بين يعني الله وقضائيه المقدسة والشيطان
وافعاله الرديئة ليس يستطيع ان يعبد الله والمال لانه يشي اصل
الشركة المال وايضا ندعوا محبة المال انها اصل الشرور كلها
فلها اقول لكم لا تهتموا لا تنقسموا بماذا تاكلون وماذا تشربون ولا
لاجسادكم بما تبش الشيطان تهتم افضل من المأكول والجسد من اللبائس
يترفع عنكم انتم تهتم للنفس والجسد بالتربية والحياه ولا تشا
المعرفة والفهم والتحصيل نحو ان الفكر فبالا تهتم بالطعام
والكسوة انظروا الى طيور السماء التي لا تزرع ولا تحصد ولا
تخزن في الاهري وابوكم السماي يقولون انتم يا احري اضل
منها من منكم تهتم فيقدر ان يزيد عن قامة دراعا واحدا فلماذا
تهتمون باللبائس التفسير اذا كان الكثير لا يستطيعون ان
تهتموا والكثير هو القامة والعمو والتربية واليثار الذي هو
الطعام او الشراب لماذا تهتمون به اعتبروا برهم احقل
كيف يترابوا ولا يتبع ولا يعمل اقول لكم ان سليمان في كل محنة

لم يلبس كواكب منها التفسير لأن تسليم أن في كل أيام عيده لم يستطع
له لباس فاخر من مثل لون الزهر الذي يلبسه الله بلا تعب ولا
اهتمام لأنه لم يستطع أن يلبس مثل هذا بلا هم ولا تعب مع المجد
العظيم الذي كان له فإذا كان زهرًا كحل يبصر اليوم وفي غد يطرح
في المنور يلبسه الله هكذا فكر أنتم يا حري بأقليلي الإيمان التفسير
هو ذا الذين يهتمون بأموال الدنيا وليس بأموال الآخرة هم ناقدون فلا
تهموا وتقولوا ما ذا نأكل وماذا نشرب وماذا نلبس هذا كله تطلبه
الأم التفسير لم يعنى لك الذين يهتمون بمقدار الحلة اللائمة
بصلاح اجتهاد والمقدار المستقيم الذي هو لا يتغير بتغيير الصالح
بل إنما اعنى للذين بطونهم المصنوع وخزيرهم الذين يرغبون في
الأموال الأرضية وليس السماوية ولا يهتمون بشي مما يوصل إلى طريق
الصلاح بل همهم الطعام وجسد الشرب والطرب واللهو
مثل جميع الأم ومن ذلك أعاد القول هكذا أن هذا كله جميع الأم
تطلبه لأن يوحنا الانجيلي يقول من أجل هذا المعنى لا تتعب
للطعام الذي يبيد ولكن الطعام الذي يبقى للحياة الدائمة
الذي يعطيه ابن البشر التفسير ولأن كل من يعمل ويهتم

من أجل

من أجل الطعام والشراب والطبخ حقاً هو يشبه الأم لأنه قال
إن هذا كله إنما تطلبه الأم فاما الذين يعملون ويهتمون ليعزوا
كل من هو محتاج من تعبهم فافهمنا لو أم أيضاً القراء من أهتمهم
ليشنعهم الله هذا الحال هو لأي من الذين يعملون ويهتمون
ليعزوا كل من يهتمهم بدلو اجتهادهم وجعلوها تتعب
لهم يتعب كثير شهرة وصوم ومسك ونسك هو لأي من الذين يعملون
وصايا الانجيل ومن أجل هذا قال هذا القول ظاهراً فاما من
اجل الذين يهتمون بنفوسهم وحدهم واجتهادهم ويعينون
بالطعام والشراب والعادات الرديئة والطبخ وهذا الأفعال
هي التي تطلبها الأم وأول ما يعلم انكم تحتلجون إلى هذا جميعاً
اطلبوا أولاً الملكوت لله وبره وهذا كله تردادونه التفسير
الملكوت والبر هما الأمانة والفضائل لأن بغير الأمانة فلا
يمكن أن نرضي الله كقول التليح بولص لا تهموا للمفد ما لذيهم
بشأنه كيرلن يفسر الغد هو الشهرة والاهتمام بالبطن لأن
الشهرة هو همهم لتقته وجمع له وحده ولا يقول الذين هم
مهتمون به لناكل ونشرب وغد نوت ويكفي كل يوم شرته

يوحنا من الذهب بشر الذي عني به هو البغية واخذ كرسى
في كل يوم ولم يعرف ان لليوم شخاشا ان يكون ذلك لانه لم يخلق
شرا الله في اليوم بل اذا سمعوا النبي يقول ان ليس يكون شر في
مدينه الا والله يصنعه وايضا اما الله صانع السلامه وخالق
الشرف فلا تظن انه كثر الشيطان ولكن الشر الذي اعني به النبي
هو التاديب الذي هو من الله مثل العقوبه والغلاد والوباء والزلزال
والاضطراب الذي يأتي الله بها عليا لادبنا ويريد بنا الخير وليس
فان كانوا ابائنا احسنهم يا ربونا مررت كثيره من اجل ما يكون لنا فيه
خير وليس نعلم انهم يريدون بنا شرا فكل من يكون الله هو عارف بمنفعه
كل واحد ويعمل مع كل واحد ما له فيه الخير وشر الاله الذي اعناه هو
ان نكتفي بتعب كل يوم بيومه وبضيقة ومحنة وشدة او امراض
جسدانية لمحقنا وان لا نهم ولا يضيق صدنا لكن نشكره علي كل حال
يعرض لنا في طول الايام ولا نضيق في الشدايد نفوسنا ولا ندينوا
ليلا ندنا او بالليل الذي تليكون يكال اليوحنا من الذهب
يفسر لئن جبه لاهل العالم ان يدينوا بعضهم بعضا من اجل ناموس
البيعة لان الحكم هو للمعلمين وحدهم ليعلموا بالواجب والبر او لان
الحكم

الحكم الذي يحكمون به يحكم عليهم وبالليل الذين يليكون يكال لهم
بمثله بل يجب ان يتاونا ولا يجالوا بالحكم ويفحصوا بالحقيقه ما يجب
لبعضهم علي بعض ولا يشتعلوا شيئا من الشفة بل العداك الادب
فان كنت تدين وتفحص عن العتبات الذين هم تحت طاعتك ولا
تبت عن عتباتك وانت كالمليل الذي لا يروا له كيف تستطيع ان تطلع
القدام من عينك والحشيه التي في عينك لا تبينها يا ربنا انزع
الحشيه من عينك اولاد حينئذ تنتظر ان تطلع القدي من عينك
لان الرب يسمي الذين يهاون ولا يعملون مرايين كما قال انجيل القريثيو
المرايين انهم يقولون ولا يعملون لا يعطوا القدس للكلاب ولا تلتوا
جواهركم قدام اخنازي ليلاد وشها بارجلها وتجمع قتر منكم
يوحنا من الذهب يفسر دعوا الظلمه افشا كلاب والذين
يتدبرون بالجش والحق الدنس يسميهم خنايز الذين ليس هم
مستحقين ان يسموا كلام الانجيل المقدس قريثيو فسرنا اجل
هذا القول شي المراطفة كلاب الذين ليس يستحقون ان ياخذوا
الشراب المقدسه ولكننا نري المردولين المتعلقين في حفات الدنس
والزنا الذين لا يرجع عقولهم الي الله ولا يجب ان يسموا كلام

الانجيل المقدس يراهم يفرحون ولا يقبلون سماع القول المقدس الذي يسمعون
بل يفرحون به في قلوبهم ويردون علي قولهم من يشطيع ان يعمل هذا
الا الذين يحاهدون في كل انما لم يجعلوا شيلا لغيرهم ان يقرضوا الخف
ويتشبه بهم هذا معنى انما تدوسها بارجلها مثل خنزير يكلام الله بقلوبهم
القاسية ويديسون وصايا الانجيل المقدس ويبصرون خطاياهم
ويارفعون اذانهم ولا يسمعون هولاء يستاهلون الدينونة بتجديفهم عليكم في كل حين
واذ يتهمكم ثلوا نقطوا اطلبوا تجدوا ارفعوا يفتح لكم اذ يرفعون
ثلوا اكل حين بالدعاء لتوهوا الملكوت السما فانكم نقطوها اطلبوها
بانما لصاحك فانكم تجدوها ارفعوا استحسن وجهه المساكين يفتح لكم
ومن اجل هذا اعاد القول ان كل من يتيا ليعطى ومن يطلب تجده ومن
يرغ يفتح له اي شان تملك يا له ابنه خيرا فيعطيه خيرا او شياله ثمه
فيعطيه حيه فاذا كنتم وانتم اشرار تعرفون تكمون الكلمات الصالحه
لاكنكم فكم ابكم السماي جديري ان يعطي الخيرات للذين يتيا لونه هذا
القول يدل علي رحمت الله بنا وشفقته علينا وبعد ذلك بين قوام تمام
التاويث والانبيا فقال هلكي وكلمات يدون ان تصنعوا لنا شيكم
اصنعوه انتم هم ان ادخلوا في الباب الضيق فم ان يفسر الباب الضيق
هو

هو الطريق المستقيم بالفضائل لان كثير حرصوا وعملوا انما لا كثير ظنوا
انما صالحة ولم يفتنوا الفضيله فبعدوا من الله فان المشكك استغ
والطريق الموديه الي الهلاك حبه والداخلين فيها كثير التغير المشكك
الواشع هي الرحة اجتدانيه والطريق الموديه الي الهلاك من استغ
الشده بكثر الاطعمه وقتل الرحة وقال ايضا شيخ من ايا البريه ان الباب
الضيق هو ان تفكر من كل حال الموده من اجل طاعة الله والمشكك الواشع
هو الامان علي الهوي الردي لحدهوا من الانبيا الكذبة الذين ياتونكم في
ملايسر الخرفان ودخلهم دياب خاطفة فم ان يفسر الانبيا الكذبة هم
المرطقة الذين ياتونكم باللباس الحسن واليا والكلام الذي يقبل الله روحاني
حتى يخذلوا قلوبهم وهم من دخل دياب خاطفه للانفس ومن اعالمهم
تفرقوا من التي هي الكلام الذي يقولونه بالافعال ومن هذا اعاد القول
وقال ان كل شجرة صالحة تخرج ثمره صالحة الذين هم المعلمون القديسون
الذين يعلمون الفضائل وكل شجرة رديه التي هي الشيطان والاراطة
الاشرار الذين غرسوا الشر من قبلهم وكل شجرة لا تثمر ثمره جيدة تقطع
وتلقى في النار يعني بذلك علي البيعة ان كل من يعلم ولا يعمل مثما يقول فهو
يعطى في يوم الدينونة ويلقى في النار التي لا تطفأ وانما هذا

ايضا قال لي كل من قال يا رب يا رب يدخل ملكوت السموات لان كثيرين هم غير
 مومنين عرفوا الرب وامنوا به وتنبوا باسمه واخذوا كفاذا مثل بقاع
 وفروعون ويختصرون وخنا وقيافا الذين تنبوا من اجل الرب الذي
 سيقول لهم مع الازاطعة الذين ليس لهم دين مستقيم ما عرفوا قط اذهبوا
 عنّي يا فاعلي الاتم كل من يسمع اقوال هذه ويعمل بها اشبهه برجل عاقل بنا
 بيته على الصخرة ساويرس بنفسه وفي شجته اخري قيرلوس بنفسه الانسان
 العاقل هو الذي يرتد كيون والبيت هو الاعمال الصالحة والصخرة هي
 الامانة المستقيمة فادابنا الانسان الذي تدك في بيته على الصخرة فادا
 جئت الاله طارا التي هي افتحار القلب التي تهدم كل صلاح للانسان
 وتغير افكارا التي هي ايجاع الهلاك وتاتي الرياح التي هي المحر
 الشيطانية لم تستطع ان تهدم ذلك البيت لان اساسه ثابت على الصخرة
 والانسان لجاهل هو الذي يبنى بيته على الرمل وهو الخائف قد صنع
 بيته من اصلاح ولم يكن له اساس ثابت التي هي الامانة المستقيمة
 لما حركت عليه المحر سقط فكان سقوطه عظيما لانه ليس فيه توبة
 بل سيكون بالاحقة وكان لما اكمل يسوع هذا الكلام كله هبت اجمع من
 تعليمه لانه كان يعلمهم كمن له سلطان وليس مثل كتبة و اجارهم
 قيرلوس

قيرلوس بنفسه ولا ان الرب كان يعلم مثل المعلم الذي يشي
 الناموس ولا ينقص منه او يعلم بتعليم بحالف الناموس لكنه كان يعلم
 كالرب واضع الناموس ومعيدة وامر للانبياء وله السلطان ما يعلم ما اتي
 به الناموس ويزا به عليه وكذلك قال شمعون ما قيل للاولين لا تقتل فان من
 يقتل وجبت عليه الديونة وانا اقول لكم ان كل من يفضع على اخيه باطلا
 فقد وجبت عليه الديونة شمعون ما قيل للاولين لا تزن وانا اقول لكم ان
 كل من ينظر الى امراه لكي يشتهيها فقد زن بها بقلبه لانه رب
 وديان ومعلم له سلطان ان يعلم الناموس وما يفوق الناموس وليس
 مثل المعلم الذي لا يستطيع ان يفعل شيئا من اجل الله عبده وهو كمن الناموس

✽ قمر الافحاح السابع ✽

ولما نزل من اجل تبعة جمع كبير واذا ابرص قد نامته شاجدا له
 قايلا يا رب ان شئت فانت قادر علي تطهيرني فسط يسوع يده
 ولمسه قايلا قد شئت فاطهره وللوقت طهر برصه وقال له يسوع
 انظر لا تقل لاحد لكن امض واذا كان نفسك وقدم قربانك كما امر
 موسى شهاده لهم للتفسير يجب ان تتعجب من عظم امانته هذا الابن
 وقوله ان شئت فانت قادر علي تطهيرني لانه قد شهد له علكانيه

بان له سلطاناً عظيماً. وان هوشاً قد رُغمي تطهيره بلا محالة. ولعل شديداً
بحسب أيمان الأرض استرع إلى اظهار سلطانة بالقول. لا يجوز به التي فعلها
بالسلطان. ولقد كان في ذلك شهادته كافيته بان استتم له وضع السن
له وأجبه ذلك لتبع منه القول بالبر. وهذا ما لا يفعله إلا الله وحده
فأما الأنبياء فبالنصر عكسوا الآيات لآبائهم ولما كان ثبوت في
علمه انهم شيعته. وقد كان تضاد لتورات الله. فاقوي في امر الأرض
انه يقرب قرباناً بسب بروه علي ما فينا. وشي ويغلبه للكهنة
ليكون ذلك توبيخاً بيناً لغرضهم. فاداموا قبلوا القرآن من الأرض عن
أمرهم. انه يعرف بانهم ليس يرادوا أيضاً لتوراه. يوحنا انظر الذهب في سفر
قال للأرض الرب لينقيه من برصه. لأنه آمن بلا شك انه الله
بالحقيقة. فلما بدأ الرب يده ولمسه. عند ذلك تطهر من البرص كبر ليس
يفسر. لأن الرب لما مشه هذا هو معروفي ان يده مقدسة تعطي الحياة
والطهارة. وكذلك قاله الرب انظر لا تنقل الحجر. يعلننا نحن
ايضاً ان نهرب من طلب الميخ الذي يضربنا. ولو حين تكون نظرت
عجباً مثل هذا. إلا انه قال له امض وارفضك للكهنة. وقدم قرباناً كما
أمر موسى لشهادة لمرنا. واثرا. اظهر الانسان من البرص
ولا

ولا يتخلط بالناس حتى يعمل الكاهن. ولا يظهر من البرص فيقدم
قرباناً من أجل الطهارة. ولذلك فعل هذا من أجل الشهادة. لئلا
يقولوا انه يجمل لنا. وشي. وهذا القول الروحاني. لأن الانسان الأرض
هو تشبه للشعوب. لأنهم الذين كانوا برص في اول الزمان بالخطية
وهم انجاس برص الشيطان. لأنهم لا يعرفون الله حق معرفته. فلما
مشه الرب عند ذلك تطهر من البرص. لأن الرب يقبل اهل التوبة
أذ اولوا الميلاد الثاني بالمعمودية. فيطهرون من برص الخطية
ومن ظهورهم يضيئون إلى الكاهن. ويأخذون جسداً الرب ودمه
الذي من جينيداً يقدسون. قربانهم من أجل ظهورهم الذي هو صفاتهم
الصالح. وأيمانهم المستقيم الذي هو كرم عند الرب. افضل من جميع
الهدايا التي تتقدم للملوك. والمجد لله دائماً ابدياً. آمين.

✠ قصص الأصحاح الثامن ✠

ولما دخل يسوع كفرناحوم جاء إليه ربيما. أيه. ثايل. له قايل. لا يارب
فتاي ملتي في بيتي. مخلص وسقيم جداً. فقال يسوع أنا أتني فاشفيه
فلجأ. قايداً لما يه. وقال يارب لست مستحقاً ان تدخل تحت

بيتي لكن قل كلمة فقط فيبرأ فتاي فاني اجل من قبل سلطان تحت
يدي جند وأقول لهذا اذهب فيذهب ولاخ تعالى فبقي ولعبدك اضع
هذا فيفعله فلما سمع يسوع تعجب وقال للذين يسمعون هذا اقول لكم ان ليس
لكم اني اجد امانه مثل هذا في احد من اشراييل فاقول لهم ان لشرين
شيا تون من المشرق والمغرب فيتكيون مع ابراهيم واسحق ويعقوب
في ملكوت السموات وبنوا الملكوت يقذف بهم الى الظلمة القصوي
حيث يكون البكا والصراخ لانهم لم يسمعون صوت الرب يسوع لقايد
الملاية اذهب كما انتك يكون لك فبرأ الفتى في تلك الساعة ورجع
قايد الملاية الى بيته فوجد غلامه قد برا التفصيل يجب ان ننظر
ايضا الى حشر امان هذا القايد وكثرت ورعه وقوت حكمته وذاك
انه كان مقدم كبيرا وفي خدمته مائة جندي ولما بلغه كثرت فضائل
السيد خطا درجته بتواضع نفسه وشغعي اليها خاضعا ثم قال له
يا رب فتاي ملقي في بيتي مخلم وشقي جدا وان السيد لما شقوني
علمه من فضائله المخفية اراد اظهارها لموعظة التلاميذ لكي يظهر
من كلامه تلك الفضائل الملكوتية فقوله ليست مستحكما ان ندخل تحت
سقف

٤٤

٤٥
٤٦

سقف بيتي فاطهر من قوله هذا كثرت تواضعه وورعه وقوله ايضا
قل كلمة فقط فيبرأ فتاي فمن هذا القول عرف قوت ايمانه ولما قوله اني
رجل دو سلطان ومما امرت اجنادي امثال لوقته فهو دليل على
كثرت حكمته وللشيا ان يقول اماما اني من امر التواضع والايمان
فلا خلا في فيه ولما قوت حكمته هاهنا فاما غير مفهومه فيقال
اماما يبرجوا التحكمتة هذا القول ودلالة اوضح التصديق بقوت
بقوت سيدنا بقوله اني وان كنت من قبل سلطان ارحمني ولي هذه
القدرة والذي شاه من اعواني اياه بعينه يفعل المستهملون في
حاضر الوقت فليس من العجب واننت من قبل سلطان هو ياري
الموجودات ان تطرد الامراض وتغارق اهلها بكلمة تامرها هذا
قوله وتصديقه وهو لا يعلم ان السيد هو ابن الله الا ان في امانا كان
اعتقاده انه انسان شادج ومن اجل الفضيلة قدنا من الله
سلطانا مع ذلك كون هذا القايد كان من الامم ودليل ذلك قول السيد
انني اجد امانه مثل هذه في احد من اشراييل وللشيا ان يقول هل
رئيس الملاية الذي ذكره تي هو الذي ذكره لوقا ام هو غيره فيقال ان

٢٧

٢٨

٢٩

معناها عن ولده بعينه ودليل ذلك ان شهادتهما متفقة فيه ثم يعود
 السائل ايضا فيقول هل هذا الذي ذكره متى لوقا فقال لوقا يوحنا
 عنه انه عبد للملك ام هو غيره فيقال ايضا انه هو هو ودليل ذلك ان
 شهادتهما متفقة فيه ومن هاهنا قد انتشع الفخوض للسائل ان يقول
 ان متى يقول في بشارته ان المريس كان في لقايده المايه ولوقا يقول في
 بشارته انه كان ولده عبد ويوحنا يقول في بشارته انه كان ولده
 وهذا خلاف ثم ان يوحنا قال في بشارته ان ريس المايه لما سمع ان
 السيد قد جاء من هود الى الجليل مضى اليه من كفرناحوم الى قانا الجليل
 حيث صنع المأخرا وشاله ان ينزل ويسير ولده ومتى يقول ان
 السيد لما دخل كفرناحوم جاء اليه قايدا المايه فطلب اليه قايدا يارب
 فتناى ملقي في بيتي مخلف وشقي جدا فاما لوقا فقال ان قايدا المايه
 ارسل اليه شيوخ اليهود يمشون اليه المجي ليجلس عهده ولما مضى
 السيد معهم وفيما هو غير بعيد من البيت ارسل اليه قايدا المايه اصدا
 قايدا يارب لا تتقبن فاني لا استحق ان تدخل تحت سقف بيتي
 ومن اجل ذلك استحق ان احي اليك وهذا ايضا خلاف ثم ان
 متى

ط ٢
 متى يقول ايضا ان السيد قال للقائده اذهب كما انت ليكون لك فري
 القتي في تلك الساعه ولوقا يقول ان الرسل الذي من قبل القايده
 لما رجعوا من عند السيد وما كان اعطاهم جوابا فاجلوا العبد
 المريض قد برأ ويوحنا يقول ان قايدا المايه لما عاد من قانا الجليل
 استقبله غلمانا وبشروه وقالوا له قد عاش ابنك فقال لهم في اي
 وقت فاق قالوا له امس في الساعه السابعة تركته احمه
 وهذا ايضا خلاف اجواب — عن ذلك نسق الكلام بمقتضى
 ظاهر الحقايق انه مشكل جدا علي من ليس له رايه روحانيه فاما
 الذين قد ارتأوا بشيروت الفضيله وشعوا في تحصيلها
 حتي وصلوا الي الكمال فان الاكوار لغامضه المشكله كشفت
 لهم اسرارها حتي علموها يقيناً وذلك ان قايدا المايه لم يكن له ولد من
 صلبه وكان عنده سريه قد اشترأها ومعه اولادها من غير القايده
 فخطبت تلك الامه عنده حظو من بيله وصار ولدها عنده كالولد
 الحقيقي حتي انه دعاها ابنه وعرف بهذا المنزله الكريمه بين الناس
 فالذي قال متى ليس عنكر ايضا من اجل انه نفقه بالعتي والعتي

فَعْنَاهُ الْغَلَامَ وَالْغَلَامَ إِذَا كَانَ مِنْ شَرِّ الْمَالِ أَوْ مِنَ الْبَيْتِ فَهُوَ عَبْدٌ
بِالْحَقِيقَةِ فَكَانَتْ دَعْوَاتُ الْبَشِيرَةِ بِالنِّعَةِ الْأَوْسَطِ وَالَّذِي قَالَ
لَوْ قَالُوا لَيْسَ عَنْكَ إِلَّا مِنْ أَجْلِ اللَّهِ مَشْتَرِكِي فَكَانَتْ دَعْوَاتُ الْبَشِيرَةِ
بِالنِّعَةِ الْمُنْحَطَّةِ ثُمَّ الَّذِي قَالَ لَيْسَ هُوَ مُنْكَرٌ أَيْضًا مِنْ أَجْلِ اللَّهِ
نَعْتَهُ بِالْوَلَدِ فَقَبِلَ ذَلِكَ الَّذِي لَيْسَ تَحْتَهُ بِالْطَّبِيعِيِّ النَّاسِ مِنْ
مَنْزِلَتِ الْبَنِي وَكَرَامَتِهِمْ فَكَانَتْ دَعْوَاتُ الْبَشِيرَةِ بِالنِّعَةِ الْأَعْلَى
وَأَمَّا الْمَرَضُ الَّذِي كَانَ نَجْوَاهُ ذَلِكَ الْعَبْدُ فَانْهَكَ أَنْ يَخْلَعَ كَمَا قَالَ
مَتَّى وَكَانَ أَيْضًا مَحْمُومًا كَمَا قَالَ يوحنا. فَكَانَتْ بِهِ أَمْرٌ مُخْتَلِفَةٌ
أَلَا أَنْ كُنْتُ تَسْقُوهُ إِلَى الْمَوْتِ حَتَّى أَنْ لَتَا يَدَيْهِمَا عِنْدَمَا أَيْسَرُ
مَنْهُ وَانْقَطَعَ رَجَاؤُهُ طَعَنَ قَاصِدًا لِلْسَّيِّدِ فِي هَذَا أَجْلِيلَ وَسَّالَهُ أَنْ
يَبْرُلَ وَيُسَبِّحِي فَتَاهُ فَلَمَّا قَالَ لَهُ السَّيِّدَانِ لِمَ تَعْبَانِ الْهَيْلَاتِ وَالْمَآعَا
لِمَ تَقُومُونَ قُلْتُمْ قُلْتُمْ شَدِيدًا وَظَنَّ أَنَّ الْغَتِي قَدِمَاتُ فَقَالَ يَا سَيِّدَ
أَنْزِلْ قَبْلَ أَنْ يَمُوتَ فَتَنَّا يَ فَقَالَ لَهُ السَّيِّدُ امْزُجْ بِنَدِي وَلَمْ يَنْقَلِ
لَهُ أَنْ يَنْتَكِرَ قَدِيرَ أَمْرٍ مَرَضُهُ فَامِنْ بِالْكَلِمَةِ أَنَّهُ ابْنَةُ حَيٍّ وَمَا عَادَ
اسْتَنْقَبَهُ عِلْمَانَهُ وَبَشَّرُوهُ أَنَّ ابْنَهُ قَدْ عَاشَرَ فَنَسَّاهُ فِي أَيْ وَقْتُ
فَاقَ قَالُوا لَهُ امْسُخْ فِي السَّاعَةِ السَّابِعَةِ نَزَكَتِ الْحُجَّةُ وَلَمْ يَقُولُوا
أَنَّهُ

هـ
أَنَّهُ قَدِيرَ أَمْرٍ مَرَضُهُ وَأَيْضًا أَنَّهُ لَوْ كَانَ كَامِلَ الصَّحَّةِ لَكَانَ قَدْ
اسْتَنْقَبَ الْقَائِدَ فِي جَمَلَةٍ الَّذِينَ اسْتَنْقَبُوهُ وَالذَّلِيلُ عَلَى ذَلِكَ الْبَشِيرِ
لَمَّا شَفَا حَمَاتُ بِطَرَسٍ مِنْ مَرَضِهِ قَامَةً فِي الْوَقْتُ وَخَدَمَةٌ فَهَذَا
الَّذِي ذَكَرَهُ يوحنا هُوَ كَانَ قَبْلَ الَّذِي يَدْرِي وَتَمَّي وَلَوْ قَالُوا بِشَارَ قَالُوا لَهَا
صَفْحًا عَمَّا كَانَ أَوْلَا وَأَتَيَا بِمَا اسْتَنْقَبَ عَلَيْهِ كَالْأَخِيرِ وَدَاكَ
يوحنا ضَمِنَ فِي بَشَارَتِهِ أَقْوَالًا كَثِيرَةً قَدْ كَانَ الْمُبَشِّرُونَ صَفْحًا عَنْ
ذِكْرُهَا فَأَمَّا قَوْلُ مَتَّى وَلَوْ قَالُوا هُنَا فَهُوَ مُنْقَضِي شِيَاقَةٍ كَالِ الْبَيْتِ
كَانَتْ بَعْدَ عَوْدَتِ الْقَائِدِ مِنْ غَانَا أَجْلِيلَ وَوَصُولِ السَّيِّدِ بَعْدَهُ إِلَى
كَفَرْنَاحُومَ وَكَانَ قَوْلُهُمَا يَقْتَضِي كَمَالَ صَحَّةِ الْمَرْضِيِّ وَرُوحَهُ مِنَ التَّخْلِيَعِ
فَتَمَّي قَالَ أَنَّ الْقَائِدَ جَاءَ إِلَى السَّيِّدِ وَشَكَاهُ حَالَ الْمَرِيضِ وَاعْتَقَا
مِنْ دُخُولِ السَّيِّدِ إِلَى بَيْتِهِ وَلَوْ قَالُوا يَقُولُ أَنَّ الْقَائِدَ شِيرَ إِلَيْهِ مَشَاجِخَ
الْيَهُودِ يَشْكُونَ لِحَالِ الْمَرِيضِ وَيُسْتَدْعُونَ لِيَحْضُرَ وَيُسَبِّحِي الْمَرِيضَ
ثُمَّ أَنَّهُ بَعْدَ ذَلِكَ أَرْسَلَ صَدَقَاءَهُ وَهُوَ يَسْتَعْفِي مِنْ حَضُورِهِ إِلَى بَيْتِهِ
وَالْقَوْلَانِ صَادِقَانِ وَذَلِكَ أَنَّ السَّيِّدَ لَمَّا وَصَلَ إِلَى كَفَرْنَاحُومَ أَرْسَلَ
إِلَيْهِ مَشَاجِخَ الْيَهُودِ وَيُسْتَدْعُوهُ لِيَرَوْا الْمَرِيضَ ثُمَّ بَعْدَ هَذَا أَرْسَلَ إِلَيْهِ
أَصْدَقَاءَهُ يَقْتَضِي مِنْ حَضُورِهِ لَمَّا وَصَلُوا إِلَيْهِ سَمِعَ كَلَامَهُمْ وَأَتَى مَعَهُمْ

والجمع يتبعه ولم يرد لفرجوا بابا وصاروا شيئا الى نحو المريض فلما علم
القائد بقدمه تلقاه وتوشل اليه في برو المريض واعتني من
دخوله الي بيته حينئذ اعطاه اجواب وقال له اذهب كما أنتك
يكون لك فبري الغني في تلك الساعه فشحات يوحنا تضمنت ما
كان في اول الحال عند مقام السيد فانا الجليل وشحات لوقا
تضمنت ما كان عندما وصل السيد الى كفرناحوم وشحات متى
تضمنت ما كان عند وصوله الى قرب دارقايد المايه واما قوله ان
كثيرين شياتون من المشرق والمغرب فيتليكون مع ابراهيم واسحاق
ويعقوب في ملكوت السموات وبنوا الملكوت يقدفون الى الظلمه
القصوي اراد بهذا القول ان يبيننا باعلان ان الامم الذين قد
ابتعدوا عن الله بنفاقهم وكفرهم يرجعون الى الايمان بدين الحق ويصح
عقائدهم ويصيرون اولياء الله ويرثون الحياه الدايمة والملكوت
الابدية وينعمون بالخيرات الغنيه ويقبلون البركات والقرب
من ابراهيم واسحاق ويعقوب لنعمل ان الحياه الابديه والنعمة
بخيرات الشرمديه والقرب من ابراهيم وبنية لانتدك بالنسب
الطبيعي بل بالايمان بالحق وان اليهود الذين هم من درية
ابراهيم

٢٤
ابراهيم ولم يوجا بان يكونوا معه في نعيمه من اجل كفرهم ونفاقهم يبعدون
منه والملكوت التي كانت معه لهم من اجل الايمان وكانوا ايدون
بنين لها لا يقتربون منها ويلقون في الظلمه البرانيه باس واجب
فارادبا لظلمه جهنم لان جهنم هي عذاب الكفار ومعني البرانيه
يعني انها بعيدة من الملكوت لان منازل النعيم والعداب تختلف
في القرب ثم في البعد كما شهدت بشارت يوحنا عن قول السيد
ان في بيت ابي منازل كثيره فاما البكا وصريدا لاشنان فانه
اراد بذلك ان يزل بالمناهي من الندم والكشره عليا فاقهر من النعيم
ومشاركتا الابراي يوحنا فمرا لذهب يغشوا ان من اجل قايد المايه
قال من اجل ان المسيح الاله عالم ابريدان يقوله قايد المايه وتركه
ليأتيه لكي يظهر ايمانه بالمسيح بقوله له قل فبك فيبري ولدي ولما
امن ان الرب يستطيع ان يفعل ذلك هو منته قال له قل فان تقول
يبري ولدي لاني تحت سلطان الملك وانا ربي على جماعة فمن اية
بشي امثله وكيف انت باكري الذي انت مسلط على كل الخليقة
بلا هوئك وليس بعد لحد ان تسيطر عليك لان قايد المايه كان

من الاعم وأظهر هذه الأمانة العظيمة بالمسيح وسجل هذا قال
 ان تكون شعوب الاعم تاتى بالرب ويكونوا مومنين ويشتحقون
 ان يكونوا مع ابراهيم واسحق ويعقوب في ملكوت السموات وأما اليهود
 الذين كان لهم البتوة والوعده يلقون في الظلمة الغصية حيث
 البكا وصرايا الأشنان والارتد كيش المومنين الروحانيون
 قواد المأميين الذين صاروا مضيين بأعمالهم الصالحة وبلغوا الي
 المراتب العلوية الذين يقولون الأفكار السوان تبعده عنهم فتبعده
 من اجل السلطان الذي اعطاه الله للإنسان الذي يعمل برصانة
 ويقول للأفكار الصالح ان ياتي قياينة فالبعد هو المجسدا الذي يقع
 بالأعمال الصالحة التي من الفضائل تتبعها وهلكي كان ذلك
 الإنسان قايما المائة كان له أفكار صالحة مثل الجند الذين هم تحت
 سلطانه ومن أجل ذلك تعجب الرب من كثرة يقينه وظهور فضائله
 القابلة وأمانته المستقيمة والمجد لله دائما أبديا سرمديا

✿ قصص التاسع ✿

وجاء يسوع الي صلب بيت بطرس فدأى جماته
 مطروحة

مطروحة ومجومه فليست يداه فتركها الكحة وقامت فخدمتهم فلما
 كان الغشا التفشير قد تجلبنا ان نعلم ان السيد المسيح الي بيت
 شمعان لانه دعي ليعبري حانة من رفعة أو لانه يفشي بيوت
 تلاميذه للاعتقاد الكرامة ولا ضرورة تلجيه اليهم ايضا بل انه ترك
 الجمع الذي كان حوله مع كثرة اغنياء وأشرفه وأي مع تلاميذه لياكلوا
 الخبز في بيت انشان فقير وليظهر اليه امامهم ايضا ولكي ليس لهم
 هذه الشبهة الحسنة في التواضع ولينفعهم ايضا عند انتشارهم
 في البلاد للدعوة ان يفشوا بيوت الاغنياء وفي الموايد المخصصة
 والهم المتسعة وان يكون المرتفعين من المومنين والاغنياء لا يستخف
 نفوسهم علي من هو دونهم بل ينطاعون بالتواضع الي زيارتك
 المساكين والسعي اليهم بغير انقباض ولا كد مدم ولا شي من هذا
 كما فعل الذي هو رب الكل وما يخص عنه ويقال اهل كانه زوجة
 شمعان متعلقة به بعد ان تتلمذ للسيد ام كان قد برح عنها عند
 ما صار تلميذا فيقال لانه من بعد اجتذاب المخلص له فارقها فرقة
 قاطعة لا الاخراج منه عليه بل لئلا يعوق فكره عايق وللشاي

ان يقول ان شهادتي بيذكر ان السيد نظر الي سمات بطرس لمقاها
فمسر يدها فتركها احمه ولو قال يقول وكانت سمات سمعان بحمه
عظيمة فسا لوه من اجلها فوقف عليها ورجز احمه فتركها ومركض
يقول انه جا الي بيت سمعان وتلاميذه معه فراي سماته في حمة شدة
فقالوا له من اجلها فتقدم واقامها وامسك بيدها فتركها احمه
وهذا خلافي فيقول ان السيد لما دخل بيت سمعان وكان
تلاميذه معه ولما نظر الي سماته قال له التلاميذ من اجلها
فتقدم ونجر احمه فلما حسنت بذهب الموضع منها وابصرت
السيد قامت فامسك بيدها فتركها احمه وكان القصد
بذلك ان تعلم انه مقتدر علي عمل المعجزات بالقول بالفعل وأما
قيامها لتخدمهم فهو يدل علي ان التلاميذ جاؤ مع السيد لياكلوا
لخبز في بيت سمعان ثم ولنا ايضا علي شفا مرضها بفتة لنعلم
ان هذا خلافي عادت الاطباء الماهرين يوحنا تم الذهب يغسر
وكسوفة العين كان يعمل كل لجر احمه حتي ان سمات بطرس
اذا كانت في شدة من حمة عليها ابرهاا وليس انه ابرهاا فقط
ولكنها أصحت وقامت فخدمت والمجد لله دائما

قص

قصص الاصحاح العاشر

فكانوا لمساقد وآاليه مجائين كثيرين فخرجوا من القري
بالقول وشفا كل شقيهم لي يتم المقول من اشعيا النبي القائل انه
لخدا مرضنا وحمل اوجاعنا فلما نظر يسوع الي الجمع الذين
حوله امر ان يذهبوا الي العبر النقيير معلوم ان الانسان
الاول من اجل الخلاوة وصية الله ملك عليه الشيطان والتعبد
فصار يرام الله لاجل المفصية وصار كل من اتى بعده من مثله
يجري علي هذه النظام ولما قل الذين يعرفون الله والذين يشككون
في مثله وكثر الذين يعبدون الاوثان والذين استعبدوا لخطاياهم
وفشت الاوجاع الرديه فيهم وتعلك عليهم تخلية الله عنهم
فقصدا لبشير يدركت المجائين والمستقوين الذين ابرهم السيد
مع اختلافا ابرصهم ليتبث بوبيتيه وعظم قدرته وان
ياتي مع انبائه شهادت اشعيا النبي ليوضح بها ان نبوات
الانبياء قدمت واما قوله ان السيد قال للجمع الذين حوله ان
يذهبوا الي العبر أي الي الشط فذلك لان الجمع كان كثيرا وقد

دخل عليهم الليل وصاروا متشوشين من أجل المبات ولما لم
يكن لهم موضع يسكنهم ويحفظهم أمرهم المضي الى المكان المعروف والمنزل
للمسافرين وعابري السبل وخذاف الذهب يفتقرا لانه لما كان
المساء وغاية الشمس اخضر اليه كل مغتربا وكل من به عليه لانه في
آخر الايام اتى الرب الينا وبراعلنا وواجعنا لان طبيعة الناس
كانت مغتربا بالاجاع الدنسة الشيطانية ودليله بالاولح
النجسة التي كانت متعبد لها بعبادت الاوتان وقلت معرفتها
بالله وكانت طبيعة الناس عما قد انطمت عيون قلوبهم
لا يعرفون الله وصمتوا فلم يسمعوا كلام الانبيا وخرصوا
وبكوا مثل التي كانت نازفة الدم مخلقة ووجهه من كل الجهات
هكدي كانت طبيعة الناس مقتله باصناف الملوك ليس في
الجسم وحدة لكن في النفس وفي آخر الايام نحن علينا وعلي حشنا
المقهور الاله الكلمة واتى الى العالم جسده وصار انشأنا
وعافا الطبيعة المحلة المعتره من الاولح النجسة من اجل
هذا ولجت قال الانجيلي لما امسا الليل الذي هو آخر النهار
اتوه كثير من اليهود وخرج منهم الشياطين بكلمته وكل من هو
عليه

عليه عوفي من مرضه وعلمه وليس من علم الجسم فقط ولكن من علم
النفس ايضا والشيخ لله

قصة الاحباري عشر

فما اليه كاتب وقال له يا معلم اتبعنا الى حيث تمضي اليه فقال له
يسوع ان للتعاب اجارا ولا طيور السما او كراة واما ابن
البشر فليس له مكان يسند اليه راسه وقال له اخبرني تلاميذه
يا رب ايدين الى ان امضي فادفن ابني اولاه فقال له يسوع اتبعني
ودع الموتى يدفنون وموتاهم التفسير قد يجب علينا ان نؤمن
السبب الذي من اجله منع سيدنا هذا الكاتب ان يتعبد
ودا ان السيد لم يكن يجب من يكلمه على حجب ظاهر كالمه بل انما
كان نجيب على حجب خيم من يكلمه لانه منطلع على كل شيء وشوف
يسير هذا في امكنه كثير وهكدي جعل جوابه هذا الكاتب على حجب
خيمه وذا ان كان غنيا ومقبطا بجميع الما و كان غرضه في
القرب من السيد لحياتا ان يسلطه على فعل الايات كما يشاء
ليجد السبل من هاهنا الى بلوغ غرضه في جمع الما الكثير فأوجب

ذلك هذا الجواب له اي ان الذي كنت تقصده وتومله بسببي ليس تجده
والذي عندي هو خلاف ما ترجوه وانت قد ترائي في تصرفي أشد فقرا من
التعاليك لأن كل من محاله مكان معلوم راوي اليه قد الف شكناه وأنا
فليس لي حيث أميل رأسي اليه والذي يريد ايضا ان يتبعني فيكون قد
ترك هذا الشهوات ووكلاءه على المشككة وفي هذا المنها تفسير آخر
وذا ان السيد اراد تقرير الكاتب علي في خبره فقال ان للتعاليك
أجرة اي ان للفكر الدغلة فيك موطنا وان لطير السماء أوكار
اي ان فيك للشياطين ما وكن وان ابن البشر ليس له حيث يميل رأسه
اي ان ليس فيك مكان وأما قول الآخر يا رب أبدي لي ان أمضي
فادفن أبي فقال له السيد انتعني ودع الموتى يدفنون موتاهم قد
سبق الايضاح بان السيد لم يكن تجيب من بكلمة علي حسب ظاهر كلامه
بل علي حسب الخبر وخبر هذا القائل كان تايها إلى العمل بشيرت
التلمذة وأتباع السيد فامره ان يتبعه ومنعه من المضي لدفن
أبيه وان كان بر الوالدين وكرامتهم ودفن الموتى من الواجبات
واراد منعه من المضي لهذا وجه الأول منها قصد ان يزيده
يقظه في اقتناء الفضيلة فأعلمه ان أوجب الواجبات علي
طالب

طالب الفضيلة ان يترى بكما يضل انه لا بد منه في هذه الدنيا ليصعد
عن الالتفات الي شيء من أمور هذا العالم وان يجعل دهنه مصروفاً
اليه وحده والثاني ان أباه كان علي غير ناموس السنة الجديد وكان
ايضا له من دينه والثالث انه قصد بعده من قنايا هذا العالم ليلا
يكون مصيبه سبباً لميل نفسه إلى شهوة ميراث أبيه فيستثبت بأمور
الدنيا والرابع انه أوجب ان يكون عنايتنا مصروفة إلى الأمور
الالهية النفسانية دون أمور الجسدانيات وما يخص عنه
ويقال لم قال السيد دع الموتى يدفنون موتاهم ومن شأن الموتى
لريدفنهم إلا الأحياء فيقال ان الموت يقال علي ضرب كثير فانه
يقال علي الموت الطبيعي الذي هو مفارقة النفس للجسم وعلي موت
الكافرين بعباد الله وعلي موت الخطية الذي هو انفكاك
الإنسان علي افتعال الخطايا والتمتع بالشهوات الجسدانية
والحرص علي القنايا العالمية وعلي موت المأد لان الانغماس في
الماء تشبه بالقبور ولخرج منه مثل البعث والمعنا الذي قصد
السيد هاهنا هو موت الخطية وهو الانفكاك علي الشهوات

بالقنایا العالمیة اعزیزو ربو من المتکثر فی الدلیات یفترق من أجل
الذي لم یبعه ان یتبعه ان ذلك الانسان كان محبا للمال الذي محبته
اصل كل الشرور ومن اجل ذلك قال الحق ان للتمالبجرة اعني بذلك
الذي يباليه فكل الارواح الخبيثة وطيور السماء او كذا الذين هم
التلاميذ القديسين السالكين في ظل العلاء الذي هو المسيح ربنا وهو هو
في كل حين شتو وحجاب وابن البشر ليس له حيث یعمل اسمه اعني لانك انت
ليس في فيك مشكن لانك سلمت نفسك للوجع الملعون الذي هو محبت
المال قیامه یفترق من اجل الذی قال یارب ایدن ان امنی فادفن
ابی نجبان یكروا الایا الا ان یكروا امر الانزله او وصیه تقتضي
الصلاخ فیلزم ان یرفض اولیک من اجل الوصیه فان الزونا اولیک
هذا الحان فالناوش القديس تنفع الكهنه لا یقر بامر الاموات والسید
المسیح یامر الذين یتبعوه ان لا یكروا لهم غرض بنائی ولا قرابة لانهم
اموات الذين لا یومنون والذين هم مقبطين بالعالم الذين یردون
الانسان الي خاف حتی یخام الله والشبح لله دائما

✿ قصص الصحاح المشتمل ✿

ولما ركب المركب تبعه تلاميذه واذا اضطراب عظیم كان في
البحر

هـ

البحر حتی ان المركب توارت من الواجه وكان هو قد نام فتقدم اليه
تلاميذه واقطوه قائلين يارب نجينا فانها لكون نقال لهم ما دأ
خافت قلوبكم باقيليلي الايمان وحينئذ قام فاستنهر الرياح والبحر
فكان هدوء عظیم وتعب الناس قائلين من هو هذا حتی تطيعه الرياح
والبحر التفسير قد نبينا ان نتقهر السبب الذي كان اوجب
دعود السيد الي السفينه ودا ان الله اراد يظهر لتلاميذه الایه
التي اظهرها في البحر ليحققوا انه نافذ الامر في البر والبحر ويستدلون
من امتنار الريح وشكوته لانه كان لمنشي لها كي يعزوا بسبه
وبني الانبياء هذا الحكمة واما نومه وكونه لم يستيقظ لشدت الرياح
وامد طكال الواجه حتی اعطوه تلاميذه هذا معلوم انه فعل
افعالا بشر خلا الخطية ليخفي شر الاهوته عن الشيطان وحتي
ان التلاميذ اذ امنوا به حق الايمان وشكوا وطرقه وحفظوا
وصاياه شغل عليه ثم فعل كل شيء مثله وللمعترض ان يقول هل
فرقه من فرق النصرانية تستجري علي ان تدخل علي اللاهوت
انفسا فيقال لو عاد الله من ذلك لان الذي يقول مثل هذا

القول لا يعد نصراً على الإطلاق بل كإفراء فيعود المعتز أيضاً
ويقول أن المسيح ولحقاً في العنوم ولبوه فقد انفصلت اللاهوت
بالنوم من الناسوت فيقال تعالى الله علواً كبيراً عما يتوالمخادون
الذين أن الإنسان الذي هو داود وبوثن متحد من جسم مجو أني
ونفس طقية عاقلة ولا خلأ فيها أن ولحقاً في العنوم ولبوه
فذلك الإنسان فيه ما ينفع وفيه ما لا ينفع ومنه ما يموت ومنه
ما لا يموت لأن نفسه الناطقة لا تنام ولا تتعب ولا تاكل ولا تشرب
ولا تموت أيضاً من أجل لطف ساطعها فكيف يمكن انفصال اللاهوت
المسيحي بالنوم وبغيره من أجل اتحادها للناسوت وهو أبسط
الشيء كما والطف اللطيف وأما شدت الريح وهيج الأمواج
فهو كان تخويفاً للتلاميذ حتى غيرهم السيد نجوهم وقلت إيمانهم
وعظم الإيه في أعينهم وأما الناس الذين تعجبوا من شكون الريح
والبحرهم التلاميذ لأن الكتاب يشهد أنه لما دفعوا السفينة
تبعه تلاميذه ولم يدرك غيرهم وأما تعجبهم فإنه لأجل أن معرفتهم
به لم تكن كاملة لأنه كان في ذلك الوقت عندهم مثل نبي كما تقدم
القول

القول يبدأ في معرفة ريش المايه وحكمه في القبيح
الرياح والبحر لئلا تفكر التلاميذ أنهم ركبوا السفينة مع الرب أمر
الرياح انها تصيح عليهم يعلمهم هذا أن يحتملوا ثقل التجارب وبعد أن
يخلصوا يذكر لكل حين التجارب الذي أصابتهم وإن أراد من يعلم هذا
المعنى وحكمه فيلزمه شبه البحر هذا العالم والمركب بشارت
التلاميذ وحركت الرياح بالهلال الذي أصاب خلقه من أجل عبات
عبات الأوتان والاضطراب مثل الامتحان الذي نال التلاميذ عند
بشارتهم بالانجيل فان الرب كان ناير فلما قام انتبهوا بالرياح والبحر
وصار فيه شكينه اعني ان المختص كان ناير بالتدبير في القبر فلما
قام من الأموات انتبهوا بالرياح والبحر الذين هما القوات الشيطانية
التي ارد لها وأما ثابوته وصليبه المقدس وأعطا السلطان
لتلاميذه ليدوسوا الحيات والعقارب وكل قوت العدو الباطل



قصص الاصحاح الثالث عشر



ولمجايسوع الي عبر كورت جدرانين استقبله مجنونان خابجان
من المقابر رديان جدا حتي انه لم يقدر لحدان يجتاز من تلك الطريق
وإداهما قد صرعا قائلين يا لنا وليا يسوع ابن الله أجيته هاهنا

لقد بنا قبل كون وقتنا وكان بعيد منهم قطع خنازير كثيرة ترعى
فطلبت اليه الشياطين في الليل ان كنت تخرجنا فارسلنا تدخل قطع
الخنازير فقال لهم اذهبوا فخرجوا في الحال ودخلوا في الخنازير وادخلوا
قطع الخنازير جميعه قد وثب على جوف وتواقع في البحر ومات في
المياه فهرب الرعاة واخرجوه من كلما جرى في حال ذئب المجنونين
واذا المدينة جميعها قد خرجت لاستقبال يسوع فلما راوه تسالوه
ان يتقل من جد وهر التقشير وماوم ان اجر جشين من قبيله من
الشعوب الغريبه ودليل ذلك ان الخنازير كانت تمشي في الجبل
والشياطين وقولهم للسيد اجيت لتعذبنا قبل الزمان فالشياطين وان
كانوا انشرا يا هوياهم فقد علموا لان حاله ان الفتوة في الآخرة
معه لهم جرجا عن ديوهم ولما معرفتهم ايضا بان وقت الانتقام
منهم لم يزل في من اجل انهم ليسوا يدفعون الان الى العقاب واما
المراد بهم مغارقت الناس فقط فمرها هنا جعلوا يهتفون بهذا القول
للسيد اي انك قد ضيقت علينا قبل الوقت الواجب باطلاه ومما
يفحص عنه ويقال ان لم اجاب السيد الشياطين وادخلوا في الخنازير في
الخنازير فيقال ان هذا يعرف لطفه بالناس وحسنه لهم واشفاقه
عليهم

ومنهم الذين

عليهم اكثر من جميع البرايا وايضا في زأقوته وانبساطها على الناس
وغيره ولما وقع الخنازير في البحر فهو علامه لهبوط الشياطين في
الهاوية ومما يفحص عنه ويقال ان متى يقول ان الذي اتى الي السيد
اشنان ومقصود لوقا يقول ان الذي اتى اليه كان واحدا فيقال
ان المبشرين لم يقولوا قولا فيه تضاد لبعضهم واما جميعهم قصدوا
ذكر الاله التي صنعها السيد فاما الذي تال للسيد فاما اشنان الا
ان احدهما الذي اسمه الجاؤون كان معه شياطين كثيرا شهد لوقا
وكان في جملة شياطينه روح نجس شديدا لقوه وكان يعتاش من الآخر
واشد اضرايا للناس حتى انه كان يقطع الرباطات والسلاسل
ويكسر القيود ولا يقبل احدا يشده في كل حين وكان يمنع الناس
ان ينيلوا قريباً من المكان الذي يكون فيه ولما خرجت الشياطين
منه صار حكيماً وجلس عند جلي السيد وطلب اليه ان يتبعه فلم
يجيبه وصرفه الى بيته واما الآخر فكان معه شيطان ردي
وكان لما را السيد وقد استقبله الجاؤون وهو يصيح تبعه وصاح
معه وتكلم يقول واحدا فصيح متى عن شرح حال الجاؤون وذكر
الاشنان لان قصده كان اننا لا يذكر المعجز وحسب واما مقص

ولوقا لما قصد شرح فضيلة الذي كان به لجاؤون فصفا عن ذكر
الآخر الذي انعم الله لان قصدها ايضا كان الغنا به بذكر الآيه فقط
لان التناقض والتضاد هو ان يحكم الانسان بحكم علي طريق الاجابة
فيستلبه الآخر وهو الذي ليس هكذا فكلوا بل كان غرضه من الغنا به
بالاخبار عن المعجزات لا عن تفاصيل احوال المجانين وحتافه
الذهب ليشترى الم قال مرقد ان الذي استقبله من العبرانيين
واحد فيه روح نجس لان الاثنين كانا في العبرانيين فواحد منهما
ابن داوود من العبرانيين الذي كان فيه ربوات من الشياطين وبعده تبعه
الآخر لانها كانا ياوي في العبرانيين المعترين لكي يهدا يبطل
القول الشيطاني الذي كان يحرفه ويقال ان من بعد وفات
الناس نصبر انفسهم شبه الشياطين في المقابر فشر ايضا وقال
ولما اتى الرب الى الجرحيين يعني هذا العالم الذي يسميه مدينه
الجديين علي ثلما قاله الرب ان اكون هذا العالم ياتي وليس يحل
في شئ فليجدين لانهم الشياطين ولانه اتى الى العالم المحتل شياطين
وكل اوجاع مهلكه والاثنين المجننين هما الشعيان شعب اليهود
وشعب الامم الذين كان قد مل عليهم الشيطان وجميع قوائمه المهلكه
للافتن

للافتن وكانا يصرخان فاليدين لنا ولكي يسوع ابن الله اتيت الي
ها هنا لتهلكنا اي الزمان الذي يعنونه زمان الدينونه فالواحد
منهما الذي كان فيه ربوات شياطين وهو شعب الامم الذي كان
مسلطا عليهم الشيطان بكثرت الظلاله وعبادت الاوثان
ومن هم القطيع الخنازير الذين ارسل اليهم الشياطين فهدا معروف
انه ارسلهم الي مجمع اليهود الذي ليس له ايمان الذين قاموا عليه
ثم امرهم بالرديه وصلبوه الذين هم غرقوا في قعر الحجير البذي في الاثنين
المجننين فمعناها ظاهر بان كثير من اليهود امنوا به واعتمدوا وبوته

وقيامته ✽ قصص الاحكام الرابع عشر ✽

فركب الموكب غير متخل الي دينته فقدم اليه خلع مطروح علي
شرب فلما راى يسوع ايمانهم قال لذلك المخلع تقوي يا بني مغفوره
لك خطاياك واد اقوم من الكتاب قدفا لو ايمانهم هذا يغفري
فلما علم يسوع افكارهم قال ابا لكم تغفرون الشر في قلوبكم ايها
ابن ان يقال مغفوره لك خطاياك او ان يقال قم فامش ولكي
تعلو ان ابن البشر سلطانا ان يغير الخطايا علي الارض وعند

ذلك قال لذلك المخلم ثم فحل شرير وأمض الى بيتك فقام ومضى
الى بيته فلما رأى الجميع ذلك خافوا ومجدوا الله الذي أعطى سلطاناً
هكدي للناسق السبع لله ايما التقشير أراد البشير بقوله ان
السيد دخل الى بيته ومدينته هاهنا كفرناحوم من اجل ان
كان لما سمع ان يوحنا المعمدان قد اسلم ترك الناصره وسكن بها لانها
كانت علي شاحل البحر وكان ادمسك عن التطواف في المذب
والقري بسبب التعليم جعل مقامه بها لانه ولربيت لحم وتوتيت
ناصرت الجليل ومن بعد الاعتماد عندما ابدل المآخرا وابتدأ يعلم
كان يغير كفرناحوم وهي التي قصدتها البشير فاما المخلم الذي
قدومه اليه فكان باراً ولما نزل في الخطايا لا تلي بهذا المرض
تاديباً له لان غناية الله مصروفه للبر انتم الله بالتاديب
لان الذي تجلب الله يورثه اما بمرض وبغيره ومن اجل هذا قال له
السيد مغفوره لك خطاياك ليعلم المخلم انه بسبب المعصية دخل
عليه المرض وبالمغفوره تاتي اليه الصحة واما جواب السيد للكتاب
علي فكره فانه بقوت لاهوته لم يزل عالماً بكل شيء ذلك انه تفكر وافي
قوله

قوله وقالوا ان هذا مجنون حين يدعي مغفرت الخطايا وهذا انما هو
انسان ومغفرت الخطايا فاهي الا الله وحده ومعنى جوابه انكم
توقفوا اني مغفرياً وكاني اقول اني لا استطيع فعله لانكم تعلمون
انه لا يقدر علي مغفرت الخطايا الا الله وحده فان كان هذا
القول عندكم مستحيل فايها ترون ايروا تسجل في الموعد مغفرت
الخطايا ام بروا المخلم معاً ان هذا مقولات شديده صعبه علي
من لم يكنه عملها من اجل ضعفه فاما من له استطاعه فما يجتهد من
تسلياً علي قوله امام الشامعين فمن الان تعلموا اني اعدا لامسا
اقد علي فعله ولا اعدى ما هو مخفي ولا يستطيع ان يعرف فقط بل
وبما هو ظاهر ومعلوم كي تعلموا ان لي القدره علي هذين الفعلين الظاهر
والمخفي وتلخدون البرهان علي قدرتي ان الذي اقول اياه افعل
شريعاً بكلمه وما احسن ما تفكر فيه ان لا يقدر علي الغفران الا الله
وحده وان الذي يدعي يا هو الله فقط فانه كاذب ومغفري فمن
صح دعواه ليس هو بكارب ولا هو مجنون ومن فعله يعرف انه الله
بالحق فكما ان مغفرت الخطايا لا يقدر عليها الا الله كذلك بروا

سُمِّدَ هَذَا الْمَخْلُوعُ لَا يَقْدِرُ أَيضًا عَلَيْهِ بِأَمْرٍ أَوْ لَوْ قَتَلَهُ غَيْرُ اللَّهِ وَجَلَّ
وَأَمَّا تَجْبِهُهُ وَتَجِيدُهُ لِلَّهِ فَانَّهُ كَانَ مِنْ جَلِّ الْأَخْيَارِ مَا كَتَبَهُ فِي
نَفْسِهِ وَمَا عَايَنُوهُ أَيضًا مِنْ دُحُوبِ الْمَخْلُوعِ وَهُوَ حَامِلُ شَرِّهِ وَمَا
يَفْجَحُ عَنْهُ وَيُقَالُ هَذَا الْمَخْلُوعُ هُوَ السَّقِيمُ الَّذِي ذَكَرَهُ يوحنا فِي شَارَتِهِ
أَنَّ السَّيِّدَ أَبْرَاهَةَ وَأَمْرَهُ أَنْ يَجْلِسَ شَرِّهِ وَمَضَى فَيَقَالُ إِنَّ الَّذِي ذَكَرَهُ يوحنا
فِي شَارَتِهِ لَيْسَ هَذَا الْمَخْلُوعُ الَّذِي ذَكَرَهُ بَقِيَّةُ الْمُبَشِّرِينَ بَلْ هُوَ غَيْرُهُ
لِأَنَّ الَّذِي ذَكَرَهُ الْمُبَشِّرِينَ الثَّلَاثَةُ كَانَ بَكْرًا لِحُومٍ وَأَحْضَرَهُ إِلَيْهِ
مَحْمُولًا عَلَى شَرِّهِ وَقَالَ لَهُ السَّيِّدُ أَوَلَمْ مَقْفُورٌ لَكَ خَطَايَاكَ وَهَذَا
الَّذِي ذَكَرَهُ يوحنا كَانَ بِالْبَيْتِ الْمُقَدَّسِ فِيهِ كَانَ بَرُّهُ وَكَانَ سَقِيمًا
مَنْدَقًا وَثَلَاثِينَ سَنَةً فَقَدَّحَ أَنَّهُ غَيْرُهُ مِنْ هَذَا الْوَجْهِ قِيَرَا
يَفْهَرُ قَالُوا فَرَأَوْا إِلَى الرَّبِّ بَانْتِشَانَ مَخْلُوعٍ يَجْلُوهُ أَرْبَعَةُ رِجَالٍ وَلَمْ
يَسْتَطِيعُوا أَنْ يَدْخُلُوا بِهِ مِنْ كَثَرَتِ الشَّعْبِ فَقَلَعُوا اسْتَقْبَلُوا الْبَيْتَ الَّذِي
كَانَ فِيهِ الرَّبُّ جَالِسًا وَانْزَلُوا الشَّرَّاءَ إِلَى اسْتِغْلَالٍ مِنْ أَجْلِ الْبَارِ الْمَخْلُوعِ
وَالَّذِينَ كَانُوا يَجْلُوهُ وَهَبَ لِمَنْ الرَّبُّ بِرَوَا النَّفْسِ وَاجْتَدِ جَمِيعًا فَكَانَ
بَيْنَهُمْ أَنَّهُ مِنْ أَجْلِ خَطَايَا قَدْ أَخْطَأَ هَذَا لَكَ الْمَخْلُوعُ فَأَمَّا لَهُ الرَّبُّ
بِهَذَا الْعَلَّةِ وَتِلْكَ الْخَطَايَا الَّتِي كَانَتْ سَبَبَ عِلَّتِهِ فَلَمَّا قَالَ لَهُ
الرَّبُّ

الرَّبُّ مَقْفُورٌ لَكَ خَطَايَاكَ أَنْتُمْ مِنَ الْخَطِيئَةِ مِثْلُ أَدَمَ الَّذِي غَفَرَ

اللَّهُ لَهُ بَعْدَ شَقَطَتِهِ

قَالَ الْإِسْحَاقُ الْخَامِسُ عَشَرَ

وَعَبْرَ يَسُوعَ مِنْ هُنَاكَ فَرَأَى رَجُلًا جَالِسًا عَلَى الْفُسْرِ السَّخْمَةِ مَتَّى ٢٣
فَقَالَ لَهُ اتَّبِعْنِي فَقَامَ وَتَبِعَهُ بِهِ وَفِيمَا هُمَا مَتَكِلِي فِي بَيْتٍ مَعَمَان ٢٤
وَأَدْبَحَ خَطَايَاهُ وَعَشَّارُونَ قَدْ جَاءُوا فَاتَّكَأَ مَعَ الرَّبِّ يَسُوعَ
وَتَلَامِيذِهِ فَلَمَّا رَأَى الْفَرِيسِيُّونَ ذَلِكَ قَالُوا أَلَتَلَامِيذُهُ لِمَا دَامَ عِلْمُكُمْ
يَأْكُلُ مَعَ الْعَشَّارِينَ وَالْخَطَايَا فَلَمَّا سَمِعَ يَسُوعَ قَالَ لَهُمُ الْآقُوبُ ٢٥
لَيْسَ وَاجِبًا جَرِي إِلَى الطَّبِيبِ لَكِنْ الْمَتَّامُونَ أَدْبَحُوا فَتَعْلَمُوا مَا هُوَ
أَرِيدَ حَتَّى لَا دَبِيحَتُهُ لِأَنِّي لَمَّا تَزِدُّ الْأَرْبَابُ بِلِ الْخَطَايَا إِلَى
التَّوْبَةِ حِينَئِذٍ جَاءَ إِلَيْهِ تَلَامِيذُ يوحنا قَائِلِينَ لِمَا دَاخَلَ الْفَرِيسِيُّونَ
نَصُومٌ كَثِيرًا وَتَلَامِيذُكَ لَا يَصُومُونَ فَقَالَ لَهُمُ يَسُوعَ هَلْ يَسْتَجِرُّونَ
الْعُرْسَ إِنْ يَنْوَحُوا مَا دَامَ الْعُرْسُ مَعَهُمْ وَشَيْءٌ فِي أَيَّامٍ أَدَارُفَعُ الْعُرْسَ
عَنْهُمْ حِينَئِذٍ يَصُومُونَ لَيْسَ أَحَدٌ أَخَذَ خُرْقَةً جَدِيدَةً وَجَعَلَهَا
فِي تَوْبِ بَالٍ لَأَنَّهُ تَجَدَّبَ مَلَوَهَا مِنَ التَّوْبِ الْعَتِيقِ فَيَصِيرُ الْخُرْقُ

أريد ولا يصبر جديده في رفاق عتق والآفاق تنشق
ويهرق الخمر لكن يجعل الخمر كجديده في رفاق جدد فيحفظان كلامهما
النفيسين يجب ان يفحص السبب الذي من أجله لم يدع السيدني
في الوقت الذي عفا فيه بشمعون واندراوس ويعقوب ويوحنا فيقال
ان الايضاح قد سبق يد في غير موضع ان كل انسان هو خير نفسه
في فعاله وليس هو خير عليها ولما كان السيد عالما بالصغار لم يدع
لحد الا في الوقت الذي علم منه انه يجب ان يدعوته ودليل ذلك انه
لم يدع بولص الا بعد قيامته وصعوده وما يسئل عنه ويقال من اين
عرف متى خير دعوت شمعون ويعقوب واندراوس ويوحنا حتي
خيرتها وهم اقدم منه فيقال ان الاخبارا الذي اتوا به التلاميذ لم
ياتوا به الا بعد حلول روح القدس عليهم وعلمهم كما يحتاجون اليه
عما كان في زمانهم وفي غير زمانهم وبما اني كان علم هذا من مفاوذه
التلاميذ قبل ان تحل روح القدس عليه وينبغي ايضا ان ننظر الي
تواضع البشر وعظم فضيلته وكيف كرمنا لب نفسه بتعريفه
انه كان عشارا واراد بذلك هجر حياته الاولى ودها وان لا ينكس
عن أحد شو معيشته التي بها كان نجس وقتة وأمسك عن ذكر
جما نسته

دروس
جما نسته ودان ان السيد لما دعاه أجاب دعوته وتبعه وللوقت
أهتم بوليه عظيمه له كما شهد برقص واوضح لوقا ولحضر التلاميذ
وجماة من القرى وكانوا متكلمين في بيته جميعهم وقال في بشارته
ان السيد كان متكيا في بيت شمعان ولم يقول في بيتي واما قول السيد
ان الاصحاح يحتاجون الي طبيب لكن المرضي من هذا القول انه ليس
ينبغي للانسان ان يفعل عن الخطاه بل يحتمل كل ضحك حتي يمكنه
تغييره واحياهم الي الصلاح لانا ان كنا لا نستغن من المرضي في
اراض الجسم وكتمل الشقه في عالجهم وتسهيل علي مداوهم فلم
ينبغي ان نجهد في مداوات السقيمين في انفسهم حتي نستغنهم
من هويات الرذائل ونصعدهم الي رتب الفضائل ونشفي انفسهم
من اراض السيئات ونفيدها فحة واما قوله اني اريد رحمه لا
ديبحة فهذا شهاده من الكتاب قال رضى بالمعروف الكرم
الديبحة اي انه رد الخطاه ابروا فضل عند الله من كل ديبحة
لان الديبحة ليست السنه كلها وانما كال السنه افتعال الرجحه
والحميه والارشاد والعرض في محبي ليس من اجل البرار وانما هو
منفعه للمرضي بشعر الخطايا فحيت لا يجد بهم بالنعمه من احوال

موسى

لخطايا إلى الصلاح والفضيلة فاما الأبرار فليعلم إلى هذه الحاجة
وقديما للسايل ويقولان المبشرين مرقس ولوقا لم يذكر الاسم متي
في هذا الموضع واما اسميهما الذي واما هو متي نفسه متي فما كان
العقد بذلك الجواب معلوم ان جماعة من التلاميذ لما تبعوا السيد
وساروا سيرة التلمذة غيرت اسمائهم واسم هذا البشير كان في الأول
لأدي كما قد ذكر البشير ان ولما تلمذ غير اسمه متي كما جرت العادة في
غيره من التلاميذ فظهر عند كل أحد هذا الاسم وبطل الاسم الأول
فلما اراد البشير يتلب نفسه وينعت بها لعشار فتم اها بالاسم
المشهور كي يثبته لانه كان عشارا وللسايل ان يقول
لمنع السيد التلاميذ من الصيام وهو قد تقدم فصام اربعين يوما
واربعين ليلة فيقال ان صيام السيد هذه المرة فانه لم يصم لحاجة
منه إلى الصيام لانه لا يمكن قابل الاصوام ان يحتاج إلى صيام بل
انه لما خرج ليحرب من ابليس اراد ان يعجزه ويقهره بتواضع وبما
يلزم جسده المقدس لا بقوت لاهوته فجاهده بضد القضية التي
قهر بها جسده لانه لم يقهر جنس البشر إلا بحجة الأكل من شجرة
واحدة

واحدة منهم عن ادم فكان قهر الشيطان في أول الحرب بالامساك
جميع المأكول كي يفيدنا ان نتبع اثره المقدس وايضا انه لا يترك لأحد
من المتقدمين فضيلة ناقصة الا يكون هو لها كاملا واما منعت منع
التلاميذ من الصيام فانه كان علي فوعين الأول منهما كونه يعلم ان
الزمان الذي نقيم فيه معتم قليل وانه بعد ارتفاعه يكون ابتداء لقبهم
ودخولهم في الضيق والاجتهاد والشدايد والاضطهاد فارد ان
لا يلد عيشهم وفرحهم وابتهاجهم وكأونته فيأتيهم من شقه مع
قصر الزمان الذي هو معتم فيه ودليل ذلك قوله لا يستطيع بنو المرش
ان ينوحوا دام المرش معهم فاذا أخذ المرش عنهم حينئذ يصعد
بين هذا القول ان التلاميذ مشرورين بمقامه معهم كسرت بني المرش
بالمرش معهم وانه مقامه معهم زمانا قليلا كما ان ايام المرش
اياما قليلا وكان المرش اذا انقضت حال المرش يمضي كل واحد
من بنيه إلى شأنه الذي لا بد له منه كذلك التلميذ عند ارتفاع السيد
صاروا إلى البلايا المختلفة وإلى كل أمر شاق وكان أبسر شقوهم
الصيام واما النوع الثاني فلجل ان السيد كان زمعا ان يوهل
التلاميذ للبشرى بالسنة الجديدة فاما امكن مع ذلك ان يأمرهم بحفظ

شي من شريع العتيقة ودليل ذلك قوله ليس لأحد يأخذ جزقه جديده
ويجعلها في ثوب بال لأنها تلخد ملوها من الثوب العتيق فيصير الخرق
أزيد ولا يجعل خرقا جديده في ثوب عتيق ولا تمتشق الزقاق وتفرق
الخمر لأن صيام السنة العتيقة الذي افتخر به أولئك فاهم كانوا يصومون
صوما محمدا وهم لا يقدرون الخروج عنه فاما الصيام الذي يكامه
التلاميذ ومن اتى بعدهم ورجل واحد منهم فانه بسلطانه انفسهم
طوعا لاختيارهم الفضيلة فانه وان كان صوم الاربعين معروفا فاما
فرض من اجل توازي العصاة ودليل ذلك انما نصوصه بمشايئنا انه
ليس نصوصه علي وجه واحد بل كل واحد منا يصوم بمقتضى ما يشاء وكما
يستطيع لاختيار الفضيلة ويخالف الذهب فيسحق من اجل متى
العشار ان رقص يسميه لاوي ابن جلفا لأن هلاكي كان اسمه في
البداهة والرب اشتهاه متى ودعا هذا الاسم الجليل لأن تفسير متى هو
المنتخب والصديق وقد اطلق لنا الرب ان ناكل مع العشارين
والخطاه لكي نخلصهم وناتي بهم الي التوبة فليكن بولص منع ان لا
يكل مع أخ خاطي انما عني هذا القول للمخالفين لأن المسيح لم ياكل مع
آخره بل عند خطاه وهو ربكي يخلص عبده وكذلك افتخر متى
ببخول

ببخول المسيح الي بيته ودعا اصدقاءه الجباه مع المسيح أمضوا الآن
وتعلموا اني أريد رحمة لأدبيحكم فيسري رجوع الخطاه الي التوبة رحمة
هذه هو اجل رفع من الديار النابوئية لمرات لادعوا الصديقين بل
الخطاه الي التوبة رحمة هذه هو اجل واد انوا تلاميذ يوحنا قائلين
لمخرجي والفريسيون نصوصكم كثيرا وتلاميذك لا يصومون قير لعل البطاركة
يفتخروا لأن تلاميذ الرب حفظوا جميع الوصايا وغلبوا الشبهات
بلاصوم ولا تشك واما تلاميذ يوحنا والفريسيين فلم يكنهم ذلك لأنهم
كانوا يرون تلاميذ الرب يتقون الفضائل بلاصوم وكانوا يجسدونهم
فكان يقول لهم جواب كلامهم لأنهم كانوا يظنون شيرت الجسد
فقداء هل يستطيع بنو البشر ان ينوحوا مادام العرش معشاه
فهو سمي نفسه العرش من اجل التدبير الذي صنعه المخلص
بشسبنا لأنه اتخذ جسد نفسان دي نفس ناطقه عقليه
وجعلنا له مثل عروشه بلا دنس وجمنا في خرا لاردن أي المودية
المقدسة وطهرنا لنكون له كعروشه طاهره نقيه ويعني ببنى العرش
التلاميذ الذين يجسدون بالصالح وعمل البعائث التي تليق
بالعرش المبارك الذي للحن السماي يسوع المسيح ابن الله الحي

الان ليلى لحد ياخذ خرقه جديده ويجعلها في ثوب بال فيور يوش
استكمل بال الالهيات يفسر قال اخرقه اجديده في الهد الجديد
والثوب البالي فرشب اليهود الجحاه والخمر الجديده هو جسد الرب
الكريم والزقاق لقدميه فر اليهود الجحاه الذين عتقوا في السرا لانه
قال يجعل الخمر الجديده في زقاق جديده فيتل الجميع والخمر الجديده كما قد قلت
في البدي هودم يسوع المسيح الكريم والزقاق الجديده النصره علي

✠ قصه الفصح الثاني عشر ✠

وفيما هم يكرمونهم واذا ريش قبحا اليه ساجدا له قايلا ان ابني
ماته الان لكن تعال وضع يدك عليها فتحيا فقام يسوع وتبعه
تلاميذه ويخافون الذهب يفسر قال لماذا قال ان اجل ابنت
الاركون انها كانت قاربت الموت ومتي يقول ان ابنتي ماته الان
ومر قصه يقول ان ابنتي قاربه الموت ولكن لا يشك في هذا ايها العاقل
لان بابا التجاريه اتى الي الرب وهي في الموت لقول لوقا ومر قصه يقول
قلما اتى يسوع وكان يجا طبه علي الحال التي تكافئها لانه كان
مويس منها انها قد ماته قال لذلك ان ابنتي قد ماتت الان لتحنن
عليها ولكن الذي يعرف الخفايا هو الله لما نظر امانته قام ومشى
معه

معه ولجيا التجاريه فان كنت تريد تعرف تفسير هذا المعاني روحانيا
اسمع ان ذلك الاركون هو شبه ادم الذي جعله الله ريشا علي جميع
الخليقه وتاويل انه يشبه ادم الذي ازال الموت المعصيه لما اتى
المخلص اقال غمرت ادم ورد حربه الي فرح والسمع لله دائما

✠ قصه الفصح السابع عشر ✠

واذا امره ان كان مما يفر من داثني عشر سنة جات من خلفه
ومت طرقي ثوبه لانها كانت تقول في تنسها اني ان لمست طرف
ثوبه فقط تحلصت فالتفت يسوع فراها وقال تقوي يا ابنتي
ايانك خلصك فبرأت المراه من تلك الساعة وجا يسوع الي بيت
الربيس فراي الزمار ولجمع مرتجين فقال لهم خذوا فان الصبيه
لمت لكنها نايحه فكانوا يفحكون منه ولما خرج لجمع دخل
وامسك بيدها فقامت الصبيه وشاع خبرها في جميع تلك الارض
التفسير ان نظرا لظرفيما قاله مر قصه لوقا وما قاله متي في
امر هذه المراه فمتي اقتصر خبرها وكان القصد منه حكاية امر
المجبره التي صنعها السيد في روحها فقط وتركنا بين ذلك فلا

عجيب في ان البشرين قالان ان الشيطان قد قتل من قبل ان المراه
خافت ومن شدت رعبها اخبرت عن نفسها فعند ذلك قال لها ايمانك
خلصك بوحنا في الرب فترى انك انك الامراه انما في الدمار
معناها لمعنا ادم لان دم الخطية كان يذوق منه وقت كانت تحت لعنة
وهذا ايضا انها الحبيب خاصية الكلمة المتجسد لما لامست الطيبه
طوقه الذي هو لتصاقها به بالمعويه المقدسه التي هي المسيح الاله

قصة الاصحاح الثامن عشر

فلما خرج يسوع من هناك تبعه اعميان صم اخوان قايلا ان احنا يا ابن
داود فلما دخل البيت دنا منه الاعميان فقال لهما يسوع اقول لهما اقول
انني اقدر ان افعل هذا فقالا له نعم يا ربنا حينئذ لمس اعينهما قايلا
كايانا نكون لكما فانفتحت اعينهما فارها يسوع قايلا ابصرا
ان لا تعلم احد واما هما فخرجا واسعا ذلك في جميع تلك الارض
التفسير يجب ان ننظر كثر رحمت السيد للبشر لان سؤاله
انما كان للاعميان كي يظهر ايمانهم اقرارها لانه احب ان يبين
لمن حضرايمانها ليعلموا ان قوت الايمان عظيمه ثم اتبع اقرارها
بالايمان شفاعيها حتي استند الحاضرون علي قدرته وعلي
قوت

٥٤

قوت ايمان المكفوفين البصر فاما قوله لا تعلم احد هذا كان ليعني
ان يقوله كيلا يظنوا به انه صنع هذا طلبا للرياء والفخر فاما الاعميا
فانهم افكر افكر احسنا او قالوا ان شكر المنعم واجب ففعل ما يجب عليهما
وذلك انهما من كثر شروها طفقوا يطوفان الامكنه فوجلا في
الارض ويدعيان امر شافيهما ويظهران قدرته ولزما ان السيد لم يامر
بكتمان ذلك علمه بانها شيجران به الا ليعني عنه التوهم كما لا
يقال انه الذي يحمل الذين يبرمج علي ان يشهروا امره بوحنا في الرب
الذي يبرمج ان الرب يطلب حجة الامانه فان كان يري ان
الانسان امانه مستقيم ولا يشك ان الذي هو يعلم الغيب وحده وما
تخفي الصدور وهو يراه فكذا كان امر الاعميين والشبح لله ايمانا

قصة الاصحاح التاسع عشر

ولما خرج من هناك قدسوا اليه اخرص جنونا فلما اخرج الشيطان
تكلل اخرص فتعجب الجمع قائلين لم يظهر قط هكذا في اسرائيل
فقال الا جاران به رب يسوع الشياطين يخرج الشياطين وكان
يسوع يطوف جميع المدن والقرى ويعلم في مجامعهم وينادي بشري

٥٥

الملوك ويشفي كل مرض وكل وجع فلما راي يسوع الجمع تحزن عليهم
 لانهم كانوا ضالين بطريق كنتم لا راعي لها فقال حينئذ لتلاميذه ان
 احصوا لكثيرا والفعله قليل فاطلبوا الي رب الحصاد ان يخرج فعله
 لحصاده التقشير معكم ان هذا الاخره لم يكن اخر فيه موجوا
 قبل ان يعثر به هذا الشيطان وانما لما اعتراه اضاع دهنه واعتقل
 لسانه لما خرج الشيطان منه انطلق لسانه وصح دهنه واما قول
 الفرسيون عنه بعد ما عاينوا الايه المعجزه وتعجبهم منها انه باركون
 الشياطين يخرج الشياطين فذلك كان من انه لا يمكن ان يحسدوا ما
 قد عاينوه في الايه مع مشاهدت الجمع فاحتالوا في هذه المقالة لكي
 يشكوا الجمع فيه فاما جولانه في المدن والقرى فهو لياخذ الذين
 يجيبون الي دعوته يدخلهم في الايمان ولا تجعل للذين لا يجيبون
 الي الايمان حجة ويعني بشري الملوك الذي كان ينادي بها انها
 الملوك التي بنا لها من بني السموات ولنا كما لروح القدس الذي
 به نصير في انفسنا غير متغيرين وفي اجسامنا غير فاسدين ويكون
 متوانا في السماء الابدية واما قوله في بعض المواضع الذي يكون بكلامه
 فيحيا يناسف هذا الكلام ان ملكوت السما قد اقتربت لاننا في
 مجيئه

٥٥
 طه

بعد قيامنا من

مجيئه نأخذ الموعد الصحيح الصادق وملكوت السما على ضرب
 شتي غير هذا وقد تقدم ذكر تفسيره بديا واما شفا الارواح والوجا
 مع بشيره فقصده بذلك تحقيق البشارة بكثرة الايات والمعجزات
 واما تحننه على الشعب فهو اشفاق عليهم كما دلت المودب الصالح
 الرحيم لان تحننه عليهم كان من رحمته لانهم كانوا معذبين من عدم
 التعليم الذي ينفع انفسهم ولهذا كان حرصه كثيرا على اتباع السيد
 لانهم لما كانوا يشتطيون قبول علم الفضيله منه فقط والثاني
 انهم كانوا قد تعلموا لدسير الطرق وقد نزلوا مفترقين كل قوم منهم
 على جانب كالغمر التي ليس لها راع واما قوله للتلاميذ ان احصوا
 كثير والفعله قليل اي انظروا اما الترهولي الذين يؤمنون وليس
 لهم بعمليهم ما يحب وهم يحاكون انفسهم على هذا التبع لاتباعهم كيتبعوا
 ما ينبغي فتنهوا النصير واعلموا لهم لكي تقصر عناهم ومعني الفعله
 قليل اي انه ليس بقي من ربي غيركم كما قال اوودان الحق قد قل من
 بني البشر واما قوله اطلبوا من رب الحصاد ان يخرج فعله لحصاد
 فاراد ان يبينه التلاميذ بانهم يكونوا رسلا وادارهم لتعليم الناس

٥٦
 ع

يَسْتَعْمَلُونَ الْكَلْبَ وَيَصْرَفُونَ أَمْوَالَهُمْ إِلَى اللَّهِ وَأَيُّهُمُ يَسْلُوكُ فِيمَا
بَيْنَهُمْ رُودًا عَلَى نَفْسِهِ إِنَّهُ رَبُّ الْحَصَادِ بِالْإِيمَانِ لَدَا التَّصَرُّحِ لَا يَنْفِرُ فِي
ذَلِكَ الْوَقْتُ كَأَنَّهُ وَاضِعًا عِزًّا رَأَى كَمَعْرِفَتِهِ عَلَى الْحَقِيقَةِ يُوْحِنَّا فِيهِ
الذَّهَبُ يَفْتَرِقَانِ مِنْ جِلِّ الْمَجْنُونِ الْآخِرُ أَنَّ الشَّيْطَانَ الَّذِي
غَيَّرَ نَفْسَهُ وَعَقْدَ لِسَانِهِ لِيَلَا يَتَكَلَّمَ وَكَذَلِكَ لَمْ يَقْتَضِ أَنْ يَطَالِبَهُ
الرَّبُّ بِالْإِعْتِرَافِ بِالْإِيمَانِ وَكَذَلِكَ الشَّيْطَانُ يَغَيِّرُ نَفْسَهُ لِنَاسٍ
وَيَرْبِطُ الشَّرَّ الْخَلِيقَةِ قَبْلَ آتِيَانِ الرَّبِّ يَسُوعَ الْمَسِيحَ بِالْحَسَدِ لِيَلَا
يَعْتَرِفُوا بِاسْمِ اللَّهِ الَّذِي فِي السَّمَاءِ فَلَمَّا أَنَّ آتَى الرَّبُّ خَرَجَ الشَّيْطَانُ
مِنَ الْبَنَاتِ بِالْمَعْمُودِيَّةِ الَّتِي هِيَ الْمِيلَادُ الثَّانِي الْجَدِيدُ وَلِكَيْمَا تَعْتَرِفَ
الْحَقِيقَةُ كُلُّهَا بِأَجْلِ الْقَمَاعِ وَبِدَلَالَةِ تَنَادِيهِ أَيُّهَا الْمَلِكُ تَوْبَتُهُ يَغَيِّرُ قَوْلَ
مَنْ جِلِّ الْفَرِيسِيِّونَ الَّذِي قَالُوا أَنَّهُ بَارَكُونَ الشَّيَاطِينَ يَخْرِجُ الشَّيَاطِينَ
هَذَا تَجْدِيفٌ عَظِيمٌ إِذَا قَالُوا لِحَدَانِ الْمَسِيحِ يَخْرِجُ الشَّيَاطِينَ بِمَا عَمَلُ
زَبُولِ رَيْسِ الشَّيَاطِينَ شَبْهَ هَذَا لَمْ يَكُنْ يَتَعَرَّفُ مَوْتَ الْمَسِيحِ وَقِيَامَتَهُ
قَبْلَ أَنْ يَفْتَرِقَ الْحَصَادَ كَثِيرًا لِفَعْلِهِ قَلِيلًا فَالْحَصَادُ هُوَ لِحْتِمَاحِ الْأَمِّ
مَنْ قَطَارَ الْأَرْضِ بَشَرِيًّا لِجِيلِ الْمُقَدَّسِينَ وَالْفَعْلَةُ هِيَ التَّلَامِيذُ
الْقَدِيسُونَ يَقُولُ أَنْفَرُ قَلِيلٌ مِنْ أَجْلِ قَلْتِ عَدَدِهِمْ عِنْدَ لَثَرِ الْخَلْقِ
الَّذِينَ

الَّذِينَ لَيْسَ لِعَدَدِ الَّذِينَ يَرُدُّونَهُمْ إِلَى الْإِيمَانِ مِنْ أَقْطَارِ الْأَرْضِ كُلِّهَا

قَصْرُ الْأَصْحَاحِ الْفَتْحِ

ثُمَّ أَسْتَدْعَى تِلَامِيذَهُ الْآثَنِي عَشَرَ فَأَعْلَمَهُمْ سُلْطَانًا عَلَى الْأَرْوَاحِ النَجِسَةِ
حَتَّى يَخْرُجُوا وَيَسْغُوا كُلَّ مَرَضٍ وَجَعٍ وَهَذِهِ أَسْمَاءُ الْآثَنِي عَشَرَ
رَسُولًا الْأَوَّلُ سَمْعَانُ الَّذِي يَدْعَى الصَّخْرَةَ وَانْدَرَاوُسُ أَخُوهُ وَيَعْقُوبُ
ابْنُ زَبْدِي وَيُوْحَنَّا أَخُوهُ وَفِيلِبُّسُ وَبَرْثُولَمَاوُسُ وَتُومَاسُ وَمَتَّى
الْعَشَارُ وَيَعْقُوبُ بْنُ حَلْفَايَ وَلَبَّا الَّذِي يَدْعَى تَدَاوُسُ وَسَمْعَانُ
الْقَنَانِيُّ وَيَهُوذَا الْأَشْخُرُوطِيُّ أَلِ الَّذِي يُسَمَّى هُولَا الْآثَنِي عَشَرَ
أَرْسَلَهُمْ يَسُوعُ وَأَوْصَاهُمْ قَائِلًا لَا تَنْتَشَلُوا طَرِيقَ الْأَمِّ وَلَا تَدْخُلُوا
مَدِينَةَ السَّامِرَةِ وَأَنْظِلُوا إِلَى الْخَرِافِاطِ لَه مِنْ بَيْتِ إِسْرَائِيلَ
أَحْرَى وَإِذَا دَهَبْتُمْ فَبَشِّرُوا قَائِلِينَ قَدْ اقْتَرَبَتْ مَمْلُوكَاتُ السَّمَوَاتِ
وَأَسْغُوا الْمَرْضَى وَاقْبِضُوا الْمَوْتَى وَطَهِّرُوا الْبَرْصَ وَخْرِجُوا الشَّيَاطِينَ
مَجَانًا لَعَدَمِ فَجْأَنَا اعْطُوا وَلَا تَتَسَبَّحُوا دَهْبًا وَلَا فِضَّةً وَلَا خَشَاةً
فِي الْيَاكُسَرِ وَلَا مَزُودًا فِي الطَّرِيقِ وَلَا قُبُورَ الْأَخْفَاءِ وَلَا عَصَاةً فَإِنَّ
الْفَاعِلَ مُسْتَحَقٌّ طَعَامَهُ وَأَيَّةُ مَدِينَةٍ أَوْ قَرْيَةٍ دَخَلْتُمُوهَا فَاسْأَلُوا

فَاعْدَا الْإِنْسَانُ أَهْلَ بَيْتِهِ مِنْ أَحِبَّ أَبَاهُ وَأُمَّهُ الْكَرْمَنِي فَلَمْ يَسْتَحْتَمِ
وَمِنْ أَحِبَّ ابْنَهُ وَأَوْبَتَهُ الْكَرْمَنِي فَهَؤُلَاءِ هَلْ لِي وَمَنْ لَا يَحْمِلُ صَلِيبَهُ
وَيَتَّبِعْنِي فَلَيْسَ يَسْتَحْتَمِ لِي مِنْ مَجْدِ نَفْسِهِ فِي هَذَا أَوَّلَ الَّذِي هَلَكَ
نَفْسُهُ مِنْ أَجْلِ تَجْدِيدِهَا وَمَنْ قَبْلَكَ فَقَدْ قَبْلَنِي وَمَنْ بَعْدَنِي فَقَدْ قَبْلَ الَّذِي
أَرْسَلَنِي وَمَنْ يَقْبَلُ بَنِيًا بِاسْمِ نَبِيِّ يَخْدُجُ رَجُلِي وَمَنْ يَقْبَلُ صَدِيقًا
بِاسْمِ صَدِيقٍ يَخْدُجُ صَدِيقِي وَمَنْ يَسْقِي لَحْدَهَا وَلَا الصَّغَارَ الْمَوْصُوفِينَ
كَاسًا مَارِدًا بِاسْمِ تَلِيدٍ لَكُنْ أَقُولُ لَكَ إِنَّهُ لَنْ يَضِيعَ أَجْرُهُ فِي التَّغْسِيرِ
مَعْلُومٌ أَنَّ ابْنَتَهُ تَلَامِيذَهُ يَدْعُونَ عَلَى اسْمِ الْفَعْلَةِ الَّذِي أَجْرُهُمْ
لِحَصَادَةِ أَيِّ تَعْلِيمٍ النَّاسَ مَا تَحِبُّ وَدَاكُ أَنْتَ تَنْتَجِبُهُمْ مِثْلَ الْفَعْلَةِ
الْمَلَايِمِينَ لِلْحَصَادِ لِأَنَّهُ مَتَّبِعُهُ الْقُدْرَةَ وَالسُّلْطَانَ بِأَنْ يَفْعَلُوا مِثْلَ
هَذَا الْآيَاتِ وَهَذَا هُوَ الْفَرْقُ بَيْنَ السَّيِّدِ الْمَسِيحِ وَبَيْنَ الْأَنْبِيَاءِ وَهُوَ أَنْ
أَوَّلًا لَمْ يَسْتَطِيعُوا أَنْ يَفْعَلُوا الْقُدْرَةَ الْمَوْجُودَةَ فِيهِمْ بَعْدَ مَرِّهِمْ مِنْ أَجْلِ
أَنْتَ تَحْتَ الْحَجَرِ وَتَسَيِّدُ أَنْفُسَهُمْ لَكَ وَالْحَجَرُ عَلَيْهِ فِي سُلْطَانِهِ وَقُدْرَتِهِ
وَكُنْتَ عَظِيمَتُهُ لَمْ يَفْعَلُوا مِثْلَ الْفَعْلَةِ وَالسَّيِّدُ لَمْ يَقُولْ لَمْ يَقَعْ اخْتِيَارُ السَّيِّدِ
عَلَى ابْنِي عَشْرَ تَلَامِيذٍ وَقَدْ كَانَ يَحِبُّهُ تَلَامِيذُ كَثِيرَةٍ وَقَدْ كَانَ يَمْلِكُهُ أَنْ
يَكُونُوا

يَكُونُوا عَشْرَةً أَوْ عَشْرِينَ فَيَقَالُ إِنَّ السَّيِّدَ لَمْ يَفْعَلْ شَيْئًا أَوَّلَهُ فِي لَحْدِهَا
وَذَا أَنَّ عِدَّةَ ابْنِي عَشْرَ كَانَ عِنْدَ نَبِيِّ إِسْرَائِيلَ شَرِيفًا وَعَلَيْهِ كَانَ
عِدَّةُ سَبَاطِطِهِ وَهُوَ أَيْضًا عِدَّةُ الْحَجَرِ الَّذِي أَخَذَهَا يَسُوعُ ابْنُ نَوْنٍ مِنَ
الْأَرْدَنِ وَأَنَّهُ عَلَيْهِ سَابِقُ الْفَرَسِ الَّذِينَ يَجْلِسُونَ فِي الْخُرَّةِ وَيَدِينُونَ
ابْنِي عَشْرَ سَبَاطِطِ إِسْرَائِيلَ كَأَوْعَدُهُ وَمَعَ هَذَا أَنْ تَحْبَبْتُمْ قَدِيمَهُ
مَعَهُ الْكَرْمَنِي غَيْرُهُ وَقَدْ شَهِدُوا بِجَمِيعِ الْآيَاتِ وَالْمَجْرَاتِ الَّتِي صَنَعَهَا
السَّيِّدُ لِيَكُونَ فَعْلُهُمْ كَفَعْلِهِ بَتَقَهُ وَآيَانَهُ وَيَحْكُمُ السَّيِّدُ وَيَقُولُ أَهْلُ
كَانَ التَّلَامِيذُ كَمَا مَلِكٍ عِنْدَهُمَا اسْتَدْعَاهُمْ كَمَا كَانُوا نَاقِصِينَ فَيَقَالُ إِنَّ
التَّلَامِيذَ لَمْ يَكُونُوا إِلَّا بَعْدَ قِيَامَةِ سَيِّدِنَا وَحُلُولِ رُوحِ الْقُدُسِ عَلَيْهِمْ
وَأَمَّا اعْطَاهُمْ هَذَا السُّلْطَانَ وَأَنْ يَكُونَ فَعْلُهُمْ بِطَلَبِ تَضَرُّعٍ كَمَا
قَدْ تَقَدَّمَ الْقَوْلُ بَيِّنًا فِي تَفْسِيرِ طَلَبِ أَوْ رَبِّ الْحَصَادِ أَنْ تَخْرُجَ الْفَعْلَةُ
لِحَصَادِهِ وَهُوَ أَنْ يَسْتَعْمِلُوا الطَّلَبَ وَيَضِيعُوا أَوْ هَرَالِ الْبَيْتِ
وَأَيَّاهُ يَسْلُونَهُ مَا يَنْقُصُهُمْ فَمَا بَعْدَ حُلُولِ رُوحِ الْقُدُسِ عَلَيْهِمْ
فَكَانَ النَّاسُ يَخْرُجُونَ الْمَرْغِي وَالْمُسْتَقْوِينَ وَالَّذِينَ هُمَا أَصْنَافُ
الْأَجْعَالِ وَيَجْعَلُونَ عَلَى الطَّرِيقِ الَّتِي يَفْعَلُهَا التَّلَامِيذُ حَتَّى إِذَا

عبروا للتلاميذ عليهم اي مريض وقع ظلمه عليه بزي لوقته من عقلت
فاما قبل قيام السيد فكانوا غير واقفين انفسهم من انهم تحت الامر
ناقصين وذليل ذلك قول الكتاب افرقدوا الي السيد بجونا يعذب في
رووس الاله قد عجز التلاميذ عن شفايه فاخرج الشيطان منه وبرأ
الفتا لوقته فقال له التلاميذ لماذا لم تعد نحن ان نخرجه فقال لهم
من اجل قلت ايمانكم ثم قال لهم بعد ان هذا الجسد لا يخرج بشي الا
بالصوم والصلاه ويجب ان نعلم ان قبل ظهور السيد على الارض مثانشاء
لم يقدر احد من الانبياء والصدقيين على طرد الشياطين من البشر
بل هو اول من اخرج الشياطين من الناس وان داود بترمه عنه عند
شاوول لم يخرج الشيطان منه بل كان يشكر عاديته عنه والدليل
على ذلك ان الشيطان كان يعاود لشاوول وللشاييل ان يقول ان متي
لما ذكر دعوت التلاميذ في بشارته بدا لم يذكر سوى خمسة وهم سمعان
واندراوس ويعقوب ويوحنا ومتي نفسه وقد ذكر الاثني عشر بعد ذلك
فيقال ان السيد لما انتخب من التلاميذ اثني عشر لم ينتخبهم الا من
جماعه كبيره كانت نصيحه فلوان البشير ذكر السبعه الاخر وقت
دعوتهم لم تكنه ذلك وكان يضطر الي ذكر جميعهم كان يصحبه
ومتلذاه

ومتلذاه وكان في هذا عن امر غير فايده وما يخص عنه ويقال ان هو
السبب الموجب لخلاف المبشرين في ترتيب الرسل وذلك ان متي ولوقا
اتفقت شهادت بشارتهما بان اندراوس بعد سمعان فكان ثانيا واما
مرقص فانه قدم عليه يعقوب ويوحنا ابن زبدي وهذا صار في بشار
رايها فيقال ان متي ولوقا لم يقصدا في ترتيب التلاميذ الا على حسب
الدعوه ولا ايضا على حسب الفضيله بل انما قصدوا ان يجمعوا بني كل
سبط الي شعبهم وذلك ان سمعان واندراوس من سبط يفتالي فجمعاه
بينهم ويعقوب ويوحنا من سبط زابلون فجمعاه بينهم وفيلبس
وبرتلوماوس من سبط اشير فجمعاه بينهم فاما مرقس فانه كان قصد
ترتيب الرسل على حسب الفضيله ولا يشك في ان يعقوب ويوحنا
تقدما في الفضيله اكثر من اندراوس فقد هم عليه واما السبعه الاخر
فكان كل واحد منهم من سبط لان متي من سبط ايساخره وتوما من
سبط يهودا ويعقوب بن جلفاس سبط منشا وتداوس وهو يهودا
ابن يعقوب من سبط شمعون وسمعان القناني وهو الغيور من سبط
من سبط افرايم ويهودا الاسخريوطي من سبط روبيل وما يخص
عنه ويقال ايضا ان مرقس ولوقا اتفقت شهادتهما على ان متي سابع

ونوماً تاماً من ومتي كتب في بشارته ان توما شابع وهو نفسه تاماً من فان قيل
ان هذا كلبه من اجل اقصائه فقد كان ملكه اذا كان قاصداً لاخطا ط ان
ان يجعل نفسه اخر الرسل جميعها فيقال ان التقدمه لم يعل على توما من
عدت وجوه لانه اكرمته في الشرف وفي الدعوة وايضا في الفضيله كما قال
البشير ان مرقس لوقا والسبب الذي اوجبان متى قدم توما على نفسه دون
غيره من التلاميذ هو ان السيد كان قد ارسل التلاميذ اثنين اثنين ليقتصد
بعضهم بعضاً فكان متى وتوما رفعا فقصده في الخضوع لصاحبه فقدمه
على نفسه وما فنع هذا حتى نفت نفسه بالفسار ليجري شيرته الاولى
ويصف حمة الله ورافته بالخطاة اذا رجعوا هم عن خطاياهم وللشاييل
ان يقولوا السبب الذي به اتفق متى ومرقس في بشارتها ان سمعان
القناني وهو الغيور حادي عشر وقديما عليه تداووس الذي اسمه لسا
واسمه يهودا ابن يعقوب ولوقا في بشارته قال ان سمعان القناني عاشر
وتداووس بعده فيقال ان التقدمه لتداووس بالدعوة والفضيله كما قال
البشير ان متى ومرقس السبب الذي من اجله قدم البشير لوقا سمعان
القناني عليه ارايد ذلك ان يجمع بينه وبين يعقوب ابن حلفاء لان
يعقوب ابن حلفاء من شبط منشا وسمعان القناني من شبط افرام
ولا

وليسك في ان افرام ومنساها ولدي يوسف فان ادبوقا
ان يحفظ نسبتها ليوسوع ولديه فهو ارتفاع تحليل ما يظن لظان
ان بين المبشرين فيما قالوه تضاد وخلاف والذي ان علمه ان الذي
اتفقت اسماءهم من الرسل ستة وهم سمعان الصفا وسمعان الغيور ويعقوب
ابن زبدي ويعقوب ابن حلفاء ويهودا ابن يعقوب ويهودا الاشخري
ولفظت التلاميذ واقعة على المتعلمين ولفظت الرسل واقعة على
المبشرين لتعليم الناس واز اثنين من الرسل كانا على التفسير وقفا
متي ويعقوب ابن حلفاء ولما قوله لا تشكوا طريق الامم ولا تدخلوا
مدينت السامرة معلوم ان هذه الوصية امرهم السيد كخظما
ما دام معهم السيد يحول في الارض فقط والدليل على ذلك ان
بعد قيامته قال لهم اذهبوا الان وتلمذوا كل الامم وعمدوا
والامم الذين آمنوا ان لا تشكوا في طريقهم هم الوسيون
السلجودون للصنام والسامرة هي فرقة من بني اسرائيل
اتخذت لها سنة من ذاتها منفردة ومن جعلتها امارا وقصت
جميع الانبياء ما خلا موسى حيث قصارت عند اليهود عنك

الذين في هذا العالم لا يتقبلوا اجرة عن ذلك والقصد بهذا التاكيد ان يتباعدا
عن جميع المقنيات وان يرفضوا محبتها من قلوبهم لان محبة المال
هي اصل جميع البلاء كما قال الرسول وان تكون غايتهم
في ما يفعلونه الايمان بالمسيح حب وان لا يقتلوا عن الاهل
بالعالميات وحي ايضا لا يتبعون بهت الناموس الذين
يخذلون المؤمنين عن العلم بالمال وحي لا يتبعوا للاغنياء وان كانوا
لا يستحقون وتحرم الفقر والمساكين الذين يستحقون وحي
ايضا تمت فيهم القوة والتأييد فانه لا ثبات لقوت الله وتأييد
في البشر مع محبة المال وجميعه وقوله لا تدنوا ذهباً ولا فضة
ولا خاشا يعني بذلك ان لا تأخذوا من اولئك الذين يكونون عندهم
شيء ولا مصلحة الطريق ولا تباين ولا دوافع وحي في الغلوس
ليكنهم عن التطرق الى جمع المال لضرب من الضرر بل يبتعدوا
عن نفوسهم محبة التي هي حجابهم مجري المرفق لان الغايه لهم
في هذا ظاهر واذ لك هم يستقنون عن الطلوع يكونون همتهم
ايضا مضمرة فيه بما يرى الله وان لا يشغلهم ايضا شاغل عن
البشري واعتمادها هم بضد وقوله لا تقتنوا من دكاني

الذين في هذا العالم لا يتقبلوا اجرة عن ذلك والقصد بهذا التاكيد ان يتباعدا
عن جميع المقنيات وان يرفضوا محبتها من قلوبهم لان محبة المال
هي اصل جميع البلاء كما قال الرسول وان تكون غايتهم
في ما يفعلونه الايمان بالمسيح حب وان لا يقتلوا عن الاهل
بالعالميات وحي ايضا لا يتبعون بهت الناموس الذين
يخذلون المؤمنين عن العلم بالمال وحي لا يتبعوا للاغنياء وان كانوا
لا يستحقون وتحرم الفقر والمساكين الذين يستحقون وحي
ايضا تمت فيهم القوة والتأييد فانه لا ثبات لقوت الله وتأييد
في البشر مع محبة المال وجميعه وقوله لا تدنوا ذهباً ولا فضة
ولا خاشا يعني بذلك ان لا تأخذوا من اولئك الذين يكونون عندهم
شيء ولا مصلحة الطريق ولا تباين ولا دوافع وحي في الغلوس
ليكنهم عن التطرق الى جمع المال لضرب من الضرر بل يبتعدوا
عن نفوسهم محبة التي هي حجابهم مجري المرفق لان الغايه لهم
في هذا ظاهر واذ لك هم يستقنون عن الطلوع يكونون همتهم
ايضا مضمرة فيه بما يرى الله وان لا يشغلهم ايضا شاغل عن
البشري واعتمادها هم بضد وقوله لا تقتنوا من دكاني

الطريق ولا توبين ولا خفا ولا عصا والفاعل شحط طعامه
يعني بذلك مسافة سفرهم الى الان وعودتهم الى قريته والذي
الان تنفقون به من كروا البر ويكني الى حين عودكم وسان
الذي تبشرون فيه اذا استحقتم من اعظامكم منه كما يجب للفعلة
لان الفاعل اذا احدث في هذه الدنيا قوته فغيبه كفايه وبكافاته
بالخشي يكون في الاخرة والمسائل ان يقول ان لا يقد مضع
من ان يكثر ولا ذبا وفضة او خاشا وهذا من الممكن واما منعه
من التياب والاحدية والعضا فان ذلك من غير الممكن لان الطبيعة
البشرية ضعيفة عن مسافة الاسفار على هذا الحكم وقد شهدت
الكتب ان امر الرسول كان تجري على غير هذه النظام لان بطرس
كان له ثياب وحده وذلك ان الملاك قال له اليس فعلك الخش
بنيابك وبواصل ايضا قد كان له ثياب وكتب انه قبل له طيبه
من افلسفائين وشكرهم على عظيمتهم والسيد الذي هو
صاحب الوصية قد كان له صندوق وفيه ما لا يتوفر ودليل
ذلك انه قال للتلاميذ اعطوا الجمع ما ياكلون فقد صرح بالاحوال
تخالف الوصية فيقال في ذلك ان السيد لم يمنع من اقامته
الحمد

الحسد والجداب ما لا بد منه لا قايمة بل انه منهم من الاحتشاد
جمع المان وهذه الوصية التي اوصاها التلاميذ فلما احدث
حدا عند سألهم لفيما بعد ذلك لان قراين لاحوا كما كنت
تفتي تلك الوصية لعلت اشيا لولا الله ان سلم الى امة اليهود
خاصة لبشروا فيهم ويطهروا المعجزات لهم حتى يحسن في
فوتهم من اعانة لهم وتغبط قدرته عندهم ثم يعرفون انه لا
يقد احد يعطي لرسله هذا السلطان الا الله قادر فيعودون
عن ظلال التهم ويدخلون في الايمان ويدعون الاقرار بانه باعث
موتى وغيره من الانبياء اليهم ولما كان يعلم منهم سرعة التغير
والانقلاب ومضاد الحق اراد ان يكون لرسول عليهم
تكميل ولا مستقبل حتى ولا في عصا تاخذونها منهم ويكلا يقولوا ان
هو لا يامر وانترك الدنيا وينهون فيها اطلب الاخرة ونراهم
مجتهدين في تحصيل ما هو للدنيا لا غيرها ولان ايضا ان التلاميذ
لم يكونوا متكاملين في ذلك الوقت كما قد تقدم القول يدانوا
كان اطاوهم ان يحدوا التياب وما يحرق جراحها الكاتبة انما كان هم
قد اعتدت انما هو اكثر من ذلك وصار لهم ما يشغلهم عن الامر الذي

بعضهم بسببه لأن الكتاب يقول لا تأخذوا الرشا فان الرشا يعني
عيون العلماء الحق ويريد الاقوال العادله والثالث انه أراد بان
تكون التلاميذ من انفسهم ظاهره بين اليهودي بحسن التنا والوصاف
والثبت في جميع امورهم وذلك انه لم يكونوا في ذلك الوقت كالميلين
وكأنواع ذلك مستجدين في الرشا له لانه لم يجرى له من ذلك سابقه
فمن ان لسان التي يكونوا ايضا مستجدين وشاقه على من
ليس بعدها ولا له ايضا انشأها وانه اذا كان مع هذا سبب اخر
اقتضاه الى ان التلاميذ يمشون من اهل الكليش والحفة
والرابع انه اراد ان يقطع السب الذي يتولد منه حيا لما كان قد
تقدم في تعليمه بديا في غير ذلك وذلك قال من نظر الى امره
واستحاما وقد زنا بها في قلبه ثم قال من يقول اخيه يا اخي
فقد وجبت عليه نار جهنم اى التي يجب على القاتل ان يشتموه
هي سب لزناءوا الشتم هو سب القتل فاراد جادا الوصيه ان
يقطع السب الذي يتولد منه حيا لما كان وقوله اى مدينه او قريه
دخلتموها المحصورون من يستحقكم وكونوا هناك حتى تخرجوا
يعني انه قد يجب على المؤمنين ان لا يتركوا بالقرى من الاماكن
المتهمه

المتهمه بالقبض والرديله شيئا ان يكونوا من اهل العلم والتعليم
وان يتعدوا عنهما كيلا يصيروا شكا غيرهم فان قسح
اختيارهم على النزول بمكان مختار عند من يوسوسا صلاح فيهم
به الى حين الرحيل كيلا يكون تبدلهم شيئا للقلوب الرحيل وقوله
اذا دخلتم الى البيت فسلموا عليه فان كان البيت مستحيا لسلامكم
فهو محل عليه وان كان لا يستحق فسلامكم راجع اليكم يعني بذلك ان
يجب على الناس ان يكونوا كلامهم صالحا لان الكلام الطيب
هو راسل الود كما ان الكلام الردي هو اصل البغض قال البيت الذي
تدخلون فيه لا تدخلوا فحصى من بغاضيل الجوار المعين به
لانه قد يمكن ان يكون منهم لاجبار والاشارة فايدوا انتم بركات
فيه واما الذي يشتمكم فما ينتفع من ذلك شيء وتعود البركات
التي ارسلتموها اليه راجعه اليكم وقوله ومن لا يغيبكم ولا يسمع
كلامكم فلا يخرجكم من البيت او تلك المدينه انفضوا غبار ارجلكم
فالحق اقول لكم ان لا ترضى شادوم وغامورا لوجه في يوم الدين
التر من تلك المدينه معني هذا القول ان الغبار الذي يكون على
ارجلكم منه ما هو علامه عن ثقب الطريق التي احتملوه من اجل

اوليك حتى ينسفهم ويرشدوهم الى الحق وليصنوا الايات
 والمعجزات حتى يجمعوا بها بشرهم ولم يجيبوا الى عظم بعد
 ذلك ومنه ما تصبوا لهم من غير ان يحلموا من منتهى الذي قد
 تنجز بوطيئهم عليه وقوله لهم انفضوا القبار من اجلكم فهو لئلا
 الاول الى انه شهداه على الذي يقبلكم كما تعبت لمنفعتهم ورثته
 ولم يجيب الى ذلك والتاني انكم تطعمون اجسامكم من بلاست
 تلك الارض النجسة لانه قد بين ان الارض سادوم وغاموس
 لم يات اليها بشير مثلكم ولا شهيد فيها من عمل ايه ولا معجزة
 فواجبان تكون راحتهما اكثر من تلك المدينة لان سدوم وعمورة
 امطر الله عليهما كبريتا وانا اراهم عندهم من السماء فاحرقوا حتى لباة
 كما شهد الكتاب فقد اخذ الله منها الفصل في هذه الدنيا
 وعذبتهما الشياطين بعد ذلك بعدد الجحيم فها يكونان يوم
 العرض اكثر راحة من تلك المدينة التي بمشاربكم ترجع عن
 الظلالة ولم تنتعاص في هذه الدنيا بشيء ولما قول
 هوذا انا مرسلكم كالخراف من الديات ارا هذا ان يحسن في
 نفوس التلاميذ وجميع المؤمنين انهم يكونون في هذا العالم
 مثل

لعله في غير الدين كما يكون تلك المدينة وذلك ان الارض سادوم وغاموس

مثل الهدف وجميع المؤمنين انهم يكونون في هذا العالم مثل
 الهدف لجميع البلايا والشرو من كل قبائل الارض وانكم اذا صتم
 بشل هذا لا تحسوا في اذنية احد من خلق الله بسبب من الاسباب
 وذلك ان الخروف حيوان طاهر وليس له اذنية الى شيء من الحيوان
 ولا هو منتم بحيلة علي ذلك ترى اعداه كثيرة انواعها وهو مقصود
 من لكل لا يقتل واي من فجه منتم به ليدله من قتله ولو كان له
 شبح يعنيه من كل جهة فوطنوا نفوسكم على مثل ذلك وقوله
 كونوا احكاما كالحيه وودعا كالحمار اي اني ليت اريد ان لا تكونوا
 بغير حية وان يكون كل شيء تفعلونه في محبة بترتيب وحكمة
 فان الحية من شائها اذا اطلبت وشغطت بدلت يدها
 كله للبلايا وسرت خطاياها واسنها فقط اي انكم تصبرون
 من اجل محبة علي كل بلية فانها راس جميع الخيرات وتبليهن
 ايضا بالحمار في المحبة والصبر وترك الحقد وذا كان الحمار
 اذا اخذ في راحها عشتت في موضعها بعينه محبة وصبر
 اي اصبروا اذا اضربكم الاعداء وان لو ابركم كل عذاب ولا
 تتباعدوا عنهم حتى يحيلوهم الى لغضيله بالقول والعلم

وقوله احذروا من الناس فانهم يسلمونكم الى المحافل وفي مجامعهم
يضربونكم ويهدمونكم الى القواد والمواك من اجل بيعة الله ولما بين
لهم هذا القول انه قد يجب ان يحلوا مكر الاعدا اذ امرهم ويحرموا
على الرجعة منه اذ قد تزلزل اليهود سوف يزلون بكر الى ذلك
ويهدونكم الى لولة والموت وانه ليس يصيبكم هذا فقط بل سوف
يصيبكم مصائب شديدة هذا اذا اندثر الامم وبشرى باسمي فيبيته وقوله
اذا ما اسلموكم فلا تخفوا بما تقولوا فانكم تقطعون في تلك الساعة
ما تتكلمون به ولست انتم المتكلمين لكن روح ابيكم يتكلم فيكم
اراد بهذا القول تعزيتهم وتشجيعهم من اجل انهم كانوا يعرفون
نفوسهم الجبر وقت العلم والحجة فيما يشاؤون عنه اي انكم لا تفتأوا
عند مقاسات الشدايد ولا تظنوا ان الامر اهل ان يهيم له بحجة
لانكم تستعطفون بصفة الروح التي تعلمكم ما ينبغي ان تحجوا به
وكذلك ان حين قبل الحواريون عطيت الروح القدس بعد صعود
السيد وبعثوا على القول والفعل واحتمال الاذى وقوله
يسلم الاخ اخاه الى الموت والابنة وتقوم الابناء على ابيهم
فيقتلوه ويكونوا مبغضين من كل من اجل اسمي والذي يصبر
الي

الى المستعصمات يخلصن فحينئذ يعلم ان السيد بعد تعزيتهم وتقوية قلوبهم
استمع وجعل يوصي الشدايد الذي تاتي عليهم وعظمها من اجل ان
لحق وان قاربوا وليام يصيرون اعداء وتعاينوا اشد عدوة
وعلى الجملة ان جهادهم يكون من الكل بسبب الذين فالذي يحتمل هذه
البلاء ويصبر الى الموت هذا يكون اهل الحياة الدائمة في الملكوت
السماوية ويكون له ذات البنين في الخيرات لمعه فيها وقوله
اذا طردوكم من هذه المدينة فاهربوا الى اخرى لحي اقول لكم انكم لا
تكمون مدائن اسرائيل حتى ياتي ابن الانسان اراد بهذا القول انكم
الرسول ما يفعلونه في الرثالة الاولى التي هي قبل القيامة لانه وصف
لهم الشدايد التي تنزلهم بعد قيامته ثم وعدهم على صبرهم ثم عاد الى
النسق الاول فقال ان كل خطية من اليهود وظنوك من مدينة
فعلكم بالفرار الى اخرى واعلموا علما يقينا اني سالحكم قتل ان
تجولوا مدائن اليهود كلها واراد بهذا القول التقوية قلوبهم من اجل
انهم لم يلبثوا الى المكان وكان هذا الرثالة هي بداية تعزيتهم لان
السيد كان لهم كما انهم الحكيم الذي يريد تدب اليه باثنين
يتبعونه فوعدهم انه سيدلهم قبل ان تعزهم الشدة وقوله ليس تلميذ

أفضل من معلمه ولا عبدا أفضل من سيده بحسب التلميذ ان يكون
مثل معلمه ولا عبدا مثل سيده ان كانوا اسموا رب البيت باعل زبول فكم
بالحري اهل بيته فلا تخافوا هذا القول ان يعرفهم عزرا
جامعا علي ما قرؤ علي ما هو مستعد وسوفي اليهم يشتاقا بعد
قيامته قال ان التلميذ ما دام في التعليم فليكون افضل من معلمه
وحسبه ان يكون مثله فان صار افضل من معلمه حينئذ ليس هو تلميذ
ولا متعلم بل انه يكون معلما لا فاداهوا التعليم فليس من الممكن
ان يفوق معلمه ولا للعبدا ايضا علي هذا القياس ان يفوق سيده
ما دام عبدا يعني بذلك انكم تلاميذي ودوني في الدارين وقد قالوا
الي اخرج الشياطين بباعل زبول وليس شتم انتم هذا انهم
متأولون في شأخه ثم افتروا علي الله الذي انا اخرج الشياطين بروحي
قدسة وسموه باعل زبول ان الشياطين فاذا فكرتم في هذا
فاكتفوا من لعل انفسهم علي الله ولا تخافوا فانه ليس من العجب
اذا اضطبرتم علي ذلك لستم منهم خرجتم انتم لم تخرجوا ان يعرفوا
الله بانه هو وقوله ليس خفي الا شيطنا ولا مكتوم الا شيعان الذي
اقوله لكم في الظلمه قولوه في النور وما سمعتموه ابا انكم فاكرزوا
به

به علي السطوح معنى هذا القول الله علم فكر قلوبهم اعني التلاميذ انهم
قبلا الوصية في احتمال الشتم راضين الا انهم موقنين من اجل الشك
الذي يفرز للناس الذين يقولون انهم يقتعدون عن علم دين الحق
ويسعدون انا انما اخرجهم من غير ان يمشي في الاضطهاد اي لا تخافوا
ايضا من هذا فانه وان كثروا ان الاعداء لا يزعج السامعين
فالرب ان يشكرهم في قهرهم ويوضح حقيقة الامر علانية فاحرصوا
ان تتدأولوا تعلمتم مني امام كل الجسد وبينوا اني ما علمتكم اياه الا
لتعلموا لاناس غيركم وقوله لا تخافوا من قتل الجسد ولا يستطيع
ان يقتل النفس خافوا من قتل الجسد ان يهلك النفس والجسد جميعا
في جهنم معنى هذا القول انه وصو لهم هولاء العالم وشدة
الضيق التي يقاسونها من الناس فيه ثم نفق عنهم تلك المخافة
المجتمعة فيهم من اصناف العذاب العالم في مخافة الله المعظم التي
هي اشد من شدة او الرق ان الناس ليس يمكنهم سوى قتل الجسد
واما النفس فلن يهلكها سلطان الله تعالى هو العاد
علي هلاك النفس والجسد حيث يشاء لعذاب لتلاميذ المولود
دائما فذكروا انتم ان كان يهلككم من الناس قتل الجسد الذي

تلتقي شدة شره فالتدبير له الله بأبدان العصاة وانفسهم من
 العذاب والعقاب هو اشد من العتل باضعاف كثيرة ولرب عهده كعهده
 العقاب لبشري الذي هاهنا بل يطول مقامه طويلا كهديدا وقدين
 الفصل الذي بين جمعة المصابين فقال الاربعاء هذه الدنيا اشد
 القتل ومعناه مفارقة النفس لجسد وهذا هو حتم الارزاع على كافة
 البشر من تقارن غش مجسده بالقتل ففي تقارنه غير قاتل
 غشا لا حرة انه هلاك فالذين يموتون بما بالقتل او غيره فانهم
 رجا البعث اما الجير واما الشر فالذين يهلكون بنار جهنم فليس
 لهم رجا البتة وقوله اليس عصفوران يباعان بفلسن ووالحد
 منهما لا يشتق على الارض ودارات ابيكم وانتم تشعرون
 رويكم محصاه فلا تخافوا فانكم افضل من عصافير كثيرة معنا هذا
 القول انه ضرب لهم مثلا لعصافير التي قيمت ثمنها احقر من
 جميع ما يباع من الحيوان قال اذا كان الله لا يهلكهم ومثل هو لا
 وكذا حقيرة في الحيوان لانه خلقها في البدر لينتفعتم فلا تظنوا
 انتم في نفوسكم انكم امانا تنبئون بالشدايد لان الله يتماثل عنكم
 وانتم اشر فخليقته على الارض واعلموا يقينا ان هذا الصغير
 الرخيص

الرخيص المثل الذي ليس يقع واحد منها في الفخ من دون علم
 الله وارادته فقد وجد علينا ان استطاعنا في نصر فانتا غير شجاع
 مرفوعة عنا وان الله لا يخفي عنه مناشيا الا ان علمه لا يسود
 الى فعل شيء من التصرفات الا الى خير ولا الى شر ولما ارادت
 الله تعالى بسقوط العصفور لانه مندبدا للعالم جعله طعاما
 للبشر وهذا هو دليل المراد بقوله بسقوطه ومعنى شعور رؤسكم
 محصاه فلا تخافوا اي انه قد بلغت بكم عناية الله ان كن يفعل عنكم
 ان عوض لشعرهم من رويكم سكونا فاحوا اذ ايا الشدايد النازلة بكم
 واقنعوا ان رب لكل عظيم العناية بكم لان ليس لها له لكم في قباب
 هذه الدنيا باطلا ان عرضت لكم قسيما مثل هذا بل بعدكم اجرا
 عظيما وثوابا جريلا وقوله لمن يعترف في قدام الناس اعترف
 انا به قدام ابي الذي في السموات اراد هذا القول ان يحصرهم
 على الاقرار به في اوقات الشدايد وان لا يتزعزع ايمانهم به في
 هذا العالم بسبب من الاسباب كيلا ينكروهم في يوم القضا والمدينون
 وليظفروا بالشهادة منه لهم فاراد بقوله قدام الناس اي
 هذه الدنيا وقدام ابيه الذي في السموات يريد به في الاخر

عند الحساب وقوله لا تظنوا اني جيت لالقي على الارض سلامه ما
جيت لالقي سلامه بل سيفا وفاق جيت لافضل اجل من ابيه والانه
من اتمها والعرب من جاتها واعدا الانسان هل بينه يجب علينا
ان نعلم ان سيدنا بعد ان السن لا يهده السلاح على احتمال الشتم
وشجعهم على الاضطهاد في المخرج الشدايد ومنعهم من
الاعتباط بشي في العالم واقترن امورهم حتى جسر على الموت
من اجل محبته فانه بعد ذلك لا يبعد هم انيما من مولفت
الذين لا يجيبون الي الايمان ولا يقبلون الدعوة من قاصم واسلام
كي يحو انفسهم ويعتروا غيرهم على محبة قال ان بشر اي
جددت انفسا كبيرا ويفرق بين الانبياء والاقرباء لان بعضهم
يدخل في الايمان وبعضهم لا يجب اليه فمنها هنا يخرجون
من السلام الي الحرب لان منهم من يريد ان يضاد الحق
بايتار فيلتر ومضادت المؤمنين على ايمانهم بحقه ومنهم من
يريد الحق لشدة رغبته فيه تعظم هارته في الباطل ويضاد
من لا يقول به وهذا الوجه يفرقون والمعنا في ذلك اني انه يجب
عليكم ان تختاروني وتاتوني على كل قريب ونسيب من كل قبلكم
وقواكم

وقواكم ونياكم حتى انفسكم وتعدون انكم في هذه الدنيا اموات من
اجل محبتي لان معنى الموت كاهنا هو قطع الافكار من الامل
والافان والرايات والعتبات والشهوات العالمية فاذا
انتم صليتم فعلمت ذلك هاتر عليكم الدنيا ولزديتم جميع امورها وعرفتم
كيف تنفرون وتسيرون في الفضيلة والمعنا في ان اعدا الانبياء
اهل بيته اي ان ليهودي اذ ارا كثير من الامم الغربية قد اجابوا
الي الايمان بالمسيح فلا يعادهم ولا يشجرهم لكونهم من غير هطة
فاما هوراحدا من اخوانه واقاربه قد تراكنت الفتنة واتخذ
السنه الجديد بدلها فهو كحقيقته يعاديه ويثمنه فعه وقوله
من اجل باواما الذين في يستحقن ومن لا يحمل صليبه ويتبعن
فما يستحقن ومن وجد نفسه فليجدها من اهل نفسه من اهل
بجدها ومن قبلكم فقد قبلن ومن قبلن فقد قبل الذي ارسلن
ومن قبل نبيانا بامر بن فاجر بن فاجر ومن قبل نبيانا بامر صديق
فاجر صديق فاجر بن فاجر بن فاجر ولا الصغار كما من ابارد فقط
بامر تلميذ الحق اقول لكم انه اجره لا يضيع المعنا في هذا انه قال
لهم ينبغي لكم في محبتي ان تتركوا كل شي كالي اب والام والاولاد

وتقدّر ان نفسك بعد ذلك كأنك قد صليت لأن المصلي ما يشاهده
أحد في صليبه من جايه ولا يتعلق به أيضاً من أمور الدنيا بشيء كان
من كانت همته لغوه فأهناً فقد عدم الحياة الدائمة ذات النعيم
من أجل ان غايته إصلاح أمر دنياه فاما الذي يكون همتاً
لحياة الأبدية ونعيم الآخرة الدائم فإنه يهد هذا الدنيا وما
فيها ويبذل نفسه لمقاسات محتما وشدايدها فتصير نفسه
دائمة البقاء في النية الدائمة ليس شيء آخر أعظم واشرف من هذا
تزار إلا بعد هذا الوصايا ان يتوج بالدخول والرتبة التي قد
مارا فيها قال انكم تختبر من لست الناس عند الله في القرب
منه والبعد عنه لأن الذي يقبلكم انما هو يقبل الله وقد صار لكم
واسطة وقد اهلتم ان بواسطتكم تصل البشر على ايديكم الى هذه
المنزلة الرفيعة لأن الذي يكرم واحد باسمه يكرموا ثم صدقت
او باسمه تليده وهو يظن بحسن نيته انه ذاك فعينه فانه اجس
وتوايد لا يضيع لأنه يشارك الذي على اسمه فعل المرام اي من
كان في ذلة ويتقو معه نفعاً بالسوا من كل الاكرام علي
حسب اليه ومحبت النفس قال او اذا كان الانسان لا يقدر علي
اعطاء

اعطاء الاشياء الخطيرة قدرها بقصديده عنها ويكون كملك شيء
شوي ما يارد فيسقيه لبعض الصالحين الذين هم صغار الدين
ومحقورين فيها فقد فعل طاقته بضمير صادق مخلصة فانه
يوجروا على هذا التي الحقيقوا باعظيما واجرا جزيلا لأن
الله تعالى ذكره يجازي بالعظايم عن الحقاير وذاك المحسن
بحجبه الله على اليمن من احسانه بالكثير وجناؤه الذهب
يفسر قال ان من لم يسمي التلايد علي قدر ربحه كل واحد منهم
لأن من اكرم من ربحنا وقبحنا أكبر من يعقوب والنداوون لأن
في التلايد اثنين اسمها يعقوب الواحد ابن زبدي والآخر
ابن جلفاء واستمر اسمها واحد الاول شمعان بطرس والآخر
غمانا وسمي اسمها يهودا الواحد نداوون والآخر الاسخريوطي
فاما يعقوب اخو الرب ويهودا وشمعان ويشطرس اخوت
اجسد فليس هم معدودين في عدت الاثني عشر رسولاً وكذلك
قال روحنا الانجيلي ان من بعد ذلك اني ارب الى كثرناخو هو
واحد واخوته وتلاميذه الاثني عشر وجميعهم الرب واولادهم
لا يسلكوا طريق الحنفا ولا يدخلوا مدينت السامرة ولكن ينطلقوا

خامسة الى اخرا او التفضلة من نوح الى ابيئيل قريش البطرك يفسر
قال لان اليهود يحبان يشرون في الاول انهم الذين كانوا لهم
الميعاد والنبوة والعهد وان المسيح سيخرج منهم من اجل
سوي البطرك يفسر ولذلك عمل المسيح هذا رجاء الى نوح ابيئيل
لان انبياء التلاميذ وشجعهم الى اليهود وتركوهم ويشفون
اعلانهم فاما السامرة فهم معدودين مع الامة وهم سكان في
نحوي بابل وناين عن اليهود وقال للتلاميذ لا تفتنوا فيها ولا
فضة ولا جمعوا في ايمانكم كما ساءوا ولا خلا ولا عسا للطريق
ولا خفا لان الفاعل مستحق طعامه فكيف يقول في لوتان كان له
كيس فليأخذه وكذلك المزود لان ذلك كان اول البشري امرهم الا
يجمعوا بشي سوي بشري لا غير وفي زمان احتماله الالام المخلصة
المحيية حل عنهم ذلك الامر لما قال لهم من كان له كيس او مزود
فليأخذه في زمان التجارب والشدايد والامراض الجسدانية
في هذه المناسبات لا مسالك الجسداني ولا ياتي الى زمان
عند اصلاح والانشكال الذي يودي الى الفضيلة فيبرق يفسر
قال ولان المسيح اراد ان يبعد عنهم جالما ان الله يعلم ان
حب

جالما لم يمنع الانسان من عمل الفضيلة حتى اليسير من الاشياء
امرهم ان لا يقتنوه لئلا يشغلهم في سائر احوالهم وان هذا اليسير
التي في ذلك الزمان امر التلاميذ بها ولم يمنعهم من لقوام التي
يلتفتون به وانا اظن انه قال هذا للتلاميذ لاطهار لا يهتموا
بشي من الاديان الى ان يشربوا بالانجيل المقدس فقط لتكون
الشعوب الذين يشربونهم يهتمون لهم بحاجة اجسادهم فقط لذلك
قال الانجيلي ان الفاعل مستحق طعامه ولما قال الحق اقول لكم
ان الارض وسادوم وعامور الاعداء في يوم الدين اكثر من تلك المدينة
المتقيرة ولان اهل سادوم وعامور المربروا بتلميذ يشربونهم ولا يبنوا
وقدنا التهم العقوبة العظيمة باننا قلنا في الدينونة يرون
الكثيرون الذين لا يقبضون للتلاميذ اذا استمعت انهم استراحوا
اي ليس يحاربون بالاعداء ولكنهم يبعدون ويخفون عنهم ولا يهتم
قدنا الواجب من العذاب يوحنا في الذهب يفسر قال لان النصا
الذين تعدوا وسمعوا كلام الانجيل المقدس ولم يعملوا اعمالا
ملكه يستحقون هاهنا الفضائل شيعة يبنون اكثر من اهل سادوم
لان اولئك لم ينظروا هذه الموهبة العظيمة التي عطيتموها

أيها النصاري وقال أيضا ان الخطاه الذين يكتفون عمل جسدنا
أو تجر به أو فقرا أو شدة فهم راحون في يوم الدين أكثر من أهل تدمر
وغاصر وهو سوف يجدون راحة من أجل إيمانهم بإبن الله وهذا أنا
من سلمكم كل خير أفين للديار فكونوا حذرا لكي لا يورثكم سوء
ثم الذهب ففسدوا لأن الرب يريد من التلاميذ من الناس المؤمنين
ان يجاهدوا عن الأمانة المستقيمة إلى الموت شيئا لا تقطع لكي لا ينجسوا
لنار والموت وجميع العذاب وتحفظ راسها وانتم أيضا هكذا
كونوا مستعدين تقابلون عن الأمانة إلى الموت لأن راس النصاري
حقا إيمانه لأن بغير إيمان لا يستطيع ان يرضي الله وشيئا ان الحماة
هي متأسسة بكل لجة حتى الذين يدجون فرائضها هالدا كونوا انتم
لا تتجأزوا الشر والشهوة ولا اللعن اللعن بل كونوا تباركون
وايضاً تدعون للذي يصطنع اليكم الشر وماذا تأمل انتم وما
تختجون به اذا ما قدمتم إلى الروم والسلاطين من أجل اسمي
وفي موضع آخر قال كونوا مستعدين للجواب لكل من يسألكم
عن الكلام من أجل إيمانكم الصالح فيكم التفسير في هذا الموضع قال
لا تهموا بما تقولون وما تجاوبون في وقت الجهاد للتلاميذ
والشهداء

والشهداء أقدم السلاطين ليلا من خوف العذاب تنقطعون عن
رد الجواب وهو أيضا قال كونوا مستعدين للجواب يعني لخواصنا
وأصدقائنا الذين يسألونا عن الأمانة وكلام العزاء والمخالفين
أيضا مستعدين في كل حين لتحقيق الأمانة عما يسألونا إياه وتيسر
الاجابة إلى الموت والاب ابنه قيرلوس ففسدوا حتى تكون شارة
التلاميذ ضد هذا وليس كذلك ولكن من أجل محبة المسيح تكون
العديسين يرفضون إيمانهم وخوفهم وينهم واقاربهم ويسلمونهم
للمشهادة وسجدوا باقديس كونوا قديسين عابدين للأوقات
يقوموا على إيمانهم ويقفوا مع من جهة الإيمان بالمسيح ولكنه قال من
يصبر إلى المنتهى يخلص وليس من جهاد الشهادة فقط لكن اذا هم
صبروا إلى الانقضاء في التجارب وفي عمل الفقر أو محن وليس هم
مقاربنها فعولا ايضا كلهم يخلصون في يوم الدينونة واذا طردتم
من هذه المدينة فاهربوا إلى الخري قيرلوس ففسدوا ان ابعدت نفس
عنكم كل اسم الذي يشبه الاصططاد من مدينه إلى مدينه واحتمل
الوصية بالاصططاد وتبشروا بالانجيل المقدر لا نفس المؤمنين
فقد ابعدت عن الجمل وصارت مع الاختيار الحق اقول لكم انكم لا

تتمون مدلين اسرائيل حتي ياتي ابن الانسان التفسير مدن بني
اسرائيل هم نفوس المومنين التي تثبت الي الانقضاء والذين
يشرون بشرا كوتجملونكم الي النجاة ويعلمون لشعوب الي تمام
اديقول لهم لا يتمون مدن بني اسرائيل التي هي انفس لشعوب
المومنين الذين يتبعوا الي الانقضاء حتي ياتي ابن البشر لتلميذ
افضل من معلمه ولا عبد افضل من سيده قير انه يفسر يعلمنا هذا ان
نحمل كل القعب وكل الامراض ونتشبه به في كل ان نحمل كل شيء
بالخبر وكذلك قال احسب التلميذ ان يكون شبه معلمه والعبد قتل
سيده فان كنت انا رب لبيت دعوني باعل بول فله بالحري اهل بيته
فلا تخافون فليس خفي الا سيظهر ولا مكتوم الا ينطق التفسير
يعني في يوم الدينونة ان كل شيء ينكشف وليس انظر الي شيء من
الحوار الذي يهينكم به لكن انظر الي جملكم وصبركم وتعبكم
الذي اقول لكم في الظلمه قولوه في النور التفسير قال شيء
هذا العالم الظلمه لان قبل القيامه كان العالم مظلم من ان
قلوب اهله غيت بعبادات الاوثان فلما اضاءوا لقيامه علي كل
الخليقه

الخليقه فلان بشرا علانيه بالتمتع والسطوح هي الارض
المستقيمه العاليه بكلام اللاهوت لتكونوا بالخوف لتبشروا الله
بالتمتع امام الملاك والصلابين الذين لا يستطيعون علي النفس
في هذه العالم ان يهلكوها اليس عصفوران يباعان بفلسر واحد
منهما لا يسقط علي الارض وان اردت ابيكم الذي في السموات
التفسير قال ان العصفوران هما الناموس والانبيا والتمن الواحد
هو العهد القديم والاشهار هو العهد الجديد من اجل هذا هو العهد
الجديد اعاد القول لانتخافوا فانكم افضل من عجافير كثيره يعني بذلك
من التلاميذ اجل وافع من الانبيا وقد اتفقوا فوق الناموس والانبيا
كل من يعترف في قدام الناموس اعترف انا به قدام ابي الذي في
السموات يوحنا في الذب يفسر انه ليس تجبان نجي حجت المشيم
في القلب لكنك تيقضنا بالقول والاعتراف بالناس امام الناس
ليكما لا نخشاه السامعين ليظهر ضيا اعترافنا با الله ومن
انكرني قدام الناس انكرته انا قدام ابي الذي في السموات
التفسير قال هذا مستحق الدينونة ولم يطلب المعونه من اعلى
لمعونه لانظنوا اني جيت لاتي علي الارض سلامه لكن سيفاً

يوتنم الذهب يفر يسمى الشيطان وحيله المنشوبه إلى الارض
عالم مثلما تخرج في مواضع كثيرة اركون العالم انتيت لافرق الانسان
من كليه والابنه من امها والعروش من حماها واعدا الانسان اهل
بيته والي لان الرب يفرق الانسان من بيته يعني شعب الامس
الذي كان خامسا للشيطان منذ زمان بصارت الكوتان والابنه من
امها التي هي البيعه المقدسه التي افرقت من امها عابدت الكوتان
والكنه من حماها التي هي البيعه المقدسه التي افرقت من امها
عابدت الكوتان والكنه من حماها التي هي ارادت الانسان التي
صارت نافعه للشيطان بخداعه الخبيث من اجل ذلك دعا قال ان
اعدا الانسان اهل بيته التي هي شعوات نيتة الرديه التي
صارت له عداوه بينه وبين الله حتى بعدته من خالقه فلذلك
قال من اجله اوما الكر من فاستحقن يعني ان الشيطان
الذي ابتدأنا وقبلنا حرمته الثقيله المهلكه للانفس وكذلك
الابا الجسدانيون بحاجان بنفضهم اذ امنوا من عمل الصلاح
ولانطا بقصم بل بنفضهم لانه بحاجان ففرق من الذين هم
يأدون الله وهم صاحو الشيطان الذين هم الاراطقمه الذي
لا

بلادين وكل من يشير علينا بالشمن المخوفين قبلنا ومن لا
يخذ صليبه ويتبع في استحقن ويرش يسوقا لان معك
الذي يخذ صليبه ويتبعه هو الذي اهتم كل حين ان يموت من العالم
وكما فيه وهو الذي يبرأ من ايام وتبرأ العالم منه مثل بولص
الشهر الذي يعل نفسه للعالم من وجد نفسه فليست لها ومن
اهل نفسه تجلي حماها اكنه كمن يقول ان الذي يعل نفسه
الي اللذات والشعوات الشيطانيه وفرح القلب بما يفرى الشيطان
فقد اهلكه في الحيم الذي يبرأه اقضا ومن اهلكه في لعبه
فيبعد عنها جميع شعوات القلب الجسدانيه وبعدتها في كل حين
لوت الصليبي على الامانه المستقيمه فهذا احتياجا طاهره
مستقيمه في اليوم العظيم الذي يدين الرب فيه كل الخليقه
من يقبل نيبا باسمه في فجره يخذ سورس لبطرك يفسر
قال كل من يقبل من استوجب الكرامه من الله من حمة فضيلته فهو
يعزى من يقبل الانبياء والصالحين والابرار والصدقيين
ويكون له ثواب كايانه وهذا هو ثوابه وصديق وكذلك
الذين يقبلون الفقراء والمحتاجين ويتصدق عليهم في اعياد

الانبياء والصدّيقين فهذا يقبل ثواب نبي وصدّيق وليس هذا
 وحده ولكن كما نرى ما عُدَّتْ يَسْقِي الانسنان في طرقتا وفي بربه
 ليس فيها ما من اجل الله او باسمه عبد من عبده الصالحين فليس
 يضيع اجره اذا كان ليس تصل ليد الي غيره وهو يحب ثواب
 كامل مثل الامراء حاجت الفلستين والسبع لله

فصل في الحادي والعشرون

ولما اكل يسوع امره لتلاميذه الاثني عشر انتقل من هناك
 ليعلّم ويكرّم في مدينتهم ولما سمع يوحنا في الشجر باعمال المسيح
 ارسل اثنين من تلاميذه قايلا انت هو الذي امرتجا اخر
 اجاب يسوع وقال لهما امضيا وقولا ليوحنا بما رايتما
 وسمعتما ان العميان يبصرون والعرج يمشون والبرص يطهرون
 والصم يسمعون والموتى يقومون والمساكين يبشرون وطوبى
 لمن لا يشك في فلما اذهب هذان بدا يسوع يقول الجمع من اجل
 يوحنا لما اخرجتم الى البرية تنظرون قصبة يحركها
 الريح او لما اخرجتم ترون انسانا لباسا ناعما ان
 اللباس الناعم يكون في بيوت الملوك ولكن لما اخرجتم
 تنظرون

تنظرون انسانا لباسا ناعما لان اللباس الناعم يكون
 في بيوت الملوك لكن لما اخرجتم تنظرون نبيا نعم اقول لكم
 انه افضل من نبي وهذا الذي كتب من اجله هوذا انا ارسل ملاكي
 امام وجهك ليستحل طريقك قدامك الحق اقول لكم انه لم يقيم
 في مواليده النساء اعظم من يوحنا المعمدان والصغير في ملكوت
 السموات اعظم منه ومن ايام يوحنا المعمدان في ملكوت السموات
 تفصّب وغاصبون يجتطفونها جميع الانبياء والناموس تبنا او
 الي يوحنا فان الازمان تغايروا فصوليا المزمع ان ياتي من له
 ادنان بها معتان فليسمع بماذا اشبه هذا الجبل يشبه صبيانا
 جلوسا في السوق يصيحون الي اخرين منتمن قايدين زمرنا
 لكم فلم ترقصوا ونحن لكم فلم تبكوا اجابوهم لا ياكل ولا يشرب
 فقالوا معه جنون مجابن الانسان ياكل ويشرب فقالوا هذا
 رجل الكون شر وبالحق خليل العشارين والخطاة فبشرت
 الحكماء من جميع بنيها حينئذ بدا يغير المذات التي كان فيها
 اكثر قرائنه ولم يتوبوا ويقولوا ليا كوزين والويل لكليات
 صيدا فان القوات التي فيكم لو كان في صور وصيدا لتأبوا

المسوح والرماد لكني اقول لكم ان لصور وصيلا لاه في يوم الذي
التمسكم وانتم يا كفر يا خور الذي لو انتم تفعت الي اسماء تسهبط
الي الجحيم لكان في سدور هذا القوت التي كانت فيكم
لنبت الي اليوم واقول لكم ايضا ان ارضكم مع مجد الله في
يوم الدين اكرمتمكم وفي ذلك الزمان اجاب يسوع وقال
اعتزوا لعلها الاب رب السموات والارض لانه خفيت هذه
الامور عن الحكماء والعلماء واطمعتهم للاطغان فتم يا ابناي ان
هذا المسح التي كانت امامكم كل شيء قد دفع الي من ابي ليس
لحديع في الحق الا الابن لا اله الا الابن ولا احد يعرف الاب الا الابن
ولمن يريد الابن ان يكشف له نعمالوا الي سياكل المتقويين
والثقلين الحمل وانا ارجكم الحملوا نيري عليكم وتعلموا امين فاني
وديع ومتواضع بقلبي وسجودون لاه لانفسكم لان نيري
صالح وحلي خفيين وفي ذلك الزمان مشي يسوع في ثياب بين
الزروع وان تلاميذه جاعوا وريدوا يقطعون السبل وياكلوا
فلما راهم التريثيون قالوا له ها تلاميذك يفعلون ما لا يحل
فعله في السبت اما هو فقال لهم ما قرأتم ما صنع داود لما جاع
وللذين

والذين معه وكيف دخل الى بيت الله واكل خبز التقدمة الذي لا يجب
ان ياكل منه ولا الذين معه الا الكهنة فقط او ما قرأتم في الناموس
ان الكهنة في السبت في الهيكل ينتحبسون السبت ولا خطية عليهم
واقول لكم ان هاهنا افضل من الهيكل لو كنتم تعلمون ما هو مكتوب
انني اريد احده لادبيحه لما او جئتم احكم علي الذين بلا خطية
وان رب السبت هو ان الانسان والمجد لله دائما **التفسير**
معلوم ان السيد لما اكمل امره لتلاميذه الاثني عشر وصعدوا من
عنده انطلقوا الى مدن بني اسرائيل يعلم ويكرز فيها ببشارته
من اجل ان وعده يثبت لهم انكم لا تسمون مدبرين بني اسرائيل حتي
يا بني اسرائيل انتم فجعل بطوف في يهوذا ما تشتمون ويشتمونهم
فاما يوحنا المعمدان فانه لم يرسل تلميذه الي السيد ليستخبر عن
امره لفرط حمله طهرته ولا لانه قلبه شك فيما يعرفه من امره
وانما اراد ان يبين ان المسيح قد جاء والعله في ذلك انه لما
علم من نفسه بان مدته قريب وان تلاميذه كانوا متقصين
له عصبة مغرطة وانهم ما كانوا يتقارون الي طاعة المسيح
وكانوا كما شاهدوا ارتفاعه وعظمته ذكره والتخفاظ ذكره بوجها
يشتم عليهم ذلك كثير جدا فاراد ان يرسل ما في نفوسهم من ذلك

ويؤكد محبة المسيح عند ترويضه في قلوبهم فأرسل إليه هذين
التلميذين لهما كانا أكبر من كان عنده واخضروا لشدة عطشه له لا
على سبيل الاستخبار بل على سبيل البرهان حتى انهما ادراجعا
من عنده إليه وهما متعبان مما ابصره وحققا ذلك لثبت
يقينهما اخبرهم حينئذ مشافهة ان يجب عليهم ان يرفضوا كل
شيء ويتبعوه ويعبدوه يا وهاذا يومعلموا لهذا لما رافها السيد فصل
الايات لوقته بحضورهما حتى قالا هما للتصديق كما شهد
الكتاب انه في تلك الساعة ابرأ كثير من الامراض والوجع
والارواح الشريرة وذهب للنظر للعميان كثيرين ولما فعل هذا
بحضورهما فوكانه قد اعطاهم جوابا على ما ابا ان يقول
وقال لهما امضيا واخبرا بوجنا ما رايتما وسمعتما ان عميانا
يبصرون ومقعدين يمشون وبرصا ينظفون وصما يسمعون
وموتى يقومون ومساكين يبشرون وللسايل ان يقول
ان الانجيل لم يشهد بان السيد في ذلك لوقت اقام ميثا
معنا قوله قولا ليوحنا ان الموتى يقومون فيقال ان السيد
ليرسل للتلميذين قولا ما رايتما فقط بل قالا ما رايتما
وسمعتما

763
وسمعتما وذا كان السيد كان قبل مجيئهما احيا ابن لامله
بدنيت تايين في ذلك لوقت اخبر يوحنا تلاميذه بهذا الآية
ثم بعث الرسولين منهم على حاله كما شهد الكتاب حتى انه لا يتلون
وان التلميذين لما حضروا والبصر والايات المعجزة ثم رجعوا قضية
ابن لامله ويكون اقامه الرب من بين الاموات بعد ان خرجوا
به على نفس اربابا لمدينه بامرنا فدمر يشك في امره من عظم ما
قد شاهداه من المعجزات ولهذا قالوا الموتى يقومون واما قوله
ان المساكين يبشرون يعني بذلك ان المتغلبين بخطاياهم
للموت فهم مساكين لا محالة من تردد في لبيات وعدهم
لخيرات وفي لوقت الذي ياتون اليه فيه وسمعون تعليمه
ويقبلون وصاياه بكل طاعة يبشرون بحيات الابد واحتملهم
من الاحمال لتثقله وقوله طوبى لمن لا يشك في هذا قوله من
اجل تلاميذ يوحنا لعلهم ما قد كان اخبروه ان لشك فاراد هو
توبيخهم وحتمهم على ان لا يعودوا الي مثل هذا البته ثم جدد لهم
ايضا من الكثرة ليلالينهم المعبوبة ومن بعد انصرف التلميذين
بدأ السيد يبيك لجمع على طاهر في يوحنا ويدكرهم بفضائله السالفة

حتى لا يظن به انه قد اهل القدر لتلميذين ليتلافاه ولما لما كان
 عالما بان الجمع الذي حضر ليس يحجبون ويقولون على اي وجه بعث
 يوحنا اليه بهذا الرساله التي ظاهرها ان قدسك فيه مخشي
 ظنهم به فاراد ان يقرر في نفوسهم انه لم يتغير وانما كانت
 رسالته حتى تضر تلاميذ القدره على فعل المعجزات فيلخدان
 جوابا لرسالته عيانا لا قولاه فاذا هما اخبراه بما ابصر استطاع
 ان يبني جميعهم ما ينبغي به العمل فيهم الى الايمان بالمسيح وكلا
 يكونوا بعد موتهم يحكمون لا نفوسهم محفلا ويسمون به وينسبون
 نفوسهم اليه ويستبدعون لهم سنه منفرده فاهتمهم حتى ان
 يشيروا بعد وفاته شيره مستقيمه واما قول السيد للجمع لماذا
 خرجتم الى البريه تنظرون اقصبه يحركها الريح اولم اخرجتم
 تنظرون انسانا لابسا لباسا عاليا لان اللباس البشري الناعم
 يكون في بيوت الملوك لكن لماذا خرجتم تنظرون نبيا نعم
 اقول لكم انه افضل من نبي وادلا بهذا القول ان ثبت في
 ظنهم الجمع انه ليس ينبغي لهم ان يركبوا تلك السيره التي انتم
 تعلمونها من امر السالف عند خرجهم الى البريه في حين الذي اعدوا

منه

منه وما كان لخدمه نفسه من التدبير الحسن في طعامه ولباسه
 وشكله وشهادته ايضا بما عاينه وشعته وما تنبأ به ايضا على
 ان يكون جاهلا بما يرى ويكون متقلبا في الارواح فاستد الطغوت
 عيله اذاه كالفصبه التي يحركها الريح الى كل جانب ليس هو هذا
 الصفة او يكون سيرته ضعيفه ما يله الى رجا هذه الدنيا وذلها
 وفيهمها وشعواها فيرفض الحق في طلب العظمه والمشارعه
 اليه بالتقيل والكرامه وليس الامر ايضا كذلك ليكون ايضا
 نبيا فقط بل هو افضل من نبي وذا لان الانبيا افضل من بقيت
 الناس بالنبوه وهذا له فضيله بالنبوه كالانبياء وينبغي عليهم
 بانه تسمع صوت الاب وعبدالابن وعابن الروح القدس لان الانبيا
 اشتبهوا ان ينظروا اما نظره فليمنظروا او يشموا اما قدس فليشموا
 اي ان كان الامر عندكم بخلاف ذلك فليترككم وشانكم
 الطيبه في الملك وخرجتم الى البريه تعاشون حرها وبرها
 لانكم كتمتم قادري ان تروا مثل هذا في الملك لانها تجمع المستحقين
 الارواح الطالبيين العظمه والكبرياء واما قوله هذا الذي كتب من
 اجله هوذا انا امر سلاكي امام وجهك ليحل طريقك قدامك

معنى هذا ان يوحنا له اسما كثير وذلك انه نبي ومعدن وقبول المسيح
وصانع وسابق وكاهن وبشير وناسك وشهيد ومسيح كما
قال الكتاب هيت سرجا لمسيحي فقد استحق ان يسما ملكا
لان مودتيه فعلت الطريق الي مودتيه الخلاص وقبول
القدس واما قوله انه لم يقم في ميلاد النساء اعظم من يوحنا
المعداني والصغير في ملكوت السموات اعظم منه بحبها هنا ان
نتفهم هذا القول لان السيد اخبر ان النساء لم يلدن اعظم
منه وهذا معناه انه ان قيس بواحد من المولودين من النساء
واقرنهم وجد اعظم من كل انسان يعر به لانه امتلأ من روح
القدس وتحرك تحليل وهو في بطن أمه ولما نالت أمه من النعمه
التي فيه تقدمه قبله بما هو ارفع واجل منها واداهو قسرون
باصغر من في الرسل الذين شاهدوا الايات والملاوك التي في
قيامه المخلص وقبلوا روح القدس وتكلموا بجميع الامم
وعملوا افضل من الاعمال التي عملها السيد في حياته معهم علي
الارض وبدلوا اجسامهم بعد هذا العذاب حتي الموت في محبت
المسيح

والملاوك

المسيح حينئذ يلقي يوحنا في ملكوت السموات عنده صغيرا واما
قوله ان من ايام يوحنا المعداني الي الان ملكوت السموات نقصت
وعاصبون يحتطفونها اراد بهذا القول ان ملكوت السموات
لا يصل اليها الا الذين يجاهدون عليها وتتوق انفسهم الي
امر الاخره بشوق مغرط ويختارون الدك الشقا وشطط
العيش واطراح العالم وترك لذاته ومقاسات الشدايد
والصبر علي النكبات والبعد من هذه الدنيا ونعيمها في محبت
الله تعالى فهو لا بلا شك انهم تحتطفون ملكوت السموات غصبا
بجهادهم وقوله ان جميع الانبياء والناموس تنبأوا الي يوحنا فان
الانتم ان تقبلوه فهو ايليا المزمع ان ياتي ومعنى هذا ان
الناموس والانبياء انما كانوا مخبرين عن المسيح واثاروا علي
بحبه ولما اتى المسيح في ايام يوحنا بنشت الحديشه انقضا امر
التوراه والانبياء وكان يوحنا السابق والمندرج بحبه وهكذا
عند انقضا الدهر يكون ايليا السابق امام المخلص وبشعر
بحبه الثاني علي السحاب مع ملايكته فهذا المشابهه قال ان
يوحنا هو ايليا المزمع ان ياتي واما قوله بادا ان شبه هذا

لجمل ان يشبه صيانا جلوسا في السوق يصيحون الى اخير منهم
قائلين مريانا لكم فلم ترقصوا فمنا لكم فلم تنكروا فمنا لايكل ولا
يشرب فقالوا معه جنون جابن الانسان ياكل ويشرب قالوا
هذا انسان اكول شارب الخمر خليل العشارين والخطاه فبترت
الحكمة من جميع بنيها المعاني كذلك لما قالوا قرر في نفوس
الحاضرين قد جلا له يوحنا وانزال الشبه عنه عاد الى توبيخ
العصاة من اليهود وذكر فضائلهم وكشف لهم ليصفوا الى الحب
بوجه من الوجوه وان رجوعهم عن الباطل مستعجب غير وقال
لهم ما شان اصبيان ان يقولوه في اللعب مع بعضكم بعضا ان
يوحنا لم يهدى سيرة وصعوبت تدبيره في دعائه ولباسه
وسكنه قد عظموه بالمجنون وانا ايضا لاجل نفسي لنفخ الناس
بطيب الاخلاق والانبساط معهم غير تموي باللال والميل
معهم الى المطاع والمشارب وراوت التدبير ومودت
الخطاة وتعدية الكلام ان الله يحبكم الى الخير بكل طريقة
وانتم لا تحبون الا الى الشر واما الحكمة فمراية الشاة واما
ابناؤها فمراية التلاميذ لا همراة عنوا الى الفضيلة وجمعوا بين
السعيرتين

السعيرتين تيرت السيد وتيرت يوحنا وصاروا اوليا لله وصلوا
التياسر الرحانية بكل نوع قاصدين ارادت سيدهم فبالواجب
ان الحكمة تيرت منهم اعني اليهود الذين تركوا عنهم حكمت الحق
فبترت الحكمة منهم وفترت عنهم لان الذين رغبوا الى نظر
الحق واشتاقوا الى تيرت الفضيلة عرفوا ان هذا لم يكن عبثا
ولا باطلا واما تيرت السيد المذنب التي كان فيهم ان كثر قوته
ولم يتوبوا وذلك انه صر كاهنه عن توبيخ قبيلة بني اسرائيل
الى مدينت المذنب لكيلا تنفر قلوب السامعين اذ اما هم سمعوا
شدت التوبيخ فحمل بعض المذنب الويل ويقصد بها اهله
وتفسير الويل باللفظ السرانية الشقوة والشقوة دليله
علي العذاب وهي ضد السعادة والسعادة فهي ليل علي النعيم
والشقوة دليله علي العذاب والسائل ان يقول المر اعطى
السيد الويل لهذا المذنب دون غير من مدن بني اسرائيل
فيقال انه فعل فيهم ايات عظيمة ومعجزات باهرة ولم
تقود من كثر الايات الى اعمال الحق ولا سيما ان كفر
ناحوم كان السيد تلاميذه كثيرين التردد اليها وعملوا

فيهما من الجراح والبراهين اكثر من بقيت المدن ولم يرجع اهلهما
إلى الحق بل ثبتوا على ما هم عليه من الانهاك في فعل الشريعة توبة
فقال ان اهل صور وصيدا يكون لهم راحة في يوم الدين اكثر من اهل
كورنبرين وببيت صيدا لان صور وصيدا من المشهورين اكثر من
غيرهما ولجل كثرة التجار المقيمين بهما من عبدة الاوثان والمرد
من جلا يقتسمهم اليهما كان السجود للاصنام فيهما كثيرا لجل كثرة
السيد ليعمل فيهما آيات لجل انهما من جحور الكنعانيين ثم قال
ان اهل سدوم وراحه في يوم الدين اكثر من جحور ودلك ان سدوم
لم يات اليها نبي ولا حواري وكفر بالحق كان رب الاشياء وكوارث
يقول المعجزات فيهما وكثيرا منها لاهم كانوا اعنما من اهل كورن
وبيت صيدا وقوله عنهما انها استعبطت الى الجحيم اي انها استكانت
خرابا وهكذا كان وهبطت الى الجحيم لانها قد صدود السيد
باربعين سنة على عهد طيطس ابن اشكاسيانوس خرجت بالقتل
والسبي وصارت دمارا والسلايل ان يقول كورنبرين لم يذكر
الحكم من الانجيليين شيئا من الآيات التي عملت بها فها هو السبب
في ذلك فيقال لان هذا من جعلت تحقيق قول روحنا البشير ان
السيد

السيد فعل آيات كثيرة ولم تكن واما قوله وفي ذلك الزمان لجاب
يسوع وقال اعترف لك ايها الاب رب السما والارض لانك اخفيت
هذا الامور عن الحكماء والعلماء واظهرتها للاطغانان نعم يا ابتاه
ان هذه المشقة التي كانت امامك المعنى في الزمان اراد بـ
الزمان الذي شهد به الكتاب وذلك لما وضح المدن واستوعبت
وقصد بذلك اهل من عاد اليه السبعون الذين ان اسلمهم بعد الاثني
عشر رسولا المرسلين اولاهم مشرورين بالفرح وقالوا له ان
الساطين تخضع لنا باسمك وفي تلك الساعة بدأ يقول في الذين
سموا تلاميذه ولم يتعادون اليه ففكر في حكمته وعلمهم بالناموس
وصاروا بمنزلة المعلمين وفي الذين لم ياتوا اليه ولم يسموا تلاميذه
وتوهم الامامة ايضا بان الذين امنوا به وتبعوه انما فعلوا هذا من
من جعلهم بالتوراة وقلت لهم في الكتب فمر بها هنا صرف السيد
كلهم على جهة التشكر لاني انا اولئك الذين يظن بهم انهم
حكما فمر مشغرون عنده وجاهلون بالناموس ولم يكونوا اهلا
لانك تافك المعرفة لهم والذين لم يكونوا بعد فصر اهلا للتعليم قد
قبلوا التعليم وانكشروا ما قد تغطا عن اولئك الذين يظنون

بنفوسهم افرحكم حتي انهم لا يقدروا ان يفهموا ما يجب وبه لا يجاؤ
مستعجبين بان الشياطين اطاعتهم وكون السيد خاضع لهم الي
الله فكان من ان لا يصدق من اولئك الذين كانوا يصعدون عنه
الناس كيلا يتسرع لهم فيه القول والله ليس كان في الجمع من بني ادم الذي
قد قاله التلاميذ انما فعلوه بمشيئة الله وارضاه الله وليس ان يقول
لمن قال السيد رب السموات والارض ولم يذكر شيئا غيرهما من مخلوقاته
فيقال ان هذا القول فيه وجهان الاول منهما ان الكتاب يقول
اول ما خلق الله السما والارض والثاني منهما فانه قد ذكر كل
المخلوقات لانها الطوفان لجاوان والراشدين البار ان الله ان
يخطر ان بكل المخلوقات وللشياطين ايضا ان يقول اذا كان الله قد
لخفائسه عن الحكم والغنى فليس لهم رتب ولا يلزمهم عقابا وهم
غير موابين على ما افنتهم لما قد خفي عنهم حقيقة نيقا الله
جل ذكره لم يقصد بذلك ولا خلقهم الله ليعرفهم مخافة الحق
وبذلك الله خلقهم لحرار المستطيعين ان يفعلوا الخير والشر اختيارا
من اجل هذه الحرته صاروا غير مظلومين لانهم تصرفوا فيها بغير الوجبة
ولاجل انهم كانوا يشاهدون الايات ويسمعون التعليم الذي يشاهد
شي ولا تشبه فيه وفرنا يبيون عن ادراك الحق ثم انهم اتعدوا
الي

الي الشرون وعدوا اعر اخير فخذوا من الله واطلعت عليهم طرقت الحق
كقول الرسول ولكن فذلك العلم بهم الله الي علم الباطل واما الغير
عارفين الذين كانوا لا اطفالا لما اتوا انفسهم الي ادراك الحق وانهم
اعتصموا بشيئة الخير وقبلوا التعليم بقلوب متواضعة حينئذ صفت
عمولهم حتي انكشف لهم الاسرار الغامضة وفاقوا علي غير من اهل
المعرفة ومعنا قوله ان هذه المشيئة التي كانت امامك ليس المشيئة
التي كانت لاجل ان الحكماء اتعدوا الي الحق بل لاجل الاميتين
الذين اطاعوا وامنوا وبطاعتهم وايضا قد علم ان الشياطين
خضعت لهم واما قوله انهم قد دفعوا الي من اني وليس اخذوا من
الا اله ولا احد الا غير الا اله الا اله والذي يشا اله ان
يكشف له فاراد به ان يبين عظمة اشوته وحلا شها من اجل
اتحادها بلاهوتة اي ان هذا الانسان المحسوس المحدث الذي
انتم تزعمون له يوجد غير اتحاد واتحاد باللاهوت كان السبب في
وجوده وبصحة الاتحاد صار له كلما اللاهوت من الامتياز والشر
والسلطان من غير استحالة ودليل ذلك انه لما اراد ان يوحى
ناشوته حقا في الوصف قال اضع الي السماء الا الذي
نزل من السماء ابن البشر الذي يري في السماء وقال ايضا اذا

رأيتهم ان البشر صاعد الى حيث كان اولاد وكثير غير هذا مما يجتمع به عندهم
ان هذا المنظور ليس هو انسان صاحب بل لاه متانس والفايده في ذلك
انه لم يترك الجحشال الذين لم يولدوا وظنوا بنفوسهم الحكمة والعلم عند الاولاد
حجة في تأخيرهم عن الايمان ولا يجعل ايضا على هؤلاء الحكما الذين
اسنوا به بعد جملهم لوم على ايمانهم بقوله اعطيت كل شيء من اني فجعل
هذا الكلام توبكيا لاولادك والعبد العاصه واشعرهم بانهم
ما ترون من طاعة الله وتبني عظيمها لولا العبد الطائعين
الذين خسرهم علوا مشيت تبيدهم وامام معرفت الاب للذين ومعرفت
الابن الابن فله ان قوله قد تقدم اني اعطيت كل شيء من اني فارد
ان يوكدا الامر ويشده بانه هو الاب واحد ومع قسما وفعلمها
كله والحد الذي يقبل السامعون كلامه ويعرفون ان هذا الامور
محقة صادقة وليس من الممكن ان يشك فيها او يتوهم انها عند الله
غيره او عجيبة لان كلامه عند امره وحل ومعنى قوله ولين رشا الابن
يكشونه لانه قال فيما سابق لا تكلم ابناؤه اظهرت معرفتي للاطغان
فذلك بذلك على شأونه بآبيه في الجهر والعدوه والمشيئة وانه الذي
يكشف لمن رشا المعرفة بملكه كيا لظن ان كل واحد منهم ذات
مخصصة او يكون احدها دون الاخر في شيء البتة واما قوله
تسالوا

تسالوا الى اكل المتقنين والتبلي لجل وانا ارحكم لجلوا اني عليكم
وتعلموا امن فاني وديع ومتواضع بقلبي وتجدون راحة نفوسكم
لان نيري صامح وحكي هو خفيون ارا هذا القول ان يشتب قوما كان
لهم الف ذنوب وقد علمها وكانت مخفية عن الناس عما كانوا
يستطيعون كشفها وكما كانوا مضطرين بقلبي ولا يعرفون الى
اي جهة يتجهون في امر خلاصتهم منها ودا ان شرعية التوراه
تأمر بالقصاص القتل القتل العيني والعين والشرايين والجراح
بمثلها واما الانبياء فيقتلون رجلا والسيد المسيح فكان لمن ياتي
اليه كالارض الحكيم يديره بالتدريج كاليدج الطفل في تربيته
فكما ان الطفل لا يدرك منه الاكل الا بعد تغذيته باللبن الى الحين
الذي يصير له فيه قوة ويستطيع بها ان ياكل هكذا كان السيد
يدج الناس الذين ياتون اليه انما كان يطلب منهم في بداية حالهم
الدخول في الايمان به حبس واذا ما هم تبوا في الايمان وتمموا
منه التعليم وعرفوا معانيه صارت لهم قوة يستطيعون بها ان
يعملوا اعمال البر وارا لا بقوله اني متواضع بقلبي يعني انه يمان
اقوال الخطايا الذي تفعلها الناس كقتل الزنا والشرقه
وسيات غير هذا فيحتمل الذين يتكلمون بغير ان يونس منهم في

التوبة ويعلم الي ان يحولوا عنها ويقبلوا الي التوبة والاعمال
الصالحة فاذا هم رجعوا وقبلوا اعمالا صالحة صفع عنهم
ونصفهم المقفرة والنعو عن جميع ما سألوا وسنت التوراة ليس
بجرير ما هكذا بل ان الساعه التي تجر الانسان فيفسد
تنزل به التوبة على كل حال ولا يقبل منه نداه نفسه ويكون
الذي تحت وصاياها ويتعدي منهن وصيه واحدة تحت كال
اللغنه دائما يجلان ننظر الي شدة مرأت هذه الشرية
والي طيب ما انت به شرفت المسيح ودلك الغالب
تقطع رجاء احد من الخطاة الذين قد نزلوا ويقعون في
خطاياهم المختلفة انواعها وانتهى بالحد من توبه مخلصه
صادقة والاركة الوفاء فيها قبل ان يعمل شيئا من البر فيغفر له
الله دنوبه الذي سلف على حسب نيتة وغيره فهداهي راحة
النفس وخفة الحزن وطيب النير الذي قد ذكرها السيد المسيح
فلجته النفس في قبول التوبة وخفة الوقوف في ترك
القصاص والامعان وطيب النير في التمسك بالقران
وقوله ان في ذلك الزمان يفي يسوع في يوم السبت بين الروح
بجائع تلاميذه فيدوا فيكون سبلا ويكون فلما ابصرهم
الفرسيون

وله

الفرسيون قالوا له ها تلاميذك يفعلون ما لا يحل فعله في السبت
فقال لهم ما قرأتم ما صنع داود ملكا والذين معه وكيف دخل
الي بيت الله واكل خبزا للثقة الذي يحل له اكله ولا الذين
معه الا الكهنة فقط او ما قرأتم في الناموس ان الكهنة في
السبت في الهيكل يتنجسون السبت ولا خطية عليهم واقول
لكم ان هاهنا اعظم من الهيكل ولو كنتم تعلمون ما هو مكتوب
اني اريد رحمه لا سبحة لما اوجستم الحكم على الذين لا خطية
وان رب السبت هو ابن الانسان قد سبق الايضاح بان سنت
العتيقة انما كانت اشارة عن مجي المسيح ولما جاء المسيح
له المجد كان بورده كالماء وذلك انه علم وصاياها جميعها
وزاد عليها ما اتى به في سنت الحديثة حتى صارت كاملة
وكانت اليهود يقولون انه نقض للشرية وذلك انه حفظ
السبت كما ينبغي في الناموس وكانت تزياده على حفظه انه
صنع طينا في يوم السبت وطلبي به عيني اعما فتعجبنا حتى ابصر
فقالوا له قد نقضت السبت وهكذا تلاميذه اضطرم القبط
بصروا بلجج فزكوا السبل واكلوا في يوم السبت فالجاءهم
بجواب مكنة وقال ان كنتم تقولون ان هذا السبل ليس يحل

أكله لأنه مغبص لأنه لم يوردن بأكله فقد قرأتم ما فعله داوود
 والذي معه عند ضرورت الجمع وأنه قد فعل ما لم يوردن له فيه وقد
 أكل القرآن وأطعم الذين معه منه وهو لا يجوز أكله إلا الكهنة
 فقط فان قلتم أنه قد عمل ما تجاوز به حد الشريعة فقد جأت فيه
 من عند الله شهادة كريمة أن داوود لا يكونه لأنه أكل وأعطى
 منه غير كهنه فأكلموا فادأقد كان هذا الذي صفتها لأن
 قديما من المبين المعروف أن رؤايا الناموس إنما ينبغي أن تقدر على
 حسب الطبيعة وإن كنتم تقولون من أجل قطع السبل وفركه
 أنه يحل السبت فقد قرأتم أن الكهنة سبته أن يدخروا في يوم
 السبت كما يفعلون في سائر الأيام وأدأتحققا الأمر على الأصح
 والقياس الحق كان الذي عمله داوود والذي معه أعظم من حيث
 هو لا يرا أن أكل القرآن خلاف وصية الله ويضاف إلى ذلك
 ظلم الكهنة والاشأ أكثر من أجل التعدي على مرتبهم فبالحري
 أن هو لا يرا على كل ما فركه من السبل والذين أيضا يكون
 الحيوان في يوم السبت فلا جد بهر أن يكونوا النقص السبت أولا
 من الذين قد قسطوا سبلا وفركه من جرأت الجمع ليا كانوا
 أولا يرا ما يدجون الحيوان من الضرورة لأجل القرآن السبت
 وهو لا يرا

وهو لا يرا أيضا لم يفركو السبل إلا أنهم به يحبون أنفسهم وقد
 المتخاضرت الجمع والرحمة أفضل من القرآن وممنا قوله أن
 هاهنا أفضل من الهيكل فاشأر عن نفسه وعن تكليده أيضا
 بأنهم أفضل من كهنه الهيكل أي كانوا عارفين بأن موزع الكواضع
 من أمور الهيكل وإن الذين قد شاروا بشيئهم أفضل من كهنه
 اليهودي الستم تقولون وتقرن من كتاب الله أن يعد الرحمة
 أفضل من الديبحة أن كنتم تأمرون حل السبت من أجل الديبحة
 فيجب أيضا أن تروا الذي قد فعلوه هو لا يرا من أجل الرحمة التي قد
 أعدت أكثر من الديبحة فضلا والمعالم أيضا أن الأيام امتأ
 خلقت من أجل الإنسان وليس من الممكن أن يحل امرأة حتى يفقد
 بسببها قد خلق من أجله وقوله أن ابن الإنسان هو رب السبت
 كي يحقن السامعين أنه مسلط يفعل كما يشأ ويجعل ما يشأ
 ويقعد ما يشأ ولهذا لا تحكموا على الدين بالأخطية أي
 لا تفعلوا من لا يستحق العدل ولا توفروا من لا يستحق اللوم
 وما يحسن عنه ويقال هل كانوا يرا أن يسيل من عهد موسى إلى
 حين ظهور المسيح خاليتين من حاجة تدعوهم إلى مخالفة الناموس
 ولم تجاوزها أحد منهم سوى داود أما كان الأمر بخلاف ذلك

فبقا ان يشع ابن نون لما حاضرا قاتل اهلها بكل مكان
معه في البيت وايليا لما هرب من اربال ومفي الى حورس جبل
البيت واما ذكر اودود وغيره من اجل شرفه عند اليهود
وانتظارهم ظهور المسيح من نسله وينبغي لنا ان نذكر في هذه
الموضع سوي الانبياء الذين هم في كرامه مثل اودود ولا فقد
جري في امر صلفه ما هو اشكر هذا عنده ما وجدته يحتاج
في البيت وقتلوه وللشاي ان يقول ايضا ان مرقس يدرك في
بشارته ان اودود لما اكل خبز القمامه كان اسمر عظيم الكنهه
في ذلك الوقت ابتنا وكتاب شمول يدرك ان اسمه كان اجمل ملك
فبقا ان ابتنا كان عوض اجمل ملك ولما بكر اجمل ملك كان ابتنا
يقوب عنه ولما حضر اودود كان ابتنا الواقف معه حتى اكل
الخبز ان ولما ذكر مرقس يوحنا في الدب يفسق قال من اجل
يوحنا لما سمع في السجن باعمال السيد ارسل اليه اثنين من تلاميذه
قائلا انت هو الاتي لم نترجا اخو قال ان تلاميذ يوحنا
كانوا يحبوا المسيح لما كانوا يرونه كوما عظما عند يوحنا
ولم يكونوا يؤمنون به فعينا لكنهم كانوا يظنون انه انسان
متواضع جدا وانه ليس هو المسيح بل حقيقة فمن اجل ذكرهم
الناقص

الناقص وقلت يا نعم به اراي يوحنا ان يصحح اياهم به فيهم
عن افكارهم الرديه واداسا لوه عنه رد عليهم لحوال ان
يعظموه ووجه التلميذ المبتدئين في المسيح اليه ليعانوا
الايات والحوال التي فعلها التي تليق لها في يؤمنوا انه المسيح
بل حقيقة الذي يخلص ظايا العالم وكان المسيح عارفا بفكر
يوحنا واما به انه هو الله الكلمة عند ذلك صنع ايات وعجايب
في ذلك ليقيم ليقوي ايمان التلميذ ولا يشك فيه وكذلك
قال لهم بالبيان ليصحح اياهم طوبا لم لا يشك في غير الله
قال من اجل الذين يقولون ان يوحنا شاك في المسيح هل هو الاتي
الي الخبز ليجل الانسان من ذلك الموضع او هو غيره وهذا القول قد
ابطله الحكماء كيرلس وقال ليس يجب ان يظن هذا عن يوحنا
المختار ان الرب فلما ذهب هناك بدا يسوع يقول الجمع من اجل
يوحنا لما خرجتم الى البرية تنظرون اقصيه بحر كما الريح
كروا من شرق لان يوحنا كان انسانا حموما زاهدا وحقا انه
يشبه قصبه بحر كما الريح وليس هو مثل الاعيان اللاتيين لتياب
الناعمه والاف خرجتم الى البرية تنظرون نبيا فم اقول لكم انه
افضل من نبي لانه نظر المسيح الذي اسلموا كثير من الانبياء

والصديقين ان ينظروا فما نظروا وشهدوا واظهر كل احد
 لما قال هذا اجل الله الذي رفع خطايا العالم وانه لم يبد
 وعده ولذلك حقق هو وصار اجل من الانبياء الحق اقول لكم انه
 لم يقيم في المولودين من النساء اعظم من يوحنا والصغير في
 ملكوت السموات اعظم منه يوحنا فالدب يغتر من
 بذلك المسيح خرج انه لانه اصغر منه في المعراج هذا هو
 اعظم منه بلاهوته ثم قال ايها قال لان الصغير من يوحنا
 هو مجمع التلاميذ لان يوحنا كان كبيراً عند الناس من اجل
 هذه وسيرة الحسنه واما في ملكوت السموات فجميع التلاميذ
 الكبريه لا هم ولدوا من الله بالمعديه كيه الذين يغتر ان الصغير
 الذي قال الله اعظم منه في ملكوت السموات اعني كل النصاري
 المؤمنين الذين يولدون من الماء والروح انهم اعظم من يوحنا
 في ملكوت السموات لان يوحنا مولود من ابراهيم لذلك قال الرب
 عنه انه لم يقيم في مواليد النساء اعظم من يوحنا المولود لان
 الانبياء كلهم والابا المتعدين وجميع القديسين الذين
 كانوا من هابيل الي يوحنا هم مولودين من النساء وليس من
 الماء والروح وذلك قال ان من ايام يوحنا المعمدان الي الان
 ملكوت

ملكوت السموات تقصّب وغاصبون يختطفونها من هم الان
 الغاصبون الذين يختطفونها هم الكفار الذين كانت اعانهم
 طويله في الفضل الكفرنا لو املكوت السموات فهو هبة روح
 القديس الذي قبلوه بالمعديه الولاده الثانيه معنى آخر
 الذين اغتصبوا ملكوت السماء هم اليهود لجمال الذين يمتنون
 كل من يريد ان يكون بالمشيخ ويكاد ونصر ويشجنوهم ويعبدو
 باصناف العذاب لكيلا يوفوا به ولذلك قال لهم انكم تغفلون
 ملكوت السماء قدام الناس وانتم لا تدخلونها والذين يريدون
 ان يدخلوا لا تتركوا هم يدخلون لان جميع الانبياء والناموس
 تنبأوا الي يوحنا فان اذ تمان قبلوه فهو ايديا المن مع ان
 ياتي من له اذنان سامعتان فليسمع قير انه يغتر قال انه يسمي يوحنا
 ايديا لان يسمي تمامته ولان يوحنا بشر يقوت روح ايديا
 ولان يوحنا سار بالبشاره قدام الرب في ظهوره الاول كذلك
 ايديا هو ايضا سيكون متقدم لمجي الرب الثاني ولذلك قال
 من له اذنان سامعتان فليسمع يعني بذلك ان من له عقل متين
 منسا الكلام ثم ادا اسبه هذا الجبل ينشبه صياها جالوسا في
 الاسواق يطحنون الي اخر من منهم قايدين منسا لكم فلم تقصوا

وَحَنَّا لَكُمْ فَلَمْ تَكُونُوا تُرِيدُونَ فَمِنْ هُنَا الصَّبْرُ أَعْنِي
التَّكْلِيفُ وَالسُّوْقَاةُ هِيَ الْمُسَاوَةِ وَلَمْ يَأْتِ أَنْ يَكُنْ لَهَا
وَلَمْ يَرْقُصُوا أَعْنِي الْيَهُودَ لِحَالِهَا أَنَّهُ أَتَى إِلَيْهِمْ بِبَشِيرَةٍ
يَاكُلُونَ وَيَشْرَبُونَ لَعَلَّكُمْ تَهْتَدُونَ إِلَى اللَّهِ خَالِقِهِمْ وَارْتَبِعُوا
هَذَا هُوَ الْمَعْنَى الَّذِي قَالَ وَحَنَّا لَكُمْ فَلَمْ تَكُونُوا أَعْنِي بِذَلِكَ
يُوحَنَّا أَنَّهُ أَتَى إِلَيْهِمْ بِبَشِيرَةِ النَّسْكَ لَا يَكُلُونَ وَلَا يَشْرَبُونَ فَلَمْ
يَرْجِعُوا وَكَذَلِكَ قَالَ تَبَرَّتْ أَلْحَاكُمُ مِنْ جَمِيعِ بَيْنَاهَا فَهُوَ الْحَكْمُ
الَّذِي يُنْطَلِقُ بِهَا يُوْحَنَّا وَبَشَرُهَا التَّكْلِيفُ لِلْيَهُودِ فَلَمْ يَرْجِعُوا
إِلَى الرَّبِّ فَلَمْ يَرْجِعُوا مِنْ أَحْشَاءٍ حِينَئِذٍ أَبَدًا يَغِيرُ الْمَدَنَ الَّتِي
كَانَ قَبْلُ مِنْهَا كَثَرَتْ قَوَاتُهُ لَأَهْلِهِمْ يَتَوَبُّونَ وَيَقُولُ لَوَيْلَ لِي يَا كُورِثِينَ
الْوَيْلَ لِي يَا بَيْتَ صَيْدٍ لِأَنَّ الْقَوَاتِ الَّتِي كُنَ فِيكُمْ لَوْ كَانَ
خِصْرٌ وَصَيْدٌ لَتَابُوا بِالْمُسُوحِ وَالرَّوَادِقِ فَمِنْ هُنَا قَوْلُ
لَئِنْ قَدِمَ صُورٌ وَصَيْدٌ لَأَنْ عِبَادَتِ الْوَتَانِ كَانَتْ فِيهَا وَإِنْ
سُدَّ مَوْجُوعًا مَوْرُكَاتُهَا بِمَجِيئِ الْبَدْحِ فَبَلَا الْيَهُودَ لِحَالِهَا
الَّذِينَ لَمْ يَكُونُوا كُورِثِينَ وَبَيْتَ صَيْدٍ مِنْ أَجْلِ النَّبِيِّ
فَعَلِمُوا فِيهَا وَلَمْ يَتَوَبُّوا وَأَنْتَ يَا كُورِثِينَ لَوَافْتَعْتَ إِلَى
السَّمَاءِ لَسْتَ تَهْبِطُ إِلَى الْحَجِيمِ فَمِنْ هُنَا قَوْلُ لَئِنْ قَدِمَ صُورٌ وَصَيْدٌ
عَجَائِبُ

عَجَائِبُ كَثِيرَةٌ فِي كُورِثِينَ كَثِيرٌ مِنْ بَيَارِ الْمَوَاضِعِ مِنْ أَجْلِ كَثَرَةِ
الْآيَاتِ قَالَ هَذَا لِأَنَّ يَوْمَ الدِّينِ وَهُوَ يُسْتَخْرَجُ الْقَضِيَّةُ عَلَى
الْيَهُودِ كَثِيرٌ مِنْ بَيَارِ الْإِلَامِ لِأَنَّ الْإِلَامَ فَرَطُوا فِي النَّامُوسِ الطَّبِيعِيِّ
فَقَطَّ فَمَا الْيَهُودُ فَرَطُوا فِي النَّامُوسِ الطَّبِيعِيِّ وَفِي النَّامُوسِ
الْمَكْتُوبِ مِنْ مَوْثِقِي وَعِدَدِ الْكَلَامِ أَوْ هَذَا الْآيَاتِ وَالْعَجَائِبِ
الَّتِي صَنَعَهَا الرَّبُّ لَمْ يَنْقَادُوا إِلَيْهِ لِأَنَّ الْمَشِيخَ هَذِهِ الْآيَاتِ
وَالْعَجَائِبِ لِأَنَّ الْإِلَامَ لِيَلَّا يَحْتَجُّوا الْيَهُودَ وَيَقُولُونَ أَنَّهُ
أَكْرَمُ الْأَكْرَمِ التَّمَنَاءُ الْجَابِ يَسُوعُ وَقَالَ اعْتَرَفَ لِكُلِّهَا الْآبُ
رَبُّ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ فَمِنْ هُنَا قَوْلُ قَدِمَ الرَّبُّ لَشُكْرِهَا هُنَا
كَالْكَاهِنِ الَّذِي يَقْدَمُ شُكْرَ الْمُؤْمِنِينَ قَدَامَ اللَّهِ وَكَذَلِكَ قَدِمَ الشُّكْرَ
قَدَامَ أَبِيهِ كَالْعَزَائِلِ لِرُوحَانِي لِأَنَّهُ لَحَقَتْ هَذِهِ الْأُمُورُ
الْحِكْمَا وَالْعَمَلَا وَأُظْهِرَتْ لِلْأَطْفَالِ التَّقِيَّةِ مِنَ الْأَنْهَارِ
الْحِكْمَا وَالْعَمَلَا هُمُ الْكُهَنَةُ وَالْفَرِيشِيُّونَ وَكُلُّ مَجْمَعِ الْيَهُودِ الَّذِي
فَمِنْ هُنَا قَوْلُ يَسُوعُ وَفَرَفَهَا فِي الشَّرِّ أَعْلَنَتْهَا لِلْأَطْفَالِ
الَّذِينَ هُمُ التَّكْلِيفُ وَشُعُوبُ الْإِلَامِ الَّذِينَ لَا يَتَوَبُّونَ عَلَى أَيْدِيهِمْ نَعْمَ
يَا ابْنَاهُ إِنَّ هَذِهِ الْمَشْرَ الَّتِي كَانَتْ أَمَامَكَ التَّفْسِيرُ
عَنِ ذَلِكَ أَنَّ الرَّاصِلَ لِلْمَخْلَصَةِ كَانَتْ بِمَشِيَةِ الْآبِ كُلُّ قَدَمٍ

دفع الي من ابي يعني المتدبير المختار قال هذا لانه صار
بشرنا مثلنا وليس احد يعرف الابن الا الاب ولا احد يعرف
الاب الا الابن يعني ان التالوت المقدسه تعرفه انتما
ولمن يريد ان يشقوله يقول المواهب الهيه التي
يعطيها للذين يكرهونه فقالوا الي اجمع المتعوبين
التقيل الحملانا ارحمنا التغيير المتعوبين هم اليهود الذين
هم متعوبين في عمل الضحايا والقرابين من البقر والحيوان
وليس يعملون اوقاموا التامور والذين هم حاملون البقر الثقيل
هم الامم الذين هم متعبلون بظلاله عبادت الاوثان
لان كل من ياتي الي الرب من اليهود ومن الامم هو يرحمهم
بنوره المسيح الذي هو وصاياه المقدسه المعطيه لحياه
وعمله خفيين الذي في الفضائل المحييه وفي ذلك الزمان
مضي يسوع في السبت بين المزارع وجاع تلاميذه فبدوا يفرقون
شبهه يكون غير فرق غير قال ان لتلاميذه كانوا هم
متعشفين جدا وليس يهتموا بشي من الطعام الا انكاهم
على الرب وحده ولم يجمعوا لفظوا السبل وذكروا اكلوا
من ضرورت الجمع فلما ابصرهم الرعيون قالوا له
ها هوذا

ها هوذا تلاميذك يعملون ما يحل في السبت عند ذلك فهم
ما صنع داوود لما جاع بحيث دخل الي بيت الرب واخذ
خبز المائدة ذلك الذي يحل له اكله ولا للذين معه الا
الكنهه فقط فان كان داوود منعته فما صنع من شدت
الجوع فلم تمنعوا التلاميذ لافهم يفعلوا شيئا بخلاف التامور
لان التامور لم تمنع من قوام لحياه في السبت لم تفر في
التوراه ان الكهنه في الهيكل يحلون السبت والله لا لوم
عليهم في ذلك واذا كان الانسان يقتني في السبت
ويبيع الضحايا في الهيكل والقرابين التي من البقر وغيرها
ولا عليهم جناح فاي خطيه على التلاميذ لما فروا السبل
واكلوا ثم قال لفران ها هنا اعظم من الهيكل اعني بذلك انه
الرب الذي هو مقدس الهيكل لو كنتم تعلمون ما هو مكتوب الي
اريد حله لا بسببه لانوحيه لا حرام الذي يدخل تحت الغمر
خالقه واعيد الي سببه الاولى هذا الذي اريد وليس ضحاياكم
وقرابينكم ورب السبت هو ابن الانسان المنسا اي ابي لنا ابن
البشر الذي انتيت وردت الانسان الي صورته الاولى
وجعله رب السبت من اجل روح القدس الذي صار فيه بسفحه وخيره
ثم

فصل الاصح الثاني والعشرون
 وانتقل يسوع من هناك ودخل الى مجعته وادخل هناك
 يد يابسة فسالوا قائلين هل يحل ان يشفي في السبت
 لكي لا تفرق فقال لهم ان انسان منك يكون له خروف واحد ويسقط
 في حفرة يوم السبت ولا يسكه ليقمه فكم لكم ان انسان
 افضل من الخروف فان جيد هو فعل الخير في السبت حينئذ
 قال الانسان امد يدك فمداها فصحته مثل الاخرى فخرج
 الفريسيون متوازين في اهلاكه فعمل يسوع وانتقل من
 هناك وتبعه جمع كبير فاشفي جميعهم وامرهم لا يظهروا ذلك لكي
 يتم ما قيل في اشعيا النبي لقائلها هوذا امتي الذي
 هو بيت ويسبي الذي نشرت به نفسي اضع روعي عليه فيخبر
 الامم بالحكم لكي اري ولا يصيح ولا يسمع احد صوته في المشوايح
 قصبة من موضعه لانكسر وشراح لا يطفئون لا يطغى الي ان
 يخرج الحكم بالقلية وتوكل الامم على اسمه التفاسير
 معانم ان السيد لما تواترت معجزاته في السبوت كره ان يتوكل
 عليه بانه ينقض السبت فتنفرد قلوب المجتمعين حوله من
 اليهود من شماع تعلقوا وليسوا ايضا عداوت الذين يمنعون
 منهم

منهم ويعرفونه فانتقل الى الموضع الذي كان فيه ودخل الى
 مجعته ليبعد عنه التوفير نظريا للفتور الذين ياتون لسماع
 التعليم وهذا الغلوب الذين يمنعون فلما دخل الجمع ابطل
 قولهم كان يطعن عليه ويقول انه يتجاوز الناموس ولما لا
 الرجل اليابس اليه وهو قائم في الجمع علموا بانه قادر على صحت
 يده فجعلوا يسألونه كيف تجدوا السبل الى الطعن عليه فقالوا
 هل يحل ان يشفي في السبت فلجا بهم لما لا يستطيعون ان
 ينازعوه فيه فقال لهم اني احق يا سيد لي بفعل الجمل اليه
 والمعرفة الانسان ام الخروف الذي خلق من اجل طعام الانسان
 فان كان احدكم كيمكنه الفعلة من خروفه اذا سقط في
 السبت في حفرة حتى يصرف جمده في السبت الى ان يصعد
 منها فكيف يمكن الفعلة عن الانسان الذي قد وقع في الحياض
 الصعبة وهو اجلد واخرق بضيق المعرفة من الخروف وليس
 يظن بهم ان لا يحسن عندكم فعل الخير في السبت ثم اعقب
 كلامه بالاية وامر الرجل ان يمد يده فمداها فصحة شالمة
 من اعيب وكان شفاها بالقول لا بفعل فخر صواعن جوابه

من أجل فعل المايه بالقوا فقطه وخرجوا متوازين في اهلاكه
فلما علموا انهم انتقلوا من اجمع وتبعه جمع كبير من المشقومين نشقوا
جميعهم وامرهم لا يظهروا ذلك ولا يشتهروا بحبه للتواضع وايضا
مداد الحسد اليهودي لا يتركوا ولا يبالوا عنه ايضا انه انما
يفعل هذا من اجل حبه لمذبح الناس بجلنا ان نعمهم قوت الشهاده
التوقد اتيها البشير في موضعهم قول الشقياء الذين والمعنا
فيها عرق والاب النور الذي قبل الحبش بشريه حتى صارت تمكده
بالهوتي وافضت عليهما روح قدس في تصنع الايات لباهره
بالهدوء والتواضع من اجل العنايه من اليهود الذين لا يرجعون الي
الحق ومعنا انه يخبر الامم بالحكمه يرد به ان تعليمه انما يقتضيه
البر والتقوي والايان المستقيم والمعنا في انه لا يمازي ولا يصبح
ولا يسمع احد صوته في الشوارع يدل على ان تعليمه بلطف
ورياسه من غير افتخار ولا تفاخر واما الغصه الموضونه
والسراج المطفئ فبذلك الذي كانوا يدعون الحكمة
والعرفه من اليهود وقد ابرهنهم المعجزات التي تشاهدوها
وهي مستمرة فصاروا عند نفوسهم غررت لجهال الذين
قد سلموا جهلهم الى شد ظلاله واضعوا عقيدتهم وهم لا يرون
الطاعة

الطاعة ولا الشوق عن الذي هم عليه وممن انه لا تكسر الغصه
ولا يطفأ السراج اي انه برحمته لا يشا هلاك الغصه الذي
لا يرجعون اليه ولا يشترع غصه عليه نعمه على هلاكهم عنادهم
بل يقصد بهم بكل رفق ومداراه حتى يتركوا الاضلاله ويتبعوا
الهدى ومعنى خيخرج للحكم بالغلبه فتوكل الام على النعمه يريد
بذلك انه ينتظر الذين لا يقبلوه الى الجحيم الذي فيه يقهر
الشیطان بالغلبه ويخلص منه جميع الامم الانسانيه في نبيه
وحينئذ يبركان تحت طاعته فقد فاض من هوانه عنها فقد
اختر لنفسه العذاب الدائم وما يخص عنه ويقال له قال النبي
انه لا يصيح ولا يسمع احد صوته في الشوارع والكتاب يشهد
انه صرخ وقال الذي يومن في فليس يومن في يعطى بل والذي
ارسلني ويشهد لكتاب ايضا ان في اليوم الاخير في العيد
العظيم صرخ وقال من كان عطشان فلياتي الي ويشرث
ويوجد في الكتاب مثل هذا كثير وقد كان ايضا يطوف
الملايكه القوي فيعلم وكان خبره شايعا فيقال ان الصوت
الذي عنت النبوه عنه انما هو صوت الرجز والانتهاك
الذي ياتي من البحر والغصه لا صوت الرحمة والتقليد

والاجتهاد إلى الحق والفرصة في قوله الشوايع انه لا يقصد
التنازل بل شئته تهادي لا تقترجي يسير وفي الطرب
الذي لهذا بغير عار لان نداه الحق لا يمكن ان يهتد
كتمانته ^{داود} فيقول من اجل الذي يابسه ان الاله الحقيقي
ابرا الذي كانت يده يابسه يوم السبت والحزني الذين يقولون
انه لا يجب ان يعمل الخير في يوم السبت وايضا يشبه السبت آخرت
الانسان فانه يجب لكل احد ان يعمل الخير الى انقضاء عمره حينئذ
خرج الفريسيون متوازين في اهلا كه فعلهم يسوع وانتقل
من هناك ^{يو 8} الى بيتهم فاعلموا انه يجب ان يتقدم عن
موامرت القوم الاشرار ولا تسلم نفوسنا الى الذين يريدون
قتلنا ولا نخافهم ولا نراهم القوم الاشرار الامم كاهن الرب
وتبعه مع كثير من تلاميذه وامرهم الا يظلموا ذلك الذي يتم ما قيل
من اشعيا النبي القائل افرحوا فتاي الذي هو بيت وحييلي
الذي تربت به نفسي اضع روحي عليه ^{يو 8} قال انه امر
الذين ابراهم من العلة لا يظلموا امه لانهم يشا قبل الام العليل
المخلص ان يجله احد ^{يو 8} فربوت اشعيا قال اذا
سمعت فتاي الذي هو بيت وحييلي الذي تربت به نفسي فلا
تظن

تظن كظن قوم مضالعين ان للاب نفسا والاب جسد وكذلك
الروح القدس لان الكتاب يقول ان لجسد يقتل والروح
يحيى ولكن يكون ظنك في ذلك روحاني مثلاً يقول ايضا
ان له عيان وبيان ودرع وحناح كما هو مكتوب سترني
بظلال جناحك لان النبوة تعني جسد الله الكلمة الواحد
من الثالوث المقدس ويعني ان لا تكفر انفسه المرفوضة ولا
يطغى السراج الذي يطفئ الذي هو شعب اليهود الذي سماه
النبي قصبه مرفوضة وسراج يطفئ لانه كانوا مرفوضين
في افكارهم مظلمين في عقولهم لانه لم يكسرهم هاهنا انفسه
ولا طغاهم برجته ولكنه صبر عليهم حتى يخرج الحكم بالقلب
الذي هو يوم الدنونة فيقلب داحكم عليهم الحق واسمه
تستبشر الامم حقا ان الامم امنوا وهم الذين يستبشرون به
فصل الاصحاح الثالث والعشرين
حينئذ اتى اياه باعما به شيطان اخبره فابراه حتى ان الاخرى
تكلموا وبصر فبهمت الجميع كهمزوا لعل هذا هو ابن داود
فلما سمع الفريسيون قالوا هذا لا يخرج الشياطين بشي الا

مرفوضين

يساعل بول ريش الشياطين فلما علم فكره قال لهم كل ملكة تنقشر علي
 ذاتها تحرب وكل مدينة او بيت يقيم فلا تثبت فان كان الشيطان
 يخرج الشيطان فقد انقمتم فيكون مملكة فان كنت اب
 اخراج الشياطين يساعل بول فابناؤكم ما داخروهم من اجل هذا
 هم يصيرون حكاما عليكم فان كنت ابنا روح الله اخرج الشياطين
 فقد قدرت منكم ملكوت الله يكون يستطيع احد ان يدخل بيت القوي
 ويخطف متاعه الا ان يربط القوي اولاد وحبيد يذهب بيته
 من ليس معي فهو علي ومن معي فهو معي من اجل هذا اقول لكم ان كل
 خطية وتخليف تترك للناس والعجايب علي روح القدس لا تترك
 قيل له علي ابن الانسان تتركه والذي يعمل علي الروح القدس لا تترك
 له في هذا الدهر ولا في الآتي اما ان تجعلوا الشجر لحية وثمر طاجيد
 واما ان تجعلوا الشجر رديه وثمر خاردي لان من اثمره تعرف
 الشجر يا اولاد الافاعي كيف تستطيعون ان تتكلموا بالصالحا
 وانتم اشرار انما تنكلمون من فضل ما في القلب لاجل الصالح من كثره
 الصالح يخرج الصالح والرجل الشرير من كثره الشر يخرج
 الشر واقول لكم ان كل كلمة باطلة تيكلم بها الناس تعطون عنها
 جوابا

كسح

جوابا في يوم الدين لانكم من كل ملكة ترون ومن كل ملكة يحكم عليكم والمجد
 النفس يعلم ان هذا الانسان الذي قد مو الي السيد يسوع كان به
 ثلاث او جاع لانه كان اعمى واخرى به شيطان فلما انكم بكلاموا
 وابصر فتعجب الجمع لان الاله كانت متضاعفة والعله في كثره تعجبتم
 ان السيد كان عندهم منزلة انسان سادح من نسل اوور وغيره منزلة
 الاله فلما شاهدوا الاعضا التي كانت قد زهنت في يده قد شفيت
 وخروج الشيطان منه قالوا عسا هو ابن داود الذي يرحوه بن
 اسرائيل لانه ليس احد غيره يفعل هذا الايات وما سمع الفريسيون
 من اليهود مثل هذا القول ولم يقدروا ان ياروا في المعجزات
 التي تظهره احتملوا هذه المكيدة وقالوا انه انما يخرج الشياطين
 الاباعل بول ريش الشياطين وان السيد لما علم فكرهم
 لجأهم باجابات متنوعة الاول انه قال لهم اني لما انا انا
 مسامحة لقسما فحي تاتيه تسانق الزيادة الكثيره وتكون فيها شفاقا
 واختلافا فلما بدت ان تتناقض الحارة بعضها لبعض وهذا بعينه
 نحن نراه ونعرفه فان كانت مملكة الشيطان تتناقض نفسها وصار
 اركان الشياطين ينجح جوده عن الناس فاذا قد بطل ملكه لان
 سلطانها انما هو اذية الناس فقط هذا غير ممكن لان سلطان ما

الشيطان لا يقدر على نفسه الا الله وحده فاما قد صرح ان قولكم سفيه
وحمل والتأني ان السيد لما انتب القول الصادق ان دعوهم سفيه
وحمل حمل وكذا القول ان ذلك الامر ليس هو علي ما تقولون فقال لهم
ان الملائكة او البتة لم يقسم منها شيء فلا يمكن ان يكون تأنيبا بعد
القسمة على حاله وحده كما نريد لك عيانا واما كان الامر على ما ترعون
وترعون باي اخراج الشياطين باركوه فاولادكم الذين قد
قبولوا من الشيطان وسخطهم ان يفعلوا كما فعلوا فيمنعنا بماذا
هم يخرجون الشياطين الشتم الان ترون انما هم انما لا تتم
لهم الابدية التي في هذا هم ينجونكم ويصرون حكاما عليكم بالدينونة
فانتم فامرنا هذا ان هذا الامر ليس هو لاحد غيري ولي الشيطان
ان ينحه لمن يشاء والنا لله انه لما وكذا القول لهما اراد ان يشده
ويسير لهما الشيطان الذي به تنطاع الشياطين الى الخروج
عن الناس فقال لهما في روح الله اخراج الشياطين الذي له
القدرة على كل شيء وبه تكلم سقطت الشيطان وذهب بيت
واحد متاعه لان الذي يخضع للشيطان الشيطان لا محاله انه يصير
له مسكنا ويجمع فيه كل الرذائل والشور التي في متاعه ما ان الذي
يخضع لله هل قد لا يشك فيه ويجمع فيه الفضائل والخيرات فان
انتم

انتم قبلتم من هذا القول فقد قرستم ملكوت الله وان تقسم علي
ما انتم عليه مرجعوا كره هذا لما لا يقبل فقد تقسم لان الشيطان اكرم
يتمتع بديننا لانه لا يقدر ان يقا تلون متاعه ولا يمكن ان يكون
لمن هو في شدة حاجة ومعنى قوله من ليس معي فهو علي ومن لا يجمع معي فهو
يفرق اراد به ان المقصد الذي لنا قاصد هو هذا المقصد الشيطان
والفصل والفرق بين المقصدين من ظاهر ولا خلاف فيه وذا كل حب
ان اقرب كل الناس الى الله واقدم من الرذيلة الى اعمال الفضيلة
فاما اذا كانه قصده غير هذا المقصد وحده واجتماعه في
ايها جميع الناس من الله وظلالهم عن عبادته ولما كان الامر
هذا الصفة هم ان لا يوافقوا ولا يجمع معي وهو يعاندني ويفرق عني
وقوله من قبل كلمة علي ابن الانسان تترك له ومن يجدد علي
روح القدس لا تترك له في هذا الدهر ولا في الاتي المعني
في ذلك انه لما اخفى سر لاهوته عن كل احد صار لهما فيه عذبة كاضيق
انما يسبون انسانا سادجا يختلس لنفسه جلا وكرامة على ما
قدوة من اجل جهلهم بروبيته وبسر اتحادنا سونة بلاهوته
يفعل لهما افتراسهم عليه فاما الذين يفرون علي الروح القدس
فليس لهما اذا حجه ينجون هاهنا كرههم لان انا قسمهم اعمال الله

إلى الشيطان غير متيقية له عذراء فان همداموا على ما هم عليه كانوا في
هذه موشومين بالكفر ومنقبتين من شعبهم وفي الآخرة يماقنون
القبائل لتبديد ذاك الضمير اذا اوجبوا على انفسهم ان اخبروا
الشياطين من اجل احتراس الناس من عذابهم فهو فعل الاشرار وان
تركهم ليصرفوا الناس ويحكمهم هو فعل الاخيار وقد تجاوزهوا
تسليمهم وخروجهم عن شرفهم ولابهم الكفر وان قالوا ان نفي
الشياطين عن الناس من فعل الاخيار وتركهم لادبيتهم من فعل الاشرار
فكيف يمكن ان ينشأوا فعلا جليلا مثل هذا للشياطين الذي لا يجوز
ان يقال لهم غير انهم وللسايل ان يقولوا ان السقفة قال اطلبوا
تجدوا افرعوا اقمم لكم فليكن يقولون ان المجدف على الروح القدس
لا يغفر له لاني هذا الدهر ولا في الآتي فيقال ان السيد يقول هذا
ليقلع به البلب في وجه التوبة وانما قال هذا الان للذين كانوا
يفترون عليه ويقولون انه ساحر ومجنون وسامري كذبهم
انه انسان ساجد وانما بدعي ما هو فوق قدره لان امره لم يكن
مكتسوبا امره كما قد ذكرنا بديا من اجل هذا غفر لهم ما قد فوه به فامس
المجدفون على روح القدس الذي امره مكتسوفهم فافهمكم من
كفرهم عن حجة تكون لهم لان اولئك الحجة لهم من اجل انهم

عن

عن الحق وجههم بالامر وهو لا افتر واعلم الله بعد بصيره وعلمه ولا
خلاف في ان الكافر في هذه الدنيا عند اهل الحق يموت وفي الآخرة
معدن فاما الذي قلنا جمع عن كره الى الحق بتوبة نصوح فانه يصير
مقبولا عند الله والناس بلا شك لان الله هو للذين يرجعون اليه
بالتوبة غفورا رحيم واما التشديد الذي شدته بقوله لا يغفر له فانه
وصف الامر وصفا موفيا لان الافتري على الله صعب شديد العقوبة
عليه شديد جدا فافترط في التاكيد شقا على الناس حتى يتحزوا
ويتيقظوا من الزلل لئلا يقعوا ولا يكون لهم بعد سقوط طهر قيام
فيحضوا بالعدل الموبد فاما بعد الايمان المستقيم والتوبة
النقية فلا عقاب على احد وقوله اما ان تكون الشجرة حية
ومرعا حية واما ان تكون الشجرة ردية ومرة ردية لان
من الفرة تعرف الشجرة يا اولاد الانبياء كيف تستطيعون ان
ان تتكلموا بالصالحات وانتم اشرار وانما يتكلم الغمر بفضل
ما في القلب لاجل الصالح من كره الصالح يخرج الصالح والرجل
الشر من كره الشر يخرج الشر معنى ذلك ان كنتم مومنين
بالله وبجأزته على اعمال الصالحات فليكن تستطيعون ان

به

تَسْطِقُوا بِغَيْرِ الْحَسَنَاتِ لِأَنَّ الْكَلَامَ أَمَّا هُوَ تَبِعَ لِمَشَيْتِ النَّفْسُ وَإِنْ
كُنْتُمْ غَيْرَ مُؤْمِنِينَ بِاللَّهِ فَهَذَا لَكُمْ أَمَّا أَنْ تَقْرَأُوا أَوْ لَا تَقْرَأُوا لِأَنَّ
الْإِنْسَانَ الَّذِي يَغْفِرُ الصَّلَاحَاتِ فَيَمْلِكُهَا يَكُونُ كَلَامَهُ وَإِنْ غَضِرَ
الْإِنْسَانُ فَإِنَّهُ يَنْكَلِمُ بِغَاثِ الْأَفَاعِي الْقَاتِلَةِ لِأَنَّ كَلَامَهُ يَكُونُ
مُطَابِقًا لِحَيْوِهِ وَنَجَاتِهِ وَلَا حَالَهُ وَقَوْلُهُ أَقُولُ لَكُمْ أَنْ كُلَّ كَلِمَةٍ يَبْطُلُ
تَبْلُغُهَا النَّاسُ لَا يَدَانِ يَطُورُونَ عَصَا جَوْابًا فِي يَوْمِ الدِّينِ لِأَنَّ مَنْ
كَلَّمَكَ تَبَرُّرًا مِنْ كَلَامِكَ يَحْكُمُ عَلَيْكَ الْمَعْنَى فِي ذَلِكَ الْكَلِمَةِ
الْبَطَالَةُ أَرَادَ بِهَا مَعَانِي كَثِيرًا مِنْ جَلَّتْهَا الْكَذِبُ وَاللُّغْوُ وَالْعَيْبَةُ
وَالْهَزْوُ وَالْإِفْرَاقُ وَالْمَزَاحُ وَالْهَوُ وَالنِّمَمَةُ وَغَيْرُ ذَلِكَ مَا
يُشَبِّهُهُ لِأَنَّ الْكَلَامَ الَّذِي لَا يَكُونُ بِهِ مَنَفَعَةٌ لِلنَّاسِ فَهُوَ بَاطِلٌ
وَيُزِيلُ نَجَاةً بِالسَّيِّئِ عَنْهُ فِي يَوْمِ الدِّينِ وَجَوَابًا هُوَ الَّذِي
يُذَيِّنُنَا فَإِنْ كُنَّا أَرْبَابًا فَهُوَ يَقُودُنَا إِلَى مَوَاضِعِ الرِّفَاةِ وَإِنْ كُنَّا
فَجَارًا فَهُوَ يَقُودُنَا أَيْضًا إِلَى مَوَاضِعِ السَّخَطِ سَوَاءً نَسْتَعِزُّ بِغَيْرِ قَالٍ
مِنْ أَجْلِ الْأَمْرِ الْآخِرِ الَّذِي بَرَأَهُ أَنْ الشَّيْطَانَ الَّذِي جَعَلَ
ذَلِكَ الْإِنْسَانَ عَمَّا أَبْكُرُ لِيَلْزِمَ نَظْرًا إِلَى نَوَازِلِ الْمَسِيحِ وَيَوْمَ بِهِ
لَكِنْ أَرَبَ أَرَبَهُ مِنَ الْعَلَتَيْنِ الَّذِي هُوَ طَبِيبٌ لِطَبِيعِهِ وَلَيْسَ
لِلْجَنَّةِ

لِلْجَنَّةِ فَقَطُّ بَلْ لِلنَّفْسِ أَيْضًا وَإِنْ الْغَرِيبِيُّونَ لَجُّوا جَدُّوًا
عَلَيْهِ فَأَلَيْنَ لَيْسَ يَخْرُجُ الشَّيَاطِينُ إِلَّا بِمَا عَلَّ زَبُولُ رَيْسِ
الشَّيَاطِينِ وَإِنْ أَرَبَ كَرُوفًا رَحِمَ صَبْرَ هَذَا كَلِمَةً وَقَالَ الْهَرَانُ كُنْتُ نَا
بِالْمَيْسِ أَخْرَجَ الشَّيَاطِينُ فَأَبْنَا وَكِرَامًا دَاخِرًا جَوْنُ مِنْ أَجْلِ هَذَا هَمْرُ
يَحْكُمُونَ عَلَيْكُمْ عَمِّي بِذَلِكَ تَلَامِيذُ مَنْ يُعَذِّبُ قَلِيلًا وَكَانَ يُعَذِّبُ أَحَدًا
أَنْ يَدْخُلَ سَيْبُ الْقُوَى وَيَخْطُفُ مَتَاعَهُ إِلَّا أَنْ يَرِبُطَ الْقُوَى وَلَا وَحِيدًا
يَنْهَضُ سَيْبُ الْقُوَى هَاهُنَا هُوَ الشَّيْطَانُ الْقُوَى فِي الشَّرِّ وَالْبَيْتِ
هُوَ الْعَالَمُ وَالْمَتَاعُ هُمُ النَّاسُ فَلَمَّا رِبُطَ الشَّيْطَانُ عَلَى الصَّلْبِ
وَكَثُرَتْ قُوَّتُهُ وَجَعَلَهُ ضَعِيفًا وَهَبَّ مَتَاعَهُ الَّذِينَ هُمُ النَّاسُ نَحْنُ الَّذِينَ
كُنَّا فِي طَاعَتِهِ وَكَانَتْ مَتَاعًا لَهُ يَقُولُنَا عِبَادَتِ الْأَوْتَانِ مِنْ لَيْسَ
مَعِي فَهُوَ عَلِيٌّ وَمَنْ لَا يَجْمَعُ مَعِي فَهُوَ يَفْرَقُ الْمَعْنَى فِي ذَلِكَ أَنَّ اللَّهَ يَكُونُ
نَحْنُ الَّذِينَ يَتَابَعُهُ أَكْثَرُ مِنْ أَيْمَانِنَا صَحِيحًا أَدْعَاةً لِيُفِيضَ بِكُمْ مِنْ يَدِ
الشَّيْطَانِ الْقُوَى فِي الشَّرِّ وَجَعَلَتْكُمْ تَعَارُفِيًا تَسْتَحْكُمُونَ جُلُوسَ
الرُّوحِ فَيَكُونُ مِنْ أَجْلِ هَذَا لَا تَكُونُوا الشَّيْطَانُ سَكْرًا لِأَنَّ حَيَاتِي فِيكُمْ مِنْ
أَجْلِ أَمَّا لَكُمْ الرَّدِيَّةُ وَشَهْوَانَةُ الدُّنْيَا فَإِنَّكُمْ إِذَا فَعَلْتُمْ مَشِيئَتَهُ
قَدْ ضَرَرْتُمْ عَلَيَّ وَصَرَفْتُمْ مَبْدِيَّ مِنْ أَجْلِ هَذَا أَقُولُ لَكُمْ أَنْ كُلَّ خَطِيئَةٍ

وتجديف يترك للناس والنجديف على الروح القدس لا يترك له
 نسأوي من افتراق أن كل خطية يعلم الإنسان وكل تجديف
 يفسره فإذا قبل روح البنية بالمعمودية الميلاد الجديد وبعد ذلك
 مجدد على اللاهوت بأفعال الرزية نيكرا الأمانة لا تدركه
 ويترك للصراية ويموت في خطايا من غير توبة فليس له غفران
 إلى الأبدية تأثم الذنب يغفر أن من يقول عن الرب أنه يخرج
 الشياطين باليمن وليس برح الله هذا هو التجديف الذي على روح
 القدس وليس له غفران ولم يقل الرب أن كل من قال قولا على ابن البشر
 يغفر له اغني بهذا الذين جددوا عليه وهو معلق على الصليب وقد
 كان يطلب من الله أبية لأجلهم ويقول يا أباه اغفر لهم فانه
 ما يدرون ما يصنعون فووا الكهنة وحكام الشعب الذين
 يعرفون ما هم مكتوب في الكتب من أجله الذين جددوا عليه وقالوا
 انه باليمن يخرج الشياطين وليس برح الله فلا يكون له غفران
 في هذا العالم ولا في الآتي باستيلوس فاشترى أن كل إنسان
 يعطيه الله الموهبة الروحانية مثل البصر والدفاء وتواضع القلب
 وخلة روحانية التي هي تعليم الصلح ويزدي بها الإنسان فهو
 مجدد على الروح القدس كما فيهم وأنا لنماز لك دقات
 كثير

خط

و

كثيره ان يسمى المتواضع مرأيي والحكيم جاهل ويحسدون الموهبة
 الروحانية التي أعطاهم الله ويتكلمون فيهم بالقبح ويوجعون
 عليهم الدينونة أما ان تكون الشجرة جيدة وثمرها جيد وأما ان
 تكون الشجرة الرديئة وثمرها رديئاً لأن من الثمرة تعرف الشجرة
 وما أتوا ذلك سواي من غير قال الرجل الصالح من قال الله
 الكلمة والثمره لجيد هو روحه الجيبي الذي يأتي بخير التي هي
 الأمانة المستقيمة وتقام كل الفضائل والرجل الردي هو
 الشيطان وثمره الردي هو روحه السيئ كما رأته
 الذي هو يأتي بكل التجاريف والأحوال الرديئة التي هي
 مهلكة لنفوس ولذا لبتدأ الرب وقال من الثمرة تعرف
 الشجرة أقول لكم ان كل كلمة يتكلم بها الناس باطلا يعطون
 عنها جواباً في يوم الدين يوحنا الذهب يفسر قال ان الكلام
 الباطل هو الكذب والضحك النجس والكلام الردي ولذلك قال
 من كلامك تبرز ومن كلامك يحكم عليك انت الذي تكون ضد
 لنفسك من كلامك عند الحكم ^و والسمع لله دائماً ^و

فصل الاصحاح الرابع والعشرين

حينئذ اجابه قوم من الكتبة والفريسيين قائلين نريد يا معلم
ان ترى اية اجابهم وقال لهم لجيل الشرير الفاسق يطلب
ايه ولا يعطى اية الا اية يونان النبي لان يونان كما كان
في بطن الحوت ثلاثة ايام وثلاثة ليال كذلك يكون ابن الانسان
في قلب الارض ثلاثة ايام وثلاثة ليال رجال نينوى يقومون في
الحكم بحياهم لهذا الجيل لانهم تابوا بكرانتي يونان وهاهنا
افضل من يونان ملكة النينوى تقوم في الحكم مع هذا الجيل وحكامه
لانها انت من اقصى الارض تستمع من حكمه سليمان وهاهنا افضل
من سليمان ان الروح القدس اخرج من الانسان يذهب الي
اماكن غير ما طالبا راحه فلا يجد فيقول حينئذ اعود الي
بيتي الذي خرجت منه اولاه فياتي فيسجد للمكان فارغاً
مكوناً من زنا فيذهب حينئذ ويأخذه معه تبة او لوح اخر
اشر منه ويأتي ويسكن هناك فيصير اخره ذلك الانسان
اشر من اولته وهكذا يكون لهذا الجيل الشرير وبينما هم يتكلم
الجمع واذا امه واخوته قيام خارجاً يطلبون يكلمونه فقال لهم
واحد امك واخوتك يراي يطلبونك فاجاب الذي قال له من هم ابي
ومن هم اخوتي واوى يديه الي تلاميذه وقال هو لاي ابي واخوتي
وكل

وكل من يصنع مشيئتي الذي في السموات فهو اخي واخوتي واخي
التفسير ومعهم ان الكتبة والفريسيين لم يطلبوا من الله
ان يرهم اية الاعلى حكم العناد وذلك انهم في ذلك الوقت شاهدوا
تلك لايه الباهرة المضاعفة فقالوا انما علمت هذه الاسباب كل
زبول فعمل غيرهم في هذا الجيل الشرير الفاسق يطلب اية فلا
يعطى اية الا اية يونان النبي فمضى قوله الشرير لانهم لم يتوقف
انفسهم في فعل الخير وان الذي يكره الخير فهو كاشك يشتم في الشر
من اجل انه اقام الموتى وطهر البصر البصير والحيات وخرج الشياطين
عن الناس وكما اشبه ذلك من افعال المصلحات والخيرات وهم
يشنون ذلك ولا يرفعون اليه ثناءهم لجيل الشرير ثم قال بعد
ذلك لغاسقت ومعنى الغسق في ذلك الموضع لانهم تباعدوا
عن الله مرات كثيرة وتبعوا عبارات الاوثان كما قال النبي
اهمروا بالبحار والختب وقوله لا يعطى اية الا اية يونان
النبي كما كان في بطن الحوت ثلاثة ايام وثلاث ليال كذلك
يكون ابن الانسان في قلب الارض ثلاث ايام وثلاث ليال
فالمنافق في ذلك لاني يونان كانه انه يريد في البحر فابتلعته
الحوت ثم خرج من بطن الحوت وهو حي فبشبه السيد تلك الحاية

ما سيكون منه لأنه كان عالماً بان لشعب اليهود يومه ويقوم من
بني الاموات ومعنا انه يكون في قلب الارض ثلثت ايام وثلثت
ليال لان السيد لما اراد تمام تدبيره الذي تأمر اجملة وتكميل
نبوات الانبياء علمنا له وموته وقيامته امر تلاميذه ان يعدوا
الفصح في يوم الخميس الذي كانت صبيحته يوم الجمعة الذي فيه قبل
الامم بمجده الكثير ومن الوقت الذي امر لتلاميذه ان
يعدوا الفصح امتدت نفسه لنا طعة بقوت ايجادها
باللاهوت في قلب الارض حيث كان ادم ودريته اسارى
فبشرهم بالخلاص بشره تدركه الشياطين الذين يحجرون
عليهم حينئذ صاروا في نور بعد الظلمة ومجدوا الله
الذي انقذهم بنوره من ظلمة الشياطين وتوفي لكل النور
عندهم كما معزي حتى كمل التدبير وخلصوا واذ يلذ لك قول
الكتاب ان السيد قال لتلاميذه عندما اكلوا الفصح ان
الذي يجعل يد معي في الصحفة هو سلمي وقالنا واهذا لقول
وابن البشر امض كما كتب من اجله ثم قال بعد ذلك لويل لذلك الاشخاص
الذين سلموا ابن الانسان وقوله ابن البشر امض كما كتب من اجله ليس
هو

س

هو من شوق الكلام الذي تقدمه ولا هو مطابق لكلام الذي اتى
بعده ايضا بل انه كلام قابل لبداية ومعني به انه قدم في الي الذي
قد اتى من اجله ومعني اخر ان الكتاب يقول ان يهودا الاخير هو
لما اخذ الخبز الذي ناوله السيد وخرج قال السيد لان مجد ابن
البشر ومجد الله به يعني ان ادم ودريته قد بشروا بالخلاص
ورفعت عنهم الظلمة تجالوا القوة الالهية عندهم قد مجدوا
الله ومعني اخر ان الكتاب يشهد ان السيد قال لنا مجده في الارض
وذلك العمل الذي اعطيتني لاصنعه فقد كمل لان مجدني است
يا ابتاه والمفهوم ان السيد لما كان مجيئه لخلاص ادم ودريته
وقوله اني قد اكلت لعل الذي اعطيتني لاصنعه اي ان ادم ودر
قد بشرهم بالخلاص وازلت عنهم الظلمة وقد مجدوا اسمك
القدوس من اجل امتداد نفسه بقوت ايجادها باللاهوت
الكرمه واسرارها على ادم في المكان المظلم قبل حقيقة انه كان
في قلب الارض ثلثت ايام من خميس الى ليلة الاحد التي
كانت فيها قيامته من الاموات ومن هاهنا حلت الايام والليال
لان يوم خميس وليلة الاحد ويوم الجمعة وليلة السبت وليلة
وعا يفحص عنه ويقال ان بعض المفسرين قد قال ان الكتاب يشهد

في

انه في الساعة السابعة من خلويوم الجمعة غشت الارض كلها
ظلمة ودايت الى الساعة التاسعة وقد حسب النصارى ان يكون بعد
الظلمة يوماً وحسب الظلمة الذي لنت ليلة والنصارى ان يكون
بعد الظلمة يوماً تاني وليلة والسبت ويومه وليلة ومن هذا
الوجه قد حكمت ثلاثت ايام وثلاثت ليال فيقال ان بعض
الاباء على قول هذا التفسير فقال ان الظلمة التي غشت الارض
انما كانت يوم الجمعة واليوم الواحد يمكن ان يعدي بين لان
احدهما سمي الجمعة واليوم الاخر ما دامت فيه فهدا وجه لا يبطال
ذلك للتفسير والوجه الثاني في بطلان ان السيد في الوقت
الذي غشت الارض الظلمة لم يكن اسلم الروح ولا دفن ايضاً
ومن هاهنا اخبر حسابيه في هذا التفسير ومما قال بعض
المفسرين قال ان السيد دفن يوم الجمعة فاضيقه ليلته اليه
فكان يوم وليلة وقام ليلة الاحد فاضيق نهاره اليه فكان
يوم وليلة ويوم السبت وليلة فهو يوم وليلة صح فلي هذا
الوجه قد حكمت ثلث ايام وثلاث ليال فيقال ايضاً ان المفسرين
لم يوافقوا على هذا التفسير لان هذين المفسرين انما كانت
اشارتهما الى جسد المسيح وجسد المسيح لم يكن في قلب الارض
لا يثبت

لا يثبت الجمعة ولا يوم الاحد ايضاً وعلى هذا الوجه يبطل تفسيرهما
فاما يوحنا من الذهب فانه فسر هذا القول على حسب ما مثل
فقال ان السيد عني الارض للتلاميذ لا ينفصلوا الستة
لجديده التي تدعى فيهم وابن البشر اشار عن نفسه وان
يكون في الارض ثلاثة ايام وثلاثة ليال اشار الى دفن
جسده ورحمة لما اعطاه للتلاميذ في غشت المحشر فكانت
ان دفن فيهم ودفن بعد هذا الى غشت الاحد وهذا ثلاثة ايام
وثلاثة ليال وقلب الارض ارايه بطن الارض فان جسمه
حصل في بطن تلاميذ ونفسه انطلقت الى نفوس الابرار
في الهاوية واخرجت النفوس المحبوسه فيها وحملتهم الى
الفردوس واشكنتهم في القيامة وللشاي ان
يقول الحق قال السيدان هذا ليجل لا يقطي اليه الاية يونان النبي
وقد خدله آيات كثيرة قد فعلها بعد هذا القول وقبل الاية
التي يشهها آية يونان فيقال ان هذا الايات التي فعلها
السيد كما قد ذكر في فعلها لاجل الامتحان والتجربة وانما
كان يفعلها لمن ياتيه بضمير صادق وبنيه خالصه وايمان
محقق كي يخذلهم الى الايمان ومعرفة الحق فاما اهل

الامتحان والتجربة فلم يسمح لهم الا بآية يونان كما قال لهم وللشأن
ان يقولوا لان السيد قد خلاص النفوس الذي في من اجلها
من اسير الشيطان فآية حالجه دعتة الى دفته وقد كان يمكنه
القيام عندكم الى الامم الذي في من اجله لانه قد كان فيما الله
اراد بهذا انه يحقق موعده بجهنم الكرم وقيامته ايضا بذلك الجسد
الشريف حتى ان نفوسنا تطمان باننا اذا امتنا استغفر اجسادنا
في القيامة ولا يكون لنا في ذلك قلوب متحجة ولا يد اخلنا فيه
الشك البته واما قوله ان رجالا ينوي ملكة اليتيم فيقومون في
الحكم ويحلمون هذا الجمل اعني بذلك ان ينوي وملكه اليتيم
من المشغول لغريبه يقوم ينوي يقومون بغير الدين وهم مفتخرين
بطاعتهم ليونان وقبولهم منه قوله لهم وتوبتهم على يديه وعلى
افهم لهم قوة وملك اليتيم يقوم وهي مستطيلة بانها احتملت عنا
السفر ومشقاته حتى انت لتسمع من حكمة سليمان وانتم من الاله
المختار وقد شاهدتم من الايات والمعجزات ما لا يشاهد
احد غيركم وانتم مقيمون على مساوت قلوبكم ولا زعما وون الى
لحمت ولا ترجعون اليه حتى توفوا بخطاياكم فان اردتم اتباع
هذا فقايسروا ما فعله سليمان ويونان بعقلي وحبيد يتبين لكم
رجحان

رجحان الفضيلة هذا ان اخبرتم نفوسكم ترك الظلاله واتباع هذا
ولما يحكم هذا التوبيخ ضرر لهم مثلك فقال ان الروح الفخر اذا
خرج من الانسان ياتي امكانه ليس فيها ماء يطلب راحة فلا يجد
فيقول حينئذ يعود الى بيتي الذي خرجت منه اولا فياتي فيجد
المكان فارغاً مكنوساً مزينا معني لكي ياتي الذي يسمح
تعاليم ويصاها الذي يصنع من الايات والمعجزات يخرج هو
الظلاله من قلبه لوقته ولا يمكن تباته فيه لما قد شاهد عيانا
ولا محاله ايضا في ان نفسه تنفوق وتراح الى طريق هذا
واتباع الحق فان هو قوي عزيمه على ان يستشير بشيرت
الفضيلة مع ايمانه فهو اذ ائنت في محبي لان الذي يحكي هو
يحفظ وصايا التي هي محبت القريب وترك الغلبة
ورفض شهوات العيني والنعاعه بالعيش الشطفت ونحو الجسد
واشار العدك اطراح المعدل المان فاذا هو على هذا الوصايا
صار كاملا بالايان والفضائل وماليا من الكفر والردايل فان
هو قوي عزيمه عما قد حصله ورجح الى شيرته الاولى حينئذ ينهض
عليه مواكب الشياطين وتوقفه عن جس السلوك في شيرته
وطريقه ويعظم عليه بعد المسافه وكثرت لتعب وعظم
المشقه التي تناله في هذا السير التي قد اتخذها فان اخذ

وَمَا لَكُمْ لَعَنَ الْكَوْثَ فَهُوَ لَا يُسْقَطُهُ مِنْ حُبِّي وَيَعْتَبِرُ مِنْ تِلْكَ الْفِتْنَةِ
وَيَصِيرُ نَيْفًا فَإِنْ عَامَرْنَا لِلشَّيَاطِينِ وَقَوْلُهُ حَيْدُ يَذْهَبُ وَيَأْخُذُ مَعَهُ
تَبِعَهُ أَرْوَاحُ آخَرِ شَرِئَةٍ فَيَأْتِي وَيُسْكِرُ هُنَاكَ يَعْنِي بِذَلِكَ أَنَّ الَّذِي
قَدْ لَعَنَهُ حَبَّتِ اللَّهُ بَاتِيَانَهُ وَتَعْرِيزُ رِضَايَاهُ وَأَعْدَنُ نَفْسَهُ كُنَّا
لِلشَّيَاطِينِ فَالْشَّيْطَانُ الَّذِي كَانَ فِيهِ أَوَّلًا وَخَرَجَ مِنْهُ وَعَدَا إِلَيْهِ
هُوَ الظَّلَالَةُ وَالْمُتَّبِعَةُ الَّذِينَ سَكَنُوا مَعَهُ هُمُ السَّبْعَةُ رَدَائِلُ
تَسْتَضِيغُهُمْ بِالظَّلَالَةِ الْبَاطِنَةِ إِلَيْهَا وَذَلِكَ أَنَّهُ كَانَ فِي
إِيمَانِهِ حُبُّ اللَّهِ وَيَعْمَلُ رِضَايَاهُ صَارَ بِظُلُمَاتِهِ يَعْمَلُ اللَّهُ وَيَعْمَلُ
مِثْلَ الشَّيْطَانِ وَكَانَ فِي إِيمَانِهِ يَتَرْتَلِبُ لِعَلْبِهِ صَارَ بِظُلُمَاتِهِ
فَأَقُولُ كَانَ فِي إِيمَانِهِ يَرْفُضُ شَهَوَاتِ الْعَيْنِ صَارَ فِي ظُلُمَاتِهِ
مُرَانِيًا فَاسْتَقَاءَ كَانَ فِي إِيمَانِهِ قَانَعًا بِالْعَيْشِ الشَّطَفِ صَارَ فِي
ظُلُمَاتِهِ مَعَارِيًا يَشْهَدُ بِالزُّورِ كَانَ فِي إِيمَانِهِ يُوَرِّثُ الْعَدْلَ
صَارَ بِكِبْرِيَاءِهِ وَطَمَعِهِ جَائِرًا ظَالِمًا كَانَ فِي إِيمَانِهِ يَحِبُّ قَارِبَهُ
صَارَ فِي ظُلُمَاتِهِ يَمُوتُ إِلَيْهِ كَانَ فِي إِيمَانِهِ يَطْرُقُ حُبُّ الْمَالِ
وَيَهْوِي بِهِ صَارَ فِي ظُلُمَاتِهِ عَرِيضًا عَلَى جَمْعِهِ وَمَغْبُطًا بِحَفَظَتِهِ
وَقَوْلُهُ فَتَضِيرُ آخِرَتَ ذَلِكَ لِأَنَّهُ شَرُّ أَوَّلَتِهِ يَعْنِي بِذَلِكَ
أَنَّ الشَّرَّ الَّذِي كَانَ فِي أَوَّلَتِهِ أَنَّمَا هُوَ الْإِثْمُ وَالظَّلَالَةُ فَلَمَّا حَمَلَ
إِيمَانَهُ وَعَمِلَ الصَّالِحَاتِ ثَمَرَتَهَا وَاسْتَنْفَى عَنْهَا أَنْصَافًا إِلَى ظُلُمَاتِهِ
الْأُولَى

الْأُولَى الْمُتَقَلِّبُ الزَّيْنُ وَالْمُسْرَقَةُ وَشَهَادَتُ الزُّورِ وَيَعْقُوبُ الْوَالِدِينَ
وَيَجُورُ وَخَرَصَ عَلَى مَنَاعِ هَذِهِ الدُّنْيَا فَمِنْ هَاهُنَا صَارَتْ آخِرَتُهُ
شَرًّا مِنْ أَوَّلَتِهِ وَلِلنَّسَائِلِ أَنْ يَقُولَ هَلْ لَدَيْنِ قَدْ جَمَعُوا عَنْ الْإِيمَانِ
وَأَعْمَالِ الْفَضِيلَةِ يَقْطَعُ عَلَى جَمِيعِهِمْ بِفَعْلِ هَذِهِ الرَّدَائِلِ وَقَدْ
رَأَيْنَا قَوْمًا كَثِيرًا جَمَعُوا عَنْ الْإِيمَانِ وَفَعَلَ الْكُسُفَاتِ وَمَا عَمِلُوا
شَيْئًا مِنْ هَذِهِ الْحَقَائِقِ فَقَالُوا إِنَّ الْإِيضَاحَ قَدْ سَبَقَ بَانَ لِلَّهِ
تَعَالَى ذِكْرُهُ لَا يَجَانِبُ عَلَى الْأَفْعَالِ الظَّاهِرَةِ وَلَا الْخَيْرِ وَلَا الْبَشَرِ
وَأَمَّا الْجَانِبُ فَهُوَ فِي كَوْنِ عَلَى حَسَبِ لَدَيْهِ وَالْخَيْرِ وَمَعْلُومَاتِ
الْمُسْتَقَامِ عِنْدَ اللَّهِ وَالنَّاسِ أَكْثَرُ ذُنُوبًا مِنْ نِعَمَاتِ رَدَائِلِ الْمَوْصُوفِ
لِأَنَّ الْقَتْلَ مُحْسُوبٌ مِنْ رِضَايَةِ الَّذِي مَكَرَنَ يَكُونُ وَاحِدًا
مِنْ هَوَاهُ الَّذِينَ خَرَجُوا بَاتِيَانَهُمْ عَنِ الْإِيمَانِ وَتَعَبَدُوا لِلشَّيْطَانِ
إِذَا امْكَنَتْهُ الْغَرَضَةُ فِي إِخْلَاطِ أَيْلَتِهِ مِنْ عِلَاقَةٍ بِغَيْرِ جَائِلٍ تَجُولُ
بَيْنَهُمَا مَعَ بَعْدِهِ مِنَ اللَّهِ تَعَالَى هَلْ يَمُوتُ عَنْهُ وَيَتْرَكُهُ مَا لَهُ
عَلَيْهِ مِنَ الْكَوْثِ أَمْ يَسْتَوْفِي مِنْهُ بِمِجْمَعِ مَا لَهُ عَلَيْهِ مِنَ الْكَوْثِ بِغَيْرِ حَقٍّ بَلْ
رَبَّاءُ يَجُورُ عَلَيْهِ مَعَ ذَلِكَ جُورًا عِنْفًا مِنْ أَجْلِ قِسَاوَتِ قَلْبِهِ الَّذِي قَدْ
اكتسبها بِاتِّعَادِهِ فَقَبَسَ عَلَى ذَلِكَ أَنَّ امْتِنَاعَهُمْ مِنْ فَعْلِ الرَّدَائِلِ
هَذِهِ الْمَوْصُوفَةِ وَغَيْرِهَا أَنَّمَا هُوَ مِنْ أَجْلِ الْمَوَانِعِ الَّتِي تَبْعَدُهُمْ عَنْ
اقتعالها فَمَنْ مَطْلُوبُونَ بِهَا عَلَى حَسَبِ نِيَّاتِهِمْ وَضَائِرُهُمْ وَقَوْلُهُ هَكَذَا

يكون لهذا الجيل الشرير يعني بذلك الذين اليهود الذين كانوا في
أيام ظهوره ولم يؤمنوا به ينضوا إلى مجازاتهم في الدينونة علم
ظلالهم من أجل نفاقهم وكفرهم عما شاهدوه من الآيات الباهرة وقد
وقد صبر عليه بالصليب شد عذابه وعذاب فاما جوابه للذي
قال له وهو يعلم الجمع انهم كانوا يريدون ان يطلبوك فاوريده
إني أكيد ان هو لا يري ولخوفي وزرع مشيت إني الذي في
السموات هو الذي واخي واخي واخي المعاني ذلك انه لم يطرح محامي
ولخوته اليه وانما التزموا لصبر عنهم من أجل ضعف الجمع بتعليمه
الذي هو الله والشافي واعلمنا نحن ايضا ان لا نتوقف عن الاعمال
التي ترضي الله بشي من امور الدنيا ولا نخشع على محبت واعمال وصايا
لا تأب ولا اخ ولا امر ولا ابن كير لئلا نقول اننا نعمل للكتب
والفرسيين الذين قالوا انهم يامرون ان ترضوا اياه لان جميع
العلامات التي صنعها الرب عند اليهود كانوا يعملونها
كلها بافكارهم لسواهم انهم لم يسموا انهم يطلبون منه علما
من السماء فلماذا ساء القبيله الفاجرة لا تفر من لبيد يبعدها
من الله الاب وفشتعوا وصنعوا لهم العجل وسجدوا له مثل
الاله وهما الذين يقبلوا الابن ولا امنوا به ولا بالعلامات
التي صنعها قد آمنتم فحينئذ قد استوجبوا ان يسموا
القبيله

القبيله الفاجرة واما يونس فهو شبه ومثال الظهور المسيح شيئا
ان يونس صار في البحر وصار في بطن الحوت هكذا الرب كما اتا
إلى العالم بارادته هبط إلى البحر خلاصنا ومثلا ان يونس
اقام ثلاثة ايام وثلاثة ليال في بطن الحوت هكذا هو اقام
ثلاثة ايام وثلاث ليال في بطن الارض ايضا يونس في القبر
ثلاث ايام وثلاث ليال كما ذكر مرقس الانجيلي من
ثلاث ساعات يوم الجمعة انه صلب إلى ستة ساعات وكانت
الظلمة فعاد يوم السبت ستة ساعات إلى تسع ساعات ظلمة
صار ليل هكذا يجب الذين يفعلون كل شيء بحكمة ومن تسع ساعات
إلى ليل الجمعة صار يوم وايضا الليلة التي قبل السبت حار ليلتين
ويومين وبعد ذلك يوم السبت وليلت لاحد هكذا كانت الثلاثة
ايام وثلاث ليال هكذا ذكر ان يتم هذا الذي نعت في المزمون
اعني النبي اودوما قال لك جعلت ايامي عتقت ايامها
فنتت بسرعة وتواري مثل الامم عندك ساء ورسا البحر يركب غرس
الثلاثة ايام وثلاث ليال هكذا هي هاتين الساعات التي استمر فيها
الروح غنام من تسع ساعات حثيثا يوم وليله لان التوراه ابتدت
بهذا على يد موسى لما قال وكان الليل وكان النصار في اللغة
اليونانية ود اودوما يقول ايضا من أجل ذلك لا يسمون ان مثل ظلمته

كان ضياءه وايضا زكريا النبي يقول من اجل ذلك ليؤمن انه يوم معروف
لرب ليس هو نور ولا ليلة وليكن النور وقت المساء الذي هو النور الذي
كان بالمشاء يوم الجمعة الفصح المعترف والثالث هو اليوم الثاني للامجد
هو اليوم الثالث رجال ينوي يقومون في الحكم ويجاؤون هذا الجليل
لاهمنا ابوابكم انتم يونان وها هنا افضل من يونان كير ليس البطريرك
يقول ان اهل نينوى هم من الامم هم يلبسون امانه فيه بناموس
موسى ولم يروا شيئا قط وكذلك ملك اليتيم في برية انت من افعى
الارض لتسمع من حكمت سليمان وكذلك قال ان هاهنا افضل من سليمان
لان ملك في اسرائيل وضع في طبعها وانما اخذت الموت وبعد
الطريق وجاءت لتسمع من حكمت سليمان قال ان هاهنا افضل من
سليمان الذي هو الله الكلمة واهل نينوى وملك اليتيم هم يدينون
اليهود في يوم الدينونة لانهم لم يروا نبيا ولا نبيا ولا علامه وامسوا
واليهود لم يروا معاشا هدا من الامم ان الروح النجس اخرج
من الانسان ياتي امكنه ليس فيها ما يطلب راحة فلا يجد فيقول
حينئذ يجمع الي سبي الذي خرج منه كير ليس فيقول اذا كان
بالانسان في من السموات اريدته ولم يتبعها لكنه قطعها فمرب
السطاعنة ثم مضى الى موضع ليس فيها ماء يعني انفس القديسين
الذي ليس له فيهم نصيب حينئذ يقول اعود الي سبي الذي خرجت
منه

منه فاذا جاء وجده فارغا منصف من نياها لرد ابل اي اتي حبه
فارغا من ادوات الله خرايا وهو متفرغا منها الى الامم التي
تضادها وخال من اعمال الله وهو متفرغ لاعمال الشيطان مترين
بالاعمال الجسدانية المعبد للارض عند ذلك ليخذه معه سبعة ارواح
اخر اخذت منه ويا في بيتك فيه فتكون اخرت ذلك لاسنان اشترى
اولته والذي يعتمد بالاملا الجديد فان روح التجديد الذي مر قلت
الايمان اني الروح السوا الذي قلت الامانة الذي خرج منه اول ايعود
اليه وايضا ان الروح الذي قبله تركه وفي الموضع ليس فيها ماء الذي
في انفس الامميا يطلب راحة فلا يجد حينئذ ينطقون ويشوق معه
سبعة ارواح اخر شر امته كذلك فعلوا اليهود قاموا على المجدد
وقتلوه وكذلك صارت اخر شر امم اول شهير ومن اجل هذا اعدا القول
هكذا لا يصيب هذه القبيلة وفيما هو يجمع واذا امة ولخوته قساع
خارجا يطلبون يكلونه فقال له ولعلكم ولخوتك يراي طلبونك
فاوي بيدك الى الامميه وقال هو لا يري ولخوتي ومن يصنع مشيتي
الذي في السموات فهو اخي واخي وايي مخاف الذمب يغفر قال ان
لرقل هذا يرضى بامه وابيه ولخوته لكنه يعلمنا ان لا نقصص باينا واقا
اذا كانوا غير صديقين فلين ينفقوا بشي ادر لنصنع مشيت الاب الذي
في السموات الذي له المجد والتسبح والبركات الى ابد الابد امين

❖ قَصْرُ الْأَصْحَاحِ الْخَامِسُ الْعَشَرُ ❖

وَفِي ذَلِكَ لَأَبْرَأُكَ بَاسْمِ اللَّهِ الْوَهْدَانِ عَلَى جَانِبِ الْخَرَابِ اجْتَمَعَ
إِلَيْهِ جَمْعٌ كَبِيرٌ حَتَّى لَمْ يَبْقَ فِي السَّيْفَةِ وَجَلَسَ وَكَانَ الْجَمْعُ كُلُّهُ قِيَامًا
عَلَى الشَّطْرِ فَكَلَّمَهُمْ بِأَمْثَالٍ كَثِيرَةٍ قَائِلًا لَهُمْ هَذَا الزَّرْعُ قَدْ خَرَجَ
لِيَزْرَعَ فِيمَا هُوَ زَرْعٌ سَقَطَ الْبَعْضُ مِنْهُ عَلَى الطَّيْفِ فَأَتَى
الطَّيْرُ وَآكَلَهُ وَبَعْضُ سَقَطَ عَلَى الصَّخْرَةِ حَيْثُ لَمْ تَكُنْ لَهُ أَرْضٌ تَعْمَقُ
وَلَوَقْتُ انْتِزَاقَ الشَّمْسِ وَمَا انْتِزَاقَ الشَّمْسِ حَتَّى وَلَانَهُ لَيْسَ لَهُ أَصْلٌ
يَسْتَنْ وَبَعْضُ آخَرَ سَقَطَ عَلَى الشُّوكِ فَطَلَعَ الشُّوكُ وَخَفَنَهُ وَبَعْضُ
سَقَطَ عَلَى الْأَرْضِ الْحَبِيَّةِ فَأَعْطَاهُ ثَمَرَهُ حَيْثُكَ لَوْلَاهُ بَابُهُ وَالْآخَرُ
سَيِّئٌ وَآخَرُ ثَلَاثِينَ مِنْهُ إِذَا بَارَسَا مَعْتَانِ فَلْيَتَمَعَّ فَتَقَدَّرَ إِلَيْهِ تَلَامِيذُ
وَقَالُوا لَهُ لَنَحْنُ أَطْبَقُهُمْ بِأَمْثَالٍ فَلَجَابَهُمْ وَقَالَ لَنْتَرَا عَظِيمَةً مَعْرِفَتِ
سَرَ أَيْرٍ مَكُونَتِ اللَّهِ وَأُولَئِكَ لَمْ يَقْطُوا وَمِنْ كَانَ لَهُ يَطْبُورُ وَبِرْدُ أَرْدُونِ
لَيْسَ لَهُ فَالَّذِي مَعَهُ بِخَذَنَةٍ فَلَهُدَا أَكْمَهُمْ بِالْأَمْثَالِ الْآخَرُ مَبْصُورُونَ
وَلَا يَبْصُرُونَ وَشَامِعُونَ يَسْمَعُونَ وَلَا يَفْهَمُونَ فَيَسْمَعُونَ تَمَنُّوتَ
أَسْبَاطِ النَّبِيِّ إِبْرَاهِيمَ عَالِمًا يَسْمَعُونَ وَلَا يَفْهَمُونَ وَنَظَرَ إِنْ يَطْرُقُونَ
وَلَا يَنْظُرُونَ لَقَدْ غَلِظَ قَلْبُ هَذَا الشَّعْبِ وَتَغَلَّتْ أَدَانُهُمْ عَنِ
السَّمَاعِ وَغَضُّوا عَيْوَنَهُمْ لِيَلْبِصُوا وَيَبْغُضُوا وَيَسْمَعُوا بِأَذَانِهِمْ وَيَسْمَعُوا
بِقُلُوبِهِمْ وَجَسَّوْا إِلَى فِاسْتَفْهَمُوا فَمَا انْتَمَرَفَطُوا لِأَيْدِيهِمْ لَمْ يَرَوْا

تَرَوْا وَلَا أَنْتُمْ لَأَهْلًا تَسْمَعُ لِحَقِّ أَقْوَالِكُمْ إِنْ كَثُرَ مِنَ الْأَسْبَابِ
وَالصَّادِقِينَ اسْتَفْهَمُوا أَنْ يَرَوْا أَمْ يَسْمَعُونَ فَلَمْ يَرَوْا وَبَشَرُوا مَا تَسْمَعُونَ
فَلَمْ يَسْمَعُوا فَمَا تَسْمَعُوا انْتَمَرَفَطُوا الزَّرْعُ كُلُّ مَنْ يَسْمَعُ كَلَامَ الْمَلَكُوتِ وَلَا
يَفْهَمُهُ يَأْتِي الشَّرِيفُ فَيَخْطُو الْمَرْزُوقَ فِي قَلْبِهِ هَذَا هُوَ الَّذِي زَرَعَ عَلَى
الطَّرِيقِ وَالَّذِي زَرَعَ عَلَى الصَّخْرَةِ هُوَ الَّذِي يَسْمَعُ الْكَلَامَ وَلَوْ قَدْ
يَقْبَلُهُ بَفَرْجٍ وَلَيْسَ لَهُ فِيهِ أَصْلٌ لَكِنْ إِنْ يَزِيدُ مِنْ بَشَرٍ إِنْ كَانَ ضَعِيفًا
طَرْدَ لَجَلِ الْكَلِمَةِ فَلَمَّا لَوَقْتُ وَالَّذِي زَرَعَ فِي الشُّوكِ هَذَا هُوَ الَّذِي
يَسْمَعُ الْكَلَامَ فَيَخْشَى الْكَلَامَ فِيهِ هَلُمُّ هَذَا الدَّهْرُ وَخَدَعَ الْفَنَاءَ
فَيَكُونُ بَغِيرَ عَمَلِهِ وَالَّذِي زَرَعَ فِي الْأَرْضِ الْحَبِيَّةِ هَذَا هُوَ الَّذِي يَسْمَعُ
الْكَلَامَ فَيَتَفَكَّرُ فَيُعْطِي ثَمَرَهُ لَوْلَاهُ بَابُهُ وَالْآخَرُ سَيِّئٌ وَآخَرُ
ثَلَاثِينَ وَضَرَبَ لَهُمْ مَثَلًا آخَرَ قَائِلًا لَشَبَابِهِ مَكُونَتِ السَّمَوَاتِ إِنْسَانًا
زَرَعَ زَرْعًا حَبِيصًا فِي حَقْلِهِ فَلَمَّا نَامَ لَنَامَتْ جَاعِدَةٌ وَزَرَعَ زَرْعًا وَنَامَ وَسَطَ
الْفَقْمِ وَمَعْنَى فَلَمَّا نَبَتَ الْفَقْمُ وَصَنَعَتْهُ حَبِيصٌ ظَهَرَ الزَّرْعُ أَيْضًا وَأَيْضًا
عَبِيدُ الْخَطِّ وَقَالُوا لَهُ يَا سَيِّدُنَا أَيْسَرَ زَرْعًا حَبِيصًا زَرْعًا فِي حَقْلِكَ مِنْ
إِنْ صَارَ فِيهِ هَذَا الزَّرْعُ الْآخَرُ فَقَالَ لَهُمْ إِنَّا صَنَعْنَا هَذَا لِجَلِّ عَدُوِّ
فَقَالَ لَهُمْ عَبِيدُهُ أَنْزِلُوا نَزْدَانِ نَذْهَبُ فَنَجْمَعُهُ أَمَا هُوَ فَقَالَ لَا يَلَا تَجْمَعُوا
الزَّرْعَ تَقْطَعُ مَعَهُ الْخَطَّةَ دَعَوْهَا يَنْبَتَانِ مَعًا إِلَى زَمَانٍ
الْحَصَادِ وَفِي زَمَانٍ الْحَصَادِ أَقُولُ لِلْحَصَادِيِّنَ أُولَا تَجْمَعُوا الزَّرْعَ

وشدوه حرماً ليعزوا النار ولما القع اجمعه الى اهراي وضرب لفسر
مثلاً اخر قايلاً تشبه ملكوت السموات حبة خردل اخذها انسان وزرعها
في حقله لانها اصغر الزرايع كلها فلا اطالت مارت اكبر من جميع
البقول فلتصير شجرة حتى ان طير السماء ياتي فيستقر في اشغافها وكلهم
يعمل اخر وقال ليعزوا تشبه ملكوت السموات ثمر الخدنة امر اه وخبائه في
ثلاثة ايام لا يقوى فلحقهم الحين جميعه هذا كله قاله يسوع للجمع
بأشياء اخرى مثل الذين يكلمهم بهذا ليعزوا تيل من النبي القايك
افتح فمك بالامثال وانطق بالحقيقت من قبل انشا العالم حينئذ
ترك يسوع الجمع وجاء الى البيت فجا اليه تلاميذه وقالوا له
فسر لنا امثال زولان الحقل وقال الذي زرع الزرع الجيد
هو ابن الانسان والحقل هو العالم والزرع الجيد هم بنو الملكوت
والزولان هم بنو الشر والاعداء الذين زرعهم هو الشيطان والحصاد
هو منتقمي الدهر والحصادون هم الملائكة وكما اخبركم عن الزولان
او كما يحرقون النار هكذا يكون في خباية هذا الدهر يرسل ابن الانسان
ملائكته ويجمعون من مملكته كل الشاكر وفاعلي الامم ويلقونهم في
اثون النار هناك يكون ليكا وصير الانسان حينئذ تقب
الصديقون كمثل الشمس في ملكوت ابيهم من له اذان سامعتان
فليسمع وتشبه ملكوت السموات كثرة اخفيا في حقل وجده انسان
فجابه

فجابه ومن فصرحه مغوي باع كلمه واشترى ذلك الحقل وايضا
تشبه ملكوت السموات انسانا تاجر يطلب الجواهر فوجد جوهراً
كثيراً الثمن فمغوي باع كلمه واشترىها وايضا تشبه ملكوت
السموات تشبه القيت في البحر فجمعت من كل جنس ولما امتلأت
اطلعتها الى الشط فجلست وجمعوا الحياض في الادويه ولا تشار
رموه خارجاً هكذا يكون في انقضاء هذا الدهر يخرج الملائكة
فيغزرون الاشرا من وسطا الصديقين ويلقونهم في اثون النار
هناك يكون ليكا وصير الانسان ثم قال ليعزوا اخبركم هذا
كله قالوا نعم يا رب قال ليعزوا اجل هذا كل كاتب يتعلم ملكوت السموات
يشبه انسان ربح حقل يخرج من زرع جدد او قدماً ولما اكمل يسوع
هذه الامثال انتقل من هناك نحواً الى مدينته وكان يعلم في
بجائهم حتى اتم صوا وقالوا من ابله الحكمة وهذا القوي اليس هذا
هو ابن التجار اليس امة يما لها مريم ولخوته يعقوب ويوسا وشمعان
ويهوذا اليس اخوته كلهم عندنا فمن ابله هذا كله وكانوا يشكون
فيه وان يسوع قال لهم لا يجان بنو الابن بلده وبيته ولم يصنع
هناك قوات كثيرة من اجل عدم ايمانهم التفتشوا ان مثل الزارع والذي
قد سقط منه قد فسره الرب في الانجيل ثلوا المشق فاما
قوله عن الذي سقط في الارض الجيدة انه اعطاه ثمره للوحدانية

ولاخر تسين ولاخر ثلثين فالعنا في ذلك ان الذي اعطى الواحد
 ما به هو الذي يفعل افعال الفضائل ترفعاً اختياراً بالضمير صادقاً لله
 بغير داعي ولا شئ مثل الصدقة والصلاه والصيام وترك الكبرياء
 والشهوات العالمية وما يجري مجرى ذلك في طلب جزاء الآخرة فان
 كل من يفعل ما به ما به والذي اعطى للآخر تسين فهو الذي
 يفعل البر اذا دعي اليه بغير خلاف ولا ونيه ولا جبر فان كل من يقرب
 عنه تسين فاما الذي يفعل الخير كرهاً من غير اختيار اما للحاجة
 محتاجاً او استحياء من الناس واما على حكم الاعتصاف فانه يعطى
 ثلثين فهذا ثلث مراتب قد بينتها لنا الرب لتو عن الاول منها
 كي يتقسطوا على افعال الفضائل ترفعاً بغير نية حتى يحصل لها اجر
 الوافر اجر جليل كما نحن ايضا نضع فيما يختص اجسامنا والثاني منها
 انه ينبت ايضا عندنا ان الذي يعطيه في هذا الدنيا اعتصافاً
 لا يضيعة الله تعالى بل يضيعة لنا للوحد ثلثين وهكذا جميع
 افعال البر الذي نصب على افعالها تضعف لنا امر الله للوحد ثلثين
 ودل ايضا هذا المعنا ان الذين يقبلون التعليم ويتبنون عليه
 ويعلمون اعمالاً تليق بفرأيه ولا يترسونه يقبلون جميعهم قسواً
 متساوياً الا ان كل واحد منهم يعطي قدر ما وصل اليه في اعماله الفضيلة
 فاما لقبولهم واحد والعطية متلونه لانه فرق بينهم ثلث جهات

صحيحه

صحبته صارقة لان منهم من يكثر لعنايه بالفضيلة وهو مجد
 منهم في الكسب لخط الوافر ومنهم من عنايته بالفضيلة وكسباً
 دون ذلك فاجراً انه يقبل هو لا لقبول الاوليك وانه يوصل كل
 واحد منهم الى موضع انتهت به فضيلته وقوله ومن له ادنان
 سامعتان فليسمع يعني بذلك ان الانسان الذي يقتني هو صليحاً
 تاباً لتقوى الله وتكون نية مخلصه صارقة اذا سمع الكلام الذي
 يورث اليه ثمرت لفضيلة ينصب باذنيه الى سماعه ويصرف ذهنه
 الى مهانيه فينال الاستعلان الشراي على حاله بغير جليل واما الذي
 ليس له هو صليح يتبع تقوى الله ولا يترك صحباً في اخلاص نية
 فانه يسمع ولا يصغي الى ما يقال من اجل قسا دنيته وضيعة فلا يوصل
 الى الاستعلان ما هو شغل على غيره فليله الى السية وقوله للتلاميذ
 انتم عظيم معرفه سراير ملكوت السموات واوليك لم يعطوا ومن
 كان له يعطوا زداد ومن ليس له يخذله مأمعه اراد بذلك ان
 يهيئ في قلوب التلاميذ جاشديك لاهم كانوا يفتهمون ما يقال يحفظون
 بمودة جريه ويرشون العلم منه وتيارون على العمل به وبينهم ايضا
 اخم لم يعطوا هذا العطية دون غيرهم الامن اجل محافظتهم على
 التعليم بتفاوت قلب وحبه في اخم بعد هذه العطية يزادون
 حاول الروح القدس عليهم الذي يبلغون به الى حد الكمال واما

نه

الذين يسمعون لتعليم ويعلمون الحسنات ولم يكن لهم نيات للكرم
تياهم خبيثة وضمايرهم بايلة الى هذه الدنيا الزائلة ولذا تها
الوقية وزخا فيها الزمنية ويرون ان الوعد ملكوت السموات
هديا بطل وقول الحق له من اجل نياتهم الخبيثة لا يعطون نعمه
والذي يفعلون من الحسنات يصد منهم لاهم كانوا يظهرون باعالم
انهم وعقائد مستعدة لحشت الله وضمايرهم ونياتهم تضاد افعا لهم
ومجاهدات وخمير باكرامه للتلاميذ واعطوا الطوفان لهم وان
قولا شعبيا النبي قد تم فيهم ومعنى مثل الزرع الجيد والذوات
قد فسرته الرب في الانجيل واما قوله تشبه ملكوت السموات حبة
خرد الخد لها انسان وزرعها في حقله لانها اصغرا لنرايح جميعها
واذا اطالت صارت اكبر من جميع البقول وتضير شجرة حتى ان
طير السماء يستظل في اعصافها يعني بذلك ان حبة الخرد
اذا اقيت بغيرها من البرزخ وجدت اصغر منها كلها وهكذا
الذي يتبعوه وامنوا به كانوا اقتر الناس من الماروا لهم واقلهم
عددا واذا ما هم قيسوا باخبرائه كانت وجدوا اصغر منها
واحق من كل وجوه العالم بما لا قياس عليه فاشعرهم بانهم سيبفون
في الكثرة حتى يفتقروا الامم كلها بكثرتهم ويعظم قدسهم الى ان يصيروا
اكثر الشعوب من رعاياهم ويستظلون بظلالهم وقال ايضا بعض
المفسرين

٥٦
المفسرين ان حبة الخرد من شاتها انها لا تنقسم كما ينقسم غيرها من
البقول وهذا هو المراد في قوله انها صهيحة صغيرة فثبتت
بالامانة الصهيحة المستقيمة وانها اذا زرع في الانسان
وقبلها فتبولا صهيحا انبتت فيه اعصان لفصيله حتى انه يصير
انودجا مختارا يستسار بفضايله وتتبع سيرته واما قوله تشبه
ملكوت السموات خيرا اخذته امراه وخبائه في ثلث اكيال اذ يقوى
فاحتمل الجميع ارا هذا المثل ان ياكدا لاهم في المثل الذي تقدمه
فقال لا الخير ولا يمكن لان يكون قليلا وانه ايضا لا يقدم في حبلت
لما طعمه التي تكون منها قوام الابدان والذين امنوا به ويتبعوه كانوا
مخفون بين الناس من الفقر وقتل اعداء فقال لهم تسكنون
روا على الفرق الثلاثة لان اليهود والسامرة والوثنيين
سيتحولون عن امرهم القبيح الذي كانوا عليه ومنهم من فيه
وبرعا ووثنا الى الحق وانهم سيكونون تحت امره ويكون الراي
ولمخدا في تعليمي وبشرائي ويشهد هذا القول بكلام النبوة ان
باشا الى اعمار ما هو خفيا ومستورا عن الناس الخيرا اذ هو المذهب
المسيحي الذي سلكه التلاميذ الثلاثة اكيال هم الثلاثة
فوقات التي تتحلى اليه ويصبرون مع المسيحية طعاما ولحدا
وقوله تشبه ملكوت السموات كنز اخفيا في حقل وجد انسان فجاه

ومضجته مضجوع كل شيء واشترى ذلك العقل يعني هذا
المثل ان شرا لاهوت المسيح التي اخفاها في ناسوته هي لكن
الحق والانسان الذي وجد اكثر هم اليهود الذين كان لهم
بدليل الله الغنايه الجبرله ولما استدلوا بدلائل الناموس والانبيا
على عظمه هذا الدين وانسفته لهم اسرار ومعانيه دخلوا حينئذ
فيه بالفرح والاشتهاج وتباعدا عن سنتهم الاولى ورفضوها
وصارت عندهم كالتى كما قال بولس الرسول ان تلك الاشياء التي
كانت عندي رجاءا قد خسرنا من اجل المسيح الذي من
اجله خسرنا كل شيء ولقد كنت كذلك قبل الذي بيع فيه كي
ابح المسيح وقوله تشبه ملكوت السموات انسانا تاجرا يطلب
الجوهر الجيد فوجد ذلك كثير الثمن فباع كل ما له واشترى افا
اراد هذا المثل ان يوكدا مثل الذي تقدم وعني بالتاجر الذي
يطلب الجوهر الجيد عن الذين لهم بصيرة بالامور المحققة الصادقة
وقد جعلوا تجارهم درسل الحكمة والعلوم حيث انهم ياصلون الي
معرفة الحق وعني بالدوك عن الامانة المستقيمة التي هي الفنا الكامل
وبها يكون قبول جميع الخيرات ومعلوم ان الفنا الصالح الذي به
يورث ملكوت السموات ليس هو شرطا هو ابري عيلا لانه ولا هو ايضا
موضوعا يحتاج لصبأ عين لنا من بل هو شر محجب كما قال
الرسول

الرسول اننا انما نتكلم بالحكمة في الاملاك حكيمه لئلا لا نرى
هذا العالم الذين يزولون بل انما نتكلم بحكمه في المسترة تلك التي
كانت خفية التي تسوق الله قافزها قبل العالمين لجدنا نحن تلك
التي لم يعرفوها ولات هذا العالم المظلم لانهم لو كانوا عرفوها لما
صلبوا رب المجد وعزوبكرت عن الدوك التي هي الامانة الحقيقية
لانها انما عرفت بانحطاط كلمت الله الانبي وتنازله حتى ارتد
انجدهم نحن انما عرفت بانحطاط كلمت الله الانبي وتنازله حتى ارتد
مشطوط في انجيله المقدس فمنها انما عرفنا انما كثير الثمن
والمعنا في انه باع كل ما له واشترى افا يعني ان الذين جعلوا
تجارهم درسل الحكمة والعلوم كي يبدوا الحق وانهم لما شاهدوا
البراهين والمعجزات التي كانت ظاهرها على يدي السيد ولاه
وظفروا بالامر الذي كانوا يتبعون انفسهم في طلبه وعرفوا
ان هذا الامر لما لا يفوق بشريه وضعفها حينئذ كسبت
تجارهم التي هي درسل الحكمة والعلوم فماتت عليهم مراد ظهر
ضعفها عندهم وتركوها تركا كلياً ونقضوا عندها بلامانة
المستقيمة التي اشترى افا ما كانوا يملكونه ويخرجون فيه من
العلوم والحكمة وقوله تشبه ملكوت السموات تشبها في
البحر فجمعت من كل جنس فلما امتلأت اطلعوها الي السطح

فجلسوا جميعاً للحياة في الأوعية والأشجار أربعمائة هكذا
يكون في استنهاذا الدهر تخرج الملائكة فيفرون
الأشجار وسطاً الصالحين وليقوموا في أتون النار هناك
يكون ليكا وصيرا لآسان يعول لشبهه في تعليم الأجيال والآيات
التي يقصدها والشمل للناس الذين يؤمنون من كل مكان
وليس تجري لهم على نظام واحد في أعمالهم لأن منهم من يدير
أمره بشيرة فضيلة وطبقاً لهم غير متساوية فيهم ومنهم
من يتدبر بشيرة مضادة لتلك المسيرة لكسبه فاذلجات
الآخرة مبيت الملائكة هؤلاء من أوليك وإن كان الوعد
قد خلطهم من أجل الإيمان وترفع الصالحين الذين قد
تقربوا إلى الله بالخشية وأعمال الفضيلة إلى مواضع النعيم
على قدر طبقاتهم وتضع الطالحين الذين عملوا ضد الفضيلة
إلى مواضع العذاب وقوله من أجل هذا كل كاتب يتعلم ملكوت
السموات يشبه آسان رجلاً الذي يخرج من كنز جديداً
وقدما يفتي هذا القول أن الاختيار الذين يهتدون ويؤمنون
من اليهود يستدل لهم من ناموس العتيقة على معرفة الحق ثم
يجفطون السنة الجديدة على ما هي عليه ويقاوم بها فقد
احزنوا جميع الحكمة منها وصاروا من كنزهم الماليين بشيا لهم
كالأخبار

كالأخبار التي تفيض وأما تعجب اليهود وهتهم من عالم السيد آياته
التي يصنعها لأخبر كانوا متعجبين من حكمت كلامه ويرد آتون
تعجباً من الآيات التي يفعلها ويكثر تحيرهم إذا همذكروا يوسف
الكونهم كانوا يعتقدون أنه أبوه فيجولوه وحول مريم كانوا يزدرون
بفعله على عظمه وجلاله ولقد كان لأجد بهن ان يعظمه في
أعينهم لما يفعلها لأن الناس إنما يشفون في هذه الدنيا وسجلون
من أجل النعم التي لهم فقط وذا كان لطبيعته ولحده للناس
كافة والآيات التي يصنعها فأنها دليل على قوته فلا باعد
منهم كانوا يتعجبون من كلامه وما يعمده على سبيل الواجب
والإقار كان تعجبهم من أجل تحول يوسف ومريم ولهذا قال لهم
لما كان في الهيكل ولم يصنع هناك قوات كثيرة من أجل
علمهم بما يصنع وحسباً الذي يفتي مثل الزارع قال قد خرج
الزارع يزرع من الذي خرج يزرع هو ابن الله الذي أتى إلى
العالم يزرع كلام الأجيل في قلوب المؤمنين من ههنا الذين
وقعوا على قاعة الطريق هم اليهود والآريوسيين وكل
هرطقة الأمانة ويقول الناموس يا الله لأنه ذكر أنهم سقطوا
على قاعة الطريق فجات الطيور واكلته التي هي المذواح
النجسة التي كادوا هم عن طريق الله من ههنا الذين وقعوا

على الصخرة هم الذين يقولوا انا مومنين وانتمون بايماننا
وفهم قسأت القلوب ونياهم ردية الذين يقبلون القول بسرعة
وليس له فيهم اصل لكنه الى حين يسير فاذا انما هم اضطهاد
قليل من اجل الايمان او في حال معروف بالفضائل عند ذلك
يتغيرون ويشكون من هم الذين يثقفوا في الشوك هم الاغنيا
الذين ليس فيهم راحة المجهتون بهذا العالم الزايل الكثير البلى
الذين اذا سمعوا وصايا الله من كثرت هم هذه الدنيا ولذات
العالم يخفق كلال الوصية فيهم فيكون بكثرة من هم الذين
وقعوا في الفتن جسد هم المومنين الذين يعملون اعمال الله المستقيمة
ومن هم الذين هم واما به هم الشهداء والعذراء الاطهار الذين
يشنون مع الولد الحبيب في كل حين من اجل طهارة عداةهم والكهنة
والرهبان والعلمانيين الذين هموا خدامهم بالعيش من هم الذين
انزوا نسيتهم هم الاخيار الذين هم النساء وحفظوا انفسهم مثل
من ليس له امرأة مثل الرهبان المجاهدين المتسكين بالمسح الطاهر
من هو الذي اثر ثلاثين هم الذين لهم نسوة وهم يحفظون
اجتماعهم بالطهر فتقدم اليه تلاميذه وقالوا له اننا نطعمهم
بما ناكل فلما هم وقالوا انتم اعطينتم معرفتنا شرايا ملكوت السموات
واولايكم يعطوا ومن كان له يعطى وزاد كبر الذين اعطى

جمع

بجمع التلاميذ الذين لهم الامانة المستقيمة بالمسيح وكذا انهم
كامل الفضائل ايمانهم اذون والذين ليس لهم شيء هم شعب
اليهود الذين ليس لهم امانة بالمسيح فالذين كانوا يظنون انهم
لهم من حفظ الناموس ومخاضهم مثل الخضر لهم قايلا كنيسته
ملكوت السموات انما نازع نزع عرجي في حقله اغريشور يوس
يفترقا من هو لا شئ ان هو الله الكلمة الذي تجسد من اجلنا
بلاغيان وما هو كمثل هو العالم والزرع الصالح هو بشارت
الاجيل من هو العدو هو الشيطان وما هو الزوان الذين
الحظوة هم الهراطقة المجدفين وما في الخطه هي شعب لادم
المومنين ومن هم الذين طلبوا الى صاحب كمثل هم القديسيون
وبادوا القول الى وقت لكساد هو يوم الدينونة من هم لكساد
هم الملائكة قالوا يربطون حرم ماخرها الذين هم مجمع الهراطقة
بعضهم مع بعض الزناه والقتله مع جماعة الشوك مع من يشتمهم
من هذه الطوائف مع اشباهها فاما الخطه اجمعها في خرابي
الذين هم القديسيون الذين يجمعون في خرابي السماء مثل الخضر
ضرب لهم قايلا ان ملكوت السموات تشبه حبة خردل اخذها
انسان فزرعها في حقله اغريشور يوس ففترقا اما هي حبة خردل
هي الله الكلمة الذي تواضع من اجلنا وصار ذوا الملائكة قليلا

من اجل الجسد لانه قال الله نزرعه في الارض يعني تجسده لانه
ما ار انسان من اجلنا وتعب معنا في الارض ماذا المعنا الذي
قال الخاطا لتعني قيامته من بين الاموات وصار لنا شجرة
تغطي الحياة لما اعطانا جسده ودمه المجي لانه قال يا بني طير
السماء ويستظل في اغصانها الذين هم التلاميذ والعديسون
يكرهون فخر قال ان يحبوا الخذلان لا يعلموا لا يعلمون
يخرو ويعلو الذين فسدوا بكفطية التي كانت صفيره في الاول
فلما كبرت وطالت من بعد لقيامه صارت شجرة الذي هو المسيح
الذي ينشروه في اقطار الارض حتى ان طير السماء ياتي ويستظل
تحت اغصانها الذين هم ملائكة السماء الساكنين مع المؤمنين
الذين اعتمدوا والفضائل الصالحة التي هي النصارة والتابيع
شل عرض لهم قال تشبه ملكوت السموات بخير اخذته امراه
فحانته في ثلاثة اكيال دقيق فاحتر جميع ان يغيروا فخر
قال الخبير هو المسيح والمرآة التي خلقت هي الارض التي قبلته
ثلاثة ايام وثلاثة اكيال في القبر حتى استنقى العالم بلاهوتة
فخر ان يفر قال ان امراه هي الحكمة الذي هو المسيح حكمت
الله الاب بالحقيقة والخبير هو الروح القدس والثلاثة اكيال
دقيق هم النفس والجسد والروح والخبير هو الامانة المستقيمة
الرشولية

الرشولية ثابروا فخر قال ان الامراه تشبه البعثة المقدسة
والخبير هو الامانة التليحية والثلاثة اكيال الدقيق هم الخبز
الثالث المقدس الاب والروح القدس وتشبه ملكوت
السموات كنز مخفي في خقل وجده انسان فحاه ومن فخره مخفي
وباع كل شيء واشترى ذلك الخقل ان يغيروا فخر قال البكر
هو المسيح والخقل هو العدي مريم والرجل الذي لاصاب الكنيسة
النجار باع كل شيء لذي سموات قلبه التي تخلعنها بحج استحق
خدمة المسيح ويخافم الذب فخر قال الخبير هو الامانة لا يعلم
ولكن هو مجمع التلاميذ الاطهار والرجل الذي وجدها هو شعب
الانتم الذين تركوا عنهم غواية الشر والاولى الذي هي
عبادات الاوثان وجميع شهوات قلوبهم الردية التي هي اعمال
السطا عند ذلك حصل لهم الخير التي لا تشرق التي هي
الامانة المستقيمة بالمسيح وايضا تشبه ملكوت السموات انسانا
ساجدا يظلم البحر النقيس الحسن فوجد ذلك كثير القن فخر وباع
كل ما له واشترى ايا ويخافم الذب فخر قال الانسان السحر
هو مجمع التلاميذ وكل من من المؤمنين وشعب الامم والحوار
هم الانبياء والحوار المنيه هو السيد المسيح وايضا تشبه ملكوت
السموات تشبه القيت في البحر فجمعة من كل حسن ويخافم الذب

يَقْتَرَأُ لَشَبَكَةٍ فِي التَّعْلِيمِ لَا يَجِيعُ وَلَا يَحْرَمُوا أَعْمَالَهُمْ لَأَنْ
تَعْلِمَ التَّلَامِيذُ أَجْمَعُ إِلَهَهُ كُلَّ جَنْسٍ مِنَ الْيَهُودِ وَالْيُونَانِيِّينَ وَالْهَرَبِ
وَالْمَجُوسِ وَالْحَكَامِ وَالْجَحَّانِ وَالْأَحْرَارِ وَالْمَبِيدِ وَالْمَلَكُوتِ طَلَعُوا
إِلَى الشَّطْرِ فَجَلَسُوا وَجَمَعُوا لِلْأَخْيَارِ فِي الْأَوْغِيَةِ وَرَمَوْا لِرَدِّي
خَارِجًا وَهَكَذَا يَكُونُ فِي مُنْتَهَى هَذَا الزَّمَانِ وَمِنْ بَعْدِ ذَلِكَ قَالَ لَهُمْ
مَنْ أَجَلُ هَذَا كُلِّ كَاتِبٍ يَلِدُ الْمَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ يَشَبُهْ أَشْنَانًا رَجُلًا يَخْرُجُ
مِنْ خَيْرِ تَهْجَدًا وَقَدْ بَايَ بَوْنًا فَمِنْ ذَلِكَ يَفْقَهُ أَنَّ كُلَّ مَعْلُومٍ
مَعْلُومٍ الْبَيْعَةِ أَنْ يَكُونَ يَتَعْلَّمُ لِقَوْلِهِ وَالْمَعْدُ الْجَدِيدُ فَلَيْسَ لَهُ الشَّطْرُ
أَنْ يَرْتَفِعَ مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ وَالشَّعْخُ لِلدَّيْءِ أَيْمَا أَبَدًا يَشْرُمِدَا

فصل الأصحاح السادس والعشرون

وَفِي ذَلِكَ الزَّمَانِ تَمَّ هِيرُودُسُ رَيْسُ الرُّبْعِ خَيْرُ يَسُوعَ فَقَالَ الْعُلَمَاءُ
هَذَا هُوَ يَحْنَا الصَّابِعُ قَامَ مِنَ الْأَمْوَاتِ وَمَنْ أَجَلُ هَذَا يَنْبَغِي لَهُ الْقَوَاتِ
وَكَانَ هِيرُودُسُ قَدْ لَشِكَّ يَوْحَنَّا وَرَبَطَهُ وَحَبَسَهُ مِنْ أَجْلِ هِيرُودِيَا
أَمْرَاتٍ فَلَيْسَ آخِيَةً لَأَنَّ يَوْحَنَّا كَانَ يَقُولُ لَهُ مَا يَحِلُّ لَكَ تَنْكِحَهَا
وَكَانَ يَرِيدُ قَتْلَهُ وَخَافَ مِنْ الْجَمْعِ لَأَنَّ يَوْحَنَّا كَانَ عَنْدهُمْ مِثْلَ نَبِيٍّ
وَكَانَ يَوْمَ مِيلَادِ هِيرُودُسَ فَرَفَضَتْ ابْنَتُ هِيرُودِيَا إِلَى الْوَسْطَاءِ
فَأَعْجَبَتْ هِيرُودُسَ فَلَمَّا اقْتَضَرَتْ أَنَّ يَوْحَنَّا يَسْأَلُهَا
وَهِيَ لَا تَعْلَمُ كَانَتْ عَظَمَتُهَا وَقَالَتْ لِعَاطِنِي رَأْسُ يَوْحَنَّا الْمَهْدَانِي

فِي

فِي طَبَقٍ فَخْرٍ الْمَلِكُ مِنْ أَجْلِ الْيَمِينِ وَالْمَتَكِينِ مَعَهُ وَمُأْمَرَانِ
تَعْطَا وَأَرْسَلَ لِحَدَارِثُ يَوْحَنَّا فِي الْجَبَلِ وَجَاءَ أَوَّلًا رَأْسُهُ فِي طَبَقٍ
وَدَفَعُوهَا لِلصَّبِيَّةِ وَالصَّبِيَّةُ اعْظَمَتْهَا لِأُمِّهَا وَجَاءَ تَلَامِيذُهُ
وَأَخَذُوا الْجَسَدَ وَدَفَنُوهُ وَجَاءَ أَوْفَاخِرُ وَيَسُوعَ فَلَمَّا تَمَّ يَسُوعَ
مَعِي مِنْ هُنَاكَ فِي سَعِينِهِ إِلَى الْبَرِّيَّةِ مَنفَرْدًا وَتَمَّ الْجَمْعُ وَتَبِعَهُ
مَائَتِينَ مِنَ الْمَدَنِ فَلَمَّا خَرَجَ ابْصَرَ حَمَا كَثِيرًا فَخَنَّنَ عَلَيْهِمْ وَأَبْرَأَ
أَعْلَاهُمْ التَّقْسِيرَ تَجَبُّدًا فَمَنْ أَرَادَ أَنْ يَدْرُسَ رَيْسَ الرُّبْعِ لَيْسَ
هُوَ هِيرُودُسُ الْمَلِكُ الَّذِي وَلَدَ الْمَسِيحَ مِنَ الْعَدِيِّ فِي عَهْدِهِ وَقَتْلَ
الْمُطْفِئِينَ لِأَنَّ قَوْمًا أَفْرَطُوا فِي الْجَمْعِ فَتَوَقَّعُوا أَنَّ الْبَشِيرَ قَدْ صَادَ
نَفْسُهُ فَمَا قَالُوا وَكَأَنَّ كَتَبَ فِي أَوَّلِ بَشَارَتِهِ أَنْ بَعْدَ وَفَاتِ
هِيرُودُسَ تَمَّ بِأَنَّ قَدْرَ يَوْحَنَّا مِنْ مَصْرَعِ الصَّبِيِّ وَلَعَنَهُ وَقَالَ
هَاهُنَا أَنْ هِيرُودُسَ تَمَّ بِأَيَاتِ الْفَوْزِ كَانَ يَقَعْلَاهُ وَلَمْ يَتَمَّهُوا
أَنْ هِيرُودُسُ الْمَلِكُ هُوَ يَوْحَنَّا رَيْسُ الرُّبْعِ وَمِنْ هَاهُنَا
يَسْأَلُ السَّائِلِينَ يَقُولُونَ مَاذَا كَانَ هَذَا هَكَذَا فَلَمَّا قَالَ عَنْهُ مِنْ قَصَصِ
فِي بَشَارَتِهِ هِيرُودُسُ الْمَلِكُ وَلَمْ يَوْافِقْهُ يَوْحَنَّا فِيمَا قَالُوا أَنَّهُ
رَيْسُ الرُّبْعِ فَقَالَ إِنَّهُ قَدْ سَبَقَ الْإِصْلَاحُ عَنْ ذَلِكَ تَقَدَّمَ
أَنْ هِيرُودُسُ الْمَلِكُ الَّذِي وَلَدَ الْمَسِيحَ عَلَى عَهْدِهِ فَلَمَّا مَاتَ أَعْتَبَ
أَرَبَتَيْنِ وَهَرَارَ شَلَاوَتَرٍ وَنَاطِنُورٍ وَفِيلِسَ وَأَغْرِيَانُ وَمَلِكُ

ارشلاوشر اهلهم بعد ابيه واستمرت حاله تسع سنين ثم عن له
 او غططر قبصر وقلدا الامر لاحيه فيلبس انطيموس وسماه هيرودس
 على اسم ابيه ثم عن له وقلدا الامر لاحيه فيلبس ثم عن له ولما داهيرودس
 واستمر في الملك اوقات او غططر قبصر ولما ملك طيبا يوتس بعد
 او غططر انبا هيرودس على حاله وهو الذي بنا طبريه واشتق لها
 لها هذا الاسم وفي السنة الرابعة عشر من ملك طيبا يوتس اذ نب
 هيرودس نبأ اوجب صفة وقسم الامر الذي كان بيده على اربعة
 اقسام فاقبا بيده منهم ثلثا واحدا واعطا ليلاطس انطيموس ثلثا
 ولارشلوشر ان هيرودس ثلثا وفيلبس اخيه ثلثا فاذا لم يخل
 البشير في قوله ووصفه عن موت ذلك ولا في حكاية امر هذا
 وان مرقس وصفه بما كان اولاد ومي ولوقا وصفاه بما صار له اخيرا
 وكلمه قصدا الحق واما قوله هيرودس فلما انه ان يوحنا المعمدان
 قام من الاموات فمن اجل هذا القوت فعل به المعنا في ذلك
 قوما كثير اكاوا اذا سمعوا بالآيات التي فعلها السيد المسيح يقولون
 لعله يوحنا قد قام فبقى هيرودس يتوهم هذا الامر ويتخيله ولما
 اجري البشير ذكر هيرودس وما قد قاله يوحنا بعد موته اضطرابي
 ان يوصف ان هيرودس الذي قتله وذكر السب الذي كان قتله
 لاجله ليغتم الذي يعري بشارته او يسمعا ان يوحنا كان يقول
 هيرودس مات

هيرودس مات كسائر الابراء وبعد موته لم يكن له رها ن ظاهرا
 ومعنى قوله ان يوحنا كان يقول هيرودس من اجل هيروديا امرات
 فيلبس اخيه انها لاجل ذلك تكون لك زوجة لان هذا رجما مضاعفا
 وذلك ان ناموس التوراه لا ياذن ان يتزوج الرجل امرات اخيه في
 حياته ولا بعد وفاته اذا كان له ولد وللشاي ان يقول ان هيرودس
 كان من الامم الفريسية فما الذي دعا الي ان يطالبه بما تقتضيه
 شت التوراه الجواب في ذلك شكوت بني اسرائيل كانه قوية
 ولا يثام من الوقت الذي تولا عليهم فيه ييلاطس لانه غرا ارشلوشر
 لغاه الي جانبته وصاروا كاهن متسكين بناموس التوراه على شيل الموارا
 لليهود حتى ان فرقة منهم صارت تنشا هيرودس وفرقة واحد
 تنبت في مو لانه حتى ان اليهود نعتوها بالهيرودسية من اجل
 والاختا هيرودس فكان قصد يوحنا بوعظه هيرودس حتى ان
 يصير في غيظ اولايك ويمسك بناموس التوراه مثلهم ويصده ايضا عن
 رجس فاضح عند جميع الشعوب كما جات به عادت الانبيا والابرار
 الذين وعظوا بجنسهم وغيره واما قوله انه كان ميلاد هيرودس
 اي انه كان يوم ولد لان المعاد جاريه لكثير من الناس ان يفتقدوا
 مثل ذلك بان يكون كل واحد منهم اذا اتى ليوم الذي ياتي به ميلاد
 حكم التاريخ في كل سنة يجعله موثما ويتعرف به بايقدا عليه من

ملأ الجسر وهكذا كان فعل هيرودس في ذلك اليوم وأما قوله ان
هيرودس خرج لما طلبت منه ابنت اخيه راس يوحنا فمذا الحزن
انما كان منه على شيل التصنيع وليس هو حزنا على الحقيقة وذلك ان
كان يريد قتله وانما كان يخاف من الشعب لانه كان عندهم مثل نبي وانما ذكر
البشير هذا من اجل ان المبشرين كانوا يصفون كل شيء كما كان وكما توهم
عليه ولم يفسروا شيئا من اشياءه وأما قول الصبي اريد ان تعطيني راس
يوحنا المعمدان في طبق لان امها اوصتها بهذا وذلك عامر بكثر
حنقا عليها لم تنكح ان تعمل بقتله بل ارادت ان تبصر راسه في طبق
مقطوعة مرقبات قلبها وقت رحمتها وذكر بعض المبشرين ان
هيروديا لما اخذت لراس من لصبية وطرية سماها اعادتها اليها
في الطبق واسرها ان ترقص بها فقصت وفيما هي ترقص فحلت الارن
فاها وابلقها الى صدرها فخرجت منها ميتة ولما شاهدتها امها
على تلك الحال صرخت فبرزت عنها امر وجهها وعيت لوقتها
وهذا القصاص لما حل بها الا لاجل اجرامها وهزوها بالراس
حسب واما العقوبة من اجل الدفانها لئلا تلتطفأ والدود
الذي لا ينام وان يلاطس لما سمع القضية اختطاط مع الدين
كانوا مع هيرودس واهلكوا بالعقوبة ومر بها هنا وقعت لعداوة
بينهما

بينهما ودامت الى وقت طلب السيد المسيح وقوله ان تلاكينه
يوحنا لما دفنوا جسده اتوا الى السيد واخبروه اراد بهذا ان
يثبت محبة تلاميذ يوحنا في السيد وانتظارهم في مثل تلك البعثة
ليلا يظن طمان ان تلاميذ يوحنا بعد موته انفرادوا بنفوسهم واعم
لم يقيموا بما شاهدوه من ايات السيد التي صنعها بحضرهم عند
ارسلهم يوحنا اليه وقوله ان السيد لما سمع ان هيرودس قد لهج
بذكره وظن به انه يوحنا قد انبعت من الاموات فمضي من هناك
في سعيه الى البرية منفردا اراد بهذا ان يعلمنا ان لا نقسم
بالقرب من مواضع الاشرار اليه وان نبعد انفسنا منهم ما
استطعنا واقتدرنا يوحنا الذهب يفسر من اجل يوحنا
المعداني الذي ضرب عنقه في السجن باسم هيرودس وقال
هيرودس الذي قتل الاطفال في بيت لحم هو ابو هيرودس وهذا
الآن اذا كان ملكا وهذا كان رئيسا على الربع وان يوحنا
لما كان في السجن لم يستطع ان يظهر الحال من اوجهه فحين
ولما ضرب عنقه ظهر الحمار انه من اجل هيروديا وزوجه قبلت
ومضوا واخبروا الحية ولذا لضرية رقبة ودنوا تلاميذ
وحملوا اجنته ودفنوها ومضوا واخبروا يسوع هو لا تلاميذ
يوحنا الذين شكوا في الرب وهم الذين وجههم يوحنا الى الرب

وارسل معهم رساله انت هو لاني امرتجا غيرك ولم يقول
يوحنا هذا قبلت امانه لكن من اجل قلت ايمان ولايك التلاميذ
قال هذا وان اوليك عندهم اتوا الي يسوع واعلموه من اجل قتل
يوحنا اقاموا عند يسوع واسموا بها شاهدوا بعينهم من المعالما
التي صنعها انه بالحقيقه هو المسيح الاتي الي العالم والمجد
فصل اصحاح السابع والعشرين
ولما كان المساجا تلاميذه فقالوا ان المكان غفرو والساعه
قد جازت اطلق الجمع ليذهبوا الي القرى المحيطة فيبتاعوا لهم
طعاما وان يسوع قال لهم لاجل حاجه الي هاهنا اعطوهم انتم
لياكلوا فقالوا له ليس لنا هاهنا الا خمسه من الخبز وجوتان
فقال لهم قدوة وهم الي هاهنا وامر بجلوس الشعب اجمع على
العشب واخذ الخمس خبزات واكلوتين ونظر الي السما وارك
وقسم واعطا التلاميذ الخبر واعطا التلاميذ اجمع فاكل
جميعهم وشبعوا ورفعوا من فضلات الكسرة اثني عشر سلا
ملوه وكان عدد الاكلين خمسث الان رجل شهوي النساء الصبيان
التفتير فوجب علينا ان نتفهم معنى هذا القول ان
التلاميذ لما قالوا للسيد اطلق الجمع لان المساجا قد جاء حتي
يعضوا الي القرى فيبتاعوا لهم طعاما قال لهم لاجل حاجه
الي

الي هاهنا اعطوهم انتم لياكلوه فكان معنى هذا القول لمقدته
بقدرته وبما هو صانع اي انا انا المعذل لكل حيوان قوته وشبعه
فاني صالحه الي ان ترسلوهم الي كل اخر لانكم قادرون من قبلي
ان تقوموا لهم بما يكون حاجتهم من الطعام ولما لم يفتهم
التلاميذ معنى قوله لاجل حاجه باعندهم واقرؤا يوزهم وقالوا ليس لنا
الا خمسه من الخبز وصوتان فاستدعاهم ونظر الي السما فنظر الي
السما ليسر كان منه لاسمدا معونه تانيه بل اراد ان يحقق انه
ليس يعمل شيئا بخالف الله ولا يصادد ارادته وكلا يظن به انه
انا فاعل ذلك ليري نفسه انه اعظم من الله ويعلمنا ان جعل مبادي
امورا الاشتغائه بالله وارا ايضا هذا تخديسا ليسود الذين
كانوا يرتكبون الهوى عليه ويفسدون قرفه والافقد فعل ايات
كثيره اعظم من هذا ولم يفعل مثل الفعل والسبب الذي من اجل
جعل فضلك الكسرة اثني عشر سلا ملوه كان لعدت انواع ملوه
يعلم الذين اكلوا ان ذلك الخبر لم يكن خيالا والتاني يدك سلا
عظمته ولهم وغزرت قوته بان لم يفتع للاكلين بل لكتابيه والشعب
بل الفضله عن ذلك لان كلما لا يفضل فهو يوز والتاني ان الذين
كانوا ينادون بالخبر للناس اثني عشر تلميذا ليكون كل واحد منهم يحمل

سلا فيصير ذلك عنده زيادة في قوت الاله والاربع ان موسى
 اعطى المن بقدر الكفا والناس من القوت حسب والدي كان
 يقطع بعد الكفا وكان فيه عناء غير فائده فحصل اليه بقايا
 الخبر فضله نفعه حتى يفرق بينه وبين الانبياء وللشاي
 ان يقول اذا كانت قوت الرب قد كثرت الخبر حتى شبع الجمع
 ومنه فضل عنهم فقد كان امسا له الجمع عنهم اقرب مرج لك
 فيقال انه لو سكن عنهم حرارت الجمع لم تكن الاله فيه ظاهرا مثل هذا
 وذا ان قوما كثيرا في اورد نياهم يخلصون نياهم في مهمات
 خطرهم يضطرون الى الاستقبال كما فتشك عنهم حرارت الجمع
 حتى انه لا يحتملها الا بعد باع اغراضهم ولو ما انه لو كان سكن
 حرارت الجمع عنهم لما كانوا يمدحون تلك الاله كما مدحه هذا
 وهو الخبر كان اوكد للبرهان والفضيلة وللشاي ان يقول
 اما برهان كثرت الخبر وشبع الجمع فانه ظاهرا وامامه فانه
 غير ظاهري فيقال ان هو الخبر فهو كان يقتضي السند
 الطبيعي التي هو هاس موارها كنوا النبات والحيوان
 لانه كان ينمو في هذا السيد وفي ايدي التلاميذ فترى ايدي
 الجمع وفي افواههم وهذا هو البرهان في هو الخبر وللشاي
 ان يقول ان السيد كان قد كثرت الجمع وخرج الى البرية منفردا
 عنهم

عنهم فلم لا يتركهم عند المساء ان مضوا الى القرى ويبنوا لهم
 ما ياكلوه فيقال انه اراد بهذا المعنى ان يفيهم الله وروى بهاده
 الذين يصفوه وذلك انه لما افتر عن هو لا يملكهم الصبر عنه لكثرت
 تحتهم فيه فخرجوا اليه ماشين ولما راوه هكذا تخن عليهم وبارك
 اعلاه واطم لهم هذا الاله حتى انه لا يجيب سفيهم وهكذا نحن ايضا
 اذا احببناه وتبعناه بنيات مخلصه صلافة كما احبوا اوليك الذين
 خرجوا اليه وهم ماشيون ولم يستحبوا منهم ما ياكلون ولا فكروا
 في اي مكان ينامون مع دخول المساء عليهم وهم في البرية ولم تضطرب
 نياهم كان لنا من حنته كلما احتاجه بلا كلفه ولا نفق شرار اده
 ايضا فليعلمنا ان لا يكون سعيها فيما يختص بامور اجسادنا بل الذي
 هو من جابل يكون اهتمامنا ما هو مختص بالغيثنا فيقولون يفسر
 من اجل الخس خيرات والتمكتان قال ان الجماعة التي تبعت يشوع
 لكثرت الايمان ولذلك تبعوه الى البرية وليس لهم طعام فلما انظر
 ايامهم الذي يعرفون خفايا القلوب اهلهم ان يقولوا خبرا لبركة وهكذا
 تمل المؤمنون الذين يصيرون القربا ان يقدموا الصبر فهم ما كان
 عندهم كثيرا ام قليلا والسبح لله دايما ابديا سرمديا

فصل الصحيح الثامن والعشرين

ولوقت أمر يسوع تلاميذه ان يصعدوا الى السفينة و
الي العبر ليطلق الجمع فاطلق الجمع وصعدوا الى الجبل منفردا
ليصلي فلما كان المياح وكان وحده هناك والسفينة في وسط
البحر فصر بها الامواج لما نذرت الروح لها وفي الجمع لرايه
من الليل جاءهم ما شيا على البحر فلما رآه تلاميذه ما شيا على البحر
اضطربوا وقالوا انه خيال ومن خوفهم صرخوا فكلهم قايله تقووا
انا هو لا تخافوا اجابه بطرس وقال يا رب ان كنت انت هو فامرني
ان اجي اليك على المياه فقال له تعال فنزل بطرس من السفينه
ومشي على الماء فاجابا الي يسوع فلما راي قوت الروح خاف وكاد ان
يفرق فصاح قايله يا رب نجني ولوقت مد يسوع يده وامسكه
وقال له يا قليل الايمان لم شككت فلما صعد السفينه سكنت
الرياح فجاء الذين كانوا في السفينه وسجدوا له قايلين انتم هو
بحقيقه ابن الله ولما عبر واجا اولي الارض جانا شره ففره الناس
ذلك المكان واسلوا الي جميع تلك لكونه قد دعا اليه كل
المستقربين فطلبوا اليه ان يمشوا طرف توبه وكلهم لما مشوا
خلصوا النفسين قد ينفي لنا ان نعرف الرب الذي من اجل
صرا السيد التلاميذ عنه بالسفينة ولم يخفي منهم ونفي هو في البر
وحينئذ

وحينئذ من الليل وذا كان التلاميذ لما شاهدوا ما فضل
من البحر عن الجمع لم تكن اراهم متفقه في معرفة الرب فمنهم من
قال الله الاله ومنهم من قال الله نبي ومنهم من قال الله صديق
فعمل اختلاف اراهم في معرفته فصرهم عنه حتى يوقت اراهم
لما فعله مستائفا واما صعوده الى الجبل ليصلي منفردا فاما اراد بذلك
عدت انواع الاول منها ان الشيطان لما راي قوت المسيح الاله
في البحر والتمس ان يفتك لابلاه بعد من السيد موليا قهرا فيهور
السيد كشره وبلد معرفته كونه صلا كما فصل البشر قطع به كواحد
الناس والثاني ان التلاميذ لما قدوا له الخبر والتمس فنظر الي
التملة وبارك وقسم واعطاهم فاراد ان يفرهم ان صلاته الان ليس
لهاداعي ليلاطفوا انه انا يصلي لاجل من يصعب عليه فعلة فيطلب
التأييده والتاكت ليعلمنا ان الوحده والليل نتجان للصلي
شكوا وهذوا كي يكون اعتمادنا على ذلك واما شددت الامواج التي
كانت تضرب السفينه وقت الروح الذي منعه التلاميذ ان يمشوا
الي العبر وقد تقبوا اكثر ليلتهم مع قرب مسافة المكان فكان
ذلك لعدت اسباب الاول منها ان السيد لما علم بتقاد افكار
التلاميذ في تحقيق معرفتهم به اراد ان يوجههم بالتعب والخوف
فكاد عليهم كاشديدا اهابة البحر من قوتها وتلاطم الامواج

على سفينتهم من كل جانب وانقطع عنهم انبأ بلجيلة في
وصولهم الى الشطوط والى الثاني منها ان السيد اراد ان يثني على الماء
نقصان تكون الريح شديده مضطربه لترداد الاله بذلك شرفا
والثالث منها ان التلاميذ اذ اشاهدوا بعد شهرهم اكثر الليل
وما اصابهم من النقص الخوف من مشيه على الماء وشكون الريح
وهذا الامواج فانهم يتحققون معرفته ويرجعون ويصبرون لتلك
الايه عندهم تاييد لانه اتاهم ماشيا على الماء مع شدة الريح وهيج
الامواج ولم يكن له ما لعل ينفعه والقصد بقوله الجمعة الرابعة
يدل على ان الوقت كان الربع الاخير من الليل لان كل ثلاث ساعات
عند الذين يقولون حريشة الليل تعرف بجمعة وكان محي السيد اليهم
بعد تساع ساعة من الليل واما قوله لاهم لا تخافوا لاهم لما راووه
اتيا على وجه الماء ماشيا ظنوا انه خيال مع اضطراب السفينة تحتهم
فانخلعت قلوبهم وعبروا فلما سموا كلمة لم يحققوا الا من الشك
التي كانوا فيها فاراد بطرس ان يميز حقيقة له في معرفته
فاستاده على محبة الى عنده ماشيا على الماء فادركه بذلك وقهره
فكره فثقت نفسه بانه السيد فنزل من السفينة ومشي يديا
على الماء فاوهه فكره ان ليس في التلاميذ من يقدر ان يفعل
كما فعل هو ومن هاهنا حسن بقوت الريح خاف ومن شدت خوفه
شك

شك وكاد ان يغرق فحينئذ عرف عجزه وتقصيره ففسح سفيقا
بالرب وقال بتواضع وخوف يارب ينجي فرجه لوقته ومد يده
وامسكه ثم عبره بقلته ايمانه ولما صعدا السفينة شكنت الريح واخذت
الامواج وبجملته الذين كانوا في السفينة وقالوا انت بالحقيقه
هو ابن الله وعرفوه في ذلك الوقت من هو الا انه مفرقتهم به لمر
تكم كامله فيهم ثم يسبقين ذلك فيما ياتي مستانفا انه غير له
يفسر من اجل سمود السيد الى جبل ليصعد منعدا قال ان
لا له ليس هو محتاج الى صلاه ولكنه من اجنا صلي عنا وليعلمنا
هذا ان من بعدك ستمقرات كتب الله تغتزل وتذمر على الصلاه
غير لغوه من اجل السفينه وفرب الامواج لما وصافدت الريح
ومحي الرب اليها في الجمعة الرابعة من الليل ماشيا على الماء قال ان
قبل محي الرب يسوع المسيح كان العالم مثل سفينة مضطربه بقلته
معرفة الله وعبادت الاوثان والامور الشيطانية وكان كالغريقه
فلما ركب الرب السفينه في مجيئه الى العالم في اخر الايام التي هي
شبه المحرر الرابع من الليل فزجر الرياح الشيطانية وما هلك
جميع قوات العدو واعطى الذين في المراكب يعرفون الذين هم
النصارى المؤمنين الذين في العالم وهم صخورا قايدين انت بالحقيقه

فصل الاصحاح التاسع والعشرون

حينئذ جاء الى يسوع من اورشليم كتبه وفريسيون تلاميذ
 تلاميذ نجاشون وصيت المشيخة اذ لا يفسلون ايديهم عند
 الكهنة فاجابهم وقال لماذا انتم تتعدون وصيت الله من
 اجل سننكم لم يقل الله اكرم اباك وامك والذي يقول كلاما
 ردك في ابية وامه بالموت يموت وانتم تقولون من قال لابيه او
 لأمه ان الذي يربحه مني قرآن فليس بكرم اباه وامه وابطلتم
 كلام الله من اجل سننكم حسنا تنبأ عليكم اشعيا النبي امرايين
 قايلا ان هذا الشعب ريس في بيته ويكرمني بشعبته وقلبه
 بعيد عني ويعبدوني باطلا ويعلمون تعليم وصايا الناس
 ودعا الجمع وقال لهم اسمعوا وافهموا ليس يدخل الفريسيون الانسان
 لكن الذي يخرج هذا هو ينجس الانسان حينئذ جاء اليه
 تلاميذه وقالوا له اعلم ان الفريسيين لما سمعوا الكلام شكوا
 ناجابهم وقال كل غمر من غير شبه ابي السماء سيفلح من اجله دعوا
 فمعه قيادت عني واعما يهدي اعما يتبع كلاهما في حجرة اجاب
 بطرس وقال تسر لنا المثل فقال لهم حتى وانتم غير فحين
 تعلمون

تعملون ان كلما يدخل الي لم يعمل الي البطن وينطرد الي الخارج
 واما الذي يخرج من الفريسي يخرج من القلب افكار الشر والقتل التي
 المنقوشة في القلوب شهادات لزور والتخديف هذا هو الذي ينجس
 فاما الاكل بغير غسل ايدي ليس ينجس الانسان للتغيير قد شبع
 الايناسخ بديان في امريشيل القسمة في ايام داود الملك لي سبع
 فزقات وشرح امر كل فرقة من وما كان اكلها اعلية وهو لا ي
 الذين اتوا الي السيد من اورشليم من الفريسيين لعلهم يفتيت
 الفرق واشد بسيلكم غير ما فرقة الكتب في التي تحفظ العا
 وتدون الكتب وتغير لما اكل فتتسب بعضنا الي الظاهر وبعضنا
 الي الخمر وتعلم الوصايا التي اجتمعت عليها منهم جماعة من شيوخ وكهنة
 تلك الجماعة بالمشيخة وتلك الوصايا ليست مكتوبة في الناموس
 بل انما صارت عادات محفوظة عندهم وفرقة الفريسيين
 وتفرق ايضا بالمعزة لهم الذين كانوا يطهرون الزهد والصيام
 ويخرجون الفريسيين من اموالهم ويقولون بالقيامة ويستندون في
 غسل الاواني والفضائر واما قوههم لماذا تلاميذ يتعدون
 وصيت المشيخة اذ لا يفسلون ايديهم عند الكهنة فاجابهم
 ان يجاوبهم السيد فيقول لهم ان وصيت المشيخة ليست من الناس
 ولا من تلاميذهم لانبياء وانما استثنوها من تلقا انفسهم

وليت بسطوره في كتب الشريعة مثل غيرها. فكأنه يشق بهذا القول
على من تحضرته من اليهود المتمسكون بمبادئ امور القبيحة فيجدون
اولئك السبل الى قرفة وشتره لاني اليهود الذين تحضرته على مقامهم
عنده واستماع تعليمه فكل السيد يصحرون فاعطاهم جوابا مستورا وقال
لمن سمعوا لماذا انتم تعبدون الى الناس تعليما. وكثر صوته على حفظها
من غير كتب الله وقد قرأ ان الله لا يأمر ان تكلموا بغير ما سمعوا وانما يجب
حقهم على ان يسموا ان الذي يسمي السهم منهم يكلمه فقط ينزل به الموت المزمع
فكرت انتم هذه الوصية الحسنة وافسدتها وقلتم ان كراما لا با على
مشي الانبياء ان يكرهوا اباهم ولا يكرهواهم وانهم ليس من القبيح ان يقول
الوالد لابي اولا فقال له في انما تأخذه بمنزلة لقريظ
والمنة وليس يجب لك على ولا كرامه ولحدك ان لا تشاء انا اكرمك فثبت
روايتكم استخفتم بوصايا الله العظيمة وعلمتم المراءاة ومن هاهنا
استشهد عليهم بكلمة القوة والسبل ان يقول ان لتلاميذ قد كانت
عادتهم جارية لما كانوا متمسكين بالتواضع القبيحة حتى هم لا ياكلوا
الخبز الا بعد غسل ايديهم. فكل تقدر السيد لهم بوصية حتى اخبر
بفضوا ما كانوا عليه اولا. فيقال ان غسل اليدين من الاوساخ واجب
على كل احد من الناس ولا سيما عند اكل الطعام ولهذا لم يتقدم
السيد

السيد في ذلك الامر ولا شئ وانما كان ان لا يكره بامر الجسد
ولا يجعل امر الجسد وان يكون الانسان يفتن وينال من اكله الاضغان
بقدم ما يحتاج اليه لقول الاور فقط ولما اكلوا بيحه للكتب
والاعتقالات التي وجدوا حجة يجتوبونها وجوابا عما يكتهم عليه استند
اجمع واقبل عليهم بالوعظ والتعليم وقال لهم اسمعوا وافهموا ليس ما يذل
الغيب يتجسر الانسان في هذا القول ان الحيوان التي هي عند الله
القيمة نجسة ليست نجسة في قوسها. لانها لو كانت نجسة ابدان
لما صارت عند اهل السنة الجديدة طاهرا والسبب في ان السنة
القيمة جعلتها نجسة فهو اجل ان بني اسرائيل كانوا يعبدون
الحيوان بمصر وكاهن اذا شاهدوا معبودا اخر نجسة فهم يشجعوا
ما كانوا عليه من الظلالة وايضا ليكون هذا الامر فاما لا يسميهم بين
الوقتين الشاغلين للاضغان الذين يكونون بها انقولهم بغير تمييز
والسبل ان يقولوا اكل الذي يدخل في الانسان لا ينجسه فلم منع
السنة الجديدة من كل دايح الاوثان وها هو الفرق الذي فضل المؤمنين
من غيرهم في لما اكل فيقال اما امتناع المؤمنين من دايح الاوثان
فليس امتناعهم من نجاسته بل امتناعهم من اجل ان امتناعهم من اجل ان
الديبحة لا يغير الله واما الامر الفاصل بين اهل السنة الجديدة
وبين غيرهم فانه ظاهر وذا كان السنة الجديدة قد جعلت المؤمنين

حدود الاخراج عن عنها وذا انما منعته من اكل الحيوانات وما
اتي بها مقدار نصف زمان حياتهم لانهما منعته من ذلك ليس في كل
انواع مع الاطعام المعروضة عندهم المتواليه ايامهم فيفصلون عنه
من السنة واما في التلاميذ الي السيد فقولهم ان الذين يسمعون لما سمعوا
الكلام سلوا وذا انهم كانوا يسمعون يعلمون من تلقا نفوسهم تعاليم تضاد
كتبه لله فاجابهم وقال كل عز لم يفرسته الي السماي سيقلم من اجله اراد
بهذا القول ان تعاليم التي تعلمها الحمار والكنه لسا ميسره ليست
بسطوره في الناموس وليست فيها الي ما يخ قد افوها تا ليفا
بشرى وفي مضاده لوصايا التوراه التي اتاها الله للبشر على يدي
موسى كلمه لا بد ان تستغفر وتنفض لاجل ملها ومنها للحق
فالولجان يوترا لم الحق على كل شيء وكذلك يقول دعوه فخر
عيان يورون عيان واما يقول انما يسمان كلاما في جفوه واما قوله
لبطرس تغيير المثل اي ان الذي ياكل الطعام ولا يغسل يديه يستحق
ولا يلزمه على ذلك عتابا لان كل نوع من الطعام ينتمي الي المعدة وذا
هو النفس وتغير وانفصال الي لفاظظ فتعده الطبعه الي
خارج فاما الذي ينجر الانسان ويجعله مستوحبا للعقاب فهو
اختياره في نفسه ما لا ينبغي لها اذا قال واما اذا فعل لان الفكر
الشري والقلوب الزنا وبقيت الازاي انما خرجها من القلب وهذا
هي

في انجاسه التي تحجب الفرح منها كما ويرثها من اجل انهم يسمعون
والعلمين الذين اتوا الي السيد قائلوا ان لا يمكن ان يكون من غير ان
يفسوا ايديهم قال لان الرب كان يسلط الفريسيين ليجعل هذا الامر
لحفظوا الوصايا الكبار التي في الناموس وهم متمسكين بوصايا الكنه
قال لهم الله يقول اكرما باكر وامك ومن شتم اياه وامه يقتل قتله وانتم
تقولون كل من شتم اياه وامه ولا يقدر قربانا ينتفع به فليس يكرماياه وامه
لان الفريسيون جعلوا الوصيه هكذا كلمه اب وام بوصيان بالهما
لينهما في حياتهما وهذا الوصيه فلا يكون لهما امر اعطي بالهما بل بالنون هسر
يوصون نال الابحار يعطوه قربانا لله ولهذا السبب يصير الي الفريسيون
ما لم يفتقم عليهم من حصر حجبهم لغضه جعلوا هذه الوصيه محيطة
ويظلمون من كحيتين وليس يدعون الابنا ان يعطوا اباهم شيئا مما اخذوا
منهم ولا يدعوا الابنا ايضا يتصرفون في مال اباهم بل ما كضعوا من
جلت حجة القران فينبشون اموال غيرهم وهذا الوصيه التي
وضعها الكنه ليجعل هكذا قائلوا ان من قال لابي وامه شيئا
قربانا يقدر ينتفع به الذي هو معناه ان الذين يقولون اسنا فقط
قرايينا لله فهذا هو الشيء الذي ينتفع به لغتهم من امر عليهم ولذلك
قال لهم ارايتم نعمتنا عليكم اشعياء النبي قال ان هذا الشعب
قريب مني بعيد ويكرمني بشفتيه وقلبه بعيد عني بعيد عني باطلا

وَيَمْلِكُونَ نَعَالِمَ صَايَا النَّاسِ التَّقْصِيرُ مِنْ أَجْلِ قَوْلِ التَّقْلِيدِ
الْفَرَسِيَّةِ مَا أَتَمَّوْا الْكَلَامَ شَكُّوْا فَاذْهَبُوا قُلْ كُلُّ غَرَضٍ لَمْ يَفْرَسْهُ
أَبِي لَهْمَايَ شَيْطَانٌ يَعْنِي أَنَّ صَايَا الْفَرَسِيِّينَ كَالْفَرْسِ الْغَيْرِ النَّاسِ فَإِنَّهُ
يَقْلَعُ أَرَادَ بِذَلِكَ أَنَّ كُلَّ وَصْفِهِ لَمْ يَسْبِقْهَا إِيَّايَ لِمَا لَمْ يَكُنْ يَدْرِي لَهَا نَبِيًّا
تَسْقُلُ وَيَلْقَى خَاجٍ لِلَّذِي دَعَاهُمْ عِيَانًا قَادَتِ عِيَانُ لَاهُ خَلَوْا أَعْمَالُ
النَّاسِ رَعَاوِي الْفَرْسِيِّينَ صَايَا النَّاسِ كَقَوْلِ الْبُتُورِيِّ وَهُوَ وَالْبَقِيَّةُ لَهُ

قصر الأصحاح الثالثون

وَمَا خَرَجَ يَسُوعُ مِنْ هُنَاكَ جَاءَ إِلَى فِلَاحِي صُورٍ وَصِيْدًا وَإِذَا امْرَأَةٌ كَنُفَا
خُرْجَتْ مِنْ تِلْكَ الْقُصُورِ تَصِيحُ وَتَقُولُ رَبِّي يَا رَبِّ يَا رَبِّ أَوْدَعَنِي
بِهَا شَيْطَانٌ رَدِي فَلَمْ يَجِبْهَا بِكَلِمَةٍ فَمَا تَلَامِيذُهُ وَسَأَلُوهُ قَائِلِينَ
أَطْلُقْ هَذِهِ الْمَرْأَةَ فَإِنَّهَا تَصِيحُ فِي تَرْبَا فُلْجَابُ وَقَالَ ارْجِعْ إِلَى
أَحَدِ الْأَيَّامِ الْخُرَافِ الظَّالِمِينَ بَيْتَ إِسْرَافِيلَ فَإِنَّمَا هِيَ قَانَتْ
وَتَحَدَّثَتْ لَهُ قَائِلَةً يَا رَبِّ عَنِّي فَمَا هُوَ فُلْجَابُ وَقَالَ لَهَا لَيْسَ هُوَ
جِيدَانُ يُوْخَذُ مِنَ الْبَنِينَ وَيُعْطَى لِلْكَلاَثِ فَقَالَتْ فَمَنْ يَرْبُ وَالْكَلاَثُ
فَقَدْ أَكَلْتُ مِنْ لَفَنَاتِ لَوْيَ يَنْقَطُ مِنْ مَوْلِيدَارِهَا أَحْيِيْدُ لَجَابُ
يَسُوعُ وَقَالَ لَهَا يَا امْرَأَةَ عَظِيمٍ هُوَ يَمَانُكَ يَكُنْ لَكَ كَمَا أَرَدْتَ فَبَرَأَتْ
إِبْنَتَهَا مِنْ ذَلِكَ الْمَسَاعَةِ التَّقْصِيرُ وَتَدْبِقُ الْإِيْمَانُ أَنْ هُوَ وَصِيْدًا
كَانَتْ

كَانَتْ تَحْمِلُ الْكَنُفَانِيَّةِينَ وَكَانَتْ عَابَدَتْ الْأَصْنَامَ ظَاهِرًا وَبِخْفَى
الشَّيَاطِينِ بِهَا صَارَتْ مُدْبِيبٌ لِمُعْتَرِقِينَ بِهَا شَدِيدٌ لَجْدًا وَأَمَّا امْتِنَاعُ
الْيَدِ لِحَايَةِ الْكَنُفَانِيَّةِ أَوَّلًا فَإِنَّهُ كَانَ لِنُوعِينَ أَوَّلًا مَشِيئًا أَنَّهُ كَانَ
عَالِمًا بِأَيَّامِهَا وَأَيَّامُهَا كَوْنُهَا مِنْ حِمَّةٍ وَرَعَا وَحَكْمَتَا بِمُقْتَضَى مَا يَأْتِي بِهِ فِي
خَطَايَاهَا وَالثَّانِي لَأَنَّهَا شَعُوْبِيَّةٌ فَأَمْسَكَ عَنْهَا مِنْ عَمَلٍ أَرَادَ ابْتِهَاسًا
لِيُظْهَرَ لِلْيَهُودِ أَنَّ اعْطَاهُ الْبَنِيَّ لَيْسَ هُوَ لَمْ يَفْرِضْهُ لِسُوءٍ وَقَصْدُهُ هَذَا
تَبْكِيَتُهُمْ عَلَى كُفْرِهِمْ وَذَكَرَ أَنَّ الْقَوْلَ عَلَيْهِمْ أَنَّهُمْ تَبَادَرَسُوا بِمُسْتَهْزَأٍ وَأَمْرًا لِقَوْلِهِ
قَدْ لَمْ يَزَلْ وَلَعَلَّ الْفَضِيلَةَ فِي لَيْسَ أَوْ بَعْدَتْ لَا يَأْتِي أَنْ يَوْمِنُوا وَأَمَّا سُؤَالُ
الْتِمَاضِيَةِ مِنْ أَجْلِ صِلَاحَاتِهَا فِي تَرْبَا فَمِنْ نَاحِيَةٍ لَيْسَ وَغَرَضُهُ فِي تَرْبِيَّةٍ وَلَا مَا
قَصْدُهُ فِي ذَلِكَ وَأَمَّا جَوَابُهُ لَهَا عَنْهَا تَحَدَّثَتْ لَهُ وَطَلَبَتْ مِنْهُ الْأَعَانَ
فَإِنَّهُ كَانَ مَسْتَعْصِمًا لَجْدًا وَذَكَرَ أَنَّهُ مَشَاهَا بِالْكَلاَثِ وَكَانَ هَذَا مِنْهُ لِنُوعِينَ
الْأَوَّلِ لِيُظْهَرَ لِلْيَهُودِ كُنْزَ كَرَامَتِهِمْ وَلِخُفَا عَنِ الْفَرْسِيِّينَ لِحَدِّثِهِمْ
فِي تَأْخِيرِهِمْ عَنِ الْإِيْمَانِ وَالثَّانِي أَنَّهُ يَظْهَرُ فَضِيلَةُ هَذِهِ الْمَرْأَةِ بَعْدَ مَا تَشَاءُ
بِالْكَلاَثِ وَلِيُظْهَرَ أَنَّهَا تَكَلَّمَتْ بِجَوَابِ الْإِيْمَانِ وَالْوَعْدِ وَالْحِكْمَةِ لِأَنَّ
أَخْيَارَهَا لِنَفْسِهَا أَنْ تَكُونَ مَعْرِفَاتِ الْكَلاَثِ فَكَانَ أَمْرًا لَوَعَا وَقَاعَتْهَا
بِالْفَنَاتِ الَّتِي يَسْقُطُ مِنَ الْيَايَةِ فَهُوَ غَرَضَاتُ أَيَّامِهَا لِأَنَّ عَمَلَهَا
وَسَيِّئًا أَنْ يَمْسُورَ أَمْرًا لَرَبِّ يَسِيرِي ابْتِهَاسًا وَكَوْنَهَا خُرْجَتْ نَفْسِهَا

من القرابة وجعلت انها كلبه ولها رب يطعمها من ثبات ما يدته دليل
 علي عظم حكمتها أي اذا فضل النوعين لارخرج من القرابة ولعل من
 جملتهم اكل من ثبات ما يدت الرب ولما استقرت الحال علي حسن التدبير
 وما كان القصد من النوعين الاول تعرفه لليهود باضربا عنده من
 غيرهم والكر من جميع الامم كيلا يبغي لشرفه عليه ولحده يحجبون بها عليه
 والثاني امر هذه المرأة التي كانت شعوبية وغريبة من معرفة الله
 وانما قد افادت اهل الكتاب والحكمة واهل المعرفة بايمانها وورعها
 وحكمتها حينئذ قال لها يا امرأه عظيم هو ايمانك لئلا تتردين فبات
 ابتعثا من تلك لشكوه وحناء الذئب يغتر قال من اجل المرأة
 الكنعانية ان هذه الامراه الكنعانية هي شبه كنيث الامم وابتعثا الي
 مقتراف الشيطان في نفوس الشعوب المقتراف الشيطان قبلت معرفت
 الله وعبادت الاوثان وقول الرب ليس هو حديدك وخد خبر البين
 ويقضا للكلاب ثم اليهوديين لانهم القوة والبيعد ومنهم خرج
 المسيح بالحنه فاما الكلاب هم الامم الذين لم يكونوا يعرفون الله
 ولخطا فم الخبر الروحاني ليعاني الذي هو المسيح وانما من جهت
 كرت محبتها للمسيح اعني كنيث الامم لاجابة قايله نور يارب الكلاب
 تاكل من البسات الذي يسقط من موايد ايمانها فلما نظر الي عظم
 ايمانها ربيطتها الفسات الذي هو كلام الناموس المتيق بل اعطاها
 خاتمة

ذاتة وكذلك وفيت ابتعثا الذي هي انفس شعوب الامم التي خلصت
 من مظلمات الشيطان والمجد للذي دائما

قصص الاحادي الثلاثة

واستعمل يسوع من هناك وجا الي عبرنحرا لجيل وصعد الي الجبل وجلس
 هناك وجا اليه جمع كبير معه خرم وعي وعج وعش وعشرون كثيرون
 فخر وعند جليله فابراهام وتعبه لجمع لاهم نظروا الخرم وتكلموا والمرج
 يشرون والعيان يصرون ومجدوا الاله اسرائيل الله يسوع عجل
 فلما رجع اليهم الذين اتوا اليهم من اهل الجليل وكانوا قد عزموا ان يقصدوا
 حيث يكون من عجلوه فلما سمعوا انه قد اتى الي نحيبتهم فحولوا وشرعوا
 بهضام اليه وكانوا يظنون ان الشفاعة يكون كما يفعلوه من الاطباء
 فلما وصلوا اليه خروا عند جليله فلما علم يسوع لياهم فامرهم للوقت منلتا
 لا اوت جميعهم لانتقام تلك الافات بسرعة فقبولهم ذلك تعجبا كثيرا
 ومجدوا الله الاله اسرائيل الذي لهم ان ياتوا مثل هذه الكيات
 الترفه التي لم يري مثلها والمجد للذي دائما

قصص الثاني الثلاثة

وان يسوع دعا تلاميذه وقال لهم اني اخرجن علي هذا الجمع لان لهم

معي هنا ثلاثة أيام وليس عندكم ما ياكلون ولا اريد ان اطلقهم صياما
 ليلا يصنعوا في الصلوات فقال له تلاميذه من اين يجلب خبز في ابي يريته
 يسوع هذا الجمع فقال لهم يسوع من عندكم من الخبز في فقالوا له تبعه وسير
 من السمك فامر الجمع ان يجلسوا على الارض ولخذا السبع خبزات والسمك
 وبارك وكسره واعطا تلاميذه وناولوا لتلاميذ الجمع فاكل جميعهم وشبعوا
 ورفعوا فضلات الكسرة سبع فنان ملوثة وكان الذين اكلوا الخبز اربعة
 الف رجل شوي النساء والصبيان واطلق الجمع وصعد لي السفينة
 وجا الى تخوم مجدل لتقريبه فلما كان في وقت الذي
 بارك فيه الخبزات والسمك لم يقل لتلاميذه في امم الجمع شيئا بل هدم
 الذين نوا منه بديا وقالوا له اصر في الجمع ليدهبوا فابتاعوا لهم طعاما
 فاما في هذا الوقت الذي بارك فيه سبع الخبزات جعل هو بديا الكلام
 في ذلك مع تلاميذه ويقول لا اريد ان اطلق الجمع صياما فاما معنا في ذلك
 ان لتلاميذه كانت قلوبهم في ذلك الزمان جافية كما قال برقيس في
 بشارة لخم لما شاهدوا الجمع المقيم عندهم في البرية قد صبروا ثلاثة
 ايام غير طعام فظنوا ان السيد لا يقدر على فعل الايات على غير الاوقات
 ولا يعلموا انه بعد ذلك امسك عنهم حرارت الجمع مما شبعهم بتعتمه
 السابقة لان هذه الالية كانت مخفية عنهم لكونهم لم يبلغوا الى
 حد

حدا كما ان فصنع لهم هذه الالية الظاهرة حتى شبت قلوبهم وبقي
 ظنونهم والى ان يقوله لهم من عندكم من الخبز فكان ذلك حتى انهم
 يعرفون وشهادات ما عندكم ولا امانا هدايا بعد ذلك ظهر الالية
 علوا ان قدرته دايمة وسلطانه لا يبدى في الاعيان بل في اهل السبع
 خبزات والسمك من السمك قال لجيل مثل كينث لائم والبحر هو مثال
 العالم وجيل هو الفضائل والخرق والحق والسمك هو الامر
 المفترجون من الاواح الخمسة وانه ابري كينث لائم ولا هم ابري
 معرف الحق فلما عايناهم اعطاهم سبع الخبزات وسبع الخبزات
 لم يبق في الكسرة شيء وضعها في الكنيسة وليعلموا ما كل احد يعرف
 فيها في الكنايس لجامعهم وفي البسطة لرواقتا يقولون
 والابر كينث والابعت ناجيل المقدسة والقليل السمك هو كلام
 الانبيا والصح لله دايما

قصص الاصحاح الثالث والثلاثون

وجاء الفريسيون والزنادقة ليحرموه وشيا لوه ان يفر من السمكة
 فلما جبروا يلا اذ كانا انما قلنا ان السمكة محمية لحرمانها وافدا
 تقولون اليوم شئنا لحرمانها والسمكة يعرفون انما المرادون تعلمون
 تميز وجه السمكة واية هذا الزمان لا تعلمون لجيل الشر والفاقت

يطلب إليه ولا يعطأ إليه إلا آية يونان النبي ثم تكلم ومعهما وطلق
 ثم جاء تلاميذه إلى العبر ونشؤوا أن يأخذوا خبزاً وإن يسوع قال
 لهم انظروا ولا تخفوا من خبز الفريسيين والزنادقة ففكروا وقالوا
 أنا لم نأخذ معنا خبزاً ففعل يسوع وقال لهم لماذا أنتم ترون في نفوسكم
 يا قليلي الإيمان أنكم ليس معكم خبزاً فما تفهمون ولا تذكرون خمس الخبزات
 الخمسة لآلوف وكسلا اخذتم وشبع الخبزات لآلوف الف وسكرت
 أخذتم لماذا لم تفهموا لاني لم أقول لكم من أجل الخبز تخفوا بل من خبز
 الفريسيين والزنادقة حينئذ فهموا أنه لم يقل لهم من أجل الخبز تخفوا
 لكن من تعليم الفريسيين والزنادقة التفسير قد يجب أن يفهم
 أن الفريسيين والزنادقة لما أتوا إلى السيد كانوا قد ذوقوا أن تجربوه
 وكانوا يهونون من حضرهم فيؤمنون أن رأوا آية ففعل إن سألهم
 بحقيقة مكرهاً وإنما أتوا ليحبوه تجريباً فقط وأهم متابعون من
 الإيمان غاية البعد فقال لهم أيتها المرأه أوون تعلمين وجه
 النمار ومن العلامات تعرفون متى يكون الحصر ومتى يكون المطر وأنت
 هذا الزمان لا تعلمون أي من الآيات التي أعلنها أنا هي من أجل منفعت
 الناس فقط وليس في عزك لعبت ولا غيرك الله والهزول ولا قبل
 بما ليس بجدي فقاموا بل أنكرت يدون إن تسعوا بما سألتموه من طريق
 الفريسيين

٤٣
 الفريسيين واللعبة وهذا غير ممكن عند الله مما أنك لا تستحقون
 أن تعطوا آية إلا آية يونان من أجل وشؤا أن يأخذوا خبزاً ففكروا وقالوا
 من البشرية لما تأتوا ظاهراً وقد أنكم رفضوا ما كانوا عليه من الهاديات
 المتقدمة ويمنعون إلى الحق ويعيدون رياءاً مخلصاً وأما قوله للتلاميذ
 انظروا ولا تخفوا من خبز الفريسيين والزنادقة فإنه أراد بذلك أن
 يجدد لهم من تعاليمهم وأن يعيدوا بكتابتهم بل يتبعوا وأمرهم وشؤهم
 فذهبهم إلى الخبز لا لهم بل لئلا يفتقدوا لهم على همتهم وخبرهم على
 صفاهم ثم قالت يا معلم وقد ذكرنا فعله أنما من أشباع الخلف
 الكثيرين الخبز اليسير والفضلات التي فضلت عنهم ثم عرفهم أن
 أنه لا يقول لهم الخبز بل أشار إلى محاسن الفريسيين والزنادقة
 ✠ **فصل المصحح الرابع والثلاثون** ✠
 ثم جاء يسوع إلى نواحي قيصرية فيلبس فسأل تلاميذه ماذا أقول
 الناس في ابن البشر فقالوا أقول يقولون يوحنا المعمدان ولأخرون
 إيليا وأخرون إرميا أو واحداً من الأنبياء فقال لهم فأنتم من تقولون
 اني أنا أجابهم بما أن بطرس وقال أنت هو المسيح ابن الله الحي أجاب
 أجاب يسوع وقال ليطوباك يا سمعان ابن يونا ليرجشد ولا يظهر

كذلك هذا بل هو ابي الذي في السموات وانا اقول لك انك انت هو
الصخر وعلى هذا الصخر ابني بيعتي وابواب الجحيم لا تقوى عليها
ولك اعطي مفاتيح ملكوت السموات وما حللت على الارض يكون
محلولاً في السموات حينئذ اوصا تلاميذه لا يقولوا لاحد انه يسوع
المسيح وبدأ يسوع مخرج لك لوقت تجبر تلاميذه انه ينبغي له ان
يغي الى ايرושليم ويقبل الاما كثيره من المشايخ وروسا الكهنة
والكتبة ويقتلوه وبعد ثلاثة ايام يقوم فاقبل بطرس وبدا
يمنعه ويقول احساك يا رب ان يكون لك هذا فالتفت وقال لبطرس
اذبعني يا شيطان فقد صرت لي شكاً لانك لا تفكر فيما لله لكن فيما
للناس حينئذ قال يسوع للتلاميذ من الان ان يتبعني فليكن ينقسه
ويحمل صليبه ويتبعني ومن اراد ان يخلص نفسه فليهلكها ومن
اهلك نفسه من اجلي وجدها ما اذ انفع الانسان لو ربح العالم كله
وخسر نفسه وما اذا اعطى الانسان فدا نفسه ان ابن الانسان
مزع ان ياتي في مجدا به مع ملائكته المقدمين حينئذ يجازي
كل واحد واحداً كعمله الحق اقول لكم ان قوماً من اقيام لا يدرون
الموت جتي يروا ابن الانسان اتي في ملكوته التسليحان نعم
ان

تسليحاً به استمشتوا لله اليونانية من استمشت وقصر كان بناها
لولده فيلبس الذي هو ابنا الاسكندر الذي لقين ولما كان التلاميذ
في ذلك الوقت لم يعرفوا ابناً يسوع المسيح معرفه كامله كما تقدم القول
بداً وهو بين لمن له معرفه بكلام الانجيل المجيد وكان ظنهم ان
انسان سادس لله به عنايه مثل الانبيا وبما يصل الي ما يريد لم
يقنعوا بشهادت يوحنا المعمدان له في يدليه الحان ولا بما كانوا
يشاهدونه من الايات والمعجزات لان قلوبهم كانت جافيه من اجل
انهم لم يسلطوا الى المكان ومن فاهنا كانت كهوته مخفيه عنهم
ودليل ذلك ان الوقت الذي سلم فيه قال لتوما التلميذ وكان
قوله عاماً للجميع التلاميذ انا هو الطريق والحق والحياه ولا ياتي احد
الي ابي الا بي لو كنتم تعرفوني لعرفتم ابي ايضا ومن لان تعرفوني
وقال بعد هذا فيلبس التلميذ انا معكم كل هذا الزمان ولم تعرفوني
يا فيلبس وقال ايضا ان لي كلاماً كثيراً اريد اقول لكم ولكنكم
لستم تطيقون سحله الان واذا لم ارجع الحق اكن فهو رشحكم
الي جميع الحق فلو كان لهم علم كامل ما كان يقول لهم انهم لا تطيقون
لان احتمالاً اريد اقول لكم ودا انهم كانوا يعرفون انه المسيح
المنتظر الذي رجوه بنو اسرائيل بان يرسله الله اليهم

ليملك عليهم كذلك أو دأبيه ولم يكن لهم مرفه بان الله الكلمة المولود
من الاب قبل كل الدهور المساوي لابيه في الجوه الذي به كان كل
شيء وبغيره لم يكن شيء مما كان وذا كان السيد ايلي اجل الاموران
لا يوصف هو ذاته كما مآدح لها فيكون ذلك لاله علي سميت
مفتخر محب لمسيح نفسه وديكل ذلك انه قال لان كنت انا المخلص
اشهد لنفسي فليس شهادتي حقا ولكن الذي علي يشهد لي اخر وانا
اعلم ان شهادته التي تشهد بما لا يحل حق لاني اعلم من اين جيت
والي من اذهب لانه اراد بهذا القول اني اشهد لنفسي لانه كان
يحق امره من جلال لايات التي كان يصنعها وما يشير به عن
نفسه انه ابن الله وكان لتلاميذه قهر ان الاحوال هذه يفرزون
انه من الله تعالى اني وانه المسيح المنتظر بل حقيقة لما لم
يعرفوها معرفة كاملة الا بعد قيامته وطول الروح القدس عليهم من
كما قال الكتاب وان يسوع وجد حمارا فركبه كما هو مكتوب مكتافي
يا ابنت صهيون ها هو ذا ملكك ياتيك رادنا علي جحش ابن امان
ولم يكن تلاميذه عرفوا هذا الاشياء اوله لكن لما مجد يسوع حينئذ
ذكر تلاميذه ان هذا مكتوب بجله ولما كان السيد ملازم المسك
عن شهادته لنفسه ولم يصرح بشربوبية كما هي عليه هو يا من توهم
للمنتحار

المنتحار والظن بانه مآدح لنفسه واشتد ايج التلاميذ الي
معرفة علي قدرا استطاعتهم لا علي قدرا صاروا اليه اخيرا
فسألهم وقال لهم بديا ماذا تقول للناس في ابن البشر فقالوا نعم
يقولون انك بوحنا المعداني واخرون يقولون ايليا واخرون
يقولون ارميا او واحد من الانبياء وذا كان اجل ان بوحنا كان مولد
من امرأه طاعنه في السن ومع كبر سنها كانت عاقرا ولما شاهدوا
الناس من بغيرته كانوا يظنون انه قد قام من الاموات ولاجل ان
ايليا ايضا قد قاس من السلايد في يوم اخاب الملك من زبانا هو
مشهور وعلم شدت غيرته في محبة الله وكان الوعد قد سبق علي لسان
ملاخيا النبي انه سيأتي فظنوا بانه قد اتي ولما ارميا فانه قد كان
كيبا علي خراب بيت المقدس وكان ملازم النوح علي الذين
سبحي تختصر الملك وكان يشتمون ان يبصر البيت المقدس عارلا
قبل موته فلاجل ان اليهود لم يزلوا يظنونهم الله رديهم يظنون بان
يبعث رسول ولا نبيا في ذلك الوقت فكانوا اذا شاهدوا الايات
المعجزة التي كان السيد يصنعها وما في قد تهمروا بيسخطيطوا اخفا
فينشدون امره او واحد من الانبياء السالفة وللسايل ان يقول
انه لا خلاص في ان السيد كان عالما بايقوله الناس فيه فاية حاجه
يها

دعته الى سوال للتلايد عن كذا فيقال انه يعده مقدمه
ويهيئ مدخلا لسواله من التلايد عما يقولون فهم فيه ليكون جوابه
له على حجب قولهم فقالوا انتم ماذا تقولون اني انا اجاب نعمان
بظن و قال له انت هو المسيح ابن الله الحي ومن هاهنا اعطاه
الطوبى والطوبى في السماده التي في ضد ابول الذي للشقوه
فالسماده دليله على النعيم والشقوه دليله على العقاب فاراد هذا
ان يثبت قلوبهم اعني التلايد كهم على الاقرار ويحتمل ان يقيموا
على هذه السماده لاختيارا وقوله نعمان ليس جسد ولا دم اظهر
لك هذا لكن ابني الذي في السموات ومعنى ذلك ان الجسد ليس
ليس لهم استطاعه ان يعرفوا شيئا من الميعات وانما هذه المعرفه
هي الاهيه والاله له القدره في كشف ما لم يشاء اى انه يحسن
نتيجه وسداجه قلبك لطلعتك الله على هذا والافن هو انت
حتى تستطيع ان تعلم مثل هذا السر العظيم من لقاءك واما
قوله انك انت هو الصخره وعلى هذه الصخره ابني سيعني وابواب
الحجر تقوى عليها فمعي بذلك ان الصخره هي الاقرار والايان
وان الذين يؤمنون به ويحفظون وصاياه لا تقهرهم الشياطين
الذين

الذين هم ابواب الحجر وهم يصرون من اجل الايمان على كل الاوجاع
والمحن وهم ثابتون كنبات الصخره فحينئذ اسماء الصخره لانه سبق
هذا الاقرار عند السوران فصار اقراؤه كالاساسه وعني البيعه
ايضا جماعت المؤمنين لان تفسير لفظت لبيعه بالعباده شعبا
والا نقلت من العبراني الى السرياني كانت جماعه واما السر البيعه
بالرومي فهو اكله كنيستيا وتفسيرها الدعوه واما اصطلاح المنطقين
من انصار كنيسته العرب على تسميتها كنيسته فهو اسم مشتق من
السرياني وذلك ان لفظت الجمع بلغت العرب هي في السرياني
كنوشا والمفهوم المعروف ان حروف السين في لفت العرب هي عند
السريانيين ابداء وليس في هذا اختلاف البته ومن هاهنا سميت
كنيسته والمعروف المشهور ان التلايد كانوا النصرانيه انسانا ومع
التلايد والاضطهاد والبلايا المختلفه التي نالتمهم بسبب الايمان
بالمسيح من جميع الامم وملوكهم وروؤسهم مع مشكنتهم وقتل عددهم
لم يقدر وان يعرفوا المحن بل انهم هم على خلاف ذلك وذلك انهم
قاموا الروس والسلاطين وقهرهم وقولوا الان يبشراهم
من المؤمنين وللسائل ان يقول ان كان التلايد قد رفع قلت علام

وستكسبهم ان يبايوا الملوك وروسا العالم ويتعزقهم فينال ان
ان ملوك الارض في ذلك الزمان كانوا يرضون سننا وكان قضائهم
يكون ما يوافق تلك السن وكان كل من لا يتبع اموت تلك السن ينزل
به من انواع الموت عددا كثيرا ثم يبعث عليهم من عامة العالم بالابا
مختلفة الاصناف ومع هذا كان التلاميذ يفترون ان التطواف
في اقطار الارض وهم جاريون بلا خوف ولا جوع ليرزواوا يبشرون
بشر المسيح جهرا ولا يبايئون بما ياتي عليهم من اصناف العذاب والتدايد
وهو لا يرجعون على اعقابهم ومن اجل هذا حفظتهم على يدهم بقدره كانه عناية
الله بغير قوته وظاهر فيه ثم ما يفعلوا من الايات والمعجزات وبجوارهم
اقهروا كل احد من الملوك والروسا واهل العالم حتى ساقواهم الى الايمان
وقلوا لهم عن عبادات ابائهم ولم يبق في العالم من لا يدخل تحت سطاعتهم
الا قليل وقد ان تلك الاحوال باقية الى يوم الناس هذا وقوله اعطيتك
مفاتيح ملكوت السموات وما حللته على الارض يكون مجاولا في السموات
يجلبان نعمتهم ان هذا القول ايضا ليس يعني به انه شيء خاص لسمعان وحده
ودا ان الله يعني بالابا انهم الاقرار والايمان وعنى بالبيعة ايضا جميع
الذين يؤمنون وعنى بالابا الحكيم المحن التي اتي على المؤمنين من قبل الشياطين
وتصبرون عليها فلا تؤذيهم ثم اعقبه لك بهذا السلطان لجميع كنيسة
البيعة

البيعة وانما كان التخصيص لسمعان من اجل انه كان السابق للاقرار والايمان
ومعنى مفاتيح ملكوت السموات وشركه في ارشاه اي ان الذين قد اقرروا
واستواصاوا له فربهم في ملكوت السموات وشركه في ارشاه وليس لهم مانع من
ذلك كما قال الرسول ان كل من ابنا الله فحين وانا وارثون لله ويكونون
لايت المسيح لاننا ان نوصفنا معه مجدنا ايضا معه وهذا دليل على
جلالة الايمان والاقرار فاما الذين غرتوا انفسهم من الاقرار
والايمان كمن كان فليس له قريه ولا شركة ولا يسيل الي الاقتراب
من ملكوت السموات فاما الذين قد اقرروا واستوا وقلوبهم تسبت
الكهنة فخرجوا الى جوار الناس هذا يكونون خداما لغير انفس البيعة وهم
المتبعون الذين يدعون ويقيمون ويحيطون ويكونون بالسلطان الذي
اعطاه المسيح للمؤمنين الذين حماهم ونياتهم مطابقة لجلال خدمتهم
وقد ينبغي ان تعلم ان كمال المعرفة بالمسيح هو ان فمن بنيه مخلصة انما
بالحقيقة مولود بلا هوته من الاب قبل الدهور وبه كان كل شيء والله يتخذ
بالبشرية اتحادا غير منفصل فيضمون الاخاء من غير اختلاط ولا
امتزاج ولا اقتران فاما وصيته للتلاميذ ان يقولوا الاحاديث
المسيحية فين هذا انه لم يكن ينبغي لهم في ذلك الوقت ان يبشروا
به ولما اخبروا به انه ينبغي ان يضي الى ايرושليم وقيل الاما كثيرا

من المشايخ وروينا الكهنه والكتبة ويقتلوه وبعد ثلاثة ايام يقوم
فارا اديان غيرهم ما سيكون منه مستانفا حتى اذا كان ذلك لا يكون
عندهم ثم يستنكرون يسموا به لتوطد امورهم على معرفته ويعلمون انه بارادته
يريد ان يفعل هذا الامر وقوله لبطرس اذهب عني يا شيطان وذلك انه
لما سمع من السيد ذلك لقول قال له اذا كنت عالما بان مثل هذا يصيبك
اذا مضيت الي يروثيلين فلا تضيئ اذا اليهيا لان اياه كانت واقعه بان
المسيح يملك على بني اسرائيل ملكا ارضيا فقال له السيد انك قد صرت لي
شكا لانما تفكر فيما لله بل فيما للناس يعني انك تفكر في ملك السماويات
بل في ملك الارضيات اي اني قد تقدمت وقلت لك اني اعطيك ما تسئ
ملكوت السموات وانت الي لان باق على طلبها هو في الارض بمنزلة من
لا يفتق على نفسه ولا يعلم ما قد صار اليه قد يعرف من هذا الكلام الذي
قال الرب لهما ان الرحمة والنعمة اما هما على حسب نيات البشر وبواظنهم
ودا لنا اذا تأملنا قول الرب لبطرس اولا وتأملنا ما قد قال له
بعد ذلك وجدنا بينهم غاية البعد لان كل قول منهما في لطفه لا يقع
من الآخر لانه في البدايه جعل له سلطانا بان يكون الذي يخطيه في
الارض يربط في السماء والذي يحمله في الارض يحل في السماء ثم بعد هذا
قال

قال له بعد هذا اذهب عني يا شيطان فما ان لقول الاول كان ما به
وليقتل لتلاميذه ولم يحلوا فخر هذا قوله الثاني بعينه لتعلم من
ذلك ان الذي يتخيل من اعمال الصلوات ويعمل ضدها يقدم ما قد وعد
به من الحياة الابدية والحيرات المزمدة ويحبل لنفسه اليمر العذاب
وشديدا لمقات واما قوله من اراد ان يتبعني فليكنف بنفسه ويحمل
صليبه ويتبعني ومن اراد ان يحط نفسه فلينهلكها ومن اهلك
نفسه من اجلي ويدها عن هذا القول انه ينبغي لكم ان لا تستنكفوا من قول
اللام اذا ما هي زلت بكم ولا تفقدوها انما ذك بل اشرق المعز اذا ما
كانت من اجل ان الله والله من الواجبات ان تكونوا متبشرين بحتمنا لكل
شروع الموت بالصليب من اجلي اذ تعلمون انه ليس يمكن ان تنالوا
خلاصا صادقا ان انتم تسيتم لانفسكم ولا تبدلونها في محبتي واداما
قبلتم هذه الوصية تحبون انفسكم من اننا المملوكوت وتحيون رؤس
بالفرح في غير ملك السماء وقوله ما دافع الانسان لو ينج العالم
كله وخسر نفسه وما دافع على الانسان فدا لنفسه معني هذا
القول انه جعل من يدهم وعظاه في ان يسارعوا الي قبول الالام
من اجل ان الله ولا ينجروا من الهوى التي تور عليهم بتبب شعوات

الذي لا يذوق الموت فكانه يقول هيوا ان الدنيا كلها لكم فما هو الذي تجدون
فيها من النفع اذا ما كانت نفوسكم باستوحال يتوقع لها العقاب الدائم
وهل في الدانية يكون لكم شيء حتى تغفلوا نفوسكم وتسبحوها من العقاب
وهذا ايضا هو دليل على ان مشيت الانسان هي التي ترفعه الى مواضع
الرضا وتحطه ايضا الى اماكن الخطاء وقوله ان ابن الانسان ابني
في مجيئه مع ملائكته حينئذ يجازي كل واحدكم عمله المعنى
في هذا انه بعد ان وعظ التلاميذ وعظا كافيًا اراد ان يذكرهم
بجيئه الثاني في القيامة وانه يقضيهم اجرا عن اجماهم الشديد
وعن مواظبتهم على الكمال المفضله في الملكوت السماوية وان كل
احد من الناس في ذلك اليوم يصل الى حيث يستقيم به عمله من خير
وشر وقوله ان قوما من اقيامها هنا لا يدرون الموت حتى يروا
ابن الانسان ياتي في ملكوته عنى هذا القول بطرس ويعقوب ويوحنا
الذين شاهدوا عند التجلي على طور تaborيا ومن غير اجل سؤال
الرب لتلاميذه عند مجيئه الى اخيرة قيسارية فيلسن قالوا لسان
الرب تلاميذه ماذا نقول للناس في ابن البشر هل تراه ليس يعلمون لكن
من اجل تواضعه وانه صار بشرا اجلنا وكذلك تكلم بما يشبه تدبيره
المخلص

المخلص فاجابوا التلاميذ قائلوا منهم من يقول يوحنا المهداني
واخرون ايليا واخرون ارميا او واحدا من الانبياء فقال لهم
فاستمروا ما تقولون ابني انا اجاب سمعان بطرس وقال انت هو
المسيح ابن الله الحي فلما عرف الرب انه قد اعترف بانيحاد الكلمة
مع الاب عند ذلك قال له طوباك يا سمعان ابن يونا ليس جسد ولا دم
اظهر لك هذا بل ابني الذي في السموات مثلما اعترفت باني انا ابن
الله بانيحادي به انا اقول لك يا ابن يونا انك انت هو الصخرة
والصخرة هي الامة المستقيمة والبيعه في اجتماع الشعوب
المؤمنين من كل القبائل والى ابواب الجحيم هم الابرار المجدفون
الذين قاموا على البيعه في كل زمان وملوك الامم والسلاطين
لم يقدروا عليها لك اعظمي فمنا تفتح ملكوت السموات هذا هو
السلطان الذي اعطاه لبطرس وكل الروما الارثوذكسيين
الذين قاموا من بعده قائلوا اما قول الابرار فليس فيه
سلطان ولا فعل وحنافا ذهب يمس من اجل انتم الرب
بطرس وقوله له ابعد عنى ابيسطان فقد صرت لي شكاه قال الله ليس
عنى يسطر انه شيطان فحاشاه لان القول الذي قاله بطرس
هو فكر شيطاني لان الشيطان لم يكن يريد ان يتاخر الرب ويبعث

من بني الاموات وكان يخاف من اجل القول المكتوب انه يحيطر ابواب
الجحيم ويكثر اغلاله ويصعد الاسرى للذين فيه بقوة وغلبه
يكرهه من اجل ان قومنا من لقيام هاهنا لا يدونون الموت
حتى يروا ابن الانسان اتي في ملكوته فقال ان لتلاميذكم انوا يريدون
ان يعلموا كيف الجسد الذي ياتي به الرب في مجيئه الثاني فلهذا
اراد ان يبرهن ذلك قال لهم علامته مجيئه اذا قال لهم من هاهنا قوما
من لقيام سيرون ذلك وعني عن ثلاثة التلاميذ هم لا يدونون
الموت حتى ينظروا ابن البشر اتي في ملكوته وهم بطرس ويقيوب ويوحنا

فصل الخامس والثلاثون

وبعد ستة ايام اخذ يسوع بطرس ويقيوب ويوحنا اخاه واخذهم
الي جبل عال منفردا وتحتل قداسهم واذا وجهه كالشمس وكانت
ثيابه بيضا كالنور واذا موسى وايليا ظهرا له فاجاب
بطرس وقال الرب يارب جسدنا ان يكون هاهنا اتمنا ان نتخذ
ثلاثة مضان واحد لك واحد لموسى واحد لايليا وفيما هم
يتكلموا اذا انصباهم نور وظلمتهم وصوت من السموات يقول هذا هو
ابني الحبيب الذي سررت فاسمعوا له فسمع تلاميذه وسقطوا
علي وجوههم وخافوا جدا وجايسوع اليهم ولمسه وقال قوموا
ولا

ولا تخافوا فرفعوا اعينهم فلم يروا احدا الا يسوع وحده فلما انزلوا
من الجبل اوصاهم يسوع قائلا لا تقولوا لاحدا لروايتي حتى يقوم ابن الانسان
من الاموات وسأله تلاميذه قائلين لماذا تقول لكاتبه ان يلبس
ياي اولاده فاجاب وقال لهم ان يلبس اياي ويعرفكم كل شيء واقول لكم ان
ايليا قد جاء ولم يعرفوه لكن فعلوا به كل فعل ذي وهكذا يبرهن الانسان
يتا لم منكم جسد يقيم لتلاميذه انه قال لهم من اجل يوحنا المعمدان
المتقي ومعا وانا اتيقا ايليا الحق اقول لكم ان قوما من لقيام
هاهنا لا يدونون الموت حتى يروا ابن الانسان اتي في ملكوته
وبعد ستة ايام من وقت هذا القول اخذ ثلثه معترين في
تلاميذه حتى يعبرهم المعاني فقال له السيد في امرجك ليكونوا
شهودا علي بلال لا يحجوبه المعجزة لان الكتاب يقول ان الشهاد
تتم من اثنين او ثلاثة ولما كان قصده ان يبين لهم مثال المجد
الذي ياتي به في مجيئه الثاني ايضا وجهه وامتنارت ثيابه وبار
شعاعه كشعاع الشمس وفاق علي المجد والبهاء الذي لبسه الانبيا
والاكرار واما ظهور موسى وايليا له وهما يجاطبانه فكان
ذلك لعلك انواع الاولاد الناس كلوا يظنون انه واحد من
الانبيا السابقين فاستدعاهم البشير الميمون لينزل في هذا

الشك وان الانبياء السالفين ما فيهم من له قدره بان يستدعي موحي
 وليدًا فيجيباه مثل هذه الطاعة لكي يعلم بها ههنا انه استدعا به هذين
 وهن روؤنا العتيقة انه سيد ههنا وهاهنا وحق ايضا لبطرس صحة اعترافه
 بانه ابن الله الحق والثاني ليزيل الشبهة التي اوردتها اليهود في انه
 البطل الناموس ونقض السبت وداكر ان هذين لا يطعمان من عمل ما
 يجالسه امر الله والثالث ليقرر في نفوس تلاميذه انه رب الاحياء
 والاموات وقد قد سلطه عليهم وذلك ان موسى بعد من جلت
 الموتى وليليا معد من جلت الاحياء وللشاي ان يقول ان الميت عالم
 بكل شيء ولا يخلو في معرفته وموسى وليليا كلاهما من اي وجه عرفهم
 التلاميذ فيقال ان التلاميذ كانوا امتي سمعوا من السيد كما شأني
 عليه من مشايخ اليهود وكهنتهم ومن الاله تضرعوا بهم وتقلب
 افكارهم فجعل موسى مخاطبه للرب في وصف قساوت قلوب بني
 اسرائيل وفضاضة اخلاقهم وعلاظ طباعهم وكوثر كانوا اسر
 عليه من مقاشات شرعون وهكذا ايليا ايضا تركضت شدائده
 مع اخاها الملك انزال وما جرى له من كثرت اضطراره لا وفصح في
 ان يوصي شر اليهود وميلهم الى الباطل وانكار نعم الله الذي
 اتيهم عليهم وكثرت تجويتهم على الكفرية وانهم لا يرفعون الى
 الحق

الحق بنوع من الانواع وان الذي قاساه منهم كان استدعا عليه من اضطراره
 اعاب وانرا ان فرجها هنا عرفها التلاميذ واستشفوا شيرت اوليك بني
 اسرائيل وشران البنيين لما انقضا شرح حالها مع بني اسرائيل وما قد
 نالها منهم من عظم الشتموه استخاطبته في الامر الذي هو موضع
 ان يكمله بيروني سليمان كما شهد الكتاب وكان القصد بهذا ان يشكر قلب
 التلاميذ الذين كانوا يسمعون لقول حيي نعمتي ثموا ذكر الامر السيد
 لا تشوش قلوبهم وللشاي ان يقول ان متى ومرقس يقولان ان التلاميذ
 بعدت اياما ولو ما يقول انه كان بعد ثمانية ايام وقد حصل التضاد
 في قولهم فيقال ان متى ومرقس وصفا اليوم الذي كان فيه الوعد للتلاميذ
 واليوم الذي كان فيه تجايز الوعد وعمل الاية ولوقا جمع اليقين مع الله
 تحققت له بجلت الايام ثمانية وكان قصدهم ان يبيروا لحدود قد حال
 قوم وقالوا ان ايليا من اجل انه لم يموت فلا خلاف في انه اتي علي حاله
 اني كل فيما على الارض واما متى فمن اجل انه مات مما ينبغي اني حاله
 اتي هل قام جسده من الاموات امرنت نفسه دون جسده فيقال
 لهم بعض المفسرين انه اتي بجسده فرد عليهم جملة من العلماء وقالوا
 انه غير ممكن ان يرعى الله ان يحيي جسده موسى ويعود يدوقه الموت
 من شأن ساعه من الزمان وانما قد جرت عادات الروحانيين انهم متى

ارسلوا اليكم اثنين يعطيتم الله ما دمر الهوى على اي شكل يريد
ويظهر بذلك لشكل الحق تنقضي خدمته وهذا دليل على ان جميع
الناس يحتمون اليه في القيامة لانه ديان الاحياء والاموات فالاحياء
الذين يوجدون في ذلك الوقت ويريدون الموت كما شهد الكتاب
والهوى هم الذين ماتوا من عهد آدم الى يوم القيامة فينبغون ويقومون
ليطال كل انسان من شهر عاشر من اعماله وقوله ان شحابه يره ظلمته
واد اصوت من الشحابه يقول هذا هو ابني الحبيب الذي شررت انعموا الله
فالسبب الذي من اجله سمع الصوت من الشحابه لانه غيره لان اعداء الله
جانبه هكذا في جبل سينا وكقول الكتاب هوذا الرب اتي على غمام مركات
الى مصر فاما السبب في ان الشحابه كانت يره فانه اذا الفرق بينهما
بين الشحابه الذي كان المنسوبه منها على جبل سينا لانه كان مظلمه
كما شهد الكتاب حتى يقول للتلاميذ انه واحد من الانبياء وكذلك
انهم لما راوا الشحابه والصوت خارج منها لم يطيعوا وادوا ابصارهم
وينظروا على هبت ما هي عليه لانه سقطوا على اوتهم واما الصوت
الذي كان من الشحابه فانه دل التلاميذ على عظمتهم وعلوهم على الانبياء
والابرار وعلا من ذلك للتلاميذ ان يعظم السيد عظمتهم وقوا
عنهم فلم يروا الا هو وحده وكان هذا اعظم الدلائل لانه هذا هو

منه

الله

هو ابن الله واوليك عبده واما وصيته للتلاميذ ان يعلموا احد
بهذا الهية الا بعد قيامته من الاموات فذلك ان الذين كانوا في ذلك الوقت
لم يكن احد منهم كقول القبول هذا الامر والسائل ان يقول ان موتى كان
قد تزوج ويليها لم يزوج هذا كانت من لثما واحده ام من لثا ايليا
اعظم ويقال ان ملزله للقبيلتين ولحد مع الاعمال الصالحة
واما عود موتى ويليها في العام فهو دليل على ان الابرار من الاحياء
والاموات عند مجي المسيح يقومون والثاني اذ يقولون على الشحابه
ويقلونه في الهواء كما شهد الكتاب فاما سؤال التلاميذ وقولهم
ان اركبه يقولون للشعب ان هذا لو كان المسيح لكان ايليا قد تقدم
فكان هذا القول منهم لكونهم غير عارفين بحقيقته الامر وذاك
انهم ظنوا عند همتهم في اجل لما قد عاينوه من مشاهدات الجده العظيم
ان القضاة الدهر قد اتوا وما علم السيد فكرهم جعل يعبرهم ان يقول
في امر ايليا صادق ولا شك فيه غير ان ايليا لا ياتي الا بعد الانشأ
الى القايه لصيحه كي تقدم فيصطحب الناس ويندب اليهود على
الدخول في الطاعة ويحكمهم على ايمان ليل يهلكوا باسمهم ويكون
نعمه كقولهم عند مجي الاول لانه ايليا جاء ولم يعرفوه من اجل انه

شترك معه في الشكر والفضيلة والخدمة وذلك انه تقدم في الاول
ويخرج الناس على سبيل تعزير عام للثوبه ويشرف بقدي لكي يتم فيه
قول الكتاب هاهنا امر ملاكي لاصح الطريقه ما مكن فمها هنا
عرف هؤلاء التلاميذ ان يوحنا هو عزرا كليليا من كل الوجوه وان
ايليا سوف يأتي في منتهى الدهر وان المجد الذي شاهدوه على الجبل
هو مثل الصور بحج الرب الثاني للفضاء والديونه فغوا ايضا
ان ليلا شارب كان قاله في قصيت يوحنا الى انه قد قتل ظلما وهكذا
ايضا يوحنا لسان الذب يفسر من اجل قول لاخيل بعد سنت
ايام اخديتو بطرس ويعقوب ويوحنا لخاصه واتي هم الى جبل عال برسم
مثل الجبل الثاني قال لهم قال انه بعد ثمانية ايام ومضي يقول
وبعد سنت ايام من هذا القول ان توما من اقيام هاهنا
لا يدورون الموت حتى يروا ابن الانسان اتي في ملكوته فاما مني اسقط
يوم العديومرا لا يخاف ولم يحجبها مع سنت ايام فاما لوما فحجبها
وقال انه بعد ثمانية ايام اظهر للتلاميذ موتى وايليا وهما خا طباة
سويوس لبطرس يفسر قال موتى هو علي مثل الناموس وايليا
مثل الانبياء ليطهر للتلاميذ انه رب الناموس والانبياء ومن هاهنا
قال بطرس يا رب جسدان تكون هاهنا ان ننخذ ثلثه مكان
واحد

واحد لك واحد لموت واحد لا يليا اعني بذلك لكنيت
لجسمه التي في الجبل المقدس لما ان الذي فيه الناموس والانبياء
والاخيل وضعا ايضا يظهروا ثلاث المقدس المتساوي في
الجوه وان التلاميذ استحقوا ان يسموا صوت الرب من السحابه قايل
هذا هو ابني الحبيب الذي به سررت فاسمعوا له ولما سمع التلاميذ
هذا سقطوا على وجوههم فاولا ان الكلمه تجددت وصار يشرف مثلنا
من كان يستطيع ان يسمع صوت الاب فلما ان لوامر الجبل او صاهم يسوع
قال لا تملكو احد بالاريا الى ان يقول ابن الانسان من الاموات
غير انهم فسر قالوا اذا او ما لم يلا يملكو احد بالاريا لانه لم يشا
ان يمل الشيطان يسر فيسير موده وانبياته من بين الاموات ليلا ينع
جسارت اليهود ايتوموا عليه فلذلك وصاهم ليلا يملكو احد بالارو
حتى يبعث الرب من بين الاموات لانه لو لم يصب لم يصفق قوت
الموت ولان يوحنا سمي ايليا كقول المعلمين لان ايليا يجب ان يأتي
بديا ولذلك قال لهم ان ايليا قد اتي ولم يقره ولكن قتلوا به كما اردوا
عند ذلك فغوا انه قال لهم من اجل يوحنا المقدس لان النبيين هما
مبعوثان من يد الرب الاول يوحنا الساب والثاني ايليا

لأن حياتهم وسيرتهم تشبه بعضهم البعض ولذلك نجي روحنا ألياً

قصر الأصحاح السادس والثلاثون

فلما أتى إلى مجمع جا إليه انسان جأت له على ركبته وسأجدا له
قايلاً يا رب ارحم ابني فإنه يعذب جلدني وروعي الأهل ومراة
كثير يقع في النار ومراة كثيرة في الماء وقد منته إلى تلاميذك فلم
يقدر أن يشفوه حينئذ اجاب يسوع وقال لها ارجع إلى بيتك فلم
العداء الايمان ألا اكون معكم وحناناً اختلكم قدوة إلى هاهنا
وانتم هم يسوع وخرج منه الشيطان وبري المغنا من تلك الساعة
حينئذ أتى لتلاميذ إلى يسوع منفردين وقالوا له لما دأبتم
تعدوا ان تخرجونا فقال لهم يسوع من اجل قلت ايمانكم اخرجتكم
انه لو كان لكم ايمان مثل خبز الخردل لقلتم هذا الجبل انتقل من
هنا إلى هناك فنتقل ولا يعسر عليكم شيء وهذا الجبل يخرج
بالصور والاصالة فلما رجعوا إلى الجليل قال لهم يسوع ان ابن
الانسان يسلم في أيدي الناس ويقتلونه وبعد ثلاثة ايام يقوم
فخرنولجداً والمجد لله دائماً التقدير معلوم ان الانسان الذي
أتى وتجدد له كان قد طلب التلاميذ ان يسروا واورده فلم
يقدر

طوله

يقدر واعلم ان من اجل انكم كنوا قبل قيامته السيد غير كاملين في
كل شيء وقد ليدلك انهم في الليلة التي اسلم فيها السيد هربوا
جميعهم ورفضوه ولما بعد القيامة فكانوا يفرحون اذا ما
نزلت بهم بشدة من الاعداء بسبب الايمان وانما كان جميع ذلك حتي
يعرفوا عظمة النعمة التي صارت اليهم اخيراً بقيامته المسيح وصعوده
إلى السماء وأما قوله لمروا كان فيكم ايمان مثل خبز الخردل لقلتم هذا
الجبل انتقل من هاهنا إلى هناك فنتقل ولا يعسر عليكم شيء فاراد
بخت الخردل انها غير منقمة دون جميع القول وهو انتم الزرايع
ايضاً قال لو كنتم لا تشكون في قدرت الله عنده مشاهدتكم امورا
صعبة بل توفنون على صغركم وصغر خطركم انكم تقدرون بقوة
الله ورضا ان تفعلوا امراً اعظم من ذلك لو كان شيء يعجزكم وذلك
انه لو كان لكم نية صادقة بان جميع الامور دون قدرتك وقوتكم من اجل
الايمان كنتم قادرين على فعل كل شيء بسرعه وقوله هذا الجبل يخرج
ألا بالصوم والاصالة فين لنا هاهنا بهذا القول ان نكون بطلان
من عمل الفرائض الواجبه علينا فجعل اقتصارنا على معونة الله نقطة
لأن معونة الله ليس تأتي إلا من فعل الفرائض فالصوم أراد به المشك

عن جميع افعال الرذائل والتباعد عنها جميعها او الصلاه اراد بها
محبت الله وطاعته وان يهاجم فينا اعمال الفنايل فحينئذ
اذا تباعدنا عن الرذائل وهلجنا في الفنايل انت لنا معونة
الله التي تجد على كل شيء وقوله للتلاميذ ان لا تسانم مع
ان يسلم في ايدي الناس ويقتلونه وبعد ثلاثة ايام يقوم فخرنا
جدا اراد بتكرير القول عن الاله وصلبه كي يثبت في قلوب التلاميذ
هذا المعنا قبل ان يكون ليلا يظنوا انه عن غير مشيئه ورضاه احتمل
احتمل الموت فاما التلاميذ من اجل انه كانوا اضعفا عن ادراك سر
التدبير الذي في من اجله فكانوا اذا سمعوا ذكر الادم تنشوش
او كانوا يشتدوا من اجل ذلك وقال بعض المعشرين انه عني
بحب الخذلان ان تكون الايمان بحكيه مثلها لاهما صلبه لانك
تفتت سرها ويريهم من اجل الشاب الذي يذب في راس
الاهله قال لهم تستطيع التلاميذ اخراج الشيطان من الابن
قلت ايمان ابيه ولقد كان للتلاميذ يخرجون شياطين كثيره وكانوا
من جحش في الجماعه كثير من مشككين في ان التلاميذ يستطيعوا
ان يخرجوا الشيطان ولذلك قال لهم سيدنا ايها الجبل الاعوج
غير

غير المؤمن ولما سألوه التلاميذ لم نستطيع نحن اخراجه اظهر
لهم ان قال ان من يضع يداكم فوقكم تكونوا تلبس الايمان بالمسيح
الا انهم لما راوا وحده تحت الشيطان ظنوا انه لا يستطيعون
اخرجه ولذلك قال لهم الحق اقول لكم انه لو كان لكم ايمان مثل حب
خردل لقلتم لهذا الجبل انتقل من هنا الى هناك فانتقل وحبت
لخردل في الالهه الثابته بفرجه قلب بلاشك لان هذا الجسد لا يخرج
الا بالصوم والصلاه وادانتم هذا الجسد لنخرج لك الشيطان
وحده ولكنه اجناس الشياطين يريد بذلك ان يكونوا كل المعترين
من الارواح النجسه ان يصوموا ويصلاوا لان كثير من الارواح
المعترين بالارواح النجسه يمنعهم الشيطان ان يصوموا ويصلاوا
بكل حال واراد بذلك يشقطن الناس هذا العاده الشيطانيه

فصل الخامس والسبع والثلاثون

وجاء اليهم لتعلم فاجاباه الى بطرس فقالوا له معلمكم يا بولس
فقال نعم وجاء الى البيت فسبقه يسوع وقال له ماذا انتظر يا سمان
ماولك الارض من ياخذون الجرحه والخارج من الذين امرت لفرايه
فقال له بطرس من لفرايه فقال له يسوع ان يكون اخرا او لكن

ليلا يشكركم امض الى البحر فالت اصناره فاو لحت ترفقه افتتح
فاه تجد فيه اصطابتين فخذها واعطيهن عني وعنك والمجد لله
المفتخر معلوم ان لهو دكا لبحر عاده ان يكون البكر من كل
يفرم في كل سنة ثيا يسيرا تكمه لله وكان عظيم كمنتهم في ذلك
الوقت يتولاجا بة ذلك ولما كان لستد بكمه طلوب بما قد حتر
به عادت بني اسرائيل فقالوا لبحر ان الذي هو راس لاهيه
لكو فخر ببحار واعليه وقابلوه في هذا الامر ولما اتى بطرس الى
البيت مستحيلا من خطيئة لستدنا قد حري فابتداه الرب بالسؤال
ليعمل له طريقا الى الكلام في ذلك فقال يا سمعان ماذا انتظر فيكون
الارض من يخذون الخراج والمفروض من لبنين ام من لوزاء فاراد
بهذا القول انه لا يلزمه ما يلزم غيره من بني اسرائيل لان اولايك
هم عبيد الملوك وغوامنه ولما هو فهو ابن ملك وذللك انه ليس
في الملوك من يطالبه بانه يخرج ولا مفروض كما يطالب بعيت الناس
لاخر شركاهم في جميع نعمته وعلى هذا الوجه ان الله تبارك وتعالى
الكرم واعظم من ان يطالبه بانه يفرم ولكن ليلا يتيهوه علينا ان
يجعل لهم نسيبا للشك في ذلك لاهم انما يحكمون فينا على حسب
مشاهدت

مشاهدت العين باي انسان شادح كساير البشر وان لا تظن في
انصا الى امر الناس انه بان لا يعطون بما هو واجب عليهم من الكرا
لله ثم قال لبطرس امض الى البحر والقي الصناره فاو لحت ترفقه
افتح فاه تجد فيه اصطابتين فخذها واعطيهن عني وعنك الشب
الذي قال لبطرس امض الى البحر حتى تصيد سمك وما فيها تلخذها
وتورد عني وعنك وكرامته ان ياخذ ذلك من موضع اخر اراد
بذلك ان يريه قدرته باخلاءه في البر والبحر وانه فيها تصرف
كقوتها الاصطابتين هي ليعتردا فمر وقوله له عني وعنك يدل
على ان بطرس كان بكرا ايضا وسأل قوم قائلوا هذا الاصطابتين
خلقتها السيد في ذلك الوقت ام كانت السمكة التي تمسكها من الذي
سقط من الناس في البحر كما جرت عادت السمك انه يتبع ما يجد
فلما قال لهم قوم من المفتريين ان السمكة كانت لتقططها من البحر
كما جرت عادت السمك فردد عليهم جماعة من العلماء قائلوا ان الامر
لو كان علما قد زعمتم ان السمكة قد ابتلعتها ولم تتركها ان تقير
في فيها وايضا انها لو كانت في فيها لتفلقها عن التمام الصناره
وانما السيد بقدرته شاد خلقا جديدا في تلك الساعة

سَأَوْيَرَفْرَفُ مِنْ جِبَابَيْدٍ لِيَقِيَهُ قَالَ إِنْ بَعْدَ نِيْلَاحٍ يَوْحَنَّا الْقَمَلُ
 أَسْتَقِلَّ الرَّبُّ يَسُوعَ مِنَ النَّاصِرَةِ وَنَزَلَ كَفَرْنَحُومَ فَأَتَوْا الْجَبَاهُ وَقَالُوا لِيَطْرُقْ
 مَعَكُمْ إِيَّاؤِي لِحُجْرَتِهِ أَيْ دَرْهَمِيهِ قَالَ لَمْ يَلِدْ كَانَ عِمَادَتِ الْيَهُودِ أَنْ
 يَعْطِي كُلَّ بَكْرٍ لَهْمًا لِحَمِيلِكُمْ دَرْهَمِينَ فَلَمَّا كَانُوا إِلَى الرَّبِّ يَطْلُبُونَ
 مِنْهُ الدَّرْهَمِينَ وَإِنَّ الرَّبَّ ابْتَدَأَ يَطْرُقُ وَقَالَ لَهُ لِمَاذَا تَرَى يَا سَمْعَانُ
 مَلُوكَ الْأَرْضِ يَخْدُونَ الْحِزْبَ مِنْ بَنِي أُمِّهِمْ مِنَ الْغُرَبَاءِ قَالَ لَهُ سَمْعَانُ مِنَ الْغُرَبَاءِ
 قَائِلًا إِذَا كَانَ مَلُوكُ الْأَرْضِ يَخْدُونَ الْمَلِكِينَ مِنَ الْغُرَبَاءِ وَلَيْسَ مِنَ الْبَنِينَ
 كَيْفَ يَبِيدُونَ أَنْ يَخْدُوا مِنْ الْمَلِكِينَ وَأَنَا ابْنُ الْمَلِكِ الْعَظِيمِ السَّمَاوِيِّ
 وَلَكِنْ لِيَلْأَشْكُرَكُمْ أَنْ تَطْلُقُوا إِلَيَّ الْبَحْرَ وَلَتَقْصُرَ تَكُنَّ قَالُوا لِحُجْرَتِهِ
 يَصْعَدُ لِنَفْسِهِ فَأَنَّهُ قَائِلٌ تَجِدُ صَطَائِرَ تَتَّخِذُهَا وَأَدْرِي عَنْكَ وَعَنْكَ
 لَنْ الدَّرْهَمِينَ فِي كُلِّ دَرْهَمٍ مِثْقَالُ زَنْزَرَةٍ وَالزَنْزَرَةُ فِي بَيْعِ أَوْقِيَّةٍ وَالدَّرْهَمِينَ
 فِي بَيْعِ أَوْقِيَّةٍ وَأَيْضًا زَنْزَرَةٌ أُخْرَى وَزَنْزَرَةٌ دِينَارٍ وَبَيْعُ بَيْعٍ هَذَا
 خَمْسَةُ أَوْزَانٍ دَرْهَمِينَ وَدِينَارٌ يَكُونُ أَجْمَعُ خَمْسَةِ مِثْقَالِ حُمُسٍ حَوَائِشُ
 الَّتِي صَيَّعَهَا أَدْرَمُ نَحْنُ لَقَتْنَا فَلَمَّا كَانَ ذَلِكَ حَقَّقَ إِذَا الدَّرَاهِمُ الَّتِي لِلْمُوسَتِينَ
 اللَّتَيْنِ هُمَا مِثَالُ لِنَفْسِ الْجَسَدِ الَّتِي لَهَا الرَّبُّ قَدَارُ حُسْنِ
 أَدْرَمٍ حَتَّى دَحْشُ حَوَائِشُ إِلَى طَبْعِهَا الْكُلُّ وَالصَّانِدُ الَّتِي لَهَا هَا
 بَطْرُوتْ

يَطْرُقُ فِي الْبَحْرِ فِي بَشْرِي لِأَجْلِ الْبَحْرِ هُوَ الْعَالَمُ وَلَكُونَتْ
 الَّتِي لَصَعْدَهُ هُوَ شَعْبُ الْأُمَمِ الَّتِي لَصَعْدَهُ التَّلَامِيذُ مَعَهُ يَكُونُ الْمَعْرِفَةُ
 بِاللَّهِ فِي لَكُونَتْ هُوَ الْأَمَانَةُ بِالْمَسِيحِ الَّتِي فِي فَمِ الشَّعْبِ الَّذِينَ
 آمَنُوا بِأَسْمِهِ وَيَرْجُونَ قِيَامَتَهُ وَاللَّهُ هُوَ الْجَسَدُ الرَّبُّ وَدَمُهُ الرَّبُّ
 اللَّذَانِ أَعْطَاهُمَا بَدَنًا لِأَنَّهُ قَالَ أَعْطَيْتُ عَنْكَ وَعَنْكَ لَيْفِي أَنْ يَأْرَأَ
 أَعْطَا جَسَدَهُ لِلصَّلْبِ وَدَمَهُ لِحَمْرٍ وَعَنَّا وَقَوْلُهُ عَنْكَ وَعَنْكَ لَيْفِي شَعْبُ
 الْيَهُودِ وَالْيُونَانِيِّينَ لِأَنَّ الرَّبَّ صَلَبَ عَنْ الْيَهُودِ وَالْأُمَمِ وَالْعَبِيدِ
 وَالْأَحْرَارِ وَالْأَغْنِيَاءِ وَالْفُقَرَاءِ وَعَنْ كُلِّ نَفْسٍ وَجَسَدٍ مِنْ نَسْلِ أَدَمٍ وَالْمَجْدَةِ

قِصَّةُ الْحَمْحَمِ الثَّانِي وَالْثَلَاثُونَ

وَفِي تِلْكَ السَّاعَةِ جَاءَ التَّلَامِيذُ إِلَى يَسُوعَ وَقَالُوا لَهُمْ هُوَ تَرَى الْعَظِيمَ
 فِي مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ قَدْ عَاطَا طُغْلًا وَأَقَامَهُ فِي وَسْطِهِمْ وَقَالَ لِكُلِّ
 أَقُولُ لَكُمْ أَنْ تَرْجِعُوا وَتَكُونُوا مِثْلَ الصَّبِيَّانِ لَا تَدْخُلُوا مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ
 وَمَنْ أَرْضَعَ مِثْلَ هَذَا الصَّبِيِّ هَذَا هُوَ الْعَظِيمُ فِي مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ وَمَنْ
 يُقْبِلُ إِلَيْهِ صَبِيًّا مِثْلَ هَذَا بِاسْمِي فَقَدْ قَبِلَنِي وَمَنْ شَكَلَ أَحَدَهُ لَوَاحِي
 الصَّغَارِ الْمُؤْمِنِينَ فِي فُحْشٍ لَهُ إِنْ بَيَّاقَ حَجَرٍ الرَّحَى فِي عُنُقِهِ وَيُفَرِّقُ
 فِي الْبَحْرِ لَكِنْ الْوَيْلُ لِلْعَالَمِ مِنْ لَشْكُوكِ الْبَدَانِ تَكُونُ الْوَيْلُ لِلْكَثَاثِينَ
 اَشْكُوكِ

الذي يأتي منه الشك ان شكك يدك وحرك فاقطعها
والتيها عنك فخير لك ان تدخل الحياه وانت اعرج او اعسر من ان
يكون لك يدان او جلال وتلقى في نار الابد وان شكك عنك
فاقطعها والتيها عنك فخير لك ان تدخل الحياه وانت بعي ولحد
من ان يكون لك عيان وتلقى في نار جهنم انظروا ايضا لا تحضروا
لحد هؤلاء الضار واقول لكم ان ملائكتهم في السموات كل حين ينظرون
وجه ابي الذي في السموات وكميات ابن الانسان الا يطلب
ويخلص من كل ظالم والسبح لله دائما التفسير قد سبق
الايضاح بي ان لتلاميذ يسوعوا اليكم قبل قيامه الشد
ولما شاهدوا الكرامه ليظهر من مروه بعد اخري وقوله له طوباك يا سمعا
ابن يونا وانا بعد ذلك املك انت الصخر وعلىك ابني يبعثني
ولعظيمك ما تتبع ملكوت السموات وسأواه بنفسه في ناديت
اجريه وقد كان في التلاميذ هو كرامه مثل يعقوب بن زبدي
وعنه عزضهم الافكار العالميه وما من بعضهم بعض في هذا
المنازل حيا من الصريح بذلك ركوامثله وسأوه تالين من هو
تري اعظم في ملكوت السموات وكان هذا منهم لا فخر لم يملوا بالحكمه
ودا انهم بعد حلول الروح القدس عليهم صاروا جميعه هم كنفوس ولحد

وقوله

وقد يوابطون عليهم وأعتروا له بالريشه وكانت عادت السيد
جاريه لمن يشاء ان يحبه يحسب ضميره لا يحسب لفظه فصرق قوله
الي اجابتموه بالتعليم والموعظه من اجل ان غرضه كان يقتضي منفعتهم
بذلك فقال ان كنتم مستأجرين في ملكوت السموات وكل واحد منكم
مهم ان يفوق صاحبه فيهما فيكثر تواضعه هاهنا ولا يكون فيه
مشاجره ولا حسد ولا يرضى على ان يكرامات ويصير مثل
الصبي في سلامته صلاحه وسلاجه نيته ومن هذا يتبين لكم ان
الذين يكثر تواضعهم هاهنا قول الذي ترفع هناك ويصير عظيم
جلا لا لانه لم يريد بقوله مثل الصبيان بان يكونوا جهال بل اراد
ان يكون تواضعهم عن علم لا عن جهل لان اقتنا حزن الفضائل مثل
التواضع والودع والتكبر والهدوء وضبط اللسان والسداجه وما
اشبه ذلك اذ لم يكن عن علم ومعرفة ولا يدان شيئا فافضله لان
اقتنا الفضيله مع العلم والمعرفة هذا هو الذي لا يشاء اليه ولا انتفا
به وقوله ومن قبل اليه صبييا مثل هذا يا تمي فقد قبلني اراد بهذا
القول ان الذي قد بلغ امره في التواضع الى هذا الحد عن علم ومعرفة
حتى يكون مثل هذا الصبي فقد استتمها امره في الفضيله الجيده

ع

فالذي يكرم ذلك الانسان الذي يسيرته ليست اعتد بذلك
 الاكرام له بل اعتد به في خاصه وكما اني شيت اكرامه في خاصه هكذا لما ياتي
 اليه من الحوان هو ياتي في خاصه واما هذا الصبي الذي اقامه السيد في
 وسط التلاميذ كان اسمه اغناطيوس وهو الذي كان يصير كاهن انطاكية
 وقوله من شكل احد هؤلاء الصغار من المؤمنين في حق له ان يعلق حجر
 الرحا في عنقه ويفرق في البحر اراد بهذا القول ان يظهر تهديك
 ووعيدك للذين يغترون على المنتصرين في الفضيله بالنواضع والمثاله
 وكلما راوينا ان فضيلتهم تزداد استغفارهم بغيره فاراد ان يمنع
 من هذا وينهي عنه بالوعيد والتهديد لان الذين قد اذنا قولوا ودخلوا
 بارادتهم الى ان يلقوا في فضايل المسيح وسننه الى سلامته صدورهم
 ولبن مطعما فقد وجب على من يكبرهم ويشتمهم ان يلدوا لعذاب لان
 قولنا ليس تواضعهم تواضعا مرسلا بل انهم توخوا من ذلك من اجل ان
 الله وحفظوا صايه وهذا ينزل الى الذي شتم ويضربهم لعذاب
 الدائم وكما انه بالناس لا يمكن ان يكون انسان قد عاقت في عنقه
 رجحوا في البحر ان ينجوا من الموت هكذا لا يمكن ان يستغف
 ببسبيل الله ان ينجوا من العذاب لا سيما من شتم اليهم او يضطهدهم
 الويل

الويل للعالم من الشاؤك فقد تجلب نفعهم ان السيد ما انقضا قوله في
 الذين ياتون في اهل الفضيله جعل قوله بعد ذلك لكافه البشر وقوله
 الويل للعالم من الشاؤك اي ان الذنوب الذي تجبها الناس للذين
 شاتموا العمل في طلب الاخيره واليخ فيها فهي كثيره ومختلفه انواعها
 فمنها الذنوب تحصل للصابرين عليها اعظم الاجر والثواب مثل المستمر
 واللعن والحوان والاضراب الجسدي والاديه في الما ومنها ذنوب
 يحصل منها الخسران لتام والمضرة الكامله مثل التعليم الذي الذي
 تخرج المؤمنين الى الايمان الغريبه ومثل الكلام الذي الذي يسوق
 المؤمنين الى السيره الخبيثه كما قال الرسول ان الكلام الذي
 يفسد القلوب النقيه من هذا وانما هي شتم فظن بذلك المعلم الذي
 لا يدرك فاعطى الويل للذين يشككون للناس واكثر اعطاه
 للذين يكونون سببا للآخرين في الضلاله والسائل ان يقول ان السيد
 يقول لا بد ان تكون الشاؤك فاذا كانت الشاؤك كبد منها اضطرابه
 فلا دايه على الفاعلين لها وان اعطاه الويل لهم ظلمة فيقال ان
 السيد يقول ان تكون من الاضطراب ان الله يفعلها لكن يعلم بان
 الناس منهم من يسعي في طلب الحق ومتي حصل له ثبت فيه ونصر
 من يعلم الحق ويضارده في طلب هواه ومنهم من يكون شيعيه في

بما طلب الآخرة وتحراز الفضيلة ومنهم من يكون غايته شغفه وغايته طلبه
في أفعال الرذائل وإذا كان الأمر على هذا النظم المتتابع في الإيمان والأعمال
فالشكوك إذا ظهرت ولابد منها فربما هنا ما لا بد أن يكون لشكوك لأنه
علمكم بما قبل أن تكون فقطع عليها هذا النوع وذاك أن علم العالم بالشي
ليس هو سببا لفعله لأنه ليس يمكنه أن يكون إنسان مجرد علمه بالنار أنها تحرق
فيضطره الأمر أن يكون علمه هو السبب في الإحراق فيفسد عبادك وقوله
أن شككتك بيدك ورجلك فاقطعتهما أو القهما عنك في غير ذلك أن تدخل
لحياء وانت اعرج أو اعسر من أن يكون لك يدان أو جان وتلقي في نار
الآبد وأن شككتك عنك فاقطعها أو القها عنك في غير ذلك أن تدخل
لحياء ليس واحد من أن يكون لك عينان وتلقي في نار جهنم معلوم أن جماعت
المؤمنين كل واحد واحد كما قال الكتاب وكل واحد منهم هو عضو من ذلك
الجسد والمعاني في ذلك الله إذا كان إنسان يكون لك منه سبب ضرورة
أي أن يكون يصدك عن الحق فلو كان أباك وأخاك أو ولدك وصديقك
فلا تتر له ولا ترجه بل تقطعه وتلقيه خارجا عنك وتفكر أن اعتراه عن
ملكوت السموات خير من أن يودي معه آخرين إلى جهنم ومنه الوصول إلى
لحياء هو التمسك بالحق والانصاع ولا تصان الباري أي أن تكون
تكون متمسكا بالحق ومصلحا لباريك وانت خال من الأب والأخ والولد
والصديق

والصديق خير لك من أن تكون متمسكا بالباطل ومباعدا عن الله والكتاب وأخ
وولد وصديق يسوقونك إلى نار جهنم وقوله أنظروا أيضا لاختراع السيد
هؤلاء الصغار وأقول لكم إن ولا يكتسبهم في السموات كل حين يرون وجه أبي
الذي في السموات المعاني في ذلك أن السيد لما حث على نفي الأشرار
الذين يقصدون بنا العدو وعن منهم الحق وعن التمسك بالإيمان
الصحيح أي يديرون أن يدخلوا في سمير الرذائل لقطع بعد هذا الوصيا
بأن يكون إذا رأينا قوما قد ارتدوا وقوا في الخطايا والدنوب لا ننفر
قلوبنا منهم ونبتغيهم ونكون لهم عزات الديارين والمفتخرين عليهم والمتحسين
بهم من أجل نوحهم أو نكون أيضا لهم لأجده ولا نشقة ولا اهتمام برجوعهم
وأقوالهم إلى الخير بل يكون نزيههم ونزعتهم ونسبي في خلاصهم وفي
استصلاحهم ونحوهم ما هو فيه إلى ما نحن عليه ونبت في نوسنا أن لهم
ملايكه قد وكلوا بحراستهم من صباهم لا ينفصلون عن صباهم ماداموا
في طريق السلامة والبر في حاد وأعنيها وتسلوا غيرها وكلت حرس
الشياطين الذين قد صاروا تحت طاعتهم وتركهم للملايكه كرها من أجل
تحريفهم عن طريق البر والسلامة واتباعهم صدها ومن أجل حجة الملايكه
للجنس البشري يسلمون الله في كل حين أن ينقلهم عن عثرهم ويعضدهم
بمؤنته وعنايته علمهم عن خطاياهم وإن لا يصرف وجهه عنهم

ليلا يحل لهم الاستقام وعظم القصاص ودليل ذلك قول استوب عن الملاك
 الذي روى به وكون الجماعة من اجل بطرث لما اخرجهم الملاك لعله هو
 ملاكه وقوله مرات ان الانسان لا يطلب ويخلص من كان ظالما اراد
 بهذا ان يوكدها هنا في ان تظهر صا احويل على رجوع الخطاة ويند
 غايته اجسادنا ونعرفنا انه قد بقي ان ينشئه بعيد في شكل وليس له داعي
 الا في خلاص البشر الذين هلكوا بالخطية واستعبدتم اظلاله للشياطين
 ولانه قد اتي من اجل خلاصهم وحياتهم من غير ان يفسد
 من جهة ذلك لا يجرى من التلاميذ من يفسد من جهة ذلك لا يجرى
 السموات قال فلما رأت اراد ان يطلع منهم الا فتخاروا بالمجد الكارث
 والكبرياء والمكر فذلك العام في وسطهم ذلك لطفه ليعلمهم هذا ان السر
 تكونوا اطفالا مثل قديلي المعرفة بالشر لا تدخلوا في السموات الذي
 يقبل طفل مثل هذا باسمي فليقبل لان كل انسان طليل الشر مثل الطفل
 ويقبله ولما باشر المسيح فلم يسمع يقبل والحزن الذي كره هو الشر
 وقالت الحيا وموارث الكلام الذي يستهان به ليجال في الامسار
 الاميار اهل الفضيلة الذين هم صبيان في الشر لا غمر لم يطلبوا
 مجدها العالم ولا رايسته ولا شيئا من الامور الذي تضادوا الفضائل
 يكون يفسد من اجل قوله الويل للعالم من اشكوك لا بد ان يكون اشكوك
 الويل

٣٣

الويل للانسان الذي ياتي منه الشكوك قال اشكوك التي ذكرها الشايد هو
 الا فتري والتجديف وشهادت الزور التي قالها اليهود على المخلص
 يسوع المسيح لا بد ان تأتي الشكوك الشايد التي ذكرناها فاما الويل للانسان
 الذي يكون سبب ذلك على يده مجورا لا يتخبط في ذلك ان السبب لليهود
 حتى قاموا على المخلص بشهادت الزور وموارث الشك لان الكبر كان معه
 وكان يبرق ما يحصل فيه وكذلك يجدر ليرى عرج ذلك لراي الغاشية
 وفسر من اجل قوله ان شككتك بيدك او رجلك فاقطعها او اقيتها عنك
 قال يعني بذلك الشرقة والفعل الشيطاني فان ذلك لم يقبل واما له فوسر
 من اجل قوله ان شككتك عينك فاقطعها او اقيتها عنك قال يعني
 بذلك محبة بعضه التي تسلط على الانسان وعمله ارادته الرديه ولكن
 ما تردوا بولصدهم هو لا يصفوا واقول الام ان ملاكيتهم في السموات
 كل حين ينظرون وجه ابي الذي في السموات ويخافون الله يفسر
 فان معنى المتواضعين لقابول لا يفسر وورد في جهنم وافكارهم
 ونشتم افكارهم معشر شوا الادب في قول من اجل الذين
 اما نتصر جديد وهم غير عاقلين بقوت الكتب ان لا ترضوهم ولا تخشعهم
 لقلت معرفتهم لانهم كل حين ملاكيتهم تحفظهم وكسبهم من الشر
 وهم كل حين ينظرون وجه ابي الذي في السموات والمجد لله دائما

٣٤

قصة الأصحاب التاسع والثلاثون

مادا تظنون اذا كان لاشنان مائة خروف وظل واحد منهما لا يترتك
التسعة والتسعين في الجبل ونمضي يطلب لظان فيكون اذا وجده
الحق اقول لكم انه يفرح به اكثر من التسعة والتسعين الذي لم تخطئ
هكذا ليس مشيت ابي الذي في السموات ان يهلك واحدا من هؤلاء الصغار
ان لخطا عليك اخوك فاذهب واعتبه وحدها فان سمع منك فقد
ربحت اخاك وان لم يسمع منك فخذ معك واحدا واثنين لان من فسر
شاهدين او ثلثة تقوم كل كلمة فان لم يسمع منهم فقل للبيعة فان لم
يسمع من البيعة فليكن عندك كوثي او عشائر الحق اقول لكم ان كلما ربطتموه
على الارض يكون مربوطا في السموات وما حلتموه على الارض يكون
محلول في السماء احث اقول لكم ايضا اذا اتفق اشنان منكم على الارض
في كل شيء يظلمانه يكون لهم ابي الذي في السموات الحق اقول لكم
ايضا اذا اتفق اشنان منكم وحيثما اجتمع اشنان منكم في كل عمل سلاسله
او تلاكسه يا نومي فانا اكون هناك في وسطكم حينئذ يبطرون وقال له
يا رب اذ الخطي الي ابي ابيكم مرة اغفر له الي سبع مرات فقال له
يسوع ليس اقول لك الي سبع مرات بل الي سبعين مرة سبع مرات والمجد لله
التعظيم بحبان نعم ان السيد ضرب هذا المثل عن الجوف والظال
لانه

لانه اراد بذلك ان يؤكد القول في رحمة المجرم واستغفاره الي
ان يهلكوا طريقا لسلامة ويكذلكون يحكم اذ اتجاؤا والمغفرة في ذنوبهم
وجعل ايضا اللسان فتحة للتوبة فانه اذا وضع عن خطاه يفرح الله به اكثر
من الصديقين الذين لم يخطئوا ولا عاوا ذنوبا وقبل هذه الصنع حدودا
لما يظري من الناس من المشاجرة والشكوك وبين الغاية التي ان بلغت
ذنوبهم وجعلهم العقاب فقال ان لخطا اليك اخوك فاذهب واعتبه
وحدها فان سمع منك فقد ربحت اخاك ان اراد بهذا القول اعلمنا ان
من الناس يصعب عليه العتاب قدام الناس ويريد يعاقبه في خلوة قال
ان كان في هذا الطائفة فهو يسمع منك وتكون قد ربحت اخاك وان
لم يسمع منك فخذ معك واحدا واثنين لان من فسر شاهدين او ثلثة
تقوم كل كلمة اراد ايضا بهذا القول ان من الناس من يشتبهى السوء اليه
وتقليد المن الذين يمسك شره عنهم اذ اقصد ان كان من هذه
الطائفة فهو يسمع منهم فتكون قد بلغت مرادك في اخيك قال
فان لم يسمع منهم فقل للبيعة اراد بهذا القول ان من الناس من يسمع
العدل من الروس والمشايع من اجل السلطان الذي لهم من الله وقد
فرض لهم الحكم والحول الربط فبطاعته الله وخشيته منه يرجع عن
خطاه ويصعد عن شره فانه ان لم يسمع للذين قد جعل لهم السلطان

في كل الربط الذي قد امرنا ببطاعتهم وقبول أمرهم ونسبهم وان خاف
سقطهم ونسبهم فخذ انتبه منك كما تبعد عدا البيعة وكذلك ان لم
يقنع بان تستعمل لهذا الامور التي فيها جاتوة المذنبين حرم
ولجئنا ما امكنك لتعد في اصلاحهم وادبر التوبة الى البيعة التي
جلعة الله فاهم ان يرعوا الى الحق لك ولا يسمعون بصاعه وتبستوا
على شروهم قد غروا انفسهم من بيعة الله كفرة الوثنيين والمشارين
وقوله ما يظنوه على الاثر يكون ربوطا في السماء اراد بهذا القول ان
يوكل حال في امر الذين رجوا عن شروهم بالتوبة وعن الذين تبستوا
في ذنوبهم ولم يرجعوا الى الله الذي قد استلحقهم وقبله توبته في صيرتهم
شريكا في بيعة الله المقدسة فيقبله الله في السماء ويصيره وانما معكم
في ملكوته السماوية واما الذي علمتم عنه بكم من عصيانه وشروهم ولم
يقبل نصيحتكم وتبست على خطاه وابعده عنكم لما لفته بغير تكلم فلا
تظنوا ان ابعادكم له فهو عقابه فقط بل يكون له من الله العقاب الشديد
ويرفضه ويبعده من سماه الى قعر الجحيم موضع النواح والبكاء المسر
الليمر وقوله حيثما اجتمع انسان او ثلثه باسمي فانا اكون هناك في
ويستعملون اراد بهذا القول ان الذين يجتمعون من المؤمنين بحجة وود
في ايمانهم رضاء الله فان قوامهم تسلم من قوتي فيما يفعلونه وتصير
قواهم

قواهم وقوتي شيئا ولحد من اجل اني محتمق ما يكون منهم واما قول بطرس
له بان يجده في الصفح جلا لعدو اوقال له قد ينبغي ان تصفع لمن ياتي
اليك عدد اكثر وارا هذا العدد الكثير ان يقطع منه عاكف
لحكمنا صوما اي ان الخا كما اذا خطي عليك ويعود اليك لتائب
فقد وجب عليك ان تقبله وتغفر له بنيت خالصه وقد بين هذا المعنا
في شهادت لوقا قالا ان الخطايا اليك اخوك سبع مرات في اليوم ويقول لنا
تائب فاعف له قيل من اجل ماية خروف قال يجمع قوت
الملايكه الذين في السموات والناس القاطنين على الارض يسيحهم ماية
خروف فالوليد الذي فاعف وضل هو جسد مكره الذي ضل عبادت
الوثان وترك التسعة والتسعين على الجبل الذي هو الموضع العاك
واقي الى العالم في طلب الضال الذي هو الخوف الظال فلما وجد حمله على
منكبها الذي هو تحمدا الكلمة وفرح به اكثر من التسعة والتسعين الذين لم
يظلو هكذا في مشيتي الي الذي في السموات لا يظن والحد من هو
الصغار اعني من جماعة الخطاه اخر صغار ولكن لاجل المشية ترك كل
ولحد غشيه وارا انه يحسن لنا ان لا يفسر قول من اجل اذا ما
لخطايا اليك اخوك فاذبه واعتبه وحدها قال ان يولص قول ان
الذين يحطون بكم يحضرت لكل واعني هذا الله ولجب على المؤمنين

ان يهلكوا الخطاه وياقي الشعب ينظرونهم ويلزمون الوقتان ليكون
فيهم الرب ويلزمون الوقتان ليكون فيهم الرب والخوف وقال لها هنا
الابن اخاه لكن في الناس من يجعل التلبكات بين يدي الجماعة
فقال مثل طبيب مشفق يداوي النفس والجسد جميعا اذ يبرئ كل
واحد بعد صدقيه فيما بينهما اذا اخطأ اليه فاذا اقام مدين
على فعله ولا يندب ولا يقتل العدل من صاحبه فليأخذ معه واحد او
اثنين من غير شاهدين او ثلاثة تقوم كل كلمة فان لم يسمع منهم
فيقتل للبيعة يعني بذلك تقدمه في وسط الكل لكيما من جهة تلبكاتهم
يستقيم ويرجع الى الواجب قال فان لم يقبل ويعود الى الواجب فيكون
عندك مثل وثني وعشار الخوف اقول لكم ان كل من يطعموا على الارض يكون
مربوطا في السماء لان من لم يسمع من الاثنين والاربعين الثلاثة ولم يستقيم
من تلبكات الجماعة عند ذلك معلم البيعة ينتهره حتى يستقيم من تلبكات
الجماعة عند ذلك فان لم يستقيم يكون مربوطا في السموات ولا يسمان
استهزاء معلم البيعة اقول لكم ايضا انه اذا اتفق اثنان منكم على الارض
في كل شيء يطلبانه يكون لهم من قبل ابي الذي في السموات يوحنا فم
الذي في السموات قال لا يشان لك ان يعينهما اما النفس والجسد

اذا اتفقا جميعا في طاعة الله وعمل الفضائل كلما يشال يكون لهما من
ابي الذي في السموات قير لم يفر لاشان فما الحقيقة والعهد الجديد
وكذلك قال حينما اجتمع اثنان او ثلاثة باسمي فانا اكون هناك في وسطهم
يعني بذلك الثامون والانياس والهجيل الذي في البيعة والاشكال
والامانة والفضيلة التي تكون في النفس والجسد والروح هذا الانسان
كلما يشال يعطاه من الله وهذا يكون فاعل مشيئة الله والله يحل فيه جسد
جا اليه بطرس وقال له يا رب ابلدا الخطا الي ابي كرمه اغفر له الي سبع
مرات يوحنا فم لذلك يفتقر لان كل من هو له في بيعة الله الرب
على ما يتبع ملكوت السموات ليحل ويربط فذلك ان يشال الرب من اجل
الحاكي الذي يدخل في الايمان ويقدمه ليجل يفتقر لثلاثين
الذي قيل عنه ان من يقتل قايين فقد اشدنوا سبع ظلمات سبعين في
سبعة مثلكم فم هذا جعلت اللعنة المكتوبة في قايين من اجل سبع
ظلمات وفي لامك سبعين السبع لان الرب اتى وشرحت قايين
وغفرها بالمعمودية الميلاد الجديد مثل لامك يعني ان كل انسان قاتل مثل
قايين ولا يمكن ان اتوا اليك بامانة صحيحة اقبلهم وعدهم واغفر لهم من كل
قبل فم الاصحح الاربعون ولهذا تشبه ملكوت

السَّمَوَاتِ أَتَشَاءُ مَلَكًا أَرَادَ أَنْ يَجَاسِبَ عَبْدَهُ فَلَمَّا أَبْدَأَ بِمَا شَبَّهَهُمْ
قَدَّمَ إِلَيْهِ غَيْرَ عَلَيْهِ جَمْلَةً وَزَيَّنَتْ وَلَمْ يَكُنْ لَهُ مَا يُؤْتِي فِي أَمْرِ رَبِّهِ أَنْ
يَسَاعِدَ أَمْرًا وَيُؤَيِّدَهُ وَكَلَّمَاهُ حَتَّى بَوَّيْتُ خُزْدَ ذَلِكَ الْعَبْدِ سَجْدًا ثَابِتًا لَا
يُارِبُ مَعْلُومًا وَأَنَا أَوْفَى كُلِّكَ فَتَحَسَّنْ شَيْدَكَ ذَلِكَ الْعَبْدُ تَوَكَّلْ
وَتَرَكْ لَهُ كُلَّ أَعْلِيَّةٍ فَخَرَجَ ذَلِكَ الْعَبْدُ فَوَجَدَ عَبْدًا لِحَدَّامٍ أَحْبَابَ
الْعَبِيدِ كَانَ لَهُ عَلَيْهِ مَائَةٌ دِينَارٍ فَامْتَكَهُ وَخَفَّهَ وَقَالَ لَهُ اعْطِينِي بِمَا
عَلَيْكَ فَخَزَدَ ذَلِكَ الْعَبْدُ عَلَى رِجْلَيْهِ وَطَلَبَ إِلَيْهِ قَائِلًا زِلْ رَأْسِي عَلَى يَدَيَّ
اعْطِيكَ مَا لَكَ فَأَبَا وَمَعْنَى تَرَكْهُ فِي التَّجَرُّعِ حَتَّى يُوَفِّيَ جَمِيعَ مَا لَهُ فَلَمَّا
رَأَى أَحْبَابَهُ الْعَبِيدَ مَا كَانَ فَوَافُوا وَاعْلَمُوا أَسْتَيْدَهُمْ بِكُلِّ مَا كَانَ حَبِيبًا
دَعَاهُ شَيْدَهُ وَقَالَ لَهُ أَيُّهَا الْعَبْدُ الشَّرِيفُ كَمَا كَانَ عَلَيْكَ تَرَكْتَهُ لَكَ لَأَنْكَ
ثُمَّ لَتَنِي مَا كَانَ يَنْبَغِي أَنْ تَحْضُرَ صَاحِبَكَ ذَلِكَ الْعَبْدُ كَأَحْتِ وَغَضِبَ
شَيْدَهُ وَدَفَعَهُ إِلَى الْمَعْدِينِ حَتَّى يُوَفِّيَ جَمِيعَ مَا عَلَيْهِ هَكَذَا إِنِّي أَلْهَيْتُ بَصِيغَ
بِكُمْ أَنْ تَرْتَفِعُوا لِأَخَوَاتِكُمْ مِنْ كُلِّ قَلْبٍ وَمَا أَجْمَلُ يَسُوعَ هَذَا الْكَلَامُ انْتَقَلَ
مِنْ جَلِيلٍ وَجَاءَ إِلَى خُومٍ هُوَ دَاوُدُ وَغَيْرُ الْأَرْدَنِ فَبَقِيَ جَمْعٌ كَثِيرٌ مِنْ أَهْلِ هُنَاكَ
الْمُتَغَيِّرِ الْمَغْتَمِرِ الَّذِينَ كَانُوا يَدِينُونَ أَنْ يَسْمَعُوا يَسْلُؤُونَ إِلَى اللَّهِ
لَمْ يَكُنْ لَهُمْ رَجَاءٌ مَغْفِرَةٍ عَلَى مَقْتَفَى سُنَّتِهِمْ وَدَاكِلَ الَّذِي كَانَ يَذْنِبُ أَنْ تَذَمَّ
أَوَّلًا نَسِيمٌ يَكُلُّهُ لَوْ قَتَلَهُ بِأَحْصَاءِ لَهْ وَيُقَابِلُ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ عِقَابَ يَلْدَحْدَهُ
ادكان

ادكان المذنب رَأْيَاهُ أَمِيرٌ رَأْيِي بِهِ وَهَكَذَا كُنْتُ أَطْلُقُ تَجَرُّعِي فِي أَمْرِ
الْقَضَاءِ لَا تَحْزَنُ كَأَنْوَافٍ يَقْصُونَ بَعْضُهُمْ مِنْ بَعْضٍ قِصَاصًا لَيْسَ بِهِ كَالْعَيْنِ
بِالْعَيْنِ وَالشَّنَّ بِالشَّنِّ وَمَا أَشْبَهَ ذَلِكَ وَلِهَذَا جَعَلَ إِلَهُي يَدَ الْعَبْدِ الْتَقْلًا
هَذَا الْمَثَلُ وَيَعْرِضُ لِي عَرَفُوا أَنَّ الَّذِي يَنْبَغِي فَعَلَهُ أَنْ يَكُونَ الَّذِي وَقَعَ
وَأَدْنَى إِلَى اللَّهِ يَنْدَرُ وَيُتَوَكَّلُ وَيَرْجُو أَنَّ اللَّهَ الْمَغْفِرَ بَنِيخَاصَةً
فَإِنَّ اللَّهَ يَقْبَلُ تَوْبَتَهُ وَيَغْفِرُ ذُنُوبَهُ مَا فَعَلَ ذَلِكَ الْعَبْدُ عِنْدَ مَا خَلَّ
سُجْدًا مَعْطَا فَرَحَهُ وَتَطَوَّلَ عَلَيْهِ وَتَرَكْ لَهُ كُلَّ مَا كَانَ لَهُ عَلَيْهِ وَهَكَذَا
الَّذِي كُنْتُ إِلَيْهِ أَخُوهُ فَيَحْمَدُ عَلَيْهِ مِنْ أَشَانَةٍ وَلَا تَأْتَاهُ مُسْتَفْعِرًا مِنْهُ لَا
يَقْبَلُهُ بِالضَّعْفِ وَالْفَقْرِ هَذَا يَحْتَقِلُ اللَّهُ عَلَيْهِ الْحِسَابَ حَقِيقًا صَاحِلًا
وَيَسْتَعْمِلُ مِنْهُ عَلَى قَدْرِ مَا أَنْتَقَامَ مِنْهُ مَا فَعَلَ شَيْدُ الْعَبْدِ بِهِ خَيْرٌ عِنْدِي
عَلَّيْكَ لَوْ قَبِلْتَهُ وَشَجَّنَهُ لَهُ عَلَى مَا كَانَ عَلَيْهِ فَيَجْعَلُ عَلَيَّ أَحْسَنَ أَنْ تَسْعَظَ
وَلَعَفُ ذُنُوبَ بَعْضًا لِبَعْضٍ وَحَبِيبٌ يَطْلُبُ مِنَ اللَّهِ الْفَقْرَ بِدَلَالَةٍ
يَغْفِرُ لَنَا فَمَا جَمَلَتْ لَوْ زَيَّنَتْ لَتِي كَانَتْ عَلَيَّ الْعَبْدُ فَيَغْفِرُ هَذَا مَا
يَجِبُ لِلَّهِ عَلَى الْإِنْسَانِ لِأَنَّهُ خَالِقُهُ وَمُصَدِّقُهُ وَمُصَوِّرُهُ وَحَبِيبُهُ
وَمُخْرِجُهُ مِنَ الْعَدَمِ إِلَى الوجودِ بِالصَّوَرَةِ الْحَسَنَةِ الْبَشِيَّةِ وَالنَّفْسِ
الْعَاقِلَةِ النَّاظِقَةِ الَّتِي فِي صَوْنَتِ اللَّهِ تَعَالَى ذَكَرَهُ وَأَعْطَاهُ الْعِلْمَ
وَالْحِكْمَةَ وَجَعَلَهُ مَلَكًا عَلَى الْأَرْضِ عَلَى جَمِيعِ نَبَاتِهَا وَحَيَوَاتِهَا وَجَدَاهَا مَا

وجعل لهم من ذلك أطعمه وأشربه مختلفة الطمور والاشواع
وملابس متباينة الاجناس والاصناف وجعل الشمس والقمر
وجميع الكواكب الضو لا يعطون من خدمته لئلا يظنوا
وتوض له امره واختياره وارادته فيما امره ونهاه عنه فما الذي
يجب لله علينا ليس هو الذي يجب ليعضاً على بعضه لئلا
الذي قد يكون ليعضاً على بعضه لئلا فيه من اجل شركة الطيب
البشرية التي نحن جميعاً فيها واحد ان نحمله ونضع عنه ونجاء
ويقابل كل واحد منا قريبه بالاكرام والمودة ولا يكون كمثل ذلك
العبد الذي خنق رفيقه وشجده من اجل ما له عليه فيزل الله علينا
جزءه ويرفع رحته عنا واما الذي لله علينا من نعمه السابعة فانسأ
ان عددناها لم نقل ان نحصى والمطلوب منا عني ان نحسن
في عبادته ونحبه والتمس بغير اية وان نكون اذ وقعنا في الذنوب
نرجع على طاعتنا بالخضوع والتوبة كما فعل ذلك العبد عندما اتى الي
شبهه دليلاً خاضعاً وطلب رأفته فقبلنا رحته وبغير لنا كما فعل
سيد العبد ميمون الذي وهب له كما كان له عليه وهذا يدل على كبريت
الفضل الذي لله وكرمه وجبروته وان الخاطي ان نوري نبيه
فقط ان يتوب ويميل الي الغفلة وهب الله له قبل كل شيء مغفرت
خطاه

خطاياها السابعة واذا كنا نحن اذ ننبأ الى الله معاً استبقه علينا من
نعمه قد نسال من قبله المغفرة بغير عنا ولا كذا اذا نحن دنونا من
التوبة وتباعدنا من لبيات فكر الحوي يجب علينا نحن ان نغفر ليعضاً
ليعضاً لا نقبل اعتذاره ولا الذين سوا علينا واضربنا وقد علمنا يقيناً
انا ان لم نفعل هذا لم نسل نحن ايضا من الله غفران ذنوبنا ونحاف من
الذنب فيمن اجل العبد الذي كان عليه اوزنات كثيرة هو
اشاخي فاني اقول اوزن او عابدون او واحد من الخطاة هذا اذا هو
دخل في الايمان واعتمد بغيره الله كل خطية اخطأها بالمعصية
التي هي الميلا لجديد بعد المعصية ان يرحم صاحبه المخلوق
مثله او جازاه شريفاً او يبيع بغيره او يحقد عليه بالشريعة
بغير اخيه من كل قبله ان الله لا يغفر له ذنوبه بل ينشأ عليه كما قد
مسك على اخيه والعبد الذين هم مثله يعني الملائكة الذين هم خزانة
عليه لآدم الانسان الذي لا اوجه وهو يقرن الي الرب جميع اعمال
البشر خير كان ام شر وكذلك يفض الرب على جميع العبيد السوء
الذين لم يرحوا الحق فهو لاي في يوم الدينونة يسلموا الي العذاب الليم
والخير الي الابدية كما ان الذي في السموات يفعل بكم ان يغفر

كل منكم اخيه وسلجبه من كل قلبه * والشبع لله دليلاً *

فصل الصحيح الحادي والاربعون

فخا اليه الذين يسمون ليعربوه قائلين هل يجوز للانسان ان يطلق امرأته لاجل كل علة فلما جابوا قال لهم اما تقرأون ان الذي خلق في البدء انما خلقهم ذكرا وانثى وقال ليجلدا لكونا انسانا باه وامه ويلصق بامرأته ويكونا كلاهما جسدا واحدا وليس هما اثنين بل جسد واحد وما جمعه الله لا يفترقه الانسان فاما ماذا اوتي موسى ان يعطى كتابا لطلاق ويخلي قال لهم لجل قساوت قلوبكم اذن لكم موسى بتطليق عساكنم واما من الذي يكره هذا واقول لكم ان من يطلق امرأته من غير كسرت زنا فقد جأها الى الزنا ومن تزوج مطلقه فهو زان قال التلاميذ ان كان عنت الرجل مع امرأته هكذا فغير له الايتزوج فقال لهم ما كل احد يقبل هذا الكلام الا الذين قد اعطوا لان خصبانا ولدوا من بطون امهاتهم وخصبانا اخصوهم النائم وخصبانا اخصوا نفوسهم من اجل ملكوت السموات ومن استطاع ان يحتمل فليحتمك حينئذ يقدم اليه صبانا يضع يده عليهم ويصلي عليهم فنصرهم التلاميذ فقال لهم يسوع دعوا للبيان لا تمنعوه من ان

ان

دلالة

ان ياتوا الي لان ملكوت السموات في الذين يكونون مثل هؤلاء وضع يده عليهم ومقي من هناك للتغشيط معا وان لم يكن ثما كانوا يحرمون السيد يصيدك بلفظه ويجعون عليه بما اجمعه كي يظهر ما من جوابه انه لم يخلق القوراة فيشتقوا هذا عليه عند العامة وكان مراده في جوابه من امر الطلاق ان يقول نعم او لا فان قال لهم نعم قالوا له لم قلت قديما انه لا يجوز ذلك وان قال لهم لا قيل له انه رد على موسى الذي قال يا لله ينبغي للرجل ان يعطي امرأته كتاب طلاقا ويصرفها ما جاءهم من غير ان يوحهم على تحريمها ليدل هذا على احتمال محبته صلاحهم واورد لهم الجواب ولم يقول نعم ولا يقل لا وقال لا يجوز ان يكون للانسان الا زوجة واحدة ولا يطلعا وهذا هو طاهر من فعل الله وامره بالافعل فاجابوا وقالوا انثى ولم يخلق ذكرا وانثى واما بالامر فانه قال ليركبا رجل باه وامه ويتصل بامرأته ولم يقل بنسابة وقال يكون كلاهما جسدا واحدا وادانا هكذا نكون نفصالا وقد صاروا بالصحبة الصحيحة واحدا وان كانا في المشاهدة اثنين وانتم قد قرأتم وعلمتم باسم القوراة بفعل الله وامره الذي

الفير هدين واروجهما اجتمعا في هذه الرتبة الان واحدا
لا انسان وقوله ما جمعه الله لا يفترقه الانسان يعني انه كمن يجد
هذا الفعل على الان بالثلاثين وبينهم الناس قبل ان يفرق
بينهما الموت لان هذا التعريف هو الله الذي لم يبينهما من اجل انه
سلط الموت على جنس البشر فلما قام عليهم الحجة من التوراه ولسر
يوجدوا اجرا من هذا استقلوا الى سوال اخر فقالوا له ماذا اوصي
موشي ان يعطي كتاب الطلاق ويخلي فقال لهم ان موثي لم يحل
الطلاق فانه الله بل الله عندهم من ان تقاسم وتعتيركم اوصي
هذا كيلا اذا اجمعتم من اجل ما بقتكم في طلب لشيء ومجدت التوراه
قد بقتكم تحلثت نساكم الاوليات في حياقتهم ومن تزوج غيرهن
ايضا فقد عوركنهن وانكم الى البشر اعظم الهائل فتعدون على
قل نساكم بقتاوت قلوبكم حتي تجدون عددا بانه قد جعل لكم
ان تترقبوا من شيتهم بعد ما قنن فصل شكم بان سوي لم يرض
بهذا من اجل انه الحق بل انه من اجل قلبكم وقساوت قلوبكم فكل هذا
اقام عدو موشي فيما اوصي وقال لهم من البدي لم يكن هذا يعني ان
الله لما خلق ادم لم يخلق له شوي امراه واحده ولو اراد ان يخلق
له عدت نسوة فقد كان يقد علي ذلك معما ان ادم كان احق
بهذا

هذا الامر لاجل عارت الالذنه وانما كانت الاراده ان يكون ذكرا
وانثى ليكون نسله يستشرون هذه النيره وجعل سيدنا بعد هذا
البرهان يضع الفريضة في امر الطلاق فقالوا انا اقول لكم فلتلق
امراته من غير زنا فقد لجاها الى الزنا ومن تزوج مطلقة فقد زنا
اراد بهذا المعنا ان الذي يطلق امراته من غير زنا فبعت الطلاق
جعلها زانية وادعي فارقت بعلها فمن اجل الضرورة نصير الي غيره
والذي تزوج بما يكون زاني من اجل ان النسا لا يصح طلاقهن من
غير عك الزنا فقط فالتزوج والطلاق علي مثل الحال منع فلما
اشكت السيد الذين جاوا لبحروده وتمخو بهن وامر جوا به قال له
تلاميذه ان كانه هكذا علت الرجل مع امراته فخير له ان يتزوج وهذا
معنا قوله ان المراد من حجة الرجل ان يكون هو وامراته كشي واحد
فاد كان اتينيهما في المحبة ويحصل بينهما مثل هذا الملامه فلا يذكرو
في تزوجهما ولا جدلان لا يكون للانسان زوجه وذاك لا خسر
تفكر واي ان امورنا نعرض للنسا مثل الامور الخطره والعلل المستعجب
بروها كما يفرح ذلك ايضا للرجل عما ليس المرفه بها بقليل ورا او
السيد قد منع من المبانيه اصلا الى ان تكون عك الزنا ظاهره
فقط تغير هذا لا يمكن مفارقة الطلاق فلذلك لا اولن اجتنا

التزويج انفع للانسان محبته لجل السيد سلكته ومما لا كمال لجل يقبل هذا
الكلام الا الذين قد اعطوا وعني هذا القول انه ليس من الممكن ان ينفق
الناس كفه على ان يضطروا نفوسهم في مقايمة الشهوة حتى يتروكا التزويج
لان هذا الامر ليس هو عين على كفاية البشر كما تظنون لانه يفرق غيرهم
والذي هو فوق الطبع الفرز في لا يعل اليه لان قليل العدد وهم
الذين يجحدون نفوسهم في مقايمة الشهوة واطراح الدائم ويخلصون
نياتهم في محبة الله اخلاصا صادقا يستلم العناية الالهية والموت
الرائية فتقوى عن مصر وتنهض اجسادهم وتشد حزمهم بقاء ومن غيرهم
ويرفعون عيشتهم بالقلية وقوله ان خصيانا ولدوا من بطون اناهم وخصيانا
اخصوا هم الناس وخصيانا اخصوا نفوسهم من اجل ملكوت السموات قد
بين هذا القول الان هاهنا ان ترك التزويج ليس هو مدح لان
المترشحين المجتهدين في احراز الفضيلة ليس لهم عائق من الامم ملكوت
السموات ولا يظن انظر ان الذي ترك التزويج من اجل هو الدنيا وعوارضها
ولما يجدي له فيها من الضرر يكون عند الله يكون عند من اهل الفضيلة
او يحسب له ذلك بل هذا الظن غير مستقيم وذلك انه لم يترك التزويج
من اجل الملكوت بل خشية ما يفرق له فيه من الانكاد التي تكثر عيشه عليه
فيكون

فيكون قد عان الله في امره واتى فانه وشا لقوم وقا لواما هم لخصيان
الذين ولدوا من بطون اناهم فقال لهم بعض المفسرين ان هولاء
هم الذين طهرهم الله واعفاهم من مقايمة الشهوة لاجتادهم كمثل اشيا
واليما ويوحنا المعمدان وغيرهم من تشبه تيمونه تيسرهم فود عليه جماعة
من العلماء قوا لوان امورهم هولاء لولا كانت علي ما ذكرتم لكانت فضيلة
ناقصه لاهم مجبورين على ما هم عليه واذا كان قد اعفاهم من مقايمة الشهوة
لاجتادهم فليترادوا يستحقون ان يمدوا من اهل الفضيلة وذا كان اهل
الفضيلة انا اقتسوها واخرزوا فاجل الشقة فهو لاي قد جعلت لهم
عزاه من الاجتهاد في احراز الفضيلة والدليل على ان امورهم خافوا او كره
وما قد يتبعوه اليهم ان الكتب تشهد بان هولاء كانوا منفردين عن العالم
ويستكنون في الغناء وقد تركوا عيش هذا الدنيا وشعوا بها ومنهم من
قد صاروا رهبانين مما يليها امتنوا اليه ومنهم من كان يقوت جسمه بنبات
البرية في اوقات معلومة وكان لباسهم من الشعر واللبن من ضرورت
الحول والبرد ولا يحال له انهم بهذا الامور استطاعوا مما عملهم من عناية
الله قدروا على مقايمة الشهوة ومن هاهنا كانت فضيلة غير ناقصة
فمرا احسبوا في جملة الذين اخصوا نفوسهم من اجل ملكوت السموات
ناما الذين عني هم السيد اناهم وخصيان من بطون اناهم فمرا الذين يثل

عليهم الموات في بطون أمتهم فيفسد في اجسامهم عضواً لتنازل الذي
به يتم الترويح كما نرى ذلك لبعض الناس في أي عضو من بقية الأعضاء
وذلك ان منهم من يولد أعماً ومنهم من يولد أعمى ومنهم من يولد مفلجاً ومنهم
من يولد عرجاً فالذين قد فسد فيهم عضواً لتنازل هم الذين عني عمر السيد
انهم خصيان من بطون أمتهم وأراد بذلك ان يسلبهم هذا الفضيلة
وقد نال قوم أيضاً وقالوا ما هم لخصيان الذين خصاهم الناس فقال عمر
بعض المنسرين ان هؤلاء هم الذين تحت طاعة الابرار الروحانيين
الذين منهم من شهوات العالم ومن الهوى قلوبهم ومثيت نفوسهم فرد
عليهم جماعة من العلماء وقالوا ان الذي قد نسبتموه الي هؤلاء غير ثابت
وذلك ان الابرار الروحانيين الذين منهم هؤلاء ويعلمون خصياناً فليس
في قدرتهم ان يجروا الناس على الدخول تحت طاعتهم ولو كان لهم
قدرة على ان يجروا الناس على طاعتهم لكانوا قد راوا أيضاً ان يربوا
عنهم شعراً التي نفوق غيرهم فان قلنا ان الابرار الروحانيين يربونهم
على الله وكثرت فضيلتهم فعدوا على جبر الناس على الطاعة لهم
واما كالتشبه عنهم فقد نفيتم عن ولائكم الطاعة والعفة وصبرهم
بغير فضيلة انهم قد جبروا عليه على ما هم عليه ولا يثبت لهم في نفوسهم تصوراً

من

وله

ومن الذين الواضح انهم هؤلاء الجالون او كقولكم فيهم لان الذين
يدخلون تحت طاعة الابرار الروحانيين لو كبر لهم من نفوسهم نشاطاً
إلى الأعمال المرضية لله بنيتهم له ورجا صادق في ملكوت السموات
لما كانوا رفضوا الترويح وتركوا العالم وشهواته ووالى الابرار وحلوا
تحت طاعتهم وانما انشأهم الى اعمال الفضيلة هو الذي نالهم الى
الدخول في طاعة الابرار الروحانيين فهو لا يزال من لخصيان الذين
خصوا نفوسهم والذين عني عمر السيد انهم خصيان لخصاهم الناس فلهذا
يقطع من اجسامهم عضواً لتنازل منهم من يحيى لاجل التخلية في
الدخول والخروج عند انشاء لما يطري من حاجتهم ومنهم من يحيى جزاً
عن مقتدراته فيمتحري فيه ومنهم من يحيى نفسه بيده فهو لا يزال
الذين عني عمر السيد واسلبهم أيضاً هذا الفضيلة وقد نال قوم أيضاً
وقالوا ما هم لخصيان الذين خصوا نفوسهم من اجل ملكوت السموات
فقال عمر لبعض المنسرين ان هؤلاء الذين تكون غيرهم شديداً في
تحصيل العفة والطهارة من اجل محبة الله ورجا ملكوت السموات
ومن كثرت ما تقوى عليهم الشهوة يرون من نفوسهم البصر عن قوا وشهوات
ويخشون ان يسقطوا من مراتبهم التي قد وصلوا اليها في الطهارة
بعد ما بدلوهم من جملهم فمن شدت غيرهم على ما قد وصلوا اليه من الله

يعون عليهم قطع ذلك لفتوا الذي يشكهم ويلقونه خارجاً عنهم في طلب
لجن أمر الله في ملكوت السموات فرد عليهم جماعة من العلماء وقالوا ان هذا
القول فيه عناد الامر لله وحده وليس فيه رضا ولا طاعة وذلك ان الكتاب
يقول من قال لاحيه يا احمق وجبت عليه نارجيمز وكان المراد بهذا القول
ان يقطع الانساب التي تولد منها القتل الذي هو فساد الصورة والذي
يعتمد هذا الاعتماد الذي قد وجدته في جملة العقائل فهو قائل الاحمال
وحاش لله بجهول ان يكونوا آمن بنبيه ويثابروا في ملكوته الابدية لا يضر قد
تجاوزوا الحد في وصيته لله بايتائهم الفعل الذي لا يتوغل ولا فائدة فيه
فاما الحصيان الذين خصوا بنوحهم الذين عني عنهم السيد فخر الذين صعدوا
فوقهم عن السموات بايتائهم وكما عن الحدودات من اجل محبت الله
باختيارهم وعصداً وامر عليه بالصيام والصلوة وسطوا العيش والتعب
المعزى له حتى اكلوا احشائهم ونظفوا قلوبهم وطهرت افكارهم ومن
هنا قطعوا اعضاءهم لتنازلهم لظايفه المدهية من السيد
الذين لهم منه الجواز والطوي في غير تركوا دنياهم عن المقدسة التمسوا بمسار
فعلوا بالملكوت السماوية وهذا يجب ان نعلم ان الانسان له استطاع
ان يكون من نفسه عفيفاً طاهراً لان امتناعه من الشهوات هو امر مقرر
اليه وقوله استطاع ان يحتمل فليحتمل يعني بذلك ان الانسان الذي
يتمنع

يتمنع من الشهوة من غير ان يقصد امتناعه بغير ايض لنسك في رجاء ملكوت
السموات فهو على ظلال لان الشهوة الغريزية لا يمكن زوالها الا بعد الاداء
فيض ايض لنسك حبيب وهذا قال من استطاع ان يحتمل فليحتمل والا
فلا امتناع من التزوج على وجه السنة ليس قانون لكنه امر مقرر الى اختيار
المختار مع المعونة الالهية والعناية الربانية واما قوله حينئذ قد رآه
صيان كيف وضع يده عليهم ويصلي عليهم فنسبهم للتلاميذ وذلك ان الايضاح
قد سبق في غير موضع بان للتلاميذ يكونوا قد بلغوا الى حد الكمال فكان
للذين باتوا الى السيد عندهم رجاءات فادامهم راوا انساناً ميمراً
قد رآه حتمه قد اتي بيجلونه واتوا على غيره ويرون بحبه انه وقار
للسيد من اجل انه رآه يكلموا ولما ابصروا الصيان قد اقبلوا على السيد
استقصوهم عن التقدم على جلالة ما نستمروهم فامرهم السيد بان لا
يتمتعوا من التقدم عليه وحمل يعطوهم قد فخر لكي يعلم بان لا يزدرون باخذ
ويرفضون عنهم افكارا لتقاطر الكبرياء واعتقب امرهم وقال ان ملكوت
السموات في مثل هؤلاء اي ان الذي يراض حتى يزول عنه الحق والافكار
الشريفة يكون من اهل الملكوت وهذا ان الذي يغتر من اجل الغريسيون
القائلين له هل يحل للانسان ان يطلق امراته لاجل كل علة قال اظهر
الرب الامر هاهنا بحسب ما امر الانبياء بفتح الانسان امر آله ولحد

ولا يأخذ نسوه كثير مثل الأمم الذين ليس لهم آله لأن الذي خلق من اليد
رجل واحد ووجه واحد خلقهم ولم يقل نسوه كثير ولم يجعل الرجل الواحد
ان يأخذ نسوه كثير ولا أمره واحد يكون لها الزوجا كثير وكذلك قال ترك
الإنسان بآه وأمه ويلتصق بأمه ويكونا كلاهما جسداً واحداً جعل الاثنين
واحد مثل جسم واحد ولاجل ذلك لا يجب ان يخاف هذا الناموس ولا يرد
الأممية لأن الإنسان الذي ينام الله يهلك لأن هذا الأمر وهذا الناموس
قبل موتي وناموسه شلما يقطع الإنسان عضوه هكذا الذي يريد ان يفترق
جمعه الله بفضل الحق أيضاً بالتحاد واحد كيف يقطع يفرق لا يجعل الحق
جديداً كقول بعض الناس قد غيرت وصار كل شيء جديداً لأنه لم يطلب
ان ينال الإنسان نسوه كثير لأن كان في زمان الاولين يقتضي لما كان
يفعلوا مثل هذا لما قال الله انواوا كلوا وأماوا الأرض كبر لم يفسر
قال ان ناموس موسى لم يكن قائم ولذلك قال الرب لمرات لا تعقل الناموس
بل آية المسيح هو تمام الناموس وكذلك أمر ان كل من طاقه رآته من غير
زنا فقد لجأها الى الزنا ومن تزوج مطلقته فقد زنا وليس يجب ان
يخلى الإنسان من وجهه عن كل علة الأمر علة الزنا وحدها ومن
تزوج مطلقته بعل الزنا فهو زان وامر ان يتباعدين الزنا كليا
تتدثر حريه النصاري قاله التلاميذ ان كان هكذا أعلنت الرجل مع
أمراته

أمراته فخير إليه الايتزوج فقال لهم ما كل واحد قبل هذا الكلام إلا الذين
قد أعطوا قلوبهم من أجل الغنى الذين قد ولدوا من بطون أمهاتهم
قال ليس كما قال سمعته ولا يتصور ان يقيم الإنسان بغير امرأة وليس يستطيع
كل إنسان يتم هذا الحال دون المؤمن من فوق لأن الحركات الطبيعية
التي فيها ليس تقدر ان تغلب الشهوة كما له فيها إلا ان يكون معانق
الآهية على التي في معونه لنا على دفع الشهوات حتى نستطيع ان
نغلبها الآن من الحسيان الذين ولدوا من بطون أمهاتهم ولا يفسد
الذين طهرهم الله من بطون أمهاتهم وصيروهم خصباً من كل شيء يضاعف
الفضائل ومن الحسيان الذين خصوهم الناس هم الذين تحت طاعة
الإله الروحانيين الذين خصوهم من البشر ما أعدوه من هو كقولهم
ومن الحسيان الذين جعلوا أنفسهم خصباً من أجل ملكوت السموات
هو الذي الذين صلوا للعالم الذين قتلوا أنفسهم وأعضاهم التي على
الأرض وجعلوا صلبهم وتبعوا البحر الذين قطعوا عنهم كل أفكار
الطبيعة ويستطيعوا ان يقولوا مثل بولس ليس لنا شيء كسبي ولكن
للمسيح الذي هو حي في يوحنا الذي ليس من أجل الأطفال الذين
قد صغر ليضع يده عليهم قال لأنه يبيع عند الاجلاء المتعدين
ان يدنو منهم الأطفال ولذلك نعلم لتلاميذ ان يفتروا الى الرب

بل علمنا هذا ان نبعدها عن افكار العالم والكبرياء واسرار الصبيان ان
ياتوا اليه وقال ان ملكوت السموات لمثل هؤلاء يعني ان من كان بلا
شر مثل الطفل هو الذي يرث ملكوت السموات لانه يجع علينا كل
حين ان نكون بلا شر مثل الاطفال والجهلة

✠ قصص الاصحاح الثاني والاربعون ✠

وجا اليه واحد وقال له يا معلم اصلحنا ما الذي نعمله من صلاح حتي
ارث حياة الابدية قال له لتقول لي صلحا وليس صلحا الا
الله الواحد ان كنت تريد ان تدخل حياة احفظ الوصايا قال له
وما هي قال له يسوع لا تقتل لا تزني لا تشرب لاشهدا الزور اكرم
اباكر وامك حتي ترهبك مثلك قال الله الشاب هذا قد حفظته
من صباي فماذا ينقصني قال له يسوع ان كنت تريد ان تكون كاملا
فاذهب وبيع قنيتك واعطيها للفقراء ليكون لك كنز وتعال
اتبعني فلما سمع الشاب الكلام مضى حزينا لان ما لا كثير كان له فقال
يسوع للتلاميذ الحق اقول لكم انه يفسر علي الاغنياء الذين ملكوت السموات
وايضا اقول لكم انه ان عمل ان يدخل اجل في تعب لاجل من غني يدخل
ملكوت الله فلما سمع التلاميذ هذا وجدوا انهم لا يستطيعون ان يفهموا
يسوع

يسوع اليهم وقال لهم اما عند الناس فما يستطيع هذا فاما عند الله
كل مستطاع حينئذ اجاب بطرس وقال هوذا نحن قد تركنا كل شي وتبعنا
ك
فماذا نعلم ان يكون لنا قال لهم يسوع الحق اقول لكم انتم الذين تبعوني
في الجيل الذي اذ اجلس ابن الانسان علي كرسي مجده تجلسون اثنى عشر
علي اثني عشر كرسي وتدينون اثني عشر سبط اسرائيل وكل من ترك بيتا
او اخا او اخوات او ابا او اما او امراة او ابنا او حقولا من اجل اسمي
يلخذ الواحد ما يرضع ويرث حياة لا بد وان كثرون اولون يصيرون
اخرين واخرين يصيرون اولين لتقديركم قد سبقوا لا يباح في غير موضع
ان السيد كان يرد جواب من نبيا له علي حسب خمير ولا علي حسب لفظ
وهذا الذي جاء اليه وقال له يا معلم اصلحنا كم يدك منه يصير صحيح
كي تعلم بل تقدر اليه بشجوت ملحه منه علي راي اهل الدنيا راجيا
ان السيد يكرمه ويشهده بانه لم ينقص في شي مما كان يجب عليه لانه
من وصايا التوراة ثم ان نبوته كانت ايضا بان السيد واحد من معلمين بني
اسرائيل ولجأهم وليس باده فقال له لماذا تقول لي صلحا وليس صلحا
الا الله فقله له هذا القول لا يمكن ان يفي به الصالح عن جلالته لان هذا
بين لم يكن عقله فاستد لان في صلاح انما يكون للذي ينبغي الاقبل
منه ما يقول لان الذي ليس صلح فليس الكلام الذي يتكلم به صلح ولهذا

لا يجاب بل ما يقوله تركب لا يتبع ان يتوهم على سيدنا انه كان يامر
ان لا يعاصيكم وقد رآه نبي الناس هذا الاسترخاء في القول الصالح
من كثرة الصالح يخرج الصالح وما افعه في حق الانسان ان يشتميه صلحا
حتى نفي فكرته وكماله صلحا ثم قد نفي الشجره وانما هذا الاسترخاء
ايضا فمما لا الشجره الصلحه تخرج ثمره صلحه فاذا كان هذا الاسترخاء
قد عمرا لاجناسه في الانواع من الحيوان والنبات فالذي يوهى في الصالح
عن جلالته لئلا يظفر في الجمل فاما كان جواب السيد علي حسب خبر
الشايه وذلك لانه لو ظن به انه لا له لم يحاويه بهذا الجواب والسبب في
ذلك انك لو ظننت اني لاله لكان جوابي بطاقتي خبرك ومن حيث
ظنك باني انسان مثل هؤلاء في غير صلحا الله لا صلاح الله صلاح
طبيعي جوهري واما الناس في صلحا هم مكتسب الشا باعرضا وذلك
ان من الناس من هو صلح وانما يكون الانسان طلحا بآثاره يصير صلحا
واما قوله ان كنت تريد للدخول الى الحياه احفظ الوصايا والمعاني
ذلك ان بعد توحيدها في خبره را بان تحفظ الوصايا كيلا
تنظر به السامعون ان يتضاجروا على من يعلم الخير وينزع الناس من
دخول الحياه وانما تلا عليه الوصايا لانه قد رآه على حسب خبره
وضمن رايه لانه كان يشتمى الملهه العالميه وكذلك جعل يدعي انه قد
حفظها

حفظها من صباه لانه طمع بان السيد يقوله له انك كامل وليس يتقصك
شي من الفضيله الرفيعة ولقد وضع جوابه شدت شعوره للمدح
وذلك لانه لو كان اكثر الناس فضيله لكان حديرا بان لا يركب نفسه
ولما استنحائي في حق نفسه بان الوصايا المفروضة قد حفظها من صباه
حينئذ افتخر وقال ما اذ انقصني ومن هاهنا فوض له السيد الامر في
اتنا الفضيله فقال له تريد ان تكون كاملا فلا ذب وبيع كل شيء لك
واعطيه للمساكين ليكون لك ذخيره في السموات وتعال تبقي عني
بقوله هذا لان امر اتنا الفضيله مفوض الى اختياره وعزمه ومشيته
وذلك ان الذي يقتضي الفضيله ان يكون مجبورا على ان يتنازلها فخر
وقوله فلما سمع الشاب هذا القول معي حزينا وذلك لانه كان
ظاهرا لانه كان حريصا على التزايدي في السؤال لرجاه بان السيد يملكه
يقبل عند السامعين وما كان ماله قليلا فيصرفه في بوع ما قد قصده
ومن هذا معي حزينا واما قوله ان السيد قال لتلاميذه انه يفسر علي الغي
الدخول ملكوت السموات لربني هاهنا بالقول الذي له ثروه وما ان وهو
يتصرف فيه بحسب الواجب وعلي ما ينبغي من حفظ الوصايا بان يكون
جوادا على المساكين فيشبع جباغتهم ويأوي غرامهم ويكس عراهم
ويستقرضهم ويقترضهم ثم يرد في كل ما يصرفه في هذا الوجه

ويستري قد في تغيا هو افضل منه المذخور في ملكوت السموات
لن هذا هو الغني الذي غني به السيد لان الغني الذي يهرته هكذا فهو
يكون كاملا في نقيت الوصايا فليس يعوقه عائق من امله بملكوت السموات
الا ان صاحب المنزله العاليه الرفيعه هو الذي رفع كل شيء على من
اجل قربه من الله وبما ملكوت السموات ويطييه المساكين ويصير
جملتهم وليس لهم ولا يمتنع الي شيء من الالوه العالميه فهذا
هو كامل الذي يبيع نفسه الي الرتبه الشريفه واما الغني الذي
غني عنه السيدانه يعسر عليها الدخول في ملكوت السموات هو الذي
يكون جائعا الي جمع الما ان وقصده الزايده علم ما هو فيه بالاجتهاد
الجويل ومن شدت عنايته بالحزن شبح ما يصرفه في وجه البرقيعه
ذلك الحزن عن الفنا العظيم الذي في ملكوت السموات فمن هذا المنأ
نعلم نحن ايضا ان يستقيم لمن هو مجتهد في تحصيل عيش هذه الدنيا
والاعتناء بامورها وعنايته متوفره في جمع الما ان يكون زاهل
الفضيله وذلك لان الما له فعل عظيم في الصدقه ان الفضائل التي
هي ان تارته واعلا درجه من كل شيء ويعضد هذا القول قول
السيد لن يبعد الحدان بعيد الله والماء وذلك ان الذي يكون
ميله الي شهوات الما ان هذا يكون بعيدا من ملكوت السموات لاحاله
ولما

واما ايراد السيد هذا المثل انه سهل ان يدخل الجمل في ثقب لاره
من غني يدخل ملكوت الله فبذلك على ان الذي يتصرف في غناه
على غير الواجب ويكون شحيحا فيما ينبغي ان يتما له من الواجبات
والغنا فيه لا يمكن ان يكون مع ذلك من اهل الملكوت واسم الجمل هاهنا
من الاسماء التي تنسب في الالهيه وتخلق في هذا كلفظ عين فاها
تدل على معاني كثيره وحدها مختلفه كعين الماء وعين الثمر وعين
الحوان وعين الانسان واسم الجمل في هذا الموضع يدل على الجمل من
الحوان ويدل ايضا على جبل غليظ يكون في الشجر ويدل ايضا
على خشبه تجعل كالاشجار تحت الشقوق وقد اختلفوا المغشون
في ذلك لان كل واحد منهم قصد حوز الانحاء واجد هذا الانما
في هذا الموضع ان يكون الجمل الغليظ الذي يكون في الشجر لانه
ما لم لتب لاره اكثر من اوليك واما تعجب لتلايد وقولهم من بعيد
ان يخلع وكما في هذا القول غير ما يدين وذاك انهم كانوا يرون
كافرا للناس منبطين بامور الدنيا ومتصافين على تحصيل الفنا فيها
ولا يراعون قصدا اخر يقصدونه غير ابراهيم لان اليهود كان
اعتقادهم ان الفوز هو ان ترض الميعاد والحناف كانوا يعتقدون
ان بعد الموت ليس عود ولا جوار ومن هاهنا قالوا ان رجوع هو الذي

أولا يقبلوا لأن لكل لا مفر من الاختيار هو وقوله ومن يترك بيتا
أو أخا أو أخوات أو أباً أو أمّاً أو امرأة أو حقولاً من أجل اسمي فويل يأخذ
مائة ضعف ويرث حياة الأبد معنى هذا القول أن يمتدح هذه الدنيا
وحقولها ليس في مثل منزل الآخرة التي في ملكوت السموات لأن
التفاوت بينهم أضاع كثيراً جداً فالذي يترك شيئا من هذا هو يأخذ
أضغاناً كما قد وعدنا أما الإخوة والأخوات والآباء والأولاد والأولاد
فالذي يترك من أجل محبة الله أما في طلب الشهادة وأما في طلب
العبادة وأما أن يكونوا قد خرجوا من الإيمان المستقيم فيموت من ههنا
فيكون له في هذه الدنيا محبين كثير في حياته وبعد مماته كما نراه من
تبجيل عظام الشهداء والعديسين والمتوحدين وأما في يوم الفرع
الفضيم فمن يجد ملائكة والأنبياء والشهداء والعديسين وقد
يتشبهوا بشراؤهم ويقبلون عليه بالأكرام والتبجيل والفرح أكثر من
أخواته وأبيه وأمه وأسرته لأن هؤلاء ليسوا كأولئك والتفاوت
بينهم كثيراً فيرفع عن ذلك جميع حيات الأبد وقوله كثير من أولئك
يصيرون آخرين وأخرون يصيرون أولئك معنى هذا القول أن الوعد
الذي وعده التلاميذ هو وعد عام لكافة المؤمنين وهو يسير فيهم إلى
يوم القيامة لأن الذي يحفظ الوصايا الآن ويعمل الصالحات لأخرى
بينه

بينه وبين الذين عملوها قديماً إذا كان علم متساوياً فاما الذين قد
عملوا الوصايا وأقربها بكثر الغضيلة فهم لأجملها يتقدمون على
الذين قد عملوا الوصايا فقط ولهذا قال نصير الأولون آخرين والآخرين
أولين ثم لنفهم من أجل الغنى الذي لنا الرب ماذا عمل من
الصالح لا لشجاءه الدائمة قال لأن هذا أتى لي الرب بظني أنه
إنسان شجاع مثل كل الناس وكذلك على قدر فكره الناقص وقلة إيمانه
به لأجابه هذا الكلام أن كنت تظن في أني إنسان مثل هذا الجماعة
وليس أنا من في الآخرة فلا ينبغي تدعوني صلحاً فليس صلحاً إلا الله
وحده ولأنه متعظم مجداً فلما قال له الرب الوصايا التي في
الناموس اقتصر برأه وقال هذا كلها قد حفظتها منذ حدثتني وأراد
الرب أن يحجبه أن كان هذا الفعل أو الكلام وحده قال له إن
كنت تريد أن تكون كاملاً امضي ببيع كل شيء واعطه للمساكين
ليكون لك كنز في السماء إن كنت تحفظ جميع ما في الناموس كما قلت
أنت فتكون رجلاً كاملاً على المساكين وليلا فتعبد كله يكون باطلاً
فلما سمع الشاب الكلام مضى حزينا فقال السيد لتلاميذه الحق أقول
لكم أنه ليس علي الغنى لدخول لي ملكوت السموات التفسير حقا أقول
لكم أنه يصعب على محبي الأموال الذين قد دخلوا في ذلك الفناء

وتمسكين بما في هذا العالم الزايل وان يدخلوا ملكوت الله لانه قد
كان كثير من الاغنيا ارضوا الله باعمالهم الصالحة ولا شك في انهم ورثوا
ملكوت السموات مثل ابراهيم ويوسف واسيا هاشم ولما كان الغنا مملوفاً لم
يكن الله يخبره لعبده ولما افنا المذموم الذي يستعمله الناس في غير
طاعة الله وقد وعد الاغنيا الممسين بوضاياه فانه يعوضهم للوحد
مائة معني اخر يعني محي المال الملتصين باعمال الارض وغنا العالم
الباطل ان لا يدخلوا ملكوت السموات ولما انه يزدرى بالناس بل
بالذي يدبره ليس للتدبير والجل الذي عني به ان يدخل في تعب الابر
ليس عني به بل ولكنه عني به جبل كبير علي طير يطبه المرابي الذي في
السموع ويسمى اجل كذلك الذي يلقي عنه محبت الاموال ويكون
رحوماً ويعطي المساكين كطافته وقد لا له عيب يد يكون شيء يقد
عليه غير الحق بل قول بطرس الشهيد قدس قدس تر كما كل شيء
وتبعناك فماداعسا ان يكون لنا ما قال ليس انه عني ترك لما اهاينا
ولكنه عني ترك الشهوات الذي للقلب والجسد جميعاً والاشجاع وشهو
العالم وحلاوت الالهوان لخوايد الدنيا التي عني على كل واحد
يرفضها من الاغنيا والفقراء لان كثير اقد فوضوا الاموال ولم يتموا
وفوضوا قدس كما ذكرنا فعدوا ملكوت السموات فاما الاتي عشر
كريباً

كريباً الاتي ذكرها الانجيلي فيجب ان تفرق مفرقة روحانية وهاتان
افترقا تفسيراً روحانية والقول الذي قاله اخر يدنو اثني عشر سبط
اسرائيل معناه ان اليهود الذين جميع اسباط بني اسرائيل الذين كانوا
في زمان التلاميذ لم يامنوا بشارتهم الذين يسكنونهم ويدينونهم يوم
الدين ويعرفونهم وقد عدوا مخلصاً فمضوا الى الهه التفسير قول
الانجيلي كثيرون اولون يصيرون واخرون اولين يعني مسح
الفرشيين الذين هم متقدمون في الدرجة وشعب ليسوع لاجل
الذين صاروا اخرين وخرعوا ملكوت السموات والاخرون صاروا
اولون هم التلاميذ والفرشيين المومنين والاختيار النصاري
❖ **فصل الاصح الثالث والاربعون** ❖
وتشبه ملكوت السموات انساناً ربح خمر خرج بالقداه يستاجر فعلة
لكرمه فصاروا الاجرة على دينار كل واحد في اليوم وارتطم الى كرمه
ثم خرج في ثالث ساعة ابصر اخر قيا ما في السوق بطالين فقال
للآخر امضوا انتم الى كرمي وانا اعطيكم ما تستحقون فمضوا وخرج
ايضاً في الساعة السادسة والتاسعة فصنع كذلك وخرج في الحادية
عشر فجعل اخرين قيا ما بطالين فقال لهم ما بالكم هاهنا انتم اكله
قيا ما بطالين فقالوا له لم يستاجرنا احد قال لهم امضوا انتم الى

الكم وأنا اعطيكم ما تستحقونه فلما كان المساء قال رب لكم لكي
ادع الفعله واعطيهم اجرهم والذين هم من الاخرين الي الاولين فجا
اصحاب الاحدي عشر ساعة اخذوا دينارا كل واحد فجا الاولون فظنوا
انهم يخلدون اكثر فخذوا دينارا كل واحد فلما اخذوا تفهموا على رب
البيت وقالوا ان هؤلاء الاخرين عملوا ساعة واحدة جعلتهم اشرفنا
وكن حملنا ثقل النهار وحره فقال الواحد منهم يا صاحبا ظلمنا انك
لدينا واحد شارطنا كخديك وامضي اريد ان اعطي هذه الاجر
مشكرا وما لي ان افعل ما اردت باي وانت عينك شريرة وأنا صالح
كذلك الاخرين تكون اولين والاولين اخرين مما اكثر المدعويين واقل
المنتخبين وصعد يسوع الي يروشليم واخذ الاتي شرطيلا في
خلوة وقال لهم في الطريق ها هوذا اخن صاعدون الي يروشليم
وابن الانسان يبسل اري ووسا الكهنة والكهنة ويحلمون عليه بالموت
ويصلبونه الي الامم ويهرون به ويصلبونه ويصلبونه ويقيمون في اليوم الثالث
التفسير ومعهم ان السيد قال للتلاميذ كثير من اولون يصيرون
اخرين واخرين اولون ارايوكم لهذا القوام فصر لي هذا المشكل
يعني ان الذين قد امنوا وشاروا بسيرت لفضيلة من اول الزمان
ليس يطول ما هم يحول على غيرهم شيئا مفضلا لان الذين يؤمنون فيما
بعد

بعد ويعملون اعمالا ولا يكونون في المشية واليه معهم كثير واحد
فانقصة لهم لخز ما هم لان امر الزمان ليس يرد اليهم لانهم ليسوا
ابا للزمان والتفاوت الذي بين الناس في الفضائل ليس هو من
تقلد الزمان ولا من اخير ولا هو يكون من صدق الايمان ولا اعم احب
وعني اليوم عن الزمان الذي تبدل فيه بالبشارة الي انقضاء العالم كما قال
بولس الرسول ان الليل قد جاز والنهار اقرب فاما الذين استنجزوا
غدا فمعي هم الي الذين امنوا على يديه اذ كان مرددا في الاخر والذين اكدوا
في الساعة الثالثة فمعي هم الذين امنون على اليك لتلاميذ عندهم شاهدتهم
الايان التي فعلوها وعني الذين استنجزوا في ستة ساعات وفي تسع
ساعات عن الذين امنون على يدي الشهداء القديسين الذين اظهروا
الله على ايديهم المتجذرات الباهرة على تدبج الزمان وقت بعد وقت فاما
الذين استنجزوا في ساعة واحدة فمعي هم الذين يؤمنون من كلام
البشر فقط ايمانا مستقيما ولا يحتاجون في ايمانهم الي ايده ظاهرون
بصر وخا ولا الي معجزة باهرة وشاهد وخا ودا انهم قالوا انهم استنجزوا
لحد اخبر بذلك فمعي هم الذين يؤمنون في زمانه ولا في زمان لتلاميذ ولا في زمان
الشهداء كي يجيبوا الي الايمان باشهادهم من الاعاجيب التي رعت
الناس الي الايمان وهذه الطائفة التي اخذت الحواسر عند الرب
عند قوله لتوما طوبى لمن يؤمن بي وكرائي وقوله ان الاولين احملوا

خرا التمار وقلة فلا تذكركا في ذلك الزمان الاول تمب كثير على
المؤمنين لان عبادت الاوثان كانت قايمة من جميع الملوك شرقا وغربا
وكانت ايضا امور اليهودية قوية وامر كنعان وكنعان فافد فالدين
كانوا يفتنون بدين المسيح في ذلك الوقت جميع عليهم انواع العذاب
وكثير من الضطهاد وطروا تحت خطر عظيم وضيق شديد محدود
من رؤس الامم ومن ملوكهم ومن كهنات اليهود واجبارهم ومن قولة ان
هو لا ياتي الا بغير اهل واساعه واحد يجعلهم اسوتنا اي ان الذين
يؤمنون اخيرا وتظلم ايمانهم وفضلتهم في عبادت الله بنيت صادق
كتبوا لا يلاي الا الذين لم ينطقكم عدم الضطهاد شيئا من غير الذين
نصوا واحملوا التدايب في عبادت الاوثان وذا الان شيرت
لجميع واحد في الايمان والاعمال والنية فلو حدث لهم مثل احدى اولئك
لما كانوا عن جهل واما قوله للتلاميذ ها هوذا اخر صاعدون الي ابي وسلم
واين الانسان يسلم الي رؤس الكهنة والكهنة ويحلبون عليه بالموت
ويسلمونه الي الامم ويخربونه ويحلبونه ويسلبونه ويسلمونه في اليوم الثالث
اراد بهذا القول ان يرمي ما هو من مع ان يكون منه يسوع ويملكه ليدل به
تمام التلاميذ ويوضح عقولهم في يعلمون ان قول هذا الامم التي ذكرها
ليس عن غير علم منه بها ولا عن غير رضا واردة وان قوله لها هو السب

في جميع الامم البشر حتى اذا كان ذلك لا تستشرون افكارهم ولا يفتنون
عامهم عليه فيقولون فليس لعل قول الانبياء تشبه ملكوت السموات انما
رب يحل خرج بالقدس يستاجر فكله لكم قال الانبياء ان صاحب لكم
هو الله جل جلاله ما سلك لكل والكم هو الوصايا واما الله والقدس هو
اولا لما لا الزمان والقدس هم الصديقون وكل من يعمل على غير ما في الله من
اولا العالم الي انقضاء واصحاب الساعة الاوله فرحوا وخشعوا ولجلا الي
كان معهما ومن يشبههم الذين يكونون متخفين ومختارين في يوم الدين واصحاب
الساعة التاسعة الثالثة هم ابراهيم واسحاق ويعقوب وروفا الابا
والصديقون والمنجبون الذين خرجوا من نسل واصحاب الساعة
السادسة هم موسى وشعبه الابراهم ورون والقضاة ويا في الصديقين
الذين كانوا في جيلة واصحاب الساعة التاسعة هم جميع الانبياء الي
يوحنا الصانع واصحاب الاحدي عشر ساعة هم شعب الامم الذين غلبوا
بشرى للتلاميذ وكذلك قال لهم انتم قيام طول النهار بطالين يعني
انكم بطالين من عمل وصايا الله قالوا له لم يستاجرنا احدا لان الانبياء
لم يشرروا فكانوا يرحلون الي الله وكذلك قالوا لم يستاجرنا احدا
قال لهم امضوا اليكم فلما اخذوا الاخرين مثل الاولين عند ذلك
تفهموا الاولين من الاخرين الذين اخذوا موهبت روح القدس اكثر

من الأولين فلذلك قال لهم هكذا تكون الآخرون وأولون الآخرون
لأن شعب لأمم هو الآخر فلما دعوا وقبلوا الإيمان وصاروا أولين وهنر
الذين بالآباء الأولين والأنبياء الآخر ولدوا بروح القدس الذي هو
المعمودية الميلاد الجديدة ولما الأنبياء والآباء المتقدمين فهم يولدون
من النساء ولذلك قال أن المولود من الجسد جسد هو والمولود من الروح

والشعب للذي
فصل الأصحاح الرابع والاربعون

حينئذ لجأت إليه أم ابنا زبدي مع ابنيها وتحدثت له وسألت
شيئا فقال لها ماذا تريدن قالت له قل قولاً أن يجلس ابناي
الإنسان أحدهما عن يميني والآخرون شمالاً في ملكوتك اجاب
يسوع وقال ما تدرين ما تطلبون ان هذا ان تشربوا الكأس
التي أنا مزع ان اشرها ولصيفه التي امطبعها أنت طبعها
فقال له لا نستطيع فقال لهما اما كما ينبغي فترين وتبغين
تصطبغان واما جلوسكما عن يميني ويساري فليس لك لي ان
أعطيته ^{١٠} ابني الذي في السموات فلما سمعوا القصة تفهموا على الحق
فدعاهم يسوع وقال اما علمتم ان رؤساء الأمم يسودونهم وعظماءهم
مسلطون

مسلطون عليهم فليس هكذا يكون فيكم لكن من اراد ان يكون فيكم كبيراً
فليكن لكم خادماً ومن اراد ان يكون فيكم اولاً فليكن لكم عبداً لان ابن
الإنسان لم يات ليخدم بل ليخدم ويبذل نفسه خالصاً عن كثيرين
التفسير قد اتفحة الحال في غير موضع ان التلاميذ لم يبلغوا نهاية
الكمال الا بعد قيامته السيد ولهذا اراد ان يبين ان يكون منزلتهما
انفع من منازل رقيت التلاميذ لظنهما ان يكون في ملكوت السموات
تفاضل ومناظر بعض على بعض كما يحكي الحال في القامه فلما اخذ امثما
وجا اوايلي السيد فلما ارادهم علم الامر الذي اتوا بسببه لم يأت بتحدث له
وسأله شيئا فقال لهما ماذا تريدن فكان جوابه لها لا لانه لا يعرف
ما قد حضرت في معناها بل انه اراد يسمع الحاضرين ما قدرت امه
لابناها من التمييز به على رقيت التلاميذ وحتى يكون ايضا كلامه
لجميعهم موعظه فقالت له تقول قولاً ان يجلس ابناي أحدهما
عن يميني والآخرون عن يساري فلم يجيبا عن هذا القول بان
يفعلوا ولا يفعلوا وذلك مع علمه بالحال التي تصير اليه ابناها في الآخر
بل قال لهما ما تدرين ما تطلبون اي ان ملكوت السموات ليس في
علي ما تفكرون ولا هي قريبة الظهور كما قد يظنون لان ظنون
التلاميذ كانت غالبة عليهم ان ظهور ملكوت السموات غير بعيد

ودليل ذلك قول يعقوب لوقا ولما قرب من اورشليم وكان ابطون
 ان ملكوت السموات تأتي سرّياً فاما من بعد صعود اليد وحلول
 روح القدس عليهم استنشئت لهم الحال الى الكمال ونزلت الشبه
 كلهم فوسمهم وقوله لما اقتل ان تشرى الكاش التي اسأ
 سزع ان اشترىها والصبغة التي اصطبغها نصطبغها فاما اراد
 بشرب الكاش والصبغة اشار الى الموت بالصلب واقتل بقوله
 في موضع اخر ان لي صبغة اصطبغها فيجب ان ننظر في هذا
 الوعظ الذي قد عدك بما عن غرضها وادكرها التباديل التي
 شافنا ان تلقاها اي انكم لا تفكر في تمييزكم على اخوتكم بل اجعلوا
 نكرتكم فيما لكم اليه وكان هذا القول قولاً عاماً لذلك لم يعلّمهم
 ينبغي ان يعملوه مما هو انفع لهم من كل شيء فلما قال له انا نستطيع
 ان نحمل الامام احسان يفر فيها بانه عارف بالذي يقبلانه في سب
 ملكوت السموات فقال لها اما الكاش فتشربان وصيغتي تصطبغان
 فلتواضعه اشركها بنفسه ليدلها على ان الذي يلقاه هو الاشيا
 التي قد راها جليل عند الذين تسارت عقولهم لان بذلك يكون
 خلاص العالم اي احرصوا ان تفعلوا ذلك في محبة فانكم
 تسلا يقينكم ان انتم اجهلون في محبي وشاركي وقوله ولما
 جلوسكما

جلوسكما عن محبي يساري فليس ذلك لي ان اعطيه الا للذين اعد لهم
 ابني ولم يقل هولاء لي عطيه ومعنى هذا الكلام هكذا ان جلوسكم عن
 يساري والتصرف في ملكوت السموات ليس هو ما ينفع من غير عمل
 يتقدم للانسان فيستحقه الا بعد لاله على فعل الخير والى بليلين فهو
 الى هذه الرتبة باجتها ادم وسلم بكل قلوبهم الى الاحتمال الاقدام
 على الشدايد لصبر الجليل عليهما بسبب الحق ولم يقل ذلك لانه لا سلطان
 له عليه فنبأ لاعداد الى ابية وانما قال هذا على حجب خبير السامعين
 لاهم كانوا يظنون به انه انسان كما قال متقدماً للذي قال له يا معلم
 صالحاً فقال له لم تقول لي صالحاً ودا كان السلطان الذي
 للسلوات المقدس واحد وجوده واحد واداه واحد وفعل واحد ودليل
 ذلك قوله في موضع اخر انه يقيم قوماً عن يمينه وقوماً عن يساره وحبيبه
 يقول الذين عن شماله اذهبوا عن يميني الى النار الموقدة المده لا يمش
 وجنوده وكان معنى قوله لهذا ذلك لقول اي انكم لتستأخرون بان
 تنالوا هذا لان ليس ان من ثابتي ان اعطي جزاء ولا جوارح المر لا يستحق
 وانتم المستحقين وانما فلكم ان تطعموا انفسكم وبناتكم من الهوى
 وانكم لتستأ الان مستحقين لما قد سألتمه فان الذين في قوسهم
 وبناتكم هكذا على هذا الحان فهو لا يهر الذين قد اعد لهم من ابني

جميع نعم الخيرات المزمعة ولم يقل الله ليس لي ان اعطي ذلك لكنه قال
الا للذين اعد لهم من ان ليس لي ان هذا قد اعدت للمستوحسين لان
اعطا نعم الاخره ليس هو بما به مسترده تمنع من قوم وقدفع الي
قوم آخرين وقوله ليس لك اي انه ليس من شائي ان اجور واعطي
واستعطي من لا يستحق العطية وانما امتنع من التصريح والاندراك بذلك
فاما تقم العشره على الاخرين فان احسد كان استحقاق عليهم من
اجل انها سالا ان تكون من لستهما اعلام من اجلهم فقد يجب ان
تنظر الى هذا البان الذي كان بين هولاء من اجل انهم لم يسلطوا
حد فاتي المال لان الاخرين قصدوا محبت الفخر والرياسة والعشر
حسدوها على طلبها ولما اراد السيد ان يعلم بينهما دعاهم
جميعهم ووعظهم قايلا اما علمتم ان رؤسا الامر يسودونهم
وعظماؤهم مسلطون عليهم فليتر هذا يكون فيكم لكن زلزالا ان
يكون فيكم اولا فيصير لكم عبدا كذلك ان الانسان اريات ليخدم
بل ليخدم ويبدل نفسه عن كثير من هذا زلت العظمه
وانصرف لتخاضع عنده وعبي لهم هذا الوعظ انه لا ينبغي لكم ان
تتسببوا بالامر في ذلك بل ان ترضي فيكم يكون لكم خادما ثم اورد
الامر الى نفسه ليقرر ذلك في نفوسهم اي اذا كان ابن البشر

مع علمكم بقدرته وعظمته يقول هذا عن نفسه فكم احري بكم انتم الذين
تباعه امثلوا ما ترون منه لان التواضع هو بعدكم هذا الدرجه
الفاضله وان كان احدكم يحب ان يظهر انه اكبر واجل من صاحبه
فقد زل هذا على الخطا طه الى نهايه الدرجه السفلى الحال
وللسايل ان يقولوا السيد في ان يمي قال ان ابنا زيدا عند
قدومهما على السيد كانتا متما معا ومرفص يقولان هما
تقدما الى السيد ولم يذكر ان اتما تقدمه معهما فيقال ان البشر
على ما تقدم القول بيا كان منهم من يقصد الاختصار في قوله عما
يقوله الاخر من حيث انه لا يخرج عن المعنا ومرفص في هذا الموضع
اختصر قوله فذكر حضورا يشار الي السيد وسوالها ولم يذكر
اتما استصجبا اتما معهما ومع اختصاره لم ينقص من المعاني
التي ذكرها من شيئا والقولان صادقان وانما كان استصجبا هما
معهما فيكون اسوالهما على السأها فيكون السوال وقع بوجها
فمردد فيفسر اجل انه ينبغي ان تكون الحشوت الكبرى كانه
تتصور فيهما وكذلك استصجبا اتما معهما الى الميت لتسأله بان
يكون واحد منهما يجلس عن يمينه والاخر عن شماله في ملكوته وانه
اراد ان تطلع منهما هذا الحال الذي في الكبرياء اجاب الرب

وقال لها ما تريدان ما تسالان اقلدا ان تشريا الكاس التي انا مزج
ان اشربها والصفه التي اصطبغها قسطبناها قال له تستطيع
فقال لها اما كاسي فتشربان وصبغتي تصطبغان لان ذلك الكاس
هو الموت الذي يحمله من اجلنا فاعترفا انها يحتملا الموت من اجل اسمه
القدوس قال لها الكاس تشربانها فاما الجلوثر عرسي وشياري
في ملكوتي فليترفع طأ الا للذين اهلوا من ابي وانما قال لها هذا
ليقطع عنهما الكبرياء التي جميع ما لديه فهو له وان جميع ما يصنع
الاب ليس يصنع الابن مثله وانما اراد ان يتشبه بنا في كل شيء لانه
تواضع وليس صورته لعبد وصار مثل انسان تواضع من اجلنا حتي
الموت اعني موت صليبه كذلك اراد ان يكونوا يتبعه ايضا يشعظوك
عنهم كل فكر متكبر وكل مجد بطال ويصيرون مثله ولهذا قال اما
علمتم ان ووتنا الامم هم يشيرون وعظماءهم يتسلطون عليهم
وليس هكذا يكون فيكم لكن من اراد ان يكون فيكم كبير اقل منكم
خادما ومن اراد ان يكون فيكم اولاد فيصير لكم عبدا من ابي كما اني
تسلتكم وانا الاله وابن الاله لمرات لاحدكم ولكن اخذكم وابلك نفسي

ولمجد الله دائما
قص الاصحاح الخامس والاربعون
ولما

وما خرج من اريحا تبعه جمع كبير واذا اعيان كانوا يمشون على قاعته
فسمعا ان يسوع مجتازا فصرخا قائلين ارحنا يا ابن داود فنهرا
الجمع لكي يسكنهما فزاد اصيحا قائلين ارحنا يا ابن داود فوقف
يسوع ودعاها وقال لها ما تريدان ان افعل بكما قال له ربنا
ان تفعل اعيننا فنحن ليسوع ولمس اعينهما ولبوقت ابصر واوقفتهما
اعينهما التفسير السيد الذي اتي من اجلنا فخرج منها
الي يروشلیم ليعلمنا ان في مجيئه الثاني ترتقي من الارض الي السماء
لان اريحا موضع اسفل ويروشلیم في علو فخرجه منها الي يروشلیم
شالخر وجنات هذا الارض ارتقايا الي الملكوت والارض اريحا
متناهيان لانها جميعا قبلت للعنه فوالارض قبلت للعنه من الله جل
وعز بقوله لادم ملعونه في الارض من اجلك واريحا لما فتحها يسوع
ابن نون واحرقها قال ملعون كل انسان يقيم اوسني هذا المدينه بكونه
يضرب انا ساهاوا باخر اولاده ينصبوا بها واهل اريحا تحالفوا على
يسوع ابن نون واهل الارض تحالفوا على الله وعبدوا الاوثان وكان
يسوع ابن نون في اليوم السابع فتح اريحا بالبوقات والنصوبت
هكذا في اخر الالف السابع يكون مجيئه محي السيد يسوع الملاكه مع صوت
الساافر العظيم يخرج من الارض وافيها من الناس يلدان كل واحد منهما

طائفة
الشرقي
ها

على قدر عمله فترقى الارباب الى الملكوت من اجل اعمالهم المرضية لله
 كما امر يسوع ابن نون باخراج راحه كل شيء كان في دارك
 من ارجاء وامر ان تسكن خارج من المعسكر وبعد ذلك اخذ كل شيء
 فيها وسلمت في جنتها وكما كان لما نزل الى الجحيم اخذته بواسيس شر
 غلبت مركات يسوع واحكامه واما الاشرار فيعذبون الى الابد لئلا
 الملعون لا يلبس وجنود من اجل انهم عصوا الله بغير كما فعل يسوع ابن نون
 بالذين عصوا اعليه من اهل ارجاء والاعميان فما دليل علم اهل اليهود
 والامم عن عبادات الله وفتح اعينهم اذ قيل على الذين اهدت وامر اليهود
 والامم بتعليم السيد واما سوا السيد فها وقوله ما اريد ان يكره
 جعل عاير يدكن وانما قد حرت عادات الكاثر هذا كسوا الله لادمر
 ابن انت ولتقايين ابن لغوك فكل سوا له معناه والمعنا في سوا السيد
 للامميين لانه كره انه يتوفر عليه من حضرة انما اداسا له وعده كما حرت
 عاداتهم من لما من العايرين بها فيظنون به انه لم يفتح اعينهم الا
 طلبا للافتخار والمديح لما قال له نريد ان نفتح اعيننا فوجه لها
 ضو البصر كي يظهر لها صر ان هذا هو كما في جنتها وللسمائل ان
 يقول لما ابراهيم فماذا لم يقل لها اتوسان في اني اقدر على ذلك
 كما قدما هذا لغيرها فيقال انه لما سألها عن اراحتهم تبين له من
 جوابها

جوابها كرت ايمانها واتباعها له ايضا لانه خرج من نيتهم ما تحققت
 لايمانها ولمسته لا عينهما ليفيدنا العلم انه بسلطانه يفعل ما يفعل ولا
 يستمد من غيره كما كان الانبياء يفعلون وللسمائل ان يقول ان من يقول
 انها كانا اعميان من قصر ولوقا يقولان انه كان واحد فها هي الهه في
 ذلك فيقال انها كانا اثنين وانما كان احدهما مع رفيا لتقاء وهو
 الذي سمي طبما كما ثما من قصر من اجل بوقته وقدمه الى السيد ولا
 يكون الاخر كان يتبعه فيما يكمل اسندا بشيران الامر اليه دون الاخر
 ولجميع انما كان قصد ذكر الاله حب * والسمع لله *

فصل الاصحاح السادس والعشرون

ولما فرغوا من اورشليم وجاءوا الى بيت عنيما فاجى عند جبل الزيتون
 حينئذ ارسل يسوع اثنين من تلاميذه وقال لهما اذهبا الى القرية
 التي امامكما فيجدان انا ثا من برطاجحسا معها فخذاهما واتيااني
 بهما فان قال لكما احد شيئا فتقولا له ان الرب محتاج لهما فهو رسلهما
 للوقت وكان هذا ليتما قبل من النبي قوله لا تبنت صهيون هاهودا
 ملكك يا بيت متواضعا كما على اتان وحجش ابن اتان فذهب لتقليدا
 وصنعا كما امرهما يسوع واتيا بالانان والفنوت وكاتياهما اعليهما وجلس

فجمعهم كثير فشواتياهم في الطريق ولخزون وقطمو اغصانا
من الشجر وفشوها في الطريق ولجمع الذي يقبله والذي يتبعه
صرخوا قائلين اوصنا لارج او ديبا لالتي يسرايت اوصنا في
الاعلا فلما دخلوا الى اورشليم ارتحت لمدينه كلها قائلين من هو
هذا فقال الجمع هذا هو يسوع النبي الذي من اصرته لجيله فدخل يسوع
الى الهيكل الذي يسمون ويشترون في الهيكل وقلب
موايد الصيارف وكراسي باعة الحمام وقال لهم مكتوب ان يقيم بيت
الصلاه يدعا وانتم جعلتموه مغارة للصوص التغيير يا انتم
البشر ذكر الانجيلي الذي علم السيد في الطريق وذكر ان
الاعيان يتبعاه حينئذ قبل يصوحا ليدخله الى اورشليم راكبا على
الحش والمخاض حوله يسبحون وكان هذا الامر شاه الى نوعين
الاول منهما ان يترقبوا ليقبوا ان يربط حشبه الكريه وان اتان
بالقضيب وقول زكريا قولوا لايت صهيون هاهنا هوذا ملككم ياتيكم
متواضعا راكبا على اتان وحش اتان والثاني ان يتواضع
نستفيد للتواضع ودان الملك اذا ركب الكوب على حمار فوبلا
شبهه متواضع ولكن ان يصار وينا البيعه ياتونه في ذلك والمنا
في الجمع الذي كان معه انقسم اربع طوائف كما قال ليشير ان قوما
كانوا

كانوا امامه وقوما كانوا يتبعونه وقوما كانوا يقطعون اغصانا من
الشجر ويغشوها في الطريق وقوما فشواتياهم في طريقه فلي
هذا ان المؤمنين به الذين يسبحون نعيم الآخرة يكونون مع طوائف
الاول طائفة السخا والثانية طائفة القديسين والثالثة طائفة
التائبين عرج فوجهم وخطاياهم والرابعة الاطفال الذين قد ولدوا
بالمعمودية وكادخل اوليكه الى اورشليم هكذا يدخلون هولاء ملكوت
السموات وهم يسبحون ويقدمون اسمهم الكريم وللشليل ان يقول
ان السيد دخل الى اورشليم مرات كثيره لم يكن احدهم يخرج للقائه
فما هو السبب الذي وجب خروج المخاض اليه في هذه الدفعة فيقال
ان هذا الامر كان نوعين الاول ان السيد بلغ اخر تدبيره اخرج قلوبهم
حتى فعلوا ذلك لكي يترقبوا النبي فيه انكم شاهدتم له راكبا ولتالي انه
قبل اليوم الذي دخل فيه الى اورشليم قد نزل بيت عينا عند سمعان
الابن مريم ولما دأع خبره ببيروشليم ولم يكن الوقت يحل خروج الناس
ولما كان لقد خرجوا للقائه ولروية العازل الذي قامه من قبره في
ذلك الوقت والمعاني لانانه والحش الاتان كانت دليله
على بني اسرائيل الذين قد ارتضوا بيت التوراه ولاؤا لناموس
والانبياء والحش كان دليل على الامم الذين لم يكن لهم رايه بالشحن

بل كانوا كالدواب التي لم تترك وركوبه آياتها كليهما دل على ادعان
 اليهود والامم للرؤية ولما كان كونه لهما من ضرب ليدل على انه
 لم يكنهما اعيان ولكن الاشياء التي تقدم ذكرها وما يجمع عن
 ويقال لهما ان النبي ان السيد انما يجدان انما نام بوطه
 وجثا معا فحلاها واتياني بها ومرفوعا لوقا يقول انه قال
 للتلميذ انما يجدان جثا مبروطا فحلاها واتياني به فقد لحقنا
 قول المبشرين في هذا المعنى فيقال ان قول الجميع صادق الا ان
 من اجل ان كانا كنت مفروقين ووقا ذكرنا الجثث خاصة من اجل ان
 السيد كان اكبا عليه عند دخوله ابروتيلوا واستغنيا بذه عن ذكر
 الايمان من نوع الاختصار وذلك انه كان جثا محملا بركبه احد
 فكان ركه عليه او كذا تضاعه واختصر المبشرين على ذكره فاما
 يوحنا فنكرت ما اختصر هذا المعنى قال وان يسوع وجد حمارا
 فركبه كما هو مكتوب ولم يزد على ذلك شيئا اخر وللسايل ان يقول
 ان هذا الاثان والجثث كان للسيد باصحا فاما معرفة ام كان طلبه
 لهما على غير معرفة لاصحا فاما لان يمكن انهما يكونان من البشر ايست لكونهما
 مبروطين فيقال ان لوقا يقول ان التلميذ انما فيما هما يجدان الجثث
 قال لهما ارباه لرحلان الجثث فقالا لهما ان الرب يحتاج اليه وهذا
 دليل

دليل على ان لهما اصبها ومن عظم لايه في قيام العازر من الاموات
 ليقولوا للتلميذ بعد معرفتهم ان السيد طاب لبنا شيئا اخر لان بلدم
 وبلدتا العازر متقاربتان وييل سايل فيقولان متى يقولان للتلميذ ان
 لما اتيا بالاثان والجثث تركا تياهما عليهما وجلس السيد فوقهما فقال
 لبعض المفشرين ان للتلميذ انما اتياهما قراها وفرشا التيا عليهما وان
 السيد صعد وجلس فوق التيا من الاثنين الذين كانوا قد قوته ويتبعوه
 بالسيحة فرد عليهم جماعة من العلماء قالوا ان الذين قلموه قد يمكن في
 قدرها السيد ما هو عظمته الا ان الامر كان علميا قد ذكرنا ان كان
 بقيت المبشرين يذكرون ذلك لان هذا من حلت الايات التي كان
 يحكي عليهم تشه طيرها وانما الذي عني به متى في ذلك هو ان التلميذ
 فرشا التيا على الجثث وكيدو دخل اليها ركبها عليه من اجل نبوت تركيا
 القابل قولوا لآيت جميعون ها هو داملك آيتك متواضعا رابعا
 على اثان وجثث ابن اتان والمفترض ان يقول ان كان مات جثته
 في ابطا قولوا لولا ان لا يكون المبشرين الاخر لم يذكرنا هذه الآية
 فقد ورد يوحنا في شان آيات اعظم من هذا ولم يذكرها احدا من
 المبشرين وهو ان السيد في غانا تجليل قلب لما اجمر واقام العازر

من القبر بعد اربعة ايام وما يشبه ذلك فيقال ان هذا الايات
التي اقردها يوحنا لم يشترك معه في ذكرها احد من المبشرين واما كروب
السيد على الجحش فقد اشترك المبشرون الاربعة في ذكره فاما بين هذين
القولين شبهه البته وللشاييل ان يقول ان هذا المعنى في قطع اغصان
الشجر وفرضها في الطريق فيقال الله لبني اسرائيل عاده في استقبال
الانبياء والانتقاء والصالحين ان يكون بايديهم اغصان الزيتون
وسمعوا الخبز وهكذا كانوا ايضا يستقبلون الملوك منهم اذ اعدوا
بالغلبه على اعدائهم لانهم استقبلوا ذلك من قول داود البار يعساوا
كالخلة وقوله وانا كالزيتون المجد في بيت الرب وكثرت شروهم
بقدمي السيد لغوه كما يتلقون الانبياء والملوك والمعروف ان الزيتون
والخضار لا تنمو الا في صخور ولا في سماء ولا في شمس وتلك
دلاله على شأنتها بحسب السيد المبشر التي في دايه في كل زمان
وقت وللشاييل ان يقول ان الذي لتقوا السيد كان معهم اغصان
الزيتون وسمعوا الخبز فاما اغصان الزيتون فهي موجودة في تلك
النواحي واما سمعوا الخبز فليس له في تلك النواحي وجود البته فمن
ايركان وجوده لم يرحى يكون معهم عند لقائه فيقال ان سمعوا الخبز لم

يذكر

يذكره احد من المبشرين شوا يوحنا حسب وهكذا قال من اغد مع الجمع
الكثير الذين جاوا الى العيد ان يسوع ياتي الى يروشلیم اخذوا سمعوا الخبز
وخرجوا للقائه وذكر ان العاده كانت جارية للذين ياتون الى العيد
في كل سنة من النواحي التي يكون بها خبز مثل العربيين والجنانيين
والواصلين من اريحا ونحوها لانهم مع وفده عديت الخبز وغيرهم كانوا
يستحبون معهم سمعوا الخبز لانه على جميعهم الى العيد في تلك النواحي
ولما هموا يقدومون السيد يخرجوا للقائه وسمعوا الخبز ايدهم وهذا هو
السبب في وجود سمعوا الخبز في ذلك الوقت هو انما صرخ الجمع الذي
تقدموا الذي يتبعه وقوله اوصنا لابن داود اوصنا في العاده
لفظة اوصنا هي ربيته وهي العبرانية اوصنا وتفسيرها التسبحه
وتقال ايضا الخلاص وتقديرا الكلام هكذا الخلاص التسبحه لابن
داود الخلاص التسبحه في العاده والذين كانوا يصرون هم
التلاميذ والعامة فاما التلاميذ فقد ذكرهم لوقا بمفرده والعامة
فانه علم ما ذكروا المبشرين جميعهم واما كتبنا ليمود وكنتهم
ومشاجمهم فما نطقوا ابدا بل كانوا يجتهدون في اسكات الجمع من
شخصه السيد فما قدوا على ذلك وللشاييل ان يقول ان لوقا يقول
ان السيد اقرب من الانبياء بكاء عليها وقال استاتي يا بني اعداوك

مما ملك ويحيط بك فيها أعدائك ويضيئون عليك من كل موضع
وتقبلونك وينوبك فيك ولا يتركوك فيك جحرا على حجر لا يسر
عليه من شقائك فل ترم هذا القول عليها ام سيكون فيما بعد يقال
ان ذلك لقوا قد تم وكان ذلك ان يرون ملك لوزا الذي كان قتل
بطرس وبولس وفي ايامه قتل مرقس الاسكندر ويقفوا بلخوا الرب
ايضا في ايامه قتل اليهود عليه بالبيت المقدس وقتلوه وكان قد سمع
ان اليهود يفلسطين قد عصوا عليه وقاموا على الوالي من قبله
وقتلوه فخرج لهم عسكرا وقدر عليه انبانيا نوس عظيم امر اوله
وذلك كان في السنة التاسعة من ملكه ويكون بعد صعود السيد
بأحد وثلاثون سنة ولما وصل انبانيا نوس الى يروشليم منع
اليهود من الدخول اليها فحاصروهم وجعلها القتال واقام
عليها اربعين سنة اربعة سنين ولما دنا فتحها اتصل الحربة
بان يرون الملك قد خرج اعتراه جنون وقتل من اولاده واقاربيه
جماعة وبعد ذلك قتل نفسه وان غلبا من قيص ملك بعده واقام
سبعة اشهر وقتل وملك بعده اوتون واقام ثلث اشهر ومات
والملك لان بيد قبطا نوس ولما سمع هذا ترك حصار يروشليم
وقصد

وقصد ومعه في طلب الملك ولما وصل الي يروشليم حاصرها ملكا وفي
السنة الثانية من ملكه خرج عسكرا عظيما مع طيطوس ولده الذي
حاصره ملكا ارسله الى يروشليم ولما وصل الى يروشليم فنزل عليها
في السنة الثالثة من ملك ابية محاصرهم من كل جانب وهدم صورها
وقال لها قتا لا شديدا واشتد لعلنا نفتحها الى احد الذي يهرب من يدنا
ومات من الجوع ما خلقا كثيرا وبلغ امر العلاء الى ان كانت النساء
يبيعن اولادهن وياكلون لحومهن وبعد ذلك فتحها بالسيف وقتل
الذين كانوا بها تسعين الفا والاف وثمان وعشرين واحدا واما
الذين سبوا اسارى فابعد على المائة الف وبعد حرق الهيكل
ودماره وحرق جميع المصاحف وفي هذا اليوم عدم كثير من كتب
الشريعة اليهودية شي كثير منه ما وجد بعد تسعين سنة ومنه ما عدم
الى يومنا هذا فبعد تسعين سنة في خراب يروشليم بعد صعود السيد
بشبعه وثلاثين سنة فاما ياك السيد على يروشليم فكان ذلك
حتى يحرق اشوته واشتاقا على الناس السكان بها ما يول اسم
اليه من اجل خلاصته ويادهم على الراي القاسد وهو امر الردي
وان خطا يافهم قد عظم الى احد الذي يبكي عليه واما قوله ولما
دخل الى يروشليم ارتحت المدينة كلها فتكون هذا ففعل

ثانيه قد اُتحت من اجل اما الاولى عند ورود المجرى والثانيه
 عند دخوله السمك الى البحر والجميع يزفونه بالتبجح وقول
 الجميع هذا هو النبي الذي من اخصرت الحليل وكان ذلك القول منهم
 اعظاما له واجلالا على قداما وصلت عقولهم اليه واضر لم يوقعوا
 على كنه معرفته على الحقيقة لاهم كانوا يظنون انه بن جليل ولم
 يظنهم انه اله السموات والارض وسيد الانبياء وينزل وحبه
 عليهم بالنبوت واما قوله قد دخل يسوع الى هيكل الله واخرج الذين
 يبيعون ويشتررون في الهيكل واقلب وايد الصيارف وكراشي
 باعة الحمام وقال لهم مكتوب ان بيتي بيت الصلاة يدعوا وانتم
 جعلتموه مغارة للصوص وذلك ان فعل هذا المعصاة انواعه
 الاول ان اليهود لما اخرج الملك عنهم صاروا يورهم مردوده الى
 الكهنة يندبون باسمهم وتحت طاعتهم كانوا تحت طاعة
 الملوك فامروا الناس ان يكون في كل سنة عند قرب العيد
 يبيعون ويشتررون في الهيكل اما الحيوانات التي يقسم
 لها بائع القرايين لاجل شركتهم باعتموه وذلك ان الانسان
 كان يبتاع منهم شيئا ويقر به فيقولون له لا يصح هذا
 قران امعي يبيعه وابتاع غيره فيحتاج ذلك الانسان الى
 ان

ان يبيع ما قد اشتراه بخسران ويشترى غيره بنسخ وكان يحصل
 لهم من هذا الشركه اموال جريده وكانوا ينصبون ما يأخذونه
 من هذه الشركه الى هيكل الله وبعد هذا يقسمون عليهم بالشرب
 ولهذا قال لهم انكم جعلتم بيت الصلاة مغارة للصوص واما الذي يبيع
 ويشترى غير الحيوانات فكانت من اجل الفراء الذين يأتون الى
 العيد ولا يكون لهم مكانا ينزلون فيه سوى الهيكل ليكون الذي يحتاج
 اليه قريبا منكم وليس ذلك كان عنايه بالفراء بل غيرهم ولما
 كان لاجل ان الفراء الذين يأتون الى العيد ليس لهم لا ياون فيه
 يخفون معهم كلمه الهيكل وينزلون فيه فكلما يبيع ويشترى في
 الهيكل فيه شحه ومهماذا اخرجهم والثاني ان زمان دسح
 الحيوانات قد انقضا من اجل دسحه جسد الكره الذي كان به
 كاللثه الاولى واغناكل الناس عن التطهير بدم الحيوانات
 لانه كاللثه الاولى وحمل الله المقرب عن الناس بشهرهم
 والثالث ليعلمنا ان الدينجه لله هي خلاص النيات وكثير هو
 وتطهير القلوب بلاشفاق ما الحيوانات والاربع ليري سلطان
 وغيره على بيت ابيه لتمام قول النبوة ان غير بيتك كلتنق للشايل

ان يقول امر موسى ان تكون القرابين من احيوانات لا من غير حافيات
ان موسى اذن بذلك لئلا يترأسيل من اجل عوايدهم الرديئة لان اهورا
كانت تجرى مجرى اهورا لصيان الذي يحتاجون الى هداياه ورياضة
وذلك امر كانوا يعبدون الاصنام ويفعلون لها الحيوانات ولما تحقق
موسى خروجهم من مصر معه الى البرية بعد ان كان منهم من عبادت
الاصنام وامرهم عند الخروج ان يقولوا لله من الحيوانات حتى انه لا
ينقص من الارض جميعا وللشاي ان يقول ان متى مرفق ووقا
يتولون ان السيد اخرج الذين يبيعون في العيد الذي بعد كان
مليه المقدس وقامه ويحنا يقول ان العيد الذي كان بعد عيادة
وهذا تفاوت كثير بينهم فيقال ان اخر احواله الباعه من الهيكل كان
قد جرى في فميتين لان المبشرين لثلاثة استغنوا بذكر الثانية
عن الاولى لاجل ان المفا كان فيها ولعله فاما يوحنا فما ذكر
شوي لاوله وذلك انه استغنا بقول المبشرين عن شي كثير يذكره
في بشارة واورديحا كثيرا كان المبشرين قد استغنوا عن
ذكره وعلو اروح القدس ان يوحنا شيوره في بشارة ودليل
ذلك ان لوقه الاولى كان في الهيكل بقر وغيره كما شهد يوحنا
والثانية

والثانية لكي فيه تقرأ ولا عنهم والاوله قال لهم تجعلون بيت ابي بيت
التجارة والثانية قال لهم تجعلون بيتا لصلاته مفانا للصوم والاوله
قالوا له اي اية ترين حتى تفعل هذا الافعال لان ذلك الوقت كان اول
البدايه في عمل الايات لان اكثرهم لم يكن بعد قد شاهد
منه ايات والثانية لم يقدروا يقولون له هذه
القول من عظم الايات التي كان يصنعها المظور
في احيائه المقدس وكانوا يشاهدونها الاولى قال لان غيرت بيتك
اكثر من والثانية لم يقول هذا القول فمن هذا نرى انه كان قد طرد
الباعه والصابغ من الهيكل فميتين واورديحا من اجل الاتان
ولجش قال الاتان هي قلت لمعرفة با الله التي كانت في الناس
ذلك الزمان الذي كانوا يعبدون فيه الدواب ويشبهون فيه البهايم
التي ليس عقل ولا نطق ولجش هو شعب الامم الذين كانوا من سبطين
رباط الشيطان في عبادت الاوثان الذين جعلهم السيد من كل الربا
بلايده القديسين والكتاب الذي جعلوها عليه وجلس فوقها
هي تعاليم التلاميذ التي اعطوها لشعب الامم التي جلس عليها
الرب تجلسه على الشارب والكتاب التي فسرناها في الطريق

نشبه المؤمنين الذين شاهدوا ونشأوا بتعاليم التلاميذ الذين استوا
بأولهم فطرحوها تحت أرجل التلاميذ والاعصان الذي قطعوها
من الشجرة شبه هبة الله التي جعلت على جسد آدم ولحم الذي كان يديه
والذي يتبعه وفهم يصرخون ويقولون المجد لك يا داود مبارك الذي
يسمى الرب والمجد في لعلاء أشاء أن كل الأمم تتبعه وتجدد أمته
فصل الأصحاح الثامن والأربعون

وقد أمر الله عيانياً في الهيكل فشغافهم فرأى رؤس الكهنة والكتبة
الجائسين التي صنعوا الصبيان يصيحون في الهيكل ويقولون أوصتاً
لأبن داود فتعجبوا وقالوا له ما نسمع ما يقول هؤلاء فقال لهم
نعم وأما أنا فمقطاً أن من أفواه الأطفال الرضعا نعدت سبحات وركم
وخرج خارج المدينة وبات هناك في بيت عبيد التقيين رجبان
فلم أن هؤلاء المؤمنين والمرح الذين كانوا في ذلك المكان وشغافهم
التي إذا ما كان جلوسهم يسألون الصدقة لما أخرج السيد للناس من
الهيكل صعب عليهم كثير جداً وخرجوا من أجل ما كانوا يتناولونه من الصدقة
حسبوا ولم يسموا اتفاقاً أصوات الأطفال الرضعا مع الجمع في التسبحة
عليها

عليها أن ذلك ليس هو باطلاً لا يسمعوا أصوات الأطفال الذين يرضون
الذين من يديها تهاشم قد انفتحت مع أصوات الكبار في التسبحة والتوا
في جأله وحده فتعجبوا جلال السيد وخصوا إليه قاصدين التبارك
منه لما رأوا الجمع عن مصغر قدوة لهم إلى ولعله بنياتهم وما قد انطورت
عليه ضايرهم بحبيبه شغافهم لوقت من حيث لم يسلم عن شيء كما كان قد
يسلم غيرهم وفعل هذه الآية لتوعين الأول منهم الله أراد تقوية عن
الذين كانوا أحوله يصرخون بالتسبحة ليلالو بحمهم الكهنة على التسبحة ويتوا
لهم ما هو الذي لا يتم حتى انقسم أنفسهم وما هو الذي لا يجد لكم صراخكم من
النفع والثاني أنه كان قد لا يلبس الكيان والمرح قد أنت عليهم الكابة
لخو الهيكل من الذين كانوا يصدقون منهم ثم را هم وقد خصوا إليه بعد
ذلك مبررين متعجبين عليهم فما انطقوا لاطفال فان الآية فيهم
كأنه أفضل من تتبع عيني الإيمان وأخاف المؤمنين وذا أن كثير منهم
كان يرضع لبن وأولاً فوق الطبيعة وخارج عن الغريزة وحسبهم روح
القدس على الحركه والقول حتى انفتوا مع الكبار الذين قد لبسوا أشدهم في
التسبحة غير العاظم ولا في أصواتهم وأما تفهم رؤس الكهنة والكتبة
فكان ذلك منهم لما أصابهم من الغم حين رأوا ذلك الجلال العظيم لأول

انهم اواجماع الشعب حوله وميل اليه والتاني بتب عظم الآيات
التي شاهدوها والتزاما كان يسوع هم انفاق الرضعان مع الكبار ونطقهم
بالشباب معهم بالسواء ولا فرق بين ان يلومهم كما كانوا يلوموا الكبار
ولا كانوا يقدرون ان يفتبوا فلعلمهم الغواية او الي غلط او الي غبط
وتعذرة ميل اليه من اجل السنخ لم تبلغ الي الحد الذي يكون فيه النطق
واما قوله اما تشع ما يقول ولا اري ان هذا الشاب يسوع فوق قدرك
وغير لايته بك لانما اعلن جوه البشريتين وليس لك ان تقبلها ممانع
يقولون ما لا ينبغي ان يكون لك ولا يحجان يقال فيك فكان جوابه
لهم اما افرظ ان من افواه الاطفال اعدت لك شجعا اياي انه لو قرأ شر
لقرض خرج كلاد النبوة وفخر قوت ما سبق به من قول النبي وانتم لا تعلم
من ذلك علم جلال اقدار النبوة ولقد كنت اريد ان تكونوا اذ اعابتمتم
هذا ذكرتم قول النبوة انه قد جاء ثمرة ثمرة تركم وخرج خارج المدينة
وللشباب ان يقول هل هو لاي الاطفال كانوا يعرفون تماقد اقربا به
بافواههم ام كانوا يقولون ما ليس ثابت في قلوبهم فيقال لان النبي
قال من افواه الاطفال الرضعان ولا يقول من قلوبهم وانما كان غموم
تجيد من تنجحة المخلص وتبسيم اباهم حسب ولما انقضا ذلك اوقرة
عادوا

عادوا الي جالوتهم الاولين وكان ذلك فضل لنا كيد لاية والمجد لله

قصص الاحكام الثامن والاربعين

وفي غدا جمع الي المدينة فجاج ونظر شجرت تين علي الطريق
فجا اليها فامر تلميذيهما ان يذوقا فقط فقالا لها لا يخرج منك
ثمرو الي المذق فيبت تلك الشجرة فنظر لتلايد وتجبوا وقالوا
كيف عشت البته للوقت اجاب يسوع وقال لهم احكموا قولكم ان
كان لكم ايمان ولا تشكون ليس مثل هذه الشجرة التي تصعرون
لكن اذ اقلتم لهذا الجبل ثما او اسقط في البحر فيكون وكلما تساونه
باسمي في الصلاة تسألون القسيير يصومون عمارات البشر ان
يصنع حال الامور علي ما كنت عليه في الظاهر كقوله في هيرودس
انه حزن وانما كان اظهر الحزن وفي حجب وخلافة وكذا لك قالها هنا
الله من العجاء اي انه اظهر جايغ وكان مدهبه في ذلك الي شيء
اخر وقد تبين في غير موضع ان السيد كان يفعل افعا لا يريد
في الساعة غيرها فيتوهم الناظرون شيئا وهو يقصد منفعة
اخرى غير الذي يتوهمه المتوهم كما عند محي المكناثية اليه اديطن
به انه ممنوع مستغني في ابرا ابتها وكان ترضيه وتباطيه في

في امرها كي يظهر بحضرت موهوبه وذلك سأل عند دنوا
النافذة المخرج نأمني واراد هذا ان يوضح العجوبة
وبدل على ايمان المرء فقد نرى هذه الامور بعينها انه قد فعلها
ها هنا وذلك لانه كان من معاني هذا الحين على الدوام ان التامر
بالصلب عن خلاص جميع العالم وكان قصده الا نفع الخواص
عنده ذلك ليلا يصير وافي شك لان الصلب كان يدخل عليهم
توهم الضعف فكانه قد سبقوا علمه انه سوف يتوجع بمشيته
وكرر عليهم ذلك القول مرات كثيرة ليبين لهم ان ليس بغير مشيته
يتام فكان يفعل امور كثيرة بحضرت التلاميذ من غير مثل انتصار
الريح والعمر مثل صيد السمك ومثل التجمل على طول نابور وما اشبه
ذلك فلما اراد تأكيد الامر انه يقبل امر الصلب مشيته فعل هذه
المعجزه بحضرت التلاميذ في الشجرة ليظهر حوله وقوته في غير
حيوان اما منهم لانه غير لائق ان يفعل مثل هذا الفعل في انسان
يقضي عليه بالموت فيكون قد اظهر بها عزته وقدرته بنفسه
الصورة البشرية بل انه قصد في الشجرة لانها اذا قطعت لا تنقل
وطولتها شريفا فحفظها بكماله للموت وكان اظهاره لجمع هرا
من

من لتوهم عليه انه انما فعل هذا ليصديه طلب لاختبار فعلها به
نحوها بسبب الجمع ولا فرق هو هذا الذي قبله من جملة ان يظن ان
السيد قد غلب عليه الجمع من غدا فحجى بيحيى الى شجرة الزيتون في غير الحين
الذي تعرف فيه لياكل منها وزمان لئلا ينجح على احد من الناس
لا سيما هو الاكثر بل ان اراد اظهار قوته لتلاميذه بقوله الجمع ليلا
يتوقوا انه يضعفه يقاوم امر الصلب وليعلم ايضا انه كما اظهر قوته
في الحيوان اراد ايضا اظهارها في نبات فقد بان لكل ذي لب ان
دوره في الشجرة كركن عن جوع بل انه جعل يملك الجمع ظهور تلك الآية
وكا ان شرب النبي عرت ادم الاول من هبائه ومجده وجلت عليه بشيئا
فصبت الموت هكذا فعل ادم الثاني بشجرة النبي عراها من اوراقها
ونشوطها وجعلها يا بسنه بحفقه وما يفرض عنه ويقال ان
من يقول ان السيد لما في الشجرة يثبت لوقتتها ومرفق يقول انمرا
جاءوا بها في غلات غدا فراءوها فذجعة من اصلها وهذا خلاف
بينهما فيقال ان القولين صادقان وذلك ان الشجرة مع امير
السديت اوراقها لوقتتها كما قال النبي في غلات غدا لما اجتازوا بها
نظروها وقد جعة من اصلها والقولان صادقان وللسايل ان يقول
ان السيد قد صنع آيات كثيرة بحضرت تلاميذه فها هو المبح في تعجبهم

من جنات الشجر وقد شاهدوا من آياته ما هو أشرف من هذا العجوبة
فقال قوم من القرقيصوت المفسرين ان تعجب للتلاميذ لم يكن منحصر
لعظم الآية وانما كان منهم لأن الآيات التي فعلها السيد قبل هذا كان
فيها للناس نفع وفائدة وهذا الآية كان فيها اقتران الهلاك ومضرة
للناس ومن هنا كان تعجبهم لأن هذا كانت اول آية صنعها السيد
وحصل للناس منها مضرة فرحبهم بعض العلماء وقالوا ان هذا القول
لم يثبت وذلك قبل هذا الآية لما جاء الى كورت البحر جثتين اطلقت
للسياطين ان تدخل في خنازيرهم فدخل الشياطين فيها فقتلها
فصعدت الى الجحيم وقعت في البحر فاحتنقت وكانت تحوم على العين
خزيرة وانما كان السبب في تعجب التلاميذ هو خبرهم عن ان بطريرك
الاشجار التي تجوز لونها الابد من الزمان بالتدريج وذلك ان
من الاشجار ما يقطع بالغانس ويجعل في حرارت الشمس زمانا كبيرا
ورطوبته تآكله فيه على ما زاهد عيانا وهذه الشجرة وكان ذلك الوقت
زمان ليونستاه وكثرت رطوبتها وخضرتها وراقها فلما شاهدوا
خضرتها وحسنها ثم جفافها لوقتها تعجبوا وكانوا عواما من
تعجبهم والمعرض ان يقول الله ليس كان من العدم لقد صنعها السيد
مع صاحب الشجرة ومع صاحب الخنازير ايضا فيقال ان الله عز وجل في
أفعاله

أفعاله اشرف عامته فلا يدركها الاله والذين تكشروا بالاناب
الالهية والموهبة الربانية فالذي قد فعله السيد في الخنازير والشجر
فكان قصده نوعين الاول منها فانه قد علم على قدرته بانه يحيي ويميت
بغير ما نفع وللتاني دليل على ان سلطانه جابر في الارض من ان يطيعه
ويحفظ وصيته ويحبه من كل قلبه وذلك لما اتى الى كورت البحر جثتين
وداع خبره فيهما المرات احد عشر آية ولما كانوا من حلتا لوتين
امتنع السيد من خضوله الى قمار يعلم فيهم لجل انهم من الكفر الغريبة
ودليل ذلك فتنهم الخنازير لان اليهود لم يطلوهم ان ياكلوا
البنة والعلف في امتناعه من التعليم في قمارهم لئلا يتجدد لهم رجاء
في كفرية فاما الذين كانوا ياتون اليه من المشركين فما كان يجيب
سعيهم كما قد عرف من امرقايد لما به ولكن عانيه وغيرها ولما ابوا
البحر جثتين ان ياتوا اليه واراد ان يبينهم بانهم عاجز ويودعهم
بأفقه المنفعة لنفوسهم وذلك انهم لما سمعوا من الرعاة خبر المجتوبين
وخبر الخنازير من رجاء للقاءه بخوف عظيم ومع شدة ما اصابهم شاوله
سوالا ان يتحول عنهم فكان اضرأهم بغير الخنازير فأيده لخلاص
انفسهم ولما شاهدوا المجتوبين قد غفلا هلي نفوسهم ازدادوا خوفا
وثبت عندهم جلال الله وكان ذلك رايضه لهم ومنفعة لنفوسهم

حتى ان التلاميذ لما بشروا فيهم بعد قيامته السيد اجابوا الى دعوتهم
بسرعة وهكذا اصلح شجرت التين عند اجيئنا السيد فورا كب علي
الحش وكان بعض الجمع يتبعونهم ويقطعون اغصاناً من الشجر
ويغرسونها في طريقه وكان قايما على الطريق مثل مستمري ثم منع الذين
يقطعون من اغصان الشجر ان يقطعوا من تلك الشجر شيئا فادبه
السيد بخفاها ووفعه في نفسه وان كان اول من امن به في اورشليم
علي يدي الحواريين بعد قيامته السيد فكان غرقا في مخاض ومجنا في الشجر
ليس هو من اجور بل من العذ ولا كان من المضرب بل كان من المنفعة لكن
بجي السيد لم يكن من اجل الدنيا بل من اجل الاخر فكتب واما قوله ائت
اقول لكم ان كان لكم ايمان ولا تشكوا ليس مثل هذه الشجرت التين
تصنعون لكن تقولوا لهذا الجبل تهلا واسقط في البحر فيكون المفع
في ذلك ان ليس جفاق الشجر عندنا اتي قادر عليه ليس هو من العجب
وليت اذا ائتمعتكم ان ائتم صدقتم اقول لكم يا اباي ان خالص من الشك
بشهادة الاله ان تفعلوا مثل اكثر من هذا اضعافا كثيرة انكم لا ابدعتم الشك
من نفوسكم ان تفعلوا هذا الجبل بالقول وتدفون به في البحر
ولا يصعب عليكم وكلما اتينا لونه في صلاة بذلك ايمان اذا كان ما
يسوع

يسوع ويجوز تسعون به وتجاوبون اليه كبرئته فيسرع من اجل شجرت
التين قال شجرت التين هي جمع اليهود والانبيا الذين في القيتة
فلما اتى الرب يطلب فيهم شجرت ربح القدر فلم يجد في جمع اليهود
الا ذوقا فقط الذي هو كلام الناموس بل قوت ربح القدر فقال
لها لا يخذ منك ثمره الى الابد فثبتت تلك الشجرة وللوقت لانه
لما كان ان نظر الرب انه ليس في جمع اليهود غرور وحنانية لعنه
يعني انه ابطل سيرهم وعوايدهم ونهاياهم وغير كل شيء له في الحداثة
الروحانية والسمع لله دائما ابديا سرمديا

قصر الاصحاح التاسع والاربعون

ولما دخل الى الهيكل جاء اليه اذ هو يعلم رؤوسا الكهنة وشيوخ الشعب
قائلين ياي سلطان تفعل هذا ومن اعطاك هذا السلطان لجأب
يسوع وقال لهم انا ايضا اسالكم فقول فان قلتم لي قلت لكم ياي
سلطان افعل هذا معمودية يوحنا من اي شيء من السماء او من الناس
فقلوا في نفوسكم قائلين ان قلنا من السماء يقول لنا لماذا لم تقتلوا
وان قلنا اننا من الناس نخاف من الجمع لان يوحنا كان عندهم مثل نبي

فاجابوا قائلوا ما نعلم فقال لهم يسوع ولا انا ايضا اقول لكم باي
سلطان فعلت هذا الافعال القسرية قد سبق الايضاح في
غير موضع ان يسوع ليس هو السيد بل من يسلط في ايده يستغنيدها
منه بل انهم كانوا يسمونه علي سبيل الامتحان والفتنة لعلهم ان يسموا منه
ما يرجون به حجه عليه فلما سمعوا انه قد اتى الي الهيكل والجمع حوله
يسمعون تعليمه اتى اليه رؤساء الكهنة وشيوخ الشعب ليشالوه بدعوى
سؤالهم ما غشا وخبثا وذلك لغير الامر قدرا او جميع الشعب حوله
وقدمه حده ومجده فوجدوا نفوق قدر الانبياء واصدقهم فارادوا
بكرهم ان يتيالوه هذا السؤال حتي يجدوا من جوابه البيل علي تعزيت
الجمع حوله فقالوا وجميع يسمعون باي سلطان تفعل هذا ومن
اعطاك هذا السلطان وكان قصدهم انه ان قال انه يفعل بسلطان
الله وجدوا البيل الي ان ينهوا الشعب عن ذلك لتسابيح ويفتخروا
علي ذلك تعينا مراما ويحتجون عليهم باقراره واعتراؤه بانه ليس يفعل
ما يفعل سلطان نفسه وانه ان قال انه يفعل بسلطان نفسه
فنتبوه الي مديح نفسه واقاموا عليه الحجة بذلك القول في
انتهاج الواقعة فيه حينئذ اجابهم علي سؤالهم الجئت بما بكتهم ونكت
دغل

دغل مسئلتهم وقال لهم ما قولكم في معمودية يوحنا من اين هي من السما او من
الناس وكان قصده بذلك انهم ان قالوا من السما اقال لهم ادا كنتم
تؤمنون بالله وان يوحنا قد ارسل من عند الله فلا تذكروا كلامه وشهادته
لي وخبره وبيان امره من ان يارج لك الكلام وتلك الشهادة وان كان
عندكم كذابا وليس من عند الله فيجوابا عندكم فيه صرا اما الجمع
علانيه لما فهموا امره في سؤاله لهم انفقوا الي الانكار باعترافهم
خدا ام وجوب الحجة عليهم ولما اجابهم السيد علي انكارهم لم ينكر هو
معرفته الجواب في سؤالهم بل قال لهم ادا كنتم انتم لا تشاؤون ان
تقولوا الحق لن تسموا مني فيما سألتم جوابا فيقولون يفسر من
بطل الذين يتيالوا باي سلطان تفعل هذا قال الله لهم يخرج مع سؤالهم
الذين يتيالوا ولكنه يعلم ان يتصلب مع المتعجبين الذين يتيالوا
بكرهم وحدايتهم لانهم لا يسمون الله منفعه والمجد لله

فصل الاصحاح الخمسون

ما ذا تظنون انه كان انسان له ابنان فجاء الي الاول وقال له يا بني
اهب الي اورشليم في الكرم قال له نعم يا رب انا اذهب ولم يمتنع وجا

ويذبح الكرم في عمله آخرين يقطعونه ثمرة في حينها فقال لهم يسوع اما
فرا ترقط في الكتف الحجر الذي له التناون هذا صار رأس الزاوية
هنا كان من قبل الرب وهو عيب في اعيننا من اجل هذا اقول لكم ان ملكوت
الله تنزع منكم وتقطعا لام اخر يصنعون ثمنا ومن يقطع على هذا الحجر
يتضرر ومن يقطع هو عليه يقطع فلما سمع روثا الكهنة والفرسيون
امثاله علموا انه يقول انهم ان يمسكوه وخافوا من الجمع لانه كان
عندهم مثل نبي والمجد لله **التفسير** سبحانه ان تعلم ان السيد
بعد ان دبر ذلك المثل على كفت اليهود ومشايخهم وقلت طاعتهم
وظهور عصيانهم وبينهم في ذلك الوقت اشهر العشائر والزناة
اقبل الان يوحى في هذا المثل الاخر باخر شير تكبر شر عظيمما وانه
شوف من ههنا عقاب يتاكل فكلهم فعني هاهنا رب لكم انه الله الاب
جل ذكره وعني بالكرم الذي غرسه امت بني اسرائيل التي انشئت لبلاد
الله وخشيته وعني بالسياح الشريعة التي اوتاهها ايلي لتوراه وسنحها
التي اعناهم الله بها فكانوا من بعد بعد لم عن الخضوع للمصريين قد
صاروا محفوظين في ارضهم التي انتزعها من الامم ودفعها اليهم وبها
كانوا عباييون الامم كانوا محفوضون بحصن منيع وعني بالمعصرة الملك الذي
كان يشفك عليه دما الديار التي كانت لليهود تفرها الله على الذي
الكهنة

الكهنة وعني بالرج الهيكل الذي كانوا يجتمعون فيه ويعقرون الله ثمنا
الفضيلة وكانون فيه كل شيء كوصايا التوراه وعني بالفعل شريعة الكهنة
وسمع الذين هم مقلدون هداية الشب وحتمهم على التعريب لله ثمنا
الفضيلة بالتيه النقية من قبل تعليم التوراه وعني بالمعبدا الانبياء الذين
اتواهم في زمان بعد زمان ليطلبوا اليهم لا يكونوا ظالمين لما يجب لله
عليهم وقد استلوا الي الكهنة ايضا لكن الموعظة المتواترة كانت
تكون في الانبياء الي الكهنة كالوعظ للذين يكونون سبب لشرفهم
وعني بالفعل الكهنة بالمعبدا لتقاسوها الانبياء من بني اسرائيل
في عصر بعد عصر وعني بالابن د لاله علي محبيه يتجسد في شبه
المعبد وقوله لهم يستحقون من ابني فاذا ذلك وان كان قد سبق في
علمه افر يقتلونه حتى لا يبقى لهم عدل لان علم العالم بالشيء ليس هو السبب
في الفعل بل الفاعل هو السبب في علم العالم وعني بتولمذ ان هذا هو الواجب
تالوا يقتله وناخذ يراة اي هم كانوا يريدون قتله لاجل ان الشعب
كان ميل اليه فكانوا يتولمذون افراد يقتلوه اخر جوه عن سلطان ملكه
الذي كان له على الشعب ولا ينفذ حبيد عليه مخوف وانما العاصود
ترجع اليهم واليه ويقيم اليه يستحق كالمادة وعني افر اخلاص
واخر جوه حاج الكرم وقوله اي افر يستحقون علي صلبه وحجر جوه حاج

المدينة ويقولونه ونسب الفعل في ذلك الى نياهم ودوافهم واما سؤاله اياهم
وقولهم فاذا جازب لكم ماذا يفعل اولايك لفعله قالوا له الازديا بالري
يملككم وينفع لكم في فعله اخرون يعطونه ثم تد في حياهم فالادان يلجئهم
بسؤاله الى ان يوجبوا على انفسهم حكم الحاكم بالفقوة والذكاء من
حيث انهم لم يفهموا معناه سؤاله واما قوله لهم كادوا النبوة ان الحجر الذي رده
البنائون وهذا صار ائسا الراوية يعني ان قول النبوة قد كلف في الحجر
الذي يشير به عن نفسه والبنائون يشير بهم الى الكفنة والحباريين
ائسا السيل الذين كانوا يردونه ويقصدون وقوادسه وتعلمه ويقولون
لا تباعة ولذيق حوله ان هذا ليرد من الله لكي يشترجهم عنه الى
رياستهم ورائس الراوية يعني به ان بعد قيامته تنتشر دعوته في
اما في الارض وتجمع الامم اليهم في عبادته ولحده ونطو ولحده
وتلازمون بالارتصا الى الله ولحده واتفاق ولحده حتى ان هاتين
الطائفتين اعني شعب اليهود وشعب الامم يكونان بعدا بعدا لعظيم
الذي بينهما مثل الحيطين اللتين قد منعتم اوبه ولحده وفوق
تلك الراوية حجر برطحيطين معا الذي هو المسيح راس المؤمنين
به وقوله هذا كان من قبل الرب وهو عجيب في عيننا الازديا ان
هولاي

وسه

هولاي واولاي كانوا اقباعدين بعد الفوق الوصف فاذا اجتمعتم الى ما
كانوا من قبل المسيح اخوة ومحبين ولهذا يصيرون عجا هولاي
يرجعون من الظلال واولاي يكونون عبادهم الاوثان ويرجعون
عن عبادتهم القبيحة ويصيرون جميعهم بعدا لتنافر الى الايمان
بالمسيح بالله ولحده ونفاق ولحده وقوله اقول لكم ان من ملكوت الله
تخرج منكم وتقطعا لأمم اخر يصنعون ثم تها المعاني ذلك ان
بعد استشهاده يقول الملكنا شرح لهم ما تاتي عليهم من اتياع
كهنهم ورياستهم وان ذلك يصير الى الامم الغريبة الذين يملكون
الوصايا مع ايمانهم ويكونون زبنا الملكوت وهم يلقون خارجا
وقوله من يسقط عليه هذا الحجر يضره ومن يسقط عليه يطحنه
المعاني ذلك ان الله لما اداع ما سياتي عليهم في هذه الدنيا خاصة
لم يقنعهم ذلك حتى انه صدح قلوبهم بما شابه ان يضرهم في
المستأنف فقال ان مثل مقاومتكم لا يقاومة الرجاء للحجر
فالذي يقصد منكم مقاومه اليهود رجته ورياسته فهو يسقط
فيتضرر والاخر الذي منكم ينه خبيثه ويضر الى السوء في قلبه
من غير مقاومه ينزل به السخط فيطحنه وذاك ان هاتين الغريبتين

يصلون عذاب الدنيا وعذاب الآخرة بمجازات العدل على فعلهم
 وبناتهم اما عذاب الدنيا فان لهم يتسلطون عليهم فيشتاقونهم
 بالتيق والبقى وفي الآخرة بالعذاب الموبد الذي لا انفعا له اغ يفور
 يغتر من اجل مثل الكرم قال انسان رب اكفر هو الله ما لك
 الكتمان الشبه والكرم هو شعب اليهود الذي غرسه في ارض الموعد
 والقيح الذي بناه عليه فوئاموس موتى الذي ويحفظ مثل
 الحطير لئلا يختلطوا بالام والمقصود التي احتقرها فيه يعني الدايح
 التي كانوا يقدونها والبرج الذي بناه فيه هو المذبح والكرامون هم
 مملوكو الناموس في العبيد الذين ارسلهم في الدنيا المرسلون في كل
 زمان والابن الذي بعثه هو الكلمة والابن الوحيد الذي قام عليه
 رؤسا اليهود واخرجوه خارج يروشلیم وقتلوه فاذا اتارب
 الكرم واد ايصنع ابوليك الكرامين قالوا باشر الشريه لكرم
 واما الكرم فيعطيه الى فعله غيرهم الذين يعطونه ثمره في حينها
 يعين بذلك انه ينزع موهبت روح القدس من اليهود ويعطيهما
 للتلاميذ القديسين وشعب الامم الذين يعطونه الثمره في
 حينها امرت والكتب ان الحجر الذي رده البناءون هذا مار
 رائس

رائس الزاويه ان الكتاب يقول ان معنا الحجر هو الرب لانه انسان
 كل شيء وضابطه والمغريشون الذين دعاهم بناتين هما الذين
 ولم يقبلوه وهذا الحجر صار ركن وحجر لا تتحرك لكن من آمن
 به من اليهود او من الامم والذين يتسلطون على هذا الحجر تثبتون
 والذي يتسلط عليه يتحققه يعقوب لكان من قايمن به من شعب
 اليهود وهو ملك هاهنا بالمصايب والبني لافلا شيا اصاب
 اليهود ليجعل الذين يؤمنوا به هلكوا بالافلاك البني الذين لم
 الروم والذي يتسلط عليه يهشمه يعني انه في يوم الدينونة يهلكهم
 باننا الذي لا نطغأ والدود الذي لا ينام وصير الاستار والمجد

فصل الاصحاح الثاني والخمسون

ثم راجب يسوع وقال يا مثال تشبه ملكوت السموات رجلا ملكا
 صنع عرسا لابنته فارسل عبيده ليدعوا المدعوين الى العرس فلم يشاؤ
 الجعي ثم ارسل ايضا عبيدا آخرين وقالوا قولوا للمدعوين ان طعماي
 معد وعجولي المعروفة فلا تحت وكل شيء معد فتعالوا الى العرس
 فتعاسلوا وذهبوا منهم الى حقلة ومنهم الى تجارة والبقيت

استكروا عبده فشموه وقتلوه فلما سمع الملك غضب وارسل جنده
واهلك اوليك لقتله واحرق مدينتهم حينئذ قال العبيد اما المرث
فستعدو والمدعون فيغترسحتم اذهبوا اليها لكل لطرف وكل من
وجلتوه ادعوه الي المرث فخرج اوليك العبيد الي لطرف فجمعوا
كلهم وجعلوا اشرا وصلحين فامتلا المرث من المتكئين فلما دخل
الملك ليظن الي متكئين رآي رجلا هناك وليس عليه ثياب المرث
فقال له يا هذا كيف دخلت هاهنا وليس عليك ثياب المرث فسلكت
حينئذ قال الملك للخدام شدوا ايديه ورجليه واخرجوه الي الظلمه
البرانيه هناك ليكون البكا وصيرا لاسنان ما اكثر المدعويين
واقل المنتحسين انتحسرتهم ان هذا مثل الذي قال
السيد هاهنا هو مطابق للقول الذي تقدمه والمراد به انه شرح ما
يريد ان يفعل بعد قيامته باوليك اليهود الذين لم يؤمنوا به وبالي
ليصبرهم فعني بالملك الله الاب تقدمت اسمه وعني بمرث ابنه اتصال
بيعه المؤمنين به ولو مشرا به بود الايمان والعبيد الذين ارسلهم
اولا ليدعوا الناس لهم لتكيد الذين ارسلهم انتم الذين قد ادم وجهكم
قبل تالمه والعبيد الذين ارسلهم ثانيا هم لتكيد الذين بشروا بعد
قيامته

قيامته وعني بالمدعويين اليهود لانهم كانوا يدعون الناموس والانبيا
يدعون الايمان بالمسيح اذ اظهر فلما ارسل اليهم لتكيد وقال
لهم لا تسلكوا طريق الامم ولا تظلموا مدينتهم لساكني وانطلقوا خاصه
الي الخرافا الذين ضلت من بيت اسرائيل فلم يجيبوا الي دعوتهم وتبعوا
علي كثرهم الا قليل منهم فاجاب انتقمهم معني قوله للعبيد الذين ارسلهم
ثانيا قولوا للمدعويين ان كل شيء بعد فتعالوا الي المرث اي ان يساكنه
الامم والصلب قد كانت وكلت لانه بعد قيامته من بين الاموات
وارتفاعه الي السماء كانت وهبه روح القدس حياه للذين يؤمنون
ويعني بالذين ذهبوا الي حقولهم والي تجارهم الذين غلبت عليهم شهوات
اجسادهم وعشر هذا الدنيا فلم يهين عليهم الانتقال عما هم عليه
فيؤمنون لاقبال الي المنظر السني والعبيد الذين بشروا وقتلواهم احوالي
الذين بشروا بعد نبغات السيد فانزواهم كل شدة ولم يبعثوا في
اصطفاهم غاية ومعني قوله ان الملك غضب وارسل جنده واهلك
اوليك لقتله واحرق مدينتهم بالنار اراد ان يبين بما سيكون
مستأنفا من النكال الذي ينزل اليهم وعني ببيتا يساكنون الملك
قبل ان يصير الملك اليه عندها كان متقدما علي جيش الملك يرون

قيصرك ملك الروم وعليه يطيحون ابن ايساشيا نون بعد صيرورت
 الملك الي ابيه كما تقدر القول بديا فله حاصر وشيل واخذ به سوارها
 ولحقه الهيكل والكتب وقتل وشيخا كثيرا علي ما قد شرح متقدما واما
 نسبته لجنود الله من اجل امر خلقته وعبيده وهو الذي يظلم عريا
 قد فعلوه بامر وقضاه وقوله ادعوا الي مسا لك لطرق وكل من
 يجاقوه ادعوه الي العرش هذا القول الجوازيون لما تقبوا في امر
 اليه يوردوا ووفر قد تبادوا علي عيسا غير عوايد في الدنيا ثم كفو توجوا
 الي الامم ودليل ذلك قول الرسول ولعلهم انما من الانبياء وساطع الي الامم
 وقول الانبياء ايضا لهم لا تذهبوا عنكم هذا الخير العظيم خرج اهبوا
 الي الامم ونزلوا الراد علي بطرس وفيه الطاهر والنفس من الحيوان
 وقيل له ادبر وكل وفي ذلك الوقت تاه قايدها ماية لانه كان من الامر
 الغريبه ولما راه علم ان كل الذي به انما كان من اجله وقوله ان لعبيد
 جموا كل من وجدوا نارا او صلحين فاراد هذا ان الانبياء تنجاب عوق
 من جميع الامم ويدينون في الايمان ويجمعهم ببيعه ولحد مع جميع اقطا
 الارض ومعنى قوله ان الملك راى في المتكلمين رجلا وليس عليه
 لباس العرش اراد بهذا القول انه لما استنما قوله فيما سيكون لليهود
 الذين

الذين لم يجيبوا الي الايمان ولا يعلون لوصايا قال الان الايمان محتاج
 الي اعمال تاليه وتطابقه وحيثه والافهم يكون لامحاله ميتا
 ودان الان الاعمال الي علي الايمان مثل الحصر المنيع لانها منع من جميع
 الامم انهم والمحن فاعلمنا هاهنا ان المؤمنين الذين يخرجون من دنياهم
 ولم يدبروا افوتهم بالتدبير الذي يلاهم النصانية ولا يعلون بما يجب لله
 عليهم من الفرائض السنن يوجدون في الاخرة في جمع الامم المؤمنين عريا
 من الفضيله وشياهم تغدو عليهم ظلالا والذين قداموا العباد التي
 تجلبه عليهم تركبهم حسناهم نور اجياف فيشق كل واحد منهم كالشمس
 المضيئه وحسينا لاوليك يا هو لا يواختلطتم مع اهل السور
 وانتم غير منفيين فما استطيعون رجوايا والله لا عدا لهم في ذلك يعني
 بالخدام المالكه كما قد ساءم حسادين ومعني يشدا ليدن والرجلين
 شدت لعقوبه والنار التي تطفأ والدود الذي ينهم واخر اجهم
 الي الظلمه التي فيها يكون النواح والبكا والفر والندم وصبر الامسا
 ومعنى قوله ما اكثر المدعويين وما اقل المنتخبين اي ان ليس كل من
 اجاب الي دين النصرانية يوجد مستعصا ملكوت السموات قيل
 يفسر من اجل الذين يدعون الي العرش قال شبه الله الابن اشك

الكل تبارك اسمه بالملك والعرش هو التفسير المختار الذي صنعته في
خلاصنا وولده احبب الذي لنا حتى خلصنا وانقذنا من خطايانا
هو نحن النقي الذي لا عيب فيه والعرش هو ابيه المقدس
والمؤمنون الذين ارسل عليهم اليهم ليدعوه الى العرش فمجمع اليهود
العالي والعبيد الانبياء من موسى الى يوحنا السابا الصانع فامتنوا
ان ياتوا والعبيد الذين ارسلهم اخيرا هم التسليد القديسين وكذلك
تكلموا ولم يريدوا ان ياتوا فواحد عني انه مضى الى حقله واخر الى
تجارته التي هي محبة المال والاشيا واليهذا العالم الزايل ولذلة
وحب تجارته طول الايام والبقية قبضوا على عبيد واستغنوا بهم
وقتلهم ففضل الملك وارسل جنده واهلك الاولاد لقتله واخرق
مدينةهم بالنار والجنود الذين قتلهم ذكرهم الروم الذين جمعوا اليهود
ويادهم في زمان اسبانيا نوس ملك الروم واخرق يوشليم بالنار
حينئذ قال الملك لعبيده اما العرش فسنعده والمؤمنون فليسوا محققين
ادبوا اليها لك لطرق فكل من جادته ادعوه الى العرش والطرق
التي كرها هي عبادت الله الاوثان والعبيد هم التسليد الذين
خرجوا من مجمع اليهود عندما نظروهم قليلي الرضا وانهم لا يتابعونهم
مكتوبا

مضوا الى الامم ودعوهم فلما امتلأ العرش من الاخيار والاشيار دخل
الملك ليظفر الكتبيين فظفر انسانا ليس عليه ثياب العرش فقال له
يا هذا كيف دخلت هاهنا وليس عليك ثياب العرش فسلت ولا انسان
الذي لم يكن عليه ثياب العرش فهو يهودا الاشخريوطي وكلم بلش
رسل النصرانية ولا يفعل الاعمال الصالحة فهو لا يربط ايديهم
ورجلهم ويلتقون في الظلمة البرانية حيث يكون البكا وصري
الانسان والشجلا دائما ابياسر مديا

قصص الاحصاح الثالثة والخمسون

حينئذ ذهب لفرسيون وتشاوروا عليه ليصطادوه
بكلمه وارسلوا اليه تلاميذهم مع الهيرودسيين قائلين يا معلم قد علمنا
انك الحق وطريق الله تعلم الحق ولا تبا ليك ولا تنتظر وجه انسان
فقل لنا ماذا ننظر ان يجوز لنا ان نعطي الجزية لقيصر ام لا فعمل يسوع
شهره فقال لهم ما ذا تجربوني يا امرايين اروي دينار الجزية فانوا
بالدينار فقال لهم يسوع لمن هذه الصورة والكتابة قالوا له
لقيصر حينئذ قال لهم اعطوا ما لقيصر لقيصر وما لله لله فلما

تتموا تعجبوا وتركوه ومضوا **ففسخهم** ان **نيلس** ربيهم
التي لبالي لم يستألم قوة علميا وقد المالك ولما اقتضى الملك لي لوف
استولوا عليهم واخذواهم تحت ذمتهم حيث لم يودون الجريه اليهم
وكان في زمان طيبا ربيهم في صرا لا بلا طر ان يدخل صورت قيسر
الي الهيكل فنفعه اليهم ودرج ذلك فانفق مع هيرودس واخوته عليهم
فقتلوا منهم خلقا كثيرا وكان لهم بيتون في ذلك الوقت يعرفون اليهود
بان يودون الجريه ويقولون لهم انتم شعب الله وخاصته فكيف
تجوز لكم ان تفعلوا هذا وكان هيرودس والي اجيليل رجعهم ويشير
عليهم ان لا يفعلوا هذا لانه فرقة منهم كانت متعفيه الي قوله
ومشورته التي تعرفها هيرودس وشيه او اما مكر يثوق لهم فاعلموا ان
به ان تجزوه الي ما هو متعلق هم لما ارسلوا اليه جواسيس متشبهين
بالصدقين ليصيروه بكلمه ويسلموه الي الروم وسأوا لوالي كاشف
لوقا ودرروا ان يذبحوه بهذا المديح كي يحصوله الي قوله بما ظنوا كان
موت ان يقول الحق ولا يسيأ الي احد ولا يجابيه فقالوا يا معلم قد علمنا
انك نعرف قلب الله الحق نعلم ولا نبا ان احد ولا ننظر بوجه انسان
فقل لنا ماذا نظن ان يجوز لنا ان نعطي الجزية لقيصر ام لا
فوجهم

فوجهم اولاد قال لهم لما لا تجزوني يا ربين ليعرفهم بذلك لتوسيع
انه مطلع على السرار وانهم لم يجز عليه اخبر الخبث والمكر كانوا يريد
تفرقا لهم اربوني دينار الجزية فاقوه دينار وذلك ان الدينار لرومي
يكون الوجه الواحد عليه صورت الملك والوجه الاخر عليه كتابت
مخبرها اشتر الملك وياتي زبانه فقال لهم هذا الصوره والكتابة
قالوا لقيصر وكان سؤاله ليس له ليعلم ولكن جزي يور الحكم علي
اعترافهم فكان قال لهم اذ انتم مقرون بان هذا الدينار لقيصر
فما كان لقيصر اعطوه لقيصر وادعوا ما يجب عليكم الله لانكم قارون
ان تعطوا لقيصر خراجا بالمال وان تقضوا ببقه نفوسكم ولما دانكم
الواحيه عليكم يا هو لله فخر حكمتم وانزل جيلتكم فنجبوا حين
اجابهم تجوز اجابته ولم يلزمه فيه حجه فتركوه لاهم لم يجدوا عليه
سبيلا للسلطان فذهبوا اخايسين **ساريس** ففسخهم ربيهم
سألوهم دلحجان يعطي الملك الجزية قال لهم كانوا يريدون يسطادونه
بكلمه فوجهم اليه قائلين له هل يجب ان نعطي الجزية لقيصر ام لا قالوا
اليه تلاميذهم مع الهيرودسيين وقالوا له ايها المعلم انك تعلم الحق
وانك تعلم ان الله بلحق فاما يسوع فمروا خشم وشتم فقال لهم

أتوني بدنيا الجزية فقبولوا اليه الدنيا فقال لهم هذه المثال
والكتابه تأملوا لتبصر فاجابهم متوكلهم وقال ان كان المثال القيم
اعطوا اما لتبصر لتبصر وما لله الله ونحو ذلك لا فمروا الشيطان
وهو متوكل عليهم وهو متوكل بافعاله فقال لهم وهم فاني بقبوله
اعطوه الذي لم يمثاله ونسبته والذي هو الله اعدوه لله والمجد

فصل الصحيح الرابع والخمسين

وفي ذلك اليوم جاء اليه الزنادقة الذين يقولون ليس قيامه وسألو
قائلا من علم موسى قال الامم انسان وليس له ولد فليترجح اخوه
امراته ويقيم زرعاً لاجله وكان عندنا شجرة لغو زرع اولهم امراه
ومات ولم يكن له زرع فترك امراته لاجله وكذلك الثاني والثالث
الي السابع وفي اخر الكل ماتت امراه ففي القيامه لم يكن لهم امراه من
النبعة لآخر تزوجوها جميعهم اجاب يسوع وقال لهم فليعلموا
تفرغوا الكتب ولا تقولوا لآخر في القيامه لا يترجون ولا يزوجون
بل يكونون مثل ملايكه الله في السما اما من اجل قيامه الاموات اما فم
ما قيل لكم قبل الله اذ قال انا هو الاله ابراهيم الاله اسحاق واليه
يعقوب

يعقوب والله ليس هو الاله اموات لكن له الاحياء فلما سمع الجمع بهذا
من تعليمه افتحوا اذانهم وقولوا لك يا يسوع الذي قلتم فيه
حجة الفريسيون من اجل الجزية واما الزنادقة الذين جاءوا اليه فصر
فرقه من اليهودي يتسبون الي يسوع لانه زادوق فكانوا يحسدون
القيامه والملايكه والروح القدس ولهذا كانت منصبه الى اجساد
فاما سواهم لهذا السؤال فلا يدري انه قد علم لا بهذا السؤال
التمسوا ابطال القيامه فصاروه للاجبار وذلك ان الاخبار
متركون بالقيامه الا ان اقرارهم بها واخبارهم عنها فهو على انه يكون
بعدها اكل وشرب وتزويج وسائر ما يكون في الدنيا ولذلك استنصب
الزنادقة تأليف هذا السؤال لتغيير الاخبار بتبع ما يدعون به ان
يكون بعد القيامه فقالوا السيد لهم قد ظلمتم ولم تعرفوا الكتب ولا قوت
الله التي انشأها سائر الموجودات لا من شيء وخلق الانسان من تراب
ونفخ فيه نسمة الحياة في اسرع من طرفة عين وان جميع الحيوان يخلقون
في بطون اناهم من شيء لا يخطئون فكل ذلك بعد بعينه القيامه
تعيد لنا من بعد الامم وتخليل تركيبتهم وكان قوله هذا دليل على
اثبات القيامه ونحوها فنقول الزنادقة وقوله ايضا انهم في القيامه

لا يشترعون ولا يزجون أو لا بدلك لأبطال القول الأجبار أنه يكون
 بعد القيامة أكل وشرب وتزويج وقوله بل يكونون مثل ملائكة الله في
 السما أو لا أيضا أبطال القول لفرقتين أما فرقة الزنادقة فلا هم
 يحكمون وجود الملائكة فاستبانت في السما ملائكة وأما فرقة
 الأجبار فلا هم يقولون أنه يكون بعد القيامة سائر ما يكون في الدنيا
 فاستبانت غير كونهم مثل الملائكة والمعاني في ذلك الناس في الآخر
 يفتنون روحانيين كالملائكة غير معتبرين بشيء من الأمور
 الجسمانية كالأكل والشرب والتزويج وغير ذلك بما يجري مجراؤه وأركان
 الأمور على ما تشرح فالسؤال تناقض لا فائدة فيه لأهم جعلوا ذلك
 السؤال الذي يوزي لي لأبطال القيامة من قول موسى فلهذا يوضح
 لهم القيامة من قول موسى بقوله ان الله هو الاله ابراهيم والاله اسحق
 والاله يعقوب والله ليكون الاله لم يولد لكن الاله هو حي أي
 ينبغي لكم ان تعلموا علم القيامة هذا القول الذي قد قاله الله في هولي
 الذي ما تلو أمته حين جويل ادعى نفسه إلههم فما كان يتمخض أن
 الإلههم لولا أنه عالم بان أنفسهم أحياء وأنه سوف يقيم أجسادهم
 ويرد أنفسهم إليها وللسؤال ان يقول المفسرون ان لفظة القيامة
 أنا

دع
 أنا تدل على قيامة الأجساد وورد الانفس إليها وقد قال الكتاب
 لأن الناس في القيامة يصيرون مثل ملائكة الله فالملائكة
 ادليس لهم أجسام فما هو المعنى في هذا القول المتناقض فيقال لئلا
 البدار اجساد القول ان تكون الناس مثل الملائكة بغير أجسام بل
 عنى بقوله ان الناس تكون مثل الملائكة لاحتياجهم إلى شيء من الأمور
 الجسمانية لا أكل ولا شرب ولا لباس ولا غير بل يشابهون الملائكة
 أيضا في التقدير والتعجب وهذه هي المأثله التي عنى بها السيد وللشأن
 ان يقول أيضا ان الكتاب يقول ان الله هو الاله الأحياء والأموات
 وهذا قاله الاله الأحياء حسب فيقال ان الذي عنى به هاهنا قاله
 بالقياس إلى ابراهيم واسحق ويعقوب والذي عنى به هناك هو
 بالقياس إلى سائر الناس بأستمر فالذين قد ماتوا على الإيمان المستقيم
 هم ثابتين في محبة الله على الوصايا هؤلاء احياء كما له لأهم
 يرون حيات لا بد فاما الذين ماتوا على الكفر فماتوا إلى الأبد
 فهم في كمال محالة لأهم يدعون في العذاب الموت الذي لا ينقضي والقول
 صادق وان الله الاله الأحياء والأموات لا ندخلت جميعهم وليس
 هو الاله أموات أي ان الذين قد ماتوا في عصيانهم وفي كفرهم قد خرجوا عن

عباد الله وصاروا متبعين لما لا فائدة له للشهوات يومئذ
 القلب يفتقر لجل الزنا دقة الذين يتولون في قريته قاتلهم
 كانوا يجره به بلا حصر كلما يقدوا عليه بكلمة لأنه لم يكن عندهم هذا
 الحال لأن يكون متبعه اخوه يترفعوا امره واحده لأن الذي يعرف خفايا
 القلوب بالله الكلمة ما انظر فكم من قاتلهم انتم في الدين ليس تعرفون الكتب
 ولا قوت الله لا تعرفون القبيحة لا تترقبون ولا تترجون لكن يصيرون
 كما كثر الله في السما في عشر من غير جوع ولا عطش ولا يحتاجون
 الى شيء من الطعام الجسد الذي الذي يلقى الخراج ولا ينامون ولا
 يجرعون ولا يشبعون ولا ينامون ولا يدرجوا ولا ينامون لا يشبعون لا ينامون
 والنساء لا يشبعون الرجال ولكن يكونون شبه ملائكة الله في
 القبطه والضياف والكرامه التي لا تحصى ولا تعد فاما الخطاه والافتر
 فها متشبهين بالوهم الشيطان واصحابه في ليل النار التي لا تطفأ
 الى الابد فاما عن قيامت الاموات فاما انما قيل لكم عن الله الذي
 قال انا الله ابراهيم والاه اسحاق والاه يعقوب فاما الله ليس هو الاله
 الموت بل الاله الاحياء فان كانوا اروسا الاباء قداما فهم احياء كل حين
 لرجاء القيامة وان كان آدم خالف الوصية فقد كان يعيش بالجسد
 ولكنه كان ميتا من اجل القضيته التي حكمت عليه بالموت من الله هكذا
 يكون

يكون كل من خرج من نسله اذ خالف وصيت الله كان ميتا موتين موت
 الجسد بمقارفة النفس وموت النفس الذي هو البعد عن الله

قصص الاصحاح الخامس والخمسون

فلما سمع المفسدون انه قد ابلوا الزنا دقة اجتمعوا عليه جمعا وسأله
 كاتبهم ليجزبه قايلا مملأ يا اعظم الوصايا في الناموس قال له
 يسوع تخالط لك من كل قلبك ومن كل نفسك ومن كل فكرك هذه
 هي الوصية الاولى العظيمة والثانية التي تشبهها ان تحب قريبك
 مثل نفسك في هاتين الوصيتين شأير الناموس والانبيا معلقين
 النفس معلومان انهم يشيرون لما علموا بان السيد قد انتاب لعتبا
 وقطع حجة الزنا دقة من قول موسى ونوح ما كانوا يعتقدونه
 وانه قد غفم بذلك لأنه لا يعتقادهم بحجة من الكتاب بل لان
 يعتنقوه فلما هو التوراه عالم امره وكان قصده بذلك ان يشموا
 منه جوايا فيه خطأ فيجدوا السبل التي تعينه عند الملا فسأله
 ولعلكم ودخل لأنه قد في نفسه ان السيد يستجيبه بجوابا
 بديع من اجل انه كان يعلم تعليما ارفع من امر التوراه فيجيبه بحجج
 السبل التي ان يبيته كما يبيته من يسطوا على ناموس الله فقال

له ايماء اعظم الوصايا في الناموس فاجابه بذكر الوصيتين اللتين
 يستحقان لعنايه اجزيه في اقيقه والحديثه ثم انه تركا في الوصايا
 وقال تحب الرب الهك من كل قلبك ومن كل نفسك ومن كل فكرك وهذه
 هي الوصيه الاولى اعظمه والثانيه التي تشبهها ان تحب قريبك
 مثل نفسك في هاتين الوصيتين ثمار الناموس لانها معلقون واراد
 بحوايه هذا نوعين لانهما دليل على انه ليس بفضل التوراه لانه
 قد اوجب العنايه بثماره من كل الالفيله والثاني منهما ان هاتين
 الوصيتين يكتفي بهما في استعاد الحياه الدايه عن بقيت الوصايا
 مثل الختان وحفظ السبت والدايخ ومثل ذلك وداك ان الذي
 يحب الله من كل قلبه ونفسه ونيتته فلا يتعب لغير ثم انه يشاق
 الى كلمه من اجل تلك المحبه وتنسوق الى عمل الوصايا باجتهاد وفرح
 والذي يحب الناس ايضا من اجل وصيه الله فانه لا يشي الى احدا منهم
 بل انه من اجل محبه الله ومحبته يحتمل كل ما ياتي اليه من اضراره وفرح
 من ههنا ثم وان هاتين الوصيتين قد تعلق بهما ثمار الفصايل
 كيكون ثمر من اجل الناموس الذي جريته قال في هذا القول الذي
 سئله علمنا بذلك عندما قال تحب الرب الهك من كل قلبك ومن كل
 نفسك

نفسك ومن كل نيتك هذا اجل الوصايا كلها اولها والثانيه تحب
 قريبك كنفسك فان لم تتم هذا فليس يمكن ان تعمل تلك والمجد لله

فصل الاصحاح السادس عشر

ثم اجتمع الفريسيون فقال لهم يسوع وقال ايا دانتظنون في المسيح ابن
 من هو قالوا له هو ابن داود فقال لهم يسوع فليكن داود يدعوه
 بالروح ربه اذ قال فقال الرب لربي اجلس عن يميني حتى اضع تحت موطن
 قدميك فان كان داود يدعوه بالروح ربه فليكن هو ابنه فلم يستطع
 احدا ان يجيبه بكلمه ولم يقدر احد من كل اليهود ان يساله عن شيء
 حينئذ كل يسوع اجمع وتلاميذه وقال لهم على كبري موسى جلست الكتب
 والفريسيون وكلما قالوه لكر احفظوه وافعلوه ومثل اعمالهم لا
 تصنعوا لاهم يقولون ولا يفعلون انتقبيهم فممن ان ابيهم هو
 كانوا يتوقعون ظهور المسيح من مثل داود لا على سبيل انه اله بل
 كانوا يتوقعون بانه انسان بار افضل من ثمار الابرا في امره وداك
 اهمرا كانوا يسمعون من السيد كلاما يفوق جدا بشريه يقتاضون
 عليه وينتبهونه اذ عابا ما ليس له ودليل ذلك قولهم له في موضع اخر غير

امساك

فقد انزل من اجل انك انك انسان
وتجعل نفسك لاهما ودا ان الله لما اطلع علي حيث نيا تم وفساد
قلوبهم وقبح افعالهم لم يسمع لهم بان تسمع عليهم ففعلته تخلصهم وتوصل
الي عظمهم معرفة سر اتحاد الهوت المسيح بناسوته فاراد السيد ان
يسير لهم ذلك كي يعرفوا ربوبية اي ان هذا الانسان الذي تدونه كواحد
من الناس هو متحد بالله الكلمة وهو قد اتى بفعل كل الذي تدونه من
الايات حتي يكون لهم حجة في الآخرة عن كفرهم به فصار لهم رقة وتواضع
وقال لهم ما تظنون في المسيح ابن من هو فقلوا له هو ابن داود
فاراد ان يتبت لهم ان داود قد اذنب انه الله قادر ودهم بكلام
النسوة وقال لهم كيف داود يدعوه بالروح رب لانه ان كان به فليف
هو ابنه فلم يستطع احد ان يجيبه بكلمة فحجب ان يعلم ان السيد
لم يقل هذا القول نكالا لانه ليس ابن داود وانما قال ذلك علي
سبيل هذا لئلا يمتري انه يكون مستقيم لكم ان تقولوا انه ابن داود ولا
تقولون ايضا انه به وهو قد ذكر علي ابنه ولسطانه اي انه
ابن داود من اجل الناس وهو به من اجل اتحاد الهوت
ومن

ورها هنا بدا السيد تبسيع شر اليهود فقوله جملهم علي كرمي موشى
اي في مرتبة موشى يعلمون الناس التوراه لان المكتبة والفرسيون
كانوا في مرتبة الرباثة علي الشعب لتفسيرهم للتوراه فذكره السيد
ان يبدأ بدعوتهم فينسب اليه انه يردل التوراه بدقه لعلها وداك
انه اولاً لم يحفظ ما يقولون من تعليم التوراه ثم نشر قبح افعالهم
بعد هذا ما ياتي مستافا كبر لمن غشوا من اجل سؤل السيد
للفريسيين ماذا تظنون في المسيح ابن من هو قالوا هو ابن داود
قال لهم كانوا يظنون انه انسان فقط ارادوا ان يعلمهم من
المكتبة به فحجب فلعلمهم هذا ان يقبلوا الي الايمان ويامنوا به قال
كين داود يدعوه بالروح ربه اذ يقول قال الرب لربي اجلس عن
يمين حتي اضع اعداك تحت موطي قدريك فاركان داود يدعوه
بالروح ربه فليكن هو ابنه ومع هذا كله لم يقبلوه ولم يصحوا اليه
اولا ليك القليل يقول والمدير بها لان جميع ما كان المخلص يدركه
اليهود الاشار من النبوات التي قد تقدم بها الانبيا وهم يتلوها
كل حين في مجامعهم ويغفون انها من قول موشى وداود واسفياس
ونظرهم لم ينفع فيهم حينئذ بل يمتنعوا بالجمع وتلاصده وقال لهم

علي كرتي موتي جلست الكتب والفرسيون وكلما قالوه لكم لحفظوه واعملوا
ومثل اعمالهم لا تصنعوا ولا تفعلون ولا تفعلون لانه يجب ان نسمع
من المعلمين كل شيء وان كانوا احمال او خطاه فالذي يحيا لغنمهم فهو
بخا لنفسه ولا يعمل كاعمالهم ولا يدانهم ولا يرفق بهم ولا يشك فيما
يفعلون ولكن يترك حلو مشتملي الذي اهلهم لهذا الحال وان كانوا غير
مستحقين مثله هذه الغبطة والعطية الصالحة لان من اعطي كثير
طلب منه كثير عرفنا الرب ان هذا يعملون ان يترك المعلمين الذين
يعلمون كلام الصالح هم المزيكين عند الله بل الذين يعملون ويعلمون
الفضائل التي امر الله بها فهو لا يفر من الذين يذكرون عند الله والمجد لله

فصل في اعمال الساجد والخشوع

لا خير يربطون ايمانهم لا تقالوا يحملوها على اعناق الناس وفيه لا يريدون
ان يحركوها باصابعهم وكل اعمالهم يعملوها لكي يروا الناس يعرضون
الارثية ثم يعظمون الطرق تياهم ويحبون اول البعاعات في العشاء
وصدور المجالس في المجمع والسلام في الاشواق وان يدعوهم
الناس مسلمين فاما انتم فلا تدعوا لكم معلما علي الارض فان مهلككم
واحد

واحد هو المسيح وانتم جميعا اخوه ولا تدعوا لكم اباعلي الارض فان اباكم
واحد هو الذي في السموات ولا تدعوا لكم مدبرا علي الارض فان
مدبركم واحد هو المسيح والكبير الذي فيكم فيكم اكم خادما ومن رفع
نفسه اتضع ومن وضع نفسه ارتفع الويل لكم ايها الكتبة والفرسيون
المراؤون لا كلام ببيت لارامل بكلمة تطويل صوابكم ومن اجل هذا
تسالون اعظم دينونة الويل لكم ايها الكتبة والفرسيون المراؤون لانكم
تطوفون البر والبحر لتصطنعوا غريبا واحدا فادنا صبيته ثم لو لمعتم
اننا مضاعفا عليكم الويل لكم يا هذلت ليمان الذين يقولون من جان
الهيكل ليس هو شيئا ومن يحملون ذهاب الهيكل يخطي ايها الجحان اني
ايما اعظم الذهب الهيكل الذي يقدس الذهب ومن جازوا بالمسيح
فليس هو شيئا ومن جازوا بالقرآن الذي فوقه يخطي يا جحان وعيان ايما اعظم
القرآن والمذبح الذي يقدس القرآن ومن جازوا بالمذبح فخطي ومن
ويكلمون فوقه ومن جازوا بالهيكل فهو يخطي به والشاكر فيه ومن جازوا السماء
فهو يخطي كرتي الله ولها السارية الويل لكم ايها الكتبة والفرسيون
المراؤون لانكم تفسرون النشاع والشبه الكون وتتركون قتل

الناموس الحكيم والرحمة والايان كان ينبغي ان تعلموا هذا ولا ترفضوا تلك
يا اهلنا الذين الذين تكون لبعضه وتبطلوا لاجل الويل لكم ايها الكتبة
والفرسيون المرأون لانكم تنفون خارج الكائن والشركة ودخلها
ملوه لخطافا وظلما ايها الفرسي الاعما في اولاد داخل الكائن والشركة
لكي يظفر خارجا الويل لكم ايها الكتبة والفرسي المرأون لانكم تبطلون
القبور المملكت التي تزي من خارجا حسنة وخرج اظلماء ملوه وعظام
الاموات وكل تحترق وكذلك انتم ترون الناس ظاهرا كم مثل الصديقين
ومرج اخل تملون انما ورا الويل لكم ايها الكتبة والفرسيون المرأون
لانكم تبطلون قبور الانبياء وتدينون مدافن الصديقين وتقولون كوكشا
في ايام ابائنا لم تكن شر كما هم في ايام الانبياء فانتم تشهدون من نفوسكم
انكم بنوا قلة الانبياء وانتم تكونون مكابيل ابائكم ايها الحيات اولاد الافاعي
كيف تصرون من جبنون جبنتم من اجل هذا نادى ارسل اليكم انبياء وحكما
فتقتلون منهم وتضطرون منهم في مجامعكم وتضطرونهم في مدينه الى
مدينه لكي ياتي عليكم كل دمار الصديقين المستوف على الان من دمر هابيل
الصديق الي دمر زكريا ابن براشيا الذي قتلوه بهر الهيكل والمذبح الحق
اقول لكم ان هذا كله ياتي على هذا الجيل ووشليم ووشليم يا قاتلت الانبياء
وطلعت

وراجع المرسلين اليها كمن مره اردت ان اجمع بينك كما تجمع الدوا
فانها تحت جناحها فلم تريد ان هذا انا اترك لكم بيتكم خرابا حتي
واقول لكم انكم لا تروني من الان حتي تقولوا مبارك الذي يسلم الرب
تفسير قصص الصحاح السابع والخمسون قد سبق
لا يباح في غير هذا النوع ان يشايخ في ارضهم كانوا قد استنوا
تسرون وتندعوا وصايا من تلقا نفوسهم وامروا اليهود بحفظها ولا تترك
تلك الوصايا مسطوره في الناموس ثم ان اجابهم كانوا يتفقون في
تفسير وصايا التوراه بما يتقل وصاياها وكانوا يديرون الناس بحفظها
وهو لا يقدرون على العمل ببعضها فاراد بقوله ان الكتبة والفرسيون
يربطون احمالا ثقالا ويحلقون على اعناق الناس ولا يريدون ان يحركوها
باصبعهم ان يوكدا الوصيه الذي تقدمت اي اسموا ما يقولون
وافعلوه ولا تفعلوا مثل اعمالهم لان الذين يعملون في اعمال الفضيله
والخير ويتجنبون للناس من اجرا الفضيله ياخذ كل واحد منهم ثوابه
على قلة مشغته ولولا ذلك الذين يعملون ليروا الناس فقط يحركوا
واحد منهم عقابا على قدر رايه وقوله افرح بوضوح اريدتم ويجوز اول

الجماعات وصودر المجالسن والسلام في الاستواق وان يدعوه الناس
معلمين اراد ان يخص هذا القول للتلاميذ لانه ذم افعال اولادك
وما يفتقدون فحده هو الذي من التشبه به اذا اتوا بهوا بعد قيامته للبشر
وتعليم الناس وهذا يشبه وقوله لانه عواكم معلما واما ولا يدبر اعلى الان
فان يعلموا بالبر ومبداه ولما الذي هو المسيح فيقول هذا القول على انه
رفع هذا الاسماء البته بل كان ذلك للتلاميذ كما لو عظم بان يباع بعضهم
بعض بالانتفاع والحب كما قال لهم في هذا الموضع وانتم جميعا اخوه اي
اكثر تكونون بالله واحدا ولا يكون حصركم ان تراسوا على اخوتكم بل
تفكرون في ان موثت جميع الفضائل انما ياتسرها الله تبارك وتعالى الذي
يستعمل الحب للانتفاع من اجل الله لكافة الناس وادراكه فكم
هكذا في روح القدس يحل عليكم ويعطيكم موهبة البهوه والتعليم والحكمة
لان الله عز وجل هو يشب جميع الخيرات الذي يصير الى كل احد من الناس
وقوله للتلاميذ والفرسيون الويل لكم لانكم تاكلون بيوت الارامل والايتام
تعلمون تطول صلواتكم وذلك لانكم كانوا يدعون الى انزال الذين كانوا
يموتون في ذلك الوقت فيصلون وتكون اصداءهم من حوصا
اهل الميت على اعطائهم شيئا كثيرا اجرت صلواتهم وكان الذي اخذونه

من ذلك رايهم هو من حق الارامل والايتام فكم تجزون عليه لعظم دينونه
وقوله لهم الويل لكم لانكم تفلحون ملكوت السموات قدام الناس فالتسمر
لانهم يخلون ولا ترون لانهم يخلون لا هم لم يوصلوا وكان شامس
ان يصدوا لتعليمهم جميع الناس عن الايمان ولا يشعرون ان يعلمون به انه
يريد الايمان به فكم يخلون الى ملكوت السموات ولا يرون الذين يشعرون
منهم ويصدون عن الايمان ان يخلوا اليها ايضا وقوله لهم الويل لكم
لانكم تطوفون البر والبحر لتضطنوا غريبا ولحدا فاذا صار صيرتموه لجهنم
ابنا لانكم كانوا ينفون الغراب عن نسل ابراهيم الى الدخول في اليهودية
فان الذي كان يدعون اليهم ويقول لهم يصير ابنا لجهنم كحالة وهذا قال
هم الويل لكم يا قادات العميان وارا هذا الذي جميعه انه لما منع التلاميذ
من التشبه بهم في افعالهم قصد ان يوصف الذي يعتمدونه ليتعطوا ب
التلاميذ ويتبحروا عنه ويكرهوا ومنهم بعدا ومعنى قوله يا قادات
العميان اي احرارهم لهم بالواجب ويدعون انهم يعلمونه ويعلمون الاخرين بغيرهم
به وهذا كما قال السيد في مثل هذا الموضع انما يعود لئلا ينع كلكا في
حفرة وهذا القول دليل على انهم كانوا متبليين من الربا ويتربون عند
الناس بنبي البروة وهم في باطن على خلاف ذلك وقوله لهم الويل لكم

لا يمتنعون مقابل الانبياء وتزيتون مدائن الصديقين وتقولون لو كنا
 في ايام اباينا لم نشاركهم في جمر الانبياء وانتم تكونون مكاييل ابايكم ايها
 الحيات اولاد الافاعي كيف تهربون من دينون اجنهم ارا هذا اضر
 مقرون باضرنا الذين قتلوا الانبياء ورموا هاهنا اضر علي ابي اضر
 في افاضل الجحيم وسوا الفعان والكلابا لشر الذي يباشون القتل والنجاة
 مع ضمايرهم الخبيثة والذي يقايضونهم من البشر الكامل حتى يصيروا مثل
 ابايهم وان يظفروا بما ينونونه ويهجون به من صلب المسيح فاذا ما اضر
 ظفروا بذلك وتحموه كشبهوا اضر فحمر يكون ما دون ناقص منهم عن ابايهم
 وحينئذ يصير شرهم كامل كبايهم وشبههم بالافاعي لان الافاعي قد تقتل
 من لم يشي ليشا وقوله لهم من اجل هذا نازل اليكم انبياء وحكماء يقتلون
 منهم ويصلبونهم ويحرقون منهم في مجامعكم ونظروهم من مدينة الى
 مدينة لكي ياتي عليكم كل دم الصديقين المسفوك على الارض من دم هابيل
 الصديق الي دم زكريا ابن برانسيا الذي قتلتموه بني الهيكل والمسيح
 الحق قول لكم ان هذا كله ياتي عليكم لئلا تحبل معنى هذا القول لانه بعد
 قيامته من الاموات سيعلمهم حتى يرسل اليهم ملائكة الذين قال ان اجمعهم
 هانذا ارسل اليكم انبياء وحكماء وكتبه وذا ان روح القدس لما حل على
 التلاميذ

التلاميذ فمنهم من اعطى موهبة النبوة ومنهم من اعطى كلام الحكمة ومنهم
 من اعطى علم التعليم وهم الذين نالوا من نعت روح القدس ان يفسدوا
 اقوال كتب الله ويعلموها للناس وان التلاميذ اذا اتوا اليهم فلا
 يقبلوهم ولا يسمعون بشايرهم وينزلونهم على عقاب وكل موت ولا يرفعون
 ولا يصرخوا الي معجزاتهم ولا جل هذا قال لهم ياتي عليكم كل دم الصديقين
 المسفوك على الارض من دم هابيل الصديق الي دم زكريا ابن برانسيا
 وللسايل ان يقولوا هو السبب في قول السيد ولايك اليهود الذين
 كانوا في زمان صلبه المعتن ان يوجب عليهم دم هابيل الصديق وهابيل
 فهو قتل من قبل هولاء اليهودي الفتنه وهذا القول لا خلاف
 ان فيه جورا على ظلمهم لانه يقال ان هولاء كانوا ينشدون ويتمنون
 الاضر السيد يقتلوه من اجل ما قد سبق في علمه باهم يقتلونه ويقتلون
 التلاميذ الذين ياتون اليهم بعد قيامته من غير جرم ولا ذنب ينشدونه
 اليهم فكان قوله لهم هذا المعنى على حسب نياتهم اي ان هولاء لم يشوقكم
 الي شفك دما الابرا والانبيا من هابيل الي يوحنا هذا واولاد هذا
 القول ايضا ان ينشدوا ويسوعدهم حتى اخره لا يتبعون اغرا اضرهم
 في سفك دما من اجل محبته لجس البشر ولتكون الحجة ايضا واضحة

بذلك عليهم في القيامة. وحتى يكون لهم عدي يصدقون به اذا ما دخلوا
وقالوا. وقال قوم وقالوا من هو هذا نكريا الذي ذكر السيد معه فقال لهم
قوم من المعشرين انه نكريا احد الانبياء عشرين اصفاء فذكر عليهم قور
من اهلما وقالوا ان هذا القول لا يثبت وذاكر ان نكريا النبي جاس ارض
الكلدانيين الى اريوشليم وهو صغير وعاش بنا طويلا ومات ودفن
في البنية المقدسة الى جانب حجي النبي قور الانبياء والكهنة عظيم
وانما الذي ذكره السيد هو نكريا ابو يوحنا المعمدان لان هيرودس الاول
الذي قتل الاطفال لما طلب يوحنا ليقطعه في حملت الاطفال سمعت
اليسوع امه بالقضية فخذته ومضت الى الهيكل الله لتعظمه فوقت
لكوطه على ابيه بنسبة فجا المتوكلين معه الى الهيكل فدخل ليصلي
فوجد اليسوع ويوحنا معهما فابسه ثياب الكهنوت وهو ابن تسنتين
واسماه ان يخرجه بخرجه الى ابيه هاربه فاما نكريا فانه اعتصم
بالهيكل ويخرج للمتوكلين به ولما سمع الكهنة ان نكريا قد افسد يوحنا
ولاه ثياب الكهنوت يصر عليهم ان يستحلفهم عليه معا كانوا يكتونه في
صدهم من الحسد لله على رايه التي اها في الهيكل وقد صار عند الشعب
مثل نبي ويعبرونه عليهم ولما كان المتوكلون من قبل هيرودس يستطيعون
من

من اليهود الدخول الى الهيكل ليخرجوا نكريا منه عرفوا الملك القضاة
فجمع رؤساء الكهنة ومشايع الشعب وطلبه منهم كياخذوا في نفوسهم
تواقتوه على قتله في مكانة بين الهيكل والمذبح وهذا هو الذي ذكره السيد
لانه اخر الصديقين الذين قتلهم اليهود الى الكهنة وقوله هذا كله
ياني علي هذا ليجل يريده انه قد اعلمهم ان الحجة تجب عليهم في كل طاعة
لربهم اذا اتوا اليهم وانه يسبلغ من مكانهم الحق وكفرهم بما يباينون
من الامارات على ايديهم ان يزلوا من البلياما امكنهم ثم يخرجهم الله
على افعالهم بعباد الدنيا وعذاب الآخرة اما في الدنيا فهو ما سيكون من
طيطوس ابن اسبانيا فوسن واما في الآخرة النار المولدة المعدة للبين
وجنوده وقوله ياروشليم ياروشليم يا قاتلت الانبياء واسمعت المرسلين اليها
كمن سوادت ان اجمع بنيت كما تجمع الدجاجه فراحها تحت جناحها
فلما زيدوا هو اصراف الكلام للملانية ليكون الذين من التوبيخ لها وتكبره
اسر يوشليم فهو على سبيل الترتي والرحمة للشعب لساكن فيها كما قال
لا دم في الفردوس ادم ادم ان انت وكان هذا تحسنا ورافه على شكها
وشبهوا طاهرين ويدلنا ايضا على جليل محبة التي من اجلها اتانا شر وانه
ان اجمع لهم في ملكوته السماوية فابوا ذلك وعني نخراب الهيكل

اي ان الهيكل الذي يفتخرون به ليس تعالىحه من موهبه الهية ولا رقد
بعد هذا الوقت وأشار بذلك الى الذي يكون من طيطوس ابن انبانيا
نوسن الذي اخبره وجعله دمارا وللستابل ان يقول وقال السيد لهم انكم
لا تروني من الان حتى تقوموا مباركا لاتي بسم الرب ودليل قوله انهم
لا يوردون يبصره الا عند مجيئه الثاني وظاهر كان يقتضي باخر
قد شاهدوه بعد هذا القول فعات كثيره فقال ان السيد لم يريد بقوله
هذا انكم لتساعه بعينها بل كان يعني ان الذين الذين في من اجله قد كمل
وقدان وقت ومتمم قيامته فاشار لهم الى انهم لا يوردون يرونه بل يحضرون
ويدينهم بعد ذلك لاتي الاخره عند مجيئه الثاني ساويرس بن ميسر
من جبل ما انتم فلا تدعوا لكم سمعا على الارض بل على السموات وحدهم
المسيح وانتم جميعا اخوه ولا تدعوا لكم اباءا على الارض فان اباءكم واحد
هو الذي في السموات ولا تدعوا لكم مدبري على الارض فان مدبركم واحد
هو المسيح قال لان من اليهودية التي هي الميلاد الثاني التي بها نصير
اولاد للاب الذي في السموات والله هو ابونا بوهبت بنوت لاله التي
صارت لنا في الصبغه المقدسه وتدعي المسيح ايضا مدبرا حقا الذي
كان لنا قايلا وليلا الى اصلاح وهو الذي يعلمنا ان نسجد للاب وله
والروح القدس لهوت واحد ونوه واحد ونسجد واحد وقبر ايضا
من

من اجل قول السيد للكنيسة والمفرسيين انكم تفلتوني ملكوت السموات قدام
الناس فلا انتم تدخلون ولا تتركون الداخلين يدخلون قدام الهيكل
معلمين هذا الزمان اذ افعلوا اعمالا يبيحه غير مرضيه بل اذ اياه وحكوا
بغير الواجب بالمحابة ويكونون متكبرين دور وشوه وطمع وشرب
وبدخ وتجبون المال ويكونون قليلي الرحمة فعلاي مثل الذين يفلتوا
ملكوت السماء امام الناس فهم لا يدخلون من اجل قلت فقد تهمروا فسادت
قلوبهم والذين يريدون الدخول ليس يدعوا من يدخلوا لان العامه
اذا ماراوا الكهنه بهذا الحال فغاصوا واشتمهم ولم يقنوا غير انهم
يفسبون من اجل قول السيد لهم انكم تطوفون لبر والبحر لتصلحتموا غريبا
ولحد فاذا وجدتموه صيرتموه لجنتم ابنا مضغفا عليكم قال لان الكنيسة
والاجبار يطوفون في كل موضع ويعلمون كل حيله لعل انهم يقدرون ان
يردوا واحد من عباد الاوثان فهذا الغريب الذي ذكره فاذا امكنهم
رده ليس ينزكونه يعلم وصايا الناموس ولا يعمل شيئا مما امر به موسى الا انه
يعلم انه وصاياهم فقط وكذلك قال انكم اذا اصطفتكم غريبا ولحد
صيرتموه لجنتم ابنا متضاعفا عليكم كبسب انكم لا تدعونه تعلم ناموس موسى
كذلك يصير ابنا لجنتم مثلكم ودينونه زايده على دينونه وفسر ايضا من

أجل قول السيد لهم يا قادات العميان الذين يقولون من جئناوا لهيكل فليس
نوشيا ومن جئناوا ذهب لهيكل نخطي قال انما هم قادات العميان
لاهم فضلو الذهب لكن من الهيكل وهذا القول معنى آخر لا هم عظموا
الاشباه والامثال الذي لوطي وهو شبه الذهب لكن من الهيكل الذي هو
المسيح الذي يظهوره موتي او الامثال لنا موسىة ونحو ايضا من حين
قول السيد لهم الويل لكم لانكم تفشرون النفعان والشب والكمون وتكونون
تقل لنا موثيكم والرحمة والايان قال لان عثر النفعان والشب
والكمون كانوا يحبوه لكن من محبة هم لما لا يتكون الشين والذي
يجب ان يحفظوه من الناموس الذي هو لكم والرحمة والايان الذي
نحاه ونوابه ورفضوه ولهذا انما هم قادات عميان الذين يفضون بالبعوث
ويبتلعون لجل يسمي اوصايا الصفار التي في الناموس باعوضة
ويسمي الكبار عمل وقتا من اجل قول السيد لهم الويل لكم فانكم تنفون
خارج الكائن والشكره ودخلها ماوه اخذ طافا وظلما قال
يعلمنا هذا انه يكون في نبت اوليك الذين يحفظون الاعمال
الجسدانية ونرفض الفضائل الروحانية لان خارج الكائن هو شبه
الجسد ودخله الصلاح والفضائل التي للنفس وكذلك كان سبكت
اوليك

ولايك مايليا ايها الفريسي لاعنا في اولاد اهل الكائن والشكره
ليكما تطهر خارجهما وبولج بشبهما باقبور الملكسة لا هم كانوا
يبنون قبور الانبياء ويزينون مدافن الصديقين وليشهدون من
انفسهم انهم بنوا قتل الانبياء وهم يكلمون مكاييل اباهم وبحث انما هم
لحيات اولاد الافاعي من كثر شرهم وقال من اجل هذا هانذا ارسل
اليكم انبياء وحكما وكتبه فتقتلون منهم وتصلبون وتجلدون منهم
في مجامعكم اعني بذلك لتلاميذ وقال من اجل هذا هانذا ارسل اليكم انبياء
الانبياء لتلاميذ من اجل روح القدس لجال فيهم ومن جهة العطايا
الكبيرة التي للروح الباز قليط الذي يصنع فيهم العجايب واليات
والنعائم المقدسة لكي ياتي عليكم كل دم الصديقين المستفوك على
الارض من دم هابيل الصديق الى دم زكريا ابن برانثيا يا يروشايم
يا يروشليم يا قاتلت الانبياء وراجمة المرسلين اليها كرم من به اردت
ان اجمع بنيك كما تجمع الدجاجه في الحماكت جناحيها فلم تريدوا
هوذا شبه الكلبه والاحبار وجميع شيعه اليهود مثل فراخ الدجاجه
التي تريد ان تجمع فلم تريد ان اجل افعالهم الرديه هوذا اترككم
بنيكم خرايا من الروح القدس والقرابين لنا موسىة وصحايا

البر وصاخر ايام الربح. انا اقول لكم انكم لا ترون من الان حتى تقولوا مبارك
الذي يسلم الرب اعني اتيانه الثاني حينما يتراه كل الخليقة والذين
صلبوه الذين هم اليهود ليعمال والسمع لله دائما ابدا سرمديا

قصص الافصح الثاني والخمسين

ثم خرج يسوع من مبيك فجا ابيه تلاميذه في ربه بنا اهيكل فاجاب
وقال لهم نظروا هذا كله الحق اقول لكم انه لا يترك هاهنا حجر على حجر الا
ينقض ثم تجلس على جبل الزيتون فجا ابيه تلاميذه في جلوه قائلين قل لنا
متي يكون هذا وما هي علامته يجي وانقضا الرومان فاجاب يسوع وقال
لهم انظروا لا يظلم احد فام كثير من ياتون بانهم قائلين انا هو المسيح
ويظنون كثيرا فاذا ائتمعت بالحروب والحبار الحروب انظروا لا تعلقوا
فلا بد ان يكون هذا كله لكن كبريات لانقضا نعم امه على امه ومملكة على
مملكة ويكون خوف وجوع واضطراب في اماكن وكل هذا اول المخاض
وحينئذ يسلمونكم الي الضيق ويقتلونكم ويكونوا مبغضين من كل الكرم
من اجل اسمي حينئذ يشك كثير ويسلم بعضكم بعضا ويبغض بعضكم
بعضا وتقوم كثير من الانبياء الكذبة ويضلون كثيرا ولكن لا تزلوا لتزلوا
المحبة

المحبة من كثير والذي يصبر الي المنتهي يخلص ويكون هذا البشارة للملكوت
في جميع المسكونة شعاده لكل الكرم وحينئذ ياتي لانقضا فاذا رايسم
ردلة الحراب التي قيل في زمانيا لا النبي قائما في المكان المعادين فليغمس
القاري حينئذ الذي في يهودا هرب الي الجبال والذي على السطح لا
ينزل ليأخذ ما في بيته والذي في الحقل لا يلتفت الي اورايه ليأخذ ثيابه
الويل للجبال والمرتضعات في تلك الايام صلو ايلا يكون في كبر في شتا
ولا في ثبوت ويكون ضيق عظيم لم يكن مثله من اول العالم حتي الان ولا
يكون وتو ان تلك الايام قصرت للمخلص وجسد لكن اجل المنتجين
قصرت تلك الايام فان قال لكم احد ان المسيح هاهنا او هاهنا فلا تصد
فستقوم ميتعوا الكذب وانبياء كذب ويعطون علامات عظيمة وايات
ويضلون المختارين ان قدروا يهودا قد تعذت واخبركم فان قالوا
لكم انه في البرية فلا تخرجوا او في المخاض فلا تصدقوا وكما ان
البرق يخرج من المشرق يظلم في المغرب كذلك يكون مجي ابن البشر
لانه حيث تكون اجته ههنا تجتمع السور ومن بعد ضيق تلك الايام
تظلم الشمس والقمر يعطي ضوء والكواكب تتساقط من السماء وتوات
السموات تج حينئذ تظلم علامة ابن البشر في السماء ويوح حينئذ لكل

قبائل الارض وترون ابن الانسان اتيا على سحاب السماء مع قوات ومجد كثير
ويسل ملائكته مع صوت لسافور العظيمة وتجمع فتتاريد من الرياح من
اقصى السموات الى قاصبها فمن اتيته تعلمون المثل اذا لانت اغصانها
مخرجها اوراقها علمت ان اصبغ قد نأ هكذا لانه اذا رايت هذا كاله
اعلموا انه قد قرب على الابواب الحق اقول لكم ان هذا الجيل لا يزول حتي يكون
هذا كله والسماء والارض يزولن وكل شيء يزول والمجد لله دائما
التقريب ومعهم ان يحيى التلاميذ شديدا ونبينا الهيكل يشرونه
لم يراه بل كان ذلك منهم لما سمعوا قوله لليهود ودا اترك لكم بيتكم خرابا
فارا اذ وان يرفعوا قلبه ويستعدوا منه الاشفاق على ذلك البناء
الجميل لما يقف في الحسن لان الهيكل كان من بنا بالرخام والذهب والجوهر
النقيس فكافرا كانوا يقولون له اق واجر ولا ندع هذا الهيكل الذي تراه
يجرب فاما جوابه لهم انه لا يترك اذ بنا حجر على حجر الا ينقض ارا اريد ذلك
اعلانيتم بان ليس هو قد اذوا في طغيانهم ومعاذهم لله وجناهم وان
هذا هو الذي يودي الى خراب الهيكل ولا ينبغي فيه حجر اعلى حجر وكان يعني
بذلك ان الروم ياتي وتخرب المدينة والهيكل وهكذا كان في ايام
اسباسيانوس ملكا روم على ديطيطوس ولده الذي صار ملكا عوضه

كما قد شرح متقدما ولما سمع التلاميذ جوابا لسيدهم ان خرابا يرونها ليم
وانقضا الزمان ومجيئه الثاني يكون ذلك في وقت واحد فلما اجلس
على جبل الزيتون جاوا اليه في خلوة لمعرفتهم بان الاشرا لمقامفلا
ينبغي ان تكتشف لكل احد فسلوه مسئلة مخلوطه عن الامرين جميعا عن
انقضا الزمان وعن خراب الهيكل ولجل ان جوابا لسيدهم كان لمن يسأله
على حسب خبير ولا على حسب لفظه لاجلهم نحو ايساشين وابتدا يجرحهم عن
انقضا الزمان وما يكون فيه وكان قصده بذلك لتقول لهم انهم لم يخاطبون
له وكانت الاشارة فيه الى كافة النصارى وعن كافة الشدايد التي تسرل
بهم عند مجي الدجاجة الانبياء الكذبة الذين يتظاهرون بالحق وبواظنهم
قيحهم جدا وان التجاحه لاجله في كل وقت داعيه الى التخرع العظيم
والصبر الجمل كيلا يصفى الى اياتهم الذي يضمنوها ولا الى هويلاهم وكل
بلاهم التي يبرون بها لاهزم هذين النوعين يضلون كثيرا ومن هاهنا
ابتدا يجرح عن خرابا يرونها والشدايد التي تلتقي اهلها بحسب كثر حربه
علمهم لان هذا الحروب التي ذكرها ليس نعم لمسكونه باسرها وانما هي البلاء
التي نزلت باليهود من الروم عند حصار اريوشليم عند نزل اسباسيانوس
وهو مقدم جيش نرون عليها وحاصرها ومقامه عليها عند جرفات

يرون وعند ذك طيطوس عليها بعد ملك ابيه وقوله اذا سمعتم الحرب
لا تظنوا اي الامم تفلتون في ذلك فان هذا لا يصركم في بشاركم فلا بد
ان يكون هذا كله لكن لم يأت لاقتضا ان ايضا ان يبين لهم عند خراب
الهيكلي ليرى بطل العالم وقوله تقوم امه على امه وملكه على ملكه ويكون
خوف وبيع واضطراب في اماكن وهذا اول المعاصر ارايدكم ما يرد من
الروم على يروشليم لان يوشون بن كيريون العبراني اورد في كتابه ما
يستدل به على كنت لشدة التي جرت عند خراب يروشليم اخيرا وذلك انهم
ما حوصروا اشتد جوع حتى اكلوا كل الكثر من الجلود والحفان
البالية والخرام الى ان شوت امره منهم ابنا لها صغيرا وكان
اكلت بعضه ورفعت بعضه فجاء اليها من اشتم اشجرة شواها فاحاطوا
بشرها وقالوا لها ائسنا ما عندك فخرجت لها ما افضل عندها منه وقالت
لهم هذا نصيب وافر فكلوا ولا تكونوا احزن من امر ولا احزن من ذلك ومن
شدت ما اصابهم ايضا كانوا يخرجون دنانيرهم وصاعهم ويجعلون
ذلك في بيوتهم ظاهرا ليعلم ان يجدوا شيئا من الموت يتبعوه فيكون
ذلك ميراثهم وكان قوم منهم ينملون الدنانير والقطع الذهب يرون
الي الروم ويشتامون اليهم وكان قوم منهم فاداصوا اليهم واكلوا
من طعامهم حينئذ يخرجون الى الخلافة فيقتشون غايضهم ويلحدون
منه

منه ما ابتلعوه فيقتلون به وينفقونه على انفسهم وهذا الامر سبب لهم
شرا عظيما وذلك ان الروم الذين كانوا قد توالوا لهم طارا او ناضرا لهم
فلما فطنوا بها كانوا يفعلونه فقتلوا جميعهم فاقبلوا على كل من خرج
اليهم منهم وجعلوا يفتشون بطونهم ويفتشون اخفاهم ليعلم ان يجدوا
فيها ذهباً وهذا الوصف هو يسير كثير وارايد بقوله وهذا اول المعاصر
اي ان هذا لدايتهم ما يحتمل من العذاب لا عذاب الدنيا الذي قد لحقهم
هو من سبب ما سببنا في علمهم بعد موتهم راحة عظيمة وقوله حينئذ يسلمون
الي الصقير فيقولونكم وتكونوا مفوضين من كل الامم من اجل اني وحينئذ
يشك كثير المعاني في ذلك ان السبب ما اعلمهم بما سببنا اليهم من
الشديد وصح الي اعلامهم ما سببنا في علمهم من الصقير لاجل
اننا بهر اليه وان كثيرا من الذين يمتنون به اذا نزلت بهم الشدايد يكون
لهم صبر عليها وحينئذ يشكون وقوله يبغض بعضكم بعضا يعني به ان
اليهود الذين يصيرون الي الايمان تقع العداء بينهم وبين اقرانهم
ويصير كل واحد منهم عدوا للآخر بسبب الايمان والكفر حتى ان كل واحد
منهم يتمنأ قتل الآخر وقوله وتقوم كثير من الانبياء الكذبة ويظنون
كثيرا ارايد الانبياء الكذبة الذين يتبعون باسمه وقت بعد وقت

لان كثير من اليهود قاموا على التلايد وضادوا وعلوا آيات وعجايب
 وفهم الذين قالوا انهم لم يسمعوا منهم وشكوا فيهم لانهم لم يسمعوا
 كثير اتيهم واستأجروا بغيرهم وقوله وكثرت لانهم نقل المحبة من كثير
 والذي يصير الي المنتهيا يخلص يعني ان المؤمنين حين يشاهدون اعمال
 اولئك لا يجادلوا الامة وكثرت ما يصنعون من الاعمال لتغيير نيات
 بعضهم وتقل اما تنتهز في محبتهم في اي انهم يكون لهم حرج صحيح وان
 الذي يصير منهم الي انتهاج امة على ايمانها ومحبته يخلص وقوله يكره
 هذا البشارة للملكوت في جميع المسكونة شهاده لكل الامم يعني بذلك ان
 التلايد بعد قيامته يبشرون في اليهود وجميع الشعوب ببشارت
 الملكوت حتي انه لا يترك حجة لليهود ولا علة في تركهم الايمان به
 واذ ان الذين يؤمنون من الشعوب يصيرون مؤرخين اليهود على كفرهم
 وقبح انما لم يعاندتم الحق ورفاهنا يصيرون شعورا عليهم اذ اما
 نزلت بجر البلاء من ابراهيم وقوله حينئذ ياتي الانقضاء يعني ان الوقت
 الذي يكون للحصار فيه عليروشليم والسلايد التي تاتي علي اليهود قد ان
 واما استشهاده بكلام النبوة هاهنا وقوله اذ اتيتم ردلتكم خراب الذي
 قيل في ضايقا للذين قايما في المكان المقدس اراد بذلك حصول صنم
 قصير

قصير في الهيكل الذي اختار للناس في صورته لان قوما قالوا انه صوت
 نسر وقوم قالوا صوت خنزير وقوله فليفتهم القاري اي انه اذا كان
 هذا تعلمون انه قد نال خراب الهيكل وقوله حينئذ الذين في يهوذا يهربون
 ليجان والذي علي السطح لا ينزل ليأخذا في بيته والذي في الحقل لا
 يلتفت الي وريه ليأخذ كتابه يعني بذلك السلايد التي تاتي من التوم
 عند خراب يروشليم كما شهد الكتاب اذ اتيتم يروشليم قد لحاظ بها
 لجنود حينئذ فاعلموا انه قد نال خرابها ثم وصف الشدة التي تجري علي
 سكانها وهذا جميعه يدل على صعوبة ما ورد عليهم من البلاء وقوله لويل
 للرجال والمرضعات في تلك الايام فاراد بعد نوعين الاول ان الجبل
 لا تقبل علي الحرب من قتلها وتربا اشقطت الجنين من شدت الخوف
 وهلك والمرضعه ايضا من اجل ضيعها يكون عند الحرب في شدة ما يكون
 من الجان والثاني ان الذين عرفوا الحق في نفوسهم وكنتمو خشية من انتقام
 او من شدت تاتي عليهم بسبب عترة افعية فخرجوا لالههم وهم اذ لم يسمعوا
 تلك السلايد في الدنيا ويصاقبون في الآخرة أشد العقاب والمرضعات
 ايضا هم الذين يوردون تعليمات ليست عسظوا في كتب الله ويلزمون
 الناس بها ويقصدون بذلك اما رفعة في المنزلة واما غبطة فيقبطون
 بها من امور العالم فيجرون علي ذلك جوارا في الآخرة وفي الدنيا وقوله

صَلَوَاتُكَ لِيَكُونَ هَرَبِي فِي شَأْنِي وَلَا يَنْتَبِهُ فَأَرَادَ بِهَذَا الْقَوْلِ أَيْضًا وَجْهَيْنِ
الْأَوَّلَانِ الْمَرْبِ فِي شِدَّةِ الشَّاكِلِ فِيهِ ضَيْقًا لِمَسَاكِنِكَ وَيَكُونُ سَعْلًا
الْمُسَافِرِينَ فِيهِ مَشَقَّةٌ عَظِيمَةٌ مِنَ الْبَرِّ وَالْأَمْطَارِ وَالْأَوَّحَالِ وَالزَّلْزَلَةِ
وَالْأَشْيَاءِ الْهَارِبَةِ وَالشَّتِّ فَلَنَنْتَ فَلَنَنْتَ لَمْ يَكُنْ بِالْكَافِيَةِ وَلَا الشَّعْبُ وَالْحَارِبُ
فَلَا يَدُلُّهُ مِنْ هَرَبِهِ الْفَرِيقُ جَمْعًا وَالثَّانِي أَنَّ الشَّاكِلَ لَا يُمْكِنُ أَنْ يَكُونَ لِشَيْءٍ
مُتَوَفٍّ فِيهِ فَأَرَادَ أَنْ يَحْدِثَ مِنْ الْخُرُوجِ وَخَرَجَ خَيْرٌ مَخْرَجٍ فِي هَذِهِ الدُّنْيَا
فَرَأَتْ الْخَيْرَ وَالشَّتَّ هُوَ أَيْضًا يَوْمُ رِبْطَالِهِ عَلَى حَبِّ السَّنَةِ الْأَوَّلَةِ
وَلَا يُمْكِنُ أَنْ يَكُونَ فِيهِ عَمَلٌ يَقْتَضِي حُكْمَهَا بِحَرَصِنَا أَنْ لَا يَكُونَ بَطَالِينَ مِنْ عَمَلٍ
لَا خَيْرَ فَيَدُلُّهَا الْوَقْتُ الَّذِي يَكُونُ فِيهِ خُرُوجُنَا مِنَ الْعَالَمِ وَخُرُوجَ الْيَتِيمِ
مِنْ عَمَلِ الصَّلَاحَاتِ كَمَا يَجْرِي الْحَالُ فِي يَوْمِ الشَّتِّ وَقَوْلُهُ تَسْكُونُ ضَيْقُ
عَظِيمٌ لَمْ يَكُنْ مِثْلَهُ مِنْ أَوَّلِ الْعَالَمِ حَتَّى الْآنَ وَلَا يَكُونُ أَرَادَ بِهَذَا الْقَوْلِ
أَنَّ الشَّدِيدَ الَّذِي تَجَرَّى عَلَى أَيْرُسِ شَلِيمَ لَمْ يَجْرِ فِيهَا وَذَلِكَ أَنَّ الَّذِي قَتَلَ
فِيهَا وَبَشَّرَ مِنْهَا عِنْدَ فَتْوحِهَا وَدُخُولِ الرُّومِ إِلَيْهَا مَا يَدَّ وَشَبَّعُونَ الْفَا
فِي يَوْمٍ وَلَحْدُودَ لَكَ خَاجًا عَنْ الْخَلْقِ الَّذِي هَلَكَ أَوْ لِحَصَا لَمْ يَكُنْ فِي مَدِينَةٍ
زَمَانَ الْحَصَارِ السَّنُونَ وَالْجَمْعُ وَقَدْ عَشَرْتُمْ لَفَ لَفَ وَمَا يَدَّ وَخَشِينَ لَفَ
فِي تِلْكَ لَمَّا لَمْ تَكُنْ فِيهَا الْحَصَارُ السَّنُونَ وَالْجَمْعُ وَقَوْلُهُ وَلَوْلَا أَنْ تِلْكَ
الْيَامِ

الْيَامِ قَصَرَتْ لَمْ يَخْلُصْ وَجَسَدُ عَنِي هَذَا الْقَوْلُ فِي أَيَّامِ الْحَصَارِ تَكُونُ
قَلِيلَةً لِيَلَا يَنْظُرُ لِحَدَثَانِ لِنَهَارِ كَانَ يَقْصُرُ وَذَلِكَ أَنَّ طَبِيعَتَهُ كَانَ
أَوَّلَ حَصَارِهِ لِيَرْوِ شَلِيمَ فِي نَفْسِ شَهْرِ يَهُوذا الَّذِي هُوَ نِسْيَانُ وَكَانَ
فَتْوحَهَا فِي ثَمَنَةِ أَيَّامٍ مِنْ أَسْبَابِ الَّذِي هُوَ أَتَى جَمِيعَ أَيَّامِ الْحَصَارِ وَاحِدًا
وَتَمَانِينَ يَوْمًا فَقَطَّ وَقَوْلُهُ لِأَجْلِ الْمُنْتَجِبِينَ قَصَرَتْ تِلْكَ الْأَيَّامُ لِمَعْنَا
فِي ذَلِكَ أَنَّ خَلْقًا كَثِيرًا مِنَ الْيَهُودِ الَّذِينَ كَانُوا مُقِيمِينَ بِسُورِ شَلِيمَ كَانُوا
قَدْ آمَنُوا بِالْمَسِيحِ عَلَى يَدِ التَّلَامِيذِ وَكَانَ كُلُّ مَنْ يَأْتِي مِنْهُمْ لَا يَسْتَقِيمُ لَهُ أَنْ
يَقِيمَ بِسُورِ شَلِيمَ مِنْ شَرِّ الْيَهُودِ وَكَانُوا يُخْرِجُونَ فِي حُبِّ الْمَسِيحِ مِنْ يَوْمِ هَمَّرَ
وَيَتَرَكُونَ أَهْلَهُمْ وَأَقَارِبَهُمْ مِنْ أَجْلِ إِيَّاهُ مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ وَكَانُوا أَوْقَتَ
الْحَصَارِ رَاحَتِينَ عَنْ الْمَدِينَةِ وَأَهْلَهُمْ وَأَقَارِبَهُمْ قَاطِنِينَ بِهَا وَلَمَّا اتَّصَلَ
بِهِمْ أَرْبَعٌ قَضَا يَتَوَاعَلُ الْمَدِينَةَ وَأَنَّ السَّكَانَ بِهَا فِي شِدَّةِ الْبَلَاءِ
وَكَانُوا يَسْتَعْفِفُونَ اللَّهَ فِي أَمْرِهِمْ وَيَسْأَلُونَهُ أَنْ يَتَرَأَوْهُ عَلَيْهِمْ وَلَا يَنْزِلَ
بِهِمْ شَخْطَهُ إِلَى النِّهَايَةِ فَقَصَرَ اللَّهُ تِلْكَ الْأَيَّامَ مِنْ أَجْلِهم وَرَفَعَ الْمَوْتَ
حَتَّى يَخْلُصَ مِنْ خَلَصَ وَأَسْرَ مِنْ أَسْرَ وَسَلَّوْا مِنْ الْقَتْلِ وَقَوْلُهُ فَإِنْ قَالَ
لَكَ أَحَدٌ أَنَّ الْمَسِيحَ هَاهُنَا أَوْ هُنَا فَلَا تَصْدُقُوا فَمَا لِمَعْنَا فِي ذَلِكَ أَنَّ
السَّيِّدَ مَا ذَكَرَ الْبَلَاءِ الَّذِي تَنَزَّلَ الْيَهُودَ مِنَ الرُّومِ عَادَ إِلَى الْقَضَاءِ دَكَرَ

العلماء كيف يكون مجية وهذا القول كان إشارة للمؤمنين به الذين يكونون
في ذلك الزمان الذي يكون مجية فيه أي آخر هذا الزمان وأمن الناس وقالوا
لمن المسيح هاهنا أو هاهنا فلا يسموا قائلين في ذلك لأنهم ولا يأتون
عن ابن الهلاك ذلك المظني الذي يكون اسمه أنطيوخوس طومر فإنه يتزايأ
بني الحق ليقتصد بذلك الباطل وعند ظهروهم الشياطين
إنما كثيرا من كل موضع فيعمل لهم على جهة أحيال الذي قوام له آيات كبار
تكاثر تظل المعقنين فيبقون ويملكون بعمله حينئذ ينادون بمجيه
كأنه المسيح وقوله فيسبقهم مسيحوا لديه وأنبيا لديه ويعطون
علامات عظيمة وآيات ويظنون المختارين أن قدوا المعناني
ذلك أن جماعة من المفسرين العلماء اتفقوا على رأي واحد في تفسير
أمر هذا الشخص الذي يتبعه عذب مطالب الأول عن تفسير اسمه
أنطيوخوس طومر الذي هو اسمه أقوال أن هذا اللفظ يوناني وتفسير
المستعمل أي أنه ينسب نفسه بالمسيح والثاني عن ما فيه أقوال
أنه إنسان فيه شيطان شأنه به يصنع كخالات التي يظن بها الناس
والثالث عن الشواهد التي أتت من الكتب تدل على ظهوره فقالوا
أن الإنجيل في هذا الفصل قد دل على ظهوره والرسول يوصيهم بقوله أيضا
في رسالته إلى تسالونيكيين لا تاتوا في النعمة ويظهر إنسان الخطية
ابن

ابن الهلاك الذي يوصد وجهه بفعل الشيطان والرابع عن جالظهور
الذي يكون عليها أقوال أن الشيطان يدخل في شخص من اليهود
من أن يهودا من بيت داود قد تداب بالشعر والجوسية وجعله
الله ويظهر على يديه الشر والظلمة الخامسة عن زمان حضوره
أقوال أنه يظهر قبل الانقضاء من بشير ويكون في ذلك الوقت
اتسمي ملكته الروم كما قال من ألسان الذهب والسائر عن السب
في مجوره في ذلك الزمان أقوال أنه الشيطان لا يراد في طغيان
الناس وكثرت شيعته في الأرض الفساد واصل الناس بكثرت عبادات
الزنان فشغلوا ربهم منه وناسخوا بحرقه بأبليس البشريه وخلصهم
من أثر مجية الأول حينئذ يسكن عن كثرت الزيادة ونقضت عبادات
اللاتان وكثرت المؤمنين بالمسيح ومن أجل هذا فإنه مشاهد نفسه
مفتحة من كثرت المؤمنين بالمسيح ونقض ملكته وإن العبادات التي
كان سببها ظلال الناس واستبعادهم قد بطلت فيكشفت قناعه ويبرز
للفساد ما يظهر على يد هذا الشخص من الخيالات التي ليس لها قوام
ويظل إنسانا كثيرا عن عبادات الحق والله يجعله في ذلك من أجل الحق
التي أعطاه الله والسلطة على بني البشر وأما له قد تدنو حافيه وجهان
الأول حتى يبين الأحيار الذين مشكوا الحق وقصوا عنكم من الأشرار

الذين تركوا الحق وظواهر افعالهم باها وتبعوا هواه والتاني حتى يكون
عقابهم شديدا باستحقاق لان الله اعطاه حريته وسلطه ولم يتركهم آمنه
وهو لا يفتخر عن بعد لنا من عباد الحق واظفاهم بالباطل حينئذ
يقول الرب على المومنين به ويشأ بحبه الثاني لخاصههم والشايع عن
افعاله فقالوا انه يشتم نفسه بالمسيح ابن الله وفيه الايات لاعلى الحقيقه
لكن على سبل الخيال الشك كما فعل اناثانوس في ايام قسطنطين شراره
بينه وبينه اليهوديين وشيخه لخدمته انه المسيح المنتظر ويظهر
بعد ذلك افعال الشر والتناقض والتفصيل في المومنين لكي ياخذوا كايال
الشهاده من اجل مقامهم لافعاله التي ليس لها ثبات والتاسع عن الذين
يتبعونه فقالوا ان كثرت الذين ينتمون اليهم يكونون من اليهود والمجوس
اما اليهود فلاجل توهمهم انه المسيح المنتظر واما المجوس فلاجل ان يسبحوه
اقوي من شعورهم فترادون ظلاله على ظلال شهره والتاسع عن ملكه مقامه
فقالوا انت عشر شهر ونصف واشتدوا على ذلك فوافينا ان لانه يعطي
وقت ووقت من الاوقات ونصف وقت الوقت هو سنة والوقت من الاوقات
هو فصل من فصول السنة اما فصل الشتاء واما فصل الربيع واما فصل
الصيف واما فصل الخريف ومدت كل شخص فصل في كل سنة اشهر ونصف
الوقت هو شهر ونصف والما شر بطلالا منوه فقالوا ان الرب عند
انتهائ

انتهاء هذه المدة الميعنه يشرق نور من السماء وحينئذ يحل من قبله
كايديوب الشمع امام الناس ولجل هذا قال الرسول بولس ان المسيح يدحضه
روح فيه ويبيظه بظهور حبه وللشاي ان يقول اذا كان الكاذب
المطغي وحدا فليكون قال السيد لهم جماعه الله فيقال ان السيد عبر
عنه بالكثره لاجل ان جماعه من تباعه يكونون يعملون كما عمل له فجمعهم
معهم لتساوهم في الازايال والمختارين الذين لم يقدروا هولا ان يضلوا
فهم المومنون الذين يبتغون في الارض الى حين مجي الرب ويظهرون في
السحاب وينلقون في الهواء وقوله قد تقدمه واخبركم فان قالوا لكم انه
في البريه فلا تخرجوا او في المخاض فلا تصعدوا اراد بذلك القول ان
يؤكد الوصيه الاولى ويجعل من التغريب الى الجاه وان يكون بعد المومنين
منه غايه البعد وقوله وكما ان البرق يخرج من المشرق فيظهر في المغرب
كذلك يكون مجي ابن البشر اراد بهذا القول ان يعرفنا ان حبه الثاني ليس
هو وطابق لحبه الاول ودا ان حبه الاول كان في موضع واحد
ثم ان تصرف في العالم كان تصرف لبعض الساكنين من الناس والذين
بشرايه ايضا قوم معاديين وهذا المجي الثاني على خلق المجي الاول
لانه جعل له علامات عداقه الاولى مشر انه يظهر كمثل البرق اي ان كما
يكون البرق في ظهوره لا يشعرا للناس يدعي في علمه نور هكذا يكون

ظهور ابن البشر عند ما يكون لنا من مشاغلنا بشاغل يظهر نوره فتشرق
 منه الارض كلها فينير العالم بالشر ويعلون الكائنات بحجبه ويعرفون معرفه
 صحبه لا يحتاجون فيها الى نير ولا الى شمس وهذا تمام العلم
 الاول وقوله ابن بشر اي ان هذا الجسد الذي صعد به الى السماء لم
 لم يرافقه وبه تكون الدينونة ليلا يظن ان ان يتراله في القضايا يكون
 بالقوه لا بفعل فاراد يعلمنا ان الارض خلقت بهذا الظن وهذا علامه
 ثابته وقوله انه حيث تكون اجته هناك تجتمع النشور يعلمنا انه كان
 اجته اذا كانت في موضع شراعه النشور ليكنها لا تفعل ذلك لظلم
 ولعلنا تكون الارواح هكذا الذين قد صفة عقولهم وعرفوا احالات الاتصال
 ببسائر اظهر الرب في السماء ياتون من كل الافاق اليه ملتجئين
 في اجور كسبه النشور لان الله في كل لوقت يبدل تركبهم الكتيبة
 بلطيق كما كان اولاً وشبههم بالنشور لوجهين الاول ليلحقهم الرب
 في الهواء والثاني ليجل اهرامولك البشر كما ان النشور هو ملك لطير وهذا
 علامه ثالثة وقوله ومن بعد ضيق تلك الايام تظلم الشمس والقمر لا يعطي
 ضوءاً والكواكب تتساقط من السماء وقوات السماء تنزع ارا دضيق
 تلك الايام الشدايد والبلايا التي تجري على المؤمنين من الدجال فاما
 انحلال

انحلال الشمس والقمر نورها فانه عند اشراق نور الرب ينعزل نورها
 عنهما ويصير نوراً واحداً مستوياً ويقف في ناحيه واحده وتبقى
 الظلمه في ناحيه اخرى لان النور متى انفصل من مكان فهو يستغيظ كل
 وذلك يكون في وقت يشبه بطوفه الفين فلا يتحرك عن شوكها وهذا
 يكون الامر جميعاً الاول منهما ان الارواح في ذلك لوقت يستضيون
 بالنور الالهى الذي هو قايدها ظهر لكل نور ولا يحتاجون الى شمس ولا نير
 يصيرون في الظلمه والثاني منهما ان يكون بهذا الوصف تعلق الاجسام
 الناس بعد الموت هكذا يكون خاليه من النشور وعناصرها الاربعه
 لا يبطل منها شئ بل تكون باقية وانما تبطل افعالها حسب وهذا علامه
 رابعة واما سقوط الكواكب من السماء فانه اشد ما يكون على الناس لانه
 يخلع قلوبهم وينزلهم اشد الرعب والخوف لان الكواكب في ذلك لوقت
 تهب كما لما قيل وتتحرك عند سقوطها حركات مختلفه والتي من ناحيه
 المشرق يكون سقوطها في المغرب والتي من ناحيه الشمال يكون سقوطها
 في الجنوب وهكذا يكون فعل الكواكب التي في القطرين الاخيرين حينئذ
 تنزل الارض جميعاً ويكون للبعصه صوت مغرغ ومن ذلك تخرج نفوس
 الاشرا من شدت الرعب والخوف وانسقاط اياتي عليهم وهذا علامه

خاسته وحسبنا تخرج قوت السماء الذين هم الملائكة اذا نظروا هذا التغيير
العظيم وهذا الانقلابات التي لم يعمدوا لها من قبل وقوله حينئذ يظفر
علائقه ان الاشياء في السماء يعني بالملائكة بالعلماء الصليب المقدس
لانه في كل وقت يظفر صليب من نور عجيب ببسلطان الله فليس
كالنور المعروف بل الشرف ما يعرف به ليس له قياس لا يدرك كونه ويكون
شعاعه ايام النور واجام شعاع النور المشرق والبر لا يظفروا به
في كل وقت لكي ينظروا كل الذين اضطهدوا المؤمنين بالمسيح من
اليهود والشعوب يحسبوا عند الخوف والندم على ما قدوة من افعالهم
الديمية ولا سيما الذين كانوا سموا في صلب المسيح وهذا علامه سادسه
وقوله حينئذ يفتح كل قبائل الارض اي ايام عند مشاهده قهر علامت
يصرخون بالفرح والبكاء ويخجلون انفسهم على ما اجتمروا هناك
يكون البكاء والانس والندم من حيث لا ينفغ فاما اليهود فلاجل صلبه
واما الامم فلاجل تاجه من ايمان واضطهادهم واصفياؤه وهذه علامه
سابعة وقوله ترون ابن البشر آتيا على سحب السماء مع قوات ومجد كبير
يعني بذلك ان ايليا يسبق بالتجديد الى الارض وتقليده هو علامه ثامنة
والملائكة ياتون بعده الوفاء والوفاء ربوات ربوات يقعد سوت
ويشجعون

ويشجعون وهذا علامه ثامنه وركبه على السحاب ليس لانه يحتاج اليها
وركبه على السحاب ليس لانه يحتاج اليها بل اراد ان يظهر مجد كاجلال
لتلاميذه على طوبى ولكي تفرح الصديقون وتخجل المنافقون وهذا
علامه عاشرة وقوله يرسل ملائكته مع صوت المسافور العظيم ويجمع تحت اية
من اربع الرياح من افقي السموات الى قاصصها اي ان السموات على
اطراف الارض كل خمسة المنصوب عليها وعند تصوية الملائكة بالمسافر
تنبعث الاجساد حية بنفوسها الصالحين والاطالحين فاما المختارين
فانهم يصيرون اوصاف الثمرين ويأتون وحشاشا قهر تنال امامهم
وملائكة الله يظهرون قهرا وقهرا يدي الحاكم يكونون في محبة وفتح
باسمهم من اجرات واما المنافقون فيكونون مقهورين شاعيتين
على وجههم ولا يستطيعون القيام وسيا قهر تقدمهم الى موضع الحساب
مكشوف ظاهرا قدام الملك العظيم وملائكته وانبياء ورسله وقد يسبه
وابراهم قبالها من ساعة ويا لها من فضحة ويا له من رجاء ويا له من عار خزي
بين تلك الصفوف لقيام ما قد شمل الابراهم من الكرامه والوقار
وما شمل الخطاه من الخزي الشنيع وقوله من التي اعلموا المثل اذا لانه
اغصافا وخرجه او اقاما علمته ان الصنف قد دنا اراد بهذا المثل

ان يحقق للتلاميذ بحجة الثاني وانقضا العالم حتى يكون ذلك في
جملته بشارته وذلك انه جرد كخراب يروسلير وما يجري على شكاها
في نسط الكلام الذي ذكره في انقضا العالم وقيامته الاموات وكان
ذكر خراب المدينة في هذا الموضع حتى اذا كان كذلك وراه التلاميذ عيانا
كان محققا لهم ما قد ذكره بما سيكون من انقضا العالم وبجبه الثاني بغير شك
وقوله ان هذا الجيل لا يزول حتى يتم هذا كله يعني ان الكلام الذي قد سمعوه
لا بد ان يتم ويتحقق عندهم كما لمشاهده واليقين فالذي لم مشاهده هو خراب
يروسلير وما يجري فيها على شكاها من البلاء وترويه عيانا واما انقضا
العالم فهو يتحقق عندكم قريبا ولا تباين فيه عند خراب الهيكل
ودماره وهلاك اليهود وقوله والسماء والارض زولا وكلاهما لا يزولا
اراد بهذا المبالغة فيما قاله اي انه لا بد ان يكون خرابا الارض والسماوات ان
يقول ان مرقس يقول في بشارته ان الذي قال السيد من التلاميذ هم
بكل شئ ويعقوب ويوحنا واندراوس ومن يقول ان تلميذه اتوا اليه
في خلوة وسأله هذا السؤال هو هو لا في الجواب في ذلك ان الذين اتوا
اليه في خلوة وسأله هذا السؤال هو هو لا في الجواب في ذلك ان الذين اتوا
لتلميذه كما ذكرتموه وهو ايضا اناس كما ذكرتموه لا ر هو لا كان لهم عند
السيد

السيد بسطه من اجل اتباعهم له قبل ان يفتي لتلاميذه وبذلك بسطه صار
له رد على سؤالهم فيقول السائل ايضا ان مرقس يقول ان السؤال
اما كان عن خراب يروسلير والهيكل حسب فاهو السبب في ذكر انقضا العالم
وبجبه الثاني للتلاميذ في جواب هذا السؤال فيقال ان الانقضا قد سبق
في غير موضع ان جواب السيد كان لمن يسأله على حسب الظاهر لا على حسب اللفظ
التي تمنع السائل عن امور شتى اجواب واحد لليقين انه ايضا انه مطبوع
على ما في ضميره مكتوم للتلاميذ ما سألو السيد عن خراب الهيكل كان
نقوشهم ان الهيكل اذ خرب تقوم القيامة لان سوالهم كان مخلوطا
وذا ان متى يقول في بشارته ان السيد لما قال للتلاميذ عن الهيكل
كان في نقوشهم ان الهيكل اذ خرب تقوم القيامة لان سوالهم كان
مخلوطا وذا ان متى يقول في بشارته ان السيد لما قال للتلاميذ
عن الهيكل انه لا يتركها هنا حجر على حجر الا ينقض فقالوا له بعد ذلك
في خفيه قل لنا متى يكون وما هي علامته بجيك وانقضا الزمان فقال
لهم اجواب على حسب سوالهم وعلم ما في ضميرهم وهو هاهنا كان جوابهم
مخلوطا فيقول السائل ايضا ان لتلاميذ كان قصدهم سوالهم
ان يجد لهم وقتا للحمد وذا حتى يرفعهم وجواب السيد لهم فلم يوقت فيه لهم

وقتاً فيقال ان السيد علمه سابق بكل شيء قبل ان يكون واما آخر الجواب
 عنهم بالتخديلات نوعين الاول ان الذين آمنوا باليهود على ايدي الالهيه
 كانوا يفتخرون بالايان لا ينتظرون ذلك لاجل المجدود فالذين يديهم
 الموت قبل ذلك الوقت فهم يفتخرون بالي لعدائهم والذين يسمعون منهم
 بالخير وورد الروم وحلوا تلك الشدايد فلا يستفح بايانه في
 ذلك الوقت لان ايمانه انما يكون عن غلبه وهم فيجب في جملة
 المنافقين لا في جملة المؤمنين والسيد يدي الناس الخير حسب فوجوا
 الجواب بالتخديلات فلو لم يكن لو كان ايضا لحد لهم الوقت الذي
 يجرب فيه الهيكل وتنزل الملكا باليهود قد كان يمكن ان يشا بان
 يسبق الهيكل على حاله واليهود مستقرين على سلامتهم لانه هو لما لك
 للخط والرضا ولا مقرر عليه فيما يشاء ولا كان التخديلات فوقه
 عن رحمة البشر كاجرت له في اهل بنو ي بعد ان داه لهم تخديله
 الوقت على لسان عبده ونبته يونان لانه ذلك وقت في شان ولوامره
 فعلا لغير بظالة والنوع الثاني انه لو كان وقت لقيامه حكما
 مع وفاء لكان ذلك يودي الي قضا دار المؤمنين وكانوا
 يقبلون في تعبدهم من لونه والكسل وقلت الخشية من الله بسبب
 طول

طول الزمان وانما بكرمه ولطفه حتى الامر لهم ما سيكون من غير
 تحديد للزمان وقصد هذا ان تكون الناس على اهبه وتيقظا من خفي
 القيامه والحساب وتخشون بانهم ويعاون الوصايا على رجا القيا
 وهذا الاجل محبة للبشر وارا دهم كجرو ولو انهم لم يروا زمان
 كان ذلك يسوقهم الى شر عظيم ويفتح لهم ابواب التجديف لا يكون لهم
 فيها اجل فهدا الاحوال في التي كانت سببا لتخير جوابه عنهم في
 الامرين جميعا امر خراب الهيكل والملك التي تنزل باليهود من الروم وامر
 انقضا العالم ومحبه الثاني وللشايان ان يقول الله لا خلاف في
 ان امر الله نافذ في خلقته فاية الحكمة التي تدعي ان افعالا ملكيته
 وشيخ اصفياء وهو يقدته كما قد افهمهم الموت بعد انهم في الطويل
 بعد على احضارهم في اسرع من لمح البصر غير رسل فيقال له ان الامر
 كما تقول الا ان السيد يسبق لهم الملكيه من شان احضارهم حسب
 بل من انه يريد بهم الاكرام والميزه عن الاشترار وكون الاشترار ارا واهم
 ايضا في ذلك الوقت الذي شملهم والنور الذي جعلهم واملايكه التي
 تغفمهم وهم في ذلك الحزى اعلم فيشفلون حينئذ بالبحر والنداء
 وكما انه نزل امر السماء ورفي ان يتشبه بعبيد من اجل خلاصهم من

الملائكة واعطاءهم حياة الابدية والنعيم الدائم وكان بعد ذلك عرس
ويحلفون على ما قد تكلموا به في علو سماه كذلك يردان يوتسهم بالملائكة
حتى يكونوا مستبشرين عند عبورهم من الصفوف مما قد اعد لهم في ملكوت
وللسمايل ان يقولوا في الغايه ايضا في صوت الصافوا لا اراد الله
بقياته لخطاه للصحاب فيقال ان المسافر ليس له صوت ولحد مرف
بالكون له ثلاثه اصوات لما يوراد جاهر اعلاه للناس والارض باسرها
ان الرب القوي يظهر عليهم قزحبه وخشاه ولبسه الناس من
فادهم ولنشر الابرار وتخاف الاشرا فاما الصوت الاول هو الذي
قال السيد عنه في مثل العشر عذارى ولما انتصوا الليل صرخ الصوت
ها هو ذا العريس قد اقبل فاخرجن للقائه مع هذا الصوت نظلم
الشجر والقدر ليعطي صوت ولكواكب تتساقط من السماء والملائكة
تلقوا وتنزل الارض وتحنو وتنضع لجمال الاله كاهن ويتود
البحر حتى يسمع منه اصوات هائلة ويعبر منه الاحبار وتفرق الارض
وتقلع الشجر وتهدم البنايات وتقلب المدن وتنقص الاشوار
الحصىه وتبذل السباع والبهائم والطيور والسمك ويفقد كل شيء
مخلقا للناس الذي تكلم به لقيامه احياء وهم الذين قال فيهم
بولص الرسول اننا نحن الذين نبقى احياء لانحو الذين ناموا واقا
الصوت

الصوت الثاني فهو الذي به يشرف ربنا في السماء العظيم والملائكة
ورؤسا الملائكة وسائر الروحانيين الاطهار فونه وتجدونه
وعند ظهوره يلك الشيطان بقدرته وتكذب جميع جنوده في جهنم الحقيقة
واقا الصوت الثالث فهو الذي تبعث معه الاموات لقول الرسول
بولص انه بالسرعه كطرفت عين بالصوت الاخير اذا هتف تقوم
الاموات بالفساد وتبدل حجر اي ترتفع عن نعيت الناس احياء
الذين تولد لهم القيامة فتدكرهم لموتهم فيفسدون ويتغيرون
ويصيرون في حلا الذين يبعثون حينئذ من القبور فيخرجون
من اجل خروج السيد الهيكل من اجل التدمير اليه كين وبنوا الهيكل
وقوله لهم انه لا يتركها هنا حجر على حجر الا ينقض قال كين من وجهه
من الهيكل خرج معه موهبت الله من كل اجمع اليهود وصارت الي
الامر حينئذ في تلاميذه جميع الشرور التي تأتي على اليهود وخر
الهيكل وجميع الاختلال الذي ينال المدينة من الروم وحنان
الذئب يفسد من اجل الوصيه وعلمات الانقضاء قال لا هم
سأله عن الانقضاء وخراب اورشليم وزوال هذا العالم وقالوا له
ممن يكون هذا الذي ذكرته من خراب اورشليم والهيكل لجباب
وقال لهم انظروا لا تظلم احد فان كثيرون ياتون باسمي قايلين انا هو

المتبع ويظنون كثيرا واراد بذلك الادلة التي كانوا في زمن
التلاميذ الذين كانوا يسمون السحرة واليهو الكاوي والذين يشبهونهم
من ريشة الشيعة الرديئة فادانهم الحروب واخبار الحروب وانظروا
لا تظنوا اي انه ينبغي ان تكون هذا الاحوال التي جرت على اليهود من
الروم ولا تروا عنهم الى الدهر ولكن يات الانقضاء لانه لابد ان
تكون الحروب على ايرושليم ومن بعد الحروب يكون الاضطراب والنجوع
في المواضع التي ظهرت على مدن اليهود من بعد ارتفاع الرب وان
من شئت اجوع اكلت السالمون اولادهم ومن كثرت الرجز الذي
اقب عليهم من رجعة جرائهم عليه ولكن ليس يكون الانقضاء فتة
حينئذ يسلونكم الى الضيق ويقنلونكم يعني يا بني التلاميذ من بعد صعودي
وعني بالانبياء الكذبة الذين يعمون ويضلون كثيرا عن الادلة
الذين بعد التلاميذ وكثرت الامم تفلح الحجة من كثير يعني بالاسم
كثرت البغض التي تكون بين الناس بعضهم لبعض يفرعون ووده
كثير والذي يصير الى المنتهى يخلص يعني ان الذي يكون في
ذلك الزمان لا يفيض احد من الناس هو الذي يخلص ويكثر جدا
البشارة للملكوت في جميع المسكونة سنهارة لكل الامر وحسينا
ياي الانقضاء يعني ان التلاميذ اذ ابشروا في كل المسكونة عند ذلك
ياي

ياي خراب ايرושليم فاذا رايتهم ذلك الخراب الذي قيل في مانيال النبي
قائما في المكان المقدس فليعلمهم القاري يعني ان اية الخراب المراد
هو الصنم النحاس الذي افعله بيلكطس في الهيكل بين اورشليم على صوت
قيصر الملك ومن بعد زمان قليل جدا الامر لانه لما كانت هذه الالية
في الهيكل كان خراب ايرושليم ونقض الهيكل مرعيا كذا روم في عرش
قال اية الخراب النجس هو النجس الدجال الذي يفتل في الهيكل
بين اورشليم ويعني يقف في الموضع المقدس ويرفع القرايين على المدبح
ويتشبه برئيس الكهنة على الحقيقة يسوع المسيح الذي يهلكه روح فيه
قيصر يعني قال الانبياء الخراب النجس في صوت قيصر تقيصرت
بيت المقدس قدام الهيكل هكذا في زمان الدجال تقيم صورته في جميع بيعة
المسكونة ليكون كل من يصلي يحمل الصلوة قبل الصلاة حينئذ الذي
الذي في يهودا يهرب الى الجبال والذي على السطح لا ينزل ليأخذا في
بيته والذي في الهيكل لا يفتل في اورشليم ليأخذ ثيابه يعني
ان يهودا هي الغنابل لانه في ايام الدجال يكون الذين يعملون الغنابل
ويحفظون وصايا الانجيل يهربون الى الجبال ويتستحبون في مضاي
الصخور من بين يدي التنين المهلك فالذين على السطح يعني في
علو الكلام الرمادي لا ينزل من علو الفكر المستقيم ولا يحطرون قلبه

لما فكر الرب في اي اعمال الشيطان والمسيح الكذاب ليلا يتخذ لخيرات
التي اقتناها في بيته الذي هو الايمان بالمسيح والذي في الحق يقني به
المستغفر في المواضع التي نبت الايمان بالحقيقة فيها اعني ايمان الروح
ليخرج الاخلاق ليخلصنا به يعني الامور لتقبله التي هي اهتمام هذا العالم
الويل للرجال والمرضعات في تلك الايام يعني من كثرت الشدايد
والاضطهاد الذي يكون في ذلك الزمان ولهذا ايضا معنا اخر وهو
ان كل من يطيع ويامن بذلك لطاعي وسيجد لصورته من اجل العلامات
الباطلة التي يصنعها فيهم العوامل اللواتي في ذلك الزمان لغاني
الويل لهم واللواتي هم مرضعات من الذين يؤمنون بذلك لطاعي
وسيجدون لصورته صلوا ليلا يكون هم ربكم في شتا ولا في شت
يعني ان الرب هو اخرنا لانسانا والمستأهروا قلت ايمان القلب
صلوا ليلا يكون هم ربكم في شتا اي ليلا يكون اخرنا في ذلك الزمان ستم
يتمجه الرب يخلص وايليا ليقيموا قلوب المؤمنين بغير اموهت الروح
القدوس الساكنه فيهم وسيكون ضيق عظيم لم يكون مثله من اول العالم
حتى الان ولا يكون يعني بذلك لافلا العظم الذي كان في ذلك الزمان
والزلازل والعلامات المفترعة التي تكون في السماء وصوت الرعد
ومطر البرق الكثير والعلامات التي تكون في السماء وفي الشمس
والقمر

والقمر ولولا ان تلك الايام قصرت لم يخلص وجسد يعني ايام الرجال
المسيح الكذاب التي في قلبه في العدا يعني ثلاثة سنين ونصف
لكن من اجل المستجيب قصرت تلك الايام فان قال لكم لعدان المسيح
هاهنا او هاهنا فلا تصدقوا فسيقوم مسيحا كذب وانبياء كذب يعطون
علامات عظيمة وايات ويضلون المختارين ان قدروا لانبياء
الزور والكذبة الذين ذكرهم هم المسيح الكذاب والذين معه يعاملون
الايات الكبار الباطلة الشجر يعمون المواجيم واعمال السحر
التي ليس لها حقيقة الا ان الشياطين لا يجازر تشبههمون بالاموات
كاهن خارجين من القبور هذا الحال وكثير من المصطفين يشكون
ويؤمنون به هودا قد قدمت واخبركم فان قالوا لكم انه في البيت
فلا تخرجوا او في المحادع فلا تصدقوا يعني ان ذلك لظال المطغي
المسيح الكذاب وهو بيتكم من اول ظهوره يعمل اعمال الرب للناس
انه يخرج الي القفر والله يقيم فيها يصوم اياما يشبه بالمسيح الا انه
لكو ويدخل الى محادع يعني انفسها فبعد الرب الشيطان به يجد
البيل الى ان يجزع الناس ولذلك ابتدا الرب واعلمنا انه اذا قيل
لكم انه في القفر فلا تخرجوا او في المحادع فلا تصدقوا كما ان البرق
يخرج من المشرق يظهر في المغرب كذلك يكون عجي ابن البشر لانه

حيث تكون الجنة هناك تجتمع النور يعني انه مثلما تجتمع النور على الحية
 ليأخذ أمنها هكذا القديسين تجتمعهم للملايكه بعضهم بعض لينتقوا
 الرب في الجو على السحاب يحكمهم شجائب النور لانه في جنته من اجل
 تدبير موته وقبره ثلاثة ايام قايمن بين الاموات من اجلنا حتى اقامنا
 كلنا معه واهلنا ان نظلم مثل النور التي في الافكار الصالحة التي
 تتعلا الى اللاهوتيه المحييه ومن بعد ضيق تلك الحياه يظلم
 الشمس والقمر لا يعطي ضوء والكواكب تتساقط من السماء وقوات السما
 ترجع يعني ان ضيق تلك الايام التي للمسيح الكذاب وانما له المظفيه
 البطاله والكذاب الذي يصنعه من اجل شوافعه له تظلم الشمس
 والقمر والقوات السماويه تضطرب التي في الملايكه المقربون
 الذين يتبعون الرب يضطربون جيرون لخلقته متغيره من الفزع
 والوعب حينئذ يظهر علامه ابن الانسان في السماء يعني علامه
 الصليب المخلص وتوح حينئذ كل قبائل الارض يعو بذلك جميع الخطاه
 الذين على الارض من كل القبائل ويرون ابن الانسان انبيا على سحاب
 السماء قوات ومجديس ويوسل ملايكته صوت السافور العظيم
 ويجمع مختاره من ارجح الرياح من افقي السموات الى اقاصيها فمن
 النبيه

النبيه اعلو المثل اذ الاله اغصانها وخرجته اوراقها علمته ان
 الصيق قد دنا فبالمنه الروحاني مثل النبيه بالدين ومثل الاعضا
 والاوراق شبه العلامات التي تكون في زمان المسيح الدجائ
 والصيق على انقضاء العالم لان العالم يشبه الشيا المملوه حركه
 وظلاله في السحاب والكيف يعني زمان الانقضاء لان في تلك
 الايام يحصد الزرع وتجمع البياض والبن تحرق النار التي لا
 تطفأ الخوا قولكم ان هذا الجبل لنزول حتى ينهره فكله يعني
 قبيلت المومنين الصديقين الذين كانوا في اول حضرت الرب
 المخلصه الى زمان الانقضاء ولا تنقضي قبيله المومنين من على الارض
 حتى يروا جميع ما يكون في اخر الايام والمجد لله دائما
قصص الاصحاح التاسع والخمسون
 ولاجل ذلك اليوم وتلك الساعه لا يعرفها احد ولا ملايكه السموات
 الا الاب وحده وما كان في ايام نوح كذلك يكون اشتعلان
 ابن الانسان لانهم كانوا قبل الطوفان ياكلون ويشربون ويزوجون
 ويتزوجون الى اليوم الذي دخل فيه نوح الى السفينه ولهم
 يعلموا حرجا الطوفان وغرق جميعهم كذلك ايضا يكون مجي

ابن الانسان حينئذ يكون انسان في الحقل وخدا لواحد وترك
الآخرى اشهر والآن فانكم لا تعلمون في اي ساعة ياتي بكم اعلموا
انه لو علم رب البيت في اي ساعة ياتي لسارق لسهر ولم يدع بيت الله
ينقب كذلك كونوا انتم مستعدين لان ابن الانسان ياتي في ساعة
لا تظنوها من زري العبد الا مير الحكيم الذي قيمه سيده فنجده
يعمل هكذا الحق اقول لكم انه قيمه على جميع ما له فان قال لك العبد
الودي في قلبه ان سيدي يبسط قدميه فيبذل بصره لبحاب
العبيد ياكل ويشرب مع السكيرين فياتي سيده لك العبد في يوم
لا يظنه وساعه لا يعرفها فيشقه من شطه ويجعل نصيبه مع
المرايين هناك يكون ليكا وصيرا الانسان التفسير قد بشر
الايفاح في غير موضع ان بكلام السيد كان ينقسم الى معاني
ثلاثة والله كان يرد جواب من يتساءله على حسب خبره ولا على حسب لفظه
وكان للتلاميذ عند سواهم له عن انقضاء الزمان لم يبلغوا الى نهاية
الزمان فيعرفون ان السيد مود من الله قبل الدهور والله مساوي
له في الجوهري الذي به كان كل شيء وان المعتد واحد والعلم بكل
شيء واحد وكانوا في هذا الامر من معاذير من جحشوا لاجلهم لاهم لم
يصلوا

ابن الانسان حينئذ يكون انسان في الحقل وخدا لواحد وترك
الآخرى اشهر والآن فانكم لا تعلمون في اي ساعة ياتي بكم اعلموا
انه لو علم رب البيت في اي ساعة ياتي لسارق لسهر ولم يدع بيت الله
ينقب كذلك كونوا انتم مستعدين لان ابن الانسان ياتي في ساعة
لا تظنوها من زري العبد الا مير الحكيم الذي قيمه سيده فنجده
يعمل هكذا الحق اقول لكم انه قيمه على جميع ما له فان قال لك العبد
الودي في قلبه ان سيدي يبسط قدميه فيبذل بصره لبحاب
العبيد ياكل ويشرب مع السكيرين فياتي سيده لك العبد في يوم
لا يظنه وساعه لا يعرفها فيشقه من شطه ويجعل نصيبه مع
المرايين هناك يكون ليكا وصيرا الانسان التفسير قد بشر
الايفاح في غير موضع ان بكلام السيد كان ينقسم الى معاني
ثلاثة والله كان يرد جواب من يتساءله على حسب خبره ولا على حسب لفظه
وكان للتلاميذ عند سواهم له عن انقضاء الزمان لم يبلغوا الى نهاية
الزمان فيعرفون ان السيد مود من الله قبل الدهور والله مساوي
له في الجوهري الذي به كان كل شيء وان المعتد واحد والعلم بكل
شيء واحد وكانوا في هذا الامر من معاذير من جحشوا لاجلهم لاهم لم
يصلوا

يصلوا الى احد لفضيله وما كانوا يسلون احدا لنهايه في المكان وذاك
اهم ما كانوا الابعد قياما لسيده عطية لهم روح القدس كما شهد
الكتاب وقال حينئذ فتم دهشهم ليفهموا المكتوب وكما شهد
الكتاب ايضا وقال لهم اقبلوا روح القدس ثم كانت النهايه حاول
الروح القدس بعلمت صهيون بعد صموده وتبينها ان السيد كان
يقول تارة انه ابن الله وقد فعات كثير يقول انه ابن البشر ثم هاتين
لجنتين كانوا يظنون انه انسان فساد الله به عنايه وانه قريب
منه فلما سألوه اجابهم بما لا يدر ظنهم وضميرهم في معرفته فقال
ولا جلد لك اليوم وتلك الساعه لا يعرفها احد ولا ملائكة السموات
الا الاب وحده واما من قص قال في بشارته واما ذلك اليوم وتلك
الساعه لا يعرفها احد ولا ملائكة الذين في السماء ولا الابن
الا الاب وحده وقصص جوابه هذا للتلاميذ ومن جحد ودهش
ثلاثة انواع الاول فلاحهم لم يتحققوا لاهوته وعظم قدرته
فرد لهم الجواب كما يليق بالبشرية كما رد جواب الذي قال له يا معلما
صلحنا ماذا اعمل من صلاح لانه لحياء الدايه فقال له لم تقول
لي صلحا وليس صلحا الا الله وحده ومعلوم ان قوله هذا القول
لم يكن ينفي الصلاح عن جلالته لان هذاتين لم يكن يحسن عقله

فان شاء لان في الصلح انما يكون ينبغي ان لا يقبل منه ما يقوله لان الذي
ليس بصلح لا يتكلم بشي من الصلح وهكذا لتلاميذ عند شواهم
للسيد كان عنده انه انسان ساجد لاله فاما الخراج لكل اليوم
وتلك الساعة لا يعرفها احد ولا الملائكة الذين في السما ولا الابن
الا الاب وحده فقله ايضا هذا القول ليس ينبغي عظمته وقدرة
قلت المعروف باليوم والساعة كقوله ليس صلحا الا الله ومعلوم
ان اسم الصلح يعم جميع الاجناس من الحيوان والجماد والنبات
فاد كان هذا الاسم الذي يعم جميع الاجناس قد شبه الى الله
وحده كقولنا لله الامور العظيمة الفارقة وهو ابنه وحيد
فكان جوابه لهم ما لا يميز البشرية على جنسهم ووطنهم ولا كين
لا يعرف الساعة وهو خالق المخلوقين ومغيرهم كونه يعرف الساعة
من يعرف الامور وما قبلها وما بعدها كما ان الذي يعرف اول النهار
يعرف ايضا اخره ولا بد ان يعرف المتوسط الذي بينهما لان
معرفة كل وقت منهم مرتبطة بالآخر كما له وهذا ان الذي يعرف ترتيب
الليل والنهار كذلك يعرف ان انتقال الليل عند طلوع الشمس
وان تسلط النهار عند انتقال الليل فان كان عالما بما سيكون
قبل الساعة وما شيئا في بعدها كما قد قال فهو اد اعلم بالساعة وان
كان

٢٠
التيه اعلموا المثل اذا لامت لخصاها وخرجت او انما علموا ان الذين
كان غير عالم بالساعة وما سيكون قبل الساعة وما بعدها فهو ليس يعرف
الساعة كما له ومعهم انه بهذا الاقويل التي تقدم قلنا انما سيكون
قبل الانقضاء بعده وبين فيها جميع الامور الكائنة واعطانا علما قاصدا
ان السيد ليعلم على معرفة زمان الانقضاء قد برهن على ان علمه سابق باليوم
والساعة وانما كان جوابه للتاكيد لكونهم لم يحجزوا العلم بان يوقروا
اسم الابن على الله الكلمة وانما كانوا يشعرون الابن من اجل اكرام شيرته
العجيبة ويظنون انه انسان عجيب له فضائل كثيرة في الشيرة الصالحة
يعرفها شيا من الناس وكانوا ايضا يرون فيه انه معلم صلح لا يتصل
على اشياء له فضائله وشيكون لهم منه كما كان ليسع من الياس معلما لانه
اعطاه نعت الروح الذي كانت عليه واما النوع الثاني فان السيد
لم يشأ ان يطلع الناس على انقضاء العالم والخلقة كلها اعني السموات
والارض وكلما فيها كما انكون الناس لتوقفوا الاخرة وجعلهم متى تكون
يحتسبون في حسن التدبير والاعمال الصالحة ولا يملكون منها
ثم لا يصير لهم هوج وفكره بان زمان الانقضاء بعيد فيفترون من الاجتهاد
في طلب الاخرة ويجهلون امر المداينة واراد ان تكون ابدامهم مبنين
للسهر والصلاح منتظرين بحجة الحساب وقد اعلن هذا في شهادت

مرفوعاً علاناً بيناً. فقال اوماذ لك اليوم وتلك الساعة لا يعرفها أحد
ولا ملائكة الذين في السماء ولا الابن الا الاب وحده فانظروا
واستمعوا وصلوا لانكم لا تعلمون الزمان متى يكون مثل انثان سافر
وترك بيته ولعطاه عبده السلطان لكل احد عمله واوصى ابواب
بالتيقظ استمعوا فانكم لا تعلمون متى ياتي رب البيت لا بالمشاء ولا
بنص الليل او صباح الديك وبالعده ليلدا ياتي بغته فيجدكم
نياماً والذيقوله لكم للجميع اقول فاستمعوا اما يكون بيان الزمن
هذا القول في هذا المقام لانه حقق كنهانه عنا عمل الساعة ليس انه
تبارك اسمه غير عار وجها بل انه قصد بذلك دواعنا على السهر والصلاه
والتيقظ في كل حين منتظرين مجيئه اينا الخاص منا والمعام ولولم
يكن يعرف الساعة التي فيها مجيئه لكان مغاوباً لنفسه وذلك
انه قال كل قد دفع الى مزاي وليس احد يعرف الابن الا الاب ولا
احد يعرف الاب الا الابن وكريشاً الابن كشول وقال ايضا
جميع ما للاب هو لي وقال ايضا مخاطباً للاب كل شيء هو لي كما اني
هو لك فان تاوا لك وقل انا تعلم ان الابن يعرفه وهو ايضا
يعرف الاب لم يشهد بان له شيئاً افضل مما لليهود ولنا نحن ايضا
لان

لان اوليك قد كانوا يعرفون الله والله يعرفهم ونحن ايضا نعرف الله
والله يعرفنا فان كان انا تشهد لنفسه شيء مغر خاض وهو ان
كلما يعرفه الاب الابن يعرفه كذلك فقد عني استوا المعرفة فان كان
الاب يعرف مع كل معرفته فهو انا ايضا يعرف الاب مع كل معرفته
ومن هذا قديين انه يعرف اليوم والساعة كما يعرفها الاب واما
النوع الثالث فانه لا خلاف في ان السيد المسيح الاله متانس
فيه كاللاهوت وفيه كاللناسوت وليس لان في فرق
النصرانيه من يضاد هذا القول وذلك انه من جميعهم معروف بان
مولود من الله الاب قبل كل الدهور نور من نور الله من الله يعرف زمان
وانه ايضا مولود من سيدتنا الطاهر من مريم البتول في زمان
بعد اتحادها بما تجسده من روح القدس ومنها فاراد بقوله
الابن في هذا الموضع ليحقق بتم اتحاد لاهوته بناسوته وانه اتحاد
كل غير منفصل في نخوس الاتحاد وذا ان لو قال في هذا الموضع
واما ذك اليوم وتلك الساعة لا يعرفها احد ولا ملائكة الذين
في السماء ولا الابن البشري يتوهم السامعون انه نسب قلت للمعرفه
لناسوته وان امتناعه وكما انه ذلك عجز معرفته آياه وصار
المبانيين الذين يحضون الصواب ويظلمون الحق بهذا القول

سُبَّانًا لِّتَحْقِيقِ عَقِيدَتِهِمْ فِي اقْتِرَاقِ الْاَلِهَوْتِ مِنَ الْاِنْسَانَوْتِ وَتَمَّا ارَادَ يَقُولُهُ
اَلْبَنُ لِحَقِيقِ صَحَّةِ الْاِتِّحَادِ كَمَا قَالَا يَصْعَدُ اِلَى السَّمَاءِ اِلَّا الَّذِي
نَزَلَ مِنَ السَّمَاءِ اِبْنُ الْبَشَرِ الَّذِي هُوَ فِي السَّمَاءِ فَاَرَادَ اَيْضًا بِهَذَا الْقَوْلِ
تَحْقِيقَ الْاِتِّحَادِ لَآنَهُ فِي هَذِهِ الْقَوْلَيْنِ جَعَلَ مَا يَلِيْقُ بِالْاِنْسَانَوْتِ
لِلْاَلِهَوْتِ وَمَا يَلِيْقُ بِالْاَلِهَوْتِ لِلْاِنْسَانَوْتِ كَيْ يَفْهَمُ صَحَّةَ اِتِّحَادِ
لَا هَوْتِهِ بِاِنْسَانَوْتِهِ فِي كُلِّ الْمَعَانِي لِآنَهُ اَيْضًا لَوْ تَمَّا لَوْ تَمَّا يَصْعَدُ لِحَدِّ اِلَى
السَّمَاءِ اِلَّا الَّذِي نَزَلَ مِنَ السَّمَاءِ اَلْبَنُ صَارَ اَيْضًا لِأَهْلِ الْعُنَادِ سَبَبٌ
يَلْتَجُونَ اِلَيْهِ وَيَقُولُونَ مَا يَصْعَدُ اِلَى السَّمَاءِ اِلَّا الْاَلِهَوْتِ الْمَسِيحُ فَقَطْ
لَآنَهُ الَّذِي نَزَلَ مِنَ السَّمَاءِ وَهُوَ فِي السَّمَاءِ فَيَنْبَغِي لَنَا اَنْ نَعْلَمَ اَنْ تَمَّا وَاَيْلَ
كثيره موجوده في كتب الله لِنَسْأَلُ نَفْسَهُمْ هَذَا كَمَا عَمَّا اِظْهَرَ لِقَوْلِ
الْقَوْلِ وَقَوْلِ بُولُصٍ اَيْضًا اَنْ لَّا هَسَانَا اَكَلَهُ فَمَاهُنَا عَلَي حَسْبِ
السَّمَاعِ اِظْهَرَ اَنْ اَلَا هَ حَرْقٌ مَعْنِي لَّا حَافِظٌ مَحِيصٌ فَاِذَا تَقَرَّرْنَا
فِي غَيْرِ هَذَا الْقَوْلِ وَجَدْنَا مَعْنَاهُ لِيَسْأَلَهُ حَرْقٌ مَعْنِي لِّلْكُلِّ بَلْ اَنَّهُ
مَنْزِلُ الْقَوْبَةِ عَلَى الَّذِينَ يَتَكَبَّرُونَ لِحُطَايَا فَاَلَّذِي يَخْذُكَ لَمْ
اَلْكُتْ بِلَا تَاوِيلٍ وَلَا خَصْرٍ وَلَا تَمِيسٍ يُوْرِطُهُ ذَلِكَ فِي اَنْ يَتَوَهَّرَ
عَلَى اللَّهِ مَا لَا يَلِيْقُ بِهِ مَثَلُ مَثَلِ اَدَمَ اِبْرَاهِيْمَ وَمَثَلُ قَايِيْنِ اِبْرَاهِيْمَ
اُخْرَى وَمَثَلُ مَوْثِي مَا هَذَا الَّذِي يَبْدُءُ وَقَوْلُهُ اَيْضًا اَنْ تَعْلَمُوا اَنْ تَعْلَمُوا
هـ

لَا مَرُورَهَا وَلَا تَخْطُرُ بِهَا اِي غَيْرِ ذَلِكَ قَوْلًا كَثِيرًا اُدْرِكُ نَفْسَهُ عَنْ غَضَبِهِ
وَالَا كَانَتْ ضِدَّ الْمَصَوَّبِ وَآيَانُ الْحَقِّ وَلَا يَسْتَمَاعُ عِنْدَ مَنْ لَا دَرَايَةَ لَهُ
بِالْعِلْمِ وَمِنْ جَلَلِ قَوْلِ الْاَبِجِيلِ اَنْ مَنْ لَمْ يُولَدْ مِنَ الْمَاءِ وَالرُّوحِ لَمْ يَقْدِرْ
اَنْ يَدْخُلْ مَلَكُوتَ اللَّهِ فَانْ تَحَرَّجْنَا هَذَا الْقَوْلَ عَلَى ظَاهِرِهِ فَانَّهُ يَسْمَعُ
جَمِيعَ النَّاسِ وَيَكُونُ لِلَّذِينَ كَانُوا قَبْلَ عِيِ الْمَسِيحِ مَثَلُ اِبْرَاهِيْمَ وَاسْحَاقَ
وَيَعْقُوبَ وَنَسْلَهُمْ لَمْ يَصْلُوا اِلَى مَلَكُوتِ اللَّهِ وَكَذَلِكَ الَّذِينَ اسْتَشْهَدُوا
بَعْدَ ظُهُورِهِ مِنْ شَأْنِ الْاَقْرَابَةِ اَنَّهُ اِبْنُ اللَّهِ مِنْ غَيْرِ اَنْ يَجْعَلَ وَيُظْلِمَ اَجْرَهُمْ
وَيَحْرِمُونَ مَلَكُوتَ اللَّهِ وَهَذَا مَا لَا يَصَحُّ وَدَلِيلُ ذَلِكَ اَنَّ الْمَلَكُوتَ لَمْ يَمِنْ بِهِ
وَهُوَ عَلَى الصَّلِيبِ وَتَعَدَّ بِالْفِرْدَوْسِ الَّذِي هُوَ اَبْوَنُ مَلَكُوتِ السَّمَوَاتِ
لَيْسَ بَعْدَ مَا نَظَرْنَا طَوِيلَ بَلَدٍ فِي ذَلِكَ لِيَوْمِ نَفْسِهِ مِنْ غَيْرِ اَنْ كَانَ لَهُ حِظٌّ فِي
نَفْسِ الْمَمُودِيَّةِ فَالْتَوَهَّمُ عَلَى الرَّبِّ اَنَّهُ لَمْ يَكُنْ يَعْرِفُ يَوْمَ مَجِيئِهِ فَمَنْ
لِحُجَاهِهِ وَالْوَشْوَشَةِ اِظْهَرَ اَلَّا لِنَصْرَحَ بِعِلْمِ السَّاعَةِ لَمْ يَكُنْ اِلَيْهِ
ضُرُورُهُ وَلَا كَانَ لِلنَّاسِ بِهِ مَنَفْعَةٌ كَمَا قَالَا لِّلْبَشَرِ لِيَقْوَدِيوسَ اِذْ كُنْتَ
اعْلَمْتُمْ اَلْاَضْيَاتِ وَلَيْسْتُمْ تَوْفُونُ فَيَكُونُ اَنْ قُلْتَ لَكُمْ السَّمَاوِيَّاتِ
تَصْدُقُونَ فَقَدْ بَيَّنَّ اَنْ كَمَا هَذَا السَّرُّ لِنَفْسِنَا وَلَمْ يَأْتِ اَنْ يَنْبَغِ
نَفْسَهُ لَقُلْتَ لِمَعْرِفَةٍ وَقَصْدٌ بِذَلِكَ هَذَا اَلثَلَاثُ اَنْوَاعُ الْمَشْرُوحَةِ

بداً الاول منها ان التلاميذ كانوا يظنونه انه انسان سادج فرد لم
لجواب ما يلايم ظنهم وخبرهم والثاني منها انه قصد ان لا يظهر
للمناظر علم الساعة لكي يكون متوقفين بحبه للمدائنه مجتهدين في
حسن الشيره والاعمال الصلحه ولا غل منها والثالث انه حقق
لنا اتحاد لاهوته بناسوته ودفعه اخري يقول انه كله لاهوت كما
قال لليهود انا كنت قبل ابراهيم وفي وقت اخر قال لهم تريدون قتلي
انسان كملتكم الحق وقد سبقك الانبياء في هذا المعنى اقول
كثير من جلسها ما قال او وذكرك يا الله الى الابد واللاهوت
الغريب المستقيم قضيب لكل احب البر واقضت الامر لذلك
مستحله لله الاله لا يدبر الفرج فقوله انه كرسيه الى الابد واللاهوت
جعل له كله لاهوت وقوله انه مسح باللاهوت جعله كله ناسوت
فرب هذا المعاني تحققت انه بعد الاتحاد الذي استحال له له
ولا فساد فيه متصين واحد غير افتراق بطبيعته واحد اقنوم واحد
وقوله وما كان في ايام نوح كذلك يكون استعلان ابن البشر لانه
كما كانوا قبل الطوفان ياكلون ويشربون ويزوجون ويتزوجون
الي اليوم الذي دخل فيه نوح الي السفينه ولم يعلموا احتياج
الطوفان وغرق جميعهم كذلك يكون مجي ابن البشر اذ يهبط
القول

القول نوعين الاول منهما يدل به على سرعة ما يكون من امر القيامة
وانه ياتي بغتة وان مجازات العالم انما تكون من قبل نياتهم وديارهم
وتسيرهم الحاضرة والثاني منها اراد به ان يكون في كل حين متحيزين
من كل الخطايا لكوننا لانعلم متى يبد لنا الموت وان يكون
اجتماعنا نادايما في عمل الحسنات متيقطين خشية من مفاجات الموت
حتى اذ جاءت الساعة ونحن على تلك الشيره الحسنه استحقين
الخلود في النعيم لا يبر والنياح السرور مدني مخلصا من شدت
العقاب لموئيد وان نتحل كل الحركات لما لا اله الا هو والافعال
في الامور العالميه فنصير كقوم نوح الذين اذ كهر الطوفان
بغتة وغرق جميعهم ويصيبنا من العقاب ما هو اشد من الغرق الذي
اصابهم وقوله حينئذ يكون انسان في الحقل بوحد الواحد وترك
الآخر اعني بهذا القول وجهان الاول منهما ان طبقة الرجال
وطبقة النساء في يوم القيامة يتبعون اجمعهم من نياتهم وتسيرهم
الحاضرة فتحططوا لابرار منهم من كل مكان ومن كل عمل ليتنبوا بما اعده
لهم من الخيرات وترك الباطيون منها اعني الاشرار ليعذبوا
في الارض على سيئاتهم وجعل قوله هذا موعظه تعقب خبر الاخرة
والثاني منها انه اعني بالاشين الذين في الحقل انفس الرجال

وجسد ولاثنين الذين يخطئان نفس المرأه وجسدها وعن الحقل
 والرجل هذه الدنيا التي النفس والجسد فيها أجمعين كليهما وأشار
 إلى كافت الناس الرجال منهم والنساء بانهم إذا علموا انه من الممكن ان
 يغابهم الموت بغير علم فقد وجد عليهم ان يكونوا متعطين متحزين
 قبل ان يغابهم بغيته فيحفظ النفس ويصير دأ في جملته عالم الاخر
 ويتذكر الجسد في هذا العالم الى يوم القيامة حتى يدان كل واحد واحد
 بنفسه وجسده ويجازي على ما وجد عليه من خير او شر على حسب
 النية والضمير والروية وتسيره الحاضر ثم وكذا الحال في هذا المعنا
 نقال اسمهم والآن فانكم لا تفلون في اي شاعه يأتي بكم واعلموا انه
 لو علم رب البيت في اي مجمع يأتي لشارف لشهر ولم يدع بيته يتغيب
 كذلك كونوا انتم متعدين لان ابن الانسان يأتي في شاعه لا تظنوها
 حقيق هذا القول لنا ان الذين يهلون الوصايا ثم يكون شعيتهم
 خلافاً يأتي عليهم الموت بغيته فيحرمون نعيم الاخره والحياه الموده
 وينزلهم العقاب لشديدا للابر وقوله من هو تزي العبد الامين
 الحكيم الذي يغمه سيده على عبده ليعطيهم طعامهم في حينه طويلاً
 لذلك لعبد الذي يأتي سيده فيجد يعمل هكذا ارا هذا القول ثلاثة
 انواع

انواع الاول منها انه قصد عند لاميده فاشأ بهذا القول الى الذين
 يرتفعون راجعاً الكهوت ويتولون خدمته ويستعملونها كما واجب الحرف
 الشديده يحشون تدبيره في الشيره والتيقظ وخدمه البيعه
 وعن بقوله من هو تزي العبد الامين الحكيم الذي يغمه سيده على بيته
 فكان قوله هذا القول على سبيل التبعث اي ان الذي تكون هذا شيره
 قليل ان يوجد لانه يحتاج الي ان يكون اميناً اي تكون بيته عند
 الله خالصه من كل شوي كيلا يحيد عما يجب ويحتاج ايضا الى ان
 يكون حكيماً اي انه يكون خبيراً بالفي الناس ومشاغراً لكي يكون تصرفاته
 تصرفاته فيهم على حسب طبعها ثم فيشوقهم بالتدبير الحسن الي ان يصيروا
 جميعاً الى شيره حيله وعن بقوله فيعطيهم طعامهم في حينه اي
 انه يكون عالماً متى ينبغي له ان يقطع يعلم ومتى ينبغي له ان يدوي
 ومتى ينبغي له ان يشهي ومتى ينبغي له ان يقطع وعن بقوله طوي
 لذلك لعبد الذي يأتي سيده فيجد يعمل هكذا الطوي في لفظه
 معناها الفرح والشهوه والنعيم والابتهاج المعدي الاخره ولما
 قوله يعمل ولم يقل عمل اي ان الامر يدركه وهو يجد في عمله لم يغتر عنه
 فيكون له الفرح والشهوه والابتهاج المعدي الاخره والنوع الثاني
 انه لم يقل من هو تزي العبد الامين الحكيم لانه لم يعرفه بل جعل هذا

القول على سبيل التنبيه للناس لأنه أشارها هنا بالعباد إلى الأنبياء
والسليحين والعلماء والكهنة والملوك والروعا والأغنياء ولجميعهم جميع
مركبان له قدوة على شيء سماه آميناً أي أنه لا يخرج فيما قد أعطاه بل يعمل
فيه بمقتضى الشئ والوصية وسماه أيضاً حكماً أي أنه لا يضع الشيء في
غير موضعه بل يكون عمله فيما أعطاه برويه ونظر في الأوقات التي لا يمكن
التجاوز عنها فتجاري على هذه الشئ بالحياة المودة والنسيم الدائم
والنوع الثالث أنه أراد بالعباد الذين لا يمكن العقل الذي به يتدبر
الإنسان في جميع تصرفاته وبه عين الحق من الباطل في المعتقد
والصدق من الكذب في القول أي أن العقل إذا كان مستقراً على
مرتبة تولى الحوال للنفس والجسد للتدبير الذي رضى الله عنه
يعطي النفس غداً في حينة أي أنه يعيدها بذكر الله بالوعظ النافع
الذي يوردها إلى ثبوت الفضائل ويبعدها عن شهوات الرذائل حتى
تغفر وتشرق وحيدة لا تتصل بشارها وتعلم أيضاً الجسد غداً
في حينة أي أنه لا يطاق له الغد مستمر في كل الأوقات ومثله كالبهايم
بل أعطيه الغد في أوقات مفهومة وأحيان معلومة مستند في ذلك
إما قد سنده الرسل الحواريون ومن أتى بعدهم وصحدهم من الرسل
المشهورين بالتعاليم الروحانية والآداب البيعية لكي يكون شريكاً
للفنفس

للفنفس في ليعمها باستحقاق ومعنا قوله أنه يقيمه على جميع ماله أراد
بهذا القول جميع الأول منهما أن الكاهن والملك والعزير والسجدة
بحرهم كما تقدم الشرح هذا فعل فيما خول ما يرضي الله حصل له في الدنيا
حسن السيرة ويحصل له في الآخرة ليعمها يكون قد حصل على الخط
الأوفر في دار الدنيا والآخرة والنوع الثاني أن العقل المستقر في
مرتبة من غير شدة شطه يكون تابعا على العمل بوصايا الله فيحصل
له في هذه الدنيا هداً وراحة وفي الآخرة بشيطة الله حتى يحصل ليعمها
وقد ما وصل إليه من الاستبهاج والشؤون وما قوله فإن قال لك العبد
الودي في قلبه أن يسيدك يبطل ويند بضر صاحبه العبد وما كل
ويشرب مع التكبير لا هذا القول الأخيار عن الكاهن الذي يكون
بخلاف وصف ذلك الكاهن لأن الذي قد سماه آميناً وحكماً نعماً هذا
ردياً أي أنه يكون متعلبا في هواه الودي بينه خبيثة وإلا فاستد
وظنه أن يشده يبطل يدل أن الناس إنما يمدون على انفعال الخطأ
لأن الديان لا يسألهم في الدنيا عما يتكبرون من المعاصي كما يتكبرون في
الآخرة ويعني بضره أصحابه العبيد أي أنه يضرب رعيته بشيعة
البيع لأن الرعية إذا راكوزت بوسم العلم والكهنة يتكبر بشيعة
من الخطايا اجتروا هم أيضاً على ارتكابها جميعاً صغارها وكبارها

بالخشية ويعني بالاكل والشرع الكثيرين اياه يعني ايامه ويذهب
بعنه في النهم والشرب والزفة والتعم وما يشاكل كل ذلك من شهوات
الجسد واما قوله فياتي سيد ذلك العبد في يوم لا يظنه وساعة لا يعرفها
فيشقه من وسطه ويجعل نصيبه من المراتين هناك يكون لبكا
وصيرا لاشنان فتقوله ان سيده ياتي فيشقه من وسطه ليريد بذلك
ان نفسه تخرج من جسده كما قال بعض المفسرين بل ان عطيت الروح
القدس فتخذه منه فيصير غريبا من الله الا ان روح القدس من اجل
شتمه على اهل المعمودية لا يتركها بالحياطة اشتطالا لتوبتهم ورجوعهم
اليها فقلنا لو منه فاما الذي يفتن بنعمته بالجمله ويدشر جسده بالتيار
ويتماذي على ذلك فيقطع الرجا فان الروح ينتزع ما ناله منه ولا يتركه
برقد في شقوته وعني بقوله ويجعل نصيبه المراتين اياه انه يعرفه
من جماعة الابرا من اجل استراغ عطيت روح القدس منه التي
نضه في مثل الاوليا ثم يقوض الخاطيه المراتين لانه تقلد امرا
عاليا ولم يحكمه كالواجب واطرحه ولا اخر الزموج عما هو عليه
وعني بقوله هناك يكون البكا وصيرا لاشنان اياه ان نفسه
عند مغارفتها جسده ترى نظرا لها مشتملين على النور كالشموس
المضيئة وهي مظلمة مدهمة فيقودها الندم والحسرة اليها هو اشد
من

من البكا وصيرا لاشنان ويحنا في المذهب فيفتقر قال انه ما قال الحمر
ولا ملائكة السماء اريد بذلك ان تمنعوا ولا يفتحصوا عن ذلك لجل انه
قد كتمه عن ملائكته ومن قص يقول في شهادته ولا الابن فهذا ايضا
ما كيد ان لا يسئلوه عن اليوم ولا عن الساعة ويكون لا يعرف الساعة وهو
الذي خلق الليل والنهار وهو كلمة الله الازلي المولود من جوهره
وبه خلق كل شيء قال الله لا يعرف الساعة الذي الله لا يبشده ويقو
هذا هو ابني الحبيب الذي به سررت وقال عنه انه لا يعرف الساعة وقد
قال من راني فقد راي الاب يقول لا يعرف الساعة الذي يقول لا يعرف
الساعة يقول ليس احد يعرف الابن الاب والاب لا الابن ومن يشا
الابن يستنله معرفة ذلك يقول لا يعرف الساعة الذي يقول في ذلك
اليوم يخرج ابان الحيا والاهوات يقول لا يعرف الساعة لكونه يعلم
ان جميع ما يخبر به التلاميذ اذ اخرجوا الي العالم يبشرون به في الجحيل
ويعرفونهم ما علمهم الخالص فاراد ان يكون العالم على حدة ولا يعرفون
ذلك اليوم ولا تلك الساعة لئلا يكونوا متواثنين غير متحذرين وشركاء
بأسيلاوس ايضا قال ان ميلاد السيد الابن الازلي وخلقته الملائكة
والساعة لا يعرفها الاب وحده وفتري يحنا لسان لذهب

ثا ان كتمان الساعة عن التلاميذ كمثل ملك طلب ابنة منه جوهرة فاخره
 وهو طفل فاحضاها منه بين ثيابه مدافعه له لئلا يضيعها وهكذا
 اخفا الساعة عن التلاميذ لئلا يتبع امرها فترسلهم ومروفت ايضا
 يقولون الابن ^{التفسير} اراد هذا كما يكتنون هذا ولا يفتشون عما
 تبتله طباعهم لانه هو الاله بالحقيقة يعلم كل شيء في اي مضي يكون يعرف
 الساعة الذي يخلق اليوم والساعة وهو الحاضر في الاب بالحقيقة
 والابحار فيه الذي يقول ان كل شيء في يده هو الذي يعرف الاب
 والاب يعرف باثباته ^{التفسير} هذا المعنى قال له اذا عرف
 الانسان اليوم والساعة يتوانا عن خلاصه فلذلك كتم عنهم الحال ان
 لا يعلمهم نهاية الزمان والفضليات كل واحد منهم خيرا لئلا
 يظن بهذا المعنى ^{التفسير} قال او اذا كان لم يعلم تكميده وقت
 الانقضاء على محنته فلم يدعهم يعرفون معرفة بل قد ضرب لهم في الكذبات
 امثال يشبهون بها على علم ذلك وقوله حينئذ يكون لشان في
 حقل يؤخذ الولد وترك ^{التفسير} قال الحق هو العالم
 والانسان هو مجمع الناس الصديقين والخطاهه الولد يؤخذ
 في السحاب ليلتقي الرب في الهواء والاخر يضع على الارض فيخطاهه
 يحتمل

يحتمل الخوي والفضيحة الى الابد وقوله انسان يطحنان على رحا واحدة
 تؤخذ الولد وترك ^{التفسير} الاخرى الانسان يشبههما بالفتل
 ولحد تغير موث يؤخذ الاخر تغير خاطي ترك كقول الوفا انسان على
 شري الولد يؤخذ والاخر ترك ^{التفسير} الشري هو الفتن ولحد يؤخذ
 الذي يجمع الصديقين لاغنيا واخر ترك هو مجمع الخطاه الاغنيا
 وقوله اشهر والآن فانكم لا تعلمون في اي ساعة ياتي ^{التفسير} ربكم
 لان الرب كان يريد ان يكونوا مستعظي في كل حين من اجل هذا السر
 يعلمهم اليوم ولا الساعة التي يكون فيها الانقضاء بل قد كان يعظ
 المستعظي كل حين المستعدين ويقول طوبى لذلك العبد الذي ياتي
 سيده فجاءه مستقظا فاما العبد الذي ياكل ويشرب مع السكيرين
 وليس ينتظر مجي سيده في اي يوم وايه ساعة ياتي ليكون مستقظ
 ومستعد في كل حين هذا ياتي في يده في اليوم الذي لا يظن والساعة التي
 لا يعرفها فيعزله ويجعله غريب من موهبت الروح القدس والمودعة
 التي من الروح القدس ويعزله منها هاهنا وفي يوم الدينونة يجعل
 نصيبه مع الزناة حيث يكون البكا وصري الانسان والمجد لله دائما

فصل الاصحاح الثنين

حينئذ يشبه ملكوت السموات عشاري اخذت مصابيهم
وخرجن للقمار عشاري خست منهن جاهلات وخست منهن حكيما
فاما
لجاهلات فاخذن مصابيهم ولم يخذن زينا في انا مع مصابيهم
واما الحكيما فاحزن زينا في انا مع مصابيهم فلما ابطا العرش
ففسر كلهن واما من ولما انتصم الليل خرج الصوت قائلا هودا
العرش قد اقبل فاخرجن للقائه حينئذ قام جميع اوليك العشاري فاحلن
وزين مصابيهم فقالت لجاهلات للحكيما اعطينوا من زينا
فان مصابيحن قد انطفأت فاجابن الحكيما وقالن ليس معنا ما
يكفي اولا كن لكن اذهبن احري الي الباعة واتبعن لكن زينا فلما
ذهبن لبئاعن جاء العرش ودخل معه المستعدات الي العرش واغلاق
الباب وفي الاخير حين بقيت العشاري قايلا ثلاث ربنا ربنا افتح لنا
فاجاب وقال الحق اقول لكم اني انا اعرفكن اسمهن لان فانكم لا تعرفون
ذلك اليوم ولا تلك الساعة التي ياتي فيها ابن الانسان والمجد لله
القيسي قد سبق ايضا ان السيد اراد عظم تلاميذه لكي
يكونوا مستقيظين في كل حين على الدوام لئلا يزل الاول الذي
اشافيه الي العبدن الذي اخذها حكيم واخر جاهل شري سيكره وكان
قصه

قصه بذلك في هذا المعناه عن الذين يتفكرون دجلة الكهوت ويقولون
خاتمة وان منهم من يحسن التدبير والتبصر ومنهم من يكون متلبا في هواه
الزواني يفتنه خبيثه فاراد ايضا ان يولد الموعظ لهم بابطا فقصه الاول
فانقبه وقال يشبه ملكوت السموات عشاري اخذت مصابيهم
وخرجن للقمار العشاري اشار العشاري الي انا فتر المؤمن من الكهنة
وعبر فلم ير ان الكهنة من اجل ذلك عديم منهم بالعبدين وهو الذي من اجل
كفرهم منهم بفسر عشاري وقصد ايضا العشاري ان يبينهم في ابدل
غير فاسده لكونهم مصمومات في حفظ البولية اكثر من الرجال وعاش
بالبولية نعم الروح القدس التي قبلها المؤمن بالعمودية وعثر بالمصا
عن الايمان به الذي هو ان جميع الفضائل وبه يحيى كل روحا صالحا وعاش
بالزيت الذي في المصا يسمع فضائل الجسد التي في الصلاة والصيام
والطهارة والنسك وتوابع ذلك والخروج للقمار العرش هو التوقع
ليل الملكوت السماوي وما العرش فهو السيد المسيح جل الله وقوله خست منهن
جاهلات وخست منهن حكيما فاما لجاهلات فاخذن مصابيهم
يعني لجاهلات عن الذين يحلمون فتنوا باستماع فضائل الجسد التي
هي تقوى الجسد والصلاة والصيام والنسك وتركوا فضائل النفس

نفس

يسمح

وذلك في فكره وملكه ولا ريب في حفظه بان فضائل النفس في التي توصلهم
الى السمع. ويعرف بالحكميات التي اخذت زيتها في انا مع ما يستحق من الدين
من حكمة شكلوا طريقا لرياضة ودرسا لثبات الله وقبلا لقيام الامم اذ اقبلوا
افم اذا لم يستعملوا فضائل النفس احادهم كالواجب لم يصلوا الى راحة
الفضائل الروحانية وافم اذا لم يستعملوا فضائل النفس كاستعمال فضائل
الجسد لم يصلوا الى السمع ولا في ثوب حيات الابد والديم لايرفاه استعملوا
فضائل احادهم التي هي زينة لمصايغ الى ان وصلوا الى فضائل النفس
التي اشعها المحبة لان الذي ملك المحبة لا يمكن ان يفقد علم الله شيئا
غيره ولا هو افرط في حب الله فهو الحقيقة لكل جميع مصايه والا اكل
الوصايا فهو كماله ليجب للناس ومحبته ثم تسوقه الى ان يرحم كل من
يعلم انه في ضايقة من جوع او كرا من مرض او من مرض او من شجن
او من غيرة او ما اشبه ذلك ثم تسوقه بحب الله ايضا الى كثرة الخضوع
والانضاع وترك الجسد والمقاومة وبالحاجة لجميع الشرور وهذه هي
زينة الاناء لان المؤمن ايمان له يحتاج الى هذين النوعين الاول للعمل
بفضائل الجسد حتى يبلغ بها الى فضائل النفس والثاني هو استعمال فضائل
النفس كالواجب حتى يبلغ بها الى الكمال بباية لان الخلاص من
العذاب لا اتصال بالمشيخ لا يمكن بغير هذين النوعين لانها كالطعام
والشراب

والشراب الذين لا يمكن ان يعيش الجسد بغيرهما ان كانا هما دون الآخر فغير
استعمال فضائل الجسد لا يمكن الانسان الوصول الى فضائل النفس وغير
فضائل النفس لا يمكن الانسان ان يتصل بالمشيخ ويرث معه في ملكوت
وتبلا بجمته وقوله فلما ابطأ العريس فخرت بظهرها من يقين باطلا
العريس الزمان المديوم وقت صعوده الى السماء والي الجحيم الذي اني
فيه للمديونة ويعرف الناس في النور الموت وانما نفي الموت نوما لان
الذين يوفون على الايمان بالمشيخ يستريحون من تعب الدنيا وتكدها
ولجأهم في القيامة يكونون في نور لحة منتظرون وودها وقوله
ولما انشعق الليل صرخ الصوت ها هو ذا العريس قد اقبل احزن للقاء
يدل الليل على تلك الليلة التي يظلم فيها ربنا انبأ على شح بالثأ وضوء
هولها لان الذي يحدث في الليل الامور البديعة اشد هو ما يحدث
بالنهار ويعرف بصراح الصوت الضجة التي تسمع في وقت مجيء ابي
هتس الملائكة بالصافور الذي ينبه جميع احتجاب الاموات والاحياء لكي
يستقبلوه وقوله حينئذ اقام جميع العدائي وزين بمصابيحهم بعين
بقوله ان جميع العدائي ثم ان القبله عامه للاخيار والاشرا وزين
المصابيح الاعمال الصالحة وقوله فقالت لجاهلات الحكيمات اعطونا
من زيتكم فان مصابيحنا قد طغيت فاجابن الحكيمات وقالن ليس معنا

ما يكفينا واما ان كان له اذهر احرى الى الباعه وانبعس لكن زبنا يعنى يشوال
لجاهلات في طلب الزيت الحار والدله الذي تملك الخطاه في القيامة
وطي المصاييح يدل على انه لا اله الاستغفر وجهه ويعنى قول الحكماء ليس
معا ما يكفينا واما ان يدل على ان الارواح لا تخفون عن الخطاه شيئا في الاخر
بل كل انسان مجازي بجملة ان كان خيرا وان كان شرا ويدل قولهم اذهر
اخرى الى الباعه وانبعس لكن يدل على ان الذين لا يقتنون المحبة وتواكبا
الذين هم فضائل التفتن ولا يتفتنون ايضا فضائل الجسد في يوم القيامة
كان لجاهلات لم يتفتن بالزيت الذي كان في مصابيحهم وانبعس
مرج راحة الحكماء اللواتي استعدن بربيت الاناس مصابيحهم وقوله
فلما اذهر لم يتاعرجا العريس و دخل مع المستعذات الى العرس واغلاق الباب
يعنى ان الخطاه وقت الدينونة يرون نفوسهم وجميع شياهم مصورة ونصب
عيونهم تقدتهم في جمع الملائكة والانبيا والابرار حينئذ يحدق بهم
ظلمات ساطعة ولا يستطيعون النظر الى وجهه الايان كان لجاهلات
لما طغيت مصابيحهم ولحافة الظلمة من لا يستطيعون ان يبصرون
العرس وكما كانت مصاييح الحكماء اللواتي استعدن مستعذات بالانوار
هكذا يكون اعمال الصديقين مشرقة مضية تقودهم وحدقة بهم من اجل
استعدادهم باكال الفضائل فيعدون الى الديان مستغفرون لوجهه كما استغفروا
المضيه

المضيه فيقول لهم تعالوا الى يا مباركي في ارضوا الملك المعد لكم اى انتم
يرون مع المسيح في ملكوته السماوية والحياه الابديه في الاستباج المتصل
والنعيم الدائم والملك التي ليس يشاكلها لغيرها ولا في اخر كما دخلن
الحكماء مع العريس وتلدن معه في الفرح والسرور والعيش الرغد
الطيب ويعنى فلق الباب الى ان التوبه في ذلك الوقت لا تنفع لخطاه
لان في يوم الدين يمتن الصديقين ويعزل المنافقين فيكونوا اوليك عن
اليمين وهولاي عن اليسار ويقول الذين عن يمينه امضوا الى ملكوتي اللئيمه
ويقول الذين عن يساره اذهبوا انتم الى النار الى الذي فيمعدن يتعدون شقي
من شقي كما قال الكتاب تساني ساعه يسمع فيها جميع من في القبور صوت
يفتح الذين يعملون الحسنات في قايمة الحياه والذين يعملون لسيات الى
قيامة الدينونة وقوله وفي الاخرجات بعثت العدل في قايلات بنار يسا
افتم لنا فلجاب وقال الحق اقول لكم اني ما اعرفكن يعنى ان الخطاه في ذلك
الوقت تمنون الوصول الى راحة الابرا ولا يصلون اليها فينزعون
بحوقه الى اياهم ويستغفرون بذهن يعنى هم ذلك شيئا لان المحبه لا تنبت
فيههم لان الكتاب يقول يجب الرب لاهلك من كل قلبك ومن كل نفسك
ومن كل فكر هذا هو الوصيه الاولى العظمه والثانيه التي تشبهها

ان تخرج عبيك مثل نفسك بما تدين الوصيتين سائر الامم واولاد بني اسرائيل
 نزلوا حبوا الله علوا بوصاياه كما قال الكتاب اتقوا في محنتي ومعلوم ان الذي
 يعاصي الله هو كما له يجب للناس والذي يجب للناس يقترب من
 الاسفاق عليهم ومن ارادهم ويتبعهم لاجل افظاظه والبقض بكل
 طاقته وجهه فبين اذ اهاهنا ان الذي ليس بحرم لا حرم كما شهد الكتاب
 عن النفس الذي كان ينعم ويتلذذ ولم يحرم العاشر المشكين المطر عن عذابه
 انما قال هو في عبد الجحيم الله ابراهيم حين وانزل العاشر يسيل طرف
 الصبغة ما يبرده لثاني الذي معذب في هذا الحب فمكر ابراهيم كثر
 حبه ومحبته ان يحده ولا يستقر عليه كما هو في العذاب لان الذي ليس بحرم
 لا حرم وهكذا الذي ملكا او غنا او جاهدا ولا يفتح بابه ويسيد ما
 يملكه المحتاجين لا يمكن ان يفتح له اذا فرغ الباب في اخره وقوله
 اسئروا الان فانكم لا تعرفون ذلك اليوم ولا تلك الساعة اي يفتظوا في
 افكاركم وادعوا واطموا الحجاج واكثوا العراء وفروا عن المكروبين
 ولا تشغلوا بامر العالم فتساعة الموت غير معروفه والسمع لله
فصل الاعمال الحادي والستون
 كمثل انسان اراد الشجر فلما عبده واعطاه ثم له فوجد اعطاه ثم
 وزنات

وزنات وولد من زنتين والآخر من زنته كل منهم علي قد قوته وشافر
 الوقت ففعل الذي اخذ الحشر وزنات فتأخر وحشر وزنات اخر وهكذا
 الذي اخذ من زنتين وحشر وزنتين اخر فاما الذي اخذ من زنته فمضي وحشر
 في الارض ودفع فضت سيده وبعد زمان كبير جاء سيده وليك له لمبيد فحاشا
 فما الذي اخذ الحشر وزنات فاعطاه حشر وزنات اخر فاما الذي حشر
 وزنات اعطيتن وهما حشر وزنات اخر فحشما فقال له سيده نعم
 يا عبدك صلحا امينا وجدت في اقليل امينا انا اقيمك علي الكثير ادخل الي
 فح سيدي فاما الذي اخذ من زنتين فقال له يا سيده وزنتين دفعت
 لي وهما وزنتان اخر فحشما فقال له سيده نعم يا عبدك صلحا امينا وجدت
 في اقليل امينا انا اقيمك علي الكثير ادخل الي فح سيدي فاما العبد
 العاشر الذي اخذ من زنته فقال يا سيدي عرفت انك تسأل بشدة تحصد
 ما لم ترع جمع من حيث لم تبد فحفت ومضيت فدفنت ما لك عندك
 في الارض وهو اما لك مني فلجأب سيده وقال له ايها العبد الشرير
 الكسلان علمت اني احصد من حيث لم ارع واجمع من حيث لم ابدن كان
 ينبغي لك ان تدع قصرت علي ما يدرك وانا اذ اجيت اخذ الذي لي مع
 بكم خذوا هذه الوزنه واعطوها للذي له عشره الوزنات

لأن من له يعطى ويراد ومن ليس له يوحى ما معه والعبد السوا العاجز
القوة في الظلمة القصور هناك يكون البكا وصير الإنسان والمجد
تفسير معقول ان شيداً أراد وعنه تذكيره بأمر ما ثم
شلا اول شل العبد الذي انشأها الى الذي يودعون ربا شت
الكهوت ثم ضرر لهم ترايا شل العبد والشارع الى الكافة المؤمنين
ثم اعقب هدير المتولين هذا المثل الثالث كي يبين فيه ما يلزم
الكهنة وما يلزم كافة المؤمنين ايضا وجعله موعظه تحت علمي التيقظ
في عمله الفضيله فقال كمثل انسان اراد السفر فدعا عبدا له
واعطاه ماله فاعطاه خمر ونزات لولده ووزن ثمين لو احدى واخر
وزنه كل منهم علم قد قوته وسافر للوقت مع هذا القول ينقسم
الى قسمين الاول هو ان الانسان الذي اراد السفر هو السيد المسيح
والسفر هو صعوده من الارض الى السماء والعبد الذي اعطاه ماله
هو الذين يودعون ربا شت الكهوت والوزنات هي درجاتهم
وطبقاتهم والقوة التي لكل واحد منها هي تليظه على خدمته
ودرجته التي قد قبلها من ربح القدر والقسم الثاني يعني به ان
العبد

العبد الذي اخذ الوزنات فكم كفة المؤمنين فلو احدى اعلم ولو احدى
يعطى ما من واحد يعطاه وخر يعطى ثوب بدن والمراد من
كل واحد منهما فعل الرحمة لأن لكل لعطية التي اعطيت له انما اراد
منه فيها ان يرد منها غير محسباً فته بما يملكه لأن الذي ليس له تلك
العطية فهو يكون لحقيقته محتاجا اليها فالذي يرحمه ويرفقه
هذا يكون حيويا والرحم فهو يكون من انما الباري جل ثمة فمن اجل انه
علم انما ان اراده فهو لا شك قد يح في عطيته واستحق الغول في
فرح سيده والتلا في نعمة فاما الذي يعطى هذا العطايا عطية
ولا يرد منها محتاجا ولا رحمة هذا له يكون قاسيا والقاسي هو
الشيطان الذي ليس عنده رحمة فمن اجل اشتراك هذا مع الشيطان
القساوة قد استحق ان يلقي في الظلمة القصور التي اعدت له بليس
وجنوده موضع البكا وصير الانسان فالذي يصنع الرحمة هو يشبه
بالله الرحيم فيتصا به من اجل انه عمل اعلا ويكون معه في نعمة الموت
موضع الفرح والابتهاج والحياء الموت والذي يكون قاسيا فينقل
به من اجل اشتراكه معه في القساوة ويكون معه في الظلمة القصور
موضع البكا وصير الانسان وقوله فمضي الذي اخذ من الوزنات

فتأخر فيها وصح خمر وزناات أخر وهكذا الذي أخذ الوزنتين زح
وزنتين أخر يعزبا لعبدان الذين رجت تجارها عن الكهنة الذين
ينعمون بعيتهم بالذي في التعليم ولم يجتهدوا في اكمال شروط الكثرة
بالفرح والشور ويقرب بالرجح واصحاب الوزناات عن المنفعة التي تصل
الي الرعية من مباحث وشاغلهم في التعليم وبانستفيد انفسهم من
البر والفضل والبصير في الديانة وقوله فاما الذي أخذ الوزنة فمضي
وحفر في الارض ودفن فضت سيده في هذا البعد عن الكهنة الذين
ينعمون عن تعليم عيتهم ولا يكملون شروط الرياسة التي تقلدوا
بتوايئهم وحث نياهم وذلك انفسهم من يشعري على الله ويقول
ما حاجت الي الجحما النعمة لتصب من اناس كثير واخذ بعدد نوبهم
يفعل هذا القول حجة بان الله يدين قوما عن قوم ومعاد الله من
هذا وذا ل الله ما يطلب من المعلمين الا ما يليق بهم من التعليم وكمال
شروط الخدمة باجتهدا وحصر ويطلب ايضا من المعلمين ما ينبغي لهم
من الطاعة لرباسهم والعمل ما يوسون به في التيقظ في اعمال الفضائل
وعن بقوله انه حفر في الارض ودفن فضت سيده اي انه لم يفعل شيئا مما
يجب وعظا النعمة التي قبلها من الروح القدس بنيه الحبشية واقره
علي

علي الله وقوله وبعد زمان كبير جاسيدوا ليك لعبيد فحاشيتهم فجا الذي
لخدمت الوزناات فاعطى اخر وزناات أخر فابا ليار جحش وزناات
اعطيتني وهامش وزناات أخر كحشا فقال له سيده فعا يا عبد لا
صلحا امينا فحدث في لقليل امينا انا اقيمك على الكثير ادخل الي فرح
سيدك ارا هذا القول ان يبين الذين لهم اجتهد متوفر وكوهم لمر
يتوانوا عما يحب من المتكاسلين المتوانيين عن عمل الواجب وعن كثرت
الزمان ومجي سيد لعبيد محاشيتهم عن زمان القيامة ومجيبة علي سحا
السماء وعرض الناس واعمالهم عليه وقول لعبيد اننا قد اضعفنا ما
اعطيتنا لنا يدك علي سفور وجه الربسا الصالحين في يوم القيامة
وكثرت ادلاهم علي المسيح بحفظهم لنفوسهم في رياستهم التي تقلدوا
وما افادوا ايضا لرعيةهم من الصلاح والخير وتسمية كل واحد منهم
صالحا وامينا فيعزبا بالصلاح حسن النية ويعزبا بالامانة كثرت امانته
في خدمته ومناصحته في الامر الذي تقلده وعن بالقليل اي ان كثير
هذه الدنيا اذا قيس بغير الآخرة كان يسيرا حقيرا وان الذي قد
استعملوا الموهبة التي تقلدوها وتنشأ لتفخر اخرون علي ما ينبغي تفخر
لدايم ثقت الروح القدس وتنشأ عفا عطيتمهم في النعم الموبدة

التي من عظم جلال اسمها لا توصف ودان عساوانه بين صاحب الحسنات
وصاحب الزناتين في قوله لكل واحد منهما أدخل في فوج سيدك أي أنه خص
انسانا بكل صغير فاجتهد فيه كاجتهاد من يخص بكل كثير وسأواه في
المشيئة والنية والكمال الفضيلة أنيب مثل ثواب ذلك ولم يضره صغر
درجته من حيث أنه سأواه في الكد والنية وقوله فجاء العبد لما جاز الذي
لخدا لوزنه وقا يا سيدي عرفت أنك انسان شديد الحسد المزعج وتجمع
من حيث لم تبد خفت ومضيت فدفنت ما كنت في الأرض وهو ما لك
معي ارا هذا القول فيغير الذين قد ادعوا يا انت الكهنوت فيستغفون
من فعل ما فيه صلاح آخرين لتفكر في باهر بخدك بخطاياهم وينسبون
الله تعالى اليك والى الظلم ويقولون انهم اصعب الامور ان يعاقبوا آخرين
والاجد بنا ان نعلم بانفسنا فقط من حيث نياهم وكسهم وملهم وصهم هم
ليروصلوا الى الجدين قبلهم بنفعه وقوله فلجأ ب سيد وقال له ايها العبد
الشر عرفت اني احصدا كذا مزرع واجمع من حيث لم ابدرك ان ينبغي لك
ان تجعل فضتي على ما يده وانا اذا جئت اخذها الي من يحيا يعني
تسميته شري اي انه حيث لنيه وسماه كذلك لان كذا مزرع بالامر الذي
تقلده كالوجوب يعني بالمال الرتبة التي قلدها والتعليم في دين
الله

الله وفيه بالمائة مسأع الرعية وعقوله اي انه قد كان ينبغي لك ان تفرغ
اسماع الرعية بوعضك وتعلمك وتعلمك ما كان واجبا عليك لا كذا ذلك
مطلوب من اجل اقرارك ما قلده من الرياسة وقبول الروح القدس في رعيته
التي تحت يديك وهم مملوكون بما امرت به لا انت المطلوب عنهم
بل كان شأنك ان تعمل بما يليقك لتعلم ما مقبول عليك واظهار طاعتهم
انما هو السهم لا اليك وقوله خذ منه الوزنة واعطوها للذي له عشرت
وزنات لان من له يعطى ومن زاد وزله يزداد معه والعبد السوء
المأجر لقوته في الظلمه القصوى هناك يكون البكا وصبر الانسان
هذا القول يدل على عزلة نعمت الروح القدس عند الذين يستملون
ما انعم به عليهم كما ينبغي وكثير من ساعهم في النعيم ودليلا ايضا
على عظم شقوت الذين يوتون على رياسة فيستملونها بالظلم والاشتماء
فان روح القدس يبرح منهم ولا تحت التي قبلوها لمنفعة آخرين فيجنيده
يجلب عليهم العقاب الموبدة لهم كذا اقرادهم على ما اولت امثالهم في
لكرم والاجتهاد والكدا واستغفوا من اجل خبت نياهم وملهم وصهم
اغريهم يوتون يغفرون اجل مثل لعشر عدل فيقال لهم الحكيمات
الامانة الرجا المحبة الصبر الصلح والشر لجاهلات الصور الظاهر

الشك لحر الخشوع اطهار فمذا اذا صارت ليس معاً فصار
 كالجاهلات فاما اوليك الجاهلات اخذن مصاً بيحمن ولم يخذن زينة
 معهن واما الحكيمات فلخذن زينة في اوعيه مع مصاً بيحمن الاوعيه
 في لانكار الصلحة والمصا بيحمن في الروح القدر فضائل التي اعمال
 الصلح نفي مثلاً ان الطعام اذا طبعه وليس فيه اثر اربط له فهو
 يفسد هكذا لفضائل اذ لم يكن فيها روح فليس في كماله وكذلك قال
 كونوا حيوين مثل اسماك التي في السموات وشرافها من اجزى وزينات
 قال الرجل هو الله جل النعم ما شك الكفر والعبيدكم الانبياء والتلاميذ
 القديسين والعبد الذي اعطاه خمس الوزينات هم مجمع التلاميذ الذين
 اعطاهم خمس مواهب الروحانية التي في الامانة الرجا المحبة التواضع
 الوداعة ففعلوا بها ورجعوا عشر وصايا الناموس والعشر حاشات
 التي ضيغها ابونا ادم بخا لغته والذي اعطاه الوزنتين هم الانجيليين
 الاطهار الذين اعطيو الناموس القديم والعهد الجديد هذان
 الشتان اول وصيغتها تحب الرب الهك من كل قلبك وقريبك
 كفشك لان الناموس والانبياء يتن لوصيتين معلقون والذين
 عملوا بها رجوا الابدية اناجيل والذي اخذ الوزنة الواحدة هو هودا
 المستخر بوطي

المستخر بوطي الذي قبل موهبت لتلمذه ولا يعملها لكن جهاها في التراب
 الذي هو محبت الما لان الكثير كان موعة الذي تعطاه منه البركة من اجل
 موهبت لتلمذه التي قبلها فكان ليسر قها ونجهاها فيه هذا لان عدم موهبة
 روح القدس من اجل محبة الما فنزعت منه الموهبة وعطية للتلاميذ
 الذين لهم العشر وزينات وورث هو الهلاك الابدي ليس غشوق
 الوزينات في المواهب الروحانية التي اعطاهها للنصارى المؤمنين من
 الكهنه والشعب من الروح الذي يوم في عسمر على كل احد كطاقة
 نفي البيعة من يوهبه خمس المواهب الروحانية ومنهم من يوهب له
 اثنين ومنهم من يوهبه موهبه روحانية ولا يعملها ويبطل
 ونحسها في ارض قلبه مرجس ومزغل او من كسل او من محبت
 شهوات اوجاع العالم ولا يعطيها لاصحاب الموايد الذين هم مخلوق
 مثله ولكنه يستفيد لتلمذه وحده مثل موهبت تعليم وكلام حكمه او
 كلام حكمه معرفة اوتوه ايمان او بشارة او موهبت شفاء او خدمة
 جسدية او كل لبحات التي ذكرتها كما قال السليح بولص فهذا يوم
 الذي نوه نوه الموهبة منه وتعطى لاصحاب العشر وزينات الذين هم
 مجمع القديسين فاما ذلك العاجر فيلحق في الظلم البرانية حيث

البكا وصرير الأسنان والسمج لله دايما

قصة الإمام الثاني والستون

اذ لجأ ابن لاشقان في فجوه وجميع ملايكته المقدسين معه
 حينئذ يجلس علي كرسي مجده ويجمع اليه كل ادم فيمضي بعضهم من بعض
 كما يمضي الراعي الخراف من الجبل ويقسم الخراف بينه ولجدا عن شماله
 حينئذ يقول الملك للذين عن يمينه تعالوا الي يا مباركي ارضوا الملك
 المعدادكم قبل انشاء العالم لاني جعت فاطعمتموني وعطشتم
 فسقيتموني وغربا كنت فاوتهموني وعريانا فكسيتوني ومريضا
 فعدتوني ومحبوسا فانيتم الي حينئذ يجيب الصديقين ويقولون
 يا رب متى رايناك غربا فاوليناك اوعيا فاكسوناك او متي رايناك
 مريضا او محبوسا فاتيينا اليك فيجيب الملك ويقول لهم الحق
 اقول لكم ان الذي فعلتموه باحد اخوتي هؤلاء الصغار فبني فعلتم حينئذ
 يقول الذين عن يساره اذهبوا عن ياملاعين الي النار الموت
 المعداد لا ليس وجوده جعت فلم تطعموني وعطشتم فلم تسقوني
 وغربا كنت فلم تاولوني وعريا فلم تكسوني ومريضا ومحبوسا فلم
 ترووني

تروروني حينئذ يجيئون ويقولون يا رب متي اتيك اجاباً او عطشاً
 او غريباً او عرياناً او مريضاً او محبوساً فلم تجدكم حينئذ تجيب
 ويقول لهم الحق اقول لكم ان لم تفعلوا يا احدهم هذه لي اصفان ولا في علمكم
 فيذهب هو الى العذاب الدائم والصادقون الي احياء المبررة
 ولما اكمل يسوع هذا الكلام كله قال للتلاميذ اعلمو ان بعد موت
 يكون الفصل وابن الانسان يسلم ليصلب حينئذ اجتمع رؤساء
 الكهنة والكهنة ومشايخ الشعب في دار رئيس الكهنة الذي يقال
 له قيافا فتشاوروا على يسوع ليمسكوه بمكر او يقتلوه وقالوا
 ليس في العيد يكون هذا كيلا يكون سبب في الشعب
 التفتي ينبغي ان نعلم ان سيدنا اراد تنبيه التلاميذ على
 العناية باعمال الفضائل وعظم ثلثة اشان الاول مثل العبد
 الذي احدهما امين وحكيم والاخر شر وشقي والتاني مثل العشرة
 عذاري التي خمس منهن حكيمات وخمس جاهلات والثالثي مثل
 الانسان الذي اذا السقر واعطى ثلثه من عبده ما لا يتجروا
 فيه وان اشبع منهم اطاعاه وقبل كما امره فبه فبحرنا اضعنا الذي
 اعطانا والثلث لم يقبل امره ورفض عطشته في الارض واثار

بِحَذِّ الْأَمْثَالِ ثَلَاثَةَ أَكْثَرِ الْمُؤْمِنِينَ بِهِ مِنَ الْكُفَرَةِ وَقَدْ سَوَّى
الْحُجَّةَ عَلَى كُلِّ رَيْصَنَةٍ لَأَنَّ الْحُجَّةَ تَسْتَوْفِقُ فِي فِضَائِلِ كَثِيرَةٍ وَذَلِكَ لَمْ
بِالْحُجَّةِ بِرَحْمَتِ الْمُخْتَارِينَ وَلَا يَقْطَعُونَ دَجَا أَحَدٌ وَيُضَرُّونَ جَلَّتْ
أَهْلَتُهُمْ فِي الرُّفْدِ مَا يُسِرُّ اللَّهُ لِكُلِّ وَاحِدٍ مِنْهُمْ فَالَّذِي لَهُ عِلْمٌ هُوَ رَحِمٌ
الْمُتَعَلِّينَ فِيهِ قَدْ مَرَّ بِعِلْمِهِ وَيُسَوِّغُهُمْ تَعْلِيمَهُ إِلَى دَرْجَةِ الصَّلَاحِ وَالْمُغْضِيَةِ لَهُ
وَالَّذِي لَهُ مَا لَمْ يَرَحِمَ لِحِيَاةٍ وَالْعَزْبَاءُ فِي طَعْمِ الْحِيَاةِ وَيَكْشِي لَهَا رُؤُوسَ
الْعَزْبَاءِ بِمَالِهِ وَالَّذِي لَهُ جَاهٌ هُوَ رَحِمٌ لِلْمَظْلُومِينَ فِي ضَرْفِ وَيَقْوَى نَفْسُ
الْمُكْرَمِينَ وَالْمُنْقَطِعِينَ وَيُسْعِي فِي خِلَافِ الْمُشْجَرِينَ وَيُعِثُّ الْمُؤْمِنِينَ
بِحَاكِهِ وَالَّذِي لَهُ قُوَّةٌ بَدَنٌ هُوَ رَحِمٌ لِمَرْضَى فِيخَدُّهُمْ مِنْ حَمْدِهِ وَكَحْمَلٍ
تَقُلُّ لَضَعْفًا قَاوِمٌ مِنْهُمْ أَعْلَمُوهُ مَعَ أَخَوْتِكُمْ فِي الْخَيْرِ أَوْ شَرِّهِمْ
وَأَصَلَ إِلَى كَلِّ لَدُنْكَ لِعِطَافِي هَذِهِ الدُّنْيَا عَظِيمَةٌ أَنَا هُوَ وَكُلٌّ فِيهِمَا
فَإِذَا هُوَ عَمَلٌ فِيهِمَا كَالْوَصِيَّةِ هُوَ يَكُونُ أَمِينًا فِي الْقَلِيلِ الَّذِي هُوَ مَسْتَعِ
هَذِهِ الدُّنْيَا قَاوِمًا أَجْعَلُهُ أَمِينًا فِي الْكَثِيرِ الَّذِي هُوَ الْإِنْسَانُ بِي فِي مَلَكُوتِ
السَّمَوَاتِ وَوَرَأَيْتُ الْحَيَاةَ الْإِبْدِيَّةَ وَالنَّعِيمَ الدَّائِمَ وَلَمَّا أَنْتَبَهْتُ تَعْلِيمَهُ
وَوَعَظُهُ هَذَا الْأَمْثَالَ ثَلَاثَةَ بَدَائِدٍ كَرِيمَةٍ مَعَ مَلَائِكَةٍ وَيُوعِدُ
إِبْرَاهِيمَ أَنْ يَطَاعُوا وَعَمَلُوا أَلَوْصِيَاكَ أَلَوْ أَجِبَ بِالْمَوَاعِيدِ كَجَمِيلَةٍ
وَالْعَطَايَا

وَالْعَطَايَا الْكَرِيمَةُ وَيُسْتَوْعِدُ الْأَشْرَارَ الَّذِينَ جَادُوا إِلَى طَرَفِ الْخَلْقِ وَقَبِلُوا
فِي شَوْخِ نَهْرِ الرَّدِيَّةِ حَتَّى إِذَا أَدْرَكَهُمْ مَوْتُ بَادِيَاتِي عَلَيْهِمْ مِنَ الْأَهْوَالِ
الشَّدِيدَةِ وَالْعُقُوبَاتِ الْمُرِيدَةِ فَقَالَ إِذَا جَاءَ ابْنُ الْإِنْسَانِ فِي مَجْدِهِ وَجَمِيعِ
مَلَائِكَتِهِ مَعَهُ حِينِيذٍ يَجْلِسُ عَلَى كُرْسِيِّ مَجْدِهِ وَجَمْعُ إِلَيْهِ كُلِّ الْأُمَمِ فَيَمِيزُ
بَعْضَهُمْ مِنْ بَعْضٍ كَمَا يَمِيزُ الرَّائِي الْخَرَّافَ مِنَ الْجَدَا وَيُعِثُّ الْخَرَّافَ عَنْ يَمِينِهِ
وَالْخَرَّافَ عَنْ يَسَارِهِ حِينِيذٍ يَقُولُ الْمَلِكُ لِلَّذِينَ عَنْ يَمِينِهِ تَعَالَوْ إِلَى يَمِينِي
أَيُّ لَدُنَا الْمَلِكُ الْمَعْدُومُ قَبْلَ أَنْتُمْ الْعَالَمُ لَا بِي جَعَلْتُ فَاطْمَعْتُونِي
وَعَطَشْتُ فَتَسْقِيْتُونِي وَغَرَّابِيَا كُنْتُ فَأَوْثَقْتُونِي وَغَرَّابِيَا فَكَيْشْتُونِي
وَمَرَّضْتُمُونِي وَغَرَّابِيَا فَتَقْدَرْتُونِي وَمَحْبُوسًا فَاتَيْتُمُونِي حِينِيذًا يَحْبِسُ
الصَّادِقِينَ وَيَقُولُونَ يَا رَبِّ مَتَى لِيَسِينَا كَجَائِعًا فَاطْمَعْنَا كَأَوْعَظَشْنَا
فَتَسْقِيَاكَ وَمَتَى لِيَسِينَا كَغَرَّابِيَا فَوَيْسَانَا أَوْعَارِيَا فَكَيْشْتُونَا أَوْ مَرَّضْنَا
أَوْ مَحْبُوسًا فَاتَيْتَنَا إِلَيْكَ فَيَحْبِسُ الْمَلِكُ وَيَقُولُ لَهُمُ اخْرُجُوا قُلُوبُكُمْ إِنْ
الَّذِي فَعَلْتُمْ بِهِ أَحَدًا خَوَاتِي هُوَ لَا الصَّغَارُ فَبِي فَعَلْتُمْ حِينِيذًا يَقُولُ
لِلَّذِينَ عَنْ يَسَارِهِ أَهْوِئَا عَنِّي يَا مَلَائِكِينَ إِلَى النَّارِ الْمُرِيدَةِ الْمَعْدَةَ لَا يَلِينُ
وَجَنُودُهُ لَا بِي جَعَلْتُ فَلَمْ تَطْعَمْتُونِي وَعَطَشْتُ فَلَمْ تَسْقِيْتُونِي وَغَرَّابِيَا
كُنْتُ فَلَمْ تَأْوِيْنِي وَغَرَّابِيَا فَلَمْ تَكْسُوْنِي وَمَرَّضْتُ وَمَحْبُوسًا فَلَمْ تَرْوِيْنِي

حينئذ يجيئون ويقولون يا ربنا انا كنا نأمرنا ان نعطي شاة او غنما
او غنما او مريضاً او مريضاً او مريضاً او مريضاً او مريضاً او مريضاً
لحق قولكم انكم لم تفعلوا بل قد فعلوا ولا في فعلكم فندب
هو لا الى لعذاب الموت بل الى لعذاب الحياة الابدية يعلمنا هذا
القول انه عند مجيئه وجميع ملائكته المقديين معه تقوم جميع السموات
الابرار ولا يشربون ولا يمتنعون الا الذين كانوا العنايه بالفضيله
ويشبههم بالخوف اي اخبر بقدرهم في اقيامه بوقار وهدوء واعمالهم
مفيه عليهم وهم حذرة لان الخوف من شاة الهدوء وبياضها هو الغالب
في الواحها ويقال الذين يتبعون العنايه بالفضيله عنهم ويشبههم
بالجدا اي اخبرنا ان الذين يتبعون في قلوبهم شدة من عجز من شدة
الهول وتكون شياهم مظلمة عليهم وحذرة منهم لان الجدا من شاة الفلق
والبلبل بعضهما من بعض وتفرق عنه ويستره في طلب المرعى الزايد
حتى ان الرعاة يكون لهم في جمعها تعب ومشقة وشواادها هو الغالب
في الواحها فيجعل هو لا عن يساره ولا يكل الاولي اعز منه حينئذ
يقول لهم انه يشبههم اولاً بالعباد الذين لم يحكموا الذي يقيمهم شبه
عائيتهم فيعطيهم طعاماً منهم في حبه وجعل لهم الطوبى وشبههم ثانياً
بالحسن

بالحسن العبد الذي يحكمات التي اخبرنا معاً يصحون ودخل مع العريس
الى الفرج وشبههم ثانياً بالعبدين الذين قبلوا امر سيدهما واضعفاً
ما اعطاهما من المان وفي الآخر عند مجيئه مع ملائكته يشبههم
بالخوف التي عن حبه تعالى الى يا مبارك الذي انزل الملك للعبد من
قبل انشاء العالم فيذهبون في يوم الخلود والحياه الموده باستحقاق
لاهم اكلوا شيرت الغضال وردوا الخطاه الى التوبه بحرهم في
التعلم واشبعوا لجياح واووا الغزاة واكسوا الفراء وفرجوا من
المكرين وتلكوا جميع الواجب في نفوسهم وحينئذ يقول الذين
عن يساره من اجل ابتعادهم من العنايه بشيرت الفضيله لانه يشبههم
اولاً بالعباد الذين يضرب سيده عبداً وياكل ويشرب مع الشكر
وشبههم ثانياً بالحسن العبد الذي يحكمات الجاهلات التي لم ياكل من ثاة
مع مصابيحهم ولم يستعدن للقاء العريس ولم ادخل العريس الي
موضع الفرج مع المستعدين اغلق الباب وخرج وقال لمن ما اعرفكم
وشبههم ثانياً بالعباد الذين الكسلان الذين فوضت سيده في الامن
ولم يقبل امره وامر سيده بان يلقى الظلمة القصور ووضع البكا
وصري الاسنان وفي الآخر يشبههم بالعباد الذين عن يساره اذهبوا

عني يا ملائكة الى النار الموتى المعده لا يلبس وجوده فيذهبون الى الجحود
في النار التي لا تطفأ والمرد الذي لا ينام باستحقاق لان اعمالهم كانت
ضدنا الاولايك الذين قد تقدم ذكرهم ولما اكمل يسوع هذا الكلام
كله قال للتلاميذ اعملوا ان بعد يومين يكون الفصح وابن الانسان
يسلم ليصلب حينئذ يجتمع رؤوس الكهنة والكتبة ومشايع الشعب
في دار رئيس الكهنة الذي يقال له قيافا فتساوروا ليمسكوه بكرا
ليقتلوه وقالوا ليس يكون هذا في العيد لئلا يكون سمح في الشعب
القول الذي قاله في امر صليبه كان في يوم الثلاثاء وكان العيد في
ذلك السبته يوم الجمعة فكان بين قوله وبين العيد يومان لان هذا
القول قاله للتلاميذ وهم على جبل الزيتون بعد يوم الاحد الذي
اتي فيه الى اورشليم وهو راكب على الحمار وخرجوا من اورشليم ومعهم
سفن الخيل للقائه ليخرجوا اورشليم مباركا الاتي بسم الرب ملك
اسرائيل كما شهد الكتاب واسم الفصح مشتق من الضرب في اللغة
العبرانية والسريانية واورد هاهنا يذكر الصليب انه يوكدامه
لتلاميذه علي انه عالم بوقت صليبه والامه وما يكون قبل ذلك وبعد

وان

وان هذا الامور التي ستكون ليس في من غير علمه ولا من غير مشيئه بل
انما بعلمه واراثة تكون وانهم لاجل اتي الى العالم واناس من اجل
خلاصنا حتى انهم اذ اشاهدوا ما قد رضىه لنفسه من اللذات واللحوان
وقبول الام لا يتذكرون ذلك ولا يشتشعونه ويتذكرون كلامه في
هذا المعنا ويقولون لولا ان له في هذا الامور الشيعه غرضا يقصده
لما كان واقع نفسه فيها مع علمه بما وبوقتها وكان قادر اعلي الخلق
منها والا لكان الموضع يقصده منها وذلك ان السيد اراد بالامه في
ذلك الوقت المعنا من اجل خلاص الناس واقتناهم من عبوديه
الشیطان المرد لان الخاروف الذي امر الله بنو اسراييل بهجه كان
انشاء عن الامه لانه صار ثابته خروفا لله كما تنبأ عليه يوحنا
المعمدان وقال هذا هو حمل الله الذي يرفع خطايا العالم كما شهد
الكتاب فلما كان دج الخروف احمي خلاصا لبني اسراييل من عبوديه
فرعون احمي من مصر وجنوده المصريين كذلك كان خلاص آدم
ورثيه من عبوديه فرعون المعنوي وجنوده الذي هو البليز وشياطينه
باهر ارحم الخاروف المعنوي الذي هو المسيح واما ما امرت ايشهود
ولجما عمر في دار قيافا رئيس الكهنة في تلك السبه فكان يوم الاربعاء
الذي اتي بعد يوم الثلاثاء الذي فيه قال للتلاميذ من امر صليبه لان

الشیطان استولى على اليهود واشعل في قلوبهم نار الحسد والظلمة
لانه في ليلة صليبه الرب المات في اقام العازر من قبره بعد اربع
ايام في بيت عنيا في يوم الاحد الذي تيلوه دخل الي ابروشليم لتلك
التسابيح المشهورة من افواه الاطفال وخلق عظيم وعند دخوله
الي الهيكل اخرج الباعه واقلب موايد الهيبارف وكان للتلاميذ في
ذلك الوقت قد انتبهوا وفرحوا بما قد شاهدوه من عظمتهم ووقاره
وظنوا ان مملكته علي بني اسرائيل قد ابتدئت وانه سيكون كما كان
داود وسليمان وغيرهما من الذين قد ملكوا علي بني اسرائيل فيكون
لهم في مملكته الخصور الكريمة والمراتب الجسيمه ولما سمعوا قوله في
يوم الثلاثاء وما اشار به اليهم من امر صليبه والامه وعقب ذلك ما
سمعوه من مواسرات اليهود علي قتله في يوم الاربعاء حين نزلوا كبريا
جدا وكان ذلك اليوم اول حين دخل علي قلوبهم بسبب لام المسيح وهذا
نسوا علي جميع المومنين صيام يوم الاربعاء من اجل ان المومنين كانت
فيه والاشغاف فيه من اشغال كل شيء من الزهومات ليكونوا لهم
مشاركين في احزانهم كما قد نسوا لهم ايضا ان يكونوا مشاركين في
افراحهم سويانوسل يتقون في لا يفرقوا اذا جاء ابن الانسان
مجد جميع ملائكته الاطهار معه يسبحون اياه ابن البشر من اجل الذين
وجعل

وجعل لكل انسان لعنه ليتوبوا ويفعلوا ثمارا صلاحا ليستحقوا
منه بها الرضا فمن اجل انه برافته الاله رحوم ومحب للبشر جعل للعقير
والغفير جميعا السبل الي عمل ارادته لئلا يقتل الغفير ويقولوا الي
استطاعه ان اعل وصايا الانجيل فلذلك نشر الوصايا عليهم ليحمل
لكل انسان استطاعه قال جعفر فاطعموني وليلا يجدا المسكين
في هذا حجة اعادا لقوا لاطشت فستقيموني وكنت عريان
نكمتوني وليلا يجدا المسكين في هذا حجة اعادا لقوا لكانت
مرضا فافتقدوني وكنت غريبا فاقسموني وليلا يجدا المسكين
ايضا قلنا قال وكنت في البحر فزقوني وجعل للعقير المسكين
السبل الي التوبه وحفظ الوصايا وكان لما استتم يسوع هذا الكلام
قال اعلما ان بعد يومين يكون الفصح وابن الانسان يسير ليصلب
يعني انه بعد يومين الذي يوم الاربعاء الذي وافق فيه يهودا الاسخر
اليهود ليصلبوا لليصلب ويوم الخميس ويوم الجمعة الذي صليبه والمجده

قصص الاحصاخ الثالث والستون

وكان يسوع في بيت عنيا في بيت ثيمان الابن من فجات ابراهيم معها
قاروت طيب كثير الثمن فافاضته علي راسه وهو متك في فلما راى

م

يوحنا

التلاميذ لك تغفروا وقالوا ماذا هذا التلاف قد كان يستطاع ان
يباع هذا بغير كثير ويعطى للمساكين فعمل يسوع فكره فقال لهم لماذا
تؤمنون المرأة علمت في عمل الجسد المشاكين يعلم في كل حين ولما انسا
فليت عندكم في كل حين افاضت هذا الطيب على جسدي لا فني لحن اقول
لكم انه حيث ما اكرمه هذا البشار في كل العالم يذكر ما فعلته هذه
المرأة تذكروا لها حينئذ ما فعلته لاني عشا الذي يقال له يهودا الاشخريوط
الي رؤسا الكهنة وقال لهم ماذا تعطوني حتى اسلمه اليكم فاقاموا له
ثلاثين من العنقه وخرج كل الوقت كان يطلب جيله ليسلمه اليهم والمجد
المتقنين قال بشيروك يسوع في بيت عينا في بيت سمعان
فجاءت امرأته معها قارورت طيب كثير الثمن فافاضته على راسه وهو متكى
ينبغي لنا ان نغفر له ان سمعان هذا الذي كان السيد في بيته هو من جلت البرص
الذي كان السيد في بيته يظهره وديلد لك ان السيد لما كان في بيته كان
جماعه من اليهود تسكين معه وكان لما نزل الذي اقامه منكيا في جلسته
كما شهد الكتاب فلو لم يكن مطعرا لما كان احدا من اليهود اتى الي بيته
والمرأة التي جاءت وافاضت القارورت الطيب عليه في ذلك الوقت
هي ميرم الخاطية والمساكين ان يقول لم قال لوقا في بشارته انه لما كان
في بيت سمعان الغريسي كان في تلك المدينة امرأة خاطيه وانما اخذت
قارورت

قارورت طيب ووقفت من رجليه عند جليله باكية وهدت تبتل قدميه
بدموعها ومسحها بشعر راسها وكأنت تقبل قدميه وتدهنهما با طيب
ويوحنا يقول ايضا في بشارته انه لما كان في بيت العائز منكيا اخذت
ميرم طبل طيب ناردين خالص كثير الثمن فاقرنته على راسه ولا يشك
في ان هذا الخلق بين المبشرين فيقال له ان المبشرين لم يكن يقع بينهم
خلق الله وان الذي يتوهم هذا انما هو لخد لا موعلي ظاهرها من غير
كشور عن حالها شغاشافي ولا بحث عن المعاني بحثا كافي والدليل على
المبشرين متفقون وليس بينهم خلل هو ان الطيب الذي افيض على الخلق
كان ثلاثة دفعات اما الدفعة الاولى فكان بمدينة نايين لما كان
السيد في بيت سمعان الغريسي ولما علمت لامرأة الخاطيه التي
كانت في تلك المدينة جاءت اليه ومعها قارورت طيب فدهنت رجليه
ولهي باكية ولم يكن لها داله بان تغنيص من لدهن على راسه وقال لها
مغفورك لك خطاياك فهذا هي الدفعة الاولى ولم يضمنها احد بشارته
شوي لوقا بعزده وأشار في المرأة ميرم المجدلية التي اخرج السيد
منها سبع شياطين انه ذكرها في الفصل الذي تيلوا قوله هذا واما
الدفعة الثانية فهي التي شهد بها متى ورفق بشارتها وكان الامر في

هذين الدفتين في بيت عنيا وكرمك بمابنه كما شهد لوقا ولحد فولا
الدفتين في بيت عنيا وكرمك الآخر من كان من مير الخاطيه وهو متكي
في بيت ثعمان الارض يوم الاربعاء الكبير الذي وقعت فيه المومس
من اليهود على المخاض جات اليه تلك المراه ومعها انا الطيب
فافرغته على راسه اما في الدفعا الاولى لما لم يكن لها عليه اذلال
سكت الطيب على قدميه وهي باكيه ملتصقه منه غفران خطاياها وفي
الدفعا الثانيه وهو متكي في بيت ثعمان الارض لما صار لها عليه
اذلال سكت الطيب على راسه اكراما له واجلالا. واما الدفعا الثالثه
فهي التي ذكرها يوحنا في بشارته وكانت من مير اخت العازر ولما كان
السيد متكيا في بيتهم كما قال يوحنا في بشارته انه لما كان قبل ستة ايام
الفصح جا يسوع الى بيت عنيا حيث كان العازر الميت الذي قامه يسوع من
الموت فاضموا له عشا في ذلك المكان وحملت من تأخذه وكان العازر
لحدا متكيا معه فلحدت مير رطل طيبا اذيرج كي ثين فدهنت به
قدمي يسوع ومسحتهما بشعر راسها فاشد لا البت من راحته الطيب
وهذا الثلاثة لدفع. اما الدفعا الاولى من مير الخاطيه في بيت ثعمان
الفرسي والدفعا الثانيه من مير اخت العازر قبل الفصح بستة ايام
بعد

بعد

بعد قيام العازر من الموت واما الدفعا الثالثه من مير الخاطيه ايضا
يوم الاربعاء الكبير ولما كان متكي في بيت ثعمان الارض جات اليه ومعها
العازر ورت الطيب وافرغته على راسه لانه في الدفعا الاولى لما لم
يكن لها عليه اذلال سكت الطيب على قدميه ولما صار لها عليه اذلال
سكت الطيب على راسه فيكون من السيد الطيب ثلاثة دفع من
امرأتين ومير مير الخاطيه ومير اخت العازر وللشليل ان يقول
لم تختصا فان المرأتان على اكرام السيد الطيب خاصه ولم تكن كراهما
له بشي غيره فيقال ان ذلك الدهن لم يسمع به في ذلك الزمان الا المفضل
من الناس كالمولود والكهنة ولاجل حسن نيتهم فيه لانه كان عند فاضل
بنين وقبوله منهم اذ لا لانه كان محتاج اليه بل من اجل حسن صبرها
قبل اكرامها وللشليل ان يقول لا يخافوا قولكم في مير المجدليه من احد
قولين اما ان تقولوا انها معتراه من لجن واما ان تقولوا انها كانت معفيه
من اعتراه فان قلتم انها كانت معتراه من لجن فالكتاب يشهد انها كانت
خاطيه وان قلتم انها كانت معفاة فهذا ايضا لا يتبع وذلك انها
كانت مشهوره باعترا لجن فتسميتها خاطيه ليس له معتر من اجل اعتقاد
الناس من لجن منها والدوا اليها ولا تسمي مجنونه ولا تسمي

خاطبه وان قلتم انما كانت مفعليه من اعتراض الجرح في الكتاب يشهد ايضا
بان السيد اخرج منها سبعة شياطين وهذا القول فهو يوافق مع نفسه
بعضا والمخلوق فيه بين ظاهر فيقال ان كتب الله عز ذكره قد يكون فيها
معاني غامضة يحتاج فيها الى رويه صادقة وفحص مستقيم واستناد
مقبول حتى يقوم البرهان عنها صحيحا بمعنى صادق فالذي يقر في
كتب الله بالاختصاص ويحمل الامر فيما يفره جميعه على ظاهر الحال فهو
لا محاله في المعاني الغامضة متعمد من القواب غايته البعد ودليل
ذلك ان من هذه المنشأ السيد كانت خاصيه على ما شهد الكتاب
وكان قد اجتمع فيها سبع عجائبات التي قد شهد بها الكتاب وفي الفكر
الشري القتل الزنا القسوة المرقه شهادت لزور التعذيب فحدا
سبعت الشياطين الذي اخرجهم السيد منها ولهذا سُميت خاطيه
ومن هذا نعلم ان المبشرين ليس عندهم خلاف وقوله فلما راى ذلك التلاميذ
تفهموا وقالوا لما ذا هذا التلاف قد كان ينبغي ان يباع هذا بئس
كثير ويقطع للمساكين المعاني في غمته التلاميذ ان يهودا الاسخريوطي
كان البادي في القول لانه قال للرب يباع هذا الدهن بثلاثمائة
دينار ويدفع للمساكين وانما قال هذا ليس عن ايد منه بالمساكين
ولكنه

ولكنه كان شارقا وكان الصند وقصده وكان يحمل ما يصير فيه كما شهد
الكتاب فاما بقيت التلاميذ الحاضرين في ذلك الوقت لما سمعوا قوله
الهاموسا ظنوا انه بقاوت قلوبهم صلاحهم ان غمته وقوله انما هو
اشفاق على المساكين ولعله يريد ايضا بان المخلص لا يشاء ان يناله من لذات
العالم ثم في فواتقه وعلي ايد من اجل ان السيد لما كان يعظمهم كان يمدح لهم
فضيلت الصدقه على المساكين او فامدح ويشفعها على سائر الخسائس
تفهموا من اجل ان الدهن كان له قد يتفهم منه مساكين كثيره وقوله فعمل يسوع
وقال لهم لماذا توبنون امره علت في عجايب المساكين معكم في كل حين
واما انا فليست عندهم في كل حين اراد بهذا القول ان يجبر قلب المساكين
من توبيخ التلاميذ وان يذهب عنها ما اصابها من الخجل لانها اتعبت
نفسها في لجات به اليه فاجتهدت من التلاميذ قبوله فقوي ففهموا
واشرح صدها لعلمه بانها احبته من كل قلبها وكل جدها وظافتها
وللسايل ان يقول ان البرهان يدلنا على ان السيد كان مستغنيا عن هذا
الطبيب غير محتاج اليه من اجل اطراحه هذا العالم بانشر حتى انه لم يكن
له فيه موضع يسند اليه راسه كما شهد الكتاب ولقد كان استغناء كثير
من المساكين بخرج لكل الطبيب واجب مما فعلته فلم يخلص للتلاميذ
على لومها وتوبيخها وتصويره رايها على ما فعلت خيفا عليهم واستغناء فاما

هم فيقال ان السيد اراد بهذا القول نوعين الاول جعله تأديبا للتلاميذ
حتى انهم لا يتعدون ثقل الناموس الى الفضيلة الكاملة من اول وهله
بل يدرجونهم تدريجا ولا يكسرون حيت ايمانهم بالتوسيع لهم فلهذا قال
لهم لا توبخوا اي لا تكلموا بحيت ايمانها ومحبتها ولقد كان من الواجب
شكرها علي ما فعلت ثم من بعد هذا تقرر الفضيلة الكاملة التي هي
مساعدة المشاكين وهكذا يجب علينا نحن اذا راينا من همتم بامور
الكنايس فورا محتاجا اما كسوة زايده اوصيغه فايده فلا تكسر
حيت ايمانه بل نشكره علي ذلك ونوعظه بعد هذا وحسنه علي غرار
الفضيلة الكاملة التي هي مساعدة المشاكين من بين الجنس والثنائي
فانه اقام عليهم الحجة بان الذي عملته المرأة هو واجب عليها في الناموس
من حيث انه لم يتكبر ويقول اننا افضل من المشاكين لان الكتاب يشهد
ان الوصية الاولى لعظيمة ان تحب الرب الهك من كل قلبك والوصية
الثانية التي تنبجها ان تحب قريبك وكذا القول لهما ان لا يفدوا
علي حجة شي من اثار الفضائل وهكذا يجب علينا نحن اذا حضرنا في
القداس الذي هو تقديم جسده ودمه ان يكون قايما بخوف ورسد
وقار وتبجيل وتحميد وتبسيخ وتقدسين من كل قلوبنا وبنائنا
وان

١٣
١

وان لا نلتفت الى ما شأه منه ولا يشكر ولا ايصدة متكين ولا في تعليم
روحاني لتأيب ولا ايصاعدت مكروث ولا الى اعانت ملوف بل نكون
متعلمين الى الله في طلب الثواب والفرح لان الكاهن الذي يقدم
القرآن في ذلك الوقت يامر الشعب قايلا تكون قلوبكم في علاء اي تكون
لكم فكم في عمل شيء مما في الارض فيجاء به الشعب قايلا قد فعلنا هذا الي
الرب فان كانت فكرتنا بعد هذا القول مستقلة بشيء من اورد هذا العالم
فقد استجوبنا علي الله جل ذكره بالكذب وقتلنا له بافواهنا ما ليس هو ثابت
في قلوبنا وهكذا لان جسدا المسيح ودمه ما هو موجود في الشمار كلة
واما المشاكين والمتعلمين والمكرمين والمهوفين موجودين في النهار
كله وهكذا لحاجات الجسد واعماله فالذي يكون قيامه في القداس بخافه
وقار كما تقدم القول فو كحاله ممدح من المسيح كما مدح المرأة وقوله
افاضت هذا الطيب علي جسدي للذين الحق اقول لكم انه حيث ما اكرس
بهذا البشارة في كل العالم يذكر ما فعلته المرأة تذكرا لها اراد
بهذا ان يجدد للتلاميذ كما هو من ان يكون من اثار الامه وان وقتها
تدقرب ولم يبق فيه بعد حتى لا يتولمون فيه بانه غير عارف بما سيكون
قبل ان يكون وجعل ايضا ذلك توكيدا لاهم عند ما يشاهدون الفضيلة
الهائلة ليلاليفهم لشك ثم اعقب ذلك مدح المرأة ومجازاتها

عليما فعلت وجعل لها ذكرا في انجيله المقدس وبين ان العمل الذي علمته
عظيم جدا وانما قد افطنت في محبة واكرامه وقوله حينئذ اني احب
الانبياء الذين قالوا له يهودا الاصححوني يوحنا الي ورسا الكهنه وقال لهم
ماذا تفعلون وانا اسلم اليكم فاقاموا له ثلاثين من الغصه ومن ذلك
الوقت كان يطلب جيله ليصل اليهم السبيل الذين لجله في يهوذا
الاصححوني علي ان رسا الكهنه هو ان محبت المال كانت غالبه
علي عقله ومن اجل كثرت محبته للمال وكثرت شوقه الي جمعه ولم يكن في
التلايد من هذا صفتته استرقه الشيطان وحل فيه كما شهد الكتاب
وعظم عليه ما فاته من الطيب ثم افرصه عليه علي المخلص لكونه استصوب
راي المراه علي ما فعلت واكثر شكرها ومديحها وانكارا علي التلايد
توبينجا حتي انه اخرج حب المخلص من قلبه لان الكتاب يشهد ان ليس
انسان يستطيع ان يعبد اثنين الا ان يلفض الواحد ويحب
الآخر وقال ايضا انه لا تغدو ان تعبد الله والمال ولما علم
الشيطان انه قد اخرج حب المخلص من قلبه وانه قد فسد لجلاله
التي قدنا لها في حلت التلايد لاني عنتر يسوع الذين اختارهم
ثم انه قد جعل لغوه التي بها كان يخرج الشياطين ويشفى المرضى
وانما ما كان يشاهده من اعمال المخلص من اقامه الموتى وفتح اعين
العميان

العميان وتطهير البصر واشفي المستومين وان هذا جميعه قد صار
عنده كاشي حينئذ بدا يطرح في قلبه الشكل المفرد والكفر المحض
ويكر عليه قول السيد انه في يوم الغصم يسلم لصلب وان هذه افاضه
الطيب علي جسدي صنعت له لدني ولما استحك كره حينئذ مفي باع
سيد ثلاثين من الغصه ومن خوفه من عات الشعب كان يوسع الحيله
في سلاله ساويرس فخرق من اجل لامراه التي افاضت الدمن
علي الرب لانه ثلث دفعات دهن الرب للدفعه الاولى في بيت مرتا
من ميري لختها ولثانيه من المراه الخاطيه في بيت شمعان الغريبي ولثالثه
من هذه المراه الخاطيه ايضا في بيت شمعان الابن من وخلصا صارت حكيمة
مرضيه لله وتعت بايمانها واشتياها الي الرب افاضت عليه العطر
وليس علي جليه كاللدهه الاولى لكن علي راسه فقد بينا ان هذين
المراتين الواحد ميري لخت العازر والاخره التي ذكرناها وهذا ايضا
شبه كنيست الانم التي كانت في الزمان الاول زرايته لثقت معرفتها
بالله وعبادتها للزمن فلما اظهرت عظيم ايمانها للرب مثل
عطر طيب ذكرنا لرايحته بعد ذلك صارت مومنه ومسكنة للروح
المقدس التي تفرح بالحيته اكثر من كل عطر وذلك الحق لان الشهد
هو كنيست الانم عند ذلك انطلق واحد من الانبياء الذين يسمي يهودا

الاستخوي بطي الى عظماء الكهنة قال لهم ماذا تعطوني وانا ائتملكم اليكم
فانما هم ففعلوا له ثلاثين درهما فخرج لك الوقت كان يطلب فصره ليئسلا
ساورين ففعلوا له ثلثين درهما فخرج لك الوقت كان يطلب فصره ليئسلا
غير ادم وبارادته ائتمل نفسه الى الهلاك والسرقة الملعونة ومحبته
المان وبعد هذا انكر على المراه فعلها التي افرغت الدهن على راس معلمه
من شدته ما دخله من محبة المان وهو الذي كان يملكه معه في القصة
تعلت حيا قبل كل التلاميذ وبعد هذا ايضا تصوحتي غسل رجله
قبل بطرس راس التلاميذ واعطاه من العشاء السري وجعل له البيل
ليؤذي ويندم على الشر الذي كان يفكر فيه من كل قلبه من جهالته فلما
راه بعد هذا كله وهو غير مستقيم وادم حبيبه تخلعنه وشكن فيه

الشیطان والنجس لله دائما قصص الصحاح الرابع والستون

وفي اول يوم من الفطير جاء التلاميذ الي يسوع فاليين اين تريدان
فعدلك لتاكل الفصح فقال لهم اذهبوا الي المدينة التي خلفكم وقولوا
له قال المعلم ان زمانا قد اقترب وعندك اصنع الفصح مع
تلاميذك ففعل التلاميذ كما امرهم يسوع واعادوا الفصح ولما كان
المساء اتكأح المني عشر تلميذا وفيما هم ياكلون قال الحق اقول
لكم

لكم

لكم ان واحدكم يسلمني فخر فواجلا وبدا كل واحد منهم يقول المعلم انا هو
يارب فلجأب وقال ان الذي يجعل يده معي في الصفحه هو يسلمني
وابن الانسان ياض كما كتب من اجله والويل له ذلك الانسان الذي يسلم
ابن الانسان الذي يسلمني الانسان حبيبه لولم ذلك الانسان لجأبه
يهورا امثله وقال المعلم انا هو يا معلم قال له انت قلت التفسير معلوم
انني ائتمل ما كوني مبس في عبودية فرعون وجنوده المفسرين
وقد استحكم شرهم وعظمت لهم ارادة الله تعالى ذكره ان يقتلهم من
تلك العبودية المرة وتخلصهم من شدته لاسر والضيقة الذي كانوا
فيه عند المصريين على يد موسى نبيه وكلمه فامرهم على لسانه بان
يخرج كل انسان منهم في بيته خروفا لا كعب في الخامسة عشر من الهلال
الذي يسمونه نيسان وياكلون لحمه مشويا بالنار ووعدهم انه بقوته
يقتلهم من عبودية فرعون والمصريين في الليلة التي ياكلون فيها
لحم الخاروف ثم امرهم بان يكونوا في كل سنة اتي يعمدون هذا
الاعتماد في الخامسة عشر من الهلال الذي يسمونه نيسان يدبحون
لخاروف وياكلون لحمه مشويا بالنار وكان ذلك اشاك الي السيد
خروفا لله الذي ليس فيه عيبا الذي نرى ان يخرجه بارادته من
اجل خلاص ادم وذرته من عبودية ابليس وشياطينه وعتقنا

نحن ايضا من بعدنا لخطايا نقول لبشير وفي اليوم من لفظير جا
التلاميذ الي يسوع قائلين ان تريد ان نعد لك لتاكل الفصح هذا
التواقي لوله وهو في بيت عنيا يوم الخميس الرابع عشر من هلال نيشان
الذي يبعث في عشيته لظروف لان العيد في تلك السنة كان يوم الجمعة
ولاجل ان العادة جارية بتعدي اكرام الاليام لجليله من الليل كانوا بين
اسرائيل ليجوز صحبة الفصح في ليلة العيد ومعنا قوله اول يوم
من لفظير ان الاله ان الله امر موسى بن اسرائيل علي لسان موسى بان لا
ياكلوا اللحم ووف الفصح حتي يحكموا تنقيت بيوتهم من كل خبيث عتيق
وحينئذ يكون الفظير مبعث ايام كاشف الكتاب وقال فجاء يوم
الفظير الذي يبعث فيه الفصح ومعنا قول التلاميذ ان تريد ان
نعد لك لتاكل الفصح هو ان لنا موسى ان حجة اليهود في كل سنة
الي اريوسليم ليفصحوا بها فمن كثرت اليهود الذين كانوا ياتوا الي
العيد كان كل انسان منهم يحتاج الي ان يعد له نفسه مكانا يفصح
فيه ومن لم يكن مكانا نحو هذه ضرورت العيد الي ان ينزل اما عند
قرىسه او عند صديقه والمعا ان المخلف لم يكن له منزل معه وايضا
لكل كان التلاميذ لكونهم ليرجتموا في مكان يقيدون فيه وتوهموا
اخر من ضيق الوقت والرجح التي في المدينة لا يجدون مكانا
وقول

وقول المخلف لهم اذهبوا الي المدينة الي فلان وقولوا له المعلم يقول
زباني قد اقترب وعندك اصنع الفصح عني بالمدينة يروشليم والافسا
الذي يعمل الفصح في بيته هو سمعان القير واني الذي يستحقه اليهود
وجاهل وخبث الصليب المقدس لان هذا سمعان كان انسانا مباركا
وكان يحضر في الجمع لسمع تعليم السيد في كل وقت وكان يستهي دخول
السيد الي بيته وتلاميذه معه فاما كان يستطيع ذلك من جفتين الواحد
انه لم يكن له عند السيد اله موكة يستترسلها معه ولتانيه انه كان
يخشى سطوت اليهود وكنتم ومن اجل محبة ونيته اوجي اليه
بان لا ينزل الحداس الواصلين الي العيد في بيته وان يعدا مكان
للسيد وتلاميذه حتي ينزوا فيه ولا يكون معهم غيرهم لكي يفصح
الفصح القديم بها يعطيه لتلاميذه من فصح الجديد الذي هو
جسد الكرم ودمه الزكي لكي يغسل ارجلهم ايضا ويعظمه وقول
زباني قد اقترب اذ بذلك زمان صليبه ابي لك كنت تستهي دخولي
الي بيتك فاعدا لان المكان جي لي اليه قبل خروجي من العاد وذلك
ان السيد في ذلك الوقت لم يتهيأ له ان يبيت في اي مكان اتقت
لكن اذ بيتا محصورا لاجل اريد بيتا نغم فصح الذي يريد
به نسخ الفصح القديم وما يسنه لتلاميذه ايضا ومن اجل هذا كان

صاحب البيت قايلاً لما أوتي إليه فأعذبت به للخالع وتلاميذه خصوصاً
والمساكين ان يقول ان متى يقول في بشارته ان الرب قال الجماعة الثلاثة
أذهبوا الى المدينة وموقص يقول في بشارته ارسل اثنين من تلاميذه
وقال لهما اذهبا الى المدينة ولو قاي يقول في بشارته فارسل بطرس ويوحنا
وقال لهما امضيا واعدوا الفصح لتاكل وهذا الخلاص من المبشرين فيقال
ان للتلاميذ انتم اوتوا اليه ليستخبروا أمره في المكان الذي يريدون فيه
الفصح قال لهم اذهبوا الى المدينة كما في شهادتي متى ثم بعد هذا القول
اختار اثنين منهم وهم بطرس ويوحنا وارسلهما ليعدلا لهم الفصح كما
تضمنت شهادتان موقص ولو قاي والمساكين ان يقول ان متى يقول في
بشارته ان السيد قال للتلاميذ اذهبوا الى المدينة اقلان وهذا دليل
على ان التلاميذ يعرفونه معرفة جيدة وموقص ولو قاي يقولان في بشارتهما
ان السيد قال الاثنين من تلاميذه اذهبا الى المدينة فسيلا كما انسان
حامل جرت ما اتبعاه الى حيث تضي ليخل فتقول الرب البيت المعلن يقول
لكن ابن المكان حيث اكل الفصح مع تلاميذه فهو ريكما غزفه كبيره
معروشه معدة فاعدا لنا هذا الفصح وهذا دليل على ان التلميذ
لم يعرفوا ذلك الانسان فيقال ان الانسان كان معروفاً عند السيد
وعند

وعند التلاميذ وانما وضع مسئلة لم يكن التلميذ ان يعرفانه والذي كان
حامل الجرة الماء فهو غير صاحب البيت ولما كان اليهود متربين وصول
السيد في العيد ارجح عن التلميذ نقل السؤال عن بيته فدلها
على الموضع بما سبق في علمه بصاحب جرت الماء وهذا هو الدليل على ان
المبشرين ليس بينهم خلاص وقوله ولما كان المساء اتكأ مع الاثنين عشر
تلميذاً وفيما هم ياكلون قال الحق اقول لكم ان واحداً منكم يسلن فخر بوا
جداً وبذلك واحد منهم يقول لعلني انا هو يا رب فلجأ وقال لهم الذي
يجعل يده معي في الصفحه هو يسلن وابن البشر ما من كتاب من اجله
قوله لما كان المساء اتكأ مع الاثنين عشر تلميذاً يدلنا بذلك على انه دخل
المدينة في نهار يوم الخميس وبقيت لاهوته لم يطق لليهود الذين
كان عنهم مستتراً ان ليصروا مع كونهم كانوا متربين حضوره في
العيد والمكان الذي كانوا عليه صهيون وعند غروب الشمس
اكلوا الفصح كما في الناموس في سفر الكهنة وارا دابا كله الفصح
في تلك الليلة نوعين الاول حي لا يحد يهوداً عليه حجة عند اليهود
فيقول انه قد حل العيد ولم ياكل الفصح وضادنا نور الله والثاني
ان اراد ان يتمم الفصح القديم ويتخذ به الفصح الجديد الذي

يعطيه لتلاميذه كما شهد الكتاب انه قال لتلاميذه شهوه استقيت
ان اكل منكم الفصح قبل الاني فاني اقول ايضا اني لا اكل منه حتي اكل مني
ملكوت الله اراد بذلك اني اذا اكلت لانكم هذا الفصح فستخذه
بفصح الذي هو جسدي ودمي وسلمته اليكم عهدا جديدا بيني وبينكم
ولفظه حتي في هذا الموضع ليس توجب عليه حدا وانما هي بمعنى قول
الكتاب ان ملكا بنت شاوول لم تزق نبيا حتي ماتت فمعنى قوله
في الفصح الناموسي تجري علي مثل ذلك اي في اكل الفصح الناموسي
الي ان اكله بفصح ولا يقول ان واحد منكم يسلمن اشكارا واعلاما
ليهودا ايمان الذي قد اضره في قلبه ليس تخفي عنه ولما كان هذا القول
مطلقا انزعج التلاميذ جميعهم وكان الغصه بذلك ان ينبغي
يهودا لعله يتعظ وينتفي عن رايه وطبعه الذي الي قبول
النعمة ولما علم الرب بقساوت قلبه وانه لا ينسبه ولا يرجع عن نيته
لخبثته قال للتلاميذ ان الذي يجعل يدك موي في الصغفه فهو يسلمن
بدل بذلك ان لما يده التي كانوا ياكلون عليها اصحفات عده وكان
كل قوم ياكلون في صغفه كما جرت عادت الناس فكان يهودا في
جمل من اكل في الصغفه التي قد امر المخلص فاراد بهذا القول ان
يبيقظه

يبيقظه ايضا بكلام اقرب من القول الاول اي ان الذي في نيتك ليس خفا
عني انه في الاول قال للتلاميذ عشر تلميذا ان واحد منكم يسلمن وفي هذا
القول الثاني اشار الي الذين ياكلون معه في الصغفه لعل ان يكون
اشين او ثلاثة فصلا منه في توبته ورجعته ثم اعقب ذلك القول بقوله
وان الانسان ماض كما كتب من اجله اراد بذلك ثلاثة انواع احدهم ان
يعرف يهودا ان هذا الامر الذي يريد ان توقع فيه قد سبقنا لانبيا
بذكره ومن اجل انشيت الي العالم والنوع الثاني اراد به ان يشجع قلوب
التلاميذ وسيتبين لهم القضية التي تجري ليس في عن ضعف قوه ولا عن
غير اراده ولا ان علمه لم يحيط بها بل انه عالم بما سيكون ولنسبته يتم ومن
اجله اتى كما شهدت الانبيا والثالث اراد به انه ماضي الي الاساري
الذين في عبودية الشيطان ويغني عليهم نوره وليستبروا بالخلاص من
ظلمات الجحيم وللشياطين ان يقول اذا كان المخلف يصليه وموته خلص
العالم وكان من اشياهم ومراة فلا نسب ليهودا في سلامه لليهود بل
هو المشكور علي فعله من اجل انه كان السبب في اتمام قول الانبيا واسعاف
المخلص بما اراده واختاره لنفسه فيقال ان الامر الذي فعله يهودا
ليس موجبا علي هذا النظام لانه لو كان فعل هذا الفعل قاصدا بـ

فصيلة الخاص وكرامه والخير والخير البشر لجازله ان يكون غير ملوماً
 وغير معاقب وهكذا كانت تجري حال اليهود الذين استحقوا وصلوا واستيد
 الكل لاهم لو كان غيرهم في ذلك تمام قول الانبياء وخلاص العالم واظهار
 جود الرب على عباده لما كانوا مومنين ولا معاقبين ايضاً لكن الذي فعله
 يهودا واليهود كان يسوئونه وخبث ضوته وذلك لما كان قصدهم موت
 المخامر وابطال ذكر حسد انهم علموا ما كانوا يشاهدونه من آيات الله الباهر
 ومعجزاته الظاهرة ورجوع شعبهم الى تعليمه وعظمت من اجل خبث
 نياهم وسوءهم واعتقالاتهم وجب عليهم العقاب والبرهان على ذلك ان
 من لهم قاتل من رت قم ارادوا ان يقتلوا ملاكاً من ملوك الارض وكان
 ذلك الملك في مرض شديد من اخلاط قوية قد انفتت فيه الى الجداغساء
 الشريفة ثم تكلنت فيه الاخلاط واندمت فكان ذلك الملك في شدة
 ما هو فيه من المرض فبدل الاموال على الاطباء ليعقبون ذلك المرض
 ويخرجون الذي منه فلم يستطع احد منهم ان يندم على ذلك خيفه
 منهم على ذلك لغضوا الشريف من لغضاد فلما اتا اوليك لغض ليعقبوا
 الملك فقتلوا عليه وضربه احد ضرباً واحداً فافتقت تلك الضربة
 على موضع المرض ففتحت واخرجت جميع ما كان فيه من الذي وبعد
 هذا

هذا لم تكنوا من الملك في شيء آخر بل الله بسبب خمر يري من تلك الشدة التي
 كانت فيه وقيل منها فلاحق في ان هؤلاء القوم قد وجب عليهم العقاب
 لاهم لم يقصدوا اشفا الملك من مرضه بل كان قصدهم اهلاكه للسبيل
 ان يقول ايضاً اذا كان المسيح قد جاء ليصلب ويخلص العالم بصلبه ولم
 يكن يدع يسلمه يهودا او امة غيره كما قد نبت بذلك الانبياء ولو اتفقت
 تكون للناس كلهم ان من الذي كان يسلمه فيقال ان الخطية لو لم
 تستعملها الناس منذ البذر لما كان خالف البرية يتخذ جنساً لان يتعاده
 بالبرية ما كان عبثاً بل كان لا تعداد الناس من الخطية حتى انه قبل الالام
 بما اقتضاه منهم لخاصهم من الخطية بنسب العدل والحق التي تسخا
 من هاهنا هكذا تبين ان الاشرار لم يزلوا موجودين في العالم وكان
 احد لم يتولاهم قد تولاه يهودا فيتم قول الانبياء وقوله الويل لذلك الانسان
 الذي يسلم ابن الانسان جديده لولم يولد ذلك الانسان اجابه يهودا
 مسئلة وقال لعلي انا هو يا معلم قال له انت قلت ذلك بهذا القول على العدل
 الصعيب والشدة الهائلة المعده للذي يسلمه وظلوه في اشد ما يكون من
 العقاب ايها والسبيل ان يقول اذا كان السيد يقول عن يهودا لقد
 كان الاجود انه لم يولد فلم اوجده واولده فيقال ان الله يجوز خلقه

ب

ب

حراماً مستطيماً فامر ربه منه الافعل الخير بحيث انه لم يقهره على ذلك
لاجل انه محير فيما يفعل من خير او من شر ولما ترك فعل الخير ارادة واستشفا
ان يتعاد الى الشيطان بفعل الشر كان ذلك عبثاً لهلاك نفسه لا
وجوده الذي ثبت له الهلاك والسبيل ان يقول ان لو قال يقول ولما
قرب عبداً لطيفاً الذي سمي الفصح ~~وبعد ان بل السيد الخير~~ دخل
الشيطان في قلب يهودا ويوحنا يقول ان الشيطان ما دخل فيه الا
بعد اكل الفصح وبعد ان بل السيد الخير واعطاه وهذا ايضا خلان
يقال ان الشيطان كان قد دخل في يهودا من الوقت الذي ذهبت
المرأة السيدا لطيب في بيت عنياً لانه وسوس له بان قيمة من هذا
الطيب ثمانية دينار فلو بيع كان يحصل لك ما جله كبير وعلما بكثرة
محبة في جمع المال ولان اصندوق كان عنده انه كان يسرق منه ما
يريد كانت هذه الوسوسة على حكم المحسة ولما وجد محسنة لبيت
طرح في قلبه بغض السيد من اجل مده للزوجه وانه كان على السلا
الذي وثقها فلما ايقن هذا الامر معه على تدبير وهو مقيم بيت عنياً
وتحقق انه قد كثر منه وظفر به امهله وصبر عليه حتى اتا الى اوشليم
لياكل الفصح وحينئذ دخل فيه بكليته لعلما منه بانه قد صلح لما يريد

يريد فلكشف عن وجهه ستر لحياء وانفضه لتنام مشيته في اسلامه
للجهود وهذا الدليل على ان المبشرين لم يختلفوا في اقامة والمبشرين
ايضا ان يقولوا لا تخافوا قولكم في المسيح من احد قولوا ما ان تقولوا
ان علمه ساقب بما سيكون واما ان تقولوا انه ليس له بما سيكون علماً فان
قلتم انه ليس له علم بما سيكون فقد جعلتموه كواحد من بقية الناس ونفيم
عنه الهية وان قلتم انه عالم بما سيكون فقد اجبرتم عليه جحش
لانطيقون دفعاً وذلك انه اختار لنفسه من جملة التلاميذ الذين
كانوا معه وقد تبعوه اثني عشر تلميذاً فكانوا اشد قبولاً للادب الذي
يدفع اليهم فكيف اختار تلميذاً اخذاً لا يسير واسلمه للمقتل ولسم
يفزع من القيامة والديونيه فان كان لم يعلم بشرة او كان قد علم فلم
استخلصه فلعلنا جميعاً ينبغي ان عند ان يكون وقوة الهية
فيرد عليهم ونقا لفران لغاه جازيه على هذا النظام دفعه بعد اخري
وذلك ان الله لما خلق الملائكة لم يخلقهم اشران بل خلقهم اخياراً اجعل
لمر الاستطاعة بان يدوموا على الخير وان ينتقلوا عن الشر لانه
خلقهم طبعه عقليه مسلطه في ذاتها متقلبه كاشاً ولا يشك
في ان ابليس كان من جملة المختارين للرئاسة على الطمات الملائكية

ولما ما عن الحق بأرادته سقط من رتبته ودمار شيطانا ولا خلاف
في ان علم الله سابق بما سيكون منه من قبل ان يخلقه ثم لما خلق آدم
ايضا جعل له الرباسه على جميع المخلوقات لارضيه وامر بما رضيه
ومناه عما يخطئه فلما جفح بايتنا الى ما يخطئ باربه اخرج من
النعم الى ارض الشقوه فلولا ان علم الله سابق بما سيكون منه لما كان
يامره ولا ينهاه والدليل على ان المخلص قد كان عالما بما سيكون من
يهودا قوله لتلاميذه الحق اقول لكم ان واحدا منكم يسلمني لان سابق
علم الله بما سيكون من كل انسان لا يعود احدا لا الى خير ولا الى شر
بل يكون افعاله في هذين النوعين مشيئه وابتاه وغير مافع والدليل
على عظم القوه الالهيه التي في المسيح وكما فيه الذي قد نفعته هاعنه
من اجل خروج يهودا الى الكفر به فانها قد ظهرت في هذا يهودا بعينه
لوقت وذلك انه بعد الكفر به رجع بالندم على فعله وبعد محبتة
للمال والاعمال في جمعة افضل الذي اخذه من اليهود واعاده اليهم
وبعد سلامه للمخلص الى الصلب عماد الى الاقربا للذنب وقال
قد اخطأت اذا سألته دما زكيا ثم حكم على عقله انه ليس مستحق
الفران لان بنه عظيم ويتجاوز مقدارا بعض عنه بالتوبه
لانه

لانه كان يتفرق في عظم جرمه وفي الخيرات التي اسندت اليه بتعليمه
المخلص حتى انه امات نفسه بالينه المدة لظنه انه بذلك يكون
من عقاب الاخرم في يوم الدين وهذا تمام الرد عليهم والجواب لفسر
وقوله لاجابه يهودا مسله وقال لعلنا هو يا معلم قال له انت قلت
المعنا في ذلك ان السيد كان يبتغى على ما هو من مع ان يكون منه
بالاشارة لانه في الاول قال لاني عشرين واحدا منكم يسلمني وكانت
الاشارة اليه ايضا وفي الثاني قال الذي يجعل يده معي في الصفه
هو يسلمني وكانت لاشارة اليه ايضا لان الرب ما كان يشاء ان يوحه
توبيخ الفضيحة بل كان يبتغى بالاشارة فلما قال لعلنا هو يا معلم
قال له انت قلت اي انه يكفيك فضيحتك من نفسك بما انت
تعله يقينا شاو برس ففرق وقال وفي اول يوم من فصح القديس
الي يسوع قائلين اين تريد ان نعدلك لتاكل الفصح اليوم الاول
الذي للفطير وهو يعني اليوم الذي يدجون فيه بالكشايوا الحنين
وقوله ادهبوا الى المدينه الى فلان وقولوا له المعلم يقول لك ان زباني
قد اقرب وعندك اصنع الفصح مع تلاميذي اغر يدي من فصح
قال المدينه هي الحميم وفلان هو ادم والفصح هو المسيح لان من جهة

أمدود ربيته نزل إلى أسفل الجحيم لنجاصهم من أسر الشيطان وقوله
ولما كان لمشا أن كانم الانبياء شرب لميلدا وفيما هم ياكلون قال الحق
أقول لكم ان واحد منكم يسلمني في حق فخر قولي مرثيا الرب اني جيت
على يهودا الانسخر يوطي شوقه فجعل له السبل لعله يتوب ويندم
على ما فعله عليه فذلك لم يظفر عليه القول ليا ليسو خسر جدا لكنه
قال واحد منكم يسلمني امامهم وكانت قلوبهم جميعا مجدا وجعل كل واحد
منهم يقول لانا هو يا معلم واما الرب الحقم الجبل لبشر لم يقولوا صرحا
ان يهودا الذي يسلمني اراد بذلك لعله يندم ويتوب ولكنه قال من
يفترده معي في الصخرة فوسلمني اراد بذلك لعله يندم ويتوب
ولكنه عند استماعه هذا القول اجتشم ولا يفترده معه فلم يجتشم
وغترده معه يوحنا في الذهب يغترق قال لان اقواما يقولون
انه كانت عادت يهودا يمد يده مع الرب قبل كل التلاميذ لعلته حياة
لان هذا كانت عادته فذلك قال سيدنا ان الذي يفترده معي في
الفضاء هو يسلمني وقوله وابن البشر وان كل كتب من اجله الويل لذلك
الانسان الذي يسلم ابن الانسان جيله لولم يولد يوحنا لسان
الذهب يغترق ايضا قال وهذا المعنى كان يدرك يهودا على قبة
فعله بل قد كان يترأى في شرف ولذلك اجاب بقلت حيا وغلظ بليغ
وحد

وحد لا يضبط قايلا لعلنا هو يا معلم قال له انت قلت والمجد لله

✠ **فصل الاصحاح الخامس والستون** ✠

وفيما هم ياكلون اخذ يسوع خبزا وشكر وبارك وكسر واعطاهم لتلاميذه
وقال اخذوا اكلوا هذا هو جسدي ولخداكنا وشكر واعطاهم وقال
اشربوا من هذا لكم لان هذا هو دم العهد الجديد الذي يفرقكم كثير
لمغفرة خطاياكم اقول لكم اني لا اشرب من الان مر عسير هذه الكثرة
الى الكليليم الذي اشربه معكم جديدا في ملكوت الله فنجعوا وخرجوا
الى جبل الزيتون حينئذ قال لهم يسوع كلتم تشكون في هذه الليلة
لانه مكتوب ضربا لراعي فتتفرق خراف الرعيه وادامت شبقتكم
الى الجليل فلجاب بطرس وقال له لو ترك جميعهم فيك لم اشك اننا
قال يسوع الحق اقول لك ان في هذه الليلة قبل ان يصيبك الديك
تتكبرني ثلثه قال له بطرس لو جيت ان اموت معك انكرتك
وهكذا قال جميع التلاميذ حينئذ لما معهم الى قرية تدعى جثمانية
فقال التلاميذ اجلسوا هاهنا لانه في ههناك واخذ بطرس
معه وابنا زبدي وبدا يحزن ويكذب فحينئذ قال لهم ان نفسي حزينة
حتى الموت امكروا هاهنا واسمروا معي وبعد قليلا وخرجوا على وجه

ايضا وقال اية ان كان يستطاع فليغير عن هذا الكاس وليترك اراضي
بكرا اذ تلك وجا الى لتلايد فوجدهم نياما فقال ليطرس اما قد ستر
ان تسهر وامر ساعة ولحده اسهر واوصلوا ليلا تملوا القارب
اما الروح فستبشر واما الجسد فضعيف وايضا ثانياه ومعنى وقال
يا اية ان كان يستطاع ان يعبر عن هذا الكاس حتى اشربها فليترك
مشرتك وجا ايضا فوجدهم نياما لان عيونهم كانت ثقيله فتركهم
ومعنى ايضا يصلي وقال كلمه الاول حينئذ جا الى لتلايد وقال لهم
ناموا الان واسهر يحوا فقد اقتربت الساعة وابن الانسان يسلم
في ايدي الخطاة قوموا انطلق فقد قرب الذي يسلمون التغيير
مقرب القيد المذكور للتبديل الذي في من جده جعن
الفصح القيق الذي كان على السيل الرمز والاشارة بفصح الجلايد
الذي اعطاه لتلايد ليلة الجمعة التي صبيحة ما يكون العيد وذاك
انه نعلم من الرمز والاشارة الى الحق والصدق فقولا لبشر وفيما هم
ياكون اخذ يسوع خبزا وشكروا وكسروا واعطاهم وقال اخذوا
كلوا هذا هو جسدي واخذ كاسا وشكروا واعطاهم وقال اشربوا
من هذا لكم لان هذا هو دم العهد الجديد الذي يهرق عن كثير
لمغفرة الخطايا يعني بذلك ان بني اسرائيل لما كانوا في اسر فرعون
والمصريين

والمصريين وقد استحكم دهر مصر وعظمت شقوقهم اوامر واعلى لسان
موسى ان ياكلوا من لحم خروف لا عيب فيه وان ليله التي ياكلون فيها
ذلك لحم ويخلصون من الاسر والذل ويصيرون احرارا اما الذين
لنفسهم وكان كل اشارة الى سيد المسيح الخروف الذي ليس فيه عيب
الذي يلد صليبه صار الخلاص طريقا مسلوكة لبني البشر لانه بذلك
الذي اقتل دم ودرت به الذي كان يبيعهم في اسرا ليس جنوده وبه
اشترانا نحن من تعبد الخطايا وانما كما في المعاقب والامور العالمية
كما شهد يوحنا المعمدان وقال هذا هو حمل الله الذي رفع خطايا العالم
فلحين جعله جسدا ولحم جعله دمه وذا كان مع الاثني عشر
تلميذا الفصح القيق لكي يكمل سنت العتيقة التي كانت رمزا واشارة
ونسخ ذلك بقصة الذي هو العهد الجديد لانه قال هذا هو دم العهد
الجديد الذي يهرق عن كثير لمغفرة الخطايا اي ان هذا الجسد
ودمي قد سلمته اليكم عهد الجديد الذي يهريق دمه لئلا يكون الامم التي
قبلتها بارادي راضيا في محبة بشر خلاصهم من اسر الشياطين
وتعبد لهم للخطايا وللشياطين ان يقولوا هو الرب الذي وقع به
اختيار المسية على الخبز والخمر وجميع الاصناف فيقال ان ذلك
كان منه لغت انواع الاول ان هذين الصنفين لم يكن اشرف منهما

والثاني ان الجسد حمله مثلاً الجسد واخر جعله مثلاً لادم والثالث
ان هذين الصنفين قوات البشر ومن شرفهما جعلهما للانسان خاصه
لاغدا لغيره والرابع ان المشيما اكل الكافور انما كان يقرب الجسد
والجسد على ما شهد الكتاب ولما مر ان الامر قد تقدم بان يصور الجسد
على ما يدت الرب في قبت الزمان وكان الجسد يشك على القرايين على ما في
الناموس المتين والسبيل ان يقولوا هي الغايه التي قصدها السيد
للناس حتى اعطاهم جسده ودمه وجعلها للاكل والشرب فيقال
انه جعل ذلك لذكره دايمة لادمه وموته عنا ودليل ذلك قول الكتاب
تكونون نصصمون هذا لذكره لانه قد قصده ايضا عذبت
انواع الاول انه عوض الناس عن لحم الحيوان ودمها التي كانت
تقرب في سنت الفتيقه بجسده ودمه المقترن بها عقران
الخطايا والثاني يعلمنا كثر محبته لبني البشر حتى انه شفك
دمه بارادته فديه لهم والثالث ليكما اذا نحن تناولنا القربان
المقدس اتحد جسده باجسادنا ودمه بدمائنا وحينئذ يتطهر به
من جميع الاذناس والاثام ونصيرك لأعضاء وهو كالراش لنا ثم يشتر
به وبنسبه عقولنا ونعوي على تيممه الشهوات لان قوله هذا هو
جسدي هذا هو دمي ولم يقول هذا هو جسدي وهذا مثلاً لدمي
ليعلمنا

ليعلمنا ان قوته الالهيه قد احلها على ذلك الجسد والجسد لئلا يكون نظراً
للقربان بعين العقول والنقص أو تنوهم بانه امر ساج بل يكون اذا
دونا منه ولقدنا نعتقد انه اتحد بنا على الحقيقة ونؤمن بالحقيقه اننا
قد عايننا المسيح ثم مثل سر بيحه الصليب في قلوبنا ونصب عيننا كما قد صح
نذكر في نبوته اذا قال انت بدم ميثاقك اطلعت الاشاري من كعب
الذي لما فيه فادم وسله الذين يقبلون على نفوسهم هم فولي الذين قال
عنهم انه بدم ميثاقه خلصوا من الاسره وانطلقوا من الحب الذي لما فيه
والسبيل ان يقولوا هو السبب في تقديم السيد الفصح القدير على فصح
الجدي الذي هو جسده ودمه لانه اطعم التلاميذ الفصح الناموسى ولا
وفيما بعد اطعمهم العمد الجدي الذي هو فصح المعدين فيقال لانه اراد
بذلك ان يتم ولجب لسنه الفتيقه حتى يقال انه ضلاد لنا موسى اليه
وحيث يتضح بالسنه الجديك لان الاشيا التي بها نكل الاورهي التي
يكون الاعتماد على حشما والطريق التي يشك فيها كل ذي عقل راجح
مستقيم والسبيل ان يقولوا هو السبب الذي به صرنا نحن لا نعتقد ان ننسول
القران المقدس بعد ان تناول شيا قبله والمضموم انه قد اطعم تلاميذه
الفصح المتين ولا وبعد ذلك اعطاهم جسده ودمه وأمرهم ان
يتناولوهما فيقال ان السيد لم يعط لتلاميذه جسده ودمه من بعد الاكل

الذي به يكون الغدا لكن اعطاهم من بعد لكل الفصح القيق الذي
هو محسوب من جملة الفخايا المقرية لله ولما كان ذلك قد بطل حكمه فابقا
بحسن لنا ان نقدر على تناولنا القران شيئا من لما اكل ولا شيئا من المشارب
لان الشئ الذي بعدنا من الحق واخرجنا من الغزو قد ما هو الاكل فينبغي
لنا ان نجعل من اكلنا وبين القران مسافة ليلا ولحده وما يرينه عنهما حتى
ان القران لا يدنو من الطعام البتة والسائل ان يقول هل اكل سيدنا من
جشده وشربه من حمة عندها اعطاهما لتلاميذه فيقال لانه اكل وشرب منه
والدليل على ذلك قول الكتاب انه قال لتلاميذه شربوا واشبعوا من اكل
مكم فحي قبل الاني فاني اقول لكم ايضا لا اكل منه حتى يكم في ملكوت الله شرب
تناول كما شربوا وشكروا وقالوا له انتم اقول لكم اني لا اشرب
من الان هذه الكرمه حتى تاتي ملكوت الله وذلك ان جميع ما اوصى به اجس
البشرى ابتداء هو باسئنا له اولا فمزلت الحاد والصور والادكان غير
محتاج الى شئ منهما وانما كان يفعل ذلك ليعبر المؤمنين به وهكذا فعل
عند اعطاه جشده وحمة فانه لم يأكل منه لما استوا القوم منه ولا
كانوا يتجاسرون على استمالة وهكذا قال يوحنا وافر امره بخبر الجاه الموهوب
للعالم بل الملايكة حسب كل امانة ذكر في شيد الملايكة وسيل السائل ويقول
ايضا ما هي الالفاظ التي بارك بها سيدنا الخبز الذي اعطاه لتلاميذه
فيقال

فيقال لان الالفاظ غير مكتوبه شيئا ان بركة رفعت للجنة التي حلت منذ
اول الدهر وحملت فيه قوة تغفر الخطايا والسائل ان يقول هل صار الخبز
والخمر لهما ودعا على الحقيقة أم قال السيد هذا القول على سبيل المجاز واستعنا
في اللفظ فيقال انها صار لهما ودعا على الحقيقة وهكذا القران التي ترفع
الان على المذبح يحمل عليها القوة الالهية وتغسلها من جبال الخبز والخمر الى
حال المحر والذوق وكما تخلص من الهيولي وقد حصلت نفوسنا في
العالم الاخر لشاهدنا بعين العقل التي في كالميان ولما نبعثنا من ذلك
تعلقنا بالهيولي التي في الامور الجسدية والسائل ان يقول ان السيد اخذ
خبزا وشكروا وشربوا فاهو المعنا في شكرها فاهنا فيقال لانه اراد بذلك
سيرت التواضع وانما ضا نحن ايضا على ان نكون في جميع نقصا فاستنا
نلبي الى الله عز وجل ذكره ولا يكون قصدا لغيرة والسائل ان يقول ما
معنا قوله عز حمة انه عهد جديد فيقال لانه اراد بذلك اشعار التلاميذ
باطبال دم الحيوان الذي كان يحرق بالقران على مقتضى سنت القيق
لان بدمه المحروق على الصليب خلصت بنوا البشر من الظلمة وصاروا في
النور كما ان بدم الدبiche المدبحة بمصر المرشوش على الابواب
تخلصت الامة الاسرائيلية من اسر فرعون والمصريين فاراد بقوله

العهد الجديد ليعلمنا النقاوة الذي يرحم الزكي ويرحم الحيوان العاقد
النطق وقوله اقول لكم اني لا اشرب من الان من عصير هذه الكوة الى ذلك
اليوم الذي اشربه معكم جديدا في ملكوت ابي فبتصكروا وخرجوا الى جبل
الزيتون يدلنا بذلك لقول علي قريته وقيل مقامه بين الاموات وعرة
عودته الى الامية ومع قوله اشرب معكم في ملكوت ابي ان هذا
كان فعلا كديما مستغنيا انه بعد قيامته من بين الاموات صا غير مائة ولا
مثاله ولا متغير ولا يحتاج تناول طعام ولا شرب اذ كانت جميع الاجسام
البشرية بعد لقيامته لا يحتاجون الى اكل ولا شرب وهذا من صفات اهل
اما اكل وشرب من بعد انبعاثه ليحقق للتلاميذ انه هو ذاك الذي لا يورث
صلب وقبر وهو فعينه قام الاموات فلهذا السبب كل بعد انبعاثه
وشرب الخ التلاميذ لم يلب ذلك لشك من نفوس الذين يعمون في الشكوك
لانه لما قام ونظر لجسده لا يشرب نهابا بل بمجلد النور الذي هو نور
لاهوتية ظنوا انه روح بلا جسد فاراد ان يثبت لهم انه قام بجسده الحقيقي
كما كان قبل صلبه من اجل هذا ايضا اثنى اثار المسامير والطعنات على جوفه
ليشاهدكم كل من شك حتى ان ثوبا لما شكوا فيه وضع الطعنه
وموضع المسامير لينهض بذلك للتلاميذ في الدعوه ببشارته ويقوي
نفوسهم بتحقق قيامته ومع قوله في ملكوت ابي يعني بذلك لقيامته
التي

التي هو فلتحتها ونامها وذلك ان شرفت التوراة كانت طفلة ولم يكن
فيها شيئا كاملا ولا نابضا وانما كانت على صورت المثلث او الاشارة فكما كان
دبح الخراف الذي شرفه على اشكعات الابواب الذي لني اثنى ايسل العظم
من الافان التي نزلت بابا مصر وخرجوا هم ونفوسهم عن عبودية فرعون
والمصريين لانهم ليعوا في البرية افان كثير حتى ماتوا جميعهم ولم
يدخلوا ارض الميعاد فكان الخراف اشارة عن السيد المسيح وشرفه
على اشكعات الابواب اشارة عن القربان الذي يتناولوه المومنين بشفاهم
وعن اثنى ايسل من عبودية فرعون والمصريين اشارة عن عق ادم
ورثته من اسرائيل وشياطينه والتعبد للخطايا وارض الموعد التي
وعدها لها وان تكون راحتهم فيها اشارة عن ملكوت السموات التي
وعدها للمسيح المومنين بها وذلك ان فصحا نحن قومون المسيح الذي
نجونا من الشياطين وننجوا من اهلنا الموت واهلنا للقيامه ووعدها
بالنقله الى ملكوت السموات والبراه من الادم والتغير والمتوي مع
المسيح في احياء الدائمة فعبادنا الان امور الحقيقة كانت اشارات
تشاكل الاطفال بعيد من الامور المصادقة للصحة وان الحديثه
هي الكماله التي ليس ينقصها شيء من وجهته لاله ومعنى يتبعهم بعد
تناولهم العهد الجديد وقبل خروجهم الى جبل الزيتون يدلنا ذلك انه

لا ينبغي لنا ان نفتخر بذكر الله تبارك اسمه في كل حال وان نكون من بعد
تساولنا القرآن نسبح الله قلوب نقيه وهكدي يحجب علينا بعد تناول
الطعام وكذلك قبل ان يلتقي الشدايد وقبل انشئنا الناس مكان الى غير
لان تبيخ الله وشكره يزيل من القلب كل خوف ردي ويثبت فيه كل
خشية صالحة والسائل ان يقول ما هو السبب في خروجه من ابي جبل
الزيتون في ذلك الوقت فيقال الله اراد بذلك عدت انواع الاول الله
اراد ان يصون اهل المنزل الذي عمل فيه الفصح بشر الجند والشرط
الذي يحضرهم يهودا من عند رؤساء الكهنة ومساخا الشعب الذي لليهود
والثاني انه اراد بذلك عدت ان يكون في موضع محصور حتى يعلم
انه لو اراد الحرب لما كان له مانع من ذلك والثالث انه لو اراد شهر
نفسه في موضع كسوف لا يمكن لحدان يستتر فيه والرابع لاجل ان يهودا
كان يعرف الموضع بحكم ان السيد كان يعلم فيه ويتردا اليه وهناك ان
سبب خروجه الى جبل الزيتون في ذلك الوقت انه لو بقي مقيما ببيت
وحد اليهود والاعداء لكانه اني الى الموت بارادة وانه لم يشا او صلبه
وللسائل ان يقول ان يوحنا يقول في شهادته وان السيد قام عن
العشاء وترك ثيابه وشده وخطه عند بل في طهره وبدا يغسل
اقدام التلاميذ وشغفهم بمنديل كان من رايه وبدا يعلمهم تعاليم كثيرة
ويوصيهم

الاجا

ويوصيهم وصايا عظيمة وليس في المشرين من ذكر ذلك شعور فيقال
ان الاعمال التي علمها السيد تذكرو جميعها في الانجيل لان الكتاب يقول
وقال يسوع هذا وأمر اخر كثير لو انما كتبت ولحد واحد لظننت
ان العالم لم يشعرا صحفا مكتوبة ودا ان يوحنا انفرد عن المشرين
بهذا القول كما قد انفرد عن المشرين بغيره مثل العجوبة غانا الحليل وشمل
العجوبة العازر ميت عيا ومثل العجوبة المولود انما وقصة نيقوديموس
وقصة السامرة وغير ذلك وثلاثة المشرين ايضا ما منهم الا من
قد انفرد بقول لم يذكره ايضا سواة والذي قاله جميعهم هو حق لا خلاف
فيه وكان قصدت المشرين ان يوردوا في الانجيل ان السيد اكل
الفصح الناموس ونسخته بفصح الذي هو جسده ودمه والقوا ذكر
ذكر ما كان بعد ذلك من غسل ارجل التلاميذ والتعاليم الذي وصاهم
بها لتعلمهم ان يوحنا لا بد له من ذكر ذلك للسائل ان يقول ما هو
السبب الذي دعا السيد الى غسل ارجل التلاميذ فيقال ان هذا الامر
كان منه نوعين الاول انه اراد بذلك ان يشك في طريقه لا تصاع
الي النهاية القصوى حتى انه غسل ارجل تلاميذه وشغفهم بالمنديل
الذي كان من رايه لكي تكون جميع المؤمنين به لا يرفعون نفوسهم عن
هو ونحو في اعداء المنزل بل تكون الملوكة متواضعين مع عبايهم والاعضا

من

تواضعين مع الفقراء المساكين والمعلمين وتواضعين مع رعاياهم المتعلمين
 ودان ان السيد كان يعلم وليس يعلمه بالقول فقط بل كان بالقول والفعل
 لان كونه صديقه اوفى بها الناس ابتداءً بها اشتغالها اولاً حتى انه جعل القول
 والفعل شيئاً واحداً لكي تذكر الناس هذا الفعل الذي فعله السيد لكل
 فلا تشككون من احتمال التواضع له هو تحت من لا تعرفه ودليل ذلك قوله
 لللاميذ انتم تدعوني رابعاً ومعلماً وما احسن ما تقولون لاني كذلك فان
 كنت انا معلمكم وبكم قد غشيت احلهم قبل انتم اخري ان يغسل بعضكم
 اجال بعض وانما اعطيتكم هذا مثلاً لاني كما صنعت انابكم تصنعون انتم
 ايضاً والثاني انه اراد يغسل الرجلين خاصة لاجل انها لابن الانسان
 فيكسبها بالانحياز لغرضها من الارض يعلمنا بذلك ان كل انسان يجعل غاية
 اهتمامه بالارضيات ويحرم على الاشياء كما ويعتبط بذلك هذا العالم
 وشبهه لانه لا يمكنه ذلك ان يكون نقياً من او سائح الخطايا فان هو اقبل
 راجعاً الى توبة نصوح وبعد عما هو لارضيات وعمل اعمال الوصايا
 وجعل اعتماده على تعليم الابا الذي به يقطع علائف الشهوات العالمية
 الباطلة فهو يصل الى الطريقة المستقيمة التي تؤدي الى الملكوت السماوية
 والحياة الابدية فكما ان الرجلين لا يمكنهما انصافتهما مع قرينهما من الارض
 كذلك الانسان لا يمكن نقاوته من الخطايا مع قرينه من الارض كذلك الانسان
 وقلبه

الرجاء

قلبه في الشهوات العالمية وكما ان بالما تنتظف الرجلان من او سائح الارض
 كذلك بالروح ينتظف الانسان من نجاسات الخطية وكما ان الرجلين اذا
 غسلهما الانسان بالما قرينهما من الارض يغتسلون في كبريئتهما الاولى سائح
 الارضية لوقتهما ان يكون ثوب ذلك الانسان باطلاً كذلك الانسان اذا
 تاب من حيث انه لا يصغر بتعاليم الابا وعظمته حتى يقطع علائف الشهوات
 العالمية فهو يرجع الى ما كان عليه اولاً كما حاله وجنيده فهو الى الله متوجه
 ونجاساته وقوله جديده قال المربوع كما تشكون في هذه الليلة لانه
 مكتوب بضرب الراعي فتتفرق خراف الرعية وادامت شبعتم الى التجليل
 اراد بهذا القول انه يود ان لا يبعد علمي انه في تلك الليلة يقبض عليه
 ويشعره بان الله علمه سابقاً له لكي حتى اخر ادا شاهدوا القضية لا يضعفون
 اعتقادهم فيه ويعلموا ان هذا الامور ادا جرت هي كايده عن علمه وعن مشيئه
 ومن اجلها اتى في العالم ثمراته ايضا من ضعف قوت التلاميذ في ذلك الوقت
 وقلت صبرهم على الشدايد لكونهم لم يبلغوا الى حد الكمال لا فيهم ما كانوا الا
 بعد قيامه السيد وصعوده وحلول الروح القدس عليهم بعد الفصح
 ومن ذلك الوقت استلموا انفسهم للقتل بسببه وعلى اسمه احصلوا اليهم
 الشاهد بشيخهم من كتاب زكريا النبي يعلمهم ان النبوة قد شبت
 وانهم بتغير بغيره عنه فالراعي الذي ذكره النبي هو السيد والفصح

ارادهم تلاميذه اى ان السيد اذا قبض عليه يهرب تلاميذه عنه وارا بقوله
ادامت سيقتم الى الجليل ان يتجمع قلوبا لتلاميذه لئلا يستعكم الشك
فيهم عندا يشاهدون صلبه وموته فاعلمهم انه بعد موته سيقوم وشر
يسبقهم الى الجليل لعله انهم بعد موتهم يهربون الى الجليل خوفا من اليهود
وقوله فاجاب بطرس وقال لكوشك جميعهم فيك لمراسلك انا قال له
يسوع الحق اقول لك ان في هذه الليلة قبل ان يصيح الديك تنكرني
ثلاثه قال له بطرس له ليجيئنا موت معك ما انكرتك وهكذا قال جميع
التلاميذ المغمومون ان بطرس كان رجلا شجاعا وكان مع ذلك كثير الحب
للسيد فمن يقينه بشجاعته وعظم محبته لم يوافق السيد على قوله ان كل من
تسكن في هذه الليلة وحده على كبرياه وعظمه نفسه ولم يضع ويسال
الرب ان يحفظه ويعينه على التجارب وحكمه من الاشوك بل انه اقتصر
على اخوته وقال لوشكوا جميعهم فيك انا لمراسلك فمن هاهنا استحق
من التمدان يريه ضعفه ويعرفه انه يغير معونه الالهية لا يقدر على اتمام
ما قد افهمه في نفسه فقال له ان في هذه الليلة قبل ان يصيح الديك
تنكرني ثلاثه اى ان هذا الامر الذي اقول لك ليس بعيدا فلما سمع بطرس
هذا القول ايضا منه لم يوفيه ولا رجع من محبت نفسه وقال لولجيت
ان اموت معك انكرتك وهكذا قال ليقين لتلاميذه موافقه له بنيات
صداقه

صداقه فحينئذ يخلا الرب عنهم ليرى بمرسل قد تضرعوا وقلت قوتهم وما
الغرض في ذلك الامر اجل بطرس وعظمته واقتضاه على التلاميذ وكان
ذلك لثنتين الاول ان بطرس كان رئيسا على السواكن وكان خلقا
يقنعني انه اذا راعاه من المؤمنين ينزل بهم القويه اذا اذنبوا فاهله
السيد لكي يحق عندك ضعف البشره حتى انه اذا سجد ورجع بالتوبه
والندم على فعله ثم زال بعد ذلك مغفرت جرمه وداق طمر لذت المغفرت
والضعف ففعله ذلك على الرحه لمن يتوب بعد المعصيه من رعيته فيفعل
فيهم كما ندم وفعله اى انه كما ضعف عنه عند توبته وندمه على فعله وندبه
كذلك يصغى هو ايضا عن يديه اذ ما هو ندم وتوبه والثاني انه اراد هو
ببطرس ان يسلك طريق الانضاع ولا يفت بنفسه دون المغفرت
الالهية لكي تستشير التلاميذ بيسرته ومن يتبعهم من المؤمنين وداك
انه لما اظهر العظمه والاقتضار بصدق يديه من اجل ثقته بنفسه عليه
وكرت محبته وللسيد ولم يدع ان يوافق السيد على قوله ومن هاهنا
تتخلعا عنه ثم حتى انهم تركوه وقرعوا عنه اقادا لذات النبوه وحينئذ
عرفوا ضعفهم وانه ليس لقوته ولا قدرته دون عنايه الله بهم وللسايل
ان يقول ان لو اقول في بشارته ان الرب في كل لوقت قال لبطرس
سمعان سمعان هوذا الشيطان يسال ان يفر بك مثل الحنطة وانا اطلب

من اجلك لئلا تنقص ايمانك وانت فارجع وتب اخوك فلا يميني
قال له هذا القول فيقال ان الرب قد كان عاماً بصدق نيت التلاميذ
وكثر مجتهد فيه فبه بطرس لانه راى سمهم وبذرهم لكي يقطعهم ان
لا يزلوا فيتمتعوا في فخاخ الشيطان لكونه لما سمع السيد يقول لهم
كلكم تشكون في هذه الليلة ظنهم انهم قد نظروا السيد المسيح بعين
النفوس والبحر واخبر سيخرون به الشوكا قد فعل هوذا من اجل طمسه
الفاشد كان يستغفرون ويطلع في اخر افعم عنه وقد عذبه افعم كالا حراً
معه فكان يطلب من الله ان يحليه واياهم خزيهم منكم لكونه لا يقدر
ان يتبلى احد من الناس ولا نوع عام انواع البشايه حتى يطاوله ذلك من
الله والليل على ذلك لانه لما كان ايوته لصديق مشكور اعند الله
سأل الشيطان في تمكيه منه ليعتبه بحريه فاطاوله ذلك فابتلاه
بتلك البلاء المسطوره في قصته فقصير لها ولم يزل ان يرعاه عن محبت
الله وهكذا لما اراد ان يدخل في الخنازير التي كانت باوت البحر حين
سأل الرب ان يطاوله ذلك فاطاوله ذلك فدخل فيهم فحينئذ افعموا
في البحر واخستقوا وهلك جميعهم والسبب الذي من اجله قال بطرس
خاصه اني طلبت من اجلك لئلا تنقص ايمانك لان بطرس افتر على
التلاميذ وقال لو شك جميعهم فيك لما شك انا فقال له السيد
ان

ان في هذه الليلة قبل ان يصيح الديك تنكرني ثلاثة من اجل ان السيد
قد سبق في علمه انه بعد مجرده لا يقطع الرجال الصفيح والوجه وشوق
يذم ويتوب توبه نصوحاً بحرقه قلبه عزاه بهذا القول لكونه بعد مجرده
لا يقطع الرجال ففعل هوذا الذي استمر من تحت سيده ولم يتوب اليه
ولا طلب رحمة وكان قصد الرب في تقوية نفس بطرس لكي يكون
معزياً للتلاميذ في حزنهم وشكرهم في يوم الجمعة والست الذي كان فيها
التمام والاقامة في القبر وقوله حينئذ جامعهم الى قريه تدعى اجثمانيه
فقال للتلاميذ اجلسوا هاهنا لافني اهل ههنا واخذ بطرس معه وابنا
وانباريدي وبدا يحكون ويكتب تقييد قال لهم ان نفسي حريه حتى الموت
امكنوا هاهنا واسمروا معي وبعد قليل خرجوا من وجهه يصلي وقال اياي
ان كان يستطيع فليعب عن هذا الكاس وليس كرادني ولكن كرادكم
ومن اجل هذا القول يسأل السائل ويقول ان متى يقول ان السيد اعطى
تلاميذه العهد الجديد شعبوا وخرجوا الى جبل الزيتون ثم بعد ذلك افسر
انطلقوا الى قريه تدعى اجثمانيه ويرجع يقول افسر انطلقوا من جبل الزيتون
الي موضع يدعاه جدمان ولوقا يقول انه خرج مع تلاميذه الى عين عسره
واذ في الارز كان هناك بستان دخله مع تلاميذه وكان هناك بستان
دخله مع تلاميذه وكان هوذا الذي اسمه يعرف ذلك الموضع وهذا خلاص

بين البشرين لأن أقوالهم لم تتفق على الموضع الذي كانوا فيه فيقال إن
السيد لما أخرج من المدينة ومعه تلاميذه أقوالا إلى جبل الزيتون كما قال
متى ومقصود لوقا وبعد هذا أن لو أن الجبل إلى الوادي الذي تحته المرفأ
بوادي الأرض فكان على جانب الوادي قرية تدعى جثمانية وهي بقعة عبرانية
وكان لجانبا لأخر لبستان وكان لما في ذلك الزمان جارا من القرية
وبين لبستان وعبر وعرو وادي لأرض الموضع الذي يعبر منه الجانب
الوحداني الجانب الآخر ومع هذا يشقط الخلاق الذي يتوهم به علي
المبشرين والمعاني في قول السيد للتلاميذ اجلسوا هاهنا لا معنى
أصل ههنا أن لخد بطريرقه وابتاز بدي حشبت لأن هؤلاء الثلاثة كانوا
في درجة النعمة على بقيت التلاميذ مرج لك الله لما أحيأ ابنت
الرب لم يدخل إليها من التلاميذ سوى هؤلاء الثلاثة كما شهد
مرفص ولوقا وكذلك لجل على طوبى بؤ لم يأخذ معه أيضا سواهم
حتى عافوا مجازة وسمعوا صوت الرب يشهد له وعافوا الأنبياء معه
ولجل هذا لم يحشأ عليهم لتغيير عنده مشاهدته وهو يصلي ويحزن
ويكتب ويطلب الاستغفار شرب كأس الموت فاما تركه بقيت لتلاميذ
جلوسا ولم يستحبهم معه فكان ذلك رضا عليهم من لتغيير ليل
ينظرون بعين العجز والنقص إذا ما هم شاهدوا يحزن ويطلب
الاستغفار

الاستغفار شرب كأس الموت فتسكن رحمة محبتهم له ولا بد أن يشك
السائل ويقول هل كان هذا الجرح وهذه الكابة وهذا الاستغفار شرب
كأس الموت الذي قد اظهر السيد على حكم التحقيق وكان على تيميل المجازة
والاستغفار فيقال إن المفسوم عن المبيد له لم يتجدا بشرية . إلا
ليصلي موت عن خلاص البشر وبيان ذلك من قوله انا هو الراعي الصالح
والراعي الصالح يبذل نفسه عن خرافة ومن قوله أيضا للشموع
افقوا هذا الهيكل وأنا اقيمته في ثلاثة أيام وكان يعني بالهيكل
عن جسده ومن قوله هذا الجيل لا يعطي الله الآية فإنا النبي ومن
قوله انا البعث والحياة ومن قوله ان حببت الحنطة ان ترفع في الأرض
وتمت بقيت وحدها وان هي ماتت انتنت ثمار كثيرة ومن قوله لتلاميذ
ان ابن الانسان يولد كثيرا ويرذل من المشيخه وروعا الكهنة والكبة
ويقتلونه ويقوم في اليوم الثالث وعاشية كان يقول هذا فامسكه
بطرس وجعل لمنعة فزجره الرب وقال له اذهب عن يا شيطان انه نكسر
تفكر فيما لله لكن قويا للناس فمن هذا القول ومثله علمنا انه بارادته
اتي إلى الموت والصليب ليكمل تديروا الذي في من أجله فالذي اظهر
من الحزن والصلاة المتواترة والجرح كان على حكم الحقيقة لأعلى بيل

الاستعارة والمجاز لأن الفصل كان بذلك عدت أنواع الأولى منها أن
الله خالق الملائكة والرواسي السما للتيق والقدرة وبلغا دمية
وكان إبليس ريشا كبيرا في السما من جلستهم فلما تصدق طوفان لآتياءه عن
الحق ونظر على باريه وخرج عن كحل المستور له سقط من رياسته ونزل
من السما إلى الأرض ونظر أنه يكون فيها بلا ريش بر وتر عليهم فحينئذ
خلق الله آدم تكتيلا له وجعله ريشا على الأرض وما عليها فلما شاهد
إبليس أنشد غيرته وحسده على الرياسة على نفسه لغدوه وتحقق
عنده أنه بآدات الله يصير إلى المرتبة النهائية التي قد دخلت منه ومن
شياطينة الذين وافقوه على رايه الفاسد ومن ذلك الوقت بدأ يستعمل
حكمته الشريرة في خداعة آدم وحوي وكيله في إطفاءه إلى أن يخرجهم من
طاعت باريه فاحتفى في جثم الحية وجعلها الله للخلاع ونظاها
لحوي بالصيحة المملوءة غشا حتى إذا أكلت من ثمرت الشجرة التي نها
الله عن الأكل منها ثم اضطاد آدم فاكل معها فاستعما أن يتخلا الله
عنهما ويتكلم في أنشدهما الذي هو إبليس وحينئذ ملك إبليس القلب
على آدم واستعبده وجعله تحت رياسته وما صار آدم مخلوقه لوصيت
باريه عبد إبليس لخدمته الرياسة وحينئذ صارت الأرض وما عليها
تحت رياسة إبليس كما كانت ولا تحت رياسة آدم ومها هنا استولى
علي

على آدم وذريته جلا عاجل وكل من يوت يفاقه على خطاياه التي اجتريها
في العالم فيسبب نفسه إلى الجحيم وحينئذ افتخر حكمته الشريرة وادعأ
القلب على حكمته الله ولما كان عدل الله يقتضي أن لا يخلص آدم وذريته
من إبليس بهذه القالبه وسلطانه القاهر احسن التدبير في خلاصهم
بالشر الذي يفوق حكمه للحكم وعقول بلغا والعلماء كما قال الكتاب هكذا
احب الله العالم حتى أنه أسلم ابنه الوحيد عن خلاص وحيات العالم فالشيطان
نزل إلى الأرض من اجل العظمة والكبرياء وابن الله نزل إلى الأرض من اجل
المسكنه والتواضع الشيطان لما نظر آدم في الرياسة والمنعم صا فاستيا
عليه وابن الله لما نظره في الاسر والموان حده وشقو عليه حتى أنه فداه
بنفسه الشيطان استتر في جثم الحية حتى أطاع آدم واسره وجمع ذريته
وبن الله استتر في جثم آدم والخفا شر لاهوته عن الشيطان حتى خلاص
الناس أجمع من شره فلحكمه الشريرة التي افتخر بها إبليس أبطلها ابن
الله بحكمته الصالحة التي هي التواضع والهدم والخم إلى الذي لا اله الا الله
خلاص البشر من شر الشيطان نزل من السما وتجسد من روح القدس
ومن مريم العذراء بجسد آدمي ونفوس عاقله ناطقة تائسا حقيقيا
وفعل جميع افعال البشر محلا الخطية لكي يخفي لاهوته عن إبليس حتى
أنه يحكم بغيرهم الناس الذين في اسره وتحت رياسته وسلطانه

ويقوم معه كاعتماده معتمراً فكان السيد لا يعمل معجزة من الآيات المشطورة
 في الجيلة المفلتة من يده بل يثبت منه ويصدق فيه انه ابن الله بحقيقته لانه
 قد سمع الصوت يشهد له من السماء فتبين الاول في بحر الاردن والثاني
 على جبل تabor فيعقب سيدنا تلك المعجزة التي يصنعها بفعل بشري اما
 صلاه واما بكاء او طلبه من الله او اظهار تقى وجوع او نوم او شيء يشبه
 ذلك من الافعال البشرية وحيداً لما يمان الميسر شيان في هذا الافعال
 البشرية يطعم فيه ويكذب للراي الذي قد تحققت اولاً انه ابن الله فيعود
 اليه في طمع الرباسه عليه ويقول لولا ان هذا انسان سادح لبقية الناس
 الذين تحت سلطانهم لما نحي ان يفعل هذا الافعال مثل الصيام والصلاه
 والنصر الى الله ثم ايضا انه يفعل كافعال البشر وذلك انه يجمع في
 ونيام ويكلم وهذا الانفعالات لا يمكن قهرها من الاله ومن هذا ينبغي ان
 حكمته الشريفة وتخير في هذا الامر المتناقضه والامور المتباينه ثم غلب
 عليه الطمع فيه حتى انه نظره بعين الجور والنفس حينئذ متوسل كملت
 اليهود وشعبهم انه قد حل الناموس وحضر شنت الله وقد تبعه
 جماعه كثير من اليهود وان تادت الحما على ياهي عليه تبعته الامه
 كلها ولم يجدون عليه حجه اعظم من تلك التي اولى ان هذا قد اذاع علينا
 الملك ونحن في لنا ملك غير قصير ثم دخل في يهودا ايضا حتى اسلمه اليهم
 ولما

ولما احكم هذا الامر على هذا النظام امسكت اليهود وانشقوا الى سلاطين
 وحكموا عليه بموت الصليب ولما كان ادم مستحقاً بان يموت مصلوباً بموت
 ادم خلاصه للوصية وخرج عن ابراهيم ودخل تحت طاعة بليس
 وبانثته وصار قاتلاً لانه قضيت اعدا نفسه الموت واللايه جميعاً في
 السيدان ففعل ادم وذريته وحكما عشر ما كان واجبا على ابيهم
 ادم من الدل والمهلكه وموت الصليب فاسلم نفسه له لك جميعه بارادته
 واجب لنفسه موت الصليب حتى يقضي ما يجب على ادم ويحور ايضا بذلك
 حكمت بليس الشريفة ثم جعل لنا بذلك السبل الى السلك فيما قد قضيه
 لجلالته من اجل اسمه الكريم فالذي هو اني من اني على غير ابتداء قبل جميع
 الالام بحسده الذي يتخذه من عنصر ادم حتى خلص صنت يديه التي
 اخرجها من اعداء الى اليهود من اسرائيلين ويهود تير الخطايا ولما وصل
 الى النهايه والاراد ان يسلم الروح قصداً بليس ان يقبض عليه ويخذل نفسه
 كما كان يفعل نفوس الناس من ادم الى ذلك الوقت وذلك انه كان عند
 خروج كل نفس من جسدها ياتي اليها ويبت ما له فيها من الخطايا التي
 كانت اطاعتها فيها وحينئذ يصبطها الى الحيمر وهذا الهبط نفس اماره
 وجميع الدايه الى الحيمر والسيد يتبأنسه لما اخفى سره لاهوته عن البليين
 وبما يفعله من الافعال البشرية فقط اعليه الله الاله وظن انه انساناً

تحتاج فلما أحضر ليقبض على نفسه كما دت مع البشر فلم يجد عليه خطيئة
يحتاج بها عليه ولهذا يقول الكتاب أن يكون هذا العالم يأتي وليس له في
شيء من السائل هاهنا ويقولنا هو السبب الذي دعى به البشر أن يكون العالم
فيقال أن الله لما خلق آدم جعل له راشت العالم فلما اجتمع إلى طاعت
البشر وترك بآية استعبد الشيطان وأخذ ياشته ومن هاهنا دعى أن يكون
العالم ولما لم يجد البشر على السيد خطيئة يحجب بها كما قد تقدم القول بديان
كشوق السيد عنه القطا ليريه قدرته وعظمته فزاي قوا السامين مرتجة
حول لصليب المقدس ثم راي الأرض تزلزلت والقبور تفتحت والشمس قد
كنفت والموتى من قبورهم قد قاموا وحجاب الهيكل قد انشق فحينئذ هو
تحقق أنه ابن الله لأعماله فورد الرب الحكم عليه وقبض عليه بقوت لهوثة
وطالبه بديانة موته ثم صور له جميع أعماله التي عملها معه وجعلها مشخصة
قد له فلما استأذنه عليه الأمر وصار يستعبد لتبها بآمنه وبه بالأمر الإلهي ثم
أنه استعظم لديه وقال أن السما وأرضها والأرض وأهلها لا يقومون
بقدر قيام ابن الله بين يدي بلا طس طرفه عين لا سيما ما كان قبله وبعد
فقال أن الله عالم ياتي في أملاك شاسعة نفوس البشر فان رضي عن الله
أن يأخذها في دينه فيكون قد فرج عن هذه الكربة ولما علم السيد بعكته
خفف عنه الغيب لكي يكون قيامه بالدينه عن رضا اختياره فيسأل رفع
الغيب

الغيب عنه ويقوم بالدينه بجميع ما يملكه من الناس الذين قد صارت نفوسهم
في آفة فعل الله وأطه وأخذ منه نفوس جميع الناس المأسورين معه وحت
سلطان الله فلو كان الرب الذي خلص آدم ودينه من أسر الشياطين مخلصهم
بقوته الغالبة لما كان في ذلك عجب وكانت الفضيلة فيه غير مدوحه ولا
محمده وإنما الفضيلة المدوحه في هذه الغلبة التي على هذا الوجه
المستعجب المستغرب فالذي كان السيد يظن من الصلاة والفتوى والحر
والاستغفار شرب كأس الموت لكي يخفي عن البشر لهوثة وجهي الحكم
الديين الذي آتي من أجله والنوع الثاني أن الجوع الذي أظهره السيد
وتواثر الصلاة وغير ذلك قبل الاستغفار شرب كأس الموت إنما أراد به
نفع الناس والافتقار قادر أن لا يصلي ولا يجوع ولا يستغفر من
شرب كأس الموت وذلك أن قوله للتلاميذ وجميع المؤمنين به لا تخافوا
من قتل الجسد والمفاتيح عن التلاميذ والشهداء الذين قبلوا في محبة
وعلى الأقارب ربوبيته انهم كانوا يقعدوا على الميتات المختلفة أنوعها
بالخيفة والجرع بل انهم بالفرح والشوق كانوا يقعدون وإنما كان
القصد ليحقق بآمنه للتلاميذ ولما ياتي بعدهم من المؤمنين ليلاد يظنوا
أن القوم كان على حكم الخيال كما ظن يائي ورفيقون وأشيا عنهم أن يعملوا
على ايقين أن لاهه كان حقا وبالخاصه ان سرعته القيامة كانت تكاد أن

تدعوا الي مثل هذا التوب لو لما اظهروا من الجوع المحقق لتاسفه والموت
الثالث انه كان يصلي ليس له محتاج الي الصلاه وكان يستغفر من شرب
كاس الموت ليس له كان غير قادر على دفعه عنه بل الله اراد ايضا ان يعلم
التلاميذ ومن في بعدهم من المؤمنين انه توبوا انتم شركه وكادوا يقيمون
منها في الموت يستغفرون بالصلاه المتواتره ويكثرون الطلبه لك
في اعظام من تلك لشدة ولا يبدلون اليها من غير تقيين ولا افران فاعظم
يجعلون انك لم في ذلك على عن منهم وقوت نفوسهم فيققون في التجارب
بل يحققون في نفوسهم الضعف وقلت الاستطاعة وسلوك في طريق
التواضع ويصلون الله في الاعفائهم من تلك لشدة التي يعقبها الموت
ان امكن فان كان الامر يقتضي ان لا يمكن دفع الموت ولم يكن يدور احتمال
في طاعت الله فحينئذ يفكرون بان مخافة الله وطاعته الكرم واشرف من
حيات هذا الدنيا والموت يبعث في ان يحتمل في رضا الله كل شدة شديده الي
خاتمة الموت فكان السيد المودع المومنين ليستشيروا بشيرت شقا وتعب
اواهم وضيق وصاياه النوع الرابع انه صبر في ناسوته كل ضعف شرير
بالحقيقه ليقضي ما قد وجب على ادم من اجل خطيئه وقبل ذلك الضعف
جميعا بحسده الذي ليس له خطيئه حتى انه نزع عن ادم ودرسته جميع
خطاياهم لاجل جوده وصلاته واستغفاده من شرب كاس الموت ليس
كان

كان يبس نفسه وانما كان ذلك من اجل خطايانا نحن نجي لبشره لانه لا خطيه
له ودليل ذلك قول النبي انه يحمل افعالنا وارجاعنا وقول النبي انه
استبشنا في كل شيء مالا الخطيئه وقول النبي ايضا انه حمل خطايانا
كلها وكما شهد يوحنا وقال هذا حمل الله الذي رفع خطايا العالم وقوله
عن نفسه لليهود من منكر من نجي على خطيئه ومن هذا الامور ينبغي لنا ان
نعلم ان تصرفات السيد تنقسم على اربع قسم القسم الاول من اجل الناس
ولهذا كان يحمل له تسعة اشهر وكان ينشوا في لقائه واكل ويشرب
ونيام والقسم الثاني من اجل الناموس ولهذا كان الختان وتقريب
القرابين والحمل وحفظ السبت والسعي الي بيت المقدس كل سنة
واكل الفطير والفضح ونظاير ذلك والثالث من اجل التدبير الذي
اتي من اجله ولهذا كان الصيام والصلاه والجوع والتعب والجوع
والحمل الاذي والموت ونظاير ذلك والرابع من اجل الجمع ولذلك
كان يحمل له من غير زرع بشرى والولاده من عذري وتوليها باقيه علي
حالتها وفعلا لايات با من اقد وقبائه من الاموات ونظاير ذلك وللسا
ان يقول ما معنا قوله لا يبيد وليس كما رايتي بل كما رايتك فقد جعل
بهذا القول ان له اراده ولا يبيد اراده فيقال ان الاراده واحده

يل

واما اراد هذا القول حسن التواضع لاني ونيتم ذلك في ثلاثة معاني
 الاول منها انه علمنا التواضع وان لا نكون متعظا على الموت بالجزاف
 وعلى غير واجب ولكن اذا حضر ولم يمتني منه يد فله في ذبيحة وقبلة ونوش
 اراد الله على حيات هذا العالم التي زيدها واستلذها والثاني حتى يتجدد
 اليهود حجة في صلبه فيقولون انه بائس او شهوة تقدم الى الصلب والقالة
 ليكم يطعم البليس في نفسه ليأخذها مثل نفوس البشر لانه لو راه مستبشر
 بالموت الذي به كانت قلبه والمظفر لا فراد واسع في الحرب والسائل
 ان يقول ان لوقا يقول في بشارته ان السيد عند ذلك لقول ظهر له ملاك
 من السماء ليقويه وكان يصلي متواترا وصار عرقه كغليظ الدم نازلا على الارض
 فيقال ان الله تعالى خلق الملائكة خدما لتفاد مشيئة ورثا للبشر
 ومعينين للمصدقين ومعينين لهم في اوقات شديدهم ولما اراد السيد كمال
 تدبيره اظهر ذلك الملاك من السماء ليقويه وكان ذلك الثلاثة انواع الاول
 ليعلم تلاميذه ان قوته واشعته وانهم نافذ في السما في الارضين والثاني
 ليظهر للبشر انه مثل الناس المحتاجين الى تقوية الملائكة في احيان
 شديدهم لكي يخفي عنه شرهونه والثالث ليدلنا على ان الصديقين اذا
 وقعوا في الشدايد فيجدهم الله ملائكة السماء ليغروهم ويقووا صبرهم
 وعن منبر

وعن منبر في يومهم وشدهم والسبب الذي كان يصلي من اجله متواترا ليس انه كان
 محتاجا الى الصلاة لكن اراد بذلك ان يعلم التلاميذ ومن ياتي بعدهم من المؤمنين
 ان يقتنعوا بالصلاة في اوقات الحاجة وافات البلاء ولتتجوزوا فيها
 باثباتهم ولكن اذا طرت يستعينوا عليها بالصلاة وليكن البليس انبه
 كواحد من البشر الذي تحت سلطانته وراسته والسبب ان عرقه كان سائلا
 من جسمه على الارض كسيلان الدم من المذبح بعد جريته وفيضانه فاما معاني
 ذلك الله اراد تحقيق تاشده عند التلاميذ ومن ياتي بعدهم من المؤمنين ولكي
 يفعلوا فعلا بعد الطاقة ولكونه ايضا اراد ان يظهر العاقبة للشدة
 ليخفي لاهوته عن البليس لكي يظن انه مثل كل الناس الذين يفعلون عند
 التعب وقصورهم في الشدايد التي تعقب الموت الا انه لم يفعل ذلك خيالا
 لكن للحقيقة بشهوته واثباته لانه عن اضراره وعن جوعه لان العرق هو
 بخار رقيق ما يي يصعد من الدم على سطح الجسد ويخرج مرثا والجلد الممر
 بالمشاء وغليظ الدم الذي ياتي بعد قيضه وفورانه اي ان عرقه كان
 سائلا من جسمه كسيلان الدم من المذبح بعد فورانه وفيضانه وكان
 نازلا على الارض وكان ذلك من حكمة ما يجب على الامر لان الله قال له بعد
 خروجه من الفردوس انك بعرق جبينك تأكل خبزا اي الله من اجل

خلاصا للوحية وتكثيرا للفرح لان ناكل الخبز الابا الثقب
الذي من اجله يعزج حبيبتك وهكذا كان غنقه من مبرر خطيه بفرح ادم الثاني
الذي هو السيد المسيح الذي ثاب ان يقضي بحسبك الذي اخذك من عنبر ادم الاولى
كلما كان يلزمه من الثقب لموت والموت الذي وقوله وجاء الى القلا ميسه
فوجد له نياما فقال لبطرس اما قد علم ان تشبهوا معي ساعة واحدة انتم ويا
وصلو ليلا تدخلوا التجار الى ما الروح فمستبشر والجسد ضعيف وايضا
ثابته مضى وصرخ يا ابي ان كان يستطيع ان يعبر عن هذا الكائن حتى
اشربها فلتكن مشربك وجاء ايضا فوجد له نياما لان عيونهم كانت ثقيلة
فتركهم مضى بصرى قال كلامه الاول وحبيته جاء الي التلاميذ فوجدهم
وقال لهم ناموا الان واستريحوا فقد اقرت الساعة وابن الانسان
يسلم في ايدي الخطاة قوموا انتطلق فقد قرب الذي يسلمين بمعنى يقوله
لبطرس اما قد علم ان تشبهوا معي ساعة واحدة اي انكم تشاهدون ملاكتي
في الصلاة منذ صلتنا الى هذا الموضع ولانه فما قد تترقبون معي في
الصلاة ساعة واحدة قال لهم استهروا وصلوا ليلا تدخلوا في التجار
ولما قوله اما الروح فمستبشر والجسد ضعيف فاراد بذلك نوعين
اما الاول فانه لم يقول لك من نفسه بل قال له من اجل التلاميذ لانه
قال لهم استهروا وصلوا ليلا تدخلوا التجار لاني ان نعوذكم ونياكم في
اوقات

اوقات الشدايد والتجارب قوية على احتمال الالادي وفي ايضا فادون على قهر
الشهوات فاما اجسادكم فضعيفة لا تحتمل نقل الشدايد ولا تقدر على مقاومة
الشهوات وفي مخ ذلك غير موت ولا اكل الجسدانية هذا لما قاله لهم لكونهم
بلغوا الى هذا المكان والثاني ليوهم الشيطان بان هذا القول ناقلا عن
نفسه لكي يقرر منه ولا يولي عنه هربا لكن يطمع فيه ليأخذ نفسه كما اخذ نفوس
جميع الناس واما تارادوه في الصلاة وفي كبره الاستغفار من شرب كأس الموت
ليعلمنا ان العمل من الطلبة لله في احيان التجارب واوقات الشدايد والاستغفار
من اللغو ايضا وقوله ناموا الان واستريحوا فقد اقرت الساعة وابن
الانسان يسلم في ايدي الخطاة قوموا انتطلق فقد قرب الذي يسلمين دل هذا
القول ان جميع ما سيكون قد كان عارفا به قبل ان يكون ايلا لانه قد قربت
وان يهودا امسكه قد رنا ايضا حضوره ودل قوله ناموا الان واستريحوا
اي اني مستعد للصليب فاداما اتلت بقيتم انتم فجدون البيل الى النوم
والراحه يكون شتم وقوله قوموا انتطلق فقد قرب الذي يسلمين اراد بذلك
نوعين الاول ليعظ التلاميذ من نومهم اشتقا على من يحي الجسد
والشرط صحة يوحا يفهم الحرف شتم فلا يكون لهم قوي مستقيم للهرب
والثاني انه اراد اعلامهم حقيقة الساعة التي تاتي فيها الشرط اليه
ليلا يظن التلاميذ بان الامر قد جاء اليه بغيره من غير علم به فيسلكوا في معرفته

بالعبد طال ليقض عليه كان من غير ارادته ومن غير علمه ايضا في يوم من
وفيا لم يكون له شئ من خبز وشكر وكثير من غصن تلاميذه وقد اخذوا
كلوا هذا هو جسدي قال لان الرب اعطانا هذه الفسفا الشري لعلنا
الجمعة الفصح المقدس فلما اخذ هذا الخبز خرج مشرعا الى رومة في الكنة
واتابا لتسوا وقبضوا على يسوع واتوا به الي بيلاطس لوالي صباح يوم
الجمعة واسلم ليصلب ومن اجل هذا امروا التلاميذ ان يصوم يوم الاربعة
الذي هو اليوم الذي يقرر فيه اليهود مع يهوذا الاسخريوطي على الرب
بالسؤال لئلا يسلمهم ويحنا لسان المذهب يفسر لئلا يجدوا غلة يثوب
انه لا يهلنا بنا للفسفا الشري ومن غنقه من الشرار المقدسة فلعلمه
يستحي ويرذل من الذي الفاسد الذي كان متكبه فلم يندع اقول لكم اني لا
اشر من الان من عصير هذه الكرمه الى ذلك اليوم الذي اشر به معكم جديدا
في ملكوت السموات ويحنا لسان المذهب يفسر ايضا اليوم الذي ذكره
هو يوم القيامة المقدسة لانه بعد ان اتيتم الانوات اكلوا وشربتم مع
التلاميذ ولا يمكن الجسد يحتاج الى طعام مثله اكان قبل القيامة موكلة
بما في غير غير ليس يحتاج الى طعام جسماني بل هو جديدي ملكوت ابية
ولا يسمي القيامة ملكوت ابية لانه من اجل موته وقيامته ولنا ايضا موت
عطيت الخيرات المستعقة الملكوت السموات وخرجوا الى جبل الزيتون

وحنا

وحنا لسان المذهب يفسر ولما قبلوا موكبة الفسفا الشري لئلا يستحقوا
الشكر وخرجوا الى جبل الزيتون الموضع الذي كان يهودا يعرفه عندهم لك قال
لهم يسوع كل من تشكون في هذا الليله فليقر ذلك في جوارحه عظيم
من اجله وقد غرهم افكار كثيرة وكانوا مشكين في افكارهم يقولون يكون قبيل
هذا الموت وقد اقام امواتا كثيرة وصنع العجايب لعلهم انتم لم تفعلوا
علي الان من غير ففعل هو الشك الذي ذكره لانه لو شاك لكان له الانسطا
الاموات لم يشك نفسه في ايدي اليهود ولكنه لما اثم قد لجوا ان يكملوا
ارادت الشيطان بقتله اسلم نفسه اليهم كراذم وهذا كما قال ليقولوا ليقولوا
الذي يضرب الراعي وتنته اخرافة وقال بللاطس ليس لك علي انظر لقطا من
العاولا لانه مشيت الاب والاداة احتمل الصلب وبعد هذا ابطل حزن التلاميذ
واعاد القول هكذا ان بعد قيامتي انا اسبقكم الى الجليل فاجاب بطرس
وقال له لو شك جميعهم فيك لم اشكنا بوحنا المذهب يفسر لانه بطرس قال
هذا بدله والامقاومة الرب بهذا الكلام وابطل النبوة والله يقول
تسفر قرا ورعية فلذلك مكن منه يستطع الجحش ويمر بضعفه بل لانه ان
انسان يتوكل على الرب ولا يتكل على نفسه تحييه جاعفهم الى
قوته تدعاه جسمانية فقال التلاميذ اجلسوا ههنا لا نمضي اهلنا ان يحنا
ثم الرب يفسر لانه يحب من يتبعه ويعلم ان يتبعه في كل وقت
كما في وقت المحنة ويدبحون ويكتب انما كان حزنه وكتابه علي هلاك

اليهود ليس من اجل نفسه تاويلته يفسر انه حزن كالتفسير ليل يقول
 اليهود اذ راي ياهو يريدا لصلب فلذلك بلغنا له ارادته وعلماها دنا
 لا نشتاذتنا بالخاصه الي الموت وبعد قليل اذ خرج على وجهه ليصلي فقال
 يا ابي ان كان يستطيع فليصبر عني هذا الكافر فيزك ارا دني بل ارا دتك
 يحننا لك الاله يفسر كانه قال هذا ليغشع البصير كانه اذا سمع
 يقول ان الذي يعمله الاب الابن ايضا يفعله وان ابي الاب والاب في قنا والاب
 واحد وكان يظن انه ابن الله وكان يجر عنه واذا قال ان نفسي حزينه حتي
 الموت ويقول ايضا يا ابي تخيني من هذه الساعة وان كان يستطيع
 فليصبر عني هذا الكافر كان يظن انه انتم ان يفرغ من الموت ولقد
 خفي عنه على تبار الاموال شر التدبير ولم يترقوا النبي او ودان السنين
 الذي خلقته لتعروا به فيقول لبطرس كيف تفسر وكان حزينه من الموت
 بالتدبير ليعلم كل احد انه صار ضلنا في كل شيء شوي الخطيه وحدها لانه
 الاله بالحقيقه ومطي الحياه وهو الذي قال للتلاميذ وتوقي قوا وهر ليل
 يخافون من الموت اذ قال لا تخافوا من الذي يقتل الجسد فان لغو تن ليس
 يقدرون علي قتلها اتنا يسوع يفسر كانه قال قبل كل شيء يلبسوا لنا
 شوي الخطيه وحدها وكان ارادت الناس لا تحب الموت لذلك اظهر
 ارادته ليستبه بنا وكره الموت ولخل الذي لنا واعطانا الذي له اعني
 الحياه

الحياه وجا الي تلاميذه فوجدهم نياما فقال لبطرس اما قد تمان تسهروا
 معي ساعه واحده اسهروا وصلوا لئلا تناموا اما الروح فستبشر والجسد
 ضيق فيقول لبطرس يفسر كانه ان قبل كل شيء ينزل في ليله ان
 لا تمعن بالشروع ولا تدخل بقوتنا ولا تستكل علي نفوسنا ولكن تستكل في
 تبار امونا علي مقونه الله الذي له وحده الاستطاعه ان يغلب الحزن وهو
 يفرضون اجسادنا الضعيفه في وقت الحزن وان كان الروح مستعد لان
 يتواضع من جوده ضعف الجسد وان كان يعلم كانه الاله بالحقيقه والمجد

فصل الاصحاح السادس والستون

نيا هو تبارك اذ جاء يوم الحد لانه عشرين ومعه سبعين سيوف وعلي
 من عنده رؤيا الكهنة وشايخ الشعب والديس حمله اعطاه علامه
 وقال الذي قبله هو هو فامسكوه وللوقت جا الي يسوع وقال سلام
 يا معلم وقبله فقال له يسوع يا هذا لهذا جيت حيندا او ووضعا
 ايديهم عليه وامسكوه واذا واحد من كان مع يسوع مديده وحرده سيغه
 ف ضرب عبدا يسير الكهنة ف قطع اذنه حينيدا قال له يسوع اراد سيغك
 الي عذبه لان كل من اخذ بالسيوف بالسيوف اهلك انظر ابي لا استطيع ان
 اطلب الي ابي فيقيم لي اكثر من اثني عشر رجوا من الملكيه ولكن كيف يمكن

الكتب لان هلكتي ينبغي ان يكون وفي تلك الساعة قال يسوع للجمع مثل
 لصر خرجتم الي يسوف وعني لتأخذوني وفي كل يوم كنت عندكم في الهيكل
 اجالسا اعلموا ولم تعلموني لكن هذا كان لكم لانني احببتكم تركتكم
 التلاميذ هم يهربوا والذين امنوا بيسوع ذهبوا الي قافاريس الكهنة
 حيث تجتمع الكتب والنيوخ وتبعه بطرس من بعيد حتى جا الي داريس
 الكهنة والنيوخ والمحافل لهم كانوا يطلبون شهادته ليقنعوا
 فلم يجدوا فجاء سمعون وروكيس واقي انصار اخيرا قائلين هذا قال لاني
 اقد انقض هيكل الله وابنيه في ثلاثة ايام فقام رئيس الكهنة وقال
 اما تجيب بشي عما يشهد به هو في عليك وان يسوع كان ساكنا فقال
 له رئيس الكهنة اقم عليك يا الله احيي اما قلت لنا ان كنت المسيح ابن الله
 احيي قال له يسوع انت قلت وايضا اقول لكم انكم من الان ترون ابن
 الانسان جالسا عن يمين القوة ايتا على سحاب السماء حينئذ ينشق
 الكهنة يتأبه وقال فنجاف ما حاجتنا الي شهودها هو اقد سمعتم
 تجديعه ما اريدون فلجا بولوقا لهذا استوجب الموت حينئذ
 بصغوا في جميعه ولطموا وضربوه قائلين تذب لنا ايها المسيح من الذي
 لظلمك لتفتير قد سبق ايضا نحن ان السيد كان وقت التلاميذ
 من انهم اشتفوا عليهم من محبي الشرط وصحبة يهودا ولم ينام فيمكن القول

الكتب لان هلكتي ينبغي ان يكون وفي تلك الساعة قال يسوع للجمع مثل لصر خرجتم الي يسوف وعني لتأخذوني وفي كل يوم كنت عندكم في الهيكل اجالسا اعلموا ولم تعلموني لكن هذا كان لكم لانني احببتكم تركتكم التلاميذ هم يهربوا والذين امنوا بيسوع ذهبوا الي قافاريس الكهنة حيث تجتمع الكتب والنيوخ وتبعه بطرس من بعيد حتى جا الي داريس الكهنة والنيوخ والمحافل لهم كانوا يطلبون شهادته ليقنعوا فلم يجدوا فجاء سمعون وروكيس واقي انصار اخيرا قائلين هذا قال لاني اقد انقض هيكل الله وابنيه في ثلاثة ايام فقام رئيس الكهنة وقال اما تجيب بشي عما يشهد به هو في عليك وان يسوع كان ساكنا فقال له رئيس الكهنة اقم عليك يا الله احيي اما قلت لنا ان كنت المسيح ابن الله احيي قال له يسوع انت قلت وايضا اقول لكم انكم من الان ترون ابن الانسان جالسا عن يمين القوة ايتا على سحاب السماء حينئذ ينشق الكهنة يتأبه وقال فنجاف ما حاجتنا الي شهودها هو اقد سمعتم تجديعه ما اريدون فلجا بولوقا لهذا استوجب الموت حينئذ بصغوا في جميعه ولطموا وضربوه قائلين تذب لنا ايها المسيح من الذي لظلمك لتفتير قد سبق ايضا نحن ان السيد كان وقت التلاميذ من انهم اشتفوا عليهم من محبي الشرط وصحبة يهودا ولم ينام فيمكن القول

من الخوف من قلوبهم ولعلوا ايضا بان علمه سابقا الساعة التي يصلون اليه
 فيها فقال لبشير وفيما هو تكلم ارجا يهودا احد الاثني عشر ومعه جمع كبير
 بيسوف وعني من عند رؤسا الكهنة ومشاخ الشعب والذي اسلمه
 اعطاهم علامة وقال الذي قبله هو فقامت كوه والوقت جا الي يسوع
 وقال له السلام يا معلم وقبله فقال له يسوع يا هذا لعلك جيت حينئذ
 جا او وضعا اليدي على يسوع وامسكوه يعني بقوله وفيما هو تكلم اي
 انه لما كان يسيقظ التلاميذ ويقول لهم قد اقتربت الساعة وابن
 الانسان يسير في ايدي الخطاه فهو من انطلق فقد ضربا الذي سلكه
 حينئذ جا يهودا ومعه الجمع واللب الذي من اجله جعل يهودا المعلمه
 فيما بينه وبين من حضر معه من الشرط والجند لقبلة لا علامه غيرها لكن عادات
 التلاميذ حرت عند قدمه كل واحد منهم اعلى السيد يقبله اكراما واحتراما
 فاقبله التي ترع بها يهودا في ذلك الوقت كانت ملوه غشا الاقبلت اكرام
 وكان يظن انه بتقبيله يخفي عن السيد حيث نيتة ولا يظن به انه يحب
 علي الحقيقة هذا مع معرفته به انه علمه سابقا بان يكون قبل كونه وانما
 الشيطان كان قد قلب علي عقله ورايه وللشاي ان يقول اذا كان السيد
 قد علم حيث نيت يهودا فلم يكن من تقبيله فيقال انه قصد بذلك نوعين
 الاول انه اراد ان لا يظنهم نقسه الجند والشرط لكي يتم تدبيره والثاني

كونه قد علمنا ان محبة عبدنا وان نحن ان في مغبنا فاراد الاحسان الي
 يهودا لكي يتوب وان لا يكون في جلة عبيد الشيطان فلم يمتني عن فساد
 دابة لانه من اجل حبه واستطاعته كان قادرا على ان يملك عن الشر يستقيم
 الى الخير ولهذا قال له يا هذا لهذا جيت اى فعل الذي قبحيت من لجه ولا
 تنظر يا كاديا وعبر الذي في نيتك الحية ولهذا قال الكتاب كلامهم
 ايل من الدهن وهو كالنصارى كما قال الكتاب ايضا الذين يتكلمون بالسكاه
 مع اقاوم والشر في قلوبهم فريدل علم امر مسكوا الرب واحاطوا به عنا
 نحن الذين كما مستوكن من البين بباط الخطايا امتكوا الاله كالاشي
 لكي يطلقنا بشك من شر الشيطان وعبودية البين ليعرقل الكتاب
 الويل لهم لا عرفوا من واعلى وقالوا ربنا الصديق وقوله واذا وجدنا
 كان مع يتوب مديك وجرديعة فصرع عبيد يسر الكهنة فقطع اذنه
 حينئذ قال لا يتوب ع اراد سيفك الى عذبه لان كل اخذ بالتيوب لشيء
 يملك يعقوب الواحد الذي قطع اذن العبد عن بطر راس الشايعه لان
 بطر تر كل قصده ضرب رقبه فانزل الله سير الاله الضربه عن الرقبه
 الى اذن وكان ذلك النوعين الاول اعلمه عنهم اليهود عن سماع اقاويل
 الانبياء ونعم الامر السيد الثاني علمه علي وانه في عبودية الشيطان الي
 الابد

الابد كونه لم يقبلوا اقاويل الانبياء ولا تعاليم الخاص وهذا ان شئت
 العتيقة نأمر ان يشتم العبد في خدمت سيده سبع سنين وبعدها يجتبر
 فان اراد له حريه فيحرر وان لم يريد له حريه فلتقطع اذنه لتكون علامه
 على انتم اوه في عبوديه بقية حياته وللشاي ان يقول ان يوحنا
 يقول في بشارته ان العبد الذي قطعت اذنه كان اسمه يخلص فاهي الفايده
 في تنميه فيقال ان الكتاب يشهد ان السيد لم اذنه فابراهام فكان قصد
 يوحنا يا ابراهيم في بشارته ليحقق الامعجوبه التي صنعها السيد في اذنه
 في مثل ذلك الوقت ومزجه علمنا ان بطر تر قداوفا المعلمه بقوله له اني
 ابدل نفسي عنك كما شهد الكتاب لانه بقطر حرقه ضرب بالتيوب وبذلك
 نفسه الموت في تحقيق محتره عاقبه وللشاي ان يقولوا هي الفايده
 التي قصدها السيد في اعادته ان العبد الي ما كانت عليه فيقال لانه
 قصد بذلك عادت معاني الاول ليظهر للجميع انه خالف الاشياء وكوفا والنا
 يعلمنا ان محبه كان يصلم لا يفقه ولا ثالث يعلمنا بذلك للثوب في
 طريق الاحسان لمن ياتي بنا والرابع انه اراد ان يبين للجنود والشرط
 عظمتهم وقد نزل ليو قمر علم ذلك وكنت استطاعته وانه متبع من
 الشر ومحب للخير وانه بايثارة اشكر نفسه اليهم وقوله اراد الشفالي
 عذبه لان من اخذ بالتيوب بالتيوب يهلك يدلنا بذلك على ان الجهاد على الحق

لا ينبغي ان يكون الشوق الجماعية بل الشوق الروحانية التي هي الخيال
الذي لا يطاق والاعمال عن الميتين برضا قلب وصحة الاعمال بنيات
صادقة والمبالغة في جميع الامور الواجبة الى نهايه ثم اشار على حكم النبوة
سأنت علمه بما شئت ان يشعب لليهود من القتل والنار التي هي في ايدي
الروح فقال من اخذنا النبوة لنسوق لك اراد بذلك ان يكون الذي قد قتلوا
عليه ولما هو واعل قتلوا واخذوا في النبوة نتجها كون الشوق كان طيطس
ابن اشبائش ونوش ملك الروم من عليهم وحاصر البيت المقدس فبعث فيهم الاول
منها مع اشبائش ونوش اليه في ملكته لروم ولتأنيده عندهما اقضي الملك
اليه وضايقهم وقتل اكثرهم لشفقة الناب للوع والمفلا والذقي فضل
من النبوة لفا افرهم جميعهم واستعبدوا وقوله لبطرس انظر اني
استطيع ان اطلب من اني في غيري اكثر من اثني عشر جوقا من الملائكة
ولكن كيون تكلم الكتابان هذا ينبغي ان يكون اراد بهذا القول لبطرس ان
يقوي منته على محبة ويعرفه ان قدرته نافذة في السمايين والارضيين
وانه مستغن عن معاونته اي اني بايتاريا سلم نفسي لك اكمل ما هو
مكتوب من اجلي لان هكذا ينبغي ان يكون والليل على ذلك قول الكتاب
انه قال لبطرس اجعل الشوق في عنك الكاس الذي يقطا في الاب لا بد
لي ان اشربها والسبيل ان يقول ما هو السبب الذي به قال السيد اثني عشر
جوقا

جوقا من الملائكة ولقد كان الحري ان يقول عشر او عشرين فيقال ان التلا
الذي حضره في ذلك الوقت مع السيد كانا يسوع واثني عشر تلميذا فقال
لبطرس اني مقتدر على ان احضر عذرا عن كل واحد منكم جوقا من السما وانما
القصد في اكمال المكتوب من اجل ولا بد من اعتراض السبايل وقوله ان يكون
كان قد خرج عن التلا وصار الى حلت اخوان عليه فلما ادا وجهه في
جملت من هو مستمر في التلا فقال الان السيد لي فاصدود واخذ في
ذلك الوقت على ذنبه ولم يسقطه من عذرا التلاميذ حتى انه لا يجعل
في الجوع والتوبة اذا اراد ذلك وقوله وفي تلك الساعة قال يسوع
لجميع كمثل الصخر خذتم الي يسوع وعيسى من عند رؤسا الكهنة لتأخذ
في كل يوم كنت عنده في الهيكل لسا اعلمهم وتسلوني ولكن هذا كان
لتعلم كتب الانبياء اراد بهذا القول ان يحق عند الجمع انه هو المخلص
دون غيره لكي ترتفع الحوطة عن التلاميذ لان الجند الشرطي بداهة ولم
لخاطوا اعلى السيد على الحاضر مع من التلاميذ ولما سمع التلاميذ
هذا القول حينئذ تذكروا قوله لهم اننا هو الراعي الصالح والراعي الصالح
يبدل نفسه عن خرافة وقوله حينئذ تركه التلاميذ كلهم وهو يقول لينا
هذا القول بان التلاميذ كانوا تحت الحوطة ولما قال السيد ذلك لقول
لجند ففت الحوطة عنهم فهو لكي يعلم قول الكتاب اضرب الراعي

فلنفرجوا الرعية ويتم قول الكتاب ايضا بعدت عن معارفه وقوله والذين
امسكوا يسوع دهبوا به الى قيافا ريش الكهنه حيث تجتمع الكهنة والسيوح
وتبعه بطرس من بعيد فحجا الى دار ريش الكهنه فدخلوا فجلس مع الجند
لينظر الغاية وان روي الكهنه والسيوح والمحافل كلهم كانوا يطلبون
على يسوع شهادة زور ليقتلوه فلم يجدوا فحاشه زور كثير والى اثنان
اخرين اقبليين هما الذي اقدرا نقض هيكل الله وابنيه في ثلاثة ايام فقام
ريش الكهنه وقال له اما تجيب شي عما شهدوا به هو لا عليك وان يسوع
كان هناك فذيل السباويل يقولان متى مرقع فقولان في شهادتهما ان
الجند امسكوا يسوع دهبوا به الى قيافا ولوقا يقولان لم اخذوه وما او
به الى اثنان اوله لانه كان عواقيفا الذي كان عظيم الكهنه في تلك السنة
وهذا خلاص بين البشرين فيقال ان يوحنا افصح الامر في شهادته
ان الشرط الحضور الى اثنان في الاول وحذان ارسله موقفا الى قيافا
وذلك ان ثلاثة المبشرين تمكوا اكرحان وجعلوا الذكر لقيافا
بعره لوعين الاول لان قيافا في يوم الموات اشار على اليهود وقال له
خير ان يوت رجل واحد لك لتسقيهم اكل هذا القول لذي ذكره
معه لانه كان رديته كاملة والنا في انه كان عظيم الكهنه اليهود
في تلك السنة وقوله فحاشه زور كثير فكان ذلك ليم قول الكتاب
ان

ان شعور الزور قاموا على الظالم قد اكدب نفسه وقوله والى اثنان
اخرين اقبليين هما الذي اقدرا نقض هيكل الله وابنيه في ثلاثة ايام
ليتم قول الكتاب قيام على شعور الزور وعلمنا يولي ودان
هذين شهدوا عليه بالباطل وانما كان قوله لليهود انقضوا هذا الهيكل
وانا اقيمه في ثلاثة ايام يعني بقوله عن هيكل جسده الذي اقامه
في ثلاثة ايام وقوله فقام ريش الكهنه وقال له اما تجيب شي عما شهد به
هو لا عليك وان يسوع كان هناك اذ سكونه على ان وقت الالام قد
قرب وحضر وان يسوع كان هناك وان اجابتهم في ذلك الوقت لم يجيب
فعما لان التدبير الذي اتم من اجله قد ان كاله فامسك عمر اجابتهم
بكلمة يحكمهم به وعرض اظهار آيات يحجبها عليهم ليحقق الله مرج لك
الوقت بدلا احتمال الالهة التي تكون القيامة ومنه يكون خلاص
البشر وقوله فقال له ريش الكهنه اقم عليك الله الحي اما قلت لك
ان كنت انت المسيح ابن الله الحي قال له يسوع انت قلت وايضا اقول
لك انكم ابنون الله الحي انتم الذين سمعوا صوتي فاني سمعتموني واتيا
على سمع اب لسماء واراد هذا القول نوعين الاول منهما ان يحق لهم
انه ابن الله على الحقيقة وليد كفر ما شهد به ضايقا النبي في كتابه
من اجله لانه قال اني راسيت عتقوا ايام وتيا به بيض مثل الثلج

وشعر رأسه مثل الصوف النقي جالس على كرسي مجده وملائكته الواقفون
وبوأت ربوات قياما بين يديه وليأت شبه ابن بشر جايئا على شعب
السما فبلغ الى غنق الأيام فاعطاه القوة والسلطان والملك ومملكه
دائم لا يفنا ولما كان الحسد غالبا على عقولهم في اير وفلم يفهموا ما اشار به
اليهم من قول النبي والثنائي منهما ان ريس الكهنة لما اقسم عليه بالله الحي
ان يعرفه بنفسه حينئذ عثر في الاثر ان الصالح اجل الا لنفسه
الشريف وليقطع ايضا بذلك حجة اليهود في صلبه لكي لا يقولوا فيجبوا
بما فاقد اثمنا عليه باسم الله الحي ان يعرفوا بنفسه ان كان المسيح ابن الله
فندخل في طاعته فكلنا وامر فليعرفنا ولا اقر لنا وذلك لو جئت
عليه موتا لصلب وكما نتجنتهم في هذا ناول فظاهر وقوله حينئذ شق
ريس الكهنة ثيابهم واقطعت فاجتنبوا الى شعورهم وقد اجمعتم
تجديده ما دانهون فاجابوا وقالوا هذا مستوجب الموت المغفور
ان السيد لما كان يعلم في الهيكل كان يجتمع اليه من اليهود جمع كبير وكان
عندهم مثل نبي وادريس الكهنة بشق ثيابه ان ينسب السيد الى الاقربى
على الله ويثبت عند اليهود الذباف وكان يخبر بآيه دليلا على
خلقه من الكهنة وانواعها من امة اليهود كافة الى الايدى وقوله حينئذ
بصقوا

بصقوا في وجهه ولطموا وضربوا قبايلهم تنب لنا ايها المسيح من الذي
لطمك كان هذا جميعه والسيد لم يرد لهم جوابا يعجز فيه ولا يجوز ايضا
والغضب عليهم لانه اظهر لتواضع عن رفعة والضعف عن قوة والاحتمال
عن قدرك لكي يعلموا ان نتشبه به في صبره واحتماله والتضاعه وورع اغته كما
قال تعلموا مني فاني قد اذيع ومتواضع القلب وكان القصد بذلك ايضا
لهم قول الكتاب اجله لان النبي يقول اعطيت خدي للظلم ولم ارد رجعي
من خزي البصاق ويقول الكتاب ايضا اجتمعوا على وفرحوا اجتمع على
الاشرا ورحم شعرا انوا ولم يندموا احنوني وهروا في صرايا اسماهم
عليه ويقول ايضا اشمعت شمع جميع شعورهم في واني وعند اجتماعهم جميعا
عليه وتواضعوا واخذ نفسي في اير فسر قال الان اليهود مات كثير
طلبوا قتله ولم يعرفوه بالحقيقة وكان يهودا مسلمه قد اعطاه علامه
ان الذي قبله هو اياه خذوه فلما اقرب من السيد قبله فاما سيدنا الكثر
رحمته احتمله لعله يسقي ويندم وهذا لم يجتشم ولم يتوب لانه كان ياتي
القلب جاهل اعني يهودا وان بطرس لما راى جرات اليهود وشوقه
يهودا بحر دسيفه وقطع ان العبد الذي ريس الكهنة فقال له الرب
يسوع ارسيفك الى عهد فان الذين يلحدون بالسيف بالمشي يتوبون
التفسير هاتما بهذا الاقتناء صيفا وليأت من يجزي على الله

بالتجارب ولا تشبه بأشرار الناس ولا تقتني سبوقا ولا تضر بأحد
يتبعن أخيرا عند ذلك تركوه وهربوا وأوليك الذين أخذوا الموت يسوع
أوصلوا إلى قيافا عظيم الكهنه للتفتي ومن كلامه على التسليم لله بأرادته
اشترى نفسه اليهم ولذا كفر وعادوه وادركوه الخيل فاما عظماء
الكهنه والاشياخ والجماعة فكانوا يطلبون شيئا يسوع شهاده لكي يميتوه
فلم يجدوا فاجتمعوا من كثير واثنى انسان في الاخير فقال لهذا ثمعه
يقول اني اقد انقض هيكلكم الله وابنيه في ثلاثة ايام فقام عظيم الكهنه
وقال له اما تحبب شيئا لشهادته هو لا عليك وان يسوع كان هناك
يركض يفر منه كان يسوع يعرف كل الحزم افر اشرا فاجتمعوا على
خلاف الناس من تركوه واعلموا لزوم ذلك كان هناك قال له عظيم
الكهنه اقيم عليك يا الله الحي اما قلت لنا ان كنت انت المسيح ابن الله الحي قال
له يسوع انت قلت وايضا اقول لكم انكم من الان ترون ابن الانسان
جالسا عن يمين العظمة وانا على سحاب السما كيركض يفر منه الادب تحقيق
اعلمهم بالبيان بلايين فابلقا قلوبهم وقالت لهم اني انا هو فلم يؤمنوا
واغمر اراوا قتله كانسان طان وكانوا يطلبون ان يحرقوا عليه جسده
مرفيه حينئذ شوق يسوع الكهنه تيا به وقالوا بعد فاجتسنا إلى شعور
هو اقد تمجد مجد عدا ان يردون فاجابوا وقالوا انه ملثوب
الموت

الموت حينئذ بصقوا في وجهه ولطموه وضربوه قايدين تنب لنا ايها المسيح
من الذي لطمك كيركض يفر منه من اجلنا صبر لهذا الهوان وصا تحت حكم الموت
ليكما يقتنصا من الخطية ويخلصا من جميع الامواج والبلع انك يا
فصل اصحاح السابع والثمانون
وان بطرس كان جالسا في الدخا كما بنجات اليه جاريه فقال له انت
كنت مع يسوع الجليل فانك قدام الجمع قال لي انت اذ ريتا تقولين وخرج
إلى الباب والله اخبري فقال له للذين هناك وهذا مع يسوع الناصري
كان ولا ايضا انكر وخلص اني لست اعرف هذا الانسان وبعد قليل جاء القيايم
وقالوا لبطرس حقا انك منهم وكلامك يدع عليك حينئذ بلعهم
وحملوا اني لست اعرف هذا الانسان والوقت صاح اليك تنكرني
ثلاثه مخرج خارجا وكما كان في القديس شاور ولد ومنا الكهنه
وشيوخ الشعب على يسوع ليقبلوه فربطوه ومضوا به ودفعوه ليلاطس
القائد للتفتي فذهبوا يسوع كيركض يفر منه السيد بعيد حتى جاء
إلى اذ ريس الكهنه فدخل الى داخل وجلس مع الجند فيظن لفايه السب في
انه كان يبيعه من بعيد لان الجند في بدايت وصولهم يقبضوا على السيد
جعلوا حوطينه عليه وعلى الذين كانوا معه التسليم فلما عرفهم السيد
بنفسه والله المطلوب حينئذ انفعه الحوطة عليهم فهربوا جميعهم

ثم بعد ذلك خرج من السيد اشتعلت نار المحبة في قلب بطرس فماد وجعل يتبعه
من بعيد حتى دخل الى اريتر الكهنة وجلس مع الجند فقول لبشير وان
بطرس كان في الدار خارجا فجأت اليه بجارية فقالت له وانت كنت
مع يسوع الجليلي فانك قد لام الجحور قال ليس ادرى ما تقولين وخرج الى
الباب رآه اخري فقال له للذين كانوا هناك هل كان يسوع الناصري
وايضا انكر وقالوا اني لم نعرف هذا الانسان وبعد قليل جاء القيام وقالوا
لبطرس حيا انك منهم وكلامك يدل عليك حينئذ بدى يحرم ويحياوا اني ما
اعرف هذا الانسان والوقت صاح الديك فذكر بطرس كلام يسوع الذي
قال له ان من قبل ان يصيح الديك تنكر في ثلاثة فخرج خارجا وبكا
بكاءا الشديدا الذي كان بطرس مقبلا بدريتر الكهنة في تلك الليلة فوان
قلبه كان مشتغلا بالتأمل لجل الغضب على السيد وكان قصده مباشرت
ما يحري له وما يكون منه فاما ما كان من حجوه وانكاره معرفة السيد
ثلاثة مرات قبل صياح الديك فكان ذلك ثلاثة انواع الاولات
كان يريد ان يستلحال مع الذين كانوا يشعرونه عن نفسه حتى يتم
مقامه في ذلك لكي يعلم قضيت السيد وما ينتهي اليه حاله والثاني ان الله
اراد بذلك اذنبه لكي يكون في رايسته نيل التلاميذ وعلى رعيته التي
يتولي تدبيرها خاليان العجب لعظمه ولعلمه من نفسه انه بالكرام
انخط

انخط من رجته الاعتراف وسقط في فوت الجحور فينقظ بهذا الالام
ويأتى الى التواضع ويبعد من مقاومة الحق والثالث ان السيد لما اراد قد
تظاهر على التلاميذ وقت شجاعته وقوت عزمه واهل المعونة من تاربية
وقال لوشك جميعهم فيك كما اشد لنا اهلنا والجاه الي نفسه لكي يعرف
مقدرة قوته ولانه بغير العناية الالهية لا يقتد على اكل قوله باللفظ
ولا يستطيع ان يقوم باق في نفسه ولما اهل السيد والجاه الي
نفسه من اجل عظمتها وتاليته انفعته عنه العناية من الله حتى
ان امد استخبرته عن نفسه فجدا السيد وانكر معرفته الا ان ذلك كان منه
حروا على مقامه في الدار ليسر قلبه بمشاهدت ما يكون من حال السيد حينئذ
لما علم الشيطان حجوه للاله استغث طمعه فيه وقصد اخرجه من
دايرة التلاميذ كما قد اخرج يهود انفسهم عنك ما اعتمدوا في الانكار
والجحور ثم جعل يومه بعد ذلك بان الجحور هو سب خلاصك من الذي
الشهود انك قد جاهدت فيهم باليقين ومنى على اباك وعرفوك انولوا
بك كل عقوبه شديده يعقبها الموت الذي حينئذ يتطربون شئت
الشيطان وصار حجوه بعد ذلك مقترنا بالايان الكاديه واستحقايد
السيد وقوله انك في هذه الليلة قبل ان يصيح الديك تنكرني
ثلاثة فلما جحدنا لك دفعه صاح الديك فالتفت الي بطرس كما
شهد الكتاب وحينئذ كر بطرس كلام الرب الذي قاله قبل ان يصيح

الذي تنكرني ثلاثة فخرج خارجا ويكره كما ولد في السب في المتقات
 السيد اليه ليذكره بحة قوله وينبته عن غفلته رافده لاجل ما يملك
 من حجة عقيدته وحسن نيته وكثرة حجة ويعلمنا نحن ايضا احسن
 عنايته بنا اذ امانه وعلمنا الخلاص في العقيدة واليه فاما خروج
 بطرس ويكاه المرر اجبا بذلك لصنع عن جوده واعادته الي رتبته
 لان بجاه ندمه وتوبته او حله الي درجة الرضي القبول وذاك الله لم
 يترك الطريق لتو قديم يورد فسلها لان كود الما ندم على رتبته
 قطع رجاهم الغفران ونسب الباري الي القساو وقلت الرحمة وبهذا
 الفكر الردي قوي عليه الشيطان وغلب على عقله الي ان قتل نفسه بيده
 عاملا متعمدا ومن هذا يجب علينا نحن ان نتصور من الزل في اشراك
 الشيطان وجبايله لانه يحكمته الشريرة في بديلة امره كل انسان
 ينصب عليه بما لا يظن انه خطية ويدلجه بعد ذلك حتى يوقعه في فخاخ
 الخطايا فلجيد لنا ان نحفظ نفوسنا من الزل في الوقوع في الخطايا
 فان صار ذلك وقعنا في الاشراك فلا نقطع رجائنا كما فعل هودا
 ضجرتي على الله ونسبه الي القساو وقلت الرحمة بل نستيقظا على
 القنوك تيقظ بطرس ونندم لو قتنا وتوب توب النصوح ويكون
 رجائنا في رحمت الله بنيات خالصه وقوت اياه ولا عمل من الطلب
 بجميع

بجميع انواع الفضائل التي في الفضائل الصلاة الصيام الرحمة المحبة
 الاتضاع تقاوة القلب من جميع الشهوات العالمية وقوله لما كان
 في الغد تشاور رؤوسا الكهنة وشيوخ الشعب على يسوع ليقتلوه
 فربطوه ومضوا به ودفعوه لبلاطس الوالي اذ بهذا القول ان رؤسا
 الكهنة وشيوخ الشعب تشاوروا وقالوا نغضب الي الوالي ونقول له
 انا وجدنا هذا قبل متنا ويسع ان نعطي الحرية لقيصر وبقوله انه المسيح
 الملك وبهذا القول الذي يقوله للوالي نتمك من قتله لان الوالي
 اذا سمع هذا القول الذي يقول له ويري اننا قدنا على قتله او جبا بذلك
 الحجة عليه بانه يحسن النفاق على الملك وان هو قدنا على قتله
 فنكون قد بلغنا الغرض فيما اردناه وذلك ان في طر ظهور المسيح
 على الارض كانه امة اليهود تحت ملك الروم وكان هذا بلاطس الوالي
 المبدأ بذكر واليا عليها من قبل طيبا يوتر قصص ملك الروم ولما اتفق
 راي اليهود على هذا النظام ربطوه ومضوا به واسلموه لبلاطس وقالوا
 له القول الذي قروا بينهم كما شهد الكتاب قروا فسر فاما الصفا
 فكان جالس في الدور فذنت اليه امة وقالت قد كان هذا ايضا مع يسوع
 الناصري فكلم امانهم اجمعين وقال ما اعرف ما تقولين وفعل هذا ثلاثة
 قتل

مرات كقول الرب انه قبل ان يصيح الذي تكفر في ثلاث مرات لانه
استوى عليه رعب عظيم لانه سمي وتعدت عنه معونة الله ليعرف ضعفه
وتدكر قول الرب وخرج خارجا وبكى بكاء مرثيا. والمجد لله دائما.

فصل الصحيح الثامن لمتى

حينئذ لما راي يهودا الذي سلمه انه قلاذين ندم واعادا للتلائين
العقبة الي رؤسا الكهنة والشيخ وتبا اقد اخطأت في تعليمي
دماركم فقالوا ما علينا انت ابصر فطرح العقبة في الهيكل ومضى
فاختنق فاخذ رؤسا الكهنة العقبة وقالوا ليس يحل لنا ان نجعلها
في بيتنا لتقدمه لاحفائهم دمج وتشاورا فابتاعوا بها حقل الفخار
مقبور للدفن وبذلك عي ذلك الحقل حقل الدم الى اليوم حينئذ تروا
قيل في ارميا النبي القائل اخذوا للتلائين العقبة من الي الذي
شارط عليه بنوا اسرائيل وجماعها في حقل الفخار كما امرني الرب
فقام يسوع قدام القايدين فقال له انت ملك اليهود فقال له
يسوع انت قلت وفيما يعرف عليه رؤسا الكهنة والشيخ لم يجيبهم
عن كلمة بشي حينئذ قال له بيلاطس اما تسمع ما يشهدون به عليك
فلم

فلم يجبه عن كلمة فتعجب القايدين جدا وكان للقايدين عاده ان يطلق للمجمع
في كل عيد اسيرا من ارادوه وكان لهم اسيرا يدعى بارنابا وفيما هم
يجمعون قال لهم بيلاطس من تريدون ان اطلق لكم بارنابا وفيما
هم يجمعون قال لهم بيلاطس من تريدون ان اطلق لكم بارنابا ام يسوع
الذي يقال له المسيح لانه كان علم انهم انما اسلموه حسدا وجلس على المنبر
فارسلت اليه امراته قايلاه اياك الصديق فاني فوجعته في هذه الليلة
كثيرا من اجله في الحكم وروى الكهنة والشيخ طلبوا الي المجمع ان
يسلموه في بارنابا وكل كل يسوع اجاب للقايدين فقال لهم من تريدون
ان اطلق لكم بارنابا فقالوا بارنابا فقال لهم بيلاطس ما اضع يسوع
الذي يقال له المسيح فقالوا لكم يصلب قال لهم اي شرف فعل فانزادوا
مباحا وقالوا يصلب فلما راي بيلاطس انه لا يتفع شيئا لكن من رد لا يتحسنا
لنذا ما غسل ايديه قدام المجمع وقال اني بري من دم هذا الصديق استمر
ابصر اجاب جميع الشعب وقالوا دمه علينا وعلى اولادنا حينئذ اطلق
بارنابا وجلس يسوع واسلمه ليصلي حينئذ اخذ جندا لقايدين يسوع وودوه
الذين هم وطويرون وجمعوا عليه الجند ونسوا ثيابه والبسوا لباسا اخر

وظفروا اكليل شوك وتكرو على راسه وانصبه في عينه ثم جنوا على ركبتيه
قدامه وتحنوا له وقالوا سلام يا معلم ملك اليهود وكانوا يتغولون عليه واخذوا
قصبة وضربوا بها راسه فلما هروا به نوحوا منه لتيات والبنوة تياب
ودهبوا به ليصلب وفيما هم خاضعون وجدوا انسانا قيرانيا اسمه سمعان
فتسحروا لبحا طيبه واتوا به مكانا يتم الجاجلة وتمسيره للجمعة واعطوه
خلاخلوطا من فلاق ولم يردان بشرى ولما صلبوه قسموا تياب
بينهم واقترعوا عليهم وجلسوا هناك يحرسون وجعلوا فوق راسه
لوحا مكتوبا بهذا هو يسوع ملك اليهود حينئذ صلبوا معه لصين واحد
عن يمينه والاخر عن يساره فكانوا المحتاضون به مجدعون ومجدون
رووسهم ويقودون يانا قسرا ليكل وبانيه في ثلاثة ايام خلص نفسك
ان كنت انت ابراهيم الله فانزل عن الصليب وهدك واروثنا الكهنة والاشيوخ
والكنبة والفرسيون يهنون به ويقولون خلص اخرين ولم يعتقد ان
يخلص نفسه ان كان هو ملك اسرائيل فليزل الارض عن الصليب لنزاه
ونوم به ان كان متوكلا على الله فلينجيه الا ان كان يحبه لانه قال
انا هو ابن الله وكذلك المصان اللذان صلبا معه كانا يعيرانه ومن
سنت ساقات كانت ظلمة على الارض كلها الى الساعة التاسعة فلما
كانت

كانت الساعة التاسعة صرخ يسوع بصوت عظيم وقال اله الهى الهى
ايها سلفنا في الذي نفسيره الهى الهى اتركني فتق من السيامر لما
نتمون فقالوا هو ينادي الهيا والوقت انشع ولحد منهم واخذ شفجه
مملوء خلاه وجعلها على قصبة وسقاها والباقون قالوا دعوه ليظهر هل
ياي الهيا لينجيه فصرخ يسوع بصوت عظيم وانسل الروح فانشق
ستر حجاب الهيكل باثني من فوق الى اسفل والارض تزلزلت وتشققت
الصخر وتفتت القبور وكثير من اجساد القديسين النيام قاموا من
القبور ومخرجوا من بعد قيامته ودخلوا المداينة المقدسة وظهروا لكثير
واما قايدها لاية والذين معه يحرسون يسوع لما نظروا الزلزلة وما كان
فخافوا جدا وقالوا احقا ان هذا هو ابن الله وكان هناك نسوة كثيرات
ينظرن من بعيد وهن اللواتي يتبعن يسوع من الجليل لخدمته اللواتي
سئم من المجدلية ومريم ام يعقوب وامريوتا وام ابنا زبدى والمجدلدة دايا
التي قد سبق الانبياء في غير موضع ان يده تبارك الله الحق
الانسان حرا مستطيعا اي انه اذا اراد ان يتعبد لله فهو مستطاع على
ارادته وكان له الاشتطاعة في ذلك من جهته الاولى في شتمه في التمسك
بأيمان الحق ولتانيه في حفظ الوصايا والى ما جاء وان اراد الحق الى

تعبداً للشيطان فليترك أيضاً ما منع من ذلك لأنه إذا ترك التمسك بآيات الحق ولم يعمل الوصايا اقتضت حاله بعد ذلك أن يصير عبداً للشيطان لأجل أنه يحير نفسه فيما أمر الله به وفما عنه فنقول لبشر حبيبي لما رأي يوحنا الذي أسلمه أنه قد أدين بدمه وأعاد التثنية للغة التي رويتها الكهنة والشيخ وقال الخطأت في تسليمي ما زكياً فقال لو أماً علينا أنت أبصر فطرح الفضة في الهيكل ومضى فحق نفسه والمغمور أن يوحنا كان من خواص التلاميذ حتى إن الرب اختار من جبلت لانه عشرين رسولاً وكان صندوق نفقت للتلاميذ عنده فحسبه الشيطان تحببت الفضة والشرقة جاصل الصندوق والذبيحة يد فادع عن الرب لك وكان يحمل ما يصير فيه كما شهد الكتاب ولما أن وجد للشيطان محبته ليد ندمه على الطبيب الذي ابت به المرأة ودهنت به السيد وشوشه أن قيمة ثمنه ثلثمائة دينار فلو أنه بيع وما رثته إلى الصندوق حصل لك منه جزء ولو أقر وأجمل ما فانه يرج لك دمه وجعل يوحنا امرأة على فعلها ثم وافقه التلاميذ على ذلك ولما أنكر عليه السيد توبيخ المرأة صعب الشيطان على يوحنا أنكار السيد على التلاميذ واستنصطاه راجعاً وأثبت في قلبه عوض محبت السيدة المحبة المعرطة بالفضول الشديد الذي

كان

كان فاعلمته أسلمه في أيدي اليهود للعقل حينئذ لما رأي أن يوحنا قد أسلم للواري وحكموا عليه بموت الصليب ندم على فعله وأعطوا الفضة التي رويتها الكهنة والشيخ فلما رأى الشيطان وقد ندم على فعله أكثر الندم عليه وشوشه بان المنصب الذي فعلته لا يمكن أن يكون معه غفران إلا أن قبلت نفسك فاسترع وعلم مشقة نفسه في مكان عالي عن الأرض ثم جعل المشقة في حلقه وتعلق فيها فلم تخنقه خنقا يوجب الموت بل أنه صار يستنشق الهواء ولم يستطع أن يتنفس صاعداً فالتفت وصار إلى كبد شديد ومرت ما كان يتقلب ويضطرب أنقطع المشقة فوقه وانفلق وخرج كلما في جوفه وهلك من الدهن جميعاً وفانتس الحيانان ولم فيه قول الكتاب أن صلابة نصير الخطية وأيامه تكون قصيرة ورياسته نصير المغير تكون أيتاماً وأمر أنه نصير أرملاً والمسائل أن يقول ما في رايسته التي أخذها غيره فيقال إن بعد صعود السيد إلى السماء اتفقوا في الأسرار الإحدى عشر أن يقدوا موضع يوحنا وأحد من التلاميذ لتكون علة لهم على ما كانت عليه أولاً فقد سوا تلميذين أحدهما يوحنا الذي هو يوحنا ابن قنوس النصار وهو معروف أيضاً بيثطرس والثاني نيقانوس وأقاموا لها بينهم وعلموا عليها وحملوا آيينهما

فرعه فوقعت حينئذ الفرعه لمتاثر وبار معاد في حملت الرسل الاثني
عشر وقبل معتم نعت روح القدس الحاله عليهم فليت صهيون وهذه هي
الرياسة التي صارت في غيره وقوله فاحذروا رؤسا الكهنة الفضة وقالوا
ليست تحمل لنا ان نجعلها في بيت التقدمة لانها تخرج وتساووا فابنا عواجا
حقل الفخار مقبرة للغرباء ولذلك في ذلك الحقل حقل الدم الي البني حينئذ
نما قيل في ارميا النبي القائل اخذوا التلاتر الفضة من الزكي الذي
شارط عليه بنوا اسرائيل وجعلوها في حقل الفخار كما امرني الرب اذ
بهذا القول ان تعلم ان رؤسا الكهنة قد شهدوا على نعتهم بالخطاة وان
الفضة التي اعادوها يهودا لا تجعل ان تجعل في مواضع قرايتهم واشتروا
بها حقل الفخار كما قد تقدمت ابوه بذلك ولهذا قال زكريا النبي اعطوني
كراي ثلاثين من الفضة وجعلوها في الكهنة وعني بالكور الموضع الذي
يشوي فيه الفخار قال وقام يسوع قدام القايده فقال له وقال له انت
ملك اليهود فقال له يسوع انت قلت وفيما يعرف عليه رؤسا الكهنة
والشيوخ لم يجيبهم بشي حينئذ قال له بيلاطس اما تسمع ما يشهدون
به هو لا عليك فلم يجبه عن كلمة فتعجب القايده جدا الشب في استعجا
بيلاطس من ليدع شهادت اليهود عليه لاجل انه كان يقصد منه ذلك

تلك يسهم

تلك يسهم لعلهم يحسد لهم له على التعليم وعلى فعل الايات التي اظهرها واغمر
من اجل هذا يرون قتلهم وفيما كانوا يستعدون عليه كان نساكا وكان
الوايحه عن اجابته في تلك يسهم وهو ليفعل لتقول الكتاب للنهار كله
يردون ثم تروى كالا صم الذي لا يسمع والاخر الذي لا ينطق وكال رجل
الذي لا يسمع ولا موعظه وفيه وكما شهد الكتاب انه تالرو لم يفتح فاه مثل
خروف يشق الى الحج ومثل رجل يغير صوت وقوله وكان القايده
عادة ان يطلق الجمع في كل عيد يسير واحدا من ارادوا وكان اشير يدعا
بارنا وفيما هم مجتمعين قال لهم بيلاطس من تريدون ان اطلق لكم بارنا
ام يسوع الذي يقال له المسيح لانه كان علم انهم لما اسلموا وجلس على
المنبر فاسلت اليه امراته قايله اياك وذاك الصديق فاني توجعت
في هذه الليلة كثير من اجله في الحظر والسبب في ان اعادت القايده جاريه
بان يطلق الجمع في كل عيد يسير واحدا هو ان بنو اسرائيل لما كانوا في
عبوديت فرعون واسر المصريين وكان خلاصهم من تلك العبودية في
مثل هذا الوقت الذي يصيدون فيه الفصح ولما تروا عليهم بيلاطس من قبل
ملك الروم وجعلوا لهم عليه هذا الرشم بتقريب كان يسهم وبيته بان
يشتط لقوامه في كل سنة تاتي عليهم في عيد الفصح اشير واحدا من
ارادوا ان تظاهروا بالهجة لانه فيه خلاصوا من الاسر واما نام امرات

بيلاطس

فان المفسرين اختلفوا في رواياتها والذي اتفق عليه جماعة منهم يرون
هو ان رأت السيدة وهو جالس على كرم عظيم القند وهو صاعد
الي السماء فجد عظيم السمايون مع الارضين وسمع له فقالت لمن هو
كاحضرها ما هو هذا الامر لهائل الذي فاق الوصف واذا صوت من ع
مخوف ينادي من السماء هذا هو يسوع الناصري الذي قد دانه بيلاطس
واما قولها اني توجعت كثيرا من اجله يدل على انها ارتعبت من عظم ما
قد دانه ومن خوف الصوت الذي قد سمعت وقوله وان رؤوسا
الكهنة والاشيوخ طلبوا الي الجمع ليسلموه في بارناان ويهلك يسوع
اجاب لتايدوقا الهرمزيديون ان اطلق لكم من الاثنين فقالوا
بارناان فقال الهرمزيلاطس فما اصنع بيسوع الذي يقال له المسيح
فقالوا لكم يصلي قال الهرمزي شرعك فازدادوا ضجعا وقالوا
يصلي فلما راي بيلاطس انه لا يتسنع شيئا لكن يزاد سجناء اخذ
ما وغسل يديه قدام الجمع وقال اني بري من دم هذا الصديق
انتم ابصروا جميع الشعب وقالوا له علينا وعلى اولادنا المنأ
في اطلاق بارناان المحبوس في سجن البناي عليميا قد قدمه من القتل
والقتل العظيمة التيها استحق الموت كما شهد الكتاب وكان
السيد

السيد الذي ليس له خطية فديه عنه دليلا على عتق ادم المسجون في
جبر الشيطان لانه خلق حرا مستطيما ولما اباع حرته للشيطان
بخلق وصيت باريه صار قاتولا لنفسه وجميع الداية لان الله قال
له تسلك على جميع شجر الفردوس خلا شجرة واحدة فانك متى اكلت
منها موتا موت ولما اكل من الشجرة مخالفا لربه استحق الموت
وحسب قاتولا لنفسه ولدايته لكونه بخلاف الوصية جلب عليه
الموت ولدايته وصير نفسه عبدا للشيطان ويعبودية صار اولاده
جميعهم عبيدا للشيطان من اجل عبودية ولما اراد الله ابطال
حجت الشيطان التي بها اطمأ ادم جوف الوصية تحن علينا
وابطال هذا العبودية الموه التي سلطناها على انفسنا واشترانا
بدم ابنه الذي ليس له خطية وقد انابه حتى عتقنا من شجر الجاهلية
والسلب الذي عا بيلاطس حتى غسل يديه وتبري من دم السيد كان
ذلك لثلاثة انواع الاول الله لما شاهد السيد بجد عليه حجة
وكونه تحق ان اليهود لم يسلموه الاحسد والتالي انه قد كان
يسمع بالآيات والمعجزات التي اظهرها واخرهم قيامه العاز من
قبره بعد اربعين يوما ولثالث المنام التي رآه امراته ولما

لجاءوا اليهود سلاطنتهم قتلوه انهم نكروا علي اولادنا وكان هذا القول
منهم حتي يظهر الله قوته فيهم باستحقاق وكفرهم ليقنعوا بجلال انفسهم
حتي انكروا اولادهم من سلفهم من كل الخير والي اخر وقت لان غضب الله
نزلهم علي الاشجار والدمار واما في ذلك الحال فان طيطس ابن
اسبانسيانوس في مثل ذلك اليوم الذي قالوا فيه ذلك القول فلما قدس
منهم بعد ان حاصروهم فيه دفعين الان في صحبت ابنيه قبل ملكة علي الروم
والثانية لما كان مغرده عند اقصى الملك الي ابنيه والملك التزم باليق
ولجوع والدي فضل من السيف والموت اسرفهم واستفبدهم ولقد انتقم
منهم هذا الدم في مثل اليوم الذي قالوا فيه دمه علينا وعلى اولادنا لان
يوسا بن كيرتوس يقول في كتابه ان الناس انزلت في عيد الفصح فقتلوا
وسيلوا وحرقوا هيكلمهم وفي اخر الحال اخمصاروا واعرهم فبعت الله لان
كفرهم بطل وعرضوا لهم هيكلا وادبج وقران وتقدسوا لا يجوز ولا
غفران بل افر في كل الخير على واهدا جميعها ويرون نفوسهم دايما
في مثل هذا السخط ولا يعتبرون ولا يتسخطون وقوله حينئذ اطلقت
لهم اربابا وجعل يسوع واسمه ليصلب حينئذ اخذ جندا الي يسوع
ودون

ودون الي الابروطينوس وجمعوا عليه الجند ونحو تيا به و يسوع
لباسا احمر وظهروا اكليل الشوك وتركوه علي راسه وقصبه في يمينه
ثم جئوا علي كبرهم قد اعمقوه واه وقالوا سلام ياملك اليهود وكأنتوا
تتعاونون عليه واخذوا قصبه وضربوا بها راسه فلما افر واه نعو اعنه
التياب والبنوة تيا به وذهبوا به ليصلب السب الذي من اجله البسوه
الباس الاحمر وجمعوا علي راسه اكليل الشوك والقصبه في يمينه
وشجروهم له وقولهم سلام ياملك اليهود لان الروم لم عاد اذ هم
اجلسوا ملكا عليهم يكون له جميع الاشياء وداك افر لبسونه بغير القرب
ويتوجونه بتاج الملك ويجعلون في يده قضيب المملكة ويجتثون
علي كبرهم ساجدين ويعزونه سلام للحية وهذا فعله اصحاب الشرط
الذي في خدمت سلاطنتهم قبل طيطس بن قيصر ملك الروم علي شيل
الهنوبه مثل منافق علي سيدهم وان كان هذا الذي فعلوه واخرجوه
مخرج الهزق فان الاشرار الالهيه كانت منه فيه فظلمهم تيا به
من عليه علامه خلع الجنس البشري ثوب الخطية التي لبسها بقاوت
وصيت ياربه والباسم له اللباس الاحمر علامه لعود الجنس البشري
الي لباس البشاه الذي جعله الله به قديما وظهرهم اكليل الشوك علامه

لا تخاف له خطاياهم العالم بأشرف التي في شبه الشوك في مله ودره له على
ارتفاع الغنم القديس التي كان معاقول الله ان الارض تبت لك شوكا
وحسنا ومنهم كل الشوك على راسه دله على مشقة الطريق التي
يصل بها بني البشر الى الرتبة التي توج الله ابوهم ادم والعصية التي جعلوها
في يده دله على انه يكتب كتابه في البشر وعقوبتهم من عبودية الشيطان
وكتب انهم في سفر الحياة جلد يصبغ عليه حتى يخلص الجنس البشري المستحق
كل الموعود وهو ان يفرز وفضحه سبحانه الشوك والشرط وقسوه
سلام الموعود دله على السجود له والتعبد من جميع الامم والشعوب والمخوف
والوقار والسلايل ان يقولوا في الحاجة التي رعت السيد ان يفرز قبول
هذا الامر الصعبة وقد كان في قدرته ان يدير الامر الذي في من اجله
بالطعن من هذا التدبير الشاق الذي ظاهره مستعجب جدا فيقال ان هذا
الذي قبله السيد عيشه هو كان منه ثلاثة انواع الاول ان الله لما
خلق الانسان الاول وامره ونمائه وحده وقال له الله اني خافتك الوصية
توت موتا ولما اختفى ابليس في جثم الحية حتى اطعاه واخرجه عن ابر
بان بجمته الشريرة واستعبده وجعل تحت سلطانه وقط ان يحكمته
الشريرة قد ابطل حكمه الله لهذا في ابن الله بحكمته الصالحة ان يخفي
شره لانه وبأخذ شكل عبد ادم حتى يخلصه من وطئته ويخبره من تحت
سلطان

سلطان ابليس وعبوديته المدة ولما كان ادم بخلافه وصيت بارية قد
قد استحق الهوان والعري والحرى والجلد والموت الذي جعل طعمه في
الغناظير والكبرياء وكونه اعدا الموت لنفسه ولذاته وصانق لنواخلق
كثير في ابن الله يقبل جميع ما كان له لازما في الجسد الذي اخذ من عنصه
حتى قتله وقضى ما كان عليه واجبا حتى يخلصه من ابليس بالعدل لا بالعصر
والنوع الغالبة وجيبيد اعد له بعد ذلك ولذاته جميعا حيات الابد
لانه تسعت فضله وسعته اخذها هو لها استحقاق واعطاهم الذي هو
له بحق ولتاني انه قد سبق في عمله بما سيجري على التلاميذ للفضلا
والابرار اجل انهم الكبرياء ما ياتي عليهم من العذاب والهوان واللعنات
الموت فيجعل نفسه لهم امورا صالحة بالصبر والتواضع لكي اذا انالتم
انواع الشدايد لا يفتخرون ولا يفخرون وجيبيد يشبهون بشيرته
الفاضلة ويعتمدون على اعتماده والثالث انه اذا ان يكمل ما في كتب
الانبياء من اجله لان اشعيا يقول اعطيت ظهري لليسايا وخذي لي الظم
ولما اراد من حمي من خزي البصاق وداود يقول على ظهري جلد ونف
الخطاة فكما تستعته بحر الخطاة من التالو والهوان احتمله السيد
عنا جميعه تسعت فضله حتى يخلصنا ويجعل لنا حيات الابد مجانا
وللسلايل ان يقول ان لوقا في بشارته ان بياطس في ذلك الوقت

ان السيد مثل الى بيلاطس هيرودس والكتاب يشهد ان هيرودس عند
 هرب يوشعوا السيد الى مصرات فيقال ان هيرودس الذي قتل الاطفال
 وهرب يوشعوا منه الى مصر والسيد في القبط مع امه مات والسيد
 مقيم مصر كما قد ذكرت الا انه اعقب ابنة بنين وفهر ارشلاوس
 وانطيفوس وفيلبس واغراش فالذي ملك منهم بعده هو ارشلاوس
 واستمرت حاله تسع سنين ثم اصابه داء او جبرفة وقلد الامر
 لاجنيه انطيفوس وثمانه هيرودس باشرا بيه ثم عزله وقلد الامر لفيلبس
 اخيهما فسقط به عند غسطة قيصر فمزله واعاد هيرودس اخاه الذي
 الذي لقيه انطيفوس واستمرت حاله الى حين وفاته وغسطة
 قيصر ولما ملك طيار يوشع قيصر ابقاه هيرودس على حاله وهو الذي
 بنا طبرية وسمها باسمه مشتق من اسم الملك وفي سنة اربعة عشر
 من ملك طيار يوشع يبع هيرودس الذي هو انطيفوس عنده فوقع يده
 عن الملك وسمه على اربع راسات فابعا على هيرودس الربع مما كان
 ولينه اولاد وفي هذه الولاية قتل يوحنا المعمدان وقلد ارشلاوس
 اخاه الربع وقلد فيلبس اخاه الربع وبعت بيلاطس النظر رسيها
 على الربع ولما كان في سنة اثنين وعشرين من ملك طيار يوشع
 قيصر قصد اغراش اخوه الصغر السمايا باخيه انطيفوس فمضي
 الي

الى رومية وعند موله اليشع وجد الوفاة قد ادركت طيار يوشع
 وقد ملك اغراش يوشع قيصر على الروم ونجاية الحال ان اغراش بعد رياسة
 الربع الذي كان بيد اخيه انطيفوس وفي اغراش ايضا هيرودس على اسم
 ابيه كما قد تمي اخوه انطيفوس وهذا هو الذي ذكره لوقا في كتاب الاكبر
 فمما قصت هيرودس اولاد هيرودس الذي كان حاضرا الصلب السيد هو
 انطيفوس الذي قتل يوحنا المعمدان وللسايل ان يقول ما هو النب الذي
 دعا بيلاطس الى ان اسلم السيد الى هيرودس فيقال ان ذلك لثلاثة
 انواع اما الاول ان بيلاطس كان يمينه وهرودس على علقه وكان
 هيرودس في ليا على الربع المعروف بالجيل وقد حضر اليه وتسلم في
 ذلك الوقت فلما قال اليه يوشع بيلاطس عن السيد انه يفتن الشعب
 ويعلم في جميع اليهودية وابتدأ من الجليل الى هنا فلما سمع بيلاطس قولهم
 لجيل سالم اهل جليل فلما علم انه سلطان هيرودس اسلمه اليه حتي
 يكون شبا للصلح بينهما والتالي انه بيلاطس كان يريد ان يترك
 مخرج السيد ويقله لغيره بكل وجه فلم يقد من شناعة اليهود بان
 يتصغر النفاق فقصدا فقلده هيرودس وكان هيرودس يفتني
 ان يراه وكان يحوال ان يعاين منه اياه فلما سألهم كلام كثير
 فلم يجبه شي فاحقره واستمر ابيه واسلمه الى بيلاطس والشب

الذي منه ان يقول اياه ليرود من هو ان التدبير الذي اتي من اجله قد تم
وما بقي له غير اخر سوى الموت وكل هذا لم يتكلم الله في الثالث لا يتم
قول الكتاب قامت ملوك الارض وروما ما واثقوا جميعا على الرب وعلى
مسيحنا فهداهم ورد من كان ملكا وصار شيئا ويلاطس هو ريس
ومقدوناه كانت اليهود كانوا يتولون الرئاسة قوم بعد قوم فهو لا هم
الملك والارمن في الذين ذكرهم النبي وقوله وفيما هم خارجون وجدوا
انسانا قروانيا اسمه نعمان فتخروا ليدعوا صليبه واثوابه مكانا يسمى
الحاجلة وتغيبه للجمعة واعطوه خلاصا لوطا من فراقه ورد ان
يشرب ولما صلبوه قسموا ثيابه بينهم واقتروا عليه وجلسوا هناك
ليحرقوه وجعلوا فوق راسه لوحا مكتوبا هذا هو يسوع ملك اليهود
فقوله وفيما هم خارجون يعني خرجهم من المدينة لان بيلاطس لما اسلمه
اليهم هروا به وضربوه ولبصقوا في وجهه مضوا به وجعلوا صليبه وجعلوا
شعلا الكتاب فلما وصلوا باب المدينة وجدوا نعمان القرواني فتخروا
ليحمل صليبه الي مكان يسمى الحاجلة يقتفي اربعة انواع الاول ان اليهود
وجدوا القابيل فكفوا ان يحمل صليبه للاستمنزاة والثاني انه

اراد

اراد ان يحمل قوله بالفعل لانه قال من يحمل صليبه وتبعه لا يستطيع
ان يكون له ثقل والتاكت ليعلم ان الناموس الاول كان جميعه على
سبيل الوز والاشارة والمثال وهذا ان ابراهيم لما اراد ان يقتله ابنه
اشعاق قربانا لله حمل اشعاق الحطب والشكيب الى الموضع الذي اراد
ابراهيم ان يذبحه فيه وعند ذلك ربطه ابراهيم على الحطب الذي في حمله
وهو يذبحه حتى فداه الله بالحرف كما شهد الكتاب وهكذا السيد حمل
لخشب التي تسمى عليها وجعل نفسه كالخروف وقدمه قربانا حتى
فدا ادم وجميع الذين والاربع ليقول النبي ان غلاما ولدنا وابنا
اعطينا لان الله معنا الذي تملط الله على منكبنا لان الله معنا ويدعنا
اسمه ملك المشوك العظمي ان الله معنا واما حمل الصليب نعمان وكسر
صليب عليه فهو دالة على ان السيد صلب عليه ولم يستحق الصلب والمكان
الذي كانت النار ادمية وذلك ان نوح لما دخل السفينة اخذ معه
عظام ادم ولما خرج منها اعطاها اولاده الثلاثة وقمر الارض
بينهم وكانت يوشليم قسم شام فدفنت فيها النار ادم بالسرا لاني
لا يصلي عليها السيد ذكر خلاصا لاطروا الصليب كان على
فراد الذي منه نشأت الخطية وانفوجا عن المنسرين على الجبل

الذي عليه السيد هو الذي غلبت فيه الشجرة التي خرج منها الخوف
 الذي قبل الله به الشقاق من المذبح وفيه رجع ابراهيم لقربان الله وفيه رفع
 ملكيصادا كالكاهن لقربان الله وللسايل ان يقول ان متى يقول في
 بشارته اخبر اعطوه خلاص فداق لم يرد ان يشرى من قهر يقول اعطوه
 ثم ان لم يخذها وهذا خلاص ينسبها فيقال ليعاد الله في الخلاص وانما اشاد
 متى يقتصر اخبر ولا اعطوه فخلاصا وطاهر ولم يرد ان يشرى ثم اعطوه
 تانيا حتى ان كاشد من قهر فلم يخذها لانه في الحق الخلد والرفق
 وفي الثاني لما اعطوه الخمر فلم يخذها وهذا هو الدليل على ان المبشرين
 لم يخلعوا وللسايل ان يقول اية حاجه دعت الي ان يفدهم والسيد
 في ذلك الوقت شيئا هدير الضعيف فيقال ان اليهود كان لهم
 عاد جاري مع الذين يذبون من اهل جنسهم مردبا يقتضون موت الصليب
 ان يشقوا حرقا طيبه حتى يتجدد جسمهم فتموت عليهم احاطه بالمساكين
 وكان ذلك من منبر على شبل الرحمة ورجعت حقتهم على السيد
 اعطوه خلاصا لكي يردوه وجماعا على اجماعه وللسايل ان يقول اما هو
 النب الذي دعاهم الي ان يخلطوا في الضعيف الذين قد قدوهما اليه
 مر فيقال ان ذلك كان لغيره الحق الشبه من ابيه والثاني ليعم قول
 الكتاب

الكتاب جعلوا في طاعا مراء وللسايل ان يقول ان الموت اقولنا كثر
 فاما هو السب الذي اوجب للسيد ان يختار لنفسه موت الصليب فيقال
 ان ذلك كان منه لعدله اقول الحق في تركت من القهر عناصر في الماء
 والتراب والماء والتراب فكان قصد السيد ان يفد من جسمه الكريم
 هذا العناصر لاربعة كل عنصر مغره فقد تروا عنصر الماء بجسمه
 الشريف في وقت الموحديه وفي الثاني قد تروا عنصر الماء من غنامد باسحق
 الاصنام بارفع جسمه الكريم وهو على عود الصليب وفي الثالث قد تروا
 عنصر التراب بدفن جسمه المطهر فيه وفي الرابع قد تروا عنصر النار
 بجسمه المحيي عن صغوره الي السما يصبوه فيها والنوع الثاني
 اراد به ان يفدينا هذه العلامة وهو ان يخلصه المعذب صعدت
 الطبيعة البشرية من الارض الي السما والنوع الثالث من اجل ان
 الشيطان وجوده في الهوا ان يكون مقبوض فاردنا ان نخرج من افعام
 وقهرهم فيبأ والنوع الرابع من اجل ان الموت دخل على الجنس البشري
 بالشجرة التي كانت وسط الفردوس كذلك الخشب التي صلب عليها
 في وسط الدنيا تجددت الحياه الدليه للجنس البشري وقيل الموت
 والنوع الخامس ليعلم ان الناس القيق كان على شبل المثال والرمز
 وذلك ان بني اسرائيل لما كانوا اسارى في الطريق ظالمين بلدا

تدبروا على الله وعلى نبيه موسى كما شهد الكتاب فبعت الله فيهم حيات
فخر قد مشيتموه فليست فيهم وفات كثير من فأتوا إلى موسى وقالوا أنا قد
أخطأنا إذ قد مرنا في الله وفيك ادع الله في أن يرسل عنا حيات
وبإمر الله صنع موسى ثيابا من خالص وعلقه على علم وكان أي نشان
للعرجية فينظر إلى الثعبان النحاس المعلق بياض حي وهذا
إليه إنما كانت أشاره بأن لنبدى سيطر وكل من يؤمن به يصير إلى
الحياة الأبدية وينتقم من موت الخطية وللشليل أن يقول إن
الكتاب يشهد أن السيد قال للنشوة اللواتي كن يبدنه وينكر
عليه يا بنات يروثليم لا تكسرين هذا لكن ابلين عليكم ولاد كن لانه
نستأني يا مرقس قول فيها طوبا للعواقر والبطون التي لم تزل والتمس
الزمن توضع حينئذ يقولون للجمال اتبعي علينا والأكام عظيمات
وإن كانوا يفعلون هذا ليعود الرطب فماذا يكون باليابس فما
كان القصد بهذا القول فيقال إن السيد قصد بذلك شعائر اليهود
عائشيين عليهم من الرقيم من الشدايد ويطعمهم بما قد فعلوه به أي
اعتبروا بما تفعلون في اذ كنت ليس في خطية تخرجني عليها
ولأننا مستحقون منكم أن تسمعوا في نظره اذ ربه وقد جلبتم على الهزوة
والخروجي

والخروجي والاستغفار والموان والضرب والخروج لك كما القتل فاعشاه
أن يكون لكم انتم يا ارباب الثعبان وكل خطية عظيمة بما ينزلكم
من الشدايد والاهوال الذي انتم مستحقونها ولشاهد الشدايد
إلى ما ينزلهم في هذه الدنيا من الرقيم وذلك أن طيطس بن سبستيا
لما حاصرهم في يروثليم اشتد بهم لجمع حتى الجاهل إلى كل الخيشون والجور
والخلقان إليها له والامر بهم إلى أن ثبوت أمرهم منهم بالها
صغيرا وأكلت من لحمه وكان بعضهم يتبعون الدناير والقطع الذهب
ويجربون إلى الروم ويستأمنون ليهم فإذ أصاروا عندهم وأكلوا
الطعام حينئذ يخرجون إلى الجبل ويفتشون غايصهم ويأخذون
منه ما اتبعوا فيستلمون به ويصرفونه في نفقتهم وهذا الامر
سبب لهم شر عظيم وذلك أن الروم الذين كانوا قد رفقوا لهم لما
راؤهم من ضررهم لما فطنوا بما كانوا يفعلون فبست قلوبهم عليهم
فأقبلوا على كل من خرج اليهم منهم وجمعوا ويشقون بطونهم ويفتشون
أخفاهم ليعلمون أن تجدوا فيها ذهباً وهذا الوصف هو بيشير من
كثير وأخر الحال أنه ملك المدينة منهم وقتل أكثر الذين وجدهم
فيها ولم يبق منهم إلا من قد استسلم للعبودية وهذا جميعه

من نبت ما يصيبهم من عقاب لآخره لرحمة ونباح وقوله وما صلوه قنوا
تياه بينهم واقترعوا عليهم وذلك ان الكتاب يشهد انهم جعلوا تياه
وقيصه اربعة اجزاء كل جزء لولد من الجنة فكان القيص غير محيطة من
فوق بل فسوجا كله فقال بعضهم لبعض لا نشقه لكنا نقترع عليه لمن
يصير لكي يتم قول النبي لما طبت في كلاب كثيرة اكنتم من جاعة الاثر
تقبوا ايدي ورجلي فزعزعو جميع عظامي ونظروا الي وشتموني وقنوا
تياه بينهم واقترعوا علي لباي وقوله وجلسوا هناك ليجرثوه وجعلوا
فوق راسه لوحا مكتوبا هذا هو يسوع ملك اليهودا لبس الذي من اجله
كانوا يجرسونه هو ان يات به كاست مجرمة وكان استجر استهم له حتي
يشاهدوا ما يكون ثم امره ان كان له قوة وقدره ينزل عن الصليب واما اللوح
الذي جعلوه فوق راسه وكتبوا فيه هذا يسوع ملك اليهود فكان ذلك
لنوعين الاول اجمعوا ذلك الكتاب مخزجا الحروفية والثاني فكان
منهم علي شيل القوية بانه كان منافقا لهم ذلك فيجب عليا ان تعلم بعد
ذلك ان هذا الامر وان كانوا قد جعلوه مخزجا الحروفية والقوية عليه فان الله
فيه اسرار خفية مندفه فيه لان الكتاب يشهد ان لكتابه كانت
بالعبرانية واليونانية والرومية واوعظا الكهنة قالوا لبلاطس
لا تكتب

لا تكتب انهم ملك اليهود لكرهوا ان يملك اليهود لاجاب ببلاطس ما كتب
قد كتبت فيبدأ هذا القول ان الذي كتب ببلاطس هو مكتوب قريما وان
وان ملك الكتابه التي قد كتبت بخطوط شعوب مختلفة في اجنوا للناس
في ليله علي ان جميع الشعوب تعبدون له ويشبع الله من جميع الاشياء
وقوله وحسينا صلوا معه لصين ولحد من يمينه والآخر من شماله وكان
الاجناسون به يحركون رؤوسهم ويقولون يا ناقص الهيكل وابنيه في
ثلاثة ايام خلص نفسك ان كنت ابن الله فانزل عن الصليب وهكذا
روينا الكهنة والكتبة والاشيوخ والفرسيون يهزون به ويقولون
خلص آخرين ولم تقدر ان تخلص نفسك ان كان هو ملك اسرائيل فلينزل
الآن عن الصليب لنؤمن به ان كان ملكا علي الله فلينصبيه الان ان كان
يحببه لانه قال لنا ابن الله وهكذا اللسان للبلاد صليبا معه كانا
يعبران ومن شئت ساعات كانت ظلمة علي الارض كلها الي الساعة
السابعة بحسبنا ان تعلم ان لبس الذي اوجب ان يصلوا معه لصين
كان لنوعين الاول ان اليهود احسوا ان يصلوا معه لصون ليعبد
في اعدا من ارتكب لدغوب وينظر به انه من جملة الاشرا وارباب
البعثات والثاني ليم قول الكتاب انه يحصى مع الائمة والسبب الذي

من أجله كان المجتازون به يحتركون رويهم وروؤس الكهنة
والكهنه والشيوخ يهزون به ويحترقون ويحتركون رويهم ويقولون ان
كنت ابن الله فانزل عن الصليب فكان ذلك لعدت انواع الاول انه كان
على شبل التعريخ له والثناء به والثاني ليم قول الملك اب اجتمع علي
الاشرا وروؤسهم القوا ولم يندوا اخرون في وهرؤا في صرؤا لبنا خسر
علي وكما يقول الكتاب ايضا كل من ابني معتين تكلموا بشفاهم وحرؤ
وهزوا رويهم وقاوا ان كان ابن رب فلينجيه وليخلصه
ان كان نجيه والنا لثان الشيطان كان بحكمته وشحرؤ قد حقق
في نفسه انه ابن الله من كثرة الجبابرة التي صنعها وعظمها فكان
متخوفا منه ومخدر من لتقربا اليه فاداما راي ضعفا بشريا ونقص
معرفه اوشيا ما كان السيد يفعل به بالقدح في سحر لاهوته عنه
قد اطر وانقصر انه ليس بالاه ولما راه مستمر علي الصليب توهر ضعفه
ونقصه حينئذ لحرؤ عليه من تحزؤ به لكي يتحقق ضعفه لكنه قال
بحكمته الشريفة ان كثرة الهزؤ وتفيضه وتخرؤه الي ان ينزل عن
الصليب لكان له استطاعة والمعتري ان يقول ان الكتاب
يشهد ان السيد قال اغفر لهم يا اباة فانه لم يفعلوا ما لا يدرؤ

ولا

ولا يخلو هذا القول من احد نوعين اما ان يكون قوله مقبولا فقد
غفر لهم واما ان يكون قوله غير مقبولا فهذا امر ينبغي عنه الالهية
فيقال ان السيد اراد بهذا القول عدت انواع الاول انه اراد
ان يكمل قوله بفعله ودان انه يقول اجبا اعداكم واحسنوا الي من
يسفضمكم وصلوا علي من يحزنكم والثاني انه اراد ان يشك خسر
السخط في ذلك الوقت ولا يشرع بما جلت خسر العقاب لا يستظا
هم والجوع الي الحق والتوبة من المعاصي فالذي رجح منهم الي
ايان الحق واقطع عن الخطايا وتبع الصواب في المشتاق دون
افعاله السا لفة فوالذي قبلت صلوات السيد فيه فاما المصير
علي الكفر بالخلص فانه يكون تحت العقاب لليم لامر لجل التعدي
علي السيد في وقت الصلب بل ينجل حيث نيتة وما رايه في هواه الباطل
والثالث انه بهذا القول في مثل ذلك الوقت صار لنا المودج الصالحا
لكن تشبه به وبشيرة الفاضلة في المغفران من ياتي اليها ولو بلغ
جهنم فيا الي القتل لا تحقد عليه ولا تستغفر عن محبته وايقا
الاستغفار عنه بل ان يكون مجسسين اليه ومستغفر عن محبته وللثا

يل

ان يقول اني مرقس يقولان في شهادتهما ان اللصين كانوا يعيران
السيد ولو قال يقول في شهادته ان ولدنا من عاملي الردي اللذان
صلبا معه كان بخلاف ويقول ان كنت انت المسيح فنج نفسك وخبيا
فلجابه الآخر وانتصره وقال لما تخاف الله اذ كنا باجمعنا تحت هذا
وكن بعد اجوزينا كما نستحق وكأصنافنا واما هذا فلم يصنع شيئا ثم
قال ليسوع اذكرني يا رب اذ جيت في ملكوتك فقال له يسوع الحق اقول
لك انك اليوم تكون معي في الفردوس وهذا الخلق بين المبشرين فيقال
انه لا خلق في ان الذين كانوا في يدي الخلق المتقين على الاقترى عليه
موافقه للجنود واليهود وكان قصدهما بذلك ان يكون من الحاضرين
من يسعي في خلاصهما من الموت في ذلك الوقت فلما غشت الظلمه
على الارض كلها في ذلك الوقت استحال الذي عن يمينه الى الخبير
وتب الذي عن شماله على اليسار الذي هو عليه واستمر على الاقترى
وعلى التجديف مفردة ولما اراد في الامر ان يستمر الذي كان على اليمين
ويجده واعترف لله بذنوبه وقال انبيء صادق ان الله لم يظلمنا
والذي نحن فيه بجنازنا بعد ان نستحق كما صنعنا ولما عرف السيد نحن
نبيته عضده بعنايته الالهيه وكل على روح قدسه فصرخ من
جميع

انك

جميع العجاسات وحيداً اضاءت نفسه واشتتار عقله ووصل
مرتبت الكمال والوقت الحاضر وقف على علم الحقايق لي ان ابصر
مجدا للسيد وعظمته وانه الاله الذي ان والمجازي على الاعمال والنيات
ولهذا قال اذكرني ايها الرب اذ جيت في ملكوتك فمر مرقس قال
صوت ما كان منهما اولاً ولو قال صوت ما كان منهما اخيراً ومن
هذا علمنا ان المبشرين ليس بينهم خلل وقد صرح علينا ان نذكر في
هذا الموضع الفضائل الذي جعل الله بها هذا الانسان في عاقله
ولحد الفضيله الاولى انه كان في اولته رجلاً عاقلاً وقد بقي
حياته جميعاً في القبر والقتل والشفقة ونظاير ذلك ولما انقضى
عمره ولم يبق من حياته الا ساعة واحد اقتضت نيته الصالحه
لنفسه بان الله لم يظلمه فيما انزل به من العقاب والشدة والموت
الردي وان الذي قدنا له من الله باستحقاق وعدك من اجل القبر
بدنوبه لله واقرارته ببسواهما له واسناده اليه على نفسه نادماً
قاصداً للقران من الله بنيه خالصه رفدته العناية الالهيه
بشارق روح القدس فيه فتظهر من جميع العجاسات وارتفع
الى درجة الكمال بحق الفضيله الثانيه انه لما راي رفيقه مستمراً

فه

على التجديف والتعزيع استخذه ووجهه ثم وعظه من أجل صدق
نيت في المختصر وصل إلى علم الحقايق وحسبنا علم بان المختصر ليس له
خطية الفضيلة الثالثة انه ما ونظر حقيقة وانكر نفسه معه
فيما قد سبق منهما من الاعمال الربية وشهد للسيد بالبراه من جميع
الشجاعت اراه الرب مجد الفضيلة الرابعة لما راى مجد الرب
تحت عينه انه ابن الله لا محالة فادار وجهه إليه راجعاً منه التوبة
ولما علم الرب بضميره الصادق في طلب الغفران اضا نفسه وادار
عقله حتى امتدت بصيرته بالسر للدهي الى ان راى لسيدي تيا في
سحاب السما مع ملائكته بالمجد العظيم ليدين الاحياء والاموات
ولما استنق له هذا السر قال اذكر لي يا رب اذ لجيت في ملكوتك
والفضيلة الخامسة ان الرب لما تحقق له منه انه طالب البهيات
الابدوا لنعيم الليم لطلب البهيات هذا العالم ونبيلة قال
ليس ابعد عنك وتجي نعيم اليوم تكون معي في الغدوس وهذا
القول الذي قاله الرب للمص دلالة على يوم الجمعة وهو على الصليب
اخرج جميع النفوس المحصورة في الجحيم تحت سلطان ابليس واجاز
نفوس الابرا الى الغدوس كما قد اجاز نفوس ذكك المصلح امون وبقيت
نفوس

نفوس الخطاه خارجاً موكلة بها ملايكتهما إلى يوم الدين ذكر ذلك الوقت
فتفتح الله باب الفردوس للنفوس الأبرار الذين يضيئون بأيمانهم
وأعمالهم المعروضة عليهم وذلك لأن عند مفارقة نفوسهم أجسادهم
تفنى مع ملايكتهما إلى نياح الفردوس على مقدار طبقاتها فيه وللنساء
أن يقولن نفوس الخطاه التي أخرجها الله من أسرار الشيطان
وصارت في التوكل مع ملايكتهما ولم يسمع لها بالدخول في جنة
نفوس الأبرار إلى الفردوس فحينئذ إن صارت مستقرها فيقال
أن بعض المفسرين قال لها استقرت مع ملايكتهما في أقصا المهوى
فرد عليهم جماعة من العلماء المفسرين وقالوا إن الأمر في ذلك
على غير هذا النظام لأن تلك النفوس التي بقيت خارجاً ولم تدخل
الفردوس توكلت بها ملايكتهما وصيرتهما إلى الأرض التي حول
الفردوس لأمر لاهي وكان ذلك النوعين الأول منها أن آدم لما
خالف وصيت بآريه وجمع إلى طاعة إبليس أخرجوه الله من الفردوس
إلى تلك الأرض ثم لعنوا وأمرها أن تنبت شوكاً وحسكاً والثاني
منها أن تكون النفوس في كل وقت مفردة عند هي نفوس الشهداء
والأبرار إلى الفردوس وهي متجلدة بالنور وأوقار حينئذ تنتهب

منها ونجا حشره ونادى ويقول لتايل ايضا ما هو السبب الذي منعه به
المبشرون من تسميت النصارى فقال ان انما هم لم يكن الي ذكرهم حمله
ولا داعي وانهم لم يتكلموا ذلك السبب قد ضيعهم منه وانما الداعي الي ذكرها
لكي تشهدوا بقول النبي انه يحيي مع الامته ولكي يوردوا فضيلة الواحد
ورديت الخبز وقد دعا بعض المفسرين ان اسم الذي كان مصلوبا عن
اليمن دعيانرا واسم الذي كان مصلوبا عن الشمال طيطس وان الذي كان
عن اليمين صارت نفسه مع نفوس الابراهم لئيم قول الكتاب انه يميز
الخراف عن ميمنه والجد عن شماله والذي كان عن الشمال صارت نفسه
مع نفوس الانبياء لئيم قول الكتاب انه يميز الجد عن شماله فبعد
صلب الرب كان للنصارى اليمين اولك ابقا لي نعمت الله وتوابعه وكان
النصارى الشمال اولك ابقا لي نعمت الله وعقابه وهذا هو كان الداعي
الي ايرادها ذكرها وبسبب التايل ويقول هل المردوس الذي صارت
اليه نفوس الابراهم المملوكات التي تسبق الوعد بها في الانجيل للمؤمنين
الكاملين بل لوصايا امر المردوس شي والمملوكات غير ذلك فيقال ان
المردوس غير المملوكات لان المردوس خلقه الله شرقي الارض
وهو الذي كان ابونا ادم فيه قديما وفيه اكل من ثمرت الشجرة
التي نهاه الله عن الاكل منها ولما ذاقه اكل منها اخبره الله

منه وغلق بابه فلم يعود احد يدخل اليه الي حين صلبوا السيد فرج لك
الوقت فتفتح بابه واجازا اليه نفوس الابراهم التي كانت محصورة في
اسرايليين وحبيد اسلمه الله ايضا لنفوس المؤمنين الذين ارضوا
باليهم واعمالهم لكي يتنفيح فيه وتستريح الي حين ظهور ربنا في مجده
للمدانيه فاما المملوكات فانها مرتبه من المراتب السماويه وليس
اليها وصول قبل القيامة فاذا ما قامت الاموات وصارت
نفوسهم الي اجسادهم ثم عرضوا قدام الملك القدوس في الدينونة
حينئذ يميز بعضهم من بعض ويجعل الصديقين عن يمينه والخاطئين
عن شماله ويأذن للابراهم لارتقا الي المملوكات السماويه التي لا
يقدروا واصفون علي وصفها ووصف نفوسها وطيب نبيها فيرتفعون
اليها ويصير لهم رعا يتصرفون فيه بحياه مودة وعيشه لذيده
ثم يجلسون بالزمره الملايكه في مجيدهم وتقدسهم بالانتماء
الابدي والسرور السرمدي وقوله من بست ساعات كانت
ظلمه علي الارض كلها الي الساعة التاسعه وينبغي لنا ان نعلم
ان هذه الظلمه التي غشت الارض كل الوقت لم تكن كما كسوف
الذي مر بشاره ان يحدث في زمان بعد زمان بل انها كانت

طيين

تكون

بقدره من الله لحدثها في ذلك الوقت بغير كشف ودلك ان الكسوف
الشمسي انما يحدث من قبل القزادها مع الشمس في برج واحد
وليس يكون ذلك من قبل القمر فمعرفة بل يكون معه الكوكب المعروف
بالجوزهر وايضا الكوكب المعروف بالبطين فاما قاما كلاهما تحت
الشمس بان تتعامه كشفت لوقتتها واذلكت والمقصود ان الشمس والقمر
لا يمكن ان يكونا في برج واحد الا في اخر الشهر والوقت الذي
صلب فيه السيد كان منتصف الهلال ويكون القمر حينئذ بدلا واقفا في
امثلية وكان بعيدا عن الشمس ما يهولنا من درجه وهذا دليل على ان
هذا الظلمه لم تكن من الكسوف والسبيل ان يقول انه غير ممكن
ان تكون ظلمه في المنها بغير كشف الشمس فيقال ان تلك المظلمه
التي كانت في تلك الوقت ليست ظلمه كسوفيه بل كانت ايه اجرت
الغفور ودلك لانها كانت ظلمه من شدت ادلهاها شبهت
بالظلمه التي كانت في يد الخليفه قبل ان يخلق الله النور ودلك
انما عت الارض كلها والقمر بينهما وبين الكسوف الشمسي تباين من
عدت وجوه الاول حدها في المبداء واما الكسوف الشمسي فيمكن ان
يكون الا في اخر الشهر ولتاني انها اقامت ثلاث شحات
والكسوف

٢٢٤
والكسوف فيمكن ان يثبت مثل ذلك الوقت والثالث ان الكسوف
ايضا لا يمكن ان يشمل الارض كلها وهذه عت الارض جميعا والسبيل ان
يقول ايضا قاضي القضاة التي استغناها بحدوث هذه الظلمه فيقال
ان ذلك لعدت انواع الاول منها انما دقت وورثت في اقطار المثلث
ودلك ان منجي مصر دونها وحكموا فيها بان لاه قد امر وسحرت
بايلور وخوها وحكموا فيها بان يكون شياطينهم قد هزمت قوته وانكشرت
شركته وحكموا اليونانيين انكروا امرها ودونوها وحكموا فيها بجايب
تحدث على الارض مستغربه ومن هذا الحكم كان ديوناسيوس القاسي
الذي امن بالمسيح في زمان التلاميذ وذلك انه لما بلغ وسع بالاسيه
المصلوب في بشري التلاميذ استبخت عن الامر واستخبر عن الزمان
فاشعر بذلك على جلسته وما ذكر والله ان الظلمه قد غشت الارض
كها في وقت صلبه استدل بها عن الايمان بالحقت لانه بحكمته كان
متفكرا في ان تلك الظلمه انت بغير كشف ومن هنا تتلمذ على يد
بولس الرسول وقصيت حاله مسطوره في كتابه الذي انشاه وهو
معروفه والتاني لاجل ان الاقدام على السيد الذي هو نور العالم
وصلبه اوجب تلك الظلمه التي كانت في وسط النصارى ليستدل
بها على عظم جلاله وقدره وان الذين قد قدموا عليه وصلبوا

لَا يَسْتَعْتَقُونَ أَنْ تَطْلُعَ الشَّمْسُ عَلَيْهِمْ وَاللَّيْلُ لَيْتِمُ قَوْلَ الْكَتَّابِ أَنْ
ذَلِكَ لِيَوْمٍ يَكُونُ مَظْلَمًا وَالشَّمْسُ تَقْرُبُ فِي بَعْقِ النَّهَارِ وَعِنْدَ
الْمُتَأَيِّلِينَ لُزُومُ قَوْلِهِ فَلَمَّا كَانَتْ السَّاعَةُ الْتَأَسَّعَهُ صَرْخُ يَسُوعَ
بَصَوْتٍ عَظِيمٍ قَالُوا لَوْ لَوْ يَا لِمَا شَافَخْتَنَا يَا لَدَيْ غَيْسِيرِهِ
الْإِلَهِي لَأَيُّ مَا دَأَّرَ كُنْتَنٍ وَقَوْمٌ مِنَ الْيَهُودِ لَمَّا سَمِعُوا قَالُوا هُوَ يَبْذُرُ
إِيلِيَّا وَلَوْ قَدْ أَسْرَعَ وَلَحْدَمْنَمُ وَلِذَا اسْتَفْجَاهُ فَمَلَأَهَا خَلَاوُفُ وَفَضَّهَا
فِي قَبْصِهِ وَسُقَاهُ وَالْبَاقُونَ قَالُوا دَعُوهُ لِنَنْظُرَ هَلْ يَأْتِي إِيلِيَّا
لِنَجِيهِ فَصَرَخَ يَسُوعَ بَصَوْتٍ عَظِيمٍ أَسْلَمَ الرُّوحُ يَجِبُ عَلَيْنَا أَنْ
نَعْمَ أَنْ لَسَيِّدًا دَبَقُولَهُ الْإِلَهِي لَأَيُّ مَا دَأَّرَ كُنْتَنٍ عِدَّتِ أَنْوَاعُ الْأَوَّلِ
مِنْهَا أَنَّ الشَّيْطَانَ لَمَّا حَسَدَ أَدَمَ عَلَى بَابِئْشَةِ وَمَجْدِكَ الَّذِي كَانَ لَهُ
فِي الْفَرْدِ وَفِي اخْتِفِي فِي الْحَيَةِ وَخَدَعَهُ حَتَّى خَالَفَ أَمْرَ بَارِيهِ وَطَلَعَتْهُ
لِلشَّيْطَانِ وَاسْتَعْبَدَ الشَّيْطَانُ أَوْلَادَهُ جَمِيعَهُمْ لِأَجْلِ انْهَامِ أَوْلَادِهِ عَبْدَهُ
وَمِنْ حَيْثُ أَنَّ الْجَنْسَ الْبَشَرِيَّ صَارَ عِبِيدًا لَهُمْ لِلشَّيْطَانِ حِينَئِذٍ
افْتَخَرَ الشَّيْطَانُ بِحُكْمَتِهِ الشَّرِيرَةِ عَلَى حُكْمَتِ اللَّهِ وَفَضْلِ اللَّهِ لَيْسَ
عِنْدَكَ تَذْيِيرٌ أَخْرَجَ بَعْدَهُ أَنْ يَخْرُجَ جَهَنَّمُ تَحْتَ سُلْطَانَةِ الْإِلَهِ
يَعْتَسِفُهُ وَيُلْخِطُهُ مِنْهُ ظِلْمًا بِقُوَّتِهِ أَلَمَّا لَبَّاهُ وَكَانَ ذَلِكَ لَظُنُّ مِنْهُ
تَعَاظُمًا

٢٢١
تَعَاظُمًا عَلَى اللَّهِ وَافْتَخَرَ بِحُكْمَتِهِ الشَّرِيرَةِ وَلَمَّا عَلِمَ اللَّهُ سَطْوَتَهُ شَأْنًا
بِحُكْمِهِ وَفَضْلِهِ وَكَرِهَ أَنْ يَخْلُصَ صَنَعَتْ يَدِيهِ الَّذِي أَخْرَجَهَا مِنَ الْعَدَمِ إِلَى
الْوُجُودِ مِنْ شَرِّ الْمَهِلِكَةِ وَتَذْيِيرُ الْبَحْرِ الْعَقُولِ وَافْتَدَاهُ الْظَنُّ
وَذَا لَنْ لَا زِيَا الَّذِي هُوَ مِنْ زِيَا عَلِيٍّ غَيْرِ ابْتَدَأَ الَّذِي لَهُ كُلُّ عَظْمَةٍ وَكُلِّ
كِبَرِيَّا رَفَعِي الْمَوَاضِعَ عَنْ رَفْعِهِ وَالضَّعْفَ عَنْ وَثْقِ كَلِّهِ يَهْوِي بِذَلِكَ حُكْمُهُ
الشَّيْطَانُ لِلشَّرِيرَةِ بِحُكْمَتِهِ الصَّالِحَةِ وَيَصِيدُهُ بِثَلَاثِ الْمَصِيدِ الَّذِي
الَّذِي كَانَ أَصَادَهَا الْإِنْسَانُ قَدِيمًا الَّذِي يَخْلُصُ الْإِنْسَانَ مِنْ نَسَبِهِ
الْمَهْلِكِ بِغَيْرِ عَسَافَةٍ وَلَا قَهْرٍ بِالْإِلَهِ لِفَالِهِ لِيُعِيدَنَا إِلَى رِيَّاسَتِهِ وَمَجْدِكَ
وَنِعْمَتِهِ وَذَلِكَ أَنَّ الْبَلِيَّسَ اخْتَفَى فِي الْإِنْسَانِ فِي حَيَةِ حُكْمَتِهِ الشَّرِيرَةِ
حَتَّى أَخْرَجَهُ مِنْ طَاعَتِ بَارِيهِ وَحَكَمَ عَلَيْهِ بِالْمَوْتِ كَذَلِكَ كَانَ تَذْيِيرُ
إِلَهِ اسْتَتَرَ فِي إِنْسَانٍ حَتَّى اخْتَفَى عَنْ بَلِيَّسَ شَرِّ لَاهُوتِهِ وَأَخْرَجَ
الْإِنْسَانَ مِنْ تَحْتِ سُلْطَانَةِ وَوَرَثَ حَيَاتِ الْبَدَنِ فَا لِمَصِيدِكَ
الَّذِي عَلَّمَهَا الشَّيْطَانُ لَأَدَمَ أَوْقَعَ إِلَهُ الشَّيْطَانِ فِيهَا وَتَمَّ قَوْلُ
الْكِتَابِ جَعَلَ جَبَابًا وَتَغَفَّرَ نَفَعَ فِي الْحَفِيرِ الَّذِي عَمِلَ وَيُورِدُ شَرَّهُ
عَلَى رَأْسِهِ وَظَلَمَهُ يَنْزِلُ عَلَى هَامَتِهِ وَلَمَّا كَانَ الْبَلِيَّسُ مُتَوَلِّيًا عَلَى
الْجَنْسِ الْبَشَرِيِّ وَجَعَلَهُمْ يَخْدَعُهُ تَحْتَ سُلْطَانِهِ جَعَلَ أَنْ يَخْسَنَ

كل واحد منهما يعرف ان هو اهل ما يمل اليه فافتنهم بالخطايا حتي
تعبوا لها وصار كل من نموت منهم يقبض علي نفسه ويهيئ لها
الحاوية واسمعت حالته علي ذلك لنظام خمسة الاف وخمسمائة
سنة ولما تجسد ربنا وولد من مريم متأنسا ظن به الشيطان
انه انسان كما هو كمثل بقيت الناس الذين تحت سلطانه وكان
السيد اذا ما اراد ان يعمل معجزة اخذها الي ان تكون تلك المعجزة
مقتزاة بشي من النقايص والضعف البشري اما تضعف كده واما
طلبه عند ابتها او عند نهايتها ليغني بذلك من ابليس لاهوته
ودا ان ابليس كان يخوف منه متحدا لعند مشاهدته تلك الايات
الباهر يوفي ان يتحقق انه الاله لا محالة فيعلم الربضيه
فيظفر له عجزا وضعف بشري لكي تظفر له نفسه فيه ويظن ان
انسان كما هو وكان المقصد بذلك انه عندما يريد ان يعلم نفسه
ويجبر الميثر للقبض عليه كفعله بنفوس البشر وكيشق الرب
عنه الغطاء ويريه مجد حينئذ يقبض عليه بقوت لاهوته
ويطال به بالديه لكي يخلص منه بدنيه جميع النفوس المحصوره
تحت سلطانه فالشيطان لما ابدى السيد هو مستمر علي الصليب
وتقت

وتقت نفسه بانه انسان كما هو وكبرت طمعه فيه واراد يخلص
نفسه ثم خسر عليه المستهزين والمعيدين استكشوفهم امره فلما
راي السيد هو صابر علي ذلك كمثل انسان ليس له ناصر يقره اليه
منتظر اخراج نفسه والقبض عليها فلما راى لظلمه قد غشت
الارض كلها ولا هاربا وللوقت صرخ السيد بصوت عظيم وقال
الاهي لا الهي تركتني فلما سمع الشيطان منه هذا القول كبرت
طمعه فيه وعادا اليه بسرعه والثاني انه اراد ان يتم قول
النبي في المنور الحادي والعشرون لانه في اوله ابدأ وقال
الاهي لا الهي تركتني ثم وصف فيه ما كان من اليهود في الام السيد
والهزوبه ودلك لانه قال كل من راى حقني تكلموا بشفا ههنا
وهنا واروهم فقالوا ان كان من وتوكل علي الرب فلينجيه
وليخلصه ان كان بجبهه وفيه يقول ايضا احاطت لي عجول
كثيره تيران ثمان اكتنفتني فحتم علي افواهها مثل الاسد
المفترون وفيه يقول ايضا احاطت لي كلاب كثيره واكتنفتني
جماعت لا تشاره تقبوا يدي وجلي وغرغوا جميع عظامي ونظروا
الي وشتموني وشتمواي وقسموا بينهم ثيابي واقتربوا علي لباي

والمعصومان داود وما كان بالذي جرى من امر شيئا من ذلك جميعه
واما هذا فهو قول الله علي لسان نبيه بما سيكون للرب لاله من اليهود
من النفاق لأفعال الرديه القبيحه فكان قول السيد هذا القول
ليذكرهم بما قد سبق في الكتاب من اجله أي آخر ما تنبأ به داود ومن
اجلي بعد قوله الآتي لاهي لما أتركتني وحينئذ ليعرفن أي شرصنعن
وأي هول قد تم اليه والناث انه اراد ان يطرق لنا نحن المؤمنين
طريقا نستلكها متى وقعنا في الشدايد أي انكم لا تعصوا وفي شدايدكم
بأبخر شوكي بل الله وحده لانه باب الحياه والرحمة واداما انتم
فعلتم هذا بنيات خالصه كانت عنايه الله بكم قوية وموئنته
فيكم حافظه وقوم من القيام لما سمعوا اقاوا هو ينادي ايليا والمعا
في ذلك القول الذي قاله السيد باللغة العبرانيه اشتبه
عليهم لانه قال الموي يوي فيظنوا انه ينادي ايليا والمعنا في ذلك
لاشبهه الاسمين عليهم وقوله فاشرع واحد منهم ولحدس فنجسه
وملاها خلا وجعلها علي قصبه وشبهه المعنا في ذلك الكتاب
يقول وبعد هذا علم يسوع ان كل شيء قد عمل لكي يتم المكتوب قال انا
عظشان فكان هنا كذا موضوع ما واخلأ فلو انفعجه من الجمل
ووضوها

ووضوها علي قصبه وادونها من فيه فلما اخذ يسوع الخلق اكرم
الكتاب فاراد بهذا القول جعلوا في طعامي مراره وعند عطشي
سقوني خلأ وقوله والباقون قانوا دعوه لينظر هل يأتي ايليا
لينجيه فكان هذا منهم علي سبيل التشغي والهو وعليه وقوله
وضح يسوع بصوت عظيم واسلم الروح فجعلنا ان تعلم ان اسلم
الروح يدلنا علي انه باينار هات لأخر قهر ولا كان لهوته فارقت
ناشوتها كما قد فرقت من الآدم ومن اجل ذلك انتم عن ذلك الذي
نالتم والموت هو مفارقت النفس للجسم وسيدنا وان كانت نفسه
قد فارقت جسده فان مفارقتها لم تكن مفارقة منفصلة كما تفارق
نفوسنا اجسادنا علي الاطلاق بل انها كانت مفارقة متصله
لان اللاهوت لم تفارق الجسم ولم تفارق النفس أيضا بل كانت
متحد بها جميعا ومن هذا الوجه لم تكن مفارقة نفسه لجسمه مفارقة
منفصلة لان اللاهوت متحد بها جميعا مات لاله بجسده الذي
ليس له خطية ليعطينا نحن الخطاه حيات الأبد لانه بكرمه وكبريت
هته قبل جسده الكبير ما هولنا بأشحقاق الذي هو الموت واما

الذي هو له بحق هي حيات الكبد اعطاهما لنا وصيرنا بجوده وارثين معه
في ملكوته السماوية وحياته الابدية فهذا هو الكرم الغايث الذي
هو افعى غايته كل جوده وقوله فانشق شتر حجاب الهيكل يا تين من فوق
الي اسفل والارض تنزلت وانشقت الصخور وانفتحت القبور
وكثير من اجساد القديسين لتمام قامت من قبورهم وخرجوا من بعد
قيامته ودخلوا المدينه المقدسه وظهروا لكثير من عجب علينا ان نعم
ان السيد كان علي الصليب كانت جميع قوات السمايين معول
صليبه المقدس من عجب من عجب من خطر ذلك الامر ولما اسلم السيد
الروح اراد يشعل الملكيه ان يضرب بشيعة في وسط المدينه
فيقتلها شطرين لكي تتلغ الذين انفتحت مواضعهم علي صليب السيد
فرحمهم السيد ومنعه الا انه لم يعط رحمة بل اشار اليه بان
يضرب بشيعة شتر حجاب الهيكل فخر به فانشق نصفين وكان
ذلك النوعين الاول منها جعل هذا علامه لخرابه فيما ياتي مستانفا
علي ايدي الروم وانما لقول النبي وصار بيتك يا اسرائيل مزلزلا
والثاني منها جعل ذلك علي ابطال الكهوت من اليهود وقرابينهم
وعطلت فواميسهم وانتواع نعمت الله منهم من كل حين والي
آخر

آخر للدهور واما نزلت الارض وانشقا الصخور وانفتاح القبور
فانه كان ذلك لعدت انواع الاول منها لاجل ان الامر كان خطرا عظيما
وهو له شديدا ومن صوبت هذا الامر اضطربت الجمادات والثاني
فانه كان من اجل اليهود نعم يتبعظون نغافهم ويجمعون عن
نغافهم ويتبعظون بلبس الجمادات واضطرابها الذي قالوهم اقنسا
منها واصلت لان لباري جل اسمه كثير مما يدع الناس للناسطين
بما هو غير ما ظن كما يدع بتمام بانائه والثالث من اجل ان الشيطان
لما راي الرب وقد علم ان الله بارادته الاختيارية واسلم الروح اتبع
مسرورا وقد علم اليه بفرح مغرط ان يقبض علي نفسه وذلك انه ظن
بانه انه ثمان ساجد ضعيف فلما انكشوله سر كونه انتسا هاربا
فوجزه الرب وكشف عنه القضا فحينئذ لم يقدر ان يسبح لان
شعاع اللاهوت حصره من الاربع جهات ثم راق قوات السمايين
مرجحه حول الصليب المقدس فحقق من كل الوقت انه ابن الله
تحقيقا شافيا وبقي موقوفا في جوار الهوا ليتنبأ لتما بانته وبه
ولا قدر ان يزوك ثم صور له التي جميع اعماله وما كان يعمده في حقيقه من
المقامات والمناصبات ومن تشديد اليهود عليه فيما قد دوا

بحر أم عليه في أمر وصار ذلك ظاهرا لمشوقا فحينئذ عرف قدامه
الله له على ما قد جناه واستغفر ربه ابن الله بركة علم وقال ان السماء
وما فيها والارض وما عليها لا يقومان بغد وقوفه بين يدي بلا طشحة
بصر ولا ينم ما كان قبل ذلك ويعده ولما علم الله منه هذا الفكرة فغفر عنه
التمناه لكي يكون قيامه بالايام رضا اختياريا ولما تحقق رباطه
وجدا للتمناه وقفا عام السيد خاصة ما دللنا في الانبيا في رفع
التحلكم عنه وانه يستمر على قامته وقاعدته التي هو عليها في الارض
وان يقبل منه في دية دمه الكريم جميع ما هو تحت سلطانه من الجنس
البشري الذين استعبد لهم بحكم حق وكان ذلك في غير قليل
فاجيب سؤاله وحينئذ اصعد السيد من الجحيم واعاده الى
رتبته الاولى واجاز معه الابرا من دريته لما قهر الشيطان
وخلصت البشر من شره وقصت الجبال كالايال والكام كالخراف
وتزلزلت الارض طربا وشرورا لكي يتم قول الكتاب عند خروج
اسرائيل من مصر والعقوب بن شمعيل ابر بر صا يعقودا من قدس
واسرائيل صار سلطانه راه البحر هرب ورجع الاردن الى وادي
وقصت الجبال كالايال والكام والظان وتزلزلت من قدام

وجه

وجه الرب ومن امام وجه الاله يعقوب وقد سبق الايضاح في غير موضع
ان الحقيقة كانت على سبيل المزم والمثال فهذا الذي ذكرها النبي
جميعا في خروج النفوس المحصورة في الجحيم تحت سلطان ابليس
ومن عبوديته المدة لان موت المسيح صار للناس عتق من عبوديت
الشيطان الذي قد دعاه النبي بجر من اجل بوه وعظم حيلته قال
البحر نظره هرب والمغمور انه ليس يظن الامر هو حاسن والبحر
ليس كذلك وانما كان لقول الحق من اجل الشيطان ودعا انوائه
بالاردن لاهر عند مجي السيد ومشا هدت قوت لاهوته وعظمته
ولوا هربا وحينئذ نزل السيد الى الجحيم واخرج جميع الانساري منه
ولما قيل ان يقول ان جسم السيد كان على الصليب في الوقت
الذي خلس فيه الانساري من الجحيم وهذا دليل على انه لم يخلصهم
الا باللاهوت دون الناسوت فيقال ان اللاهوت لم يفترق من
الناسوت فمديدي بشارت الملاك للبتول الى ابد لا بد ولا طرفة
عين ودان معنى الاعتقاد وهو ان اتحاد اللاهوت بالناسوت
والناسوت فهو مجمع النفس والمبدن ولما كان جسم المسيح على
الصليب كانت اللاهوت متحدة به وبالنفس البسيطة العاقلة

الانطقه التي فارقت الجسم علي الصليب كانت اللاهوت متحدة به
بمفارقة متصلة كما قد تقدم القول بديا ما لتفرض الحاقلة الناطقة من
بطل الخافين محصورة ولا محسوسة وكونها تبسطه وتحد به باللاهوت
كانت بقوت الاتحاد مبشرة لاهل الجحيم بالخلاص من غشية الجمعة
التي قبض فيها علي السيد لانها امتدت بساطتها وقوت اتجاهاها
باللاهوت الي قلب الارض حيث كان ادم ودرية وبشرهم بالخلاص
بالشر الذي لا تتركه الشياطين لموكلي بنفوس البشر في الجحيم
ومن ذلك الوقت اشرق عليهم النور بعد الظلمة ومجدوا الله الذي
انقدهم بنوره من ذلك الظلام الذي للموت وبقي ذلك النور عندهم كما لم يرك
حتى عمل النور مخلصا ودليل ذلك قول الملك ابان السيد قال
للتلاميذ عندما اكلوا الفصح ان الذي يجعل يده معي في الصفعة
هو يسلن وقالوا هذا القول وابن البشر ان كل من كتب من اجله ثم قال
بعد هذا القول لويل للانسان الذي يسمي ابن الانسان فنقوله وابن
الانسان ما من كتب من اجله ليس هو بنور الكلام الذي يلقاه ولا هو
مطالب الكلام الذي يبعده ايضا بل انه كالم قائم بذاته ومعني بذلك
قد معني الي الذي في من اجله ومعني اخر ان الكتاب يقول ان يهودا
المستخوي

٢٢٥
الاستخوي لما اخذ الخبر الذي ناله السيد خرج قال السيد لان مجد
ابن البشر ومجد الله به يعني ان ادم ودرية بشر واهل الخلاص ونفوس
عنهم الظلمة تجلوا بالقوة الالهية عندهم وقد مجدوا الله ومعني
اخر ان الكتاب يشهد ان السيد قال لنا قد مجدتك في الارض وذلك
العمل الذي اعطيتني لاصنعه فذلك لان مجدني انت يا ابنتاه
والمعوم ان السيد كان مجده لخلاص البشر الذين تحت سلطان
الشيطان وقوله اني اكلت العمل الذي اعطيتني لاصنعه فذلك لان
مجدني انت يا ابنتاه والمعوم ان السيد كان مجده لخلاص البشر
الذين تحت سلطان الشيطان وقوله اني اكلت العمل الذي اعطيتني
لاصنعه اي ان ادم ودرية قد بشروا بالخلاص والتمتع عنهم
الظلمة واشرق النور عليهم وقد مجدوا اسمك القدوس ومن هذا
نعلم ان النفس البسيطة كانت مشرقة بانجهاها باللاهوت علي ادم
ودرية في قلب الارض من غشية الجمعة الي التاشعة من خارديور
الجمعة عند خروجه من الجحيم فالنفس من اجل بساطتها كانت متمدة
والجسم من اجل كفافته كان غير متمدة وكان علي الصليب مفارقة للنفس
وميتحدا باللاهوت والمشايل ان يقول انه غير ممكن ان تكون نفس

المسيح من يوم الخميس مفارقة جسده واد كان الامر على حجب ذلك
فانقول انه اسلم الروح فواضح ثابت ولا يخجلوا الامر من اشتراط احد
القولين اما ان يسقط القول في انه اسلم الروح واما ان يسقط
القول بان نفس المسيح كانت بقوت اللاهوت مشرقة على ادم وورثته
من يوم الخميس الذي هو عشت يوم الجمعة فيقال ان القولان ثابتان
وليس فيهما ما يسقطه وبيان ذلك انفسنا نحن المخلوقين غير
محصوره تحت اقطار الجسم بل انها متحد به اتحادا طبيعيا
اقنوميا ولها بالسر الاكبر ان تمتد الى حيث يريد الله بها من غير
مفارقة للبدن التي هي متحدة به ودليل ذلك واحد من روضات
العتيقه الذي هو ضايقا للذين وكلمه من روضات الحديثه التي
هو يوحنا الانجيلي صعدت نفسها الى السما ونظرت المناظر
العلويه وكشفت لهم الاسرار الالهيه والخلدان في ان انفسهم
مع صعودها الى السما لم تفارق جسدهما واد كانت هذا حال
انفسنا نحن المخلوقين على هذا النظام فما عساه ان يكون
لنفس المسيح تلك النفوس ومرها هنا تعلم ان نفس المسيح
كانت مشرقة باقنومها باللاهوت على ادم وورثته من عشت
الجمعه

الجمعه ولم تفارق جسده الى الثالثه من نهار يوم الجمعة وقوله فكلير
من اجساد القديسين ليام قاموا من قبورهم وخرجوا من بعد قيامته
ودخلوا المدينه المقدسه وظهروا للكنيسيين بهذا القول هو الذي
الذين قاموا وكانوا من اجل ذلك لملادين تعليمه عند ادره الى اورشليم
وكان ذلك منهم بنيات خالصه فان ادم الخير تعجبه عليهم على
حسب نياتهم قاموا واسلموا وخلصهم فانقدم من خطر موافقت
اليهود على صلبه كما قد اصاب غيرهم ولما ان اخرج السيد نفوس الانسا
من الجحيم الى اجسادهم فعاثوا في قبورهم ولما كان يوم الاحد
بعد قيامته لم يدرجوا ودخلوا الى المدينه المقدسه وظهروا لافانهم
ونسائهم وصاروا شهود لقيامه المسيح المقدسه ومجيبين لليهود
على سوء افعالهم وللعنايل ان يقول انه قد وجب علينا ان نسبق نسيانهم
حال هولاء الذين قاموا وكيف جرت امورهم بعد قيامتهم فيقال ان
جماعه من المعسرين اتفقوا على ان يهاجموهم كما جرت حال المعاز وغيره
من الذين اقامهم السيد قبل صلبه المقدس ويسل السبايل ويقولوا هل
كانوا كثيرين او قليلا فيقال ان الكتاب يشهد ان المسيح مات وقام

وظهر للصفا تم يعقوب ثم للرجال كلهم والخمس مائة اخ معاً فخذلتم
ولسائل ان يقولوا في الايات التي ظهرت وقت الصلب
فيقال لها خمسة الاولي لظلمه التي غشت الارض واشتقاق
سخر حجاب لم يكمل وزلزلة الارض واشتقاق الصخور وقيام الموتي
والذي كان من ذلك عموماً على الارض جميعاً آية واحدة وهي الظلمة
والاربعة الاخرى كانت ببروشليم خاصة واما قوله فاما قاييد الما
والدين كانوا معه يجرسون يسوع لما نظروا الزلزلة وما كان
فخافوا جدا واما لو اُحتمل ان هذا هو ابن الله وكان هناك نسوة
كثيرات ينظرن من بعيد وهن اللواتي منهن مريم المجدلية ومريم
ام يعقوب وام يوسا وام ابنا زبدية فحينئذ ان تعلم ان قاييد
المايه ليس هو بيلاطس والدين كانوا معه يجرسون هم الجند
المجردون معه من قبل طيبا يوسا الملك وهو الذي هم الذين كانوا
يستمهرون بالسيد ويضربونه كمثل منافق على سيدهم فلما ان
راوا الايات التي كانت اشتد خوفهم لاجل ما كان منهم وما قدموا
عليه من اليهود وقولهم حقاً ان هذا هو ابن الله فكان ذلك منهم
على سبيل الشهادة له بالحق لا على خير الايمان به واما النسوة
فلاجل

فلاجل انهن كن غير معروفات عند اليهود فكن ينظرن من بعيد ما يكون
من امر السيد فيخبرون به السيد على جلسته فمنهن مريم المجدلية
التي اخرج منها سبعة شياطين وعن مريم ام يعقوب عن السيدة
التي تقول ان يعقوب هو ابن يوسف النجار من اجل تعلمها يوسف
خطيبها كانت اولاده اولادها بالاشتعاره اعلى الحقيقة وله
يوسا هي زوجة يوسف وهي ام يعقوب الذي نسب الي السيد على
الاشتعاره وام ابنا زبدية في ام يعقوب ويوحنا الذين هما
معدودان في جملة الاثني عشر ومرقس يقول في بشارته وكان
معصرها لوي هذه سألوي في من اقارب يوسف النجار وكانت
مقيمة بيت لحم عند ولود السيد بها وكانت حاضرة لميلاده ولوقاً
يقول في شهادته ويوسا وهذا يوسا اخت يواقيم اخت يواقيم المص
سيدة ابوك ويوحنا يقول ومريم اخت امه ابنت اكلابا وهذا
مريم هي ايضا ابنت يواقيم لان يواقيم اب السيد كان له اخ يسمى
اكلابا ومات ولم يخلف ولداً احوجة الشريعة يواقيم اخاه ان
يتزوج بامر الله ويقوم زرعاً لآخيه ففعل ذلك وولدت له مريم هذه
المذكورة في اخت السيد لابوها وابا لئله تنسب الي اكلابا واخوه

يو اقيم فيه لن يفسر اول فخر له فلما كان من الغدا الذي هو يوم الجمعة
تواصروا وروسا الكهنة لكيما يمتدوا وقيدوه وانهم اعطوه لبلاطس
فاما يهودا لما راا الرب وقد صرخ وذهب فردا لثلاثين الفضة
التي عظم الكهنة والمشايخ وقال لهم قد اخذت ادا سلمت دما
نركيا فاما هم فقالوا له ما علينا نحن انت اعلم فطرح الورق في
الحبل واخذوا الورق وابتاعوا به ميين فاخراني يجعلوه مقبرة
للغراب من اجل هذا اسميت تلك القرية قرية الدم الي اليوم كقول
ارميا النبي الذي قال اخذت الثلاثين درهم من الفضة عن الكريم
الذي شارطوا عليه بني اسرائيل ودفعتموها لخير الفلخراني كما
امرني الرب فاما يسوع فوقف امام القاضي وقال له انت هو ملك
اليهود فلم يجيبه بشي حتى تجلبوا الي جبل ولقد كان يريد
ان يحلوه وقد اختلف في ذلك من اجل الرواية التي اختلفت رويته
وخالفهم من اجل رسم العيد ومن اجل بارسان الذي كان قد قتل ولكنه
لم يقعد علي قفا وقيم ومن بعد قليل قال لا تخفي لي اري بيلاطس
انه لم ينتفع شيئا وخرج من شعت يكون في الشعب اخدمايين
يدي الجماعة وغسل يديه قائلا ان ابري من دم هذا الزكي وانتم
تتغلوه

تتغلوه اجابوا قائلين دمه علينا وعلى اولادنا وطلق لهم بارسان وجلد
يسوع واسلمه للصلب وان لعوان القاضي نزعوا ثيابه ولبسوه
ملاءة قمرن وظفروا له اكليل من شوك ووضعوه علي راسه وقصبه
في يمينه وجثوا علي ركبهم وجعلوا يستخروا به ويقولون السلام
عليك وتغلوا في وجهه ثم اخذوا قصبه وجعلوا يضربون علي راسه
فلما هزوا به نزعوا الملاءة واليسوة ثيابه ومضوا به ليصلب
فمن لعن يفسر قال قبل الجلوس اجلسا لكيما يسعدنا ضربات الشيطان
ان الرب الذي اخرج ادم من بعد ما لعنه واليسه الخزي وجرجه
بحركات لا تبركي التي بها الم ادم بعد ما لعنه مع الازواج الرديئة
احتمل الرب ان يمر قيامة ليعبره من البشر القديم ومن كل اعمال
الخطية ويلبسه اللباس الجديد اعني اليهودية والبس مدعاه
حمره كمثل الملك لكيما ان ياهلنا ان نملك معه وجعل اكليل الشوك
علي راسه ليزيل عنا اللعنة التي لعن الله بها الارض من اجل
ادم وقال له انها تبك لك لشوك والحشك وجعل في يده قصبه
ليشب لنا الخلاص بصلبه الكريم واحمل اللطم والتغلوا وهروا
لكيما يخلص ادم وورثته من اسر الشيطان الذي تسلط عليه

وَصَحَّوْا نَسْمَاعَانَ لِيَجْعَلَ صُلَيْبَهُ لَكُمْ مَا تَكُونُ بَرَكَاتُ اللَّهِ فِي أَرْضِ مِصْرَ وَانْصَرُّوا
اَتَسْمَعُوا نَبِيَّاهُ وَاقْرَءُوا عَلَيْهِمَا لِكَمَا أَنْتُمْ نَبِيُونَ دَاوُودَ الْبَنِيَّاتِ اِحْتَمَلْ
أَنْ يَصْلُبَ مَعَ الصَّيْنِ لِكَمَا يَجْعَلُ لِلنَّصْرَةِ أَنْ فِي الْغُرُورِ وَقَالَ
الْأَجْمَلِي إِنَّ الصَّيْنِ كَمَا يَقُولَانِ كَقَوْلِ الْيَهُودِ خَلَقُوا لَوْ قَالُوا يَقُولُ
أَنْ لَوْ لَحْدَ اجَابَ يَسُوعَ أَذْكَرْنِي يَا رَبِّ اذْجِيتَ فِي مَلَكُوتِكَ هَذَا الْأَقْرَارِ
مَا يَقُولُ الْآبَعْدَانِ الرَّاجِعِينَ سَوَافِعَالِ إِلَهُ هُوَذَا الَّذِي يَصْنَعُوهَا يَا رَبِّ
وَأَمَّا قَالِ ابْدِئًا جَمِيعَ مَا قَالَهُ مَرِيَا بِهَا إِلَهُ وَظَنَّا مِنْهُ أَنْ يَطْلُقُوا
بَسْبِيلَهُ فَلَمَّا لَمْ يَتِمَّ لَهُ مَرَادُهُمْ وَنَابَ إِلَيْهِ رَبُّ عَلَى مَا قَالُوا وَظَهَرَ حَقُّ
أَمَانَتِهِ وَقَالَ نَبِيَّهُ صَادَقَهُ أَذْكَرْنِي يَا رَبِّ اذْجِيتَ فِي مَلَكُوتِكَ
وَأَنَّ اللَّهَ عَالِمُ الْخَفِيَّاتِ لَمَّا رَأَى حَقُّهُ يَقِينُهُ إِبْرَاهِيمَ قَائِلًا الْيَوْمَ
تَكُونُ مَعِيَ فِي الْغُرُورِ وَمَنْ قَالُوا مَا تَقُولُ لِكَمَا تَكُونُ لَدَيْنَ صُلَيْبِهِ مَعَهُ
وَأَنَّهُمَا كَانَا يَجْحَدَانِ عَلَيْهِ وَأَمَّا لَوْ قَالُوا كَمَا كَانَ خَيْرًا وَانْتَهَارَ
الْوَحْدَ لَصَلْبِهِ وَقَوْلُهُ أَمَا تَخَافُ اللَّهَ لَا نَأْخُذُ بِعُقُوبَتِنَا سَوَافِعَالِ لَنَا
وَأَمَّا هَذَا فَلَمْ يَسْتَوْجِبْ هَذَا وَقَالَ أَذْكَرْنِي يَا رَبِّ اذْجِيتَ فِي مَلَكُوتِكَ
وَمِنْ بَشَرَتِ سَاعَاتِ كَأَنْتَ ظَلَمْتَ عَلَيَّ الْأَرْضَ لِي تَسْعَ سَاعَاتِ
وَعِنْدَ تَسْعَ سَاعَاتِ هَتَفَ يَسُوعَ بِمَوْتِ عَالٍ وَقَالَ الْوَيْ
الْوَيْ

ثم تركوا يقولون لهم ماواشفجهم من الخلق وعصوها على قسعة القضاير
وارفوها من فيه قليل الاخيلاء في القبر لبعضهم بعض في هذا المعنى
لان عود القسمة في القسمة التي اعزتي لانه جعل عليها الانشفجة
انما يتبعه يفسر قبل الرب مداقت الخلق من الجمل مداقت التمر التي اكل
مها ادم وعوض من مداقت الخلق اعطانا جسده ودمه الكريمين نحن
المؤمنين نقول اووددوقوا وانظروا طبيب الرب ولما صرخ الرب
بصوت رفيع واسلم روحه وعلى المكان انشق جباب الهيكل والارض
تزلزلت والصخور انفلقت والقبور انفتحت واجساد المطهار
كانوا موتا قاموا فبعثوا الاعمال تحققت انه ليس هو انسان الذي
صلبنا ولكنه الاله وابن الاله معطي الحياه لكل الخليقة فاما
القائدين الذين كانوا معه يجرشون يشوع فاولا حقا ان هذا هو
ابن الله ولكن انظر واعذرا ليهان النسوة اهن نظرن التلاميذ
وقد هربوا وتركوا الرب واقامهن فلن يهربن ونظرن جميع ما عمل به
فبذلك استوحين ان ينظرون قبل التلاميذ ولينا المجد دائما امين
❖ **قصص الاصحاح التاسع والستون** ❖
فلما

فلما كان المساء انسان غني من الرامه يسما يوسف هذا التلميذ ليسوع
جا اليه لاطش وسأله في جسد يسوع حينئذ امر فيلاطس ان يعطاه
فلما يوسف الجسد ولعه في اعنيفة وتزله في جدي كان تحت
في محرم ثم دحرج حجر اعظما على باب القبر ومضى وكان هناك مريم
المجدلية ومريم الاخرى جالسين قدام القبر ومن الغد بعد الجمع
اجتمع رؤوس الكهنة والفرسيون اليه لاطش وقالوا يا سيددكرنا
ان ذلك المظالم لاذ كان حيا ان بعد ثلثة ايام اقوم فامر
ان يبق القبر الي يوم الثالث لئلا تاتي تلاميذه فيسرقوه ويقولوا
في الشعب انه قد قام من الاموات فتكون الظلاله الاخيره نشر
من الاولى فقال لهم فيلاطس عندكم حراس اذهبوا واعلقوا القبر
كما تعلمون فمضوا وعلقوا القبر وخفوا المجمع الحراس وسيف
عشي السبوت صبحت احد السبوت جات مريم المجدلية ومريم
الاخرى ليظرا القبر وكانت زلزله عظيمة وملاك الرب نزل
من السما وجاء ودحرج الحجر عن باب القبر وجلس فوقه وكانت
منظرة كالبرق ولباسه ابيض كالثلج فمن خوفه اضطرب
الحراس وصاروا كالاموات فاجاب الملاك وقال للنسوة

لَا تَخَافُنَّ إِنَّمَا قَدْ عَلِمْتُ أَنَّكُمْ تَطْلُبُونَ يَسُوعَ الْمَصْلُوبَ لَيْسَ هُوَ هُنَا
قَدْ قَامَ كَمَا قَالْتُمْ وَأَنْظُرُوا إِلَى الْمَكَانِ الَّذِي كَانَ فِيهِ الْيَتُّ وَالسَّرْعَنُ
وَأَدْهَبُوا وَقُولُوا لَتَلَامِيذِهِ أَنَّهُ قَامَ مِنَ الْأَوْتِ وَهَاهُوَ دَائِبٌ يَتَّبِعُكُمْ إِلَى
الْجَلِيلِ وَهَذَا تَرَوْنَهُ هَاهُوَ أَقْدَقْتُ لَكُمْ فُخْرًا مَسْرَعَتَيْنِ مِنَ الْغَيْبِ
بَعُوفٍ وَفُخْرٍ عَظِيمٍ مَتَعَادَتَيْنِ يَخْبِرُكُمْ تَلَامِيذُهُ فَلَمَّا مَضَى لِيَعْبُرَا
تَلَامِيذُهُ فَلَمْ يَلَهُمْ يَسُوعٌ وَقَالَ لِفَرَجَاةٍ مَأْسُكًا قَدِيمِيَّةً وَتَعْبَذًا لَهُ حَبِيبِيَّةً
قَالَ لَهَا يَسُوعُ لَا تَخَافِي أَهْلًا أَهْلًا وَقُولَا لِهَاتَوَيْنِ لِي دَهَبُوا إِلَى الْجَلِيلِ هُنَا
يُرَوْنِي فَلَمَّا دَهَبَا دَخَلَ قَوْمٌ مِنَ الْحَرَّاسِ إِلَى الْمَدِينَةِ فَأَخْبَرُوا رُؤُسَ
الْكَهَنَةِ بِكُلِّ مَا كَانَ فَاجْتَمَعُوا الشَّبُوحُ وَتَشَاوَرُوا أَنْ يَعْطُوا الْجَنْدَ قُسَّةً
فَأَخْرَجُوا وَقَالُوا قُولُوا أَنْ تَلَامِيذُهُ أَتُوا لِيَلَاوِسُ قُوَّةً وَتَحْنُ نِيَامٌ وَأَدَانَعُ
هَذَا عِنْدَ الْغَايَةِ قَتَلْنَاهُ وَجَعَلْنَاهُ كَمَا بَغِيرَ لَوْمْ فَأَخَذُوا الْقُسَّةَ وَقَعَلُوا
كَأَعْلُوهُمْ وَدَلَعَتْ هَذَا الْكَلِمَةُ فِي لَيْسُودِيَّةٍ إِلَى الْيَوْمِ قَامَا الْكَذِيبُ
الْكَذِيبُ عِشْرَتَيْدَةً فَمَضُوا إِلَى الْجَلِيلِ إِلَى الْجَبَلِ الَّذِي مَرَّ بِهِمْ يَسُوعٌ فَلَمَّا
رَأَوْهُ تَعَبَذُوا لَهُ وَبَعْضُهُمْ شَكَّ وَجَاءَ يَسُوعٌ وَكَلَّمَهُمْ وَقَالَ لِعَطَيْتُكُمْ كُلَّ
سُلْطَانٍ فِي السَّمَاءِ وَعَلَى الْأَرْضِ أَذْهَبُوا الْآنَ وَتَلْمَذُوا كُلَّ الْأُمَّةِ وَعَمَلُوا
بِسْمِ الْآبِ وَالْإِبْنِ وَالرُّوحِ الْقُدُسِ وَعَمَلُوا حَفَظْتُمْ أَوْصِيَّتَكُمْ بِهِ
وهوذا

وهوذا أَنَا مَعَكُمْ كُلَّ الْأَيَّامِ وَالْيَقِظُوا الْهَرَقَاتِ وَالْمَجْدُ لَدَيْهِ دَائِمًا أَبَدِيًّا
التَّقْسِيرُ قَدْ يَجِبُ عَلَيْنَا أَنْ نَكُونَ مُتَقِظِينَ فِي أَوْقَاتِ أَسْوَاسِنَا
وَسَاعَاتِ صَلَاتِنَا الْمَعْرُوفَةِ عَلَيْنَا وَأَنْ نَكُونَ عَلَى غَايَةِ الْحَذَرِ مِنَ
الْأَهْلِيَّةِ وَالْوَدْنَةِ وَغُلَطَاتِ التَّوْفِيفِ مِنْ وَقْتٍ لِي غَيْرِهِ بَلْ نَكُونَ مُتَابِرِينَ
عَلَى أَدَى دَلِكِ فِي وَجُوبِ تَحْقِيقَاتِهِ بِنَوَافِعِ وَتَشْكُنَةٍ مَا دَامَ لَنَا اسْتِظْلَامُ
بَعْدَ الطَّاقَةِ لِكَيْ نَكُونَ مُحْتَوِينَ فِي مَرْتِ أَهْلِ الطَّاعَةِ وَلَا نَعْدُ
فِي جِلَّتِ أَهْلِ الْمُعْصِيَةِ فَقَوْلُ الْبَشِيرِ فَلَمَّا كَانَ لِمَسَاجَا أَتْسَانُ غَنِي
مِنْ الرَّمَاهِ يَتِمَّا يُوسُفُ هَذَا تَلَامِيذُ الْيَسُوعِ جَاءَ إِلَى بِيْلَاطُسَ وَنَمَّا لَهُ فِي جَسَدِ
يَسُوعَ حَبِيبِيَّةً أَمْرًا فَيَلَاطُسُ أَنْ يُعْطَاهُ فَلَخَذَ يَوْسُفُ الْجَسَدَ وَلَقَاهُ
بِلُغَا يَفْنِيقِيَّةٍ وَتَرَكَهُ فِي قَبْرِ لَهُ جَدِيدٍ كَانَ تَحْتَهُ فِي صَخْرَةٍ ثُمَّ دَجَّجَ حَجَرًا
عَظِيمًا عَلَى بَابِ الْقَبْرِ أَرَادَ يَقُولَهُ فَلَمَّا كَانَ لِمَسَاءٍ أَيُّ الْقَضَايَا يَوْمَ
الْجُمُعَةِ وَدَخَلَ عَشِيَّةَ يَوْمِ الثَّلاثِ لِيَسْتَدَلَّ بِذَلِكَ عَلَى أَنَّ الْأَلَامَ الَّتِي
قَبْلَهَا الْيَتُّ فِي جَسَدِهِ جَمِيعًا كَانَ أُولَئِكَ الْجُمُعَةِ وَآخِرَهَا نَهَارَ
الْجُمُعَةِ وَلِهَذَا فَرَضَ الْمَثَلُ الْأَمَلُ عَلَى جَمِيعِ الْمُؤْمِنِينَ صِيَامَ هَذَا الْيَوْمِ
وَتَوْقِيرَ بَابِ الْوَجْهِ وَتَحْشُوعَ مُتَدَكِّينَ جَمِيعًا مَا أَحْتَمَلَهُ سَيِّدَانَا مِنَ الْخُرُوبِ
وَالْأَلَامِ مِنْ أَجْلِ خَلْسَانِهِ ثُمَّ فَرَضُوا عَلَيْنَا أَيْضًا أَنْ نَحْفَظَ يَوْمَ الْآرْبَعَاءِ

بالنعوذ للصيام والوقار لأجل أن موأمرت اليهود على الأمر السيد كانه
فيه وجعلوا هذين اليومين متساويين في الكرامة والوقار ثم فرضوا
بأن تكون صلواتنا مستمرة على الدوام وعمر الليالي والأيام بخشوع وابتهاك
في ساعات معصومه وأوقات معلومة وذلك أن الساعة الثالثة من
ليلة الجمعة قبضوا على السيد ويضوه وفي بقول الليل كان قايما بين
يدي يسر الكهنة تحت الحكم والضرب في بكت يوم الجمعة كان قايما
بين يدي بيلاطس وجنده تحت لديونه وفي ثالث ساعة من النهار
حكموا عليه بالصليب والكلم بالحزري والضرب والهوان وفي الساعة
السادسة سمعوا خشب الصليب وفي الساعة التاسعة انقسم
الروح وطعن في الحادية عشر ودفن في الأرض فحينئذ قد وجب
علينا نحن المؤمنين الذين قد صرنا تحت لواء الإيمان بالمشيخ بأن
نتجشم ألما ونحمل المشاق لعل نعوز بها نفوس لنقوام وجهه
الرب بخشية وخوف ونؤدي في هذه الساعات السبع صلوات
مقبولة خالية من الطيش من يومنا لعمام تذكرين فيها الألام
التي قبلها المسيح ورضيعا في مثل هذه الأوقات لأجلنا تذكركين
لعملي نعمة ملاحين سمعت فضله وكومة السمغ ومنشا والكبات
العبيد

المسيح الأخر الأشرار الأخيار في أي موضع جاوننا وعلى أحوال كذا منتر يحيين
أم مجبورين قيا ما كنا أم قعودا أم شاه كذا أم قودا مواصلين بلا نقوط
قايمين بلا نقوط مودعين لغرايضنا في الليل والنهار مصفين عن حجب
الاعتذار وأراد بقوله جأ أسنان غين من المراه يسمى يوسف هذا تلميذا
ليسوع أي أنه بفناه كان معروفًا عند المولى ومعنا أنه تلميذ لأجل أنه
كان من جملة المتعلمين الذين يعطون بنعم الهم السيد لرحامه في ملكوته
الله ولهذا قال لكنا بانه كان بخلصا مدينا ولم يكون
موافقا لليهود في نياهم وأعمالهم وأما جيهه الي بيلاطس كان كونه كان
حيثما عنده مقبول الشفاعة ولأجل ذلك لم يفهمه الذي كانت بينهما
وذلك أن مجيهه اليه كان سرًا خفيه من اليهود كما شهدا ككتاب أيضا
أنه جسر ودخل الي بيلاطس واللب الذي له علي ذلك كثرت الاجتهاد
في تحصيل ملكوت الله وذلك لأنه بالحقيقة خاض بنفسه الي حين
الموت في محبت الرب والدليل علي كثر محبة أنه قد كان تحت قبر
أنفسته في صخرة وتلك الصخرة في بستان كما شهدا ككتاب فاتر هو
جسد السيد علي نفسه ولم يغفر في كرامات الموضع وأنه قال أنه يوجد
مدفن مثله وفيما هو في مثل ذلك أحضر اليه نيقوديموس ومعه الحنوط

فلما جسد يسوع ولفاه في لفاف كتان وطيب كمادت اليهود في
دفنهم كما شهد الكتاب وتركاه في القبر وجعلنا على يده حجر عظيم
المعاني ان القبر كان جديدا يدلنا على ان ذلك كان فيه سراً
الاهيا حتى يقع الشك في القيامة ويقال ان الذي قام ميت آخر
غير المسيح كان في القبر قديماً والمسيح في كون القبر في بستان
ليفيدنا ذلك ان آدم الاول في بستان اخفا الخطية التي
نتجت له الموت لجميع جنسه وادم الثاني من البستان كانت
قيامته التي نتجت لادم الاول الحياه الابدية لجميع الانبياء من
درية وقوله وكان هناك مير الجليليه ومريم الاخرى جيا لثين
قدام القبر يعني لآخرى لسيده التوراة التي المخلص وقوله ومن
المعد بعد الجمعه اجتمع رويسا الكهنه والغريشيين الي فيلاطس
وفالوا يا سيدد كذا ان ذلك لظال قال لكان حياً اني بعد ثلاثه
ايام اقوم فامران يعلق القبر الي اليوم الثالث ليلثاني تلاميذه
فيثروه ويقولوا في الشعب انه قد قام من الاموات فتكون لظلاله
الاخير اشمن الاولي فقال لهم فيلاطس عند ذلك حرائر اذهبوا واطلقوا
القبر كما تعرفون مضوا واطلقوا القبر وختموا بالحجر مع الحرائر قوله
ومن

ومن المعد بعد الجمعه يعني كمزت السبت الذي هو نالت يوم من الغطيين
وهو ثاني الفصح الذي شئت التوراه تمنع فيه التصرف من وجنين
الاول لاجل السبت والثاني لاجل العيد واي من تعداد كذا وجبت
الناموس عليه الموت وذلك ان التوراه تشهد ان رجلاً من بني
اسرائيل كان يخطو خطياً في يوم السبت وعند ما وجد لها امره
الي موسى فامر بقتله فقتل لوقته ورويسا الكهنه والغريشيين
الذين يقولون دينويت الشعب في بكت يوم السبت الذي هو ثاني
العيد فقصوا اشراعتهم واجتمعوا وسعوا الي فيلاطس الوالي
يلتمسون منه الختم على القبر وان يقيم عليه حراساً ولما اتوا اليه
قال لهم الحراس عندكم امضوا وختموا كما تعرفون وحسيند امضوا
وختموا القبر ولم يفكر في امر قدعوا واخلق لنا مؤن من جهتين
الاوله كوفهم مضوا الي فيلاطس لالتماس ما قدساقهم اليه الهوك
والغرض مع كونه من امه غريبه والثانيه فضيهم الي القبر وختمهم
عليه ولم تدبهم انفسهم على نقص شيء من الناموس ومن هاهنا
يجب علينا ان نعلم علماً يقيناً ان السيد عند قيامته وخرجه من القبر
بقوته لا موته لم يدرج الحجر ولا فطما تم الختم الذي طبقة اليهود

بل ترك الامر في علي حاله وذلك لان خروجه من القبر كان كمثل ولوده من العذراء
وبقياتها باقية علي حاليها قال وفي عثيت السبوت صبحت احدا لسبوت
جات ميريم المجدليه وميريم الاخرى لينظرا القبر وكان زلزله عظيمه لان
ملك الرب نزل من السما وجاء وصحج الحجر عن باب القبر وجلس فوقه
وكان منظره كالبرق ولباسه ابيض كالثلج فمن خوفه اضطرب
الحراس وصاروا كالاموات فاجاب ملاك وقال للنسوة لا تخافن
انن قد علمت انكن تطلبن يسوع المصاري ليس هو هاهنا قد قام كما
قال تعالوا وانظرن الي المكان الذي كان فيه الرب فاسترعن
واذهبن وقولا لتلاميذه انه قد قام من الاموات وها هوذا يسبقكم
الي الجليل هناك ترونه ها هوذا قد قلت لكم اني قد بعثت
السبوت اي القضا للثب وما يكون من لوازمه وما يتعاقبه
وقوله صبحت احدا لسبوت يعني بذلك عن صبحت احدا الذي
هو ثلث الفصح الذي ليس هو لان الانسبوع الذي يكون فيه
اليهودا الفطير يسمون ايامه جميعها سبوت والقصدي بذلك
كان وقار هذا الايام عندهم والدليل علي ذلك جميع المومنين
بالمسيح يسمون ايام الانسبوع الذي يكون فيه عيد القيامة جميعها
حدود

حدودا الشرف تلك الايام كما تقول في يوم الاحد الذي يلي في اخر الانسبوع
احدا للحدود لان من اجل شرف الاحد الذي كانت فيه القيامة تسمى ايام
الانسبوع الذي يلي بعد حدودا وقوله وجاءت ميريم المجدليه وميريم
الاخرى لينظرا الي القبر فاراد بقوله منهن الاخرى يعني عن لستيه
والذات المختص لانها لما انقضوا ثبت اثبات اخذ ان الطيب الذي كان
اعدته وليطيبن به القبر كما شهد المكتاب وحسينه اخرون الي
القبر وكان خروجهم في وقت المساء ومن هاهنا يسئل السائل ويقول
ان المبشرين قد اختلفت شهاداتهم في اهل القيامة في عدة مواضع
فلن ينبغي ان نصدق من هو لا في الايهه لان متى يقول ان الهي الي القبر
كان في عثيت الثب التي صحيحها يكون الاحد ومرفق يقول ان
الهي كان باكر يوم الاحد اذ طلعت الشمس ولو قال يقول ان الهي كان
باكر الاحد ويوحنا يقول ان الهي كان في الفلن يعني انه شجر يوم الاحد
والخلق ينعم في هذا ظاهر ثم ان متى ايضا يقول في شهادته ان ميريم
المجدليه وميريم والذات المختص اتين الي القبر مفردا ومرفق يقول ان
لثا لوي كانت معهما ولو قال يقول ان النسوة اللواتي اتين معه من
الجليل هن اللواتي اتين الي القبر ويوحنا يقول ان ميريم المجدليه

في التي أتت الي القبر ولم يدرك غيرها وهذا ايضا خلق بينهم ثم ايضا
متي يقول ان الملاك الذي بشر النشوء باقيامه كان جا لشاد اخل القبر
عن اليمين ولوقا يقول ان النشوء لما دخلا الي القبر وادابرجلين قد
وقفا حين ثم بشرهما بقيامه ويوحنا يقول ان البنات باقيامه
كانت من ملاكين كانا جا لسين في القبر ولحد عند المارت وخبر
عند الرجلين وهذا ايضا خلق ثم ان متي يقول ان السيد ظهر لمريم
المجدليه ولوا الله في وقت معا ويوحنا يقول انه ظهر لمريم المجدليه
اولا ولوقا لم يدرك في هذا شيئا وهذا ايضا خلق الجواب
في ذلك ان مقتضي الكلام على سبابة الحال حسب ما قد جرت لم يقتضي
خلاقا فيما شهد به المبشرون ولا تناقض فيما اوردوه وذلك ان
الجي الي القبر لو كان دفعه واحده لفتح اختلاف الخبر ولما كان
التردد الي القبر في تلك الليلة مخسر فعات وكان يجري في كل
دفعه ما لم يجري مثله في الاخرى وهذا هو عظم الدلالة على حقيقت
الحال التي جرت عند من له بصيرة واجبة اذ اها هو تفرس في هذا الكلام
وتأمله تاملا صحيحا لان لتلايد لو خروا عن ساعت اقيامه
ووقتها ان كان يكون في ذلك امتاولين قولاه وذلك ان لاسر
ليس

ليس على هذا النظام لان وقت اقيامه لم يعرفه احد لسوا الاله وحده
والمبشرون انما اخبروا بالاقوات المختلفة التي تردد فيها السنون
الي القبر وذلك من غير المجدي والذات المختص لما انقضا السبت
ولوا زمة وكما يتعلف به خرجت من المدينة الي البستان الذي فيه القبر
ولم يعلموا ان القبر عليه الحراس فلما وصلت الي البستان ابصرت
الحراس جا او عند القبر فلم يقدرن على القرب منه فاستترتا في موضع
منتظرات بعد الجند من القبر والموضع لاخفا لم يعلموا خبر خروج
القبر لاجل ان لعاده لم يخرج مثل ذلك فاستقر مقامهما في موضعهما
مستترين خشية من اوليائك يفتنوا بها فيردوها وكما كنتا
متعجبين من كثرة مقام الجند في ذلك الموضع وكوهم لا يستقلون عنه
ولا هم ينامون فيه لان الليل كان قد انتصف وفيما هما في هذا ومثله
واذا ملاك الرب قد نزل من السماء وادخر حج الحجر عن باب القبر وكان
زلزله عظيمه هابله فالخراس من اجل قربهم من القبر شاهدوا الملاك
وقد خرج الحجر وابصر وانظره منظر املغتهر الخوف وكان له
يرهب ويرنجم وزجل ذلك اضطرب الحراس وصاروا كالاهوات
والسباب الذي كان هذا من اجله لكي ينتظروا اليهود بقيامات السيد
يندوا

وهو من عجوب من كثرت الذي يصاحبهم من الخوف. وفتحت باب القبر
لكي يبصروه خاليا من جسدا لسيده فاما مريم المجدليه واولدت
المخلص لما ان اردت لثمنها الزلزلة خرجتا من مكانهما فوجدتا نحو
القبر فنظرا الملاك فقال لهما لا تخافا اني قد علمت انكن
تطلبن يسوع المصلوب ليس هو هاهنا قد قام كما قالوا لكن
وانظرن الي المكان الذي كان فيه الرب واسرعن وادهبن
وقولا للتلاميذ انه قد قام من الاموات فلما سمعن هذا اضطربن
فكان عندهن كالهز ورجوع لم يستطعن في ذلك الوقت
ان يقابنا ما هوداخل القبر وخرجن علي وجه من البستان
قاصدين لمدينه في الليل لانهن ظنن ان المخاطبه انسا
وقالتا انه ما بقي يستقيم لنا مقام في هذا الموضع لكن لم نأق
اشتهر ولما اتين الي المدينه وجين الي موضعهما وقعا متعجبين
فما كان الي وقت الشكر فقامت مريم المجدليه وخرجت قاصده
نحو القبر فلما وصلت لم تجد احدا عند القبر لان الحر ان عادوا
الي المدينه ليخبروا اليهود بما كان فلما رأت الحجر مقلوبا عن
القبر وهو خالي من جسدا لسيده جنيذا اسرعت وجاءت الي
بطرس

٢٤
بطرس ويوحنا وقالت لهما قد حملوا الرب ولا اعلم اين تركوه فجا التلميذان
الي القبر وهي صحتها ودخلا ونظرا للغايبين موضعه ناحيه والمذيل
الذي كان علي راسه في موضع اخر ثم عادا التلميذان الي موضعهما بسرعه
خشيه من النجارا نصبح عليهما فتتعلق اليهود بها فاما مريم
فانها بقيت مسموه القيام عند القبر وهي باكيه وبسماهي باكيه
تظلمت الي القبر فابصرت ملاكين جالسين في لباس ابيض
واحد عند الرأس واخر عند الجليلين فقالا لهما يا امرأه ما
يبكيك فقالت لهما انهم حملوا جسدا لسيدي ولا اعلم اين تركوه
قالت هذا والتفتت الي اورشليم فرات يسوع واقفا ولم تعلم
انه يسوع فقال لهما يا امرأه ما يبكيك وما تطلبين فظنت
هي انه حارس البستان فقالت له يا سيدي ان كنت حملت
فقل لي اين تركته لأمضي انا وأخذه وأطيه قال لها يسوع يا مريم
ما التفتت هي وقالت له بالعبرانيه رابوني الذي هو يا معلم فقال لها
يسوع لا تقر بيني فاني لم اصعد بعد الي بي وبسماهي عايد الي
المدينه لتخبرا التلاميذ قذرات واداءات المخلص قد استبطا
امرأه وكان الصبح قد بدا ان يابح فلحقتهما وادهي عايد القبر

فانشعبت قاعاً كانت فيه فمرتها جميع الامم الذي جري وانها قد نالت
السيد ففجرت وانت الي القبر ومريم المجدلية معها فتشاهدت الحجر
مقلوباً فدخلنا الي القبر وخرجنا مسرعين بخوف وفرح عظيم
منعنا ان نخبّر ان التلاميذ وكانت والدت المخلص تلامه ملكته
من الاشرف لكونها لم تكن مع المجدلية عند ارات السيد وبينما هما
ماضيتن ليخبرا التلاميذ فظهر لهما الرب وقال لهما افرجا فامسكتا
قديسه وسجدتا له حينئذ قال لهما لا تخافا ثم بعد ذلك اصبح الصبح
فانتتسا لومي وبقيت الشوه الجليليات ومعهن الطيب الذي
لعددة ومعهن شوه اخر اذ طلعت الشمس فابكرت من يابرج لنا
الحجر عن باب القبر فالتفتنهم مريم المجدلية واخبرت هن ان الرب قد
قام وانها ابصرته دفعتين لاوله عند ذلك ذهبا في لشعر الي القبر
بفردها والنايه عندها لمقتها والدت المخلص اخبرتا وسجدتا له
فلما سمعن اوليكانه جي واهن ابصرته لم يصدقن فخرجت المجدلية
وام المخلص معهن الي القبر فتطالعتن ونظرن الصخرة قد حرجت
عن باب القبر فتطالعتن ونظرن الصخرة قد حرجت عن باب القبر
وكن فيما هن مدوعات من ذلك وادبرجلين قد وقعا هن بلبا من لمع
كالبرق

١٠١
كالبرق فخافن ونكسن وجوههن الي الارض فقالا لهن لم تطلبن الحي
مع الاموات ليس هو هاهنا وها الموضع الذي كان فيه ودخلن ونظرن
ثابجا للشاعر اليمين وعليه لباس ابيض فقال لهن لا تخافن انظربن
بيوع الناصري المصلوب قد قام ليس هو هاهنا لكن اذهبن وقولن
التلاميذ ولبطرس انه يسبقكم الي الجليل هناك ترونه كما قال لكم فخرجن
من القبر واخبرن التلاميذ الاحدى عشر بهذا وجميع الباقيات وكمن
هريم المجدلية ويونا ومريم ام يعقوب وشايرن معهن وقالن للمرسل
هذا ليجبان نعم ان محي مريم المجدلية الي القبر كان تشر فعات
الاوله من عشت السبت مع والدت المخلص عندي اذ كتبهما الزلزله
كما تشهدني والنايه عندهما وحدها في الغلس ورات الحجر
مقلوباً واو القبر خالي من جسدا لسيدة وظننت انه قد فعل وعادت الي
المدينة واخبرت بطرس ويوحنا كما تشهد يوحنا والنايته عند عودتها
مع التلميذين وفي حارات المخلص وظننت انه حارس البستان
كما تشهد يوحنا ايضا والرابعة عندي التفتت والدت المخلص وهي
اتيه الي القبر ثاني دفعة ومفت معها ودخلت الي القبر وعادت
ليخبرا التلاميذ وظهر لهما السيد وقال لهما افرجا وامسكتا قد

كما شهد متى انبياء والحلمه عند عودها مع نسا لوي ومع الجليليات وغيرهن
عندما اتين وقالت لهن ان الرب قد قام ولم يصدقن. وكان ذلكا كرجلا
ادخلت الثمن كما شهد من قصر لوقا وبما مجي والدت المختار فكان ثلث
دفعات الاقله في غشت البت عند مقامها مع مريم المجدليه في البستان
حين كانت الزلزله والثانيه عند عودها غلشا واجتمعت المجدليات
وظهر لها الرب وخاطبها وقال لها افرحوا لنا لانه عند عودها مع
المجدليه ونجت نسا لوي وبقيت النسوة الجليليات وغيرهن وقوله
لما ذهبت ادخل قوم من الحارس واخبروا رؤسا الكهنه بكما كان وانهم
اجتمعوا السيوخ وتشاوروا ان يعطوا الجند فضه فخره وقالوا
قولوا ان تلاميذ التوليكلو شرفه ونحن نبياهم وادسمع هذا عند القايه
انقضاءه وجعلناكم بغير لوم فخذوا الغشه وفعلوا كما علمهم وداعت
هذا الكلمه في اليهوديه الى اليوم يجب علينا ان نعلم ان اليهود لم يثبتوا
عن قبيح فعلهم في امر السيد لاني حين حياته ولا في حين وفاته وذلك
انهم كانوا يقصدون اخذ ان كره وابطال سنته واقامت هواهم
فيما علموه فكان التماسهم حفظ قبره محوطتهم عليه من جملت
الانساب لالهيه وذلك انهم لم يزلوا بغير احتياط لكان ذلك انفع لهم
ولنا

وانما حوطتهم وحفظهم باقتربوا الذي حقق لهم قيامه السيد وضاعف لهم
دنوهم ونقل عليهم اوزارهم وذلك انهم ظاهروا الله بالنفاق الشديد
كلما انهم امر القيايمه بغير خشيه ولا مراقبه ويجب ايضا ان تجد القول
فيما جات به الكتب بان محبت الغشه هي اصل كل الشرور لان هو لا ي
الحراس مع مشاهدتهم عظم الزلزله ونزول ملاك الرب من السماء ليعطى
مؤمنهم منه وكونه دحرج الحجر عن باب القبر لكي يريهم انه خالي وان
السيد قد قام وخرج منه وهو مختوم وبعد هذا جميعه قبلوا المشوهه
كملت اليهود وانكروا القيايمه وشهدوا بالزور وقالوا ان تلاميذ انوا
ليلا وشرفه ونحن نبياهم انظروا يا ذوي الالباب في هذه الحجه التي قد
انقضت نفسها فانهم ان كانوا نبياهم فربما ينظرون ان تلاميذ انوا وشرفه
ومن اي وجه يثبت لهم هذا القول ولوقالوا ايضا غير هذا باننا كنا
متعطين عند انشرفه قيل لهم فلم لا منعتموهم وقبضتم عليهم الا ان ذلك
كان منهم على شيل البرطيل الذي انشوهه كملت اليهود محتي انهم
اقاموا هواهم ولا يتجاوزون عند شعبهم فيما اعتمدوه وكلبوا الله
ونزلوا انفسهم وطلبوا لاجل الناس اكثر من مجد الله وامان زول الملاك
من السماء فان السماهي موطي الملائكه وان كان لبعضهم تيولا نذير
العالم وبعضهم موقوف لنفاذ مشيت الله والملاك الذي يبشر

بالقيامة هو جبرائيل الملاك لأنه خدام البشارة وكون رويته كأنه
كالبرق ولباسه أبيض كالثلج دليل على الفرح والشدة لأن الله تعالى
ذكر إذا أرسل ملائكته لنفاذ مشيئة يعطيهم في كل رأس له شكلاً مجسماً
يعضيه الأمر الذي نجله يرسلون ودليل ذلك أن الملاك ظهر
لبنوع ابن نون ولداود في شبه يداويد شيوع وهو القتل وفي
هذا الموضع ظهر بني يدي على الاستبصار والشدة والابتساج
والفرح. إلا أن منظر الحرام كان خلاص منظره المنشوء ودأب
أنهم لما رأوه وجهه مكفراً انزعجوا وخافوا جداً ولهذا قال البشير
أنهم صاروا كالآلات وأما المنشوء فرائده بشكل مبهجاً ووجهه
مستفراً ومع هذا قال الحسن لا تخافوا مني. وأما قوله قد علمت
أنتم تطلبون المسيح مع الآلات يسوع المصلوب ليس هو هاهنا
يدلنا هذا القول على أن التلاميذ والاربيين افتخروا ببصليبه
المقدس وقوله ليس هو هاهنا يدل على أن القبر خالي وفايدت قوله
قد قام كما قال أي لا تمصدقين فتدركن كلامه وهو الصادق
يجب أيضاً أن نتفكر في قول الملاك لأنه لم يقل إن الله
أقامه لكن قال قد قام فحق هذا القول أنه الإله بالحقيقة
وان

وان القدوس وحده وقوله تعالى وانظروا إلى المكان الذي كان فيه الرب
يدلنا على أن ذلك المصلوب الذي قد قتل لكن أنه قد قام هو رب
التمايز والاربيين والحياء والآوات وقوله اسرعن قولوا للتلاميذ
أنه قد قام الآوات وها هو ذا يسبغكم في الجليل هناك ترونه ها هو ذا قد قتل
لكن خرجنا مشرعين من القبر بخوف وفرح عظيم متعاذرين بخبرنا تلاميذ
فلما مضى ليخبر التلاميذ ظهر لها يسوع وقال انزعجوا فامسكتا قدميه
وشجعتاه له حينئذ قال لها يسوع لا تخافا اذهبا وقولا لأخوتي. أراد
بذلك يعلمنا التواتع. وان لا نكون نستكبر على من هو دوننا في منزلة
أما في العلم أو في شيعت الغناء أو في سمو الحظ والجاه والمشايل أن يقول
أن بعضنا قد ورد بشهادة أن السيد قال لمريم المجدلية انمضي إلى اخوتي
وقولي لهم اني صاعد إلي أبي أبيكم والهي الحكم فما هو المعنى الذي قصد
السيد بهذا القول فيقال للسيد ما قام من قبره وأمر المنشوء أن
يشيرن التأهيد بقيامته وقال قولاً لأخوتي وكان قصده بذلك أيضاً
معنا آخر لأنه قصد أن يثبت التأهيد بقيامته من أجل كثرة ما دخل
على قلوبهم الحزن لكي يكون فرحهم كاملاً وقوله اني صاعد إلي أبي أبيكم
والهي والأهكم فكان ذلك منه ليحقق عندهم قدر النعم التي اشبعها
عليهم وأنه هو الأهم بالحقيقة وقدر في أن يسميهم اخوته وجمعهم

يصطلم اولاد الله المحبوبين حتى انه علمهم وقال لهم اذا ما صليتم قولوا يا ابا
الذي في السموات. فاولاد الله التي هي علي الحقيقة وليت للتلاميذ
علي الحقيقة وتذليلها هو لهم بتفضله حتى دعاهم لنوته. لانه لم يزل
ابن الله علي الحقيقة وهم صاروا اولاد الله بتفضله عليهم وليس كالبوة
التي ليس لها كل ومن اجل انه ابن الله بالحقيقة وهو مساوي له وليس
قدسه في الجوهر ته والاذلية. وكونه اتضع باقنومه الكريم حتى تاتى
وليس صور عبده وفعل افعاله ما خلا الخطية جعل الالهية التي
الانسانية التي تاتى للتلاميذ لا تتركها علي نفسه تواضعاً منه وليت
لازمه له علي الحقيقة كما هي لازمه للتلاميذ واذا اخبرنا هذا المعنا كان
الله ابوه علي الحقيقة لانه مولود منه قبل كل الدهور نور من نور له حق
من الحق مولود غير مخلوق متجسد من روح القدس من غير البدء
والتلاميذ ليس لهم شيء من هذه الصفات الحسنة الشريفة فماد اولاد
الله بتفضله عليهم لا اولاد علي الحقيقة وهو الالههم علي الحقيقة
لانهم خليقته ومولودين من شعوات الرجال لنسأ بالمباضعة وسيد
الانام لا يلزمه من هذه الصفات الحسنة الدينية شيء فقد صح ان
الله ابوه علي الحقيقة والاهد بالتواضع لا علي الحقيقة والاه
التلاميذ

١٠٢
التلاميذ علي الحقيقة وابوهم بالتفضل لا علي الحقيقة فان شغب السائل
وقال ان قوله قد لازمه ان يكون الله الاله علي الحقيقة كما هو الاله
التلاميذ بالحقيقة فيقال له ان هذا لا يثبت الا بعد اثبات بان
التلاميذ اولاد الله علي الحقيقة ومولودين منه ميلاداً انسياً وليس
المساواة معه في جوهرهم وروبيته وهذا لان الامران لا يمكن اثبات شيء
منهما فبطل حجته وبين انهما هو عليه من شغبه ولنا في ذلك شهادات
يوحنا وقوله جالي خاصته وخاصته لم تقبله فاما الذين قبلوه فاعطاهم
سلطان ان يصيروا بني الله. وللسائل ان يقول ايضا ان متى يقول ان
السيد قد لاه ولمير المجدي ويوحنا يقول انه قال لمير المجدي وحدها
وهذا خلاف. فيقال ان الايضاح قد سبق في غير موضع بان ميرير المجدي
رات السيد في الاول وقال لها هذا القول الذي شهد به يوحنا وبعد ذلك
جاءوا الله واجتمعت ميرير المجدي فظهر ارجعها وكره القول حتي
اسمع امه الرثا له الي التلاميذ وهذا كان كما شهدتي وبهذا يسقط
كل الخلق وللسائل ان يقول ان مرقس يقول في بشارته ان
الملاك قال للنسوة اذهبن وقولن للتلاميذ وليطعن انه يسبقكم
الي الجليل وثلاثة المبشرين لم يبقوا انهم بطررنا قد عينه مرقس فيقال

ان الملاك قال هذا القول للنسوة كما قال ابرقصر لان الملاك لما قال هذا
القول معنوا الى السيد لا الى نفسه لان ملائكة ما يشاءم يقولوا شيئا
من تلقا نفوسهم بل ان يقولون ما يورون به وثلاثة المبشرين لم يجملوا
ذكر بطريرك الادلبل انهم اوجعوا ذكره في جهات التلاميذ والسبب لذلك
من اجله انهم اوجعوا ذكره في شارة ما يعلم به ان بطرس
لما مجد السيد تلك مرات في ليكت الجمعة ثم افاق علي نفسه وبكأ
البدن الموروقبل السيد قوته ونصحه وبكاه فاراد ان يعاياه باسمه
وافي عليه وان قد غفر له ما قد سبق منه لاني يكون فرجه كاملا ولا
يكون له جملته بين التلاميذ عند جمعهم بقيامتنا السيد كيلا يتعسف
من رتبته عندهم وللسايل ان يقول ايضا انه لا خلاف في ان
السيد صلح خارج المدينة وقبر في بيتان كان هناك والمشهور
المعروف بين الناس ان الملاك لا يجملوا ان يكون لها وابين يفتحوا
ابوابها غدت كل نهار ويفلقونها في عيشته وادراكا كانت الحال
تجري علي هذا النظام فليكون السبيل الي تردد النسوة الي القبر
في الليل فيقال ان المعاده كانت جارية للمسيح وديور وشليم في ايام
القطير ان يفتحوا ابوابها ليلا وانهم قبل اليهود الذين كانوا

ياتون

ياتون الي السيد تسعيلا لغوهم ومزيجهم لانهم كانوا خلقا كثير ومن هذا
الوجه وجدوا النسوة السبيل الي ترددن للمقبر في الليل وللسايل ان
يقولوا هو السبب الذي اوجب ان تكون قيامتنا السيد في يوم الاحد
لا في يوم اخر غير ذلك لان ذلك كان لوعين الاولين لان
بدون خلق الخلائق كان فيه وفيه جدل في القيامة وليعلم بذلك ان
السيد هو مبدأ الخلق ومجدله والثاني منهما ان في يوم الجمعة
كان خلقت ادم وكانت فيه مقصيته وفيه كان خلاصه من عبوديت
الشيطان ولاجل ان السيد قد عرف ان نفسه انه يقيم في قلب
الارض ثلاثة ايام وثلاثة ليال وهو قد رخص وجبان تكون قيامته
يوم الاحد لانه قد رخص في يوم الجمعة وفي يوم الاحد قيام وللسايل
ان يقول كيف يتضم لنا ان السيد ملك في الارض ثلاثة ايام وثلاثة
ليال وهو قد رخص اخرها الجمعة وفي سحر يوم الاحد قيام فيقال ان
تفسير هذه المعنا قد تقدم في تفسير الاحكام الثالث والعشرون
الذي ذكر فيه يوحنا وقيامته في بطن الحوت ثلاثة ايام وثلاثة ليال
وان ابن البشر يكون كذلك ولما دعت الحاجة الي ايراده في هذا
الموضع ايضا جوايا على هذه المسئلة فنورده وذلك السيد لما اراده

تمام تدبيره الذي اتي من اجله وتكميل نبؤات الانبياء على تامله وقيامته
امن تلاميذه بان يبعثوا الفصح في يوم الخميس الذي يتلووه يوم الجمعة
الذي قبل فيه الالام بجسده الكريم من الموت الذي امر التلاميذ بان
يبعثوا الفصح امتدت نفسه بقوت ايتعادها باللاهوت الى قلب
الارض حيث كان ادم ودرينته انشأ في قنبرهم بالخلاص بغير لاندرك
الشياطين الذين كانوا يحجرون عليهم حينئذ لئلا يخلصوا واخي لنور بعد
الظلمة ويحجروا الله الذي انقدهم بنوره من ظلمات الشياطين وبقي
ذلك النور عندهم كالمعري حتى يكمل التدبير وخلصوا ودليل ذلك قول
الكتاب ان السيد قال لتلاميذه عندها اكملوا الفصح ان الذي يجعل
يده معي في الصفه هو سلمي وقال له اذ لك لقول وابن البشر
ما من من كتب من اجله ثم قال بعد ذلك لويل لذلك الانسان الذي يسيء
فقوله وابن البشر ما من كتب من اجله ليرث ميراث السموات الذي
تقده ولا هو مطابق الكلام الذي اتي بعده لكن هو كلام قاسم
بذاته وكان معنى هذا القول اولاً انه قد وقي الي الذي اتي من اجله
ومعنى اخر ان الكتاب يقول ان يهودا الاستخر بوجع لما اخذ الخبز
الذي يتلو له السيد وخرج قال السيد لان مجد ابن البشر ومجد
الله

الله به يعني بذلك لقول ادم ودرينته قد بشروا بالخلاص ورفعت
عنهم الظلمة بجلاوا لقوة الاهيه عندهم وقد مجدوا الله ومعني
اخر ان الكتاب يشهد ان السيد قال لنا قد مجدك في الارض وذاك
العمل الذي اعطيتني لاصنعه قد فعلت لان مجدنا انت يا ابنتاه
والمعمودان السيد انما كان محبه لخالص ادم ودرينته وقوله اني قد
اكملت العمل الذي اعطيتني لاصنعه اي ان ادم ودرينته قد بشرنا بفر
بالخلاص وانزلت عنهم الظلمة وقد مجدنا انما العذوة من اجل
امتداد نفسه بقوت ايتعادها باللاهوت الكثرة واشراقها في المكان
المظلم فانه بالحقيقه كان في قلب الارض من نهار يوم الخميس الي
ليلت لاحد الذي كانت فيه قيامته من بين الاموات وبعد اكلت
الخبز والقيم وما يفحص عنه ويقال ان بعض المفسرين قد قال ان
الكتاب يشهد انه في الساعة السادسة من نهار يوم الجمعة غشيت
الارض كلها ظلمة ودامت الي الساعة التاسعة وقصبت انوار
التي قبل الظلمة يوماً وحسب الظلمة التي كانت ليله والنور الذي بعد
الظلمة يومان وليلة السبت ويومها وليلت لاحد من هذا الوجه
كلت ثلاثة ايام وثلاثة ليال فقال ان بعض المفسرين قد على قاييل

هذا التفسير فقال ان الظلمة التي غشت الارض لما كانت يوم الجمعة
واليوم الواحد لا يكونان يعاديوين لان لفظها تنسبه الجمعة واليوم
الثاني بادا تنسبه فهذا الوجه كبطالة الوجه الثاني في ابطاله
ايضا ان السيد في الوقت الذي غشت الارض الظلمة لم يكن انتم الروح ولا
دفع من جهنم انتم حجاب في هذه التفسير وما يقال ان بعض المفسرين
قال ان السيد من يوم الجمعة فاصيغت ليلته اليه فكان يوم
وليله وقام ليلت لاحد فاصيغت هذه اليه فكان يوم وليله ويوم
الثبت وليلته يوم وليله فعلي هذا الوجه حكمت ثلاثة ايام وثلاثة
ليال فيقال ايضا ان المفسرين لم يوافقوا على هذا التفسير لان هذا
المفسرين اشار الى جسد المسيح وجسد المسيح لم يكن في قلب
الارض لا ليلت الجمعة ولا يوم الاحد فعلي هذا الوجه ابطال تفسيرها
فاما يوحنا فمر الاله فانه فسر هذا القواع لي حسب مثل تفسير
روحانيا فقال لان السيد عن يدا الارض فطرد تلاميذه لانهم قبلوا الله
الجديد التي يدها فيهم وابن البشر اثاره عن نفسه وانه يكون
في قلب الارض ثلث ايام وثلاثة ليال اشار الى دفعه جسده ودمه
للتاميد في صلب الخشب وكانه اندفن فيهم ولم يراهم بعد هذا التي غشت
الاحد وهذا ثلاث ايام وثلاث ليال وقليل الارض اشار به بطن
الارض

الارض فانه جسده حصل في بطن الارض ونفسه انطلقت الى الهاوية
لما لم تغور المحصوره فيها وقوله واما الاحد عشر ليلا فقصوا
الي الجليل الي الجليل الذي اهدى يسوع فلما راوه سجدوا له وبعضهم
شك ارادوا البشير بعد خاتمة قصص القيامة وما اخذناه اليهم
في امروا اخبر عن اجتماع السيد وتلاميذه في الجليل لان السيد لما
خرج مع تلاميذه الي جبل الزيتون في ليلة الجمعة وعندهم وقال لهم
بعدي اتي اشبعكم الي الجليل وهكذا قال الاله وليمي الجليلية بعد قيامته
ادعاه وقول الاخوتي ليهيوا الي الجليل هناك يروى ما اذ بعد القول
فوعين الاول انه اراد ان يذكركم بما سبق به قوله لهم في امر قيامته عندهما
كانوا في جبل الزيتون حتى لا يكون لهم حجة في امر قيامته والثاني انه
اراد بذلك ان يوطد نفوسهم على تصديق قوله واليمان بالله لانهم لما سمعوا من
النسوة بقيامته شكوا ولم تنتق نفوسهم فظنهم في غيبت ذلك
التي اثارهم مجتمعون في بيتهم وكنسهم لعلت ايمانهم وقتقا وجرهم
كما شهد الكتاب فهذا هو السبب في قوله اني اشبعكم الي الجليل هناك
تروى ولا فقد ظهر لجميعهم مرتين في بيتهم وكنسهم قبل ان يظهر لهم في
الجليل المرة الاولى في غيبت احد اقيامته عندهما كانوا مجتمعين كما شهد

موقر ولوقا ويصنع والمرة الثانية بعد اثنتي عشرة ايام من القيامة وهم مجتمعون
بالعليه ودخل عليهم والابواب مغلقة ومعلم توما يده في جنبه ليحضر اثر
الطعنة كما شهد يوحنا وكذلك التلاميذ اظهر لهما علي بحيرت
طبرية واعطاهم الخبز والسمك كما قال الكتاب وهذا امره ثالثه
ظهر يسوع لتلاميذه بعد قيامته من الاموات فيكون اذا ظهوره بعد قيامه
من الاموات قبل توبته الي الجليل ست مرات الا انه لم يزل المجدلية كما
شهد يوحنا والثانية لانه ولم يزل المجدلية معها كما شهد متى والثالثة
لوقا والفاصله لجماعة التلاميذ كما شهد مرقس ولوقا ويوحنا والسادس
لجماعة التلاميذ ايضا كما شهد يوحنا وللاسايل ان يقول ما هو السبب في
امتناع ستي من تركها هيل الاحوال التي حرت بعد القيامة كما شرعها
غيره من المبشرين فيقال ان متى اختصر واجمل ما كان حدث بعد القيامة
ولم يدر تفصيل شيء منها لانه كتابه اما كان ان يقرر قد عرفوا تفصيل
ما اجمل ولهذا جعل قوله بغير تفصيل وقوله وجا يسوع وكلهم قابلا
اعطيت كل سلطان في السما على الارض اذهبوا الان وتلمذوا كل
الام وعلمهم باسم الاب والابن والروح القدس وعلمهم حفظا او بيتكم
به وهوذا انا معكم كل الايام والي انقضاء الدهر امين وهذا القول دليل
علي

علي ان الناسوت التي قبلها السيد جميع الامم والانتعالات ولها
كانت القيامة مخرجت بعد القيامة رجال الكسافة الي حال اللطافة
والبساطة وصارت روحانية غير قابله شيء من جميع الاستحالات
والتغييرات وتساوت بالباطن في القلوب في العدة والامتداد
ودليل ذلك ان السيد بعد القيامة كان يتجلى علي تلاميذه بغتة
وتخفي عنهم بغتة واراد بهذا القول ايضا ان تكون تلك المعاني باطنة
اي تشجعوا ولا تخافوا ونادوا باشي في الشعوب فاني المعلم لمن
لا يسمع والمكافي لمن يسمع لان سلطاني جاري علي السمايين والارضيين
والمنعمون ان السيد قبل قيامته كان يامر تلاميذه بان لا يبشروا في الامم
الفريسيه حتي ان لا يجعل لليهود حجة في نفاقهم عليه وذلك لانهم كانوا
يحبسون بانه لم يات اليهم ولا كانت بشراهم اجتمع ومقيمون
في شافقهم له وكفرهم به وهذا الوجه جعل السيد جعل السيد بشارة لهم
وتبشير خلاصه ولما اكمل تدبيره وتبشيره في خلاص البشر امرهم بان
يبشروا كل الامم ويوردوهم من الظلاله الي النور ثم انه ثابته بعد
الحواريه الاطهار تعليم الامم الفريسيه التي بيت الانفصال
من اليهودية والوثنية وذلك ان انبساط هذه الالفاظ وانفراذها
بلا زيادة لغت يد علي الاشوي الطبيعي لو اهل في ذلك انه لم

يقولونهم باسم الرب او باسم الله او انتم لانني واسم الخالق لان هذا
الاسماء في مخلوقه من كتب العقيدة فارادها هنا ان يثبت لم يثبت
الايمان بما قد جاء في الحديثه من سرنا لوث المحدث وان ناسوته قد
انحدت باللاهوت اتحادا حقيقيا اقنوميا طبيعيا اراديا لئلا يكون
في الثالوث المقدس زيادة ولا نقصان ولا يكون في اقنومه الكليم تنبيه
فقال يسوع الاب والابن والروح القدس ليدلنا على وحدانيت الذات
وتسليت الاقانيم والصفات وان هذا الاقانيم غير مستحيل
لان الاب يتغير عن ابوته فيصير يسوع ابنا ولا روح القدس يتغير
عن بونه فيصير يسوع ابنا ولا روح القدس يتغير فيصير يسوع ابنا او ابنا
بل كل واحد منهم دايما ابد على خاصيته لكن جوهر واحد وطبيعه واحد
واراد واحد وسلطان واحد وقادر واحد ثم هذا الاقانيم
الثلاثة الذين هم صفرا الذات الواحد بالصفة والحقيقة وهذا
القول المستعملنا بان ناسوت المسيح ولاهوته بصفة اتحادها اقنوم
واحد وطبيعه واحد ومشييه واحد بغير افتراق ولا اختلاط
ولا امتزاج ولهذا قال الرسول بولس لك بسم يسوع تحتوا كل
ركبة ما في السما وما في الارض وتحت الارض وكل لسان يقر ان
يسوع المسيح ربنا ومجدنا وقد نجب علينا ان نعلم ان بالثالوث
المقدس

المقدس خلقنا وبه تجديدنا بعد الموت والابلاء لاننا انما نولد من المجد
لرجليات الابد والبراه من الفساد والغيار وبطلان ابلا والوقوع
الى مياوت السما والتقرب من المسيح والنعيم بالخيرات التي لا تفسد
لها فقد وجدنا الايمان والافراز وان نعلم ان كل واحد من هؤلاء
الاقانيم يسوع ابنا والهام من اجل الذات التي نفعها بالواحدانية
بحيث ان لا ينز من ذلك ان يكون ثلاثة الهه لان الذات واحد
والجوهر واحد والعقد واحد والسلطان واحد كما لا يقال ان
الشمس وشعاعها وحرا فثلاثة شمس ولا يقال للشمس وعقلها
ونطقها ثلاثة نفوس وذلك ان شعاع الشمس وحراها اذا انفرد
اقول في كل واحد منهما يسوع شيئا ودليل ذلك ان الانسان اذا راى
شعاع الشمس في البيت الذي هو جالس فيه يقول ان الشمس قد
دخلت في البيت وان كان لم يركب فيها وكذا ان تود في الغنا
واصابه حر الشمس يقول ان الشمس قد لمحتني ولم يركب بذلك النفا الى
قرصها وقوله وعلمهم حفظا ما اوصيكم به وهو اننا معكم كل الايام
والي انفسا الدهر امين وهذا القول ايضا يدل على انه يحتاج مع
الايمان بالاب والابن والروح القدس الهه الواحد في اعمال الصلوة

وتدبير فاضل ورحمته قال انه قال عليهم حفظ كل ما اوصيتكم به من الامور الحسنة
وحثهم على التشاغل بامور النفس واطراح الامور الجسمانية والخذلنا
نقل الحاجة هذا الصعدان كانا قبل الحواريون فهو اقول تساوي
فيه جميع المعتقدين بهذا الامانة لان الحواريون قد افقوا العالم ولم
يسبقوا الى انقضائه فقد بان وان كان قد قيل لهم فهو اصل الي كل الذين
يسنون ويعتقدون هذا الايمان في جيل بعد جيل لكي يمتدوا في
الحال التدبير المشاكل لعبادة الله الى انقضاء الدنيا لانه يكون
معهم بالتمني والرفق والعون في كل جمادهم ولينصاهم ونصرتهم
عليهم نديم الى الابد وختم قوله بلغة شاملين التي تعبيرها الحق
فان ادبنا ذلك يوكلفهم ذلك القول كما انه لقولهم انسابيون يفسر
قال ان السيد يادفن جسده جعله قبيلا ليعمل احدا منه جلا
المستكونه من اخرى وتحمل الدفن في قبر جديد لئلا يظن اليهود
انه ليس هو الذي قام ولكن غيره الذي قام من الاموات وتحمل ان
يجرسوا الحرائق لئلا يقولوا اليهود ان تلاميذه اخذوا جسدا ليل
او تبايون يفسر قال القول في غيب البنا التي هي سميت الاحد
يكرو القول ايضا عند طواع الشمس في الاوقات المختلفة التي بين
النشوء

النشوء فيها اذ في القبر لا يبع سرأت في تلك الليلة فلذلك كتبوا له
من الانجيليين مما كان في الاموات المختلفة التي بين النشوء اذ في
القبر فيها لان الرب قام في ليلة الاحد في وقت غير معروف ظهر
لمريم المجدلية والنشوء الاخر غير لقرينين لان متى ذكر اول سرته التي
التاين فيها النشوء الى القبر ويوحنا ذكر الوقت الثاني حيث
جاءت مريم المجدلية للدفن الاخر في وقتا ذكر الوقت الثالث ومريم
ذكر الوقت الرابع حيث جاءت مريم ومريم ماري فلما انظر الى النشوء
الملاك فغن من جهتي منظره ولكن البعد عنهم المرعب وبشرهم
بقيامة الخلاص ووصاهم ان يلبسوا تلاميذه بانه قد انبث من بين
الاموات وليطعنوا الى الجليل هناك برونه وما ظهر للتلاميذ في
الجليل ان لكل واحد بعد الله شئت مع اليهود اذ كانت ليما في
القيامة لا فملاذ الجليل ضافه الى الامر وكذا قال انشعيا الذين
جليل الامر لا شعب الجبال في الظلمه
وظلال الموت ابصر النور القاطم
ولان الاحادي عشر تليد انظروا الرب في الجليل وقد كانوا
مستترين في يوسليم من اجل خوف اليهود وظهر لهم في الجليل نشوء كبيره

ولكن الشهود الكواكب استخرجوا من كبريت حذر له اولاد كثيرين في الارض
لما قال لهم السلام عليكم وهذا العاد عليكم بالفرح واهل جنسنا
للفرح واحد عشر من المنة التي رجت عليكم من جوتي ومن بعد
قيامة من السموات داخل الحرائر المدينة وعرفوا رؤسنا الى الله جميع
حبر القياض على صحته ولدنا كانوا قبلوا نصرة الشجرة لكي يلدوا على قياض
التي فلكن لمحمد ليس بقدر احد ان يعطيه وما سطره في التسليد الرب
فمنهم من سكرنا اجل انهم لم يخلوا روح القدس الباطنة الذي يحطه
الافكار ويكملها تساملا وتطهر من الشك وقلت الايمان وما دا
قال اعطيت كل سلطان في السما وعلى الارض لانه صار بشرا مثلنا
فتكلموا بالحكمة واللاهوت بالبشرية التي قبلها بالتدبير وهو الذي اعطى
كل سلطان لادم ودينه لكن يصور على الحيات والتمسك وعلى
كل قوت الشيطان لان له الشيطان في السما وعلى الارض لانه الاله
المختبئة لتطلقوا وتلدوا جميع الافر وعندهم باسم الاب والابن والروح
القدس وعلمهم ان يحفظوا جميع ما وصيتكم به وهاذا منكم جميع الايام
والتي انقضا الدنيا امي في القبر كيقول الله لانه يجب ان
يسيروا باعتداف الايمان بالتناوت في كل العالم وان يملوا الكواكب
التي

١٦

١٦
التي هي الايمان الجبل المقدس واولاد ثبات الايمان المستقيمة لم
يكن التعليم يتبع به الذين تعلموا واولاد الايمان المستقيمة ومن اجل ذلك
قال بعد قبول البشر في التجديد قدامهم كل شيء وصيتكم به وكذا قال الهنا
كل الايام والي انقضا العالم لم يقل هذا القول للتلاميذ خصوصا ولكن
لشاهدين المؤمنين الذين يكونون في الانقضا لان التسليد لم يدروا في الجسد
الي انقضا العالم ولما قال سر قصى في التجديدي بالشكر هو من الاحاد الذين الي
القبور ودخلت الشمس لبسها ينوش فيمن ان سر قصى ذكر الوقت
المرجع بالشكر الذي حضر فيه الشهود الي القبر فقال هلي حين طلعت
الشمس جالت برسم الجديلة ويرسم ام يعقوب وشاموي يبرسم ام يعقوب في ام الرب
لان يعقوب ويصطخر وشعور ويهود الاولاد يوشق فتنة والذات الاله اهمم
ويصعدوا اخوت التي علي حكم الامتحان والاشعار الاعلى حكم الحقيقة
وذلك من اجل ان مريم كانت خطيب يوشق وكانه مقيمة عنده
وهي التي ربت هذا الاولاد في بيته وسميت اسمهم وسمي الرب
اخوهم لان اليهود كانوا يظنون ان الرب هو ابن يوسف علي صلته
ولم يقدروا يصدقوا علي القدر في ذلك لانه لو انهم علمهم قلوبهم وصرح
الامر علي تحت حكموا علي مريم عند جعلها بالقتل رجلا وكاوا

يحاولها محل الزواني . فاما شاومي في امره سوره وسره واشتهت
 من اجل انها ان تقرب عطا الى القبر وتخرج الحسد المقدس فلما مضى الى
 القبر نظر الحجر قد خرج عن باب القبر فلما دخل فخر من ثابا لسان
 اليه من مزد ياجله بضا . وهذا الشاب هو الذي ذكره من قصص الانبياء هو
 ملاك من الملائكة . ولما تجوز السوره تشبه لهم بضا . واكثر ذلك كان من
 جهت شاومي لانها كانت متاده ان ترى ملاك فلما كان الملاك شاب
 لانه نظره وقد خاض عنده لك بعد الخوف عنهم وقال لهم اذهبوا فليكن
 لتلاميذه ولطرس انه قد ابعث من بين الهوات . وهو يسبقكم الى الجليل
 فقال ترويه قد ابدلت واعلمتكم . فانه ذكر بطرس هاهنا . لكيما
 تعلم ان الرب قبل توبته من اجل مجوره ورده الى ربيته . الاولي عزاه
 وذكره باسمه لكيلا يحزن قبله من اجل المجور الذي كان منه فخره انه
 غفله لمصرف ضمته ولا يكون له توكل على قوت نفسه ولا يرد قول
 الرب فبطرس الان لما سمع اسمه قد ذكر من السوره عن قول الملاك
 ان يرد ان شيئا فافرح قلبه جدا وشكر الرب اذ غفله ورثته مع
 تلاميذه . وايضا يقول الانجيلي متى انه في غلش يوم الاحد قام وترايا
 لمريم المجدليه . تلك التي اخرج منها شبعه شياطين ابيغايون تير
 ليس

ليس شبعه شياطين اخرج منها الكلب شبع عادات شياطينيه في الكلب
 والنمر والجمل الحادب والحسد والبي والكلب والبره من الايمان . ولكل
 قال لها الخالص بعد بضااته من بين الهوات لا تقربين اليي لاني لم
 اصدق اني انا انا بعد ما نظرت عادت الي الشكل قبلت ايمان وبعد
 لكن ترايا للاعدي عشر وهم متكلمين . فقال لهم انطلقوا الي العالم كله
 ونادوا ببنايتي في جميع الخليقه . والدي يوم من ويطلع يحيي
 والدي لا يوز يعاقب فاما الايات التي يظلم بها الذين يوسون
 باسمي فهي هذا يخرجون الشياطين ويظفون بلسان جديد
 ويحلمون الحيات بايدهم فلا تؤذيهم ويشربون السم الميت
 فلا يضرهم ويضربون ايديهم على المرضى فيشفون فلما السيد يسوع المسيح
 لمن بعد ان كلمهم صعد الى السما وجلوس عن يمين الله الابن فلما هم خرجوا
 ونادوا في كل موضع وبنوا كان يهيمهم ويحقق كلامهم بالايات التي
 كانوا يعملونها له المجد مع ابيه الصالح والروح القدس الى الابد
 آمين

هذا النص في التزيين الذي هو الانجيل الظاهر وما بين التزيين
 في يوم المجد المبارك في اليوم الاول من شهر بايه المبارك
 شنت في غلش بايه حنه وديين للشهد
 اذ طوا الشهد الامير في كاهنهم عليا امين

ܡܬܢܝ ܕܥܪ ܕܪܥ
 ܕܕܢܝܢ
 ܕܕܢܝܢ

وقف مؤيداً وجباً مجدداً على كتيخانه البطريركخانه
القطبية الارثوذكسية بمصر واسكندرية
يخرج عن وقفه والشارع ديا
١٧١٩
٢٨/١٥

END

PROJECT NUMBER
EGYPT 001A

ROLL NUMBER
21

LOCALITY OF RECORD

**ST. MARK'S CATHEDRAL,
CAIRO**

TITLE OF RECORD

THELOGY MS 37

ITEM

1